文部科学省特別経費
「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」
《平成22年度 ― 平成27年度》

お茶の水女子大学卒業生の
ライフコース

報告書

国立大学法人
お茶の水女子大学

はじめに

2008年度（2009年1月）に本学では卒業生全員を対象としたライフコースアンケート調査を実施し、2010年3月にその概要をまとめましたが、この調査報告書は、集計結果を分析、検討した成果です。

国立の女子大学であるお茶の水女子大学にとって、女性の社会的活躍を加速させることは重要な使命です。130余年の女子高等教育の歴史を通して、多様で多量なライフコースのデータが集積可能であること、また、女性のライフコースを研究対象とする研究の土壌があることからしても、この課題に取り組むに足る基盤があると自負しています。

2010年に、第3次男女共同参画基本計画が閣議決定されました。男女共同参画基本計画は、1999年に制定された「男女共同参画社会基本法」に基づいて2000年から5年毎に定められてきたものであり、第3次計画の立案に当たっては基本法制定から10年を経ていることを重視し、これまでの取り組みを検証しつつ、可能な限り数値目標を設定して、男女共同参画社会がより促進されることを目指しています。

「基本法」にはその目的が次のように記されています（第一条）。

「男女の人権が尊重され、かつ、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力のある社会を実現することの緊要性にかんがみ、男女共同参画社会の形成に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体及び国民の責務を明らかにするとともに、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。」

お茶の水女子大学は、その前身である東京女子師範学校の設立（1875）から今年で137年になります。この間、本学出身者は教育と研究の分野で先駆的役割を果たし、とくに近年はその活躍分野は拡大し、公務員として、あるいは企業に就職して国内外でその能力を発揮しています。また、就業率では本学の卒業生の正規雇用率が高いこと、そして、出産育児期の就業率が5割を超え、全国平均を上回っていることも今回の調査で明らかになっています。

本学では女性教員の比率は、2006年に40％を超え、この状態を維持していますが、今後この割合を高めるとともに、「指導的地位に占める女性の割合」を「2020年までに30％」にするという国の目標の実現に寄与することは国立女子大学の大きな課題の一つであると考えています。既に2006年には、「女性リーダー育成プログラム」を開始しました。お茶の水女子大学でこのプログラムを実施する際の最大の利点は、130年を超える歴史を通して、2万人を超える卒業生がいること、つまり多くの多様なライフコースがあり、その一つ一つが女性の生き方のロールモデルとして現前していることです。

また、この報告書には、本学の大学院生がこの調査を研究対象として分析した研究成果を掲載

しています。これは、女性のライフコースの研究や男女共同参画を対象とした研究が本学で実際になされていることの証左でもあります。

お茶の水女子大学では、2011 年 4 月に、学長を本部長とし、副学長と教育研究評議員全員を本部員とする全学的組織「男女共同参画推進本部」を設置しました。本報告書の成果も手がかりにしながら、大学として男女共同参画の取り組みを一層具体的に展開して、第 3 次基本計画の遂行と、男女共同参画社会の実現に寄与したいと考えています。

卒業生をはじめ本報告書実現のためにご尽力いただいた方々に心からの感謝を申し上げます。

今後、いっそう本学の使命を自覚しつつ、社会的存在としての国立女子大学の役割を果たすべく努力してまいりたいと存じます。引き続きご指導を賜りたくお願い申し上げます。

2013 年 3 月

お茶の水女子大学長

羽 入　佐和子

目　次

はじめに …… 1
調査の目的と概要 …… 5
調査の目的 …… 5
調査の概要 …… 6

第一部　卒業生のライフコース概要版 …… 9
1．キャリアを切り開いた戦前女子エリートたち …… 11
2．就業とキャリア …… 14
2－1. 学部卒業後の進路――上昇する大学院進学率 …… 15
2－2. 学部卒業後の被雇用就業の内訳――教員の減少と事務職の増加 …… 16
2－3. ライフヒストリー・カレンダー――就業率の高さと育児期の拡散 …… 18
3．家庭と仕事 …… 24
3－1. 結婚と出産のコーホートによる変化――晩婚、晩産化と子育て期間の拡散 …… 24
3－2. 配偶者の職業――公務員から民間企業職員へ …… 25
3－3. 卒業生の現在の仕事――有配偶者の高い正社員比率 …… 26
3－4. 結婚と昇進――比較的高い役職者比率 …… 27
3－5. 子育て――夫の日常的手助け、社会的制度の利用の増加 …… 28
3－6. 労働時間と家庭生活――長時間労働とワークライフバランスの困難 …… 29
3－7. 夫と妻の収入割合――正社員夫婦では、妻の収入は夫の８―９割 …… 31
4．生き方と価値観 …… 32
4－1. 性役割意識は戦後教育、キャリア意識は雇用機会均等法がメルクマールに …… 32
5．社会的活動 …… 35
5－1. 子育て終了や定年を機に増大 …… 35

第二部　卒業生のライフコース全体版：本学との関わりとライフコース …… 39
1．調査対象者の基本属性 …… 41
1－1. 学部卒業生の生年と卒業年 …… 41
1－2. 学部入学年 …… 41
1－3. 出身高校 …… 42
1－4. 出身大学（学部） …… 43
1－5. 大学院進学者の入学年 …… 44
1－6. 大学院修了年と生年（修士課程・博士前期課程、博士課程・博士後期課程） …… 44

1－7. 出身地 …… 45
1－8. 現在の居住地 …… 46
2．学部・大学院在学中の生活 …… 47
2－1. 学部在学中の生活 …… 47
2－2. 大学院在学中の生活 …… 54
2－3. 学部・大学院生活の満足度 …… 58
3．学部卒業・大学院修了後の職業 …… 68
3－1. 学部卒業後の職業 …… 68
3－2. 大学院修了後の職業 …… 77
3－3. 現在の職業 …… 86
4．ライフコースと家族形成 …… 92
4－1. ライフイベントの発生年齢 …… 92
4－2. 家族形成 …… 95
4－3. 学部卒業生・大学院修了生の家族 …… 98
4－4. 学部卒業・大学院修了後のライフコース …… 106
4－5. 結婚や家族、性別役割に対する意識 …… 109
5．お茶の水女子大学に対する期待と将来像 …… 115
5－1. 大学に求める場や機会 …… 115
5－2. 望む将来像：別学維持か、共学化か …… 119
5－3. 望む将来像：充実・重点化を図る分野 …… 123
5－4. 望む将来像：自由回答より …… 127
6．卒業生の大学との関わりとライフコース：第二部調査結果のまとめ …… 133
6－1. 学部卒業生・大学院修了生の基本属性 …… 133
6－2. 在学中の生活と満足度 …… 133
6－3. 学部卒業生・大学院修了生の職業 …… 134
6－4. ライフコースと家族形成 …… 135
6－5. 大学の将来像として望む姿 …… 136

おわりに …… 137

付１　調査票 …… 141
付２　クロス集計表 …… 169

調査の目的と概要

調査の目的

本調査「卒業生・修了生のライフ・コースについてのアンケート」は、平成 18 年度～ 21 年度の文部科学省特別教育研究経費「女性リーダー育成プログラム」の取り組みの一つとして、お茶の水女子大学及び東京女子高等師範学校の全学部卒業生、大学院修了生を対象に行ったものである。「女性リーダー育成プログラム」はリーダーシップ教育プログラムの構築と実践、女性リーダー特に学術研究領域における女性リーダー育成方法の開発研究を柱とした取り組みであり、本調査はその基礎データの一つとなるものであった。

本学学部卒業・大学院修了生のライフコースを明らかにするため、質問の内容は、本学在学中の生活の他、学部卒業・大学院修了後の職業生活や家庭生活、社会的活動、さらには本学の今後の活動に対する期待と多岐にわたる。本学では平成 13 年度に、奈良女子大学と共同で、学部卒業・大学院修了生の約三分の一を対象とした「卒業生・修了生のライフコースと国立女子大学の将来像に関する調査」[1] を行っており、7 年間の変化が見られるように、一部の設問はこの調査と共通にしたが、本調査は前回調査に比べて、仕事と生活の関係に重点を置いたものとなっている。

本調査の分析結果については、平成 22 年 3 月、『お茶の水女子大学卒業生のライフコース――卒業生アンケート調査に基づいて――』[2] として概要を公表した。この概要は本報告書の第一部に再掲されている。東京女子高等師範学校卒業生に絞った分析の他、「就業とキャリア」「家庭と仕事」「生き方と価値観」「社会的活動」について分析を行い、本学学部卒業生・大学院修了生の就業率が高く、役職者比率が高いといった本学学部卒業生・大学院修了生の特徴の他、女性の性役割意識が戦前と戦後で、キャリア意識が雇用機会均等法施行以前と以後で変化していること、最近の傾向として育児期間が拡散し、子育てに夫が関与するケースが増え、社会的制度利用も増加していること、子育て終了や定年を機に社会的活動を始める人が多いこと、などを明らかにした。

第二部はアンケートの全質問項目に分析を加えたもので、本学学部卒業生・大学院修了生のライフコースの全体像とともに在学中の生活、本学に対して希望する将来像が示されている。ここに示されたデータが今後さまざまな研究や施策決定に資することが期待される。

1）調査概要『卒業生・修了生調査　お茶の水女子大学・奈良女子大学』
http://www.ocha.ac.jp/plaza/press/h13life_course2.pdf

2）http://www.ocha.ac.jp/plaza/press/h21life_course.pdf

調査の概要

1．調査時期

質問紙を 2009 年 1 月 8 日に発送し、同年 1 月 20 日を締め切りとした。ただし、質問紙を郵送したのち、全員に対して、はがきによる督促を一回行った。

2．調査方法

郵送による質問紙調査

3．調査対象

大正 9 年 3 月から平成 20 年 3 月までに東京女子師範高等学校、お茶の水女子大学、もしくは同大学院を学部卒業・大学院修了した者（以下、卒業生という）。学部卒業生・大学院修了生数と、調査票配布数、有効回収数、配布率、有効回収率は以下の表 1 のとおりである。

表 1　調査対象

	総　数	備　　考
卒業生数（a）	33,513	学部卒業生＊　26,861 名 大学院修了生　6,652 名
調査票配布数（b）	20,280	桜蔭会（大学同窓会）名簿に登録されている、 学部卒業生　20,043 名 大学院修了生　237 名
有効回収数（c）	9,141	
配布率（b/a*100）	60.51	
有効回収率（c/b*100）	45.07	

＊　本学学部を卒業後、大学院へ進学した者も含む

4．調査の内容

本調査の具体的な内容と項目は、以下の通りである。詳細については、付録の調査票を参照いただきたい。

① 現在の年齢と学歴

現在の年齢、入学・卒業年、所属学部・学科名、研究科・専攻名

② 学部・大学院在学中の生活

在学中に力を注いだこと、学部卒業・大学院修了後に役立ったこと、学生生活の満足度

③ 卒業・修了後の仕事と結婚

初職と内容、仕事をやめた（やめようと思った）理由、現在までの職業・家事などの履歴、現在の職業と内容、個人年収、平均帰宅時間

④ 家族形成とライフコース

結婚年齢、配偶者について、子どもの人数、同居者について、育児協力者と利用した制度や施設、女性のライフコースについて、性役割について

⑤　お茶の水女子大学に期待すること

本学が学部卒業生・大学院修了生に提供したほうが良いサービス、本学の将来像、調査対象者の両親について

5．調査の企画・分析・報告書執筆担当者

本調査の企画・分析は「卒業生調査 WG」を結成して進め、報告書の執筆は、主に卒業生調査 WG のメンバーで構成される「卒業生調査報告書編集委員会」をはじめ、本学の大学院生（博士後期課程）及び大学院リサーチフェローの協力を得て進めた。

卒業生調査 WG（カッコは 2008 年度の所属・職位を示す）

・羽入　佐和子　　（副学長、学術・情報機構長）
・宮尾　正樹　　（女性支援室長、人間文化創成科学研究科教授）
・伊藤　亜矢子　　（女性支援室員、人間文化創成科学研究科准教授）
・永瀬　伸子　　（人間文化創成科学研究科教授）
・杉野　勇　　（人間文化創成科学研究科准教授）
・内藤　章江　　（リーダーシップ養成教育研究センター特任助教）
・冨山　弘　　（女性支援チーム　チームリーダー）
・河野　隆　　（女性支援チーム　係長）

卒業生調査報告書編集委員会（カッコは 2011 年度の所属・職位を示す）

・鷹野　景子　　（副学長、学術・情報機構長）
・頼住　光子　　（リーダーシップ養成教育研究センター長、人間文化創成科学研究科教授）
・石井クンツ昌子　（人間文化創成科学研究科教授）
・永瀬　伸子　　（人間文化創成科学研究科教授）
・宮尾　正樹　　（人間文化創成科学研究科教授）
・杉野　勇　　（人間文化創成科学研究科准教授）
・内藤　章江　　（リーダーシップ養成教育研究センター助教）

報告書執筆担当者（カッコは 2011 年度の所属・職位を示す）

【第一部　卒業生のライフコース概要版】

・宮尾　正樹　　（人間文化創成科学研究科教授）
　1．キャリアを切り開いた戦前女子エリートたち
・杉野　勇　　（人間文化創成科学研究科准教授）
　2．就業とキャリア
・永瀬　伸子　　（人間文化創成科学研究科教授）
　3．家庭と仕事

・伊藤　亜矢子　　（人間文化創成科学研究科准教授）
　4．生き方と価値観
・内藤　章江　　（リーダーシップ養成教育研究センター助教）
　5．社会的活動

【第二部　卒業生のライフコース全体版：本学との関わりとライフコース】
・宮尾　正樹　　（人間文化創成科学研究科教授）
　調査の目的と概要
・内藤　章江　　（リーダーシップ養成教育研究センター助教）
　1．調査対象者の基本属性、5–4. 学部卒業・大学院修了後のライフコース
・坂本　有芳　　（日本学術振興会特別研究員―RPD）
　全体のまとめと修正、6. 卒業生の大学との関わりとライフコース：第二部調査結果のまとめ、付録
・佐野　潤子　　（ジェンダー研究センター教務補佐員）
　2．学部・大学院在学中の生活、5. お茶の水女子大学に対する期待と将来像
・王　茜鈴　　（人間文化創成科学研究科博士後期課程）
　2．学部・大学院在学中の生活、5. お茶の水女子大学に対する期待と将来像
・斎藤　慶子　　（人間文化創成科学研究科リサーチフェロー）
　3–1. 学部卒業後の職業、3–2. 大学院修了後の職業
・岡村　利恵　　（人間文化創成科学研究科博士後期課程）
　3–3. 現在の職業、4–1. ライフイベントの発生年齢、4–2. 家族形成、4–3. 学部卒業・大学院修了後の家族
・金　秀炫　　（人間文化創成科学研究科博士後期課程）
　4–5. 結婚や家族、性別役割に対する意識

第一部　卒業生のライフコース概要版

1．キャリアを切り開いた戦前女子エリートたち

1875 年創立以来、東京女子師範学校、東京師範学校女子部、女子高等師範学校、東京女子高等師範学校、そしてお茶の水女子大学と、学制の変化に伴い、本学の組織や名称は変遷を遂げてきたが、現在でも健在なのは、1908 年、奈良女子高等師範学校設置に伴い改称された東京女子高等師範学校以降の学部卒業生・大学院修了生である。東北大学など旧制の帝国大学に女子が学んだごく少数の例はあるが、1949 年の新制大学発足まで、東京女子高等師範学校（以下、女高師と略称）は戦前、戦中、そして敗戦直後の時期において、女子にとっては実質的に最高学府であった。本学では既に女高師卒業生に対する聞き取り調査に基づく研究が行われているが、今回の学部卒業生・大学院修了生調査により、そうした研究と相互参照しながら、時代のもっとも優秀な女性たちのライフヒストリーが明らかになることが期待される。本調査では、500 人以上の女高師卒業生からの回答を得た。これだけまとまった数のデータが得られたのはまことに貴重なことであり、今後それを基にさまざまな角度からの研究が進められることになるが、ここでは簡単にそのアウトラインを紹介する。

聞き取り調査でも、入学動機として、師範学校を出て教員になりたいというキャリア意識よりは、女高師が女子の学べる最高学府であったことを挙げる者が多かったというが（大江洋代「『女高師アイデンティティ』の構造～女子高等教育を担った戦前女性エリートの社会的使命～」『お茶の水史学』no. 51、2008 年）、女高師卒業生が強い自負と使命感を持って、困難な時代の中で学び、働き、キャリアを開き、家庭を築いてきたことは本調査の結果からもうかがわれる。一例を挙げれば、在学中、授業、サークル活動、アルバイトなどにどの程度力を入れたかを尋ねた項目において、過半数が授業や研究に「力をいれた」と回答し、「ある程度いれた」も含めれば実に 9 割以上が力を入れたと答えている（図 1–1）。新制お茶の水女子大学卒業生の同じ質問に対する回答も、「力をいれた」33.9%、「ある程度いれた」49.8% と、勉学に熱心に取り組んだことを示すが、それに比べても顕著に高い。

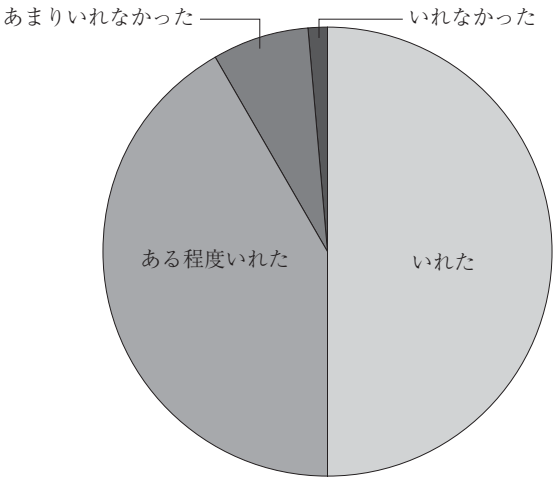


図 1–1 「授業や研究にどの程度力を入れましたか」

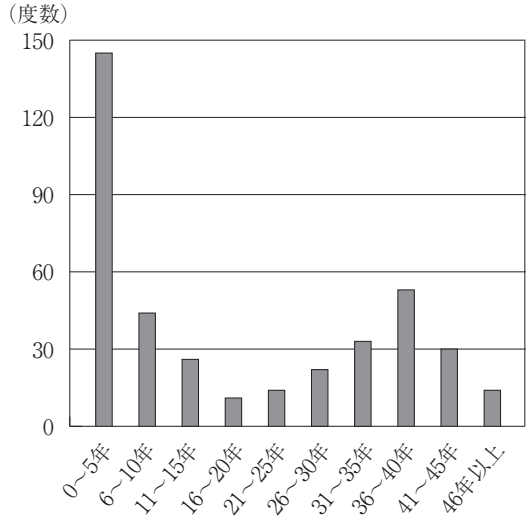


図 1–2　初職の勤続年数

女高師卒業生は、卒業後、90% 以上が正規の就職をし、その内の 80% 以上が中学・高校の教師となった。初職（卒業後最初についた仕事）の平均勤続年数は 18.9 年で、勤続年数には二つの山がある（図 1–2）。0～5 年でやめた人は結婚と出産育児が主たる理由で合わせて 80% 以上、36～40 年でやめた人は「その他」が 8 割近くを占め、その多くは定年退職だと思われる。その他に自分自身の健康を理由に挙げた者が 20% 近くいる。なお、10 年以内でやめた人の 7 割以上が再び収入を伴う仕事（家業を含む）についており、中でも、フルタイムの仕事についた人が約 4 割いることも注目される。大多数が従事していた教師という職業の性格も大きく関与するが、特筆すべきことと思われる。

今回の調査では、結婚、出産、仕事に関して、学部卒業・大学院修了時に理想とした生き方と実際に歩んだ生き方の比較も試みている。それぞれについて、「①結婚せず、仕事を一生続ける」「②結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける」「③結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」「④結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」「⑤結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」の中から選択してもらったが、学部卒業・大学院修了時に描いていた生き方としては③が最も多く 38.6%、次いで④が 29.1% であった。つまり、結婚して子どもを持ち、仕事を続ける生き方を 70% 近くが思い描いていた。現実の生き方としてはやはり③が最も多く 30.1%、次いで④が 27.4% で、両者を合わせて 60% 近くになる。実際の生き方については、このようなパターンに括りきれるものではないと感じた方が多いのであろう、「その他」の回答が多いのもこの世代の特徴だと思われる。介護や自分自身の健康の理由で不本意に仕事をやめた、夫の戦死により思い通りに生きられなかったという回答が自由記述欄に複数見られた。学部卒業・大学院修了時と実際の人生で同じ番号を選択した方、すなわち学部卒業・大学院修了時に思い描いていた生き方をした人が全体では 55.6% であった。

回答者の 85% が結婚経験を持ち、結婚の平均年齢は 26.0 歳、配偶者の平均年齢は 30.0 歳であ

った。同世代の全国平均（1925 年から 1960 年調査の初婚平均年齢）では、女性が 22.9〜24.6 歳、男性が 25.9〜29.0 歳なので（国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集（2009）』）、平均値を見ると当時としては晩婚であったと言える。ただし、女高師卒業生も最頻値は本人が 24 歳、配偶者が 28 歳である。また、平均出産年齢は約 28 歳（最頻値は 27 歳）であった。この頃、全国の第一子出産平均年齢（1955 年）は 25.1 歳だったので（同前）、やはり晩産であったと言える。

以上、ごく簡単な紹介にとどまるが、これだけでも女高師卒業生が女子エリートとしての自負を持ちながら女性としての生き方を模索し切り開いてきたことがうかがえる。

本調査は同時に、女高師卒業生の中でも世代によって意識のあり方に差があることも示唆している。家事や育児の分担についての回答を世代別に分けたものを図 1–3 に示す。戦前戦中と戦後では、家庭や地域、教育や職業の環境が大きく変化しており、その観点からの詳細な分析も期待される。

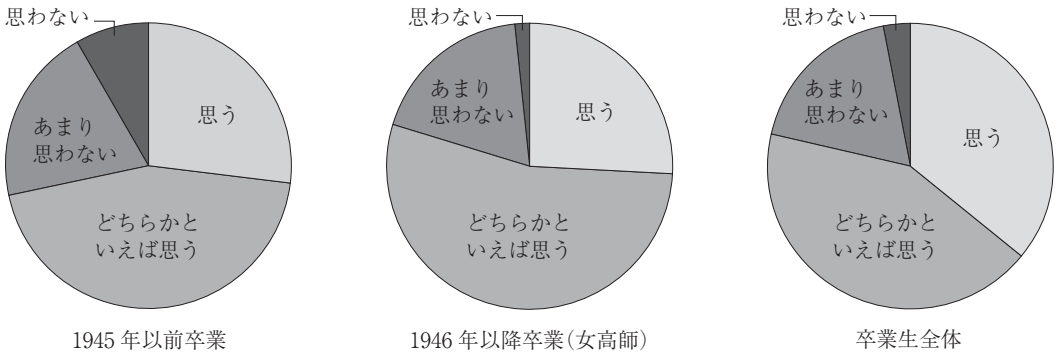


図 1–3 「男性も女性と同等に家事・育児にかかわるべきだ」

戦後卒業の女高師学生は、新制大学も含めた全体の分布に似通っている。ただし、質問項目によっては、年代による相違があまり見られないもの、女高師卒業生と全体の傾向で相違が見られるものもある。（第一部 4. 参照）

余談になるが、回答者の出身学校、学科を記入する欄で、設問の仕方が不親切であったためか、年齢や経歴から女高師卒業生であることが明白であるにも関わらず、新制大学の学科出身と回答するケースが多く見られた。新制大学発足後の数年は、新制大学生と女高師学生が混在したこともその一因であろうが、聞き取り調査の分析から、女高師卒業生が女高師とお茶の水女子大学の連続性を強く感じていることも報告されており（加藤厚子「女高師オーラルヒストリーにおける談話の重層性──女高師とお茶大の連続性に対する認識──」『お茶の水史学』no. 51、2008 年）、あるいはこの誤記入もそれを裏付ける傍証となるのかもしれない。

ご高齢のため病床から、あるいは家族等に手伝ってもらいながら回答を記入したと書かれた方もおられた。膨大な数の質問項目にご回答くださった女高師卒業生の皆様に、この場を借りて深く御礼申し上げたい。

2．就業とキャリア

この節ではお茶の水女子大学の学部卒業生の就業とキャリアについて紹介する。お茶の水女子大学は、1949 年 5 月 31 日に新制大学として設立された。設立時には文学部と理家政学部の 2 学部体制であったが、翌 1950 年 4 月には文教育学部・理学部・家政学部の 3 学部となり、ほぼ現在の学部構成となっている。ただし家政学部は 1992 年より生活科学部に移行した。また文教育学部は 1996 年から現在の 4 学科（人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科）に再編されている。理学部は 1950 年以来の 4 学科（数学科、物理学科、化学科、生物学科）に 1990 年に情報科学科が加わった。

新制大学としての第一期の学部卒業生は 1953 年 3 月の学部卒業生である。ここでは最初に、同じ時期に学部卒業した人たちをグループにして（これを卒業コーホートと呼ぶ)、5 年間隔 11 の卒業コーホートごとに初職について分析を行った。この 11 の卒業コーホートを、卒業時の時代背景とともに示すと以下の表 2–1 ようになる。

表 2–1　卒業コーホートと卒業時の時代背景

卒業時期によるグループ（卒業コーホート）	表記法	卒業の頃の時代背景
1953～57 年に学部を卒業した人	“1955”	高度経済成長開始前後
1958～62 年に学部を卒業した人	“1960”	1960 年安保闘争前後
1963～67 年に学部を卒業した人	“1965”	東京オリンピック（1964）の前後
1968～72 年に学部を卒業した人	“1970”	高度経済成長最後の頃
1973～77 年に学部を卒業した人	“1975”	第一次オイルショック（1973）後
1978～82 年に学部を卒業した人	“1980”	サッチャー、レーガン政権成立期
1983～87 年に学部を卒業した人	“1985”	男女雇用機会均等法（1985）前後
1988～92 年に学部を卒業した人	“1990”	ほぼ「バブル景気」の頃
1993～97 年に学部を卒業した人	“1995”	「バブル崩壊後」入職
1998～2002 年に学部を卒業した人	“2000”	男女雇用機会均等法改正（1999）
2003～08 年に学部を卒業した人	“2005”	デフレ脱却・景気回復期

学部卒業時の年齢を仮に 21 歳とすると、“1955” のグループ（卒業コーホート）の人たちは東京オリンピックの時にはだいたい 30 歳前後（28～32 歳）であり、40 歳前後（37～41 歳）で高度経済成長の終わりである第一次オイルショックを迎えている。バブル経済の頃には 50 歳代になっており、調査時点の 2008 年には 72～76 歳くらいとなる。高度経済成長末期に学部卒業した “1970” コーホートが 35 歳前後（34～38 歳）の頃に男女雇用機会均等法が成立し、40 代前半頃にバブル経済が崩壊している。調査時点では 60 歳前後になる。もちろん、学部卒業時の年齢はそれぞれであるから、同じ卒業コーホートの中に含まれる人々の間には年齢や生年にある程度のばらつきが存在する。後半の「ライフヒストリー・カレンダー」による調査結果の紹介では、同時期に生まれた人々をグループとして（これを出生コーホートと呼ぶ）分析を行う。出生コーホートは以下の表 2–2 の通り 10 年区切りの 6 区分とした。厳密に対応するわけではないが、上の卒業コー

表 2–2　出生コーホートと誕生の頃の時代背景

出生コーホート	誕生の頃の時代背景	主に対応する卒業コーホート
1934 年以前に生まれた人	昭和初期	“1955”
1935～44 年に生まれた人	第二次大戦前～戦中	“1960”–“1965”
1945～54 年に生まれた人	戦後復興期	“1970”–“1975”
1955～64 年に生まれた人	高度経済成長期前半	“1980”–“1985”
1965～74 年に生まれた人	高度成長期後半	“1990”–“1995”
1975～86 年に生まれた人	安定成長期・バブル景気前	“2000”–“2005”

ホートの中で重なりの大きいものを右列に付記してある。

2–1．学部卒業後の進路 ――上昇する大学院進学率

お茶の水女子大学の学部を 1953 年（第一期生）から 2008 年に学院卒業した人が、学部卒業後にどのような道に進んだかについて、卒業コーホートごとに集計を行った。

文系と理系で大きく進路が異なると考えられたので、文理別に集計した。最初に就職か進学か、就職した場合にはその従業上の地位は何であったかについて示し、その後で、被雇用者（正規雇用および非正規雇用）として就職した人に限定して、どのような仕事に就いたかを示した。

まず文系を見てみると（図 2–1）、1990 年代半ばまでほぼ一貫して大学院進学や留学をする学部卒業生の割合が増加している。正規雇用就業は 1975 年頃までは上下しつつ傾向としては減少しているように見えるが、その後十数年は増加していた。それが一転して急減するのが、いわゆる「バブル崩壊後」入職の “1995”（1993～1997 年卒業）コーホートである。その後は 7 割を切る水準で推移し、その分派遣社員や契約社員、パート・アルバイトなどの非正規雇用の割合が、特に 2000 年前後の学部卒業生で多くなっている。学部卒業の直後に進学も就職もしない人の割

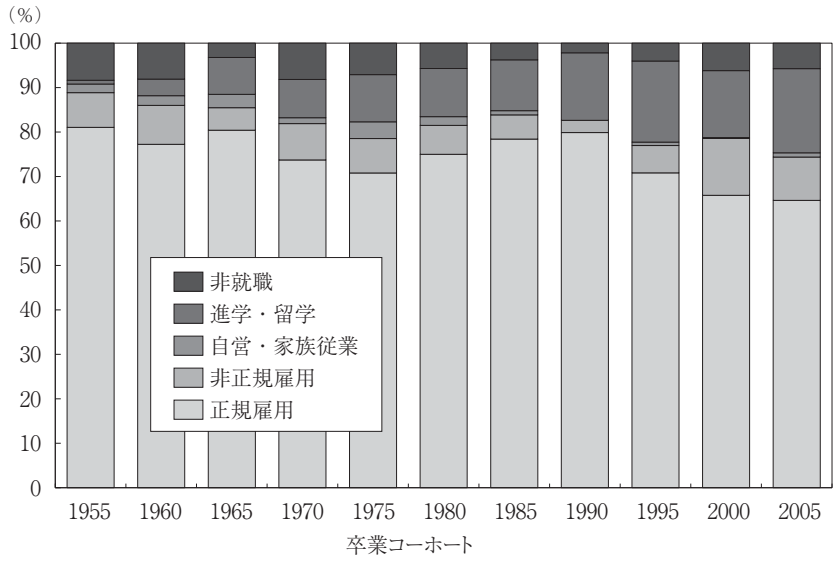


図 2–1　学部卒業後の初職の従業上の地位・文系

合は、1990 年以後やや増加傾向にあるようにも見える。

理系に目を転じる（図 2–2）と、バブル崩壊の影響は文系と同様に見られ、1993～1997 年卒業コーホートで正規雇用が増加から減少に転じる。ただし非正規雇用者の増加はそれほど大きくなく、正規雇用就業者の減少と大学院進学（留学含む）者の増加が文系より顕著である。2003 年以降の学部卒業者では学部卒業直後の正規雇用入職者はほぼ 45% に過ぎず、大学院進学・留学者の数の方がやや上回っている。

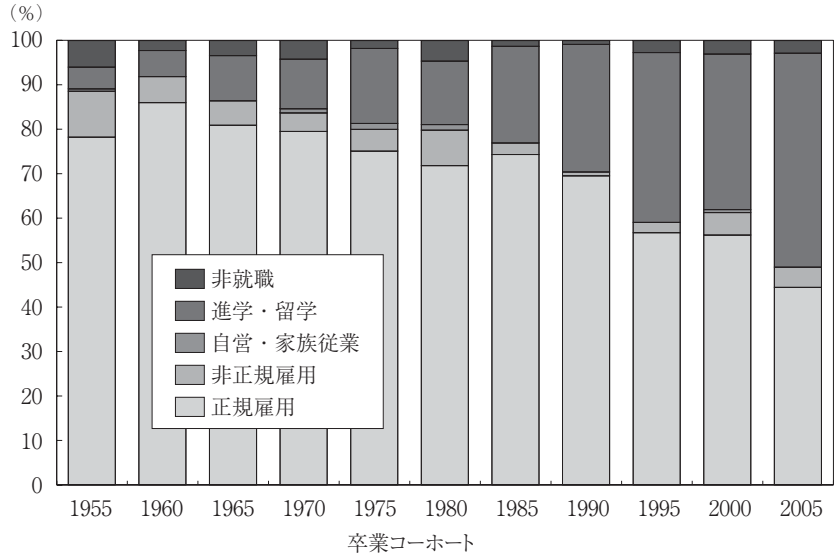


図 2–2　学部卒業後の初職の従業上の地位・理系

2－2．学部卒業後の被雇用就業の内訳 ――教員の減少と事務職の増加

次には、学部卒業直後に正規雇用または非正規雇用の「被雇用者」となった人達について、その職種をより詳しくみてみよう。このグラフは被雇用就労者のみで、自営業・自由業や家族従業者は含んでいない。注目するのは、幼稚園教員から大学講師までの「教員」、「研究者・技術者」、そして「管理・事務・販売」のいわゆるホワイトカラーである。

文系では（図 2–3）、女子高等師範学校から新制四年制大学に移行しても暫くは教員になる学部卒業生の割合が非常に高かった。管理・事務・販売の非専門職ホワイトカラーは徐々に増加してくるが、それでもまた 1980 年頃の学部卒業生では両者の割合はほぼ拮抗している。管理、事務、販売を一つにまとめているが、学卒後の初職であるので管理職はほとんどおらず、このカテゴリーの大部分は事務職である。こうした状態が、男女雇用機会均等法制定の頃から急速に変化して行き、初職で教員になる割合は急減し、事務職に入る割合が急増していく。最新の卒業コーホートでは事務と販売で 6 割を占めている。教員は 1 割強、研究者・技術者になる人は少なくて 1.5% である。「その他」には保安・サービスや運輸・通信、技能・単純労働や農林漁業が纏められているが、文系・理系を通じて農林漁業や技能・単純労働はほぼ皆無に近く、第一次産業やブルーカラー職に就く学部卒業生は極めて少ない。なお、図中には示していないが、増加している専門・技術職はシステムエンジニア（SE）である。

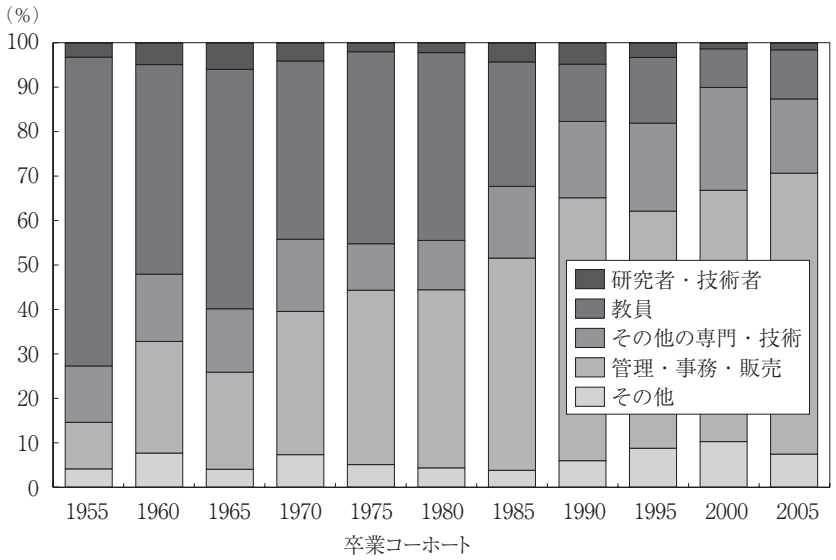


図 2–3　初職被雇用職種（文系）

次に理系の学部卒業生を見てみる（図 2–4）。理系は一貫して専門職・技術職（教員も含む）の比率が非常に高く、近年でもまだ 6 割前後を保っているが、管理・事務・販売職も徐々に増える傾向にある。

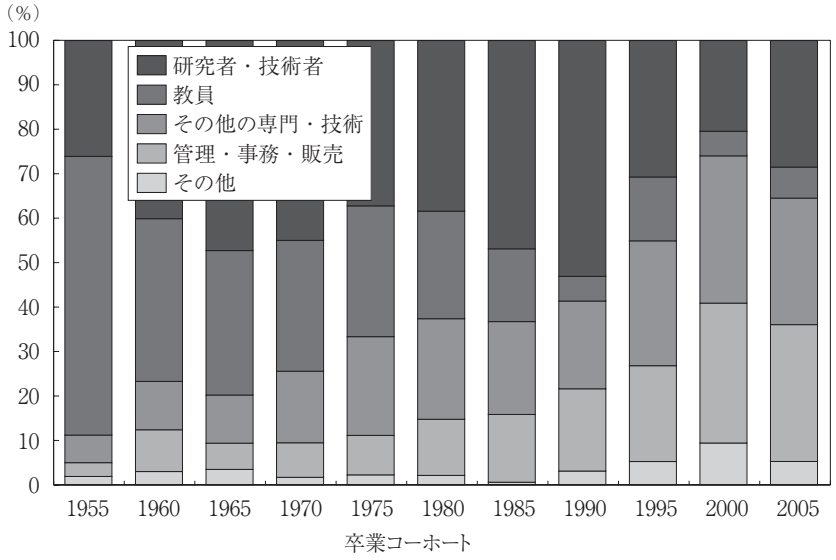


図 2–4　初職被雇用職種（理系）

専門・技術職の内訳を見てみると、理系でも SE はかなりの割合を占めるようになって来ているが（「その他の専門・技術」）、依然として研究者・技術者は多い。先に見たように文系よりも進学の割合がかなり高いことと合わせて考えると、理系では専門・技術的キャリアをたどる卒業生が非常に多いことが分かる。それに対して教員は、かつては文系と同様かなり大きな割合を占めていたが、近年では比率が下がって来ている。

2-3．ライフヒストリー・カレンダー ――就業率の高さと育児期の拡散

今回の調査では、回答者一人ひとりについて、21 歳から調査時点までの、就業経験や家事・育児経験などを 1 年ごとに線で記入してもらうこととした（70 歳を超えている人については 70 歳まで）。これはライフヒストリー・カレンダー方式と呼ばれている。6 つの出生コーホート・文理の 2 つの領域の計 12 のグループごとに、その人々が過去のそれぞれの年齢においてどのような就労形態につき、どのような家庭役割を担っていたのかを集計した。（ライフヒストリー・カレンダー法の長所は、個々人の経歴を連続してかつ詳細に把握できる点にあるが、今回は第一次報告としてグループの集計結果のみを示す。）

初めに全体としての特徴を簡単にまとめておくと、教員になる人が多かったことを反映して、年輩の世代（出生コーホート）においても正規雇用率がどの年齢段階でもほぼ 4 割と高いことが目を引く。非正規雇用や自営業も含めると、（理系の 1935～44 年出生コーホートを除いては）全てのコーホートで出産育児期になっても常に就業率は 5 割を上回っている。30 歳代の 10 年間の就業率はコーホートを下るごとに上昇しており、比較的若い 1965～74 年生まれのコーホートでは 30 歳代を通して 8 割前後の就業率を維持しており、正規雇用就業率だけを見ても 40～60% を示している。

もう一つの特徴は、この数十年の女性全体における変化と同じで、育児期がやや遅くなり、しかも人によって出産・育児の時期がかなり異なってきているらしい点である。この晩産化と育児期の分散の拡大は、後に示すグラフの育児比率の曲線のピークが年齢の高い方へ移動し、かつより頂点が低くて裾が厚いことに表れている。

具体的なグラフに基づいて見方を説明しよう。次の図 2-5 は 1934 年以前に生まれて新制大学としてのお茶の水女子大学（文系）を学部卒業した人 489 名の、ライフヒストリーにおける各年齢での活動の集計である。代表して文系のグラフを示すが、理系も大きな違いはない。新制大学

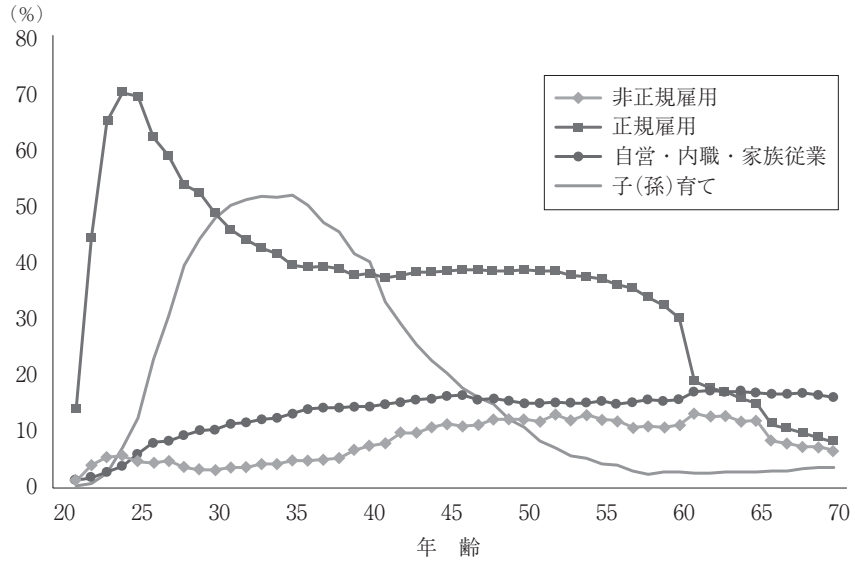


図 2-5　1934 年以前生まれ・文系

に移行して未だ間もない最初の世代であり、最も若い 1934 年生まれの人を例に取ると、1952 年に 18 歳になり、その後日本の高度経済成長と共に 20 代を過ごしてゆく。30 代前半が 1964〜1969 年であり、バブル崩壊後の 1994 年に定年退職の 60 歳を迎える。調査が行われた 2008 年時点で 75 歳近くである。

学部卒業後の正規雇用就業率は約 7 割だがその後急速に低下し、35 歳くらいまでに 40% になってその後はほぼ 60 歳の定年までその割合を維持している。自営業や家族従業者としての就労は年齢と共に徐々に 16% 程度まで上昇していく。非正規雇用としての就労は 20 代・30 代の頃は非常に少ないが、子育てが一段落するくらいの 40 代に急に上昇する。正規雇用・非正規雇用・自営等を合わせた就業率は 40〜50 歳で 60〜65% にのぼる。育児に従事する割合が最も高くなるのは 30〜35 歳くらいであるが、ピーク時でもその割合はせいぜい 5 割強である点は、以後のコーホートに比べてかなり低い。

[1935 年〜1944 年出生コーホート]

次に、1935 年から 1944 年生まれのコーホートを見てみよう。最年長の 1935 年生まれの人は 2008 年時点で 73 歳前後であるが、最年少の 1944 年生まれの人はまだ 64 歳である。こうした調査時点で 70 歳未満の人たちは、図 2–6（文系）や図 2–7（理系）のグラフの右端の方の集計には含まれない。文系では 63 歳時までの集計には 887 名のデータが含まれているが、その後年齢の若いものから徐々に抜け落ちてゆき、70 歳時の集計にも含まれるのは、調査時点で 70 歳以上であった 301 名だけである。同様に、理系では当初 448 名であったのが 64 歳時点から減少して行き、70 歳時でも有効なのは 145 名のデータだけである。よって、グラフの右端付近では少数の人の影響が大きく出やすくなり、グラフの変化がやや不規則になる場合がある。

このコーホートが 18 歳になるのは 1953〜1962 年であり、ちょうど新制お茶の水女子大学とし

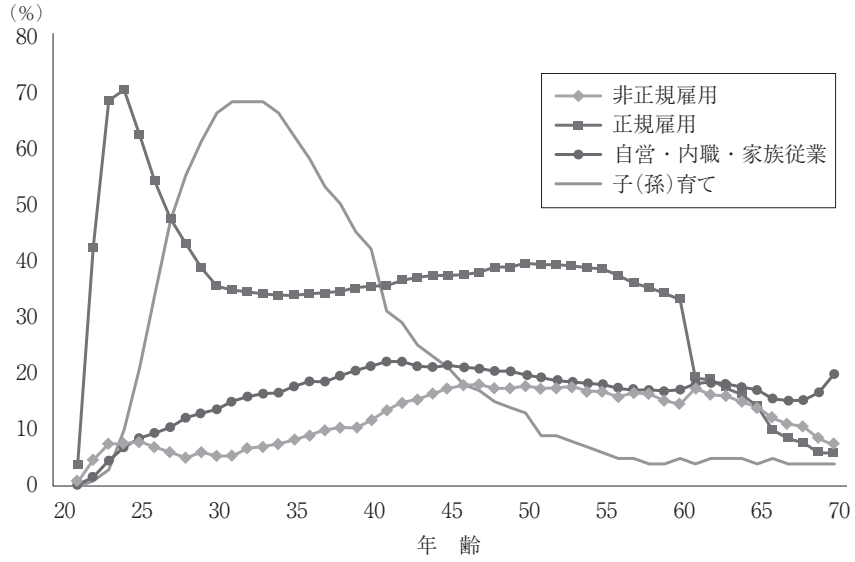


図 2–6　1935〜44 年生まれ・文系

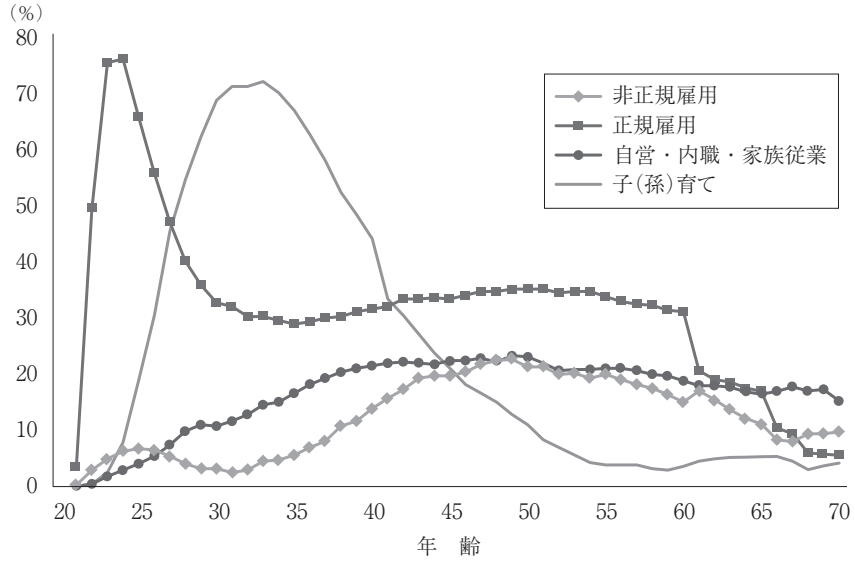


図 2–7　1935〜44 年生まれ・理系

ての最初の卒業生を出した後の 10 年に当る。全国では 1954 年の女子の四年制大学進学率が 2.4% であり、1962 年でもまだ 3.3% でしかない。女子人口の大半は大学どころか短大にもほとんど進学しない時代であり、女子の高校進学率がようやく 36.7%（1950 年）から 53.2%（1959 年）にまで上昇していった世代である。

1934 以前生まれコーホートのグラフでは正規雇用就業率は下がり続けていたが、このコーホートでは 30 代前半で底をうち、その後多少増加している。

また、育児に従事している人の比率のピークが 70% 前後に達しており、正規雇用率の谷と合わせて、前の世代とはかなり異なっているのが分かる。30 代後半以降（1940 年生まれの人で言えば 1970 年代後半に当る）の非正規雇用率の上昇、自営業率の上昇も目を引く。結果として、40 代・50 代あたり（1970 年代後半〜90 年代前半）の就業率の合計は 70〜80% に達している。育児による就業中断とその後の非正規雇用再就業のパターンが目に見え始めた世代だということができるだろう。

[1945 年〜1954 年出生コーホート]

このコーホート（図 2–8、図 2–9）は最年長者でも 2008 年時点で 63 歳であり、54 歳以降の集計は有効ケース数が減少していく。

※これ以後のコーホートのグラフでは、少数の人の影響が大きく表れることを避けるために、有効ケース数が 100 を切る部分は描画していない。

この層では、学部卒業直後の正規雇用就業比率がやや低くなっている。その他の点では前のコーホートと非常に似通っている。あえて言えば、子育て（孫育て）の従事比率が下がるのがわずかに遅くなっている。孫育てが加わっているというよりは、子育て時期が長引いているためと想像される。

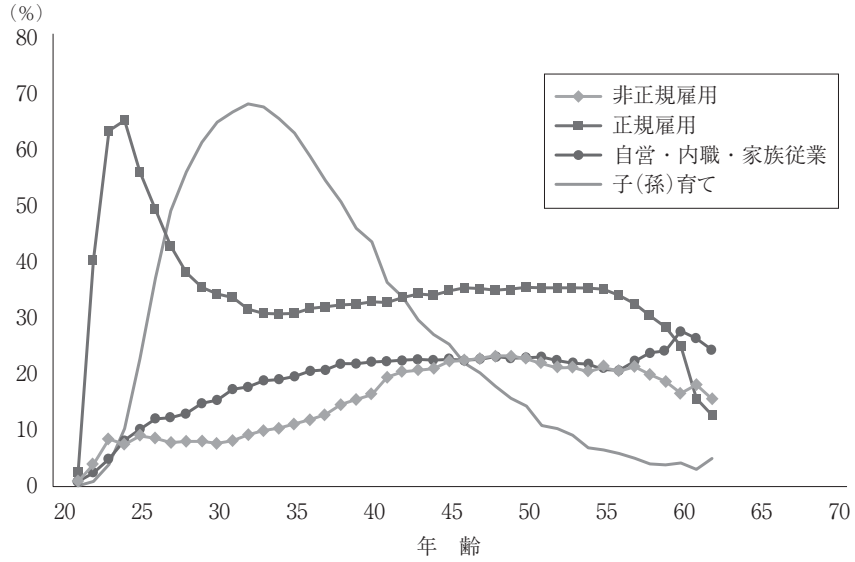


図 2-8　1945～54 年生まれ・文系

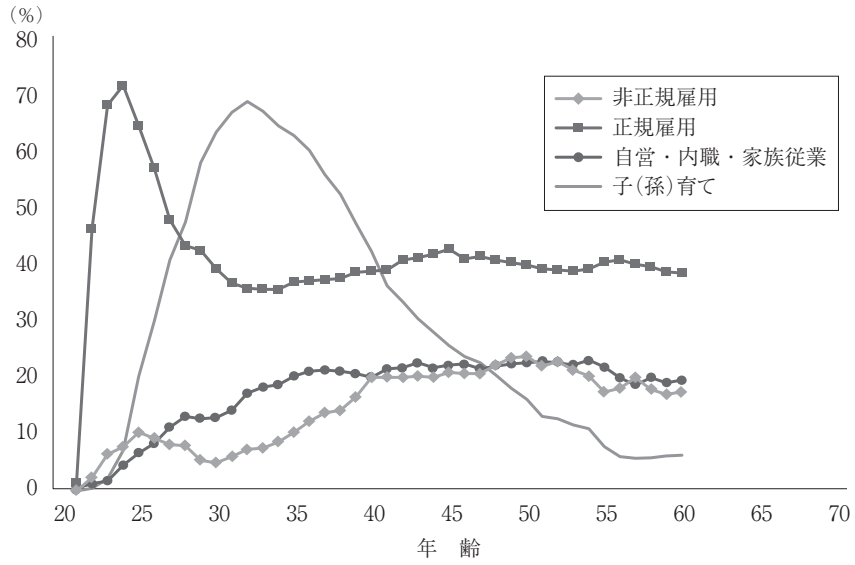


図 2-9　1945～54 年生まれ・理系

このコーホートは、全国の女子の四年制大学進学率が 4% 程度から 10% 近くにまで上昇した層である。短期大学進学者も合わせると同世代女性の約四分の一が高等教育に進学するようになった。彼女らが 22 歳であったのは 1967～77 年の高度成長が終わる前後であり、正規就業の底・育児のピークを迎える 32、33 歳は 1977～87 年頃、ポスト高度経済成長からバブル経済開始の時期に当る。

［1955 年～1964 年出生コーホート］

次は、1977～1986 年に 22 歳となるコーホートである。女子の四年制大学進学率が 12% 程度、短期大学進学率が 20% 余りで安定していた世代に当る。最年長者は 2008 年に 53 歳である。

図 2–10 と図 2–11 からはかなりはっきりとした特徴が二つ見られる。一つは、文系・理系いずれも、育児従事率のピークが下がる代わりに、その低下は緩やかになっている。文系では 45 歳でもまだ 40% 以上の人が育児に従事している。この層が 45 歳というと 2000 年以降であり、近年の生活状況を表している。この育児従事率の傾向は、晩婚化・晩産化によって、どの年齢で主に育児期となるかが人によってかなり異なってきた（つまり育児期の分散が大きくなってきた）ことの表れと考えられる。

また、20 代後半で現れる正規雇用就業率の底も若干上がっている。特に理系では 45% 前後で推移しており、前のコーホートより 5 ポイント前後高い。40 代後半の非正規雇用就業率の上昇度合いもやや上がっており、45 歳での就業率は文系で約 8 割、理系では 9 割を超える高い割合となっている。

2008 年の 44〜53 歳の年齢層の女性全体では就業率は 7 割前後であり（平成 20 年労働力調査より）、この学部卒業生達はそれよりも 1〜2 割高いことが分かる。更に正規雇用として就業している割合を比べると、日本の女性全体では 3 割に満たないが、この卒業生グループでは 30% 台後半（文系）から 40% 台前半（理系）であり、これも 10〜15% 高い。

1965 年生まれ以降は未だキャリアの前半しか描けないのでグラフは割愛するが、学部卒業後の正規雇用就業率の高まりとその減少のしにくさが確認され、40 歳を過ぎても 45〜50% の高率を維持している。また、育児期のピークが明らかにより高い年齢に移動しつつあることもうかがわれる。

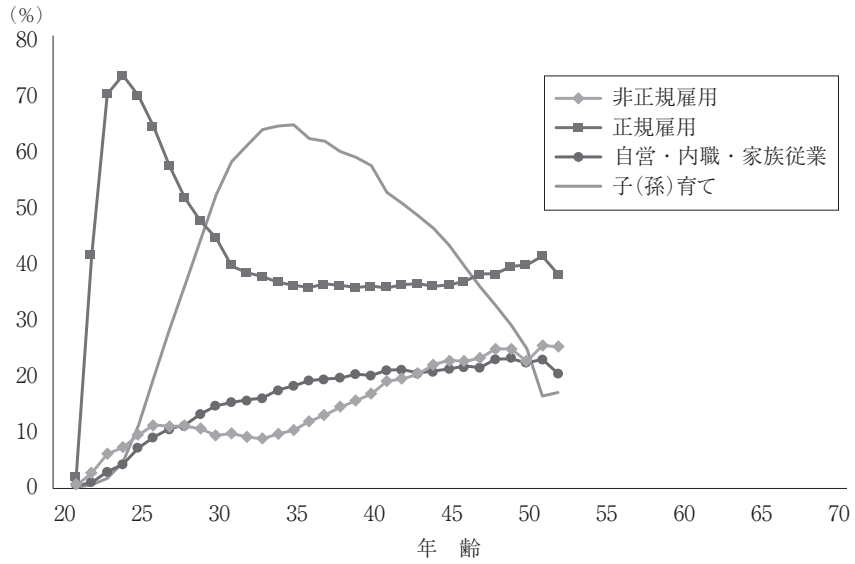


図 2–10　1955〜64 年生まれ・文系

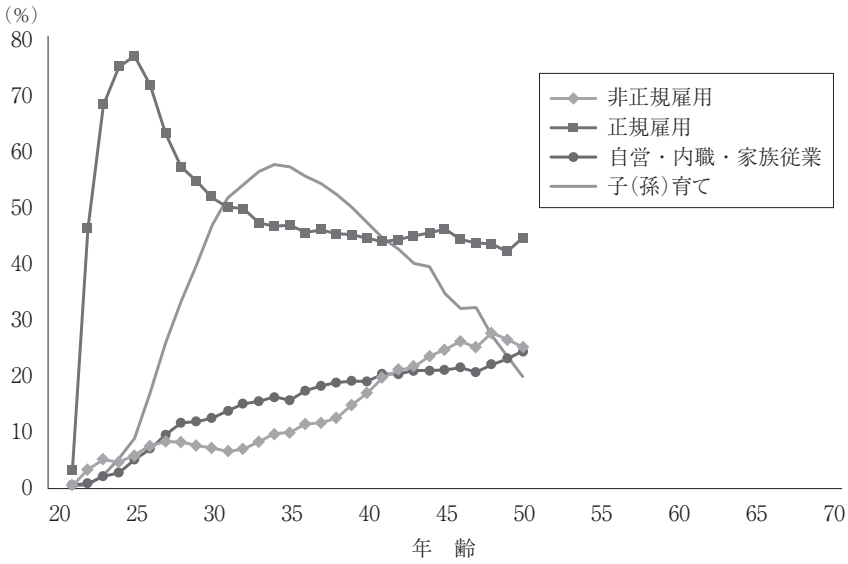


図 2–11　1955～64 年生まれ・理系

3．家庭と仕事

この節以降は女高師とお茶の水女子大学の卒業生について紹介する。卒業生の結婚、出産と仕事について、女高師を戦前に卒業した世代（1924 年以前生まれ）と、戦後に卒業していったその後の世代、そして均等法世代とは大きく傾向が異なるので、出生コーホートごとに、結婚や出産のタイミング、仕事と家庭の両立の状況、子育ての手助けと社会的サポート、ワークライフバランス、夫婦の収入バランスについて見ていくことにしよう。

3－1．結婚と出産のコーホートによる変化 ――晩婚、晩産化と子育て期間の拡散

図 3–1 は、女高師を戦前に卒業した世代（1924 以前生まれ）、団塊の世代を含む世代（1945～1954 生まれ）、均等法前夜世代（1955～1964 生まれ）、均等法世代（1965～1974 生まれ）、最近の卒業生（1975～1986 生まれ）など、特徴ある世代を取り上げ、17 歳以降、1 歳ごとに結婚に移行する者の割合をコーホート別に示したグラフである。線の下側の面積が未婚者割合を示すことになる。たとえば 25% の横線を階段グラフが交差する点は、卒業生の 4 人に 3 人が結婚に移行した年齢を示している。団塊の世代がもっとも結婚への移行が早く 75% が結婚したのが 26 歳、続いて戦前卒業世代の 27 歳である。均等法前夜世代は 28 歳、そして均等法世代になると 34 歳、最近の卒業生はさらに 1 年程度移行が遅くなっている。

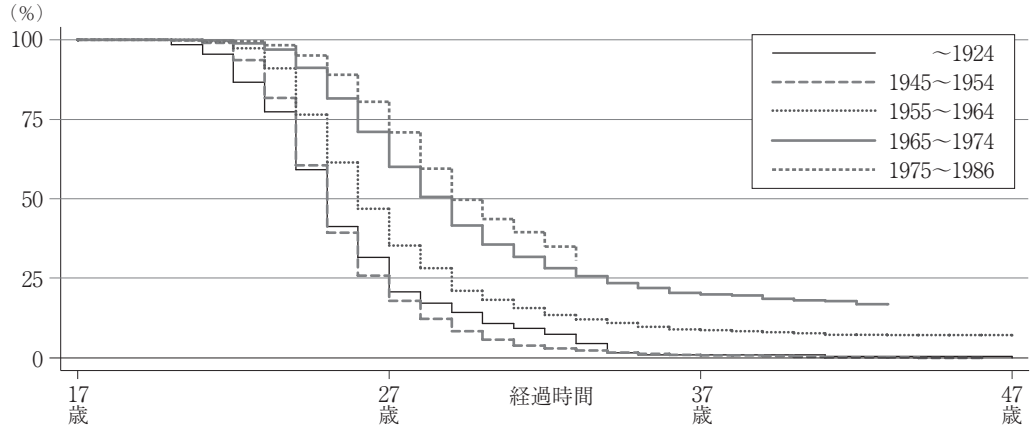


図 3–1　出生コーホート別にみた結婚への移行

図 3–2 は同じく 17 歳を起点に第 1 子を出産した者の割合の推移を特徴あるコーホート別に示したものである。線の下の面積がまだ子どもを産んでいない者の割合である。戦前卒業世代は、卒業後すぐさま子どもを持つ者も多い一方、30 歳でも 4 分の 1 が子供を持っていないという点で出産年齢の幅は広いものであった。教員として高学歴女性の新しい生き方を実践していた者が少なくなかったのだろう。これに対して、図では団塊の世代を代表として示しているが、1925 年以降生まれから 1954 年生まれまでの世代は、23～30 歳の間に卒業生の 8 割が第 1 子の出産を経験している。この世代の出産は狭い年齢幅に集中している。日本経済が高度成長を迎え、

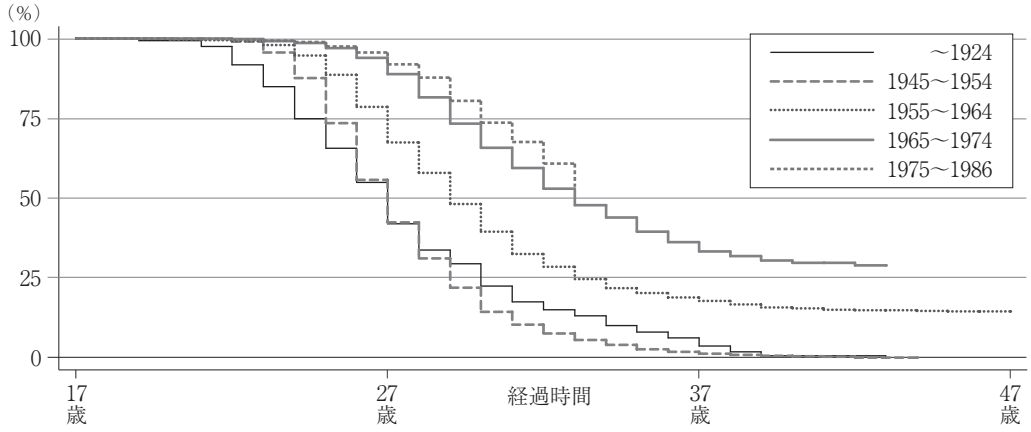


図 3–2　出生コーホート別に見た第 1 子出産への移行

男性の収入が毎年上昇する中で、高学歴女性の多くが結婚と良き家庭夫人へ向かう時代だったのだろう。しかしそれより若いコーホートは、晩産化傾向が顕著であり、結婚以上に世代差が大きい。32 歳時の第 1 子の出産者の割合を見ると、団塊の世代を含む世代（1945～54 年生まれ）は 9 割、均等法前夜世代（1955～1964 年生まれ）は 75% 弱、均等法世代（1965～1974 年生まれ）になると 5 割弱、そしてもっとも若い世代（1975～1986 年生まれ）はまだ 32 歳になっていない者が多いが、この年齢を迎えた者で計算すれば 4 割にとどまっている。高学歴女性の子どもを持つ時期が急速に変わりつつあることを実感させられる。もっとも若い世代と表現したが、この出生コーホートが労働市場に出たのは、1997 年から 2008 年であり、97 年 98 年に金融危機や大企業の倒産が続き、その後、非正規雇用拡大が一貫してすすんだ日本の労働市場の変容期である。他方で、育児休業制度の拡充など両立支援策がすすんだ時期でもある。

3－2．配偶者の職業 ――公務員から民間企業職員へ

結婚した者について、夫の職業をみると、図 3–3 のとおり世代によりゆるやかな変化が見られる。女高師時代は、配偶者の職業として、国家公務員、地方公務員と回答した者がおよそ半数を超えている。その後の卒業生になると、夫が公務員である者の割合は大きく縮小する。高度経済成長の中で、民間の大企業に勤務する夫が中心となっていった。もっとも若い世代では、バブル崩壊後、大企業の採用が全般に絞られたことの影響であろうか、中規模企業に勤務する夫がやや増加している。

比較は容易ではないものの[1)]、一つの参考として、2007 年の総務省『就業構造基本統計調査』から大卒男性（結婚経験あり）の現在の仕事について、現役と目される 20 歳代から 50 歳代を取り上げて、卒業生の配偶者と比較すると、本調査は、大企業勤務者の割合が 20% ポイント程度、国家公務員と地方公務員の合計の割合が 10% ポイント程度高いことがわかる。また若い世代ほ

1）お茶大調査は、「一番長く働いた仕事」を聞いており、また正社員かどうかを問うていない上に、これまで同様に妻の出生コーホートで集計をした。一方、比較として挙げた『就業構造基本統計調査』では、主な仕事ではなく、現在の仕事を聞いているものだから退職人口にあたる者は集計から除外した。また年齢も男性年齢階級で比較した点に注意が必要である。

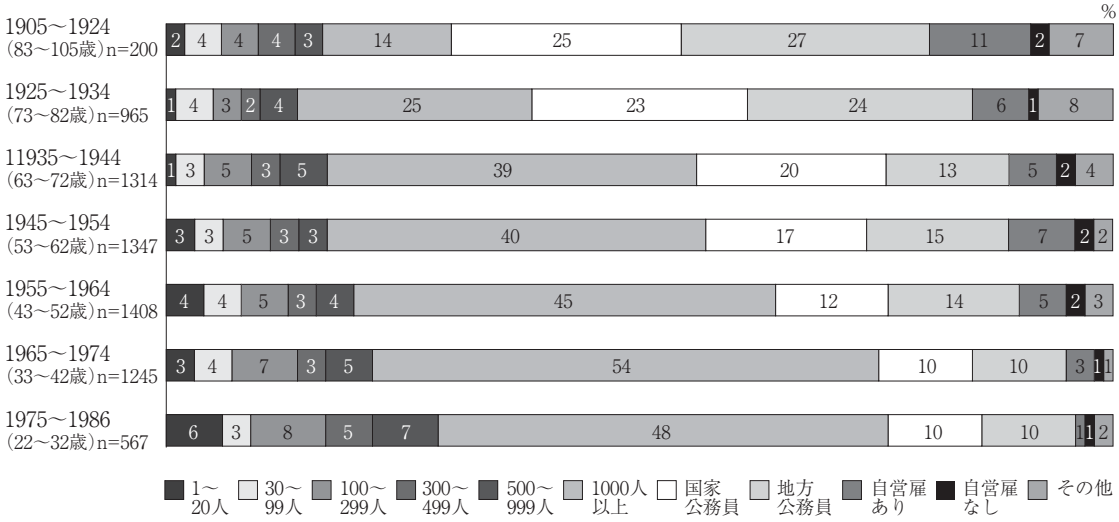


図 3–3　出生コーホート別にみた夫が一番長く働いた仕事

ど中・小規模企業への勤務者が増えているという全国の傾向はお茶大調査でも見られるがその割合は 10% ポイント以上低いものとなっている。

3－3．卒業生の現在の仕事 ――有配偶者の高い正社員比率

現在の仕事の状況について、全国の大卒女性（総務省『就業構造基本統計調査』2007 年）と本調査とを比較してみてみよう。20 歳代後半の正社員比率は 73%（全国は 59%）、30 歳代前半の正社員比率は 50%（全国は 39%）、40 歳代後半の正社員比率は 42%（全国は 33%）と、全国の大卒と比べると、正社員として働く者の比率が 10% ポイント以上高いのが特徴である。

これを、有配偶者に限って示したのが図 3–4 である。若い世代ほど、結婚後も正社員の仕事を持つ者が増加している。均等法世代では、43%、それ以前の世代も、約 4 割弱が正社員の仕事を持っているが、最近の卒業生は、結婚後も 62% が正社員の仕事を続けている。さらに図 3–5 は、子どもがいる者に限った集計だが、正社員比率は、均等法世代で 39%、もっとも最近の卒業生で 49% である。若い世代では、結婚しても出産はまだの者が増えている。仕事との両立のためにタイミングの良い時期を見はからって出産を遅延しているのかもしれない。

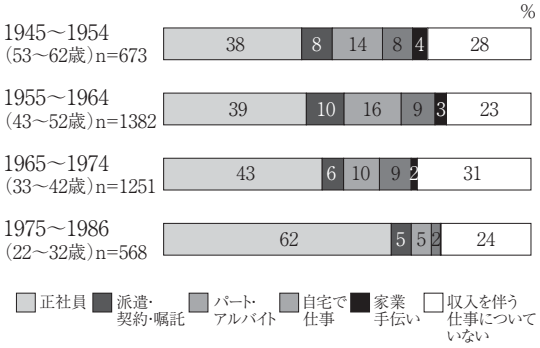


図 3–4　出生コーホート別にみた有配偶者の現在の仕事

注）夫 60 歳以下の世帯の妻の就職状況

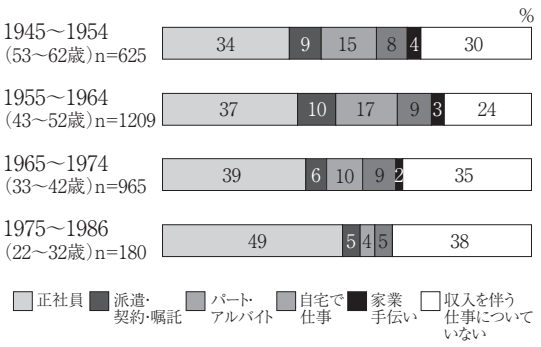


図 3–5　出生コーホート別にみた子どものいる有配偶者の現在の仕事

注）夫 60 歳以下の世帯の妻の就職状況

3－4．結婚と昇進 ――比較的高い役職者比率

日本では、女性の役職者比率が大変低い。厚生労働省『賃金構造基本統計調査』から一般雇用者に占める女性の管理職比率を35～64歳層まで5歳階級別に見ると、管理職の出現率は、男性がピークで係長6%、課長9%、部長5%に対して、女性はどの役職も1%に満たない。卒業生はどうか。現在の仕事について、民間企業、大学勤務、小・中・高等学校別に、回答を聞いているので、大きく二つの年齢階級に分け、それぞれで職位別に集計をした。たとえば民間企業に勤務している35～44歳層では表3–1のとおり役職なしは4割強であり、役職をもつ者がおおい。大学教員について、45～65歳層を見ると、表3–2のとおり教授の比率が4割を占める。女性全体と比較すれば役職者比率はとても高い。もっとも全員がこの設問に回答したわけではない。正社員数よりは多い人数が回答しているが、非正規雇用者の一部はこの設問に回答していないようだ。未婚と有配偶とを比べると、全体に未婚の方が役職比率は高く、家庭を持つことが一定程度昇進を阻害している。もっともその差は、存外に大きくはない。

表3–1　民間企業（年齢階層、婚姻状況別）

	35歳から44歳		45歳から65歳	
	未　婚	有配偶	未　婚	有配偶
社長重役	2%	4%	16%	20%
部長（相当）	1%	2%	16%	8%
課長（相当）	19%	17%	23%	14%
係長（相当）	35%	27%	11%	8%
役職なし	38%	45%	27%	41%
その他	5%	5%	8%	9%
% 計	100%	100%	100%	100%
サンプル数	174	431	64	480

表3–2　大学教員（年齢階層、婚姻状況別）

	35歳から44歳		45歳から65歳	
	未　婚	有配偶	未　婚	有配偶
教　授	0%	2%	49%	37%
准教授	46%	22%	20%	13%
専任講師	17%	15%	6%	5%
助　手	13%	6%	2%	3%
技　官	4%	1%	0%	1%
非常勤講師	13%	28%	16%	28%
教務事務補佐	2%	15%	4%	8%
その他	4%	10%	4%	6%
% 計	100%	100%	100%	100%
サンプル数	46	124	51	332

表3–3　学校教員（年齢階層、婚姻状況別）

	35歳から44歳		45歳から65歳	
	未　婚	有配偶	未　婚	有配偶
校　長	0%	0%	1%	1%
教　頭	0%	0%	1%	1%
教　諭	13%	14%	23%	20%
学校その他	0%	3%	5%	10%
その他	3%	7%	8%	14%
% 計	100%	100%	100%	100%
サンプル数	45	178	71	677

3－5．子育て ――夫の日常的手助け、社会的制度の利用の増加

子が 0 歳の時の育児（図 3–6）については、夫の日常的な手助けが若いコーホートで大幅に拡大している。戦前生まれは、夫の手助けとともに自分の親や夫の親の日常的な手助けも多かった。しかし戦中生まれおよび団塊の世代では夫の手助けも親の手助けももっとも低いものとなっている。妻による育児が一般的な時代であったのだろう。しかしそれより若い世代では、夫の日常的な手助けが増加しており、両立支援／雇用不安定化時代の卒業生（1975～86 年生まれ）では 54 % と大幅に高まっている。団塊の世代以降については、妻が正社員の場合は、夫の手助けは 10 % ポイント程度高い傾向があるが、このもっとも若い世代では、妻が無業でも 5 割の夫が日常的に育児にかかわっている。なお 1934 年生まれ以前については、この設問の回答率が 6―7 割と低いので実際に女高師時代は育児の男女平等がその後の世代より高かったかどうかを確実に言い切ることはできない。

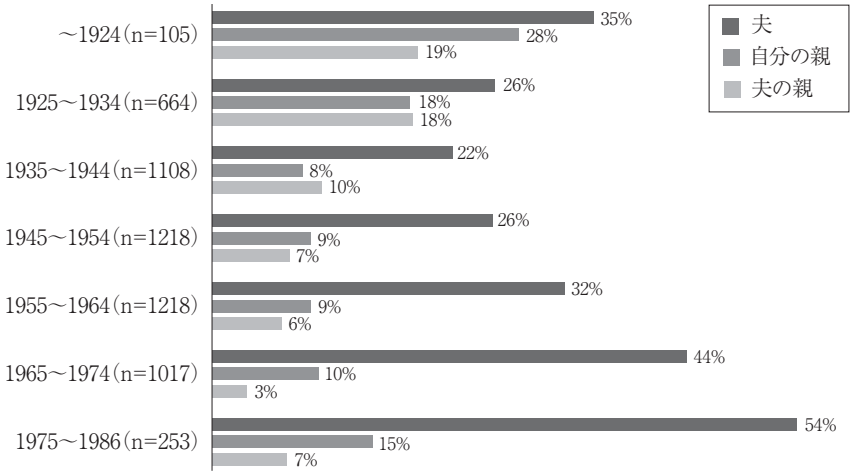


図 3–6　出生コーホート別にみた第1子が 0 歳の時の日常的な手助け

出産に際する社会的なサポートの利用も大幅に高まっている。第 1 子 0 歳のときに利用した制度（図 3–7）であるが 34～43 歳層（1965～1974 年生まれ）では、出産者の 4 割が、また 33 歳以下の層（1975～1986 年生まれ）では、半数が育児休業を利用している。これは全国の数字（2005 年の国立社会保障人口問題研究所『出生動向基本調査』における 2004 年の出産でも 16% 程度）に比べると大幅に高いものとなっている。戦前生まれの卒業生は、回答率がやや低かったためここでは表示していない。

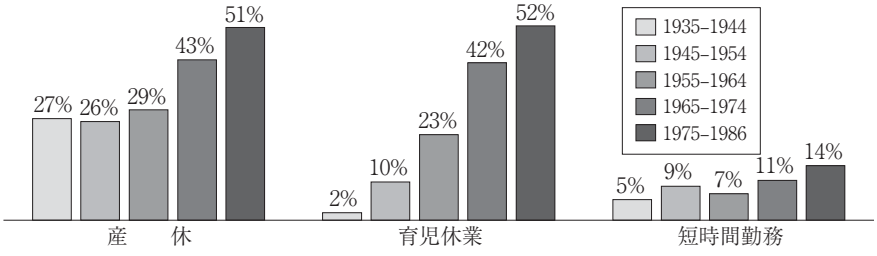


図 3–7　出生コーホート別にみた第1子が 0 歳の時の休業や短時間勤務制度の利用

認可保育園、認可外保育園について（図 3–8）は、両者計でもっとも若いコーホートの 3 割程度が子どもが 0 歳の時点で利用している。またファミリーサポートセンターや子育て支援センターの利用も最近のコーホートで大幅に増えている。ベビーシッターや保育ママが大きく下がっているのは、0 歳時点で保育園に入れない場合は育児休業をとる者が多いためではないかと考えられる。

最近の卒業生ほど、育児休業制度や保育園などを利用して仕事を継続している。

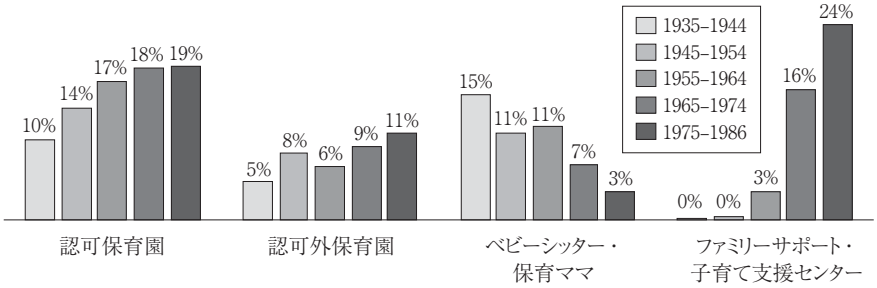


図 3–8　出生コーホート別にみた第1子が 0 歳の時の保育園や保育ママ、子育て支援センターの利用

3–6．労働時間と家庭生活 ――長時間労働とワークライフバランスの困難

子どもを持ちながら、仕事と家庭を両立している者は増加しているが、労働時間そのものは増加し、家庭の生活時間は減少している模様だ。

子どもを持つ前後での帰宅時間を比較するため、以下は子どもを持つ者に限った集計として示した。若い世代ほど度数が減少しているのは子どもを持っていない者も多いためである。

最近の卒業生ほど帰宅時間は遅い時間帯に分布するようになった。図には示していないが、結婚 1 年前の帰宅時間を調べると、団塊の世代は 18 時がピークだが、最近の卒業生は 21 時がピークである。図 3–9 は、結婚 1 年後を示したが、ここでも最近の世代は、遅い時間にも分布するようになった。

もっとも子どもが 1 歳の時の仕事を持つ母親の帰宅時間はどのコーホートも午後 6 時に集中している。子どもが 1 歳の頃は定期的に自宅に帰れる勤務先でないと仕事を続けにくいのだろう。

結婚 1 年後の夫の帰宅時間は、午後 8 時と午後 10 時という 2 つのピークが見られるが、図 3–11 のとおり若い世代ほど、午後 8 時という帰宅時間のピークがなくなり、帰宅時間は遅くなる傾向が見られる。高度成長期に仕事漬けだったはずの団塊の世代の方が、帰宅時間は全般に早かったのである。ただし、子どもが 1 歳のときを見ると、図 3–12 のとおり団塊の世代では、むしろ夫の帰宅時間が結婚当時よりも遅くなる傾向が見られるが、最近の世代では、早くなっている者も見られる。共働きが一般化する中で、子どもの送迎を一定程度分担している夫もいるものと想像される。

サンプル数が少ないので図から割愛したが、戦前の卒業生の夫の帰宅時間は、さらに早い。働く時間は男女とも延びていることが示されている。

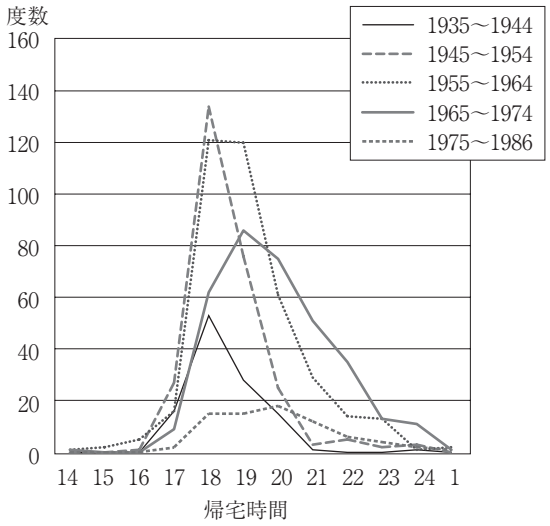


図 3-9　結婚 1 年後の妻の帰宅時間

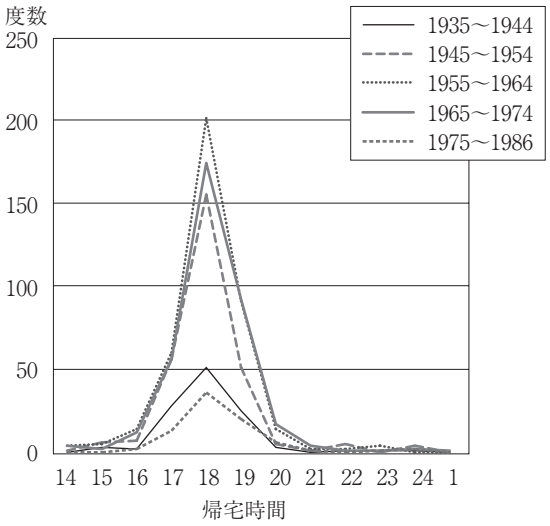


図 3-10　子どもが 1 歳時の妻の帰宅時間

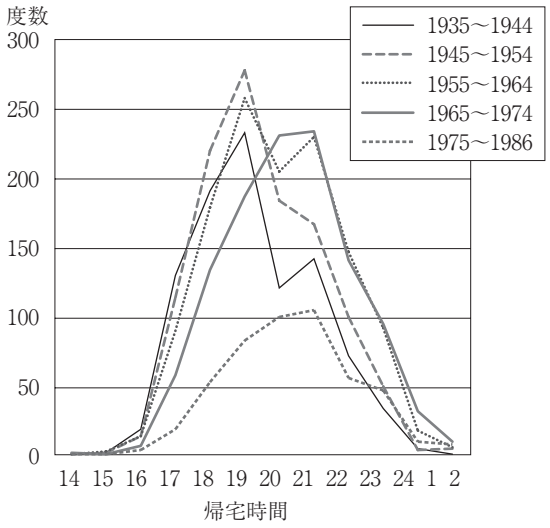


図 3-11　結婚 1 年後の夫の帰宅時間

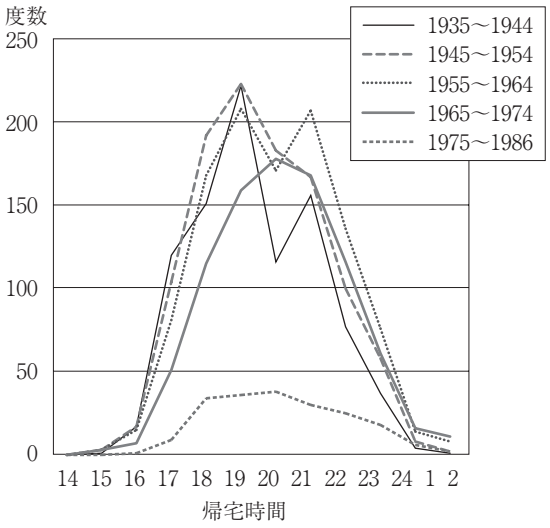


図 3-12　子どもが 1 歳時の夫の帰宅時間

3－7．夫と妻の収入割合 ――正社員夫婦では、妻の収入は夫の８―９割

妻の収入割合は、30歳代後半以上で2割、それ以下の世代で3割である。総務省『全国消費実態調査』からの集計（1999年）では、54歳以下の核家族世帯の妻の収入割合はわずか11％であった。これに比較するとかなり妻の家計貢献が高いと言える。また妻が正社員に限ると、45％程度であり、特に50歳代の世代の妻がほぼ夫と均等な収入を得ている点でおおいに健闘している。

ただし夫の育児分担が若い世代で高まっているのに対して、妻の収入割合の増加はそれほど大きくはない。

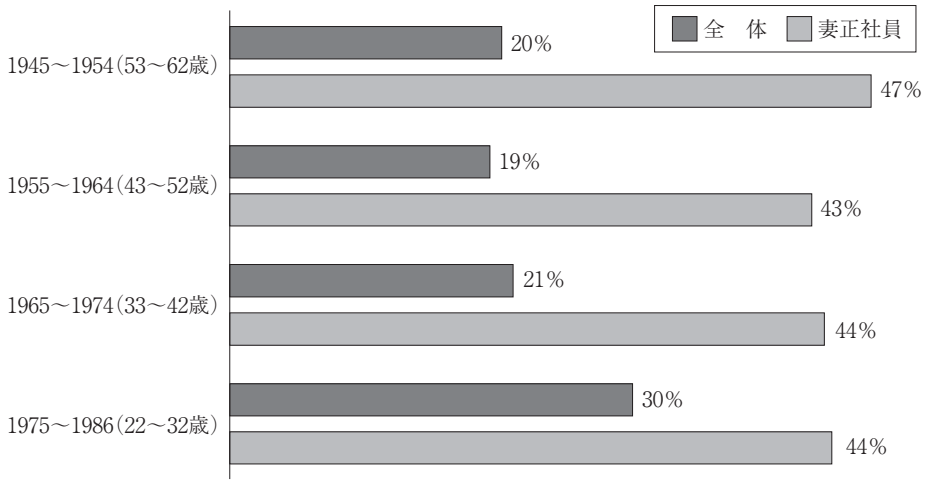


図 3-13　出生コーホート別にみた妻の収入割合

注）夫60歳以下の世帯の夫と妻の収入合計にしめる妻の収入割合

戦前から最近の卒業生までをたどると、他大学の卒業生と比べても、仕事を継続し、社会的に責任のある立場に就いている者が多いという特徴が見える。また全国データでは、まだ政府が推進している両立支援の効果があまり出ていないが、本学の最近の卒業生については、育児休業や保育園などの社会的なサポートを利用して、出産後も仕事を続ける者が増えている。しかし出産をする者は相対的には下落している。おそらく両立は大きい努力の上にようやく成り立っているに違いない。結婚前後の時期について尋ねると、夫も妻も仕事からの帰宅時間が全般に遅くなっている。

4．生き方と価値観

4－1．性役割意識は戦後教育、キャリア意識は雇用機会均等法がメルクマールに

本調査では、結婚・子育てをめぐるライフプランを、大学卒業時に理想としていた生き方、現在までにたどってきた生き方、将来の予想という3つの問いで尋ねた。3つの問いに共通して、1965年生まれ（43歳）以下の世代（おおむね男女雇用機会均等法以降の世代）とそれ以上で差がみられた。すなわち、1965年生まれ以降の若い世代では、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という回答が卒業時の理想である割合が高く、その後も実際に結婚し子どもを持ちながら仕事を続けている割合が高いのである。この世代では当初から結婚も仕事も子育てもという

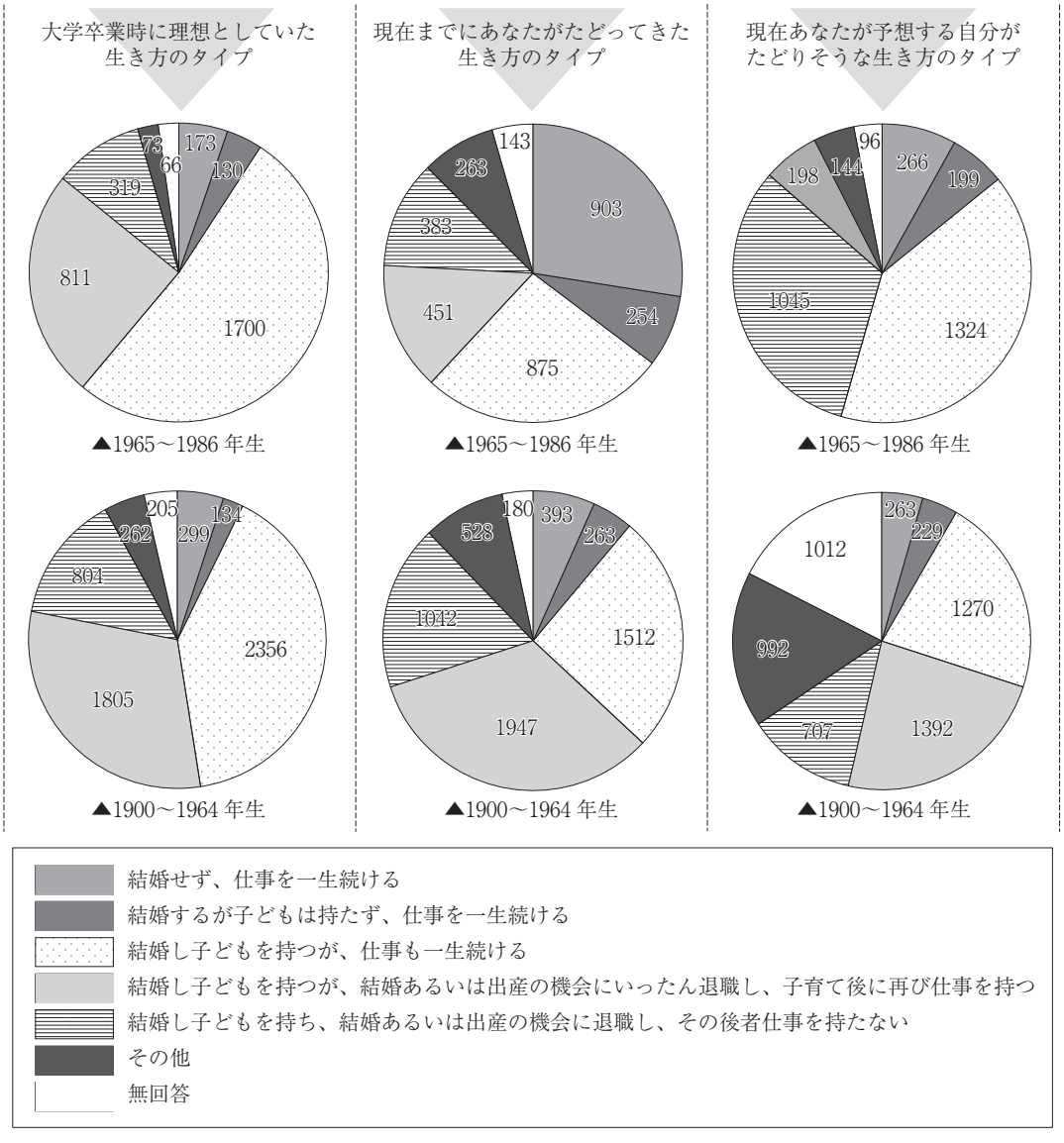


図4–1　1900～1964年生まれ、1965～1986年生まれの回答傾向

志向を持ち続けていることがわかる。

本調査ではまた、男女の役割のあり方に関して、伝統的な性役割についての考え方と、男女平等や男女協働についての考え方を尋ねている。

伝統的性役割観についての質問、すなわち、「家庭のこまごまとした管理は女性でなくてはと思う」「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」など、伝統的な女性あるいは男性の役割について支持するかどうかの質問群については、図 4–2 のように、おおむね 70 歳以上（1934 年以前の生まれ）の世代と、それより若い世代で、統計的にも意味のある差が見られた。グラフを見ても、女性はこうあるべきだ、といった伝統的な役割観を支持する層が、1934 年以前のいわゆる昭和ひとけた生まれの世代から明治生まれにかけて漸増している。つまり逆に言えば、伝統的価値観の支持は、断層のように、大正生まれから昭和ひとけた生まれにかけて急減し、義務教育の男女共学を基本とする戦後世代以降では、ほぼ一貫して伝統的価値観にしばられない“男女平等”の考え方が支持されている。その一方で、「妻も収入を得て家計を支えるべきだ」「男性も女性と同等に家事・育児にかかわるべきだ」など、より踏み込んだ男女の協働に関わる「男女の平等や協働の意識」については、若い世代で支持が多い傾向が統計的にも見られるものの、さ

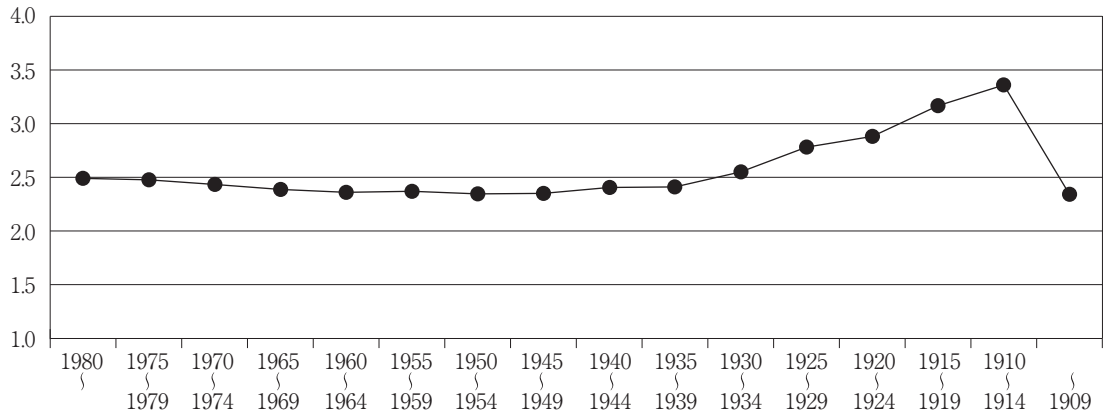


図 4–2 「伝統的性役割観」の年齢別回答傾向

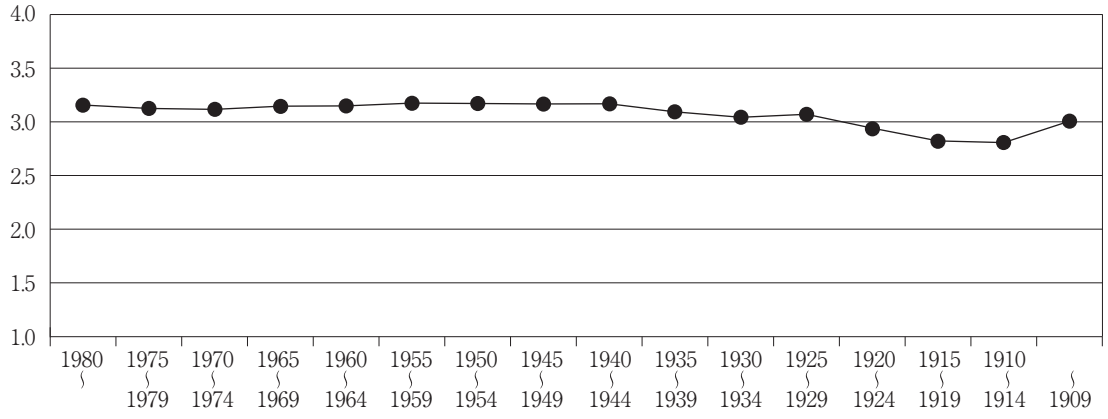


図 4–3 「男女の平等や協働の意識」の年齢別回答傾向

きの伝統的性役割観ほど大きな断層はなく、世代間の差が比較的小さかった（図 4–3）。非正規雇用の増加などによる雇用形態の変化や長引く不況により、男女が性別に関わりなく家事や勤労を分担する必要性が社会構造から迫られている時代とも言われているが、より踏み込んだ男女の協働が当然とされるには、まだしばらくの時間がかかるのかもしれない.

5．社会的活動

5－1．子育て終了や定年を機に増大

社会的活動と子育て期間の関係を年齢別（図 5–1）に見ると、大学卒業直後から 30 歳ころまでは参加率が低いものの、子育て期のピークを越えたところ（30 歳代後半）からその割合は増大し、60 歳を過ぎると横ばいとなった。大学卒業直後から 20 歳代後半は、社会的活動への参加率は低いが、子育てから手が離れる頃に参加率は増加し、定年を迎える 60 歳以降には最も参加率が高くなる傾向がみられた。

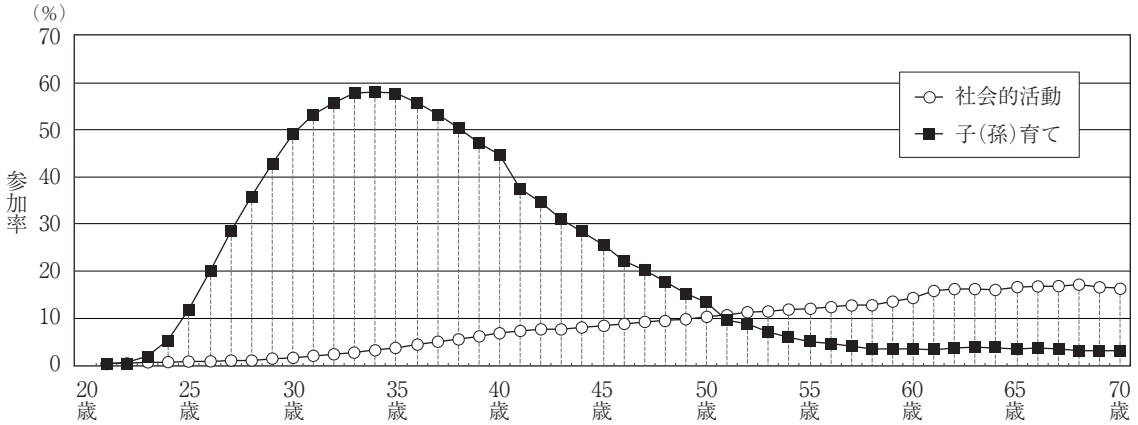


図 5–1　社会的活動と子育て期間の関係

社会的活動の参加状況を出生コーホート別（図 5–2）に見ると、他と比較して 1945 年～1954 年出生（54 歳～63 歳）、1935 年～1944 年出生（64 歳～73 歳）の参加率がやや高く、1924 年以前出生では、どの年齢においても参加率は 10% 以下であることがわかる。参加率が高いこの世代は、戦後の日本に強い影響を与えた「団塊世代」であり、教員として定年まで勤務する人が多

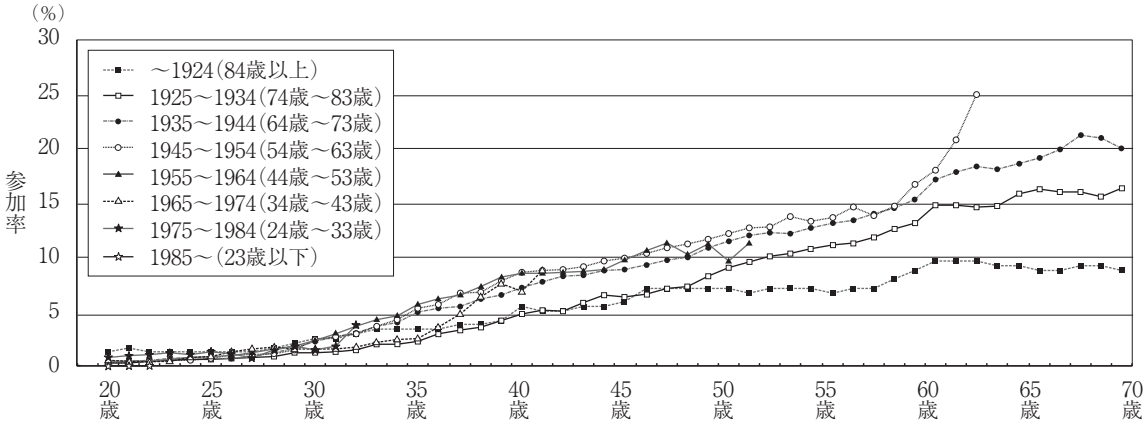


図 5–2　社会的活動と出生コーホートの関係

い。博報堂エルダービジネス推進室「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査（2005年7月実施）」において、団塊世代の6割以上が定年後も「社会的役割」を持ちたいと希望し、「生涯現役」スタイルを望む世代であると報告されていることから、団塊世代の本学卒業生も定年を迎える60歳頃から「社会的な活動・役割」志向が強くなり、社会的活動への参加率が上昇したものと推察できる。

社会的活動の参加状況を出身学部別（図5–3）に見ると、理学部と比較して生活科学部や文教育学部出身者の方が社会的活動への参加率は高く、定年を迎える60歳以降は生活科学部出身者の参加率が増大した。図には示していないが、文系（文教育学部、生活科学部の食物関連学科以外）、理系（理学部、生活科学部の食物関連学科）別に見た場合、30歳代前半までは双方ともに参加率は低いものの、30歳代後半から徐々に文系の参加率が高くなり、その差は徐々に広がる傾向が認められた。

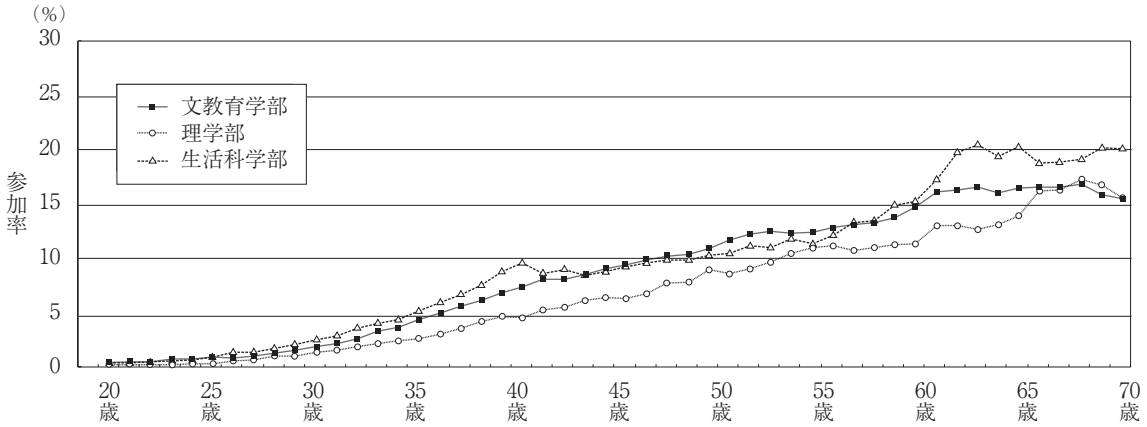


図5–3　社会的活動と出身学部の関係

社会的活動の参加状況を職業別（図5–4）に見ると、20歳代では職業による大きな差は認められないが、30歳頃から「パート」従事者における参加割合が高くなり、「自宅で仕事」をしている場合は60歳から急激に参加者割合が増大した。一方、正社員は他の職業と比較して参加率が

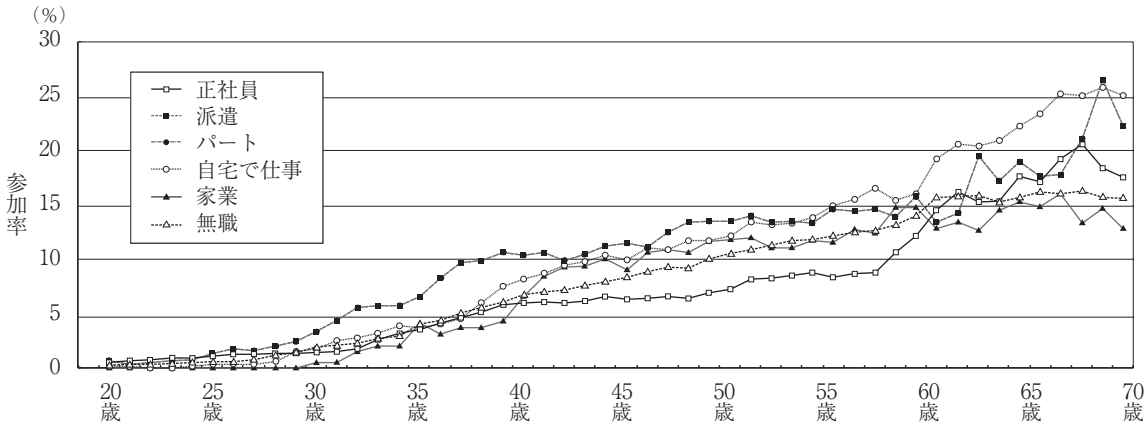


図5–4　社会的活動と職業の関係

低いものの、定年を目前とした59歳から参加率の上昇がみられた。本学の卒業生は正規雇用者が多く、定年まで継続して働く傾向があるため、定年頃に社会的活動への参加率が上昇したと考えられる。

これらの結果から、本学の卒業生が社会的活動に参加するきっかけは、子育て期のピーク後、定年後、自宅で仕事をしているなど、「時間を自由に使えるようになる」ことといえるだろう。

第二部　卒業生のライフコース全体版
：本学との関わりとライフコース

1. 調査対象者の基本属性

1－1．学部卒業生の生年と卒業年

調査対象者は、大正 9 年 3 月から平成 20 年 3 月までに東京女子師範学校、お茶の水女子大学、もしくは同大学院を学部卒業・大学院修了した 9141 名である。卒業年コーホート・卒業学部と生年の関係を表 1–1 に示す。

調査対象者の生年内訳は、1929 年以前（6.2%）や 1980 年以降（9.7%）に出生した人の割合は低いものの、ほぼ均等な割合（16〜17% 前後）で構成されており、今回の調査が幅広い年齢層から回答を得られたことを示している。

学部卒業年については、1950 年以前卒が 5.9%、1951〜1960 年卒が 12.9%、1961〜1970 年卒が 15.6%、1971〜1980 年卒が 16.0%、1981〜1990 年卒が 16.5%、1991〜2000 年卒が 17.9%、2001 年以降卒が 13.1%、無回答が 2.1% であった。お茶の水女子大学が新制大学として発足した 1946 年以前の学部卒業生からも、その割合は少ないものの、数にして 500 人程度の非常に貴重な回答を得た。中には、「対象者本人による回答が困難なため、代筆による回答をした」との手紙を添えた回答がいくつか認められ、本学に対する期待と愛情が垣間見られた。

表 1–1　卒業年コーホート・卒業学部と生年

Q1. 生年（西暦）	全　体		卒業年コーホート							卒業学部		
	%	実数	–1950	1951–1960	1961–1970	1971–1980	1981–1990	1991–2000	2001–	文教育	理	家政・生活科学
1919 年以前	0.8	73	10.6	—	—	—	—	0.1	—	0.2	—	—
1920〜1929 年	6.2	565	83.5	4.4	—	—	—	—	—	3.3	0.4	0.3
1930〜1939 年	15.9	1454	5.9	94.6	19.1	0.1	0.1	—	0.1	18.2	15.9	12.1
1940〜1949 年	15.9	1451	—	0.9	80.6	19.0	0.2	0.1	0.1	18.2	18.1	13.9
1950〜1959 年	16.2	1479	—	—	0.3	80.5	17.9	0.2	0.3	15.4	17.7	19.9
1960〜1969 年	17.4	1586	—	—	—	0.3	81.5	19.4	0.9	17.8	16.7	20.9
1970〜1979 年	17.8	1628	—	—	—	—	0.3	79.7	25.0	17.4	19.4	21.5
1980 年以降	9.7	891	—	—	—	—	—	0.6	73.5	9.4	11.6	11.3
無回答	0.2	14	—	0.1	—	0.1	—	—	0.1	0.1	0.1	—
合　計	100.0	9141	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数			538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
横　計	100.0	9141	5.9	12.9	15.6	16.0	16.5	17.9	13.1	42.9	21.0	27.0

1－2．学部入学年

出身大学（学部）の入学年を回答者全員にたずねた結果が図 1–1 である。全回答者のうち 1950 年以前に学部を入学した者の割合は 8.2% である。1951〜1960 年入学が 15.4%、1961〜1970 年入学が 15.1%、1971〜1980 年入学が 16.2%、1981〜1990 年入学が 16.7%、1991〜2000 年が入学 17.3% と、1951 年から 2000 年までの回答者を 10 年毎に区切った場合の割合は同程度で

ある。2001 年以降はやや少なく 6.6%、無回答は全体の 4.6% であった。

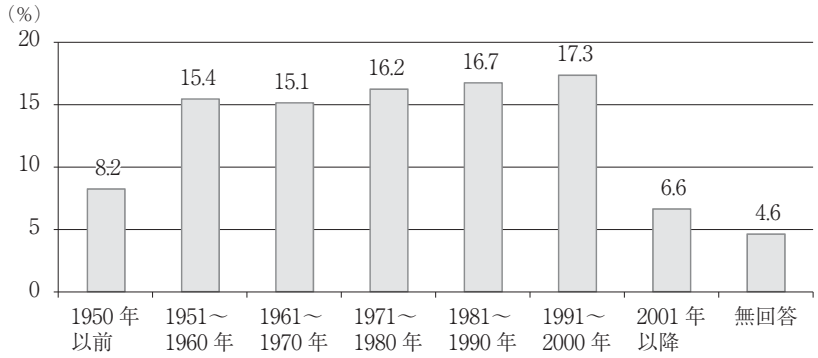


図 1–1　学部入学年 (n=9141)

1－3．出身高校

調査対象者（n=9141）のうち、新制高校出身者は 90.9%、旧制高等女学校、旧制師範学校等出身者は 7.4% であった（付 2 クロス集計表。新制高校出身者（n=8308）に対し、設置主体、出身高校の所在地、出身高校の共学校・女子校の分類を調査した。

設置主体は都道府県立が全体の 78.6%、私立が 12.9%、国立が 7.8% を占めており、多くは都道府県立高校出身者である。学部卒業年別にみると、私立出身者の割合が徐々に増加し、一方で都道府県市立や国立出身者は減少する傾向がみられた。出身高校の共学校・女子校の分類では、共学校が 73.5%、女子校は 26.0% と共学が 4 分の 3 を占めていた（付 2 クロス集計表：学部卒業生 Q3)。

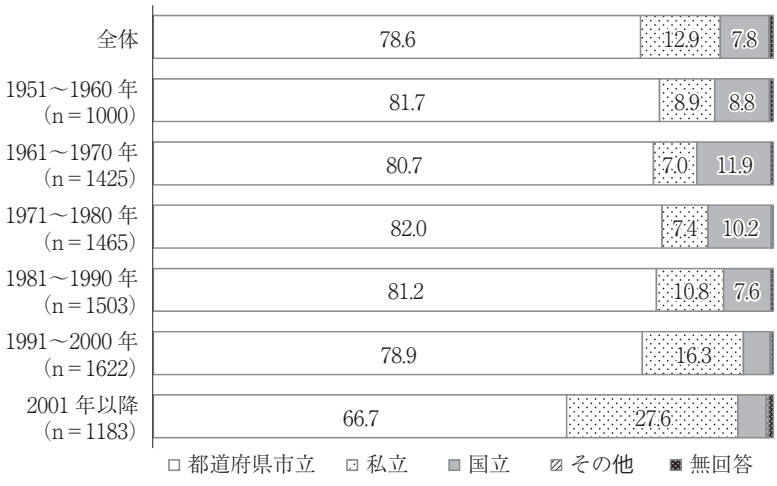


図 1–2　卒業年コーホートと高校の設置主体の関係 (n=8308)

1－4．出身大学（学部）

出身大学及び、出身学部・学科を表 1–2 に示す。文教育学部が 42.8% と最も多く、次いで家政学部・生活科学部 27.2%、理学部 20.8% であった。内訳をみると、文教育学部では、多い順に、教育学科 8.0%、外国文学科 6.5%、その他の学科（地理、中文等）、国文学科 6.1% であった。理学部では、多い順に化学科 5.2%、数学科 5.0%、生物学科 5.0% である。家政学部・生活科学部では、児童学科（6.5%）、食物学科（6.4%）、被服学科（5.2%）の順に多かった。なお、今回の調査対象者の多くは新制大学以後の本学の卒業生であり、東京女子高等師範学校は 5.9%、お茶の水女子大学以外の大学（お茶の水女子大学大学院の修了生として回答）は 1.2% であった（付 2 クロス集計表：学部卒業生 Q4）。

表 1–2　出身大学及び出身学部・学科

大学・学部			実数	%	% 計
東京女子高等師範学校			535	5.9	5.9
お茶の水女子大学	文教育学部	哲学科	254	2.8	42.8
		史学科	326	3.6	
		国文学科	555	6.1	
		外国文学科	595	6.5	
		教育学科	729	8.0	
		舞踊教育学科	167	1.8	
		人文科学科	132	1.4	
		言語文化学科	211	2.3	
		人間社会学科	131	1.4	
		芸術表現行動学科	94	1.0	
		その他の学科（地理、中文等）	572	6.3	
		その他の学科（臨教等）	108	1.2	
		その他学科（その他）	43	0.4	
	理学部	数学科	458	5.0	20.8
		物理学科	361	3.9	
		化学科	478	5.2	
		生物学科	461	5.0	
		情報科学科	149	1.6	
		その他学科	13	0.1	
	家政学部・生活科学部	児童学科	592	6.5	27.2
		食物学科	581	6.4	
		被服学科	471	5.2	
		家庭経営学科	238	2.6	
		生活環境学科	234	2.6	
		人間生活学科	321	3.5	
		その他学科	32	0.4	
お茶の水女子大学以外の大学			110	1.2	1.2
無回答			190	2.1	2.1
総　数			9141	100	100

1－5．大学院進学者の入学年

調査対象者 9141 名のうち、大学院修士課程・博士前期課程進学者は 1839 名であり、博士課程・博士後期課程進学者は 539 名であった。これらには、学部が本学出身者のうち、本学以外の大学院に入学した者も含まれている。

修士課程・博士前期課程入学年は、1970 年以前が 13.9%、1971～1980 年が 14.2%、1981～1990 年が 18.4%、1991～2000 年が 27.6%、2001 年以降が 24.9% であり、年々大学院へ進学する割合が増大していることがわかる（図 1–3）。進学先の回答内容を確認すると 7 割以上がお茶の水女子大学大学院へ入学しており、次いで東京大学大学院が 1 割弱、東京工業大学大学院、海外の大学院への進学も認められた。

博士課程・博士後期課程入学年は、1970 年以前が 12.6%、1971～1980 年が 8.7%、1981～1990 年が 14.7%、1991～2000 年が 33.6%、2001 年以降が 29.7% であった（図 1–3）。大学院修士課程・博士前期課程と同様に、お茶の水女子大学大学院の博士課程・博士後期課程に入学する人が 7 割弱と多く、次いで東京大学大学院が 1 割弱みられた。博士課程・博士後期課程の修了形態については、45.6% が学位取得修了、29.4% が単位取得満期退学、10.2% が退学であった（付 2 クロス集計表：学部卒業者）。

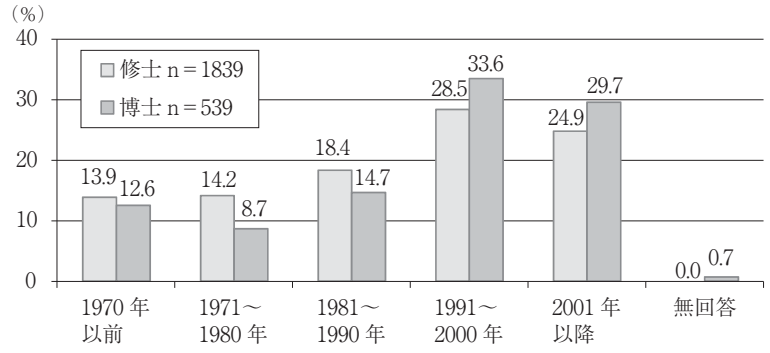


図 1–3　大学院入学年

1－6．大学院修了年と生年（修士課程・博士前期課程、博士課程・博士後期課程）

大学院修了者のみを対象とした集計より、修士修了年および最終学歴と生年の関係を表 1–3 に示す。以降の分析で用いる修了年コーホートの内訳は表 1–3 に示すとおりであり、「付 2 クロス集計表：院修了者」に掲載する内容と対応している。大学院修了者のうち 1991～2000 年修了コーホートが 28.1%、2001 年以降修了コーホートが 29.5% と多くを占め、約 6 割は 1991 年以降の大学院修了者である。大学院修了者のうち最終学歴は修士が 74.0%、博士が 26.1% である。

表 1–3　修士修了年および最終学歴と生年の関係

Q1. 生年（西暦）	全　体		修士修了年					最終学歴	
	%	実数	–1970	1971–1980	1981–1990	1991–2000	2001–	修士	博士
1919 年以前	0.1	1	0.5	—	—	—	—	0.1	—
1920～1929 年	0.6	11	5.0	—	—	—	—	0.4	1.1
1930～1939 年	6.0	108	41.8	2.0	2.0	1.0	0.8	4.9	8.9
1940～1949 年	14.1	255	52.2	42.3	4.1	3.0	3.0	13.8	15.1
1950～1959 年	17.2	311	—	55.6	36.8	4.9	5.8	17.3	17.0
1960～1969 年	22.2	401	—	—	56.8	39.1	5.6	19.9	29.1
1970～1979 年	25.7	463	—	—	—	52.1	37.3	25.6	25.7
1980 年以降	14.0	252	—	—	—	—	47.5	17.9	2.8
無回答	0.1	1	—	—	0.3	—	—	—	0.2
合　計	100.0	1803	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数			200	248	296	507	531	1334	470
横　計	100.0	1803	11.1	13.8	16.4	28.1	29.5	74.0	26.1

1–7．出身地

新制高校出身者（n=8308）の出身高校所在地は、東京（29.1%）や東京以外の関東（25.1%）、次いで中部・北陸（19.6%）が大きくその割合を占めている。次いで九州・沖縄（10.2%）中国・四国（7.3%）と続く。その他は、北海道・東北 4.7%、近畿 3.5%、海外 0.5% であった。出身校は全国各地に分布しているものの、半数は関東（54.2%）出身である。

学部卒業年別にみると、1951 年以降、2000 年ごろまで東京都内の高校出身者の割合は徐々に減少し、一方で九州、中部、東京以外の関東出身者の割合は増加する傾向がみられた。2001 年以降は依然として東京・東京以外の関東の割合が多いものの、地方出身者の割合は年々増加していることがわかる。

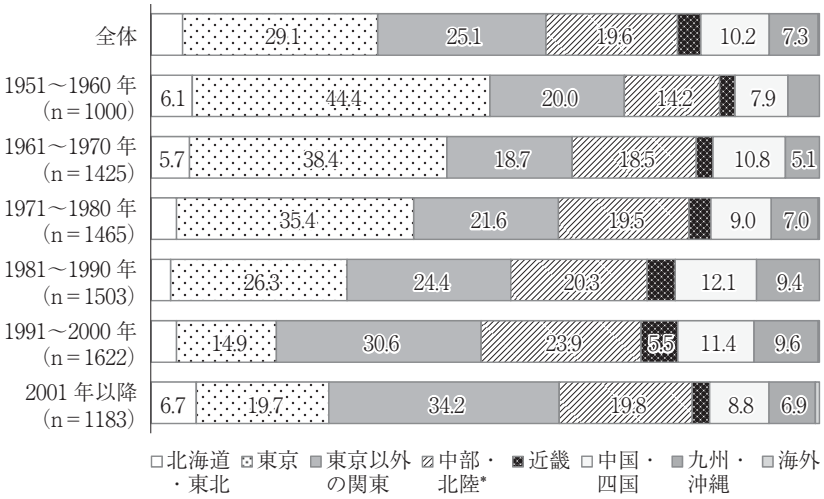


図 1–4　卒業年コーホートと出身高校所在地の関係（n=8308）
＊調査票選択肢の「信越」を含む

1－8．現在の居住地

現在（2008 年 4 月 2 日現在）の居住地については、東京（37.5%）、東京以外の関東（34.6%）の回答が 7 割を占め、学部本学の卒業生の多くが関東に居住していることがわかる。出身高校の所在地は関東出身者（「東京」「東京以外の関東」の合計）が約半数であったものの、現在の居住地は「東京」が 37.5%、「東京以外の関東」が 34.6% であり、関東が 7 割強を占める。一方、現在の居住地が「中部・北陸」「中国・四国」「九州・沖縄」である者の割合は、出身校所在地と比較して大幅に少ない。これらの地域からの進学者は、卒業後は関東にそのまま就職・居住する傾向があると推察できる。

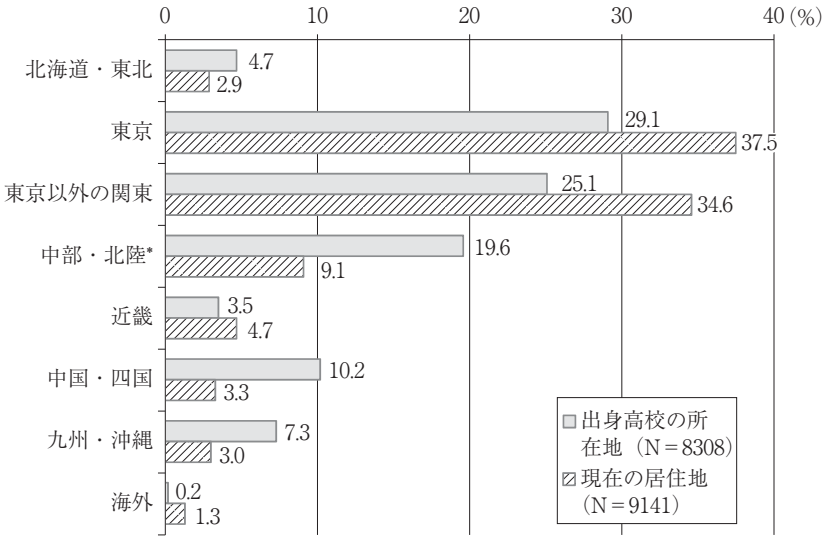


図 1–5　出身高校の所在地と現在の居住地との比較
＊調査票選択肢の「信越」を含む

以降の分析は、調査回答者の総数が学部卒業者 9141 名、大学院修了者 1804 名を対象とした集計結果に基づくものである。回答者が限定される設問は n（回答対象者の総数）が調査全体の回答者と異なるため、図表タイトルに n を記している。特に n が記されていない場合は調査回答者全体に該当する設問であり、n は本調査の回答者の総数（学部卒業生 n = 9141、大学院修了生 n = 1804）である。なお、図表中、回答割合が 5.0 未満の値は表記を省略している場合がある。

2．学部・大学院在学中の生活

2－1．学部在学中の生活

（1） 学部在学中に力を入れたこと

大学生の間、学生は学業以外にもさまざまな活動に参加する。ここでは、さまざまな活動のうち代表的な 10 の項目を挙げ、お茶大学部卒業生の大学生活の特徴についてみてみる。なお、選択肢は「力を入れた」、「ある程度力を入れた」、「あまり力を入れなかった」、「力を入れなかった」までの 4 段階である。

「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合計してみてみると、学部在学中に力を入れてきたという回答が最も多かったのが「友人とのつきあい」（86.3％）であり、次いで「大学の授業や研究」（83.8％）、「関心領域についての自主的学習・読書」（75.6％）と続く。「自分の趣味」（64.1％）、「サークルやクラブ活動」（59.6％）、「アルバイト」（56.1％）を含め 6 項目が 5 割を超えていた（図 2–1）。

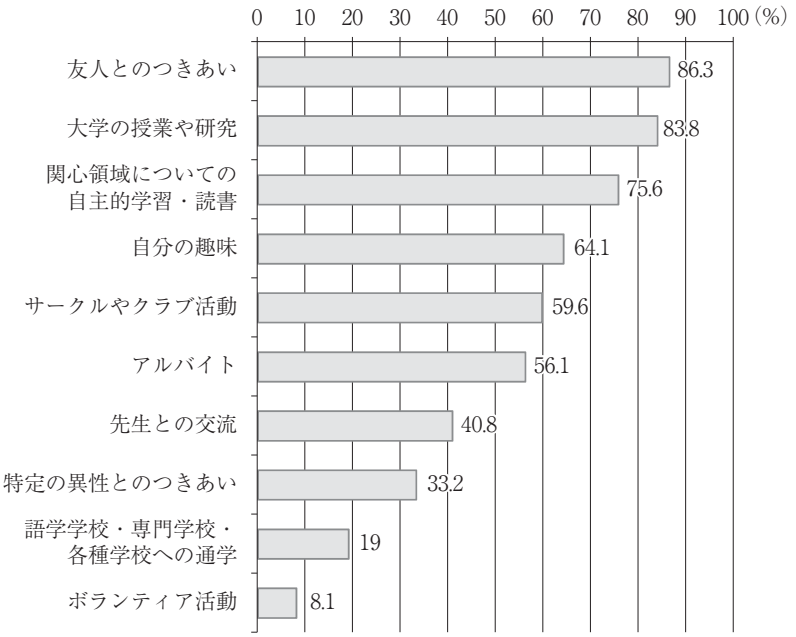


図 2–1　大学生活で「力を入れたこと」（学部卒業生 n=8924）
※「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合計した割合

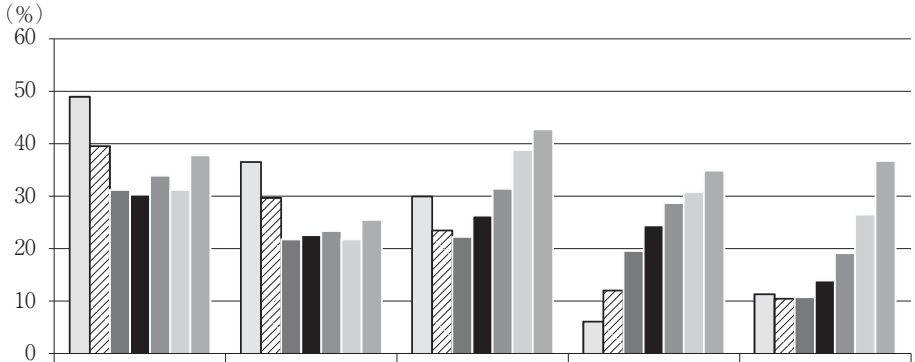
一方、回答が最も少なかったのは「ボランティア活動」（8.1％）であった。ただし、同項目の回答割合が平成 13 年時点の調査結果は 1.3％ ときわめて小さかったことから、社会活動への興味は増す方向に変化しているといえる。「語学学校・専門学校・各種学校への通学」については 19.0％ と低い割合ではあるものの、平成 13 年調査の 4.3％ にと比べて増加している。最近の卒業コーホートでは、いわゆるダブルスクール現象が広がっている姿が浮かび上がる。

（2） 学部在学中に力を入れたこと──コーホートによる違い

それでは、学部在学中に力を入れた活動に世代間の違いがあるだろうか。「力を入れた」という回答が多かった上位5つの項目を取り上げ、卒業コーホート別の回答割合をみてみたい。

年長コーホート（1950年以前コーホートと1951～1960年コーホート）の特徴は、「大学の授業や研究」（49.0%と39.6%）、「関心領域についての自主的学習・読書」（39.6%と29.8%）の割合が高いことである。勉学中心の大学生活を送っていた様子がうかがわれる。

1961年～1990年卒業コーホートでは、「大学の授業や研究」、「関心領域についての自主的学習・読書」に力を入れた割合は減少し、3割程度にとどまっている。さらに近年のコーホートほど、「友人との付き合い」、「サークルやクラブ活動」、「自分の趣味」の割合が上昇してゆく。もっとも最近の学部卒業生（1991～2000年と2001年以降）になると、「友人との付き合い」が1位（38.9%と42.8%）となり、「大学の授業や研究」（31.3%と37.9%）と逆転する。大学生活は、勉学だけではなく自由で多様な活動を含む生活に変化している。



	大学の授業や研究	関心領域についての自主的学習・読書	友人とのつきあい	サークルやクラブ活動	自分の趣味
1950年以前（n＝478）	49.0	36.6	30.1	6.3	11.5
1951～1960年（n＝1163）	39.6	29.8	23.6	12.2	10.6
1961～1970年（n＝1408）	31.3	21.9	22.4	19.7	10.9
1971～1980年（n＝1458）	30.4	22.7	26.4	24.6	14.1
1981～1990年（n＝1499）	34.0	23.5	31.5	28.8	19.3
1991～2000年（n＝1622）	31.3	21.9	38.9	30.9	26.6
2001年以降（n＝1183）	37.9	25.6	42.8	35.0	36.8

図2–2　大学生活で「力を入れたこと」（卒業コーホート別 n=8924）
※「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合計した割合

（3） 学部卒業後の職業生活に役立っている活動

学部卒業生が学部で力を入れたことと、その後の生活において役に立った活動との関連を見るため、学部在学中に力を入れた内容と同様の項目を用いて、学部卒業後の職業生活、社会生活、家庭生活に最も役たったもの、2番目に役に立ったものを尋ねた。図2–3は学部卒業生全体が、職業生活、社会生活、家庭生活それぞれに最も役に立ったと回答した割合を示したものである。

学部卒業後の職業生活に最も役に立ったとの回答が多かったのは、「大学の授業や研究」（48.3

%）であり約半数に達し、次いで、「関心領域についての自主的学習・読書」（19.2%）となっている。3 番目は「アルバイト」であるが、回答割合はわずか 6.7% と高くない。職業生活には、アルバイトで積み重ねた就業経験よりも、授業・研究や自主的に学んだ知識のほうが役だっているようである。「力を入れた」という回答が最も多かった「友人との付き合い」が「最も役に立った」と回答する学部卒業生は、わずか 4.8% である。

つぎに学部卒業後の社会生活において最も役に立ったとの回答が多かったものは、「友人との付き合い」（29.7%）であり、「関心領域についての自主的学習・読書」（18.2%）、「大学の授業や研究」（16.8%）と続く。家庭生活に役立っているとの回答が多かったものは、「友人とのつきあい」（24.6%）、「関心領域についての自主的学習・読書」（18.9%）となっている。学部卒業後の社会生活と家庭生活に役に立つと回答されたものは共通したものとなっている。家庭生活においては「自分の趣味」（13.5%）と「特定の異性とのつきあい」（9.6%）が最も役立っているという回答割合も高い。

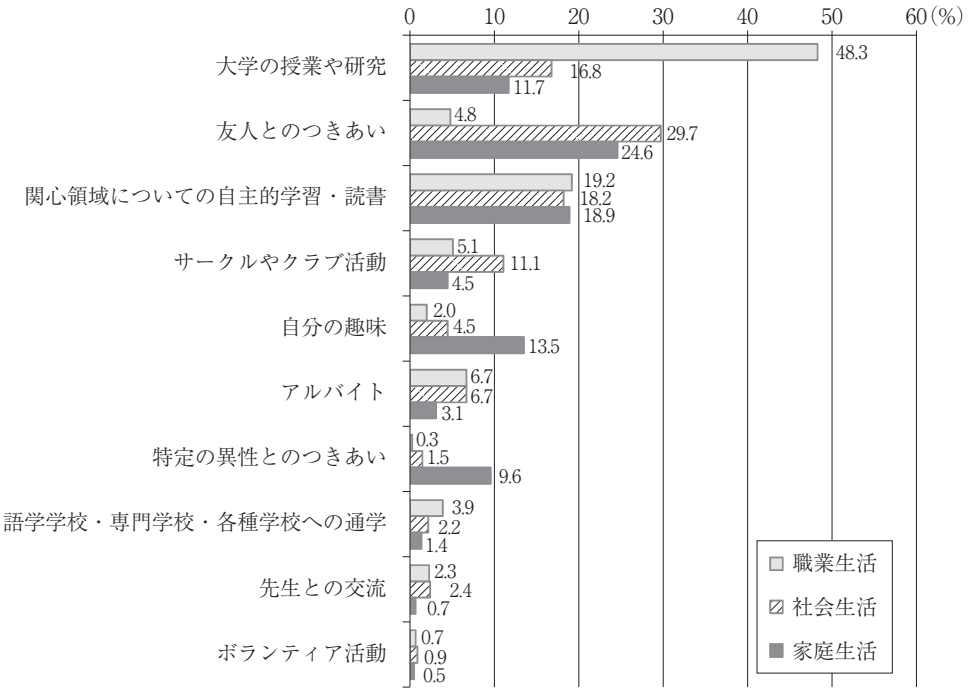


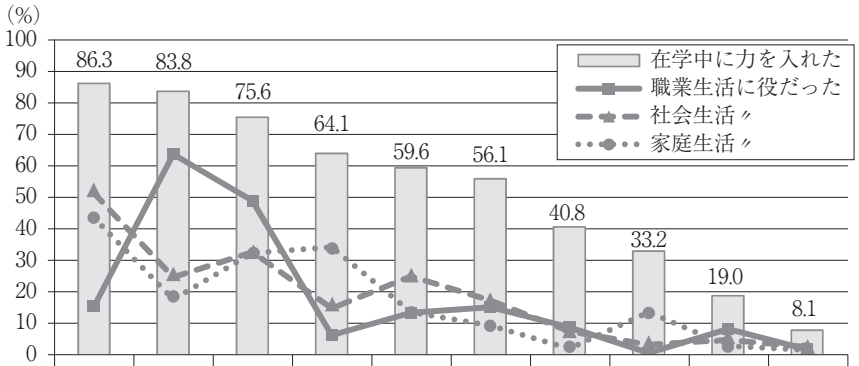
図 2–3　学部卒業後に役立っている在学中の活動（学部卒業生 n=8924）

（4）　力を入れた活動と役立っている活動との関連

つぎに、大学生活で力を入れた活動が、学部卒業後のどのような生活に役に立っているのかを確認したい。図 2–4 は学部卒業生全体を対象とし、在学中に力を入れた活動として回答の多かった項目を縦棒に示し、各項目が学部卒業後の生活に「最も役立っている」「2 番目に役立っている」と回答された割合を合計した結果を折れ線に表したものである。

特徴的な点は、「力を入れた」との回答が最も多かった 2 項目である。大学時代に力を入れた人が最も多かった「友人とのつきあい」は、社会生活や家庭生活に役立っているとの回答割合が

最も高く、「大学の授業や研究」は職業生活に役立っているとの回答割合が最も高い。全体的な傾向として、「力を入れた」活動ほど、その後の生活に「役立っている」との回答割合も高い。大学生活はその後の生活に役立っているととらえられていることが確認できる。



	友人とのつきあい	大学の授業や研究	関心領域についての自主的学習・読書	自分の趣味	サークルやクラブ活動	アルバイト	先生との交流	特定の異性とのつきあい	語学学校・専門学校・各種学校への通学	ボランティア活動
在学中に力を入れた	86.3	83.8	75.6	64.1	59.6	56.1	40.8	33.2	19.0	8.1
職業生活に役だった	15.6	63.8	49.0	6.4	13.5	15.3	8.9	0.8	8.4	1.9
社会生活〃	51.4	24.8	32.8	14.9	25.1	17.4	7.6	3.4	4.9	2.6
家庭生活〃	43.7	17.8	32.5	34.3	13.7	9.5	2.2	13.7	3.0	1.7

図 2–4　力を入れた活動と役立っている活動（学部卒業生 n=8924）

（5）　学部卒業後に役立っている活動 ――学部による違い

では学部卒業後に役立っているととらえられる在学中の活動は、学部により違いがみられるのだろうか。図 2–5 は学部卒業生が在学中に力を入れた活動の上位 3 つを取り上げ、各活動が学部卒業後のどのような側面で役立っているのかを学部別に表したものである。

職業生活に役立っているとの回答がもっとも多かった「大学の授業や研究」は、理学部卒業生に、続いて家政・生活科学部卒業生に顕著な傾向がみられる。「関心領域についての自主的学習・読書」が職業生活に役立っていると考える学部卒業生は、理学部、家政・生活科学部卒業生より文教育学部卒業生に多い。文教育学部卒業生は、職業生活のみならず、社会生活、家庭生活においても、「関心領域についての自主的学習・読書」が役立っていると回答する割合が高い。

社会生活に役立っているとの回答は、どの学部卒業生においても「友人との付き合いが」最も多い。この関連は特に家政・生活科学部卒業生に強くみられるものの、全体的な傾向は学部によって大きく異ならない。

家庭生活に対しては、いずれの学部卒業生においても、「友人との付き合い」が役だったことを挙げている。特徴的な点は、家政・生活科学部卒業生に「大学の授業や研究」が家庭生活に対して役立つという回答が相対的に多いことである。

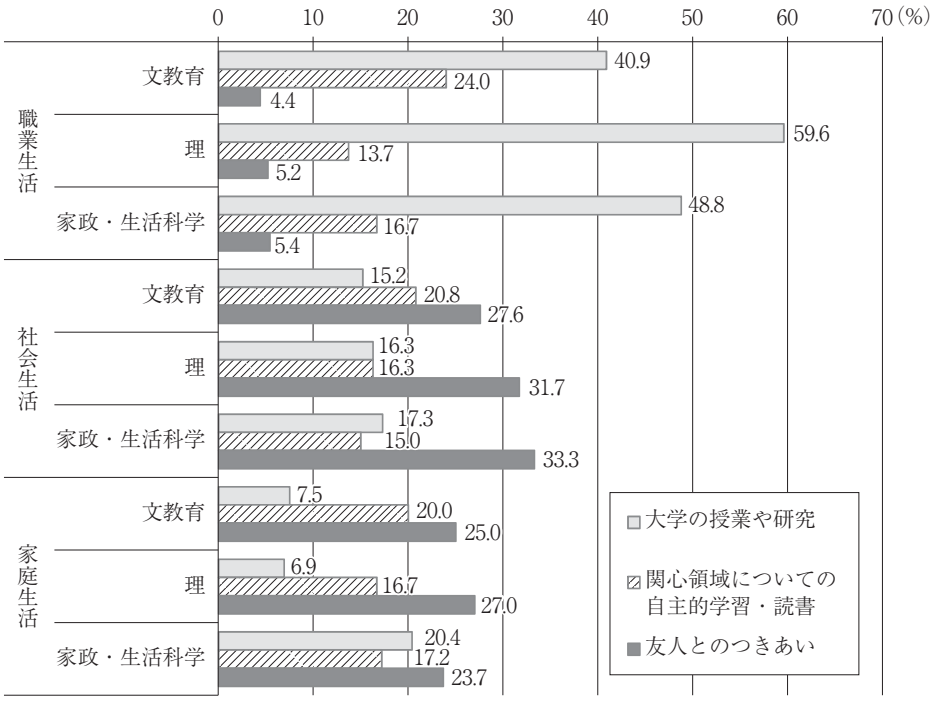


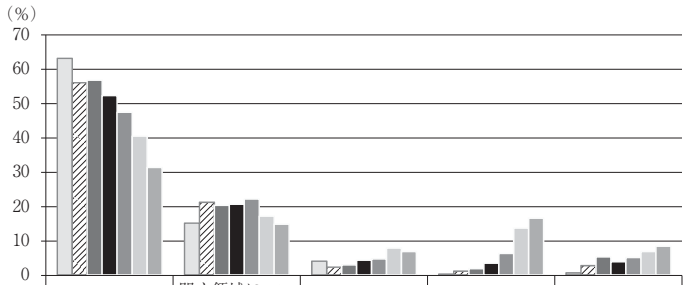
図 2–5　学部別学部卒業後の生活に最も役立っている在学中の活動（n=8924）

（6）　学部卒業後の職業生活に役立っている活動動 ――コーホートによる違い

学部卒業後の生活に最も役に立っていると考えられている在学中の活動を、卒業コーホート別にみてみたい。図 2–6 は、①大学の授業や研究、②関心領域についての自主的学習・読書、③アルバイト、④サークルやグラブ活動、⑤友人との付き合い、の 5 項目を取り上げ、学部卒業後の職業生活に役立つと回答された割合を卒業コーホート別に示したものである。

職業生活に対して「大学の授業や研究」が役だっているとの回答は、近年の卒業コーホートになるにつれて明らかに減少している。「1950 年以前」コーホートと「2001 年以降」コーホートで比べると、役に立つという回答割合は 63.2% から 31.3% へと半減している。この顕著な変化は、教職に就く学部卒業生の減少と大きな関連があると考えられる。

「大学の授業や研究」の下降に対し、上昇傾向が見られたのは、「アルバイト」である。「大学の授業や研究」を凌駕するほどではないものの、近年の卒業コーホートほど職業生活に役に立つとの回答割合が増えている。「友人とのつきあい」「サークルやクラブ活動」は近年に微増、「関心領域についての自主的学習・読書」は 1951～1990 年コーホートが高い傾向が確認されるものの、これらの項目は大きな変化が見られるとはいえない。



	大学の授業や研究	関心領域についての自主的学習・読書	友人とのつきあい	アルバイト	サークルやクラブ活動
1950 年以前	63.2	15.1	4.0	0.2	0.6
1951～1960 年	56.1	21.2	2.2	1.1	2.7
1961～1970 年	56.8	20.3	2.9	1.8	5.2
1971～1980 年	52.3	20.6	4.3	3.4	3.8
1981～1990 年	47.4	22.1	4.6	6.2	5.1
1991～2000 年	40.5	17.1	7.8	13.6	6.8
2001 年以降	31.3	14.8	6.8	16.5	8.3

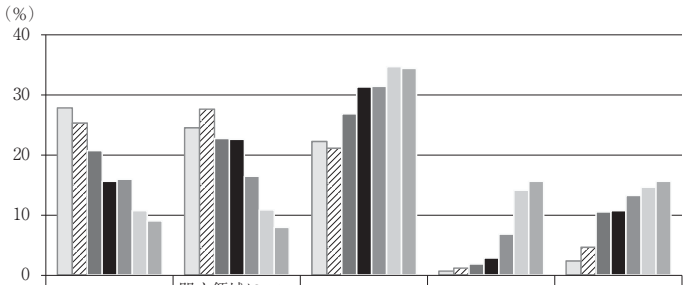
図 2–6　卒業コーホート別　学部卒業後の職業生活に役に立っている活動（n=8924）

（7）　学部卒業後の社会生活に役立っている活動 ――コーホートによる違い

図 2–7 は図 2–6 と同様に特徴的な 5 項目を取り上げ、学部卒業後の社会生活に役立つと回答された割合を卒業コーホート別に示したものである。

「大学の授業や研究」と「関心領域についての自主的学習・読書」が社会生活に対して役立っているとの回答は、近年のコーホートになるほど明らかに減少していることが確認される。これに対し、「アルバイト」、「友人との付き合い」、「サークルやクラブ活動」は増加傾向にある。

学部卒業後の社会生活に「友人とのつきあい」が役立っているという回答は、1961 年以降の卒業コーホートでは、最も高い割合を示している。1991 年以降の卒業コーホートでは、「大学の授業や研究」と「関心領域についての自主的学習・読書」よりも、「アルバイト」や「サークルやクラブ活動」のほうが社会生活に役立っていると認識されている。



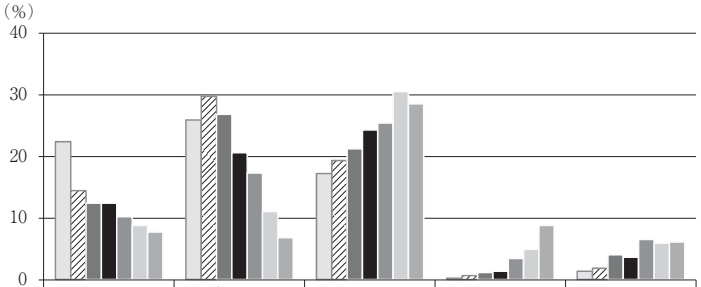
	大学の授業や研究	関心領域についての自主的学習・読書	友人とのつきあい	アルバイト	サークルやクラブ活動
1950 年以前	27.8	24.5	22.2	0.6	2.3
1951～1960 年	25.3	27.6	21.1	1.1	4.6
1961～1970 年	20.7	22.7	26.8	1.8	10.5
1971～1980 年	15.6	22.6	31.3	2.8	10.7
1981～1990 年	15.9	16.4	31.4	6.8	13.2
1991～2000 年	10.7	10.8	34.7	14.1	14.6
2001 年以降	9.0	7.9	34.4	15.6	15.6

図 2–7　卒業コーホート別　学部卒業後の社会生活に役に立ったもの（n=8924）

（8） 学部卒業後の家庭生活に役立っている活動 ――コーホートによる違い

では学部卒業後の家庭生活についてはどうか。図 2–8 も図 2–6 と同様に特徴的な 5 項目を取り上げ、学部卒業後の家庭生活に役立つと回答された割合を、卒業コーホート別に示したものである。

学部卒業後の家庭生活に役だっていると回答される内容は、卒業コーホートによって大きく異なることが確認される。コーホートによる違いは、社会生活に役立っていると回答される割合の変化と概ね同様の傾向を示している。特徴的な点は、「関心領域についての自主的学習・読書」の減少が著しいことである。この回答割合が最も高かった「1951～1960 年」卒業コーホートでは、29.7% と約 3 割の学部卒業生が役立っていると回答していたものの、「2001 年以降」卒業コーホートではわずか 6.8% となっている。



	大学の授業や研究	関心領域についての自主的学習・読書	友人とのつきあい	アルバイト	サークルやクラブ活動
1950 年以前	22.4	25.9	17.2	0.2	1.3
1951～1960 年	14.4	29.7	19.3	0.6	1.8
1961～1970 年	12.4	26.8	21.2	1.1	4.0
1971～1980 年	12.4	20.6	24.3	1.3	3.6
1981～1990 年	10.2	17.3	25.4	3.4	6.5
1991～2000 年	8.8	11.0	30.5	4.9	5.9
2001 年以降	7.7	6.8	28.5	8.8	6.1

図 2–8　卒業コーホート別　学部卒業後の家庭生活に役に立っているもの（n=8924）

このように若い世代ほど、大学での授業や研究、自分の自主的な学習が、その後の職業生活や社会生活、家庭生活に役立ったとする評価は全般的に減少している。その一方で、若い世代ほど、友人とのつきあい、アルバイト、サークルやクラブ活動がその後の諸生活に役立ったという評価が上昇する。若い世代ほど、大学は研究や自主学習ばかりでなく、友人とのつきあい、アルバイトやサークル、クラブ活動などの比重が高まっているといえるだろう。しかしながら、そうした変化を超えて、大学の授業や研究の意義が変化しているのかどうかについては、さらに検討が必要であろう。

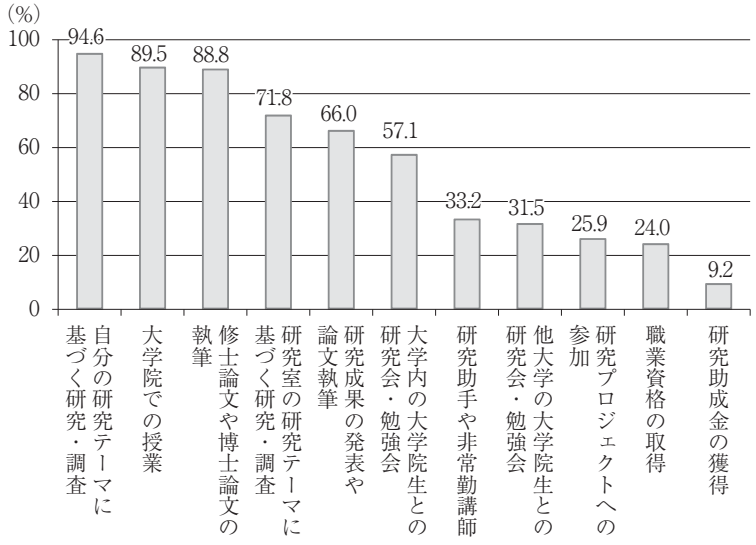
2－2．大学院在学中の生活

（1） 大学院在学中に力を入れたこと

大学院修了者には、学部卒業生とは異なる項目を用いて在学中に力を入れたことをたずねた。大学院では、学生は講義やゼミでさらに高度な専門的知識や技術を習得する上に、自分の研究テーマに基づく研究や調査、学会参加、修士論文や博士論文の準備や執筆なども加わる。

共同学習・研究の側面は「大学院での授業」「研究室の研究テーマに基づく研究・調査」「大学内での大学院生との研究会・勉強会」「他大学の大学院との研究会・勉強会」「研究プロジェクトへの参加」の５つの項目によってたずねた。個人学習・研究の側面は次の４項目、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」「研究成果の発表や論文執筆」「修士論文や博士論文の執筆」「研究助成金の獲得」を用いた。職業準備については「職業資格の取得」「研究助手や非常勤講師などのアルバイト」の２項目を設定した。いずれの項目に対しても力を入れた度合いを、「力を入れた」「ある程度力を入れた」「あまり力を入れなかった」「力を入れなかった」の４段階でたずねた。

図 2–9 は「力を入れた」と「ある程度力を入れた」を合わせて提示したものである。力を入れた活動として最も多くの修了生が回答したものは「自分の研究テーマに基づく研究・調査」（94.6％）で、次いで「大学院での授業」（89.3％）、「修士論文や博士論文の執筆」（88.8％）、「研究室の研究テーマに基づく研究・調査」（71.7％）、「研究成果の発表や論文執筆」（65.6％）の順になっている。「学内」での研究交流（57.4％）は「学外」の研究交流（31.6％）より高かったが、「研究助成金の獲得」に力を入れた割合は１割に満たなかった（9.2％）。

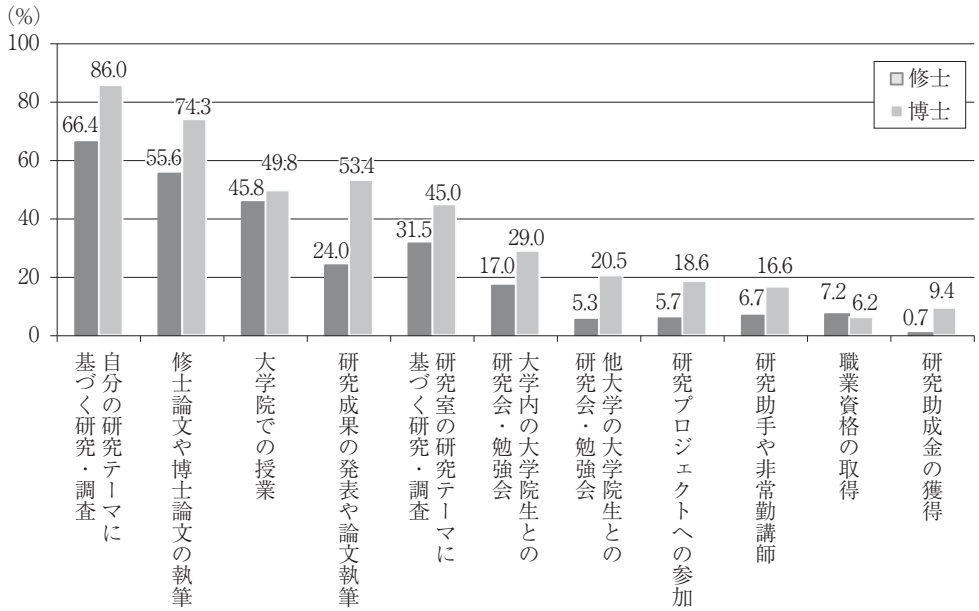


※「力を入れた」「ある程度力を入れた」を合計した割合

図 2–9　大学院在学中に力を入れた活動（n=1396）

また図 2–10 は、大学院在学中に博士、修士修了別で「力を入れた」を回答した比率を提示したものである。博士課程修了生は修士課程修了生より、大学院生活において、研究活動全体に力

を入れていることは明らかである。



※「力を入れた」割合

図 2-10　博士・修士修了コーホート別　大学院在学中に力を入れた活動（n=1332）

（2）　大学院修了後の生活に役立っている活動

大学院修了後の職業生活において役立っていると回答された活動は、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」（38.7%）、「大学院での授業」（18.9%）が主である。「職業資格の取得」（5.4%）の割合は必ずしも高くない。大学院に在学中に最も力を入れた活動、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」は、その後の職業生活に繋がっていることがうかがわれる。

大学院を修了後の社会生活に対して、もっとも役立つものとしては「自分の研究テーマに基づく研究・調査」（22.1%）、「大学院での授業」（12.9%）、「研究助手や非常勤講師」（11.0%）が上位 3 位を占めている。大学院での授業と個人研究は、本人の専門的な能力を養うことを通して、その後の社会生活にも役立っているようである。

大学院修了後の家庭生活に対し、大学院在学中に力入れたことの中で役に立つと回答された活動は、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」（18.6%）、「大学院での授業」（11.9%）、「研究助手や非常勤講師」（10.7%）の順に多い。家庭生活においても、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」が役立つと認識されている。

職業生活、社会生活、家庭生活と多くの側面で大学院修了生たちに役に立っているのは、自らの関心に沿ったテーマを追求するという自主的な学習である。

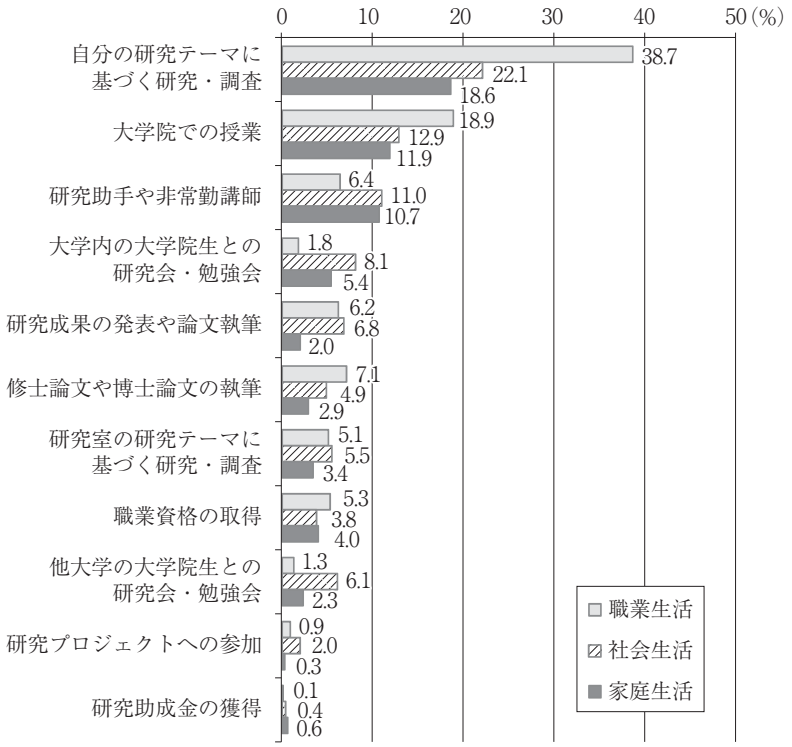
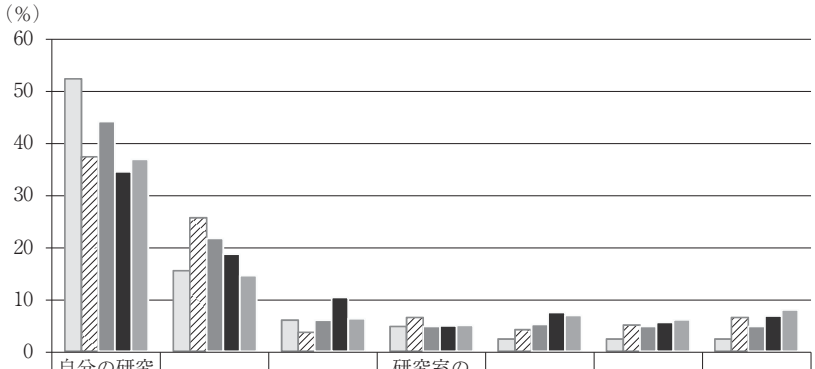


図 2–11　大学院修了後の生活にもっとも役立っているもの（n=1332）

（3）　大学院修了後の生活に役立っている活動――修了コーホート別

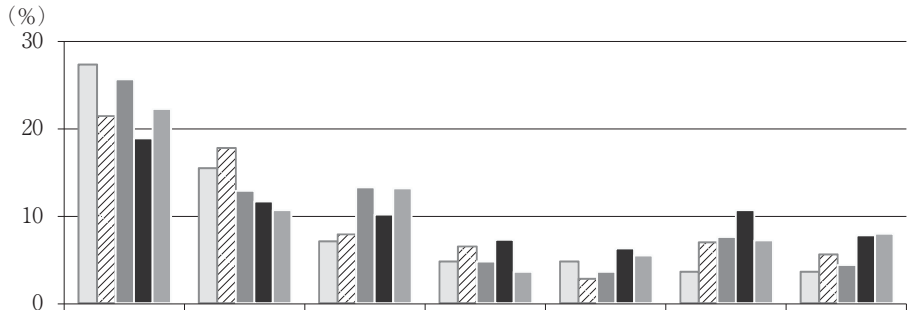
修了コーホート別に、職業生活に役立ったという回答をみてみる（図 2–12）。大学院修了後の生活に「役だった」と多くの大学院修了生が回答した「自分の研究テーマに基づく研究・調査」と「大学院での授業」は、世代が現在に近づくほど低下する傾向が見られた。



	自分の研究テーマに基づく研究・調査	大学院での授業	修士論文や博士論文の執筆	研究室の研究テーマに基づく研究・調査	研究成果の発表や論文執筆	職業資格の取得	研究助手や非常勤講師
1970 年以前（n＝84）	52.4	15.5	6.0	4.8	2.4	2.4	2.4
1971～1980 年（n＝214）	37.4	25.7	3.7	6.5	4.2	5.1	6.5
1981～1990 年（n＝249）	44.2	21.7	6.0	4.8	5.2	4.8	4.8
1991～2000 年（n＝412）	34.5	18.7	10.4	4.9	7.5	5.6	6.8
2001 年以降（n＝1025）	36.9	14.6	6.3	5.0	6.9	6.1	8.0

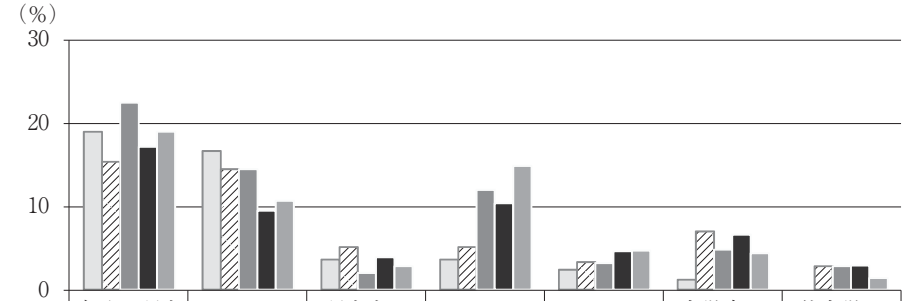
図 2–12　修了コーホート別　修了後の職業生活に役に立っているもの（n=1332）

図 2–13、図 2–14 は、大学院修了コーホート別社会生活と家庭生活にもっとも役立ったものをそれぞれ示す。職業生活と同様に、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」と「大学院での授業」は減少する傾向が見られた。近年の修了コーホートは、「研究助手や非常勤講師」、「大学内の大学院生との研究会・勉強会」「研究成果の発表や論文執筆」が役だったと回答する割合がわずかに増加する傾向がみられる。



	自分の研究テーマに基づく研究・調査	大学院での授業	研究助手や非常勤講師	研究室の研究テーマに基づく研究・調査	修士論文や博士論文の執筆	大学内の大学院生との研究会・勉強会	研究成果の発表や論文執筆
1970 年以前(n＝84)	27.4	15.5	7.1	4.8	4.8	3.6	3.6
1971～1980 年(n＝214)	21.5	17.8	7.9	6.5	2.8	7.0	5.6
1981～1990 年(n＝249)	25.7	12.9	13.3	4.8	3.6	7.6	4.4
1991～2000 年(n＝412)	18.9	11.7	10.2	7.3	6.3	10.7	7.8
2001 年以降(n＝1025)	22.3	10.7	13.2	3.6	5.5	7.2	8.0

図 2–13　修了コーホート別　大学院修了後の社会生活に役に立ったもの (n=1332)



	自分の研究テーマに基づく研究・調査	大学院での授業	研究室の研究テーマに基づく研究・調査	研究助手や非常勤講師	職業資格の取得	大学内の大学院生との研究会・勉強会	他大学の大学院生との研究会・勉強会
1970 年以前(n＝84)	19.0	16.7	3.6	3.6	2.4	1.2	0.0
1971～1980 年(n＝214)	15.4	14.5	5.1	5.1	3.3	7.0	2.8
1981～1990 年(n＝249)	22.5	14.5	2.0	12.0	3.2	4.8	2.8
1991～2000 年(n＝412)	17.2	9.5	3.9	10.4	4.6	6.6	2.9
2001 年以降(n＝1025)	19.0	10.7	2.8	14.9	4.7	4.4	1.4

図 2–14　修了コーホート別　大学院修了後の家庭生活に役に立ったもの (n=1332)

大学院修了生は在学中に「自分の研究テーマに基づく研究・調査」に最も力をいれ、その活動が大学院修了後の職業生活のみならず、社会生活や家庭生活にも役立っていることが確認された。

大学院は広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うこと、高度の専門研究及び専門諸分野の基礎に立つ高度の学際的総合研究を行うに必要な創造的能力を育成し、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。オリジナリティある研究が学部卒業生・大学院修了生の職業生活に役立ということは本学の狙いであり、教育目標はある程度達成していると言えるだろう。

ただし「自分の研究テーマに基づく研究・調査」と「大学院での授業」が役立っていると認識する大学院修了生は、世代が現在に近づくほど減少する傾向が見られた。この変化は懸念すべきものであり、原因を探求してゆく必要がある。

2－3．学部・大学院生活の満足度

ここでは学部卒業生と大学院修了生とを比較しながら学生生活の満足度を確認してゆく。質問紙では学部生に対して 19 項目、大学院生に対して 18 項目を用い、「非常に満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「非常に不満」の 5 段階で満足度をたずねた。全項目に対する満足と不満の割合を確認した後に、「教育に対する満足度」、「交流に対する満足度」、「支援制度に対する満足度」、「大学の施設・対応に対する満足度」という 4 つの領域別に満足度を比較するとともに、卒業／修了コーホート別の違いをみてみたい。

（1） 在学中の学生生活：学部卒業生の満足と不満

図 2–15 は 5 段階尺度のうち、「非常に満足」と「やや満足」を合わせ、「やや不満」と「非常に不満」を合わせて満足と不満の割合を示したものである。満足と回答した学部卒業生の割合が高かった項目は、「在学中の友人との交流」（85.0%）、「専門・専攻科目」（72.3%）「大学全体の雰囲気」（70.7%）である。「教育全般」（61.6%）、「卒業論文・卒業研究」（60.7%）は 6 割以上が、「本学の教員との交流」（57.3%）、「卒業研究担当教員の指導方法・指導内容」（55.7%）についても満足が 5 割超えている。教育体制全般に対しておおよそ満足していることがうかがわれる。

不満と回答された割合の高さが目立つのは「就職・進学の指導・支援体制」（30.6%）である。次いで「授業で使用した教室」（24.8%）、「大学内の設備・施設全般」（24.8%）も不満の割合が多い。満足の割合が最も低かった「留学・国際交流支援体制」は、不満が満足を大きく上回っていることが確認できる。近年、就職支援、設備・施設、国際交流体制の充実には力を入れているため、近年の取り組みに対する評価を確認するには在校生や最近の学部卒業生の意見を聞く必要があるだろう。

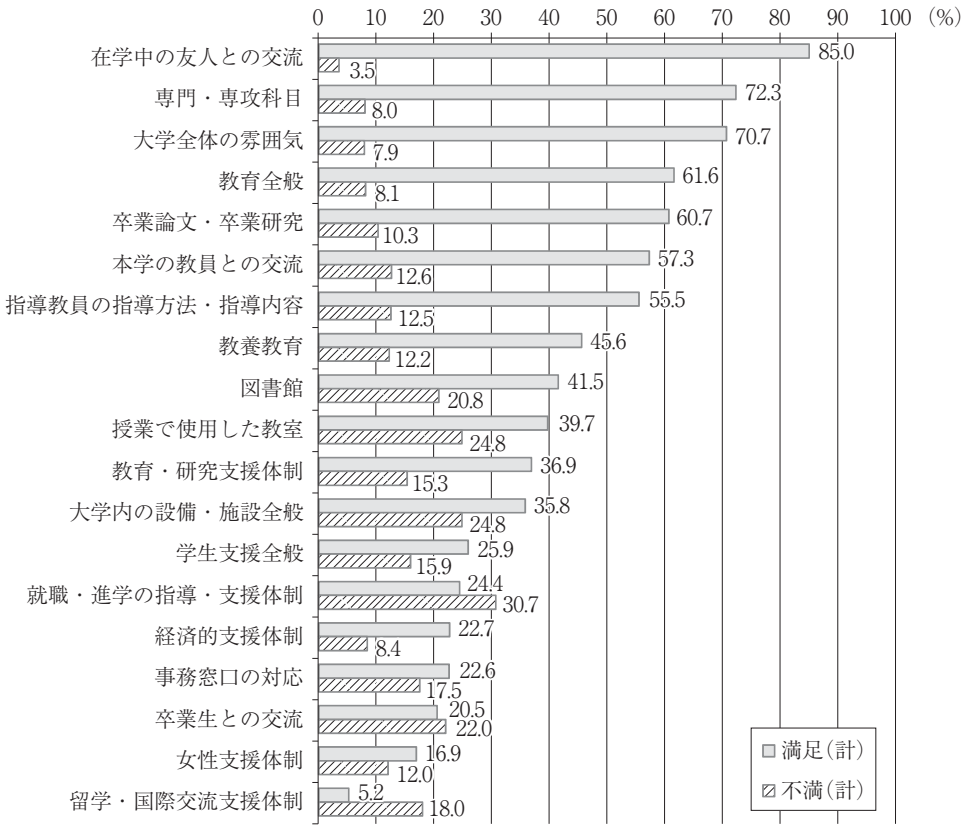


図 2-15　在学中の学生生活満足度（学部卒業生 n=8924）

（2） 在学中の学生生活：大学院修了生の満足と不満

在学中の学生生活に対する大学院修了生の評価を確認したい。大学院修了生に対しても学部卒業生と同様に全 19 項目で満足度を尋ねている。

各項目に対する満足／不満の割合は学部生とほぼ同様の傾向が確認できる。満足と回答した大学院修了生が多かった項目は、「在学中の友人との交流」（86.8%）、「専門・専攻科目」（77.6%）、「大学全体の雰囲気」（74.3%）、「修士／博士論文」（72.4%）、「教育全般」（65.2%）「指導教員の指導方法・指導内容」（63.8%）である。

反対に、不満の割合が高いのは、「就職・進学の指導・支援体制」（36.6%）、「図書館」（30.4%）、「大学内の設備・施設全般」（29.3%）、「留学・国際交流支援体制」（24.5%）の順である。「就職・進学の指導・支援体制」、「留学・国際交流支援体制」2 項目は不満の割合が満足を上回る。総じて、専門教育・研究に満足しているものの、大学の設備や支援体制には満足していない大学院修了生が多いことが分かる。

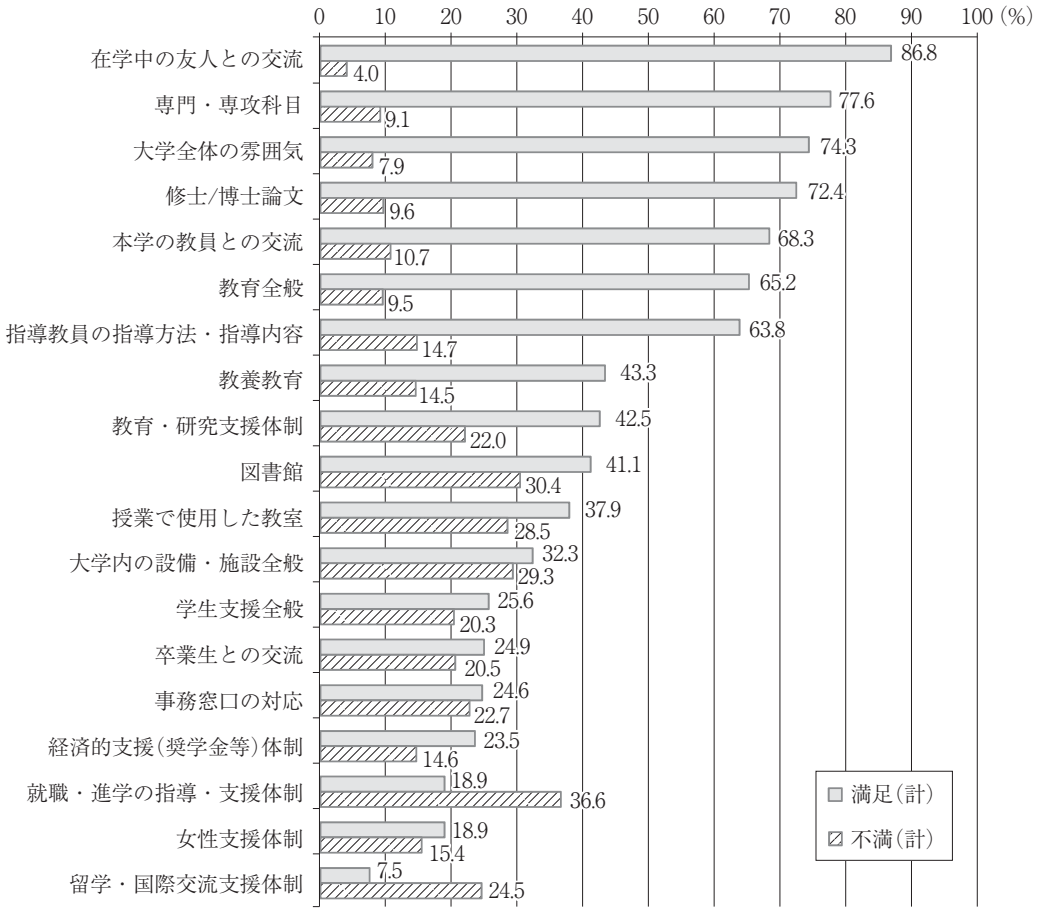


図 2-16　在学中の学生生活満足度（大学院修了生 n=1396）

（3） 教育に対する満足度

では学生生活満足度を領域毎に詳しくみてゆきたい。まず、「教育に対する満足度」を確認する。「教育に対する満足度」には、「教育全般」、「専門・専攻項目」、「卒業論文・卒業研究／修士論文」、「指導教員の指導方法・指導内容」、「教養教育」の各項目が該当する。

「教育に対する満足度」（図 2–17）は、学部卒業生、大学院修了生ともに全体的にバランスよく満足していることがわかる。比較すると大学院修了生のほうが全体的に満足の割合が高い。全項目のうち最も満足の割合が低い「教養教育」は、大学院修了生の満足割合が低い。

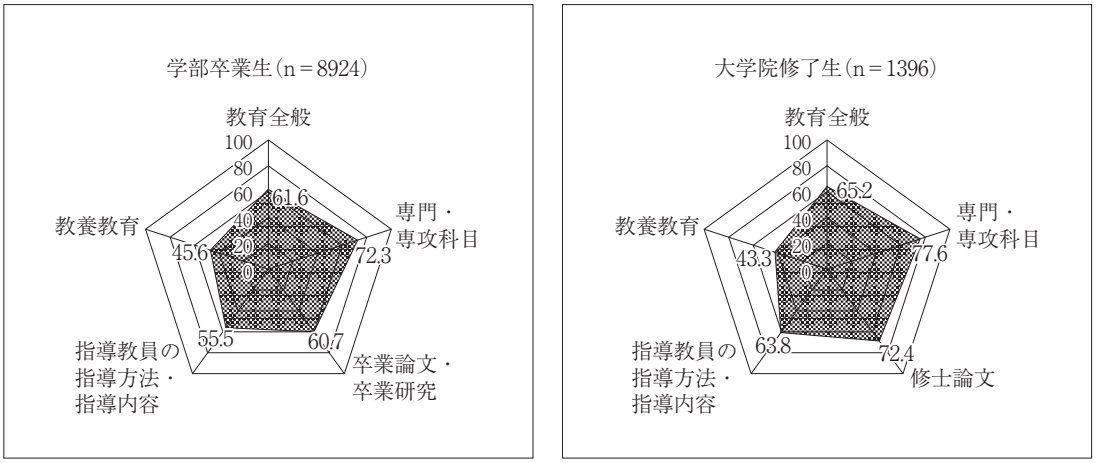


図 2–17　教育に対する満足度

さらに卒業コーホート別で世代の違いをより詳しく見ていく。学部卒業生の満足度（図 2–18）は、全体的にどのコーホートも同じような傾向であり、「専門・専攻科目」の満足割合が最も高く、「教養教育」の満足割合が低い。若いコーホートのほうが授業や研究に「力を入れた」「職業生活に役だった」と回答割合が低下しているにも関わらず（図 2–2、図 2–6）、若年卒業コーホートのほうが学部の教育に対する満足割合が高いことも確認できる。

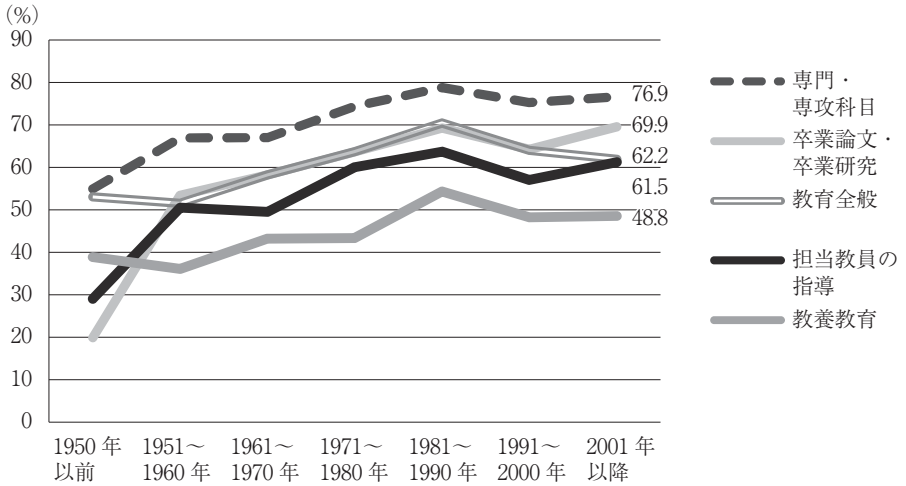


図 2–18　卒業コーホート別　教育に対する満足度（学部卒業生 n=8924）

大学院修了生の満足度（図 2–19）も、項目別の満足割合はコーホートによる大きな違いはみられず、「専門・専攻科目」が最も高く、「教養教育」が最も低い。いずれの項目も一番高い満足割合を示したのは「1981～1990 年」修了コーホートであり、その後はやや減少している。「専攻・専門科目」、「教育全般」、「指導教員の指導」に対する満足度は相互に大きく関連している可能性がある。

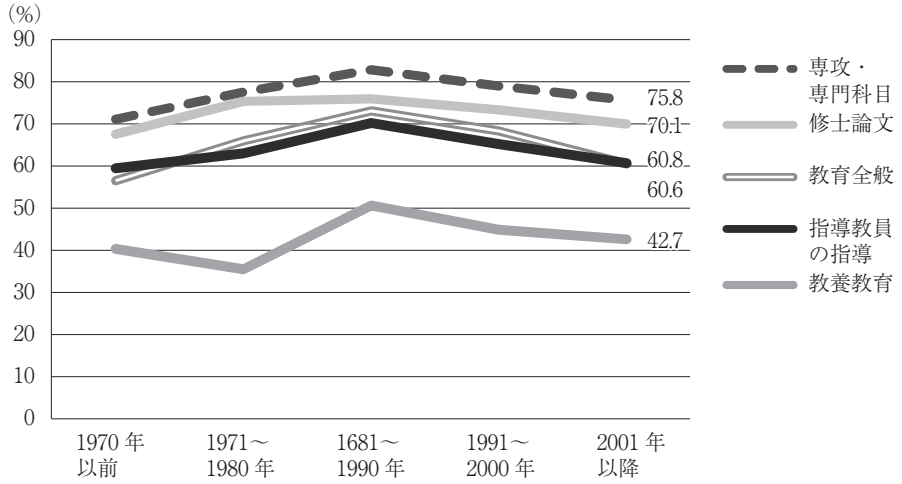


図 2–19　修了コーホート別　教育に対する満足度（大学院修了生 n=1396）

（4）　人的交流に対する満足度

「人的交流に対する満足度」（図 2–20）には、「本学の教員との交流」、「在学中の友人との交流」、「卒業生との交流」の 3 項目が該当する。

「人的交流に対する満足度」のうち、「在学中の友人との交流」は学部卒業生、大学院修了生ともに高い値を示した。「本学の教員との交流」は学部卒業生が 6 割弱であるのに対し、大学院修了生は 76.0% と多くの大学院修了生が満足している。最も満足の割合が低いのは、「卒業生／修了生」との交流である。学部卒業生、大学院修了生ともに 2 割台である。

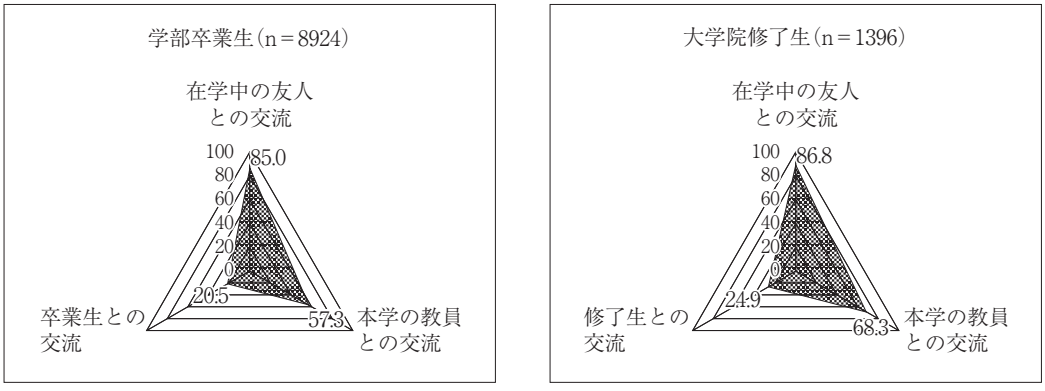


図 2–20　人的交流に対する満足度

「人的交流に対する満足度」（図 2–21）を卒業コーホート毎に確認すると、「在学中の友人との交流」と「本学の教員との交流」については、ほぼ横ばいの傾向が見られる一方、「卒業生との交流」についての満足割合は、コーホートが現在に近づくにつれ下降している。「1950 年以前」コーホートが最高値（32.0%）を記録し、「2001 年以降」コーホートでは最低値（12.5%）であった。

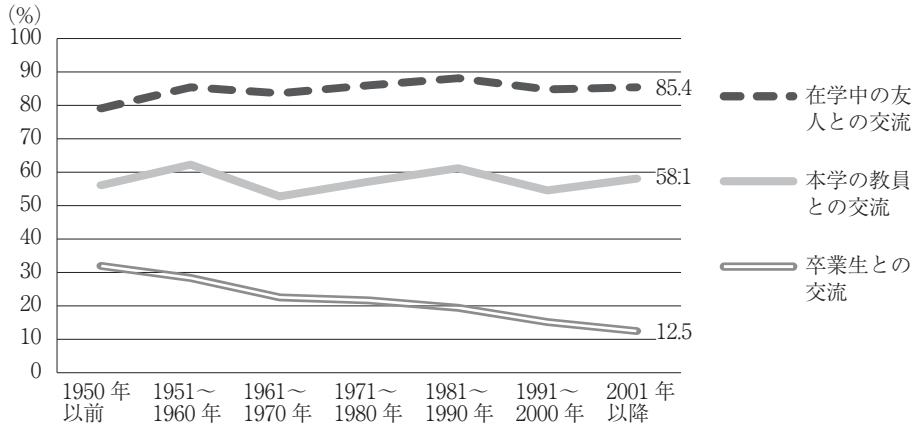


図 2–21　卒業コーホート別　人的交流に対する満足度（学部卒業生 n=8924）

大学院修了生もコーホート別の満足度（図 2–22）は同じような傾向が確認できる。「在学中の友人との交流」と「本学の教員との交流」については横ばい、「修了生との交流」は下降である。ただし「本学の教員との交流」については、「1981～1990 年」修了コーホートが最も高く、その後は下降傾向にあると言えそうである。「1981～1990 年」修了コーホートがピークなのは、教育に対する満足度と同様の特徴である。

2007 年から、本学は毎年 5 月に「ホームカミングデイ」を開催し、学部卒業生・大学院修了生と在学生・教職員の交流を深めていく場を設けており、それに合わせて各学科の同窓会なども開かれており、現在は恒例の行事になっている。人的交流をうながす行事が満足度にプラスの影響をおよぼすのかどうか、また実際に交流機会の増加につながっているのか、今後も継続的に確認してゆくことが重要であろう。

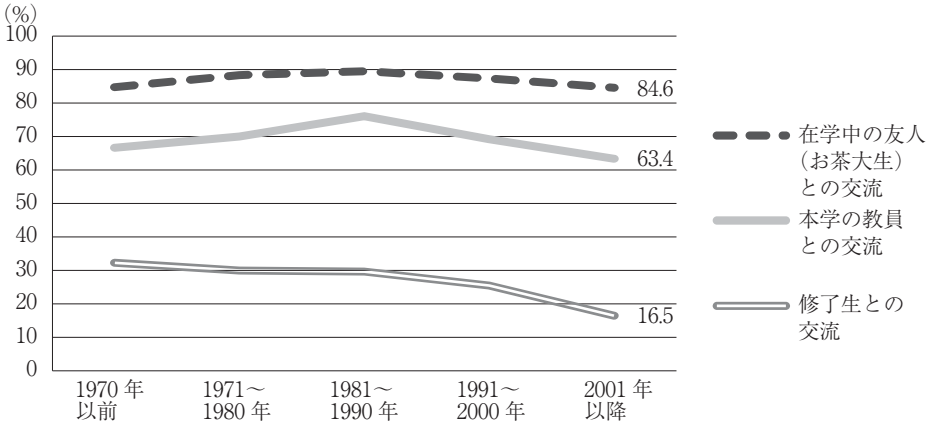


図 2–22　修了コーホート別　人的交流に対する満足度（大学院修了生 n=1396）

（5） 支援体制に対する満足度

大学の支援体制に含まれるのは「就職・進学の指導・支援体制」、「教育・研究支援体制」、「留学・国際交流支援体制」、「経済的支援体制」、「女性支援体制」、「学生支援全般」の6項目である。

支援体制に対しては、学部卒業生、大学院修了生ともに満足の比率は全体的に低く、各項目に対する満足の割合も似たような傾向を示している。6項目間で比較すると、「研究・教育支援体制」の満足割合が最も高く、「留学・国際交流支援体制」が最も低い。

満足割合が全体的に低い一因として、支援体制に対する回答しにくさが挙げられよう。各種支援制度は必要の生じた人がアクセスする性質のものであるため、支援必要としなかった人に支援体制に対する回答のしようがない。5段階評価で尋ねた回答では「どちらともいえない」の割合が高かった。

ただし図2–23で見たとおり、「就職・進学の指導・支援体制」、特に「留学・国際交流支援体制」は、満足の割合が低いのみならず、不満の割合が満足を上回っている。これらの項目については、やはり支援体制の充実が求められるといえるだろう。

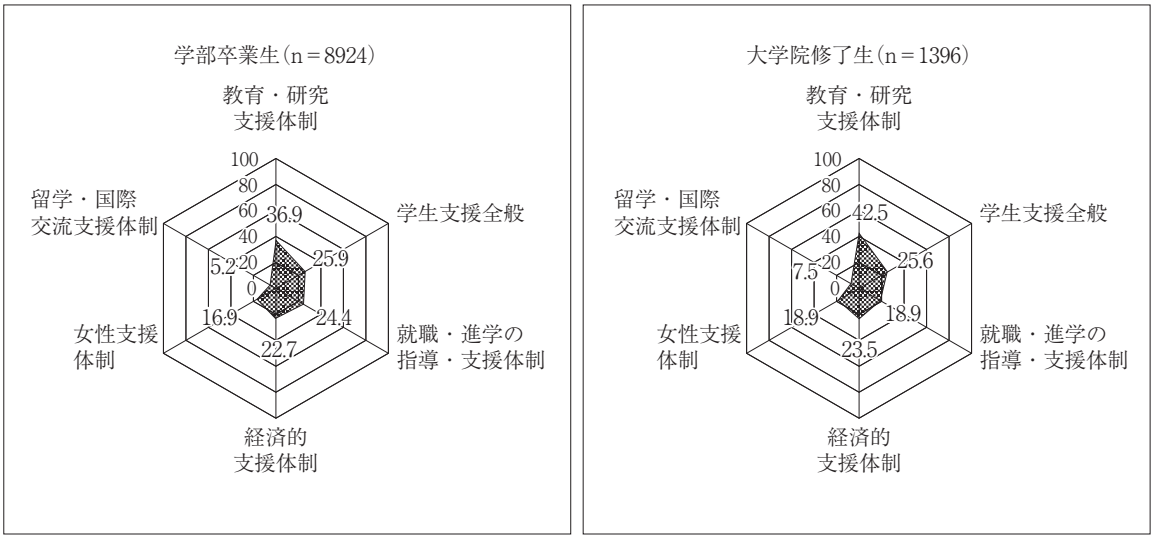


図2–23　支援制度に対する満足度

卒業年コーホート別の「支援体制に対する満足度」は図2–24で示す。「支援体制に対する満足度」は卒業コーホートによって満足割合が大きく変化していることが確認できる。時代の変化とともに国際交流の重要性は大きくなる中、「留学・国際交流支援体制」に対する満足度はそれほど高いものではないが、「1961～1970年」コーホートから「2001年以降」コーホートにかけて、それぞれ2.6%から10.3%へ確実に上昇している。「経済的支援体制」の満足割合は「1961～1970年」コーホートが他のコーホートよりも10ポイント以上高いという特徴がある。「就職・進学の指導・支援体制」の満足割合は「1981～1990年」コーホート（22.7%）から急下降し始め、「2001年以降」コーホート（9.9%）まで低下している。これはバブル経済崩壊後、現在も続いている大卒者の就職難問題と関連が根底にあると推察できる。

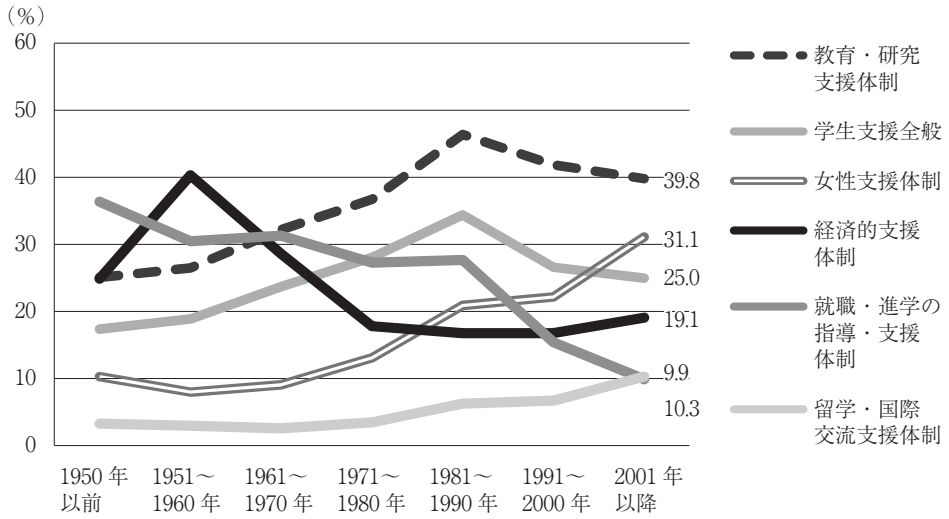


図 2–24　卒業コーホート別　各支援制度に対する満足度（学部卒業生 n=8924）

大学院修了生のコーホート別支援体制に対する満足度は図 2–25 で示す。「教育・研究支援体制」は「1971～1980 年」がピークであり、近年の修了コーホートでは下降傾向である。満足割合が確実に上昇しているのは「女性支援」に対する満足度割合である。「留学・国際交流支援体制」は横ばいであり、満足割合が上昇しているとは認めにくい。学部卒業生と同様、「就職・進学の指導・支援体制」の満足割合は「1981～1990 年」コーホートを頂点に急下降し始め、「2001 年以降」コーホートでは 11.6% まで低下している。

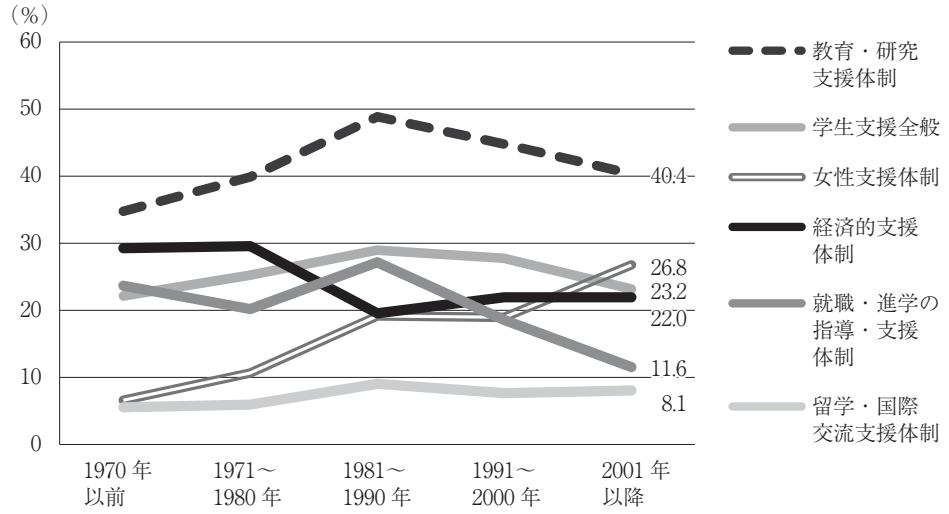


図 2–25　修了コーホート別　各種支援制度に対する満足度（大学院修了生 n=1396）

（6） 大学の施設・対応に対する満足度

「大学の施設・対応に対する満足度」（図 2–26）は、「大学内の設備・施設全般」、「大学全体の雰囲気」、「授業で使用した教室」、「図書館」、「事務窓口の対応」の 5 項目が含まれる。満足割合は、学部卒業生、大学院修了生ともに同様の傾向を示す。「大学全体の雰囲気」に対する満足割合が高いのに対し、「大学内の設備・施設全般」、「授業で使用した教室」、「図書館」などハード面に対する満足割合はさほど高くない。そして「事務窓口の対応」への満足割合は低い。

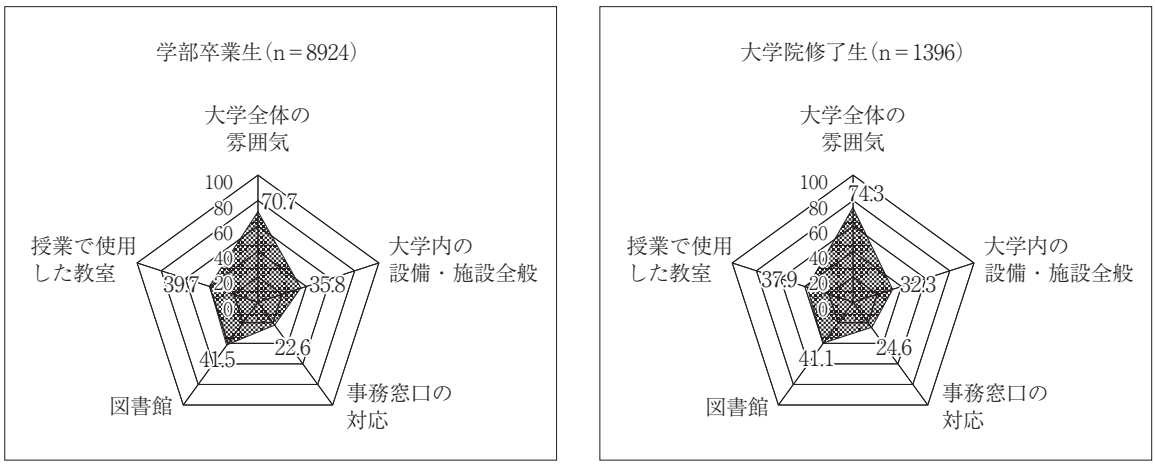


図 2–26　大学の施設・対応に対する満足度

大学の施設・対応に対する満足度を卒業コーホート別で見ると、年長コーホートより、若年コーホートのほうが、「大学全体の雰囲気」に対する満足割合が高いことが特徴である。「図書館」、「授業で使用した教室」、「大学内の設備・施設全般」などハード面は、「1981～1990 年」卒業コーホートがピークであり、近年は満足割合が低下している。「事務窓口の対応」は、どの卒業コーホートでも満足割合が最も低い。

修了コーホート別に「大学施設・対応に対する満足度」を確認すると、項目毎の満足割合は学部卒業生のような大きな変化が確認されない。「大学全体の雰囲気」はわずかに上昇傾向が認められるものの、その他の項目は「1981～1990 年」修了コーホートをピークに近年は下降の傾向が認められる。大学院修了生の満足割合が「1981～1990 年」修了コーホートが最高値を示すのは、教育に対する満足度や支援体制に対する満足度とも共通した特徴である。大学院在学者が増加する中、満足度の低下は注意を払ってゆく必要があるだろう。

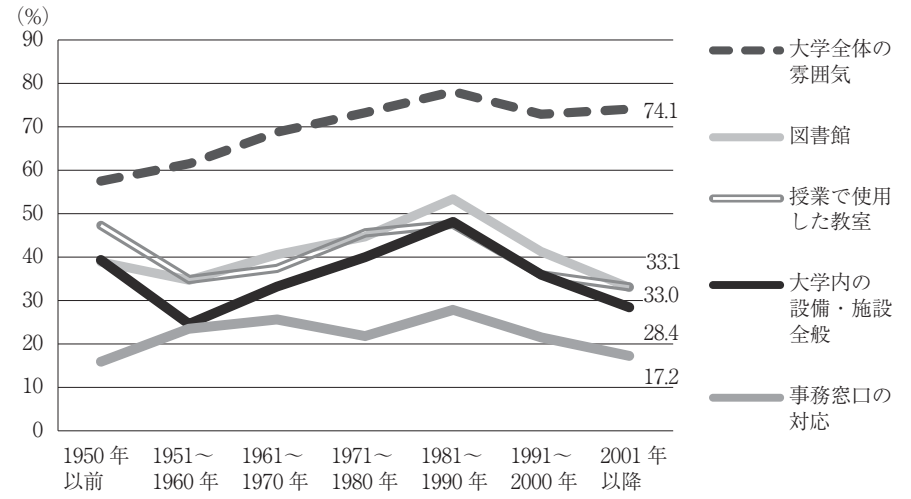


図 2–27　卒業コーホート別　大学の施設・対応に対する満足度（学部卒業生 n=8924）

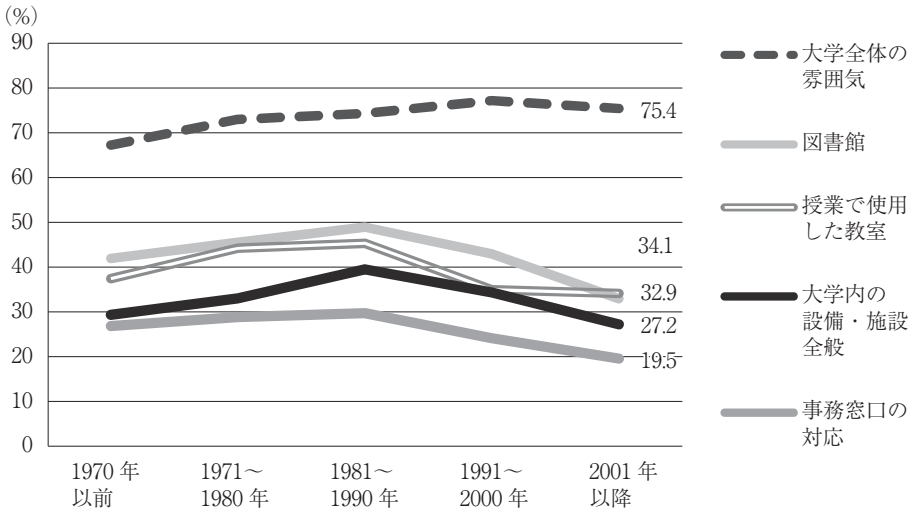


図 2–28　修了コーホート別　大学施設・対応に対する満足度（大学院修了生 n=1396）

3．学部卒業・大学院修了後の職業

3－1．学部卒業後の職業

（1） 学部卒業直後の就業状況

学部卒業後の仕事と結婚について質問したQ10より、学部卒業直後の就業状況をみたい。

図3–1は、Q10「学部を卒業した直後、あなたは収入をともなう仕事をしましたか」の問いに対する結果を示している。「正規社員・正規職員として働いた」（71.7%）が最も多く、次いで「大学院進学、留学をした」（14.2%）となっており、全体の85.9%を占めている。一方、他の学部卒業直後の仕事状況は、「収入をともなう仕事にはつかなかった」（4.4%）、「パート・アルバイトで働いた」（3.5%）、「派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた」（2.5%）、「自宅で塾、・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした」（0.9%）、「家業の手伝いをした」（0.3%）と少数である。

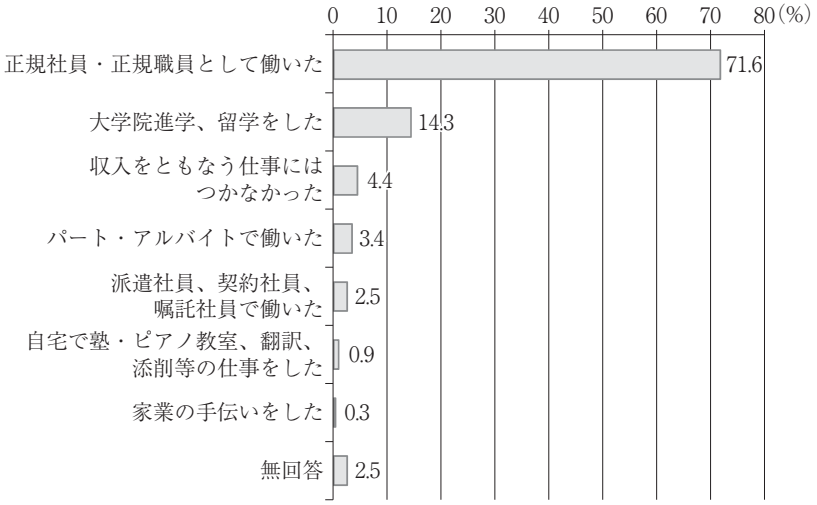


図3–1　学部卒業直後の就業状況

なお、第一部2章（P.15）では、卒業年コーホートごとに文理別で「学部卒後の初職の従業上の地位」を集計している。バブル崩壊後の90年代半ば以降の学部卒業生から、文系・理系ともに正規雇用就業が減少し続け、特に文系では非正規雇用の割合が増加し、理系では大学院進学者（留学含む）の割合が増加している。

以下は、「正規社員・正規職員として働いた」「パート・アルバイトで働いた」「派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた」と回答した正規及び非正規雇用の「被雇用者」である学部卒業生への問に対する回答を検討していく。したがって、ここでは、「自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした」「家業の手伝いをした」といった自営・自由・家業従事者は含まれない。

学部卒業生の91.9%が、22歳～23歳で最初の仕事に就いており、ほとんどが学部卒業後すぐに就職している。また、学部卒業直後の仕事の職種を尋ねたところ、最も多いのが、「1.専門技術職」（64.3%）であり、次いで「3.事務的職業」（24.9%）となり、上位二職種だけで全体の約

9 割を占め、第 1 次産業やブルーカラー職に就く学部卒業生は極めて少ない。初職被雇用職種の世代別・文理別集計は第一部 2 章（P.17）に詳しいが、それによると、文系では 1980 年頃の学部卒業生までは約半数が教員となっていたが、男女雇用機会均等法以降は、初職で教員になる割合は急速に減少し、事務職になる割合が急増した。一方、理系では、専門技術的キャリアをたどる学部卒業生が一貫して多く、専門職・技術職（含む教員）の比率は、近年でも 6 割に達している（P.17、図 2–4）。

（2） 専門技術職の内訳

これを踏まえて、ここでは、学部別・卒業コーホート別に専門技術職に就いた学部卒業生の業種の内訳を、とくに研究職・技術者、SE 及び教職についてみていく。

研究職・技術者は、学部別（図 3–2）でみると、理学部と家政・生活科学部の学部卒業生でほぼ占められており、卒業年コーホート別（図 3–3）では、1990 年代以降の学部卒業生からは減少傾向にあることがわかる。これに対して、SE に就く学部卒業生は、1990 年代以降急速に増加しており、学部ごとの集計をみても、理学部（18.9%）だけでなく、文教育学部（8.7%）と家政・生活科学部（8.2%）でも 1 割近くの学部卒業生が初職として就職している。

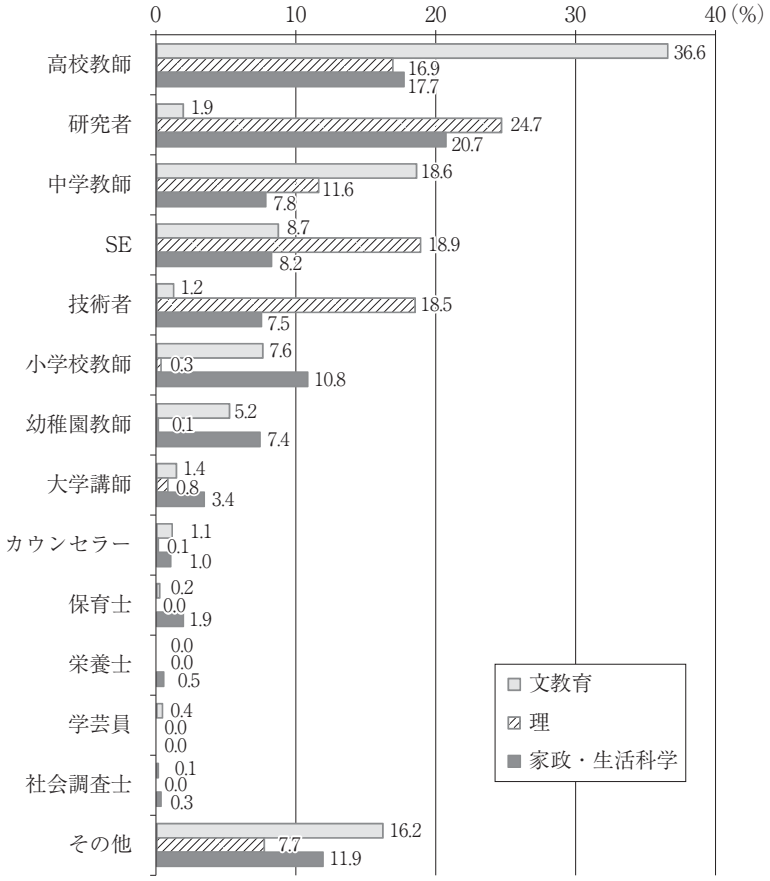


図 3–2　初職における学部別専門・技術的職業割合（学部卒業生 n=4562）

次に、教職についてみていく。まず、学部別では、中学校及び高等学校の教職は、文教育学部（中学 18.6%、高校 36.6%）では専門・技術的職業の中で最も多くの割合を占め、理学部（中学 11.6%、高校 16.9%）と家政・生活科学部（中学 7.8%、高校 17.7%）においても比較的多くの学部卒業生が選択する職業であることがわかる。また、小学校教師と幼稚園教師は、文教育学部（小学校 7.6%、幼稚園 5.2%）と家政・生活科学部（小学校 10.8%、幼稚園 7.4%）の学部卒業生が比較的多く就職している。このように、各学部で一定の割合を占める教職であるが、卒業年コーホート別にみていくと、1980 年代の卒業生以降、急速に減少していることがわかる。特に、高等学校教師の場合は、1990 年代末から 2000 年代初頭にかけて採用数が最も減少した時期と重なるように、初職従事者が減少している。ただし、小学校教師では、2001 年以降の学部卒業生で増加傾向を示している。これは団塊の世代の退職に伴い、2000 年代半ばから採用数が増加したこと関連していると考えられる。

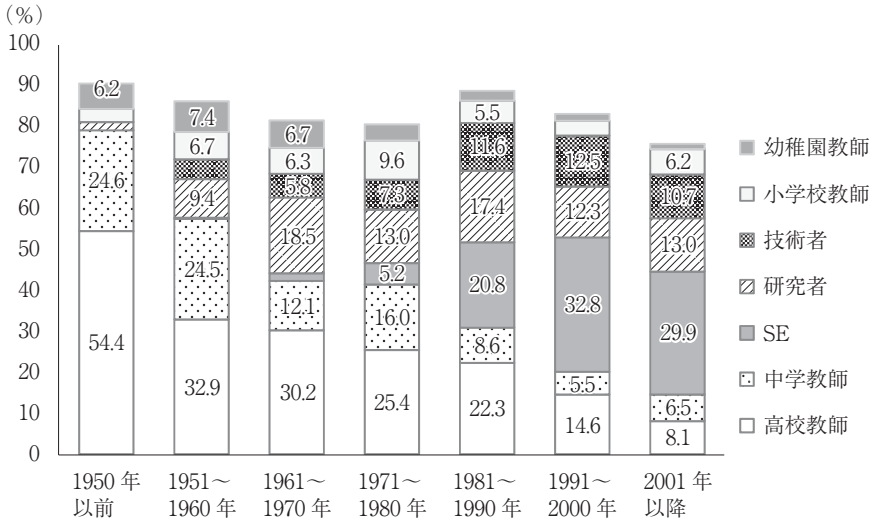
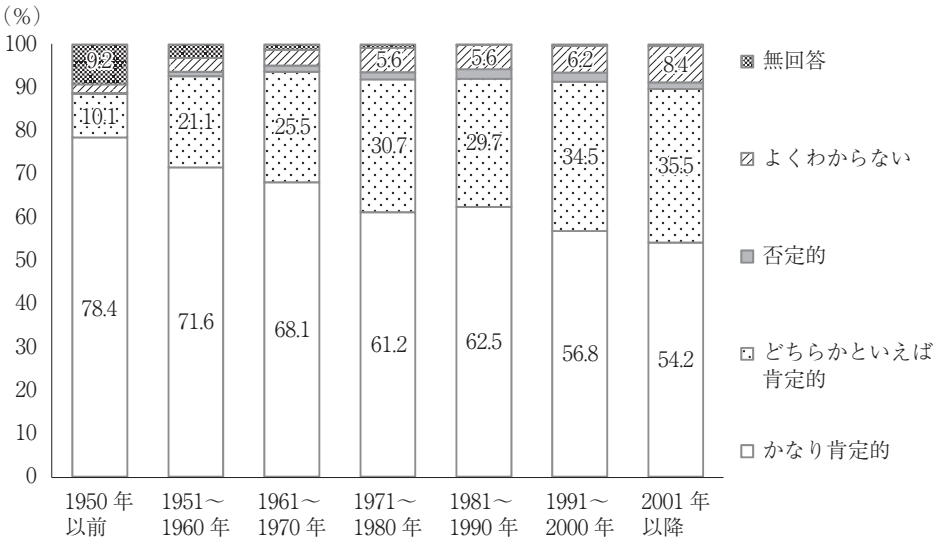


図 3–3　初職で専門・技術的職業に就いた学部卒業生の職業構成（n=4562）

（3）　お茶大学部卒業生に対する勤務先の評価

図 3–4 は、「お茶の水女子大学を卒業したということは、その勤務先でどのような評価を受けた（受けている）と思いますか」という問に対する世代別の回答を集計したグラフである。「かなり肯定的だった（である）」と回答する学部卒業生の割合は年々低くなっているものの、全世代の 9 割以上の学部卒業生が、肯定的な評価「かなり肯定的だった（である）」「どちらかといえば肯定的だった（である）」）を得ていると回答している。



※「否定的」は「かなり」と「どちらかといえば」の合計

図 3–4　お茶大学部卒業生の勤務先での評価（n=7093）

（4）　初職の継続状況

図 3–5 は、正規及び非正規雇用の「被雇用者」である学部卒業生に対して、「現在も同じ勤務先で仕事を続けていますか」と尋ねた問への回答を世代別に集計したグラフである。ただし、戦前の女子高等師範学校時代の学部卒業生の多くは、服務義務年限により一定期間教職に従事することが求められていたため、ここでは 1951～1960 年の卒業年コーホート世代以降についてみていく。また、学部別の集計では、「やめた」と回答した学部卒業生は各学部 75% 前後、「現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている」と回答した学部卒業生は各学部 10% 台後半となっており、学部ごとの隔たりは見られないため、卒業年コーホート別に「仕事の継続」状況について説明していく。

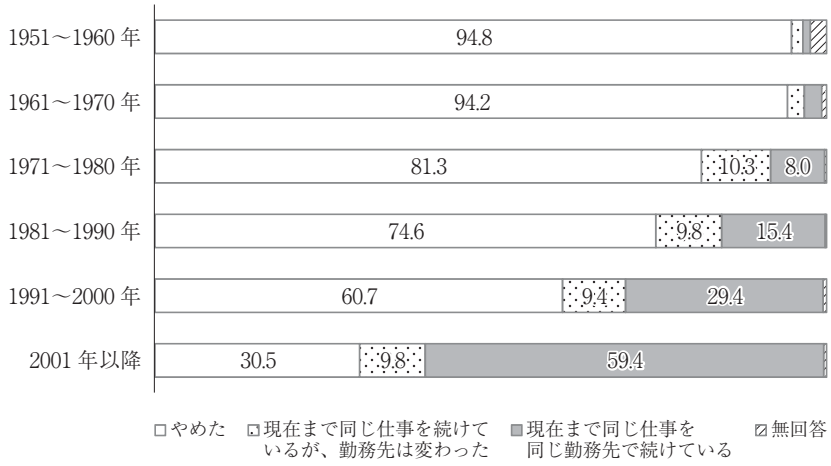


図 3–5　卒業コーホート別初職の継続状況（n=7093）

次に、初職を「やめた」と回答した「被雇用者」の学部卒業生に対して、「卒業直後に働いた仕事をやめるまでの年数」を尋ねた。図 3–6 は、初職をやめるまでの年数ごとの人数を、該当する卒業年コーホートの正規及び非正規で働いた経験のある学部卒業生全体に対しての割合で集計したグラフである。最近の学部卒業生ほど、就職してからの年月が浅いため初職を継続している割合は当然高くなるが、そのことを考慮しても、「1〜2 年」及び「3〜5 年」という比較的短期間で初職をやめている学部卒業生の割合のピークが、1961〜1970 年と 1971 年〜1980 年の卒業年コーホートの世代であることがわかる。これは、図 3–7 に示した卒業年コーホート別「仕事をやめた理由」での「結婚のため」（1961〜70 年：41.3%、1971〜1980 年：46.4%）と回答した割合のピークの世代と重なっている。日本の専業主婦率のピークは 1970 年代初頭であり、高度経済成長期に重なる 1960 年代〜1970 年代の卒業年コーホートの世代の動向と符合している。

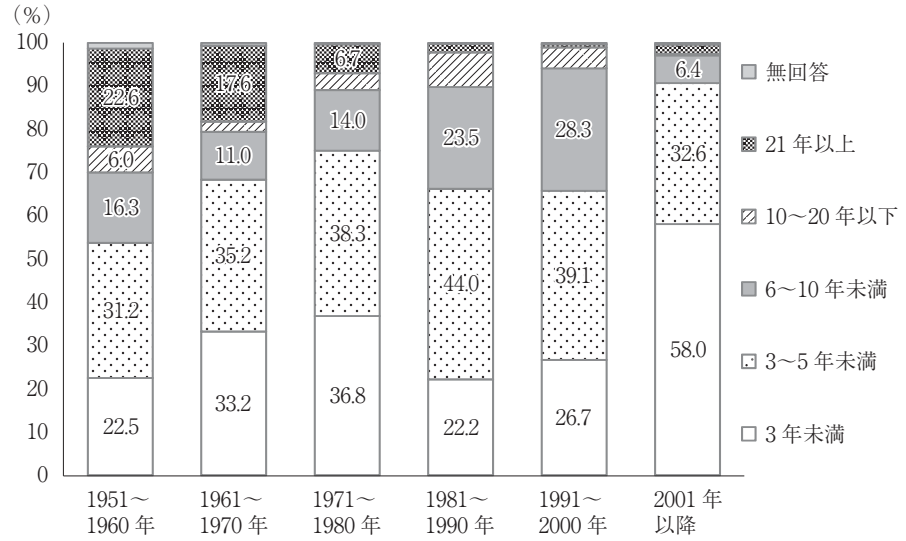


図 3–6　初職離職者の継続年数（n=5379）

（5） 離職理由

一方、図 3–7 をみると、「出産、育児のため」に仕事をやめたと回答した割合は、1955 年の産休補助教員の制度化（「女子教職員の出産に際しての補助教職員の確保に関する法律」）以前に出産を経験している学部卒業生が含まれる 1951～1960 年の卒業年コーホートの世代で 27% と最も多く、その後は、1980 年代の学部卒業生まで、20% 台前半をほぼ横這いで推移している。しかし、結婚退職率は 1971～1980 年卒業コーホートが最も高い。育児・介護休業法が施行された 1990 年代以降、退職理由が出産・育児の割合は減少傾向となっている。とはいえ、未婚者の割合が多いと考えられる 2001 年以降の学部卒業生を除けば、「結婚のため」「出産、育児のため」を理由に初職をやめた割合は被雇用者の学部卒業生の 6 割～7 割にのぼり、仕事と家庭の両立の難しさが窺える。また 2001 年以降では「労働条件が過酷」「転職」「キャリアの限界がみえた」の回答割合が増え、労働市場の変質がうかがわれる。

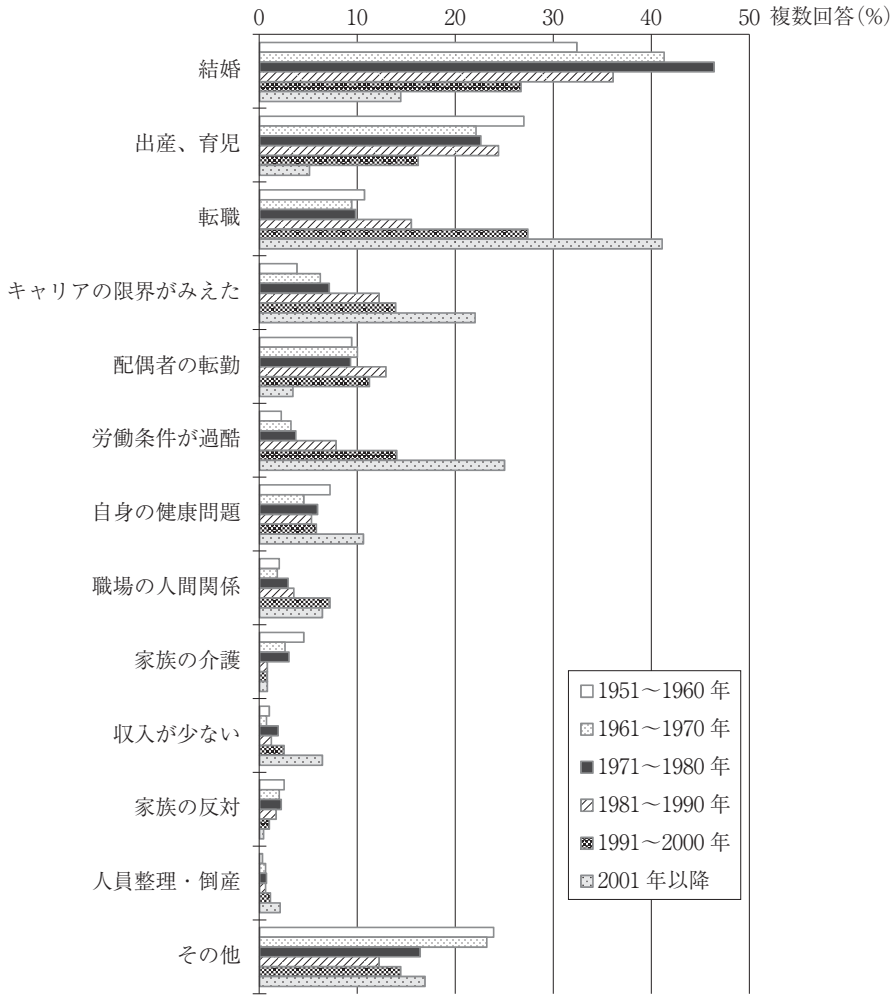


図 3–7　初職の離職理由 (n=5379)

（6） 離職後の状況

図 3–8 は、初職退職後の再就職状況について、卒業コーホート別に集計したグラフである。「収入をともなう仕事はしなかった」と回答する割合が若い世代ほど減少するのに対して、フルタイムあるいはパート・アルバイトなどの非正規雇用で再就職する学部卒業生の割合は年齢層が若くなるにつれ上昇していることがわかる。

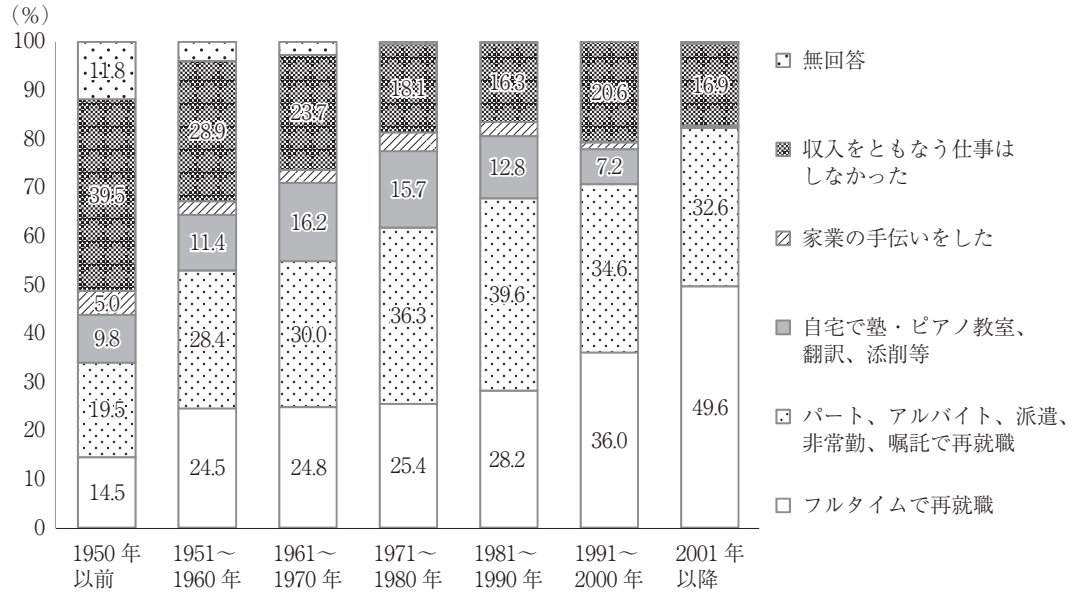


図 3–8　初職離職後の就業状況（n=5379）

また、再就職先について「その仕事をどんな経緯で見つけましたか」と尋ねた結果を、卒業コーホート別に集計したグラフを図 3–9 として示した。「新聞などの求人欄をみて応募」を挙げる割合が 1950 年以前の学部卒業生から一貫して上昇し続け、「1981 年～1990 年」と「1991 年～2000 年」の卒業コーホートでは同世代の中で最も高い割合となるが、2001 年以降の学部卒業生では急激に減少し、それと入れ替わって「Web 上の求人欄を見て応募」の割合が急上昇している。また、「職業紹介所の紹介」の割合が 1961～1970 年卒業コーホート以降一貫して上昇し、1991～2000 年卒業コーホート以降急上昇する一方で、「友人の紹介」の割合が、1961～1970 年卒業コーホートをピークに減少し続けている。

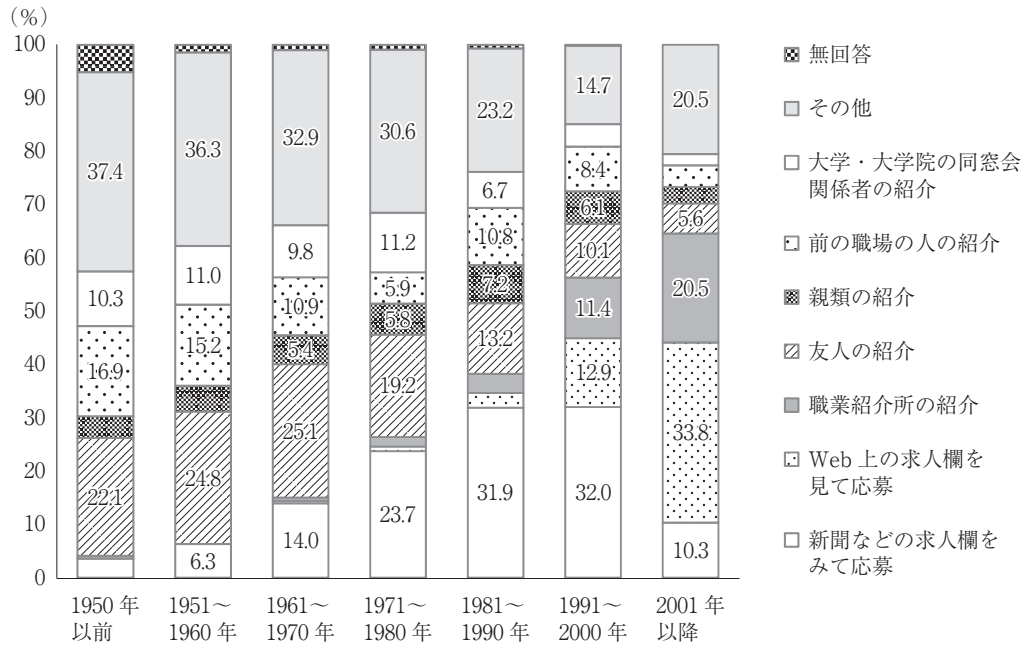


図 3–9　再就職先をみつけた経緯（n=4004）

（7）　初職継続者の離転職意向

図 3–10 は、「現在まで同じ仕事を続けている」学部卒業生に対して、「仕事をやめようと思った」経験の有無を尋ねた結果を卒業コーホート別に示したグラフである。1960 年～1970 年卒業コーホートの世代までは、7 割前後の学部卒業生が「仕事をやめようと思った」経験は「ない」と回答としているが、1971～1980 年卒業コーホート世代以降は、ほぼ半数の学部卒業生が「仕事をやめようと思った」経験が「ある」と回答している。ただしこの設問は、学部卒業年代を遡るほど長期に就業継続できた人だけが回答者となるため、古い世代ほど「ない」の割合が高くなるのも当然といえる。

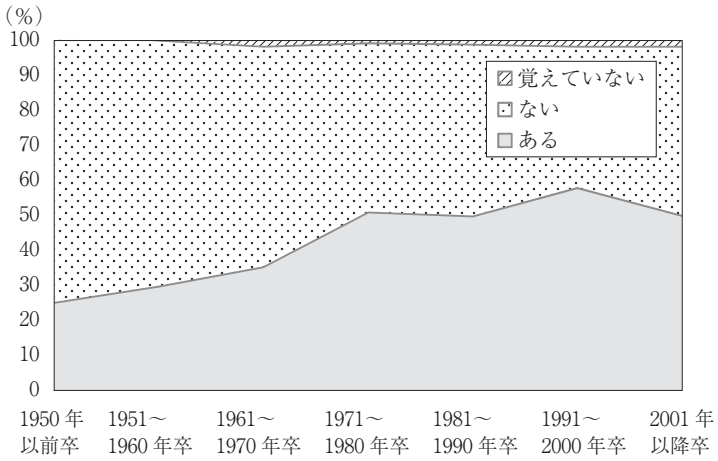


図 3–10　初職継続者が離職を考えた経験（n=1621）

さらに、「仕事をやめようと思った」ことが「ある」と回答した学部卒業生に対して、「仕事をやめようと思った理由」を複数回答でたずねた。ただし、ここでは 1950 年以前の学部卒業生の対象者が 3 人とすくなかったために、1951〜1960 年卒業コーホート以降の集計結果をグラフ（図 3–11）とした。1990 年代末から 2000 年以降の学部卒業生の場合、第 1 子出産を経験していない者が多く含まれることを加味しても、「出産・育児」のため」と回答した学部卒業生の割合が、1961〜1970 年卒業コーホート以降減少しているとみることができる。これに対して、「労働条件が過酷だから」、「キャリアを積む限界がみえたから」、「職場の人間関係のため」は、1981〜1990 年卒業コーホート以降、3 割前後以上を推移しており、仕事をやめるか否かの判断基準が、仕事と家庭の両立問題よりも、労働及び職場環境にシフトしている傾向を読み取ることができる。

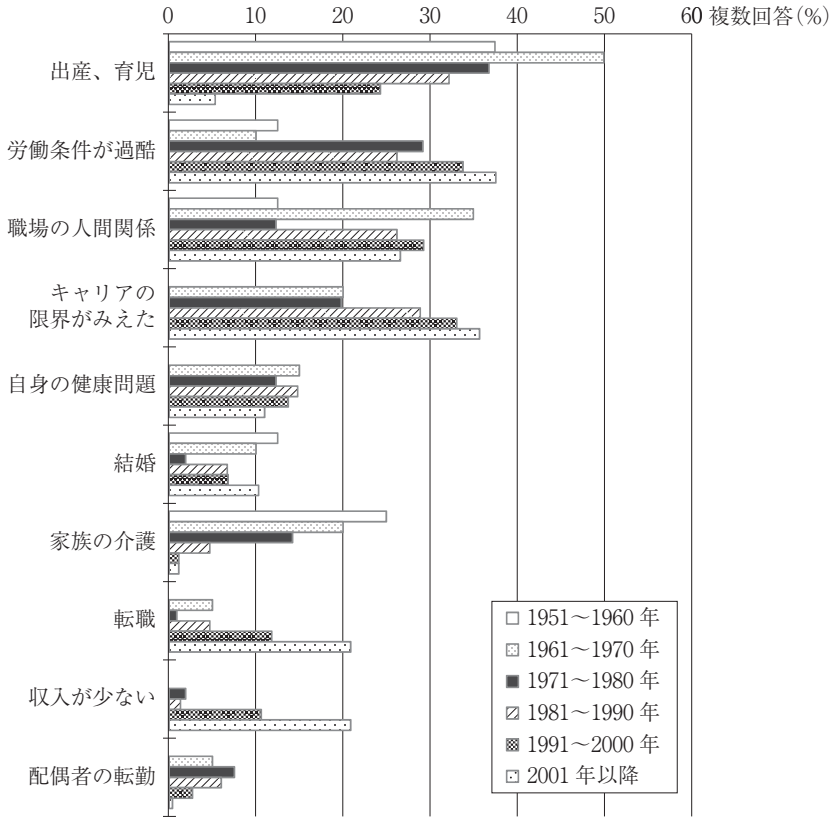


図 3–11　初職継続者が離職を考えた理由 (n=812)

また、「仕事を続けられた、あるいはやめるに至らなかった理由」を自由回答で求めたところ、765 人から回答を得た。回答理由全体からは、夫、親などの「家族の協力」を一義的な理由として挙げる学部卒業生よりも、「仕事への意欲」「職場の理解・協力」「待遇・労働環境」等の仕事に関わる側面での意識と周囲のサポートを挙げる学部卒業生が目立つ傾向をうかがうことができる。一方、回答傾向には、学部卒業生の年代やライフステージによる違いも見られ、30 代〜40 代以降の結婚・子育てを経験した学部卒業生が多い世代になるほど、仕事と家庭の両立への家族及び職場の協力体制を「仕事が続けられた、あるいはやめるに至らなかった理由」として挙げる傾向を確認できる。

3－2．大学院修了後の職業

（1） 大学院修了直後の就業状態

Q11 では、大学院終了後の仕事と結婚について質問した。

図 3–12 は、Q11「大学院を修了した直後、あなたは収入をともなう仕事をしましたか」の問いに対する結果を示している。最も多いのが「正規社員・正規職員として働いた」（修士：52.9%、博士：49.6%）、次いで「おもにパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」（修士：18.7%、博士：26.67%）で、全体の 3/4 を占めている。

最終学歴別（学部卒業者、修士課程修了者、博士課程修了者）に、学部卒業／大学院修了直後の仕事の経験を尋ねると、「正規社員・正規職員として働いた」割合が、博士課程修了者では半数以下であることがわかる。学部卒業生に対する同様の質問では、「正規社員・正規職員として働いた」が 71.5%、「パート・アルバイトで働いた（3.5%）」、「派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた（2.5%）」の合計が 5.5% となっている。学部卒業／大学院修了直後を比較する限りでは学部卒業生と大学院修了生の初職状況は大きく異なり、学部卒業者のほうが安定した仕事に就いているようにみえる。

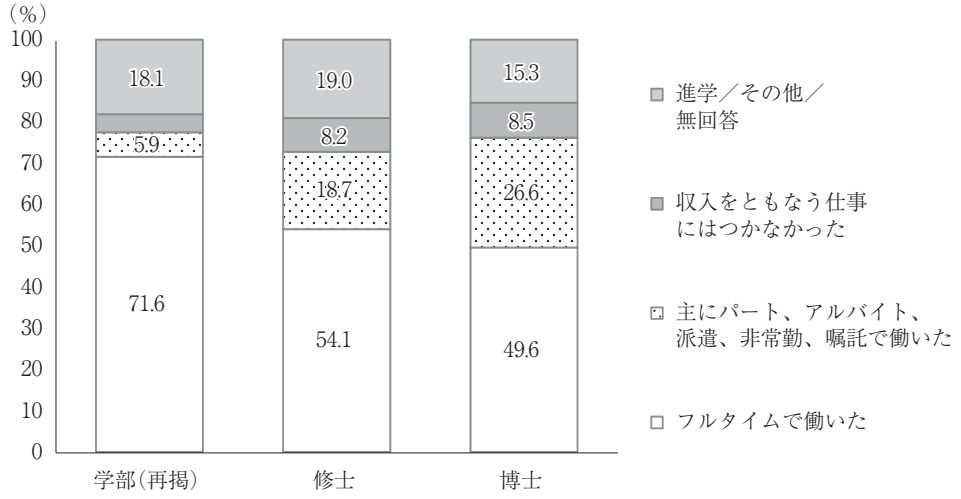


図 3–12　最終学歴別学部卒業／大学院修了直後の就業状況

ただし大学院修了者は、通常、非常勤としての教歴をいくつか積んだ後に、専任教員として採用される場合が多く、それが、学部卒業生と大学院修了生の初職の雇用形態状況の違いに影響すると考えられる。そこで問 11–5 でたずねた「修了直後に収入をともなう仕事につかなかった理由」（図 3–13）を確認すると、修士では「結婚・婚約」の回答割合が多い。適齢期規範が強かった時代には、大学院修了者は結婚適齢期を迎えている場合が多かったためであろう。修了コーホート別に「結婚・婚約」の回答割合を確認すると大学院修了が近年に近づくほど少なくなっている。

近年の大学院修了者で最も多い回答は、「その他」である。特に博士修了者の場合は、大学院修了後に無給の研究員として就職活動を始めるケースも多く、大学院修了「直後」の状態を設問

ではとらえきれなかったと言えよう。さらに、大学院修了者に対しては「直後」だけでない就業状況の把握が重要である。

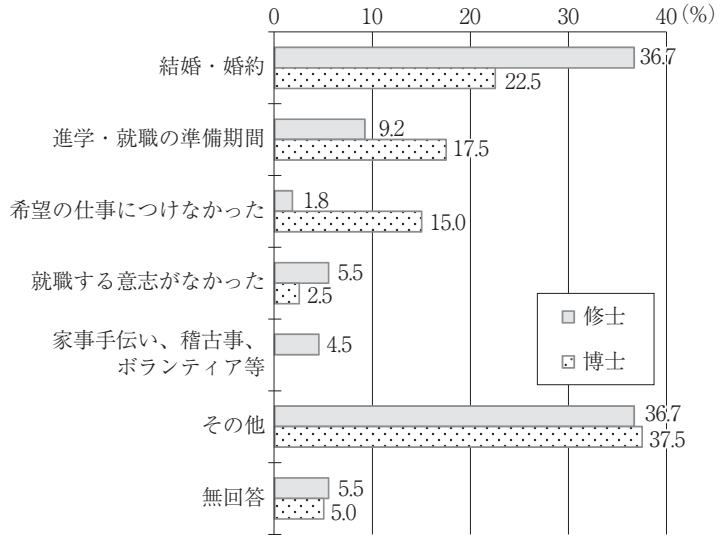


図 3–13　大学院修了直後に収入をともなう仕事に就かなかった理由 (n=149)

（2） 大学院修了直後の職業

以下は、「フルタイムで働いた」「主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」と回答した大学院修了生にのみ対象を絞った問への回答を検討していく。

最初に仕事に就いた年齢は、「24 歳以前」(44.7%)「27 歳以降」(30.2%)「25 歳」(14.9%)「26 歳」(7.5%) という結果となった。また、大学院修了直後に就いた仕事の職種を尋ねると、大学院修了生全体では、最も多いのが「教育・研究職」(63.2%)、次いで「専門・技術的職業」(21.8%) となり、上位 2 職種で全体の 85.0% を占めた。ちなみに、学部卒業生の初職の職種では、「専門技術職」(64.5%) が最も多く、次いで「事務的職業」(24.7%) となり、「研究職」に従事する学部卒業生の割合は、12.9% である。

さらに、図 3–14 では、大学院修了直後に就いた職業について年代別に集計した。これをみると、どの年代においても、「教育・研究職」が最も多いものの、1990 年代以降の大学院修了生で、「専門・技術職」に就職する割合が急激に高まっていることがわかる。理系の大学院修了者の増加が一因と考えられる。

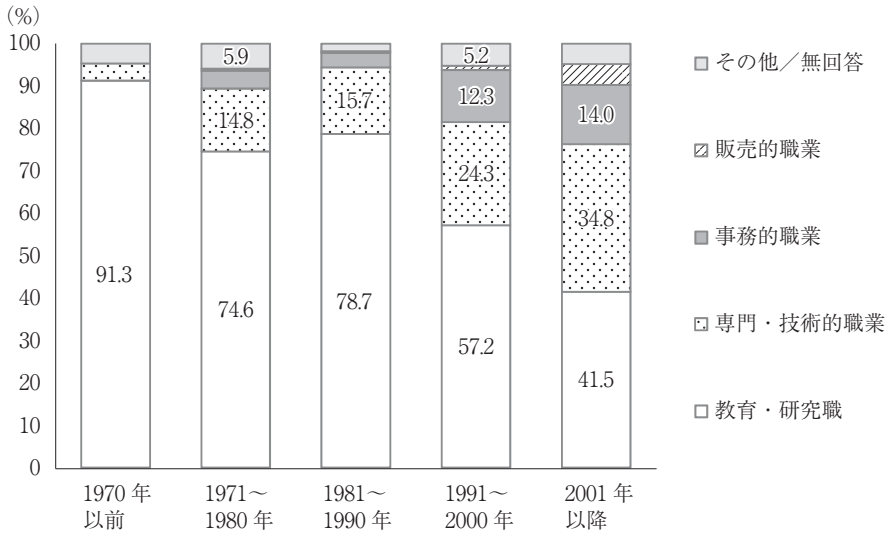


図 3–14　大学院修了直後に就いた専門的職業の内訳（n=286）

図 3–15 は、初職の勤務先の従業員数を示している。最も多いのが「1000 人以上」（22.0%）、次いで「100～299 人」（16.0%）となっており、全体の 7 割近くは従業員が比較的多い企業、研究所、教育機関あるいは公務員であることがわかる。

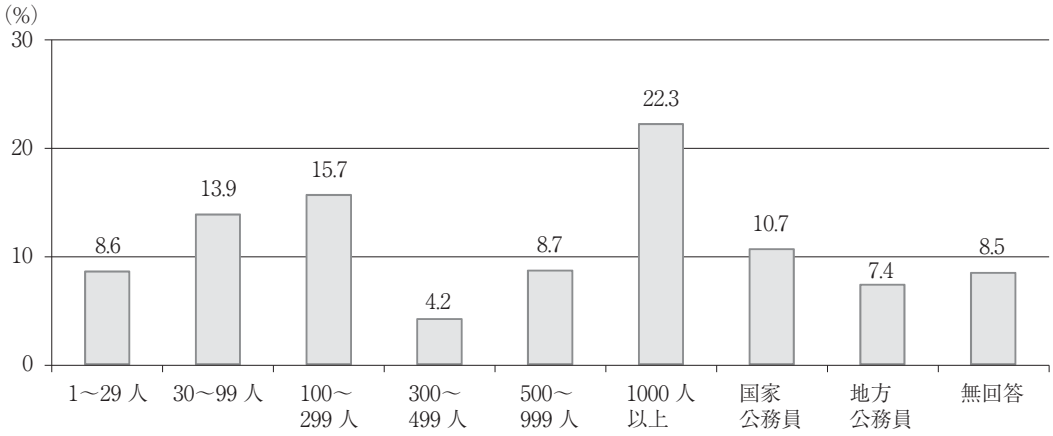


図 3–15 大学院修了生の初職の勤務先従業員数

（3） 教育・研究職の職場

図 3–16 は「教育・研究職」について、さらに具体的な職種を尋ねた結果である。「高校」（16.8%）、「国公立大学・大学院（共学）」（13.5%）、「国立大学・大学院（別学）」（11.8%）、「民間企業の研究所」（10.7%）、「私立大学（共学）」（9.7%）、「短期大学（別学）」（6.5%）、「中学校」（5.2%）、「国公立研究所」（4.7%）、「私立大学（別学）」（3.9%）、「専門学校・各種学校」（3.3%）、「民間・財団法人研究所」（2.4%）、「短期大学（共学）」（1.8%）、「小学校」（1.5%）、「幼稚園」（0.5%）となっている。高等学校・中学校・小学校等でのいわゆる「教育職」に就く大学院修了生よりも、大学及び研究所等の「研究職」に従事する大学院修了生の割合が高いことがわかる。

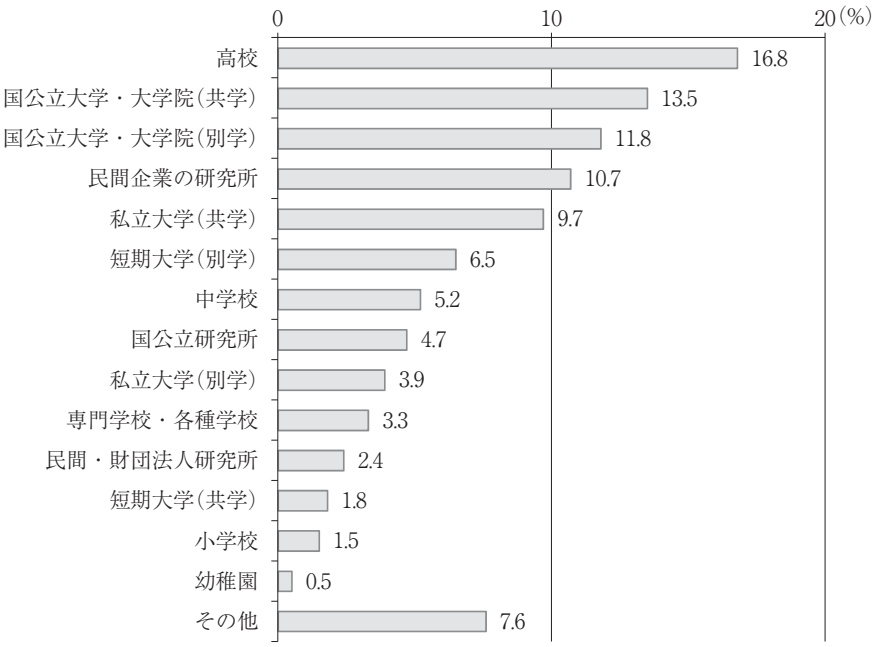


図 3–16　大学院修了生の教育・研究職の具体的職種 (n=845)

大学院修了生の場合は、「教育・研究職」に従事する大学院修了生のなかでも、大学・短大といった高等教育機関に就職する割合がおよそ半数を占めている。さらに、図 3–17 で示すように、博士後期課程修了者（含単位満了取得者）の場合は、62.5% が国公立・私立大学に就職している。

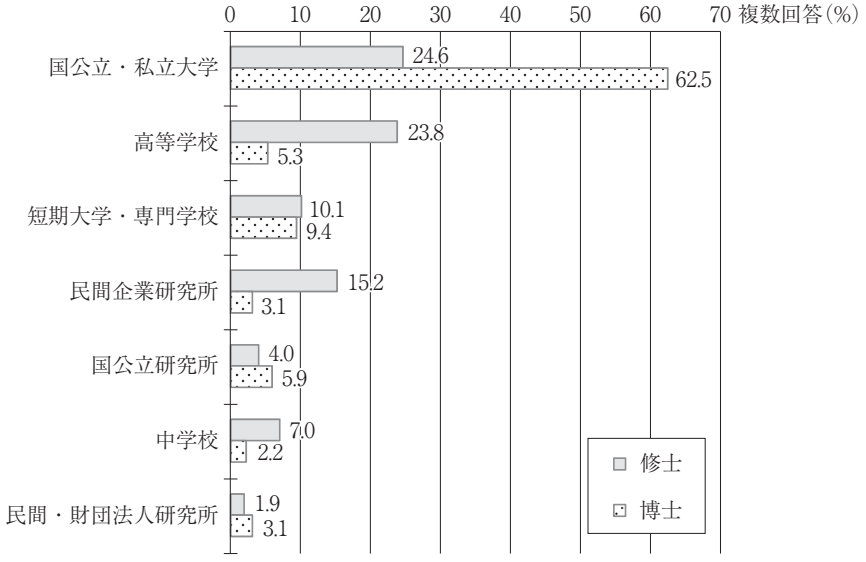


図 3–17　修了直後に就いた教育・研究職の具体的職種 (n=845)

（4） 仕事を見つけた経緯

図 3–18 は、「仕事を見つけた経緯」を大学院修了年代別に示したグラフである。これをみると、全体的に、「お茶の水女子大学の教師」および「お茶の水女子大学以外の教師」の紹介によって初職を見つけた大学院修了生の割合は減少傾向にあるが、とくに、1990 年代以降の大学院修了

生では顕著であることが分かる。加えて、教師を媒介とした就職と入れ替わるように、公募情報による就職、ことに2000年以降の大学院修了者では「Webによる上の公募情報」によって初職を見つけることが主流になりつつあることがわかる。

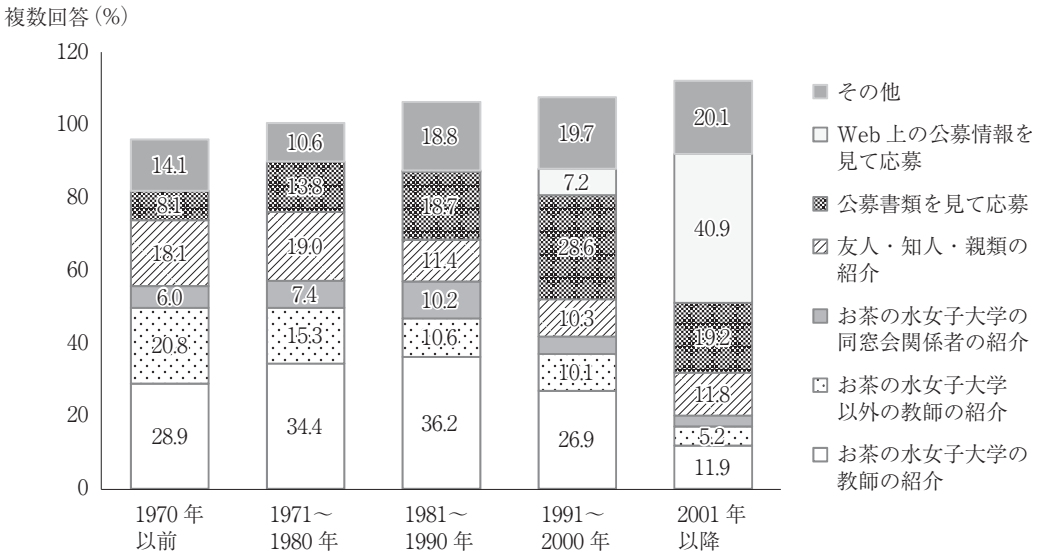
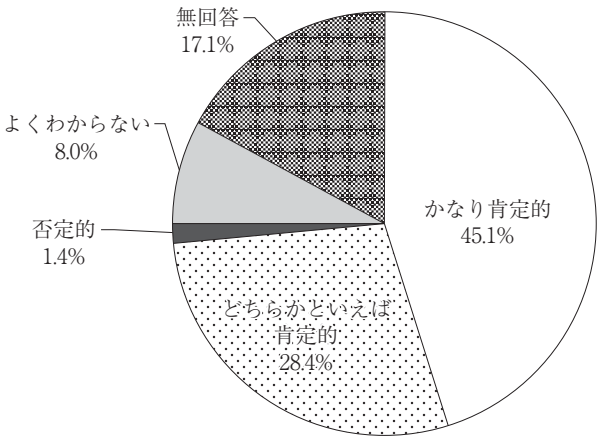


図3–18　仕事を見つけた経緯（n=1329）

（5）　お茶大大学院修了生に対する勤務先の評価

図3–19は、「お茶の水女子大学大学院を修了したということは、その勤務先でどのような評価を受けた（受けている）と思いますか」という問への回答結果である。「かなり肯定的だった（である）」（45.0%）、「どちらかといえば肯定的だった（である）」（28.4%）という回答結果は、学部卒業生の回答結果と同様に、本学に対する社会からの評価の高さを窺わせる。



※「否定的」は「かなり」と「どちらかといえば」の合計

図3–19　本学大学院修了に対する勤務先の評価（n=1329）

（6） 初職の継続状況

図 3–20 は、大学院修了直後に、正規及び非正規雇用の「被雇用者」であった大学院修了生に対して、「現在も同じ勤務先で仕事を続けていますか」と尋ねた問への回答を世代別に集計したグラフである。最近の大学院修了生ほど、就職してからの年月が浅いため初職を継続している割合は当然高くなるが、学部卒業生と比較すると、どの年代でも大学院修了生の方が、初職継続率が高くなっている。たとえば、大半が子育て期を終えていると想定される「1981〜1990 年」大学院修了の世代では、およそ 4 割が同一の勤務先もしくは別の勤務先で「現在も同じ仕事をしている」と回答しているのに対して、同世代の学部卒業生では約 75% が「やめた」と回答している。学部卒業生と比較して大学院修了生の場合、就職した後は職種・職場などを変更せず、継続的に働き続けていることがわかる。

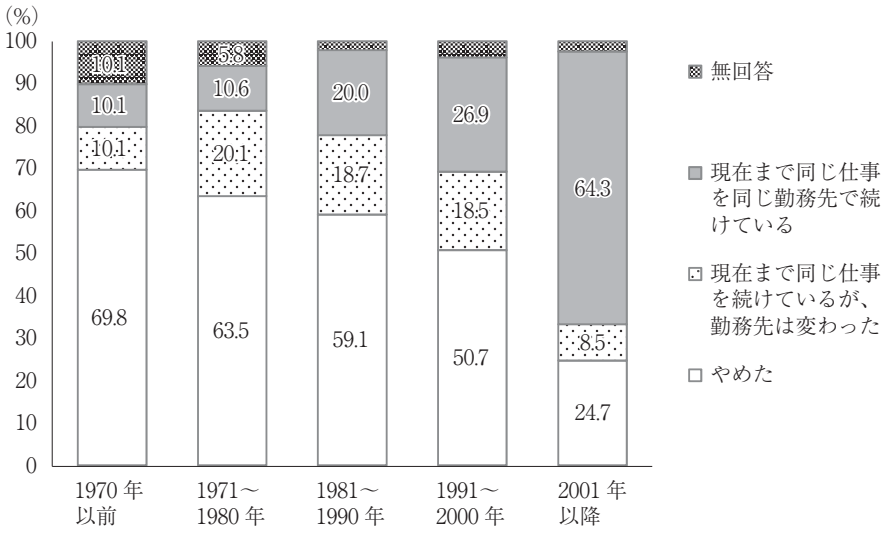


図 3–20　大学院修了生の初職の継続状況 (n=1329)

（7） 離職理由

次に、初職を「やめた」と回答した大学院修了生に対して、その理由を尋ねた。図 3–21 は、大学院修了年別に「やめた理由」を集計した結果である。このなかで、仕事をやめた理由として「結婚のため」を挙げた大学院修了生は、最も若い層の 2001 年以降の大学院修了生では 12.3% であるが、それ以上の年齢層の世代では、1970〜1990 年代の大学院修了生は 16% 台前後で推移している。一方、仕事をやめた理由として出産を挙げた大学院修了生は、出産身経験者の割合が少ないと考えられる 2001 年以降の大学院修了生では 6.2% であるが、1980 年代および 1990 年代の大学院修了生では約 16.5% であり、1970 年代の大学院修了生で 28.3%、1970 年以前の大学院修了生では 20.2% という結果となった。学部卒業生に対する同様の質問について、未婚割合が高いと考えられる 2001 年以降の学部卒業生を除いて比較すると、学部卒業生の場合、初職をやめた被雇用者の学部卒業生の 6 割〜7 割が「結婚のため」「出産、育児のため」を初職の離職理由としてあげており、大学院修了生の方が、「結婚」「出産」と仕事継続の可否との関連が薄いことがわかる。

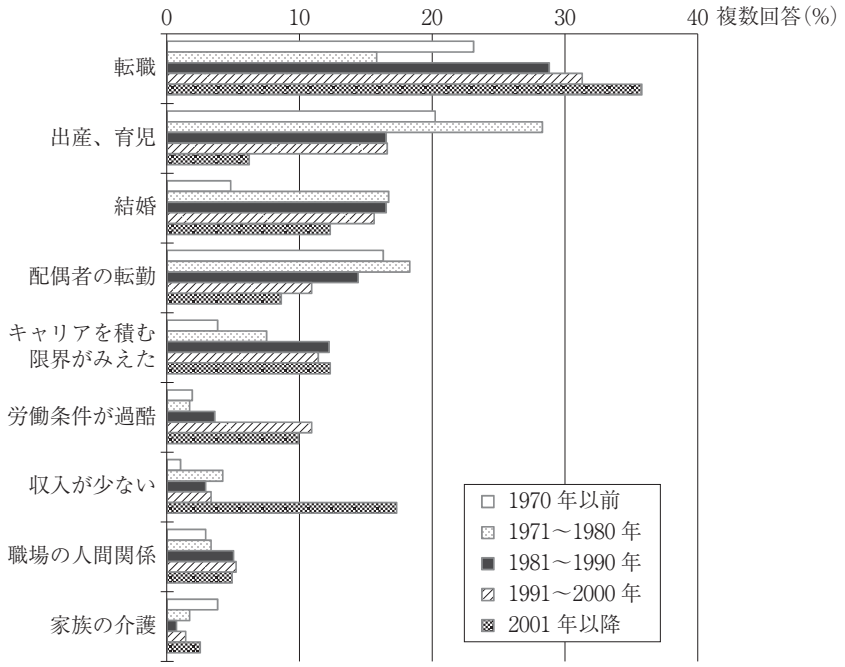


図 3–21　大学院修了生の初職の離職理由（n＝660）

さらに図 3–22 では、「仕事をやめた理由」を修士課程修了者と博士課程進学者とに分けて集計した結果を示した。これをみると、結婚、出産・子育てといった仕事と家庭の両立や「配偶者の転勤」といった主に結婚を契機として生じる理由を挙げる割合は、博士課程進学者が修士課程修了者を大きく下回っていることがわかる。

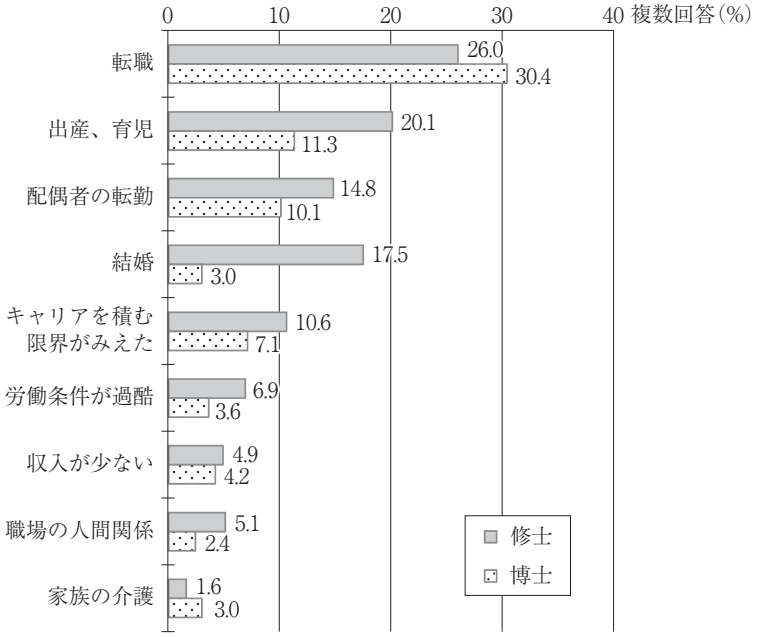


図 3–22　修士・博士別初職の離職理由（n＝660）

（8） 離職後の状況

図 3–23 は、初職退職後の再就職状況について、大学院修了年代別に集計したグラフである。「再就職してフルタイムで働いた」と回答した大学院修了生が、1970 年以前と 1980 年代以降の大学院修了生では最も多くなっている。また、1971～1980 年の大学院修了生では、「再就職してパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」割合が 40.8% で最も多く、次いで「再就職してフルタイムで働いた」の 34.2% となっている。学部卒業生に対する同様の質問では、フルタイムで再就職した割合が、1990 年までの学部卒業生で 25% 前後、1991 年～2000 年の学部卒業生で 36% となっているのに対して、大学院修了生では最も低い割合の 1970 年以前の大学院修了生ですら 28.8%、その後は 1971 年～1980 年の大学院修了生で 34.2%，1981～1990 年の大学院修了生では 47.5% と半数近くが、1991 年～2000 年の大学院修了生でも 44.5% という値で推移しており、全体的に大学院修了生の方がフルタイムで再就職する割合が高いことがわかる。

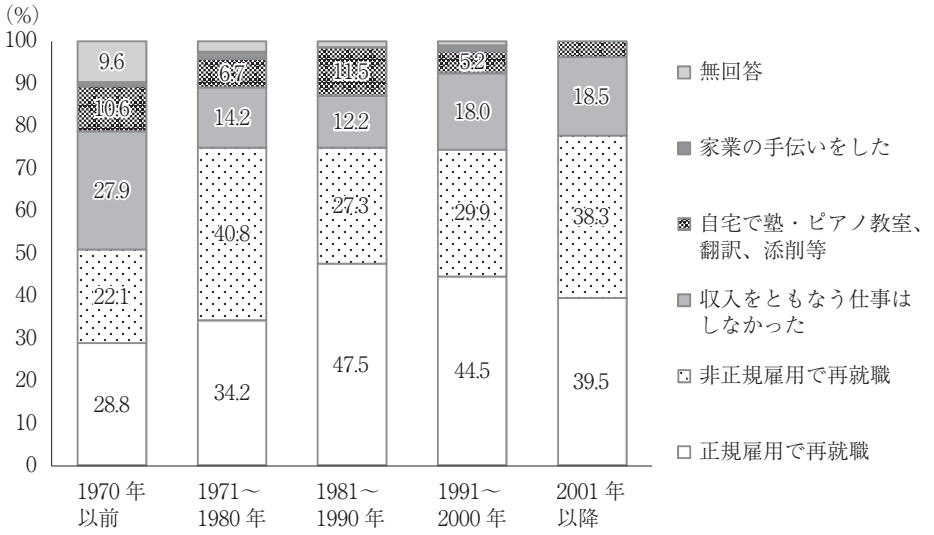


図 3–23　大学院修了生の離職後の就業状況（n=660）

（9） 再就職先を見つけた経緯

図 3–24 は、再就職先について「その仕事をどんな経緯で見つけましたか」と尋ねた結果を、修了コーホート別に集計したグラフである。これをみると、1990 年代以降、「友人の紹介」「親類の紹介」「前の職場の人の紹介」等の縁故による再就職が減少する一方で、「新聞などの求人欄をみて応募」「Web 上の求人欄を見て応募」などの公募での再就職が増加している。特に、「Web 上の求人欄を見て応募」の割合は、学部卒業生の回答と同様に、1991 年以降の大学院修了生で急上昇している。また、「職業紹介所の紹介」により再就職した割合も、学部卒業生と同様、1981 年以降の大学院修了生で増加の傾向がみられるが、学部卒業生に対して大学院修了生の「職業紹介所の紹介」による再就職の割合は少ない。2001 年以降の学部卒業生では、およそ 20% が「職業紹介所の紹介」により再就職しているが、大学院修了生では最も多かった 1991 年～2000 年の大学院修了生でも 8.9% であり、全体的に低割合を推移している。これは専門的職種の紹介には、職業紹介所はあまり適していないためであろう。

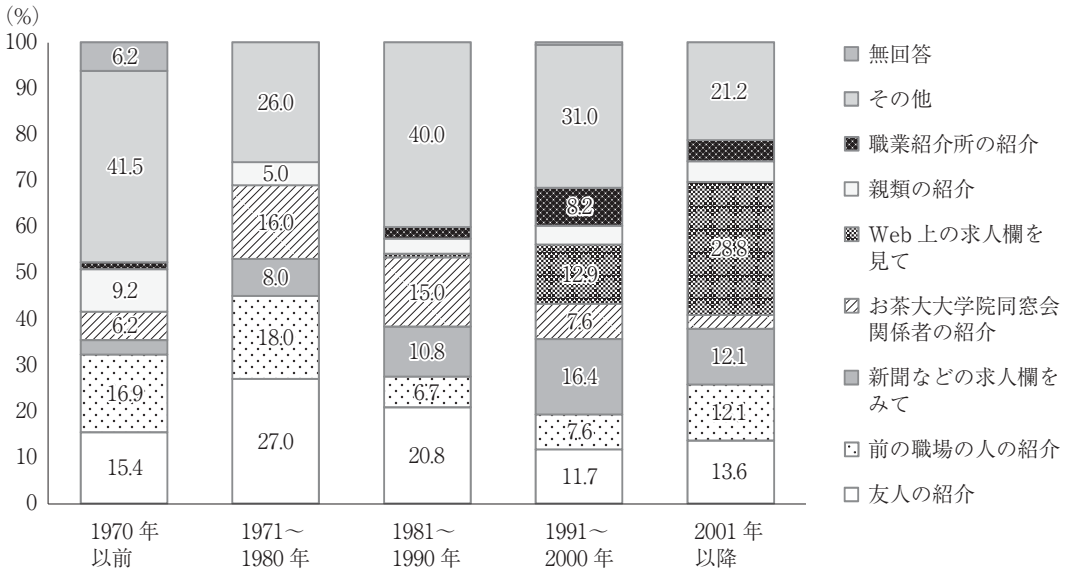


図 3–24　大学院修了生が再就職先を見つけた経緯（n=526）

（10）　離職意向の有無と理由

次に、「現在まで同じ仕事を続けている」大学院修了生に対して、「これまでに、仕事をやめようと思ったことがありますか」と尋ねた。図 3–25 は、修了年代別に集計したグラフである。これをみると、最近の大学院修了生ほど、やめようと思った経験が「ある」と回答する割合が減少している。学部卒業生への同様の質問では、最近の学部卒業生ほど「ある」と回答する割合が増加している傾向がみられた（図 3–10、P.75）のと対照的な結果である。

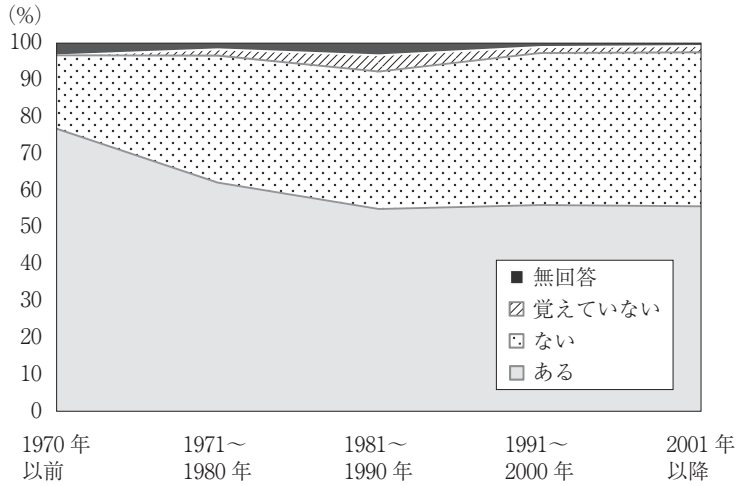


図 3–25　初職継続者が離職を考えた経験（n=612）

また、図 3–26 は、仕事をやめようと思った経験が「ある」と回答した大学院修了生に対して理由を複数回答で尋ねた結果である。図 3–26 からは、仕事と家庭の両立に関わる項目（「結婚のため」「出産・育児のため」「配偶者の転勤のため」「家族の介護のため」）のうち、「出産・育児のため」と回答した割合のみ一定程度の割合を占めているが、それ以外は非常に低いことがわか

る。「出産・育児のため」と回答した割合は、1971～1980 年の大学院修了生で 35%、1981 年～1990 年および 1991 年～2000 年の大学院修了生では 20% 程度、直近の大学院修了生である 2001 年以降の大学院修了生は、出産未経験者が多いと考えられ、5% 程度と非常に少ない割合となっている。これに対して、「労働条件が過酷だから」、「キャリアを積む限界がみえたから」、「職場の人間関係のため」は、各大学院修了年代とも 20～40% 以上の割合を占めており、学部卒業生よりも仕事をやめるか否かの判断基準が、労働及び職場環境の改善、キャリアアップに重点が置かれていることを読み取ることができる。

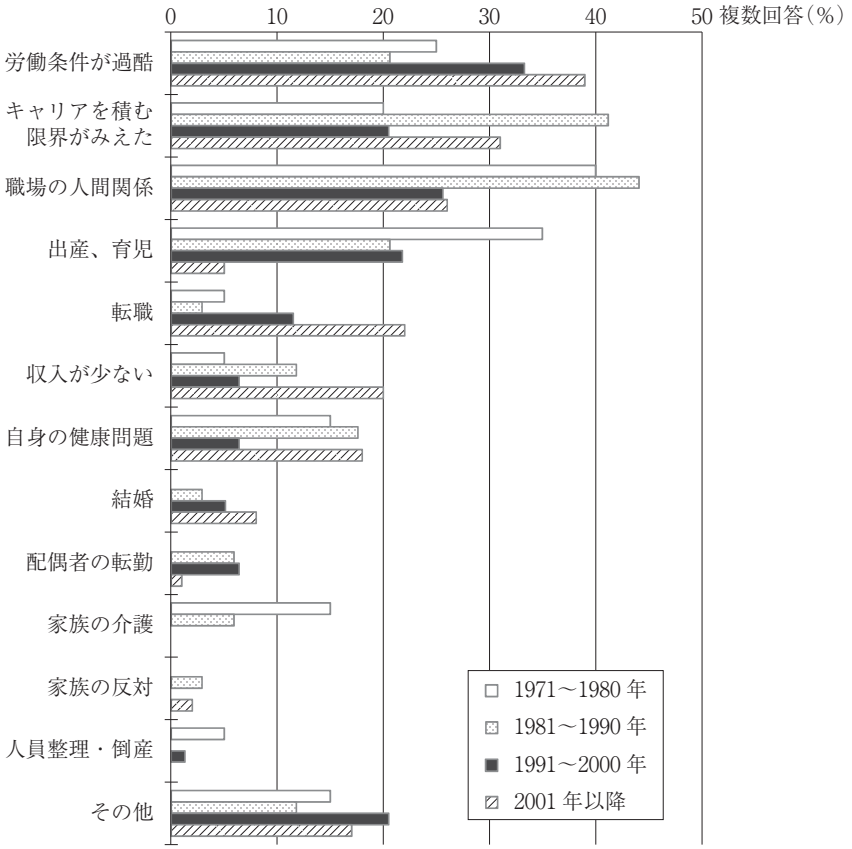


図 3-26　大学院修了後の初職継続者が離職を考えた理由（n=238）

3－3．現在の職業

問 13 では、「現在の収入をともなう仕事」について尋ねた。本項では学部卒業生、大学院修了生を含めた回答者全員を対象とした結果と、大学院修了生のみを対象とした結果を比較しながら現在の職業を確認したい。

（1）　現在の就業状況

現在の就業状況を調査時点（2009 年 1 月）の年齢でおよそ 20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代に相当する 4 つの卒業／修了コーホート別に集計した結果が図 3-27 である。回答者全体、修了者に限定した結果どちらについても、4 つのコーホートで共通して「正規社員・正規職員とし

て働いている」と回答した人の割合が一番高かった。

しかし回答者全体の割合をみると、年代が上がるにつれて正規社員・正規職員の割合は減少する。また「収入をともなう仕事にはついていない」と回答する割合は、調査時の年齢でおよそ20歳代を示すコーホートで16%であるが、およそ30歳代、40歳代を示す2つのコーホートでその割合が高くなり、それぞれ24.4%、21.6%であった。卒業生全体でみると結婚や出産を契機に家庭内労働に従事し、離職している人が少なくないことがうかがわれる結果である。

いっぽう、大学院修了者に限定した結果では、修了コーホートによる違いは顕著にみられない。50歳代以降に相当する1971～1980年修了コーホートでも正規雇用就業率は5割以上に達している。なお最終学歴別では、修士修了者の正規雇用就業率は52.9%、博士修了者55.7%と大きな差は見られなかった（付表2, p.241）。

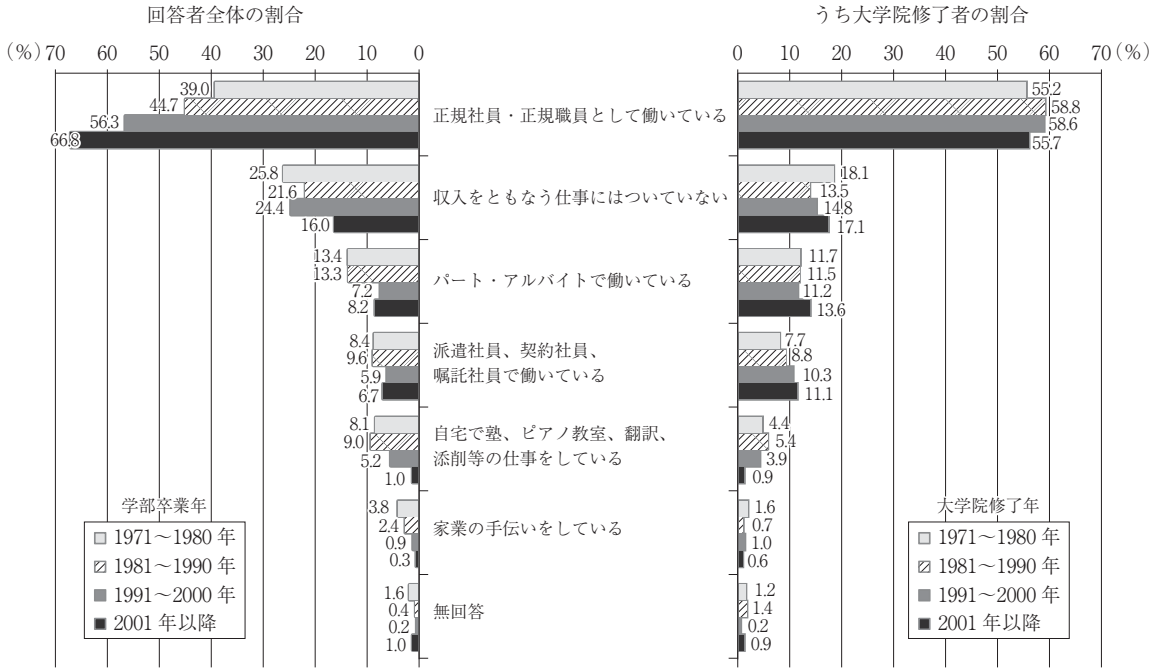


図3-27　現在の就業状況

（2） 就業していない理由

そこで問13で「収入をともなう仕事にはついていない」と回答した人に、働いていない理由について尋ねた。その結果を図3-28に示す。回答者全体、大学院修了者ともに、「家事や育児に専念している」の割合の多さが目立つ。回答者全体では、調査時の年齢でおよそ30歳代、40歳代を示す2つの卒業コーホートで高く、それぞれ66.4%、45.5%、修了者では60.0%、27.5%であった。また、年代が上がるほど、「家族の介護に専念している」を働いていない理由として挙げる人が多くなり、調査時の年齢でおよそ50歳代を示す1971～1980年卒業コーホートで、回答者全体では10.8%、大学院修了者では13.3%を占めている。20歳代に相当する2001年以降の卒業コーホートでは、全体、修了者ともに「その他」が約半数を占めており、就業していないのは選択肢には該当しない多様な理由によることがうかがわれる。

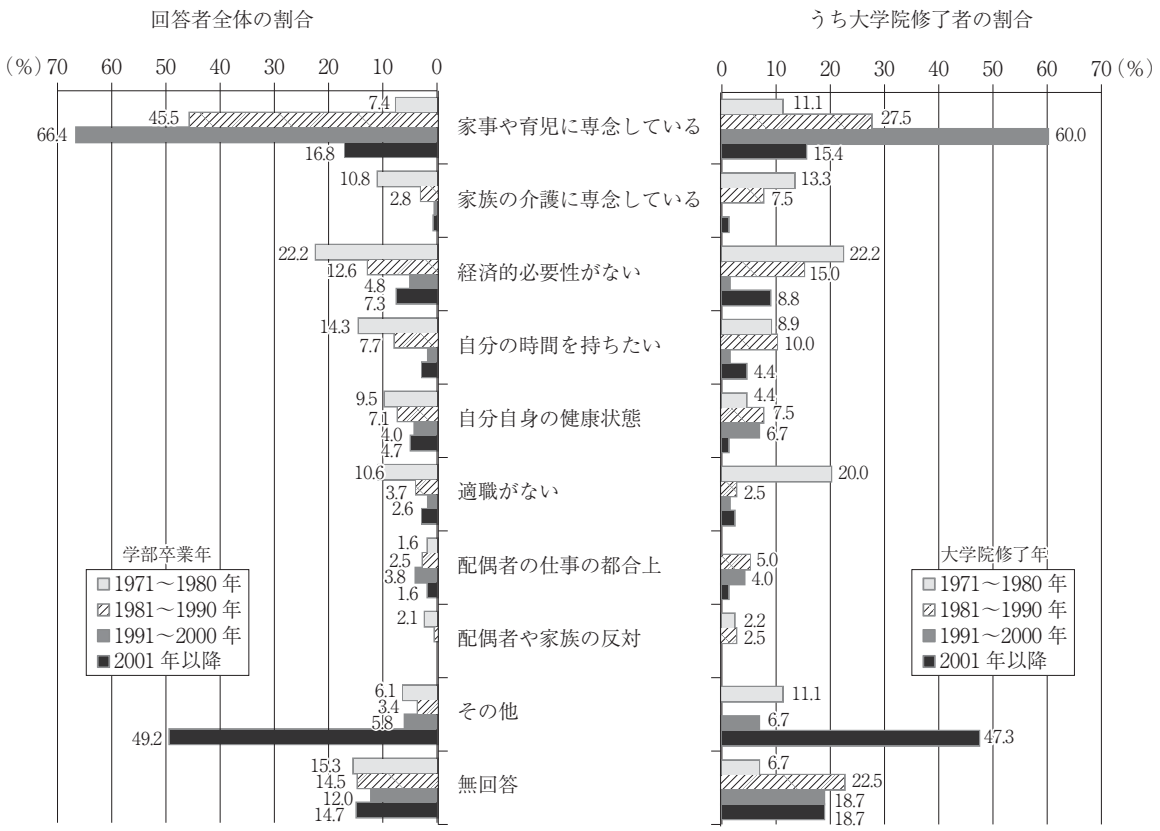


図 3–28　現在、働いていない理由 (n=3591)

（3） 今後の就業意向

さらに、現在働いていない卒業生に「今後収入をともなう仕事をしたいと考えていますか」と尋ねた。回答者全体の結果を卒業コーホート別に図 3–29 に示す。やはり若い世代ほど、今後収入をともなう仕事への意欲が高く、「そう思う」あるいは「どちらかいえばそう思う」を選択した人は 8 割に上っている。しかし、世代が高くなるとその割合は徐々に縮小していき、調査時の年齢でおよそ 50 歳代を示す 1971～1980 年卒業コーホートでは「そう思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」を回答した割合は 35% 程度である。調査時の年齢でおよそ 60 歳代を示す 1961～1970 年卒業コーホートでは、「そう思わない」の割合が圧倒的に高くなり 67.3% を占める。こうした結果からは、世間一般の 60 歳代での定年退職の時期と相まってか、就業への意欲が 60 歳代以降に大幅に低下することがわかった。

大学院修了者も、世代が高くなるにつれて就業意欲が低下してゆくのは同様である。回答者全体と比較すると、「そう思わない」の割合が 1981～1990 年修了コーホートに多いという違いがみられるが（付表 2, p.245）、これは修了者のほうが年齢が高いことを反映していると考えられる。

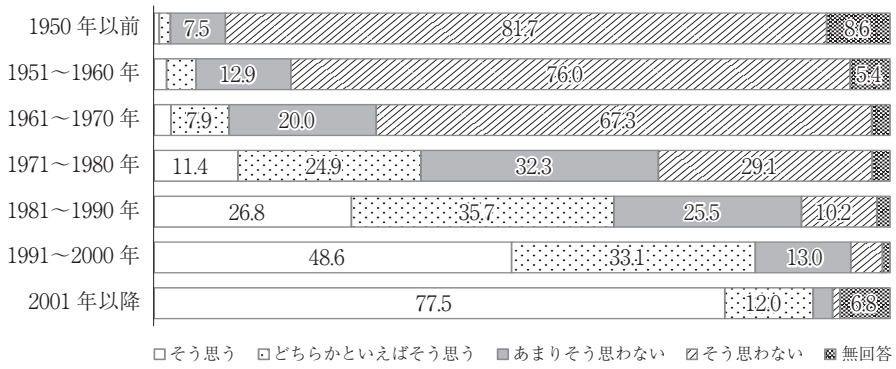


図 3–29　今後収入をともなう仕事への希望（n=362）

（4） 現在の職業

ここまで、世代別に現在働いてない卒業生について注目したが、ここからは現在働いている卒業生がどのような職業についているか注目したい。図 3–30 に現在卒業生がどのような職業についているかを示す。回答者全体、大学院修了者に共通して「専門・技術的職業」合が一番高く、次いで高い割合を占めるのは「事務的職業」であり、若い卒業／修了コーホートほど「専門・技術的職業」の割合は下がり、「事務的職業」の割合が増している。ただし、「専門・技術的職業」の割合は、大学院修了者のほうが明らかに高い。回答者全体をみると、およそ 40 歳代、50 歳代を示す卒業コーホートでは、「管理的職業」に就いている者が約 1 割みられる。

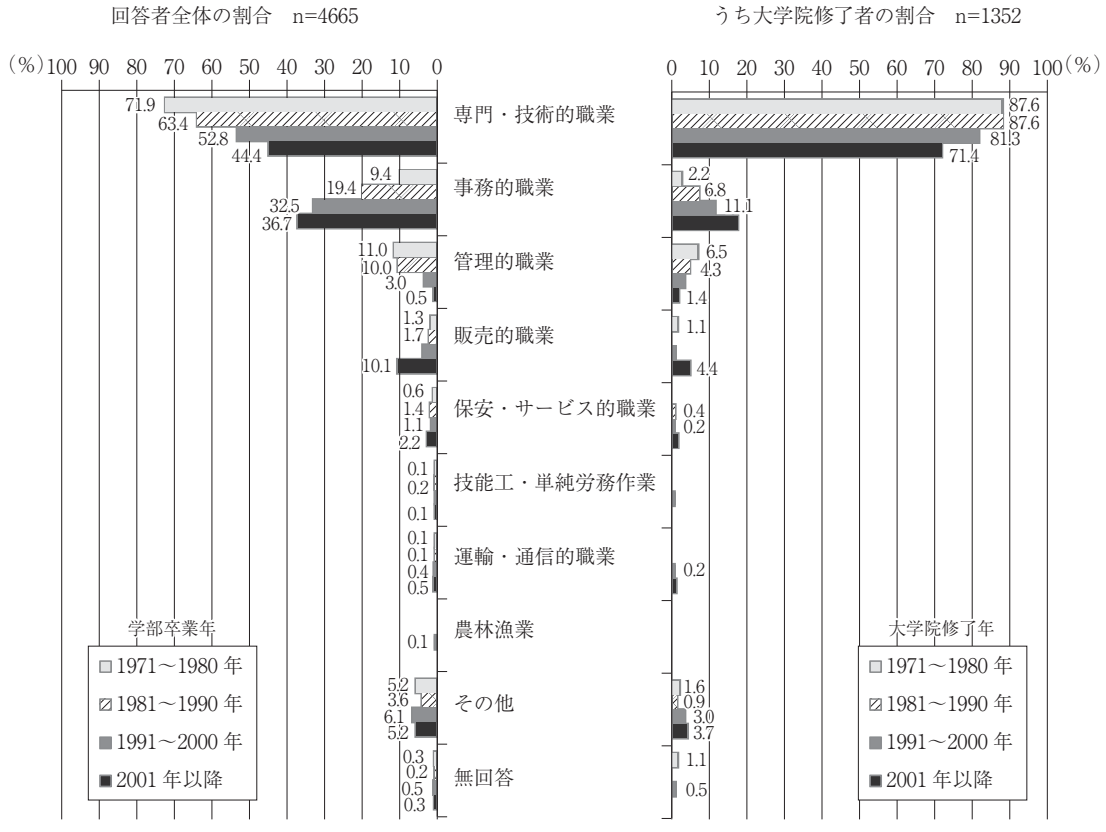


図 3–30　現在の職業

（5） 専門・技術的職業の内容

現在、専門・技術的職業に従事していると回答した人に、その具体的な職業を聞いた。その結果を回答者全体に対しては文教育学部、理学部、家政・生活科学学部の３つの学部別に、大学院修了者に対しては最終学歴別に示したものが図 3–31 である。

回答者全体をみると、文教育学部卒業生は「その他」、「高校教師」、「大学講師」の順に割合が高かった。理学部卒業生では「研究者」、「SE」、「その他」の順で割合が高かった。家政・生活科学学部卒業生は「その他」、「高校教師」、「大学教師」の順で割合が高かった。文教育学部、家政・生活科学学部の２つの学部卒業生に対して、理学部卒業生は「研究者」、「技術者」、「SE」などの割合が突出していることから大学在学中の専攻が卒業生の職業選択に強い影響を与えていることがうかがえる。

大学院修了者をみると、修士修了者では「研究者」が最も多く、次いで「大学講師」、「高校教師」の順で割合が高かった。「技術者」、「中学教師」、「SE」、「カウンセラー」として働く修了者も一定の割合でみられる。これに対し、博士修了者は「大学講師」が 44.0%、研究者が 35.0% と突出して割合が高く、他の職業に従事する者は極めて少ない。

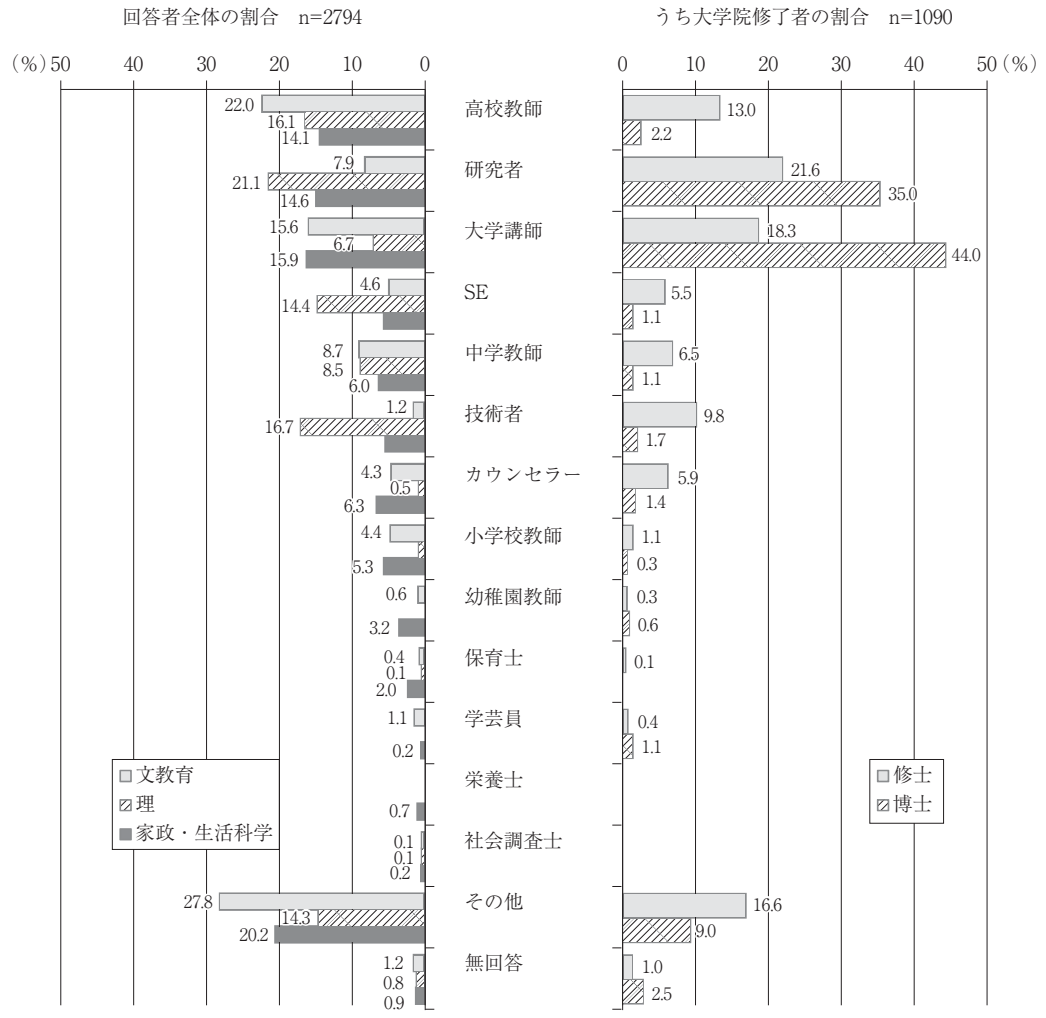


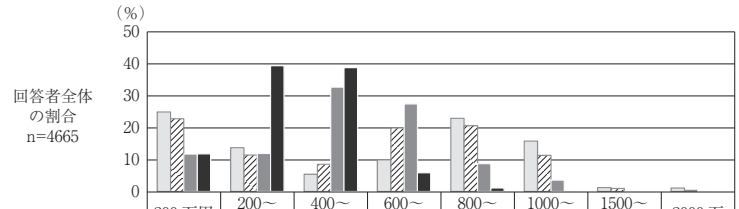
図 3–31　現職者の専門・技術的職業の内容（n=2794）

（6） 就業者の個人年収

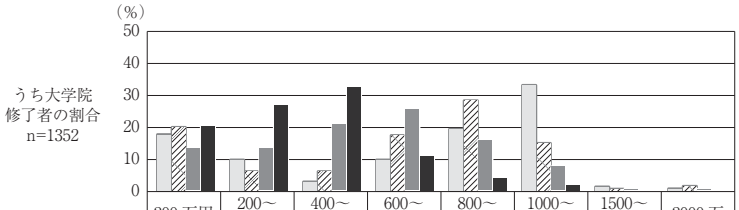
また、現在の就業状況について「正規社員・正規職員として働いている」、「派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いている」、「パート・アルバイトで働いている」とした人の個人年収（税込）について聞いた。卒業／修了コーホート別の結果を図 3–32 に示す。

まず回答者全体をみると、調査時の年齢でおよそ 20 歳代を示す 2001 年以降卒業のコーホートに着目すると最も割合が高いのが年収 200～400 万円未満であり、次いで 400～600 万円未満の割合が高い。次に調査時の年齢でおよそ 30 歳代を示す 1991～2000 年卒業のコーホートでは、最も割合が高いのは年収 400～600 万円未満で、次いで 600～800 万円未満の割合が高い。調査時の年齢でおよそ 40 歳代を示す 1981～1990 年卒業コーホートでは、最も割合が高いのは年収 200 万円未満で、次いで 800～1000 万円未満の割合が高い。また、調査時の年齢でおよそ 50 歳代を示す 1971～1980 年卒業コーホートでは、最も割合が高いのは年収 200 万円未満で、次いで 800～1000 万円未満の割合が高い。20 歳代、30 歳代の若い世代のコーホート（2001 年以降、1991～2000 年）では、個人収入の分布は正規分布に近いが、40 歳代、50 歳代のコーホート（1981～1990 年、1971～1980 年）ではその分布は非正規分布で 200 万円未満と 800～1000 万円の 2 つにピークが見受けられる。これらの結果は、出産や子育てのため離職したことを背景に、40 歳代、50 歳代で年収の二極化が生じていることを示していると考えられる。

大学院修了者の結果も、全体的な傾向は同様である。ただし回答者全体と比較すると、年長コーホートでの高収入者の割合が高いことが確認できる。修了者は 1981～1990 年修了コーホートで 800～1000 万円の割合が高く、1971～1980 年卒業コーホートでは 1000～1500 万円の割合が 3 割以上に達している。



	200 万円未満	200～400 万円未満	400～600 万円未満	600～800 万円未満	800～1000 万円未満	1000～1500 万円未満	1500～2000 万円未満	2000 万円以上
□ 1971～1980 年	24.9	13.7	5.4	9.9	22.9	15.8	1.2	1.1
▨ 1981～1990 年	22.8	11.4	8.5	19.9	20.6	11.3	1.0	0.4
■ 1991～ 2000 年	11.7	11.9	32.7	27.4	8.7	3.6	0.1	0.3
■ 2001 年以降	11.8	39.4	38.8	5.9	1.1	0.1	0.0	0.0



	200 万円未満	200～400 万円未満	400～600 万円未満	600～800 万円未満	800～1000 万円未満	1000～1500 万円未満	1500～2000 万円未満	2000 万円以上
□ 1971～1980 年	17.8	9.7	2.7	9.7	19.5	33.5	1.1	0.5
▨ 1981～1990 年	20.1	6.0	6.0	17.5	28.6	15.0	0.4	1.3
■ 1991～ 2000 年	13.1	13.3	20.9	25.6	15.8	7.4	0.2	0.2
■ 2001 年以降	20.6	27.2	33.0	11.0	4.0	1.6		

図 3–32　現在の税込み個人年収

4. ライフコースと家族形成

4－1．ライフイベントの発生年齢

第一部のライフヒストリーカレンダーでは、代表的なライフイベントを取り上げ、卒業生のライフコースについて詳細な分析がなされている。ここではコーホートによるイベント発生年齢の違いは観察できないものの、全世代を対象として全てのライフイベントの経験年齢を確認しておきたい。設問は21歳頃（大学卒業後）から現在までの就業経験や家事・育児経験などを、1年ごとに線で記入する形式で回答を求めたものである。各年齢の欄に線が記入されている部分をイベント経験年齢としてカウントしている。

（1） 代表的ライフイベントの推移

代表的ライフイベントとして、特に発生率の高い臨時雇用、正規雇用、子（孫）育てについて全世代に年齢別の経験割合を算出した。これを図4–1に示す。正規雇用の割合は、24歳頃ピーク（70% 程度）を迎え、徐々に減少するものの、50歳頃までは20～30% を保持し、定年を迎える60歳頃には10% 程度となった。一方、子（孫）育ての割合は、24歳頃から次第に増加し、33歳ごろにピークを迎え、20年ほどかけてその割合は減少した。臨時雇用の割合は全体的に低いが、子育てのピークを過ぎたあたりから緩やかに上昇した。

子（孫）育ての割合が増加する一方で正規雇用は減少し、ピークを過ぎたあたりからは臨時雇用の割合が若干増加する傾向が認められたことから、結婚や出産などをきっかけに、時間的拘束のある正規雇用から比較的自由に時間を使用できる臨時雇用にシフトするなど、ライフイベントに合わせて就業形態を変化させていると推察できる。

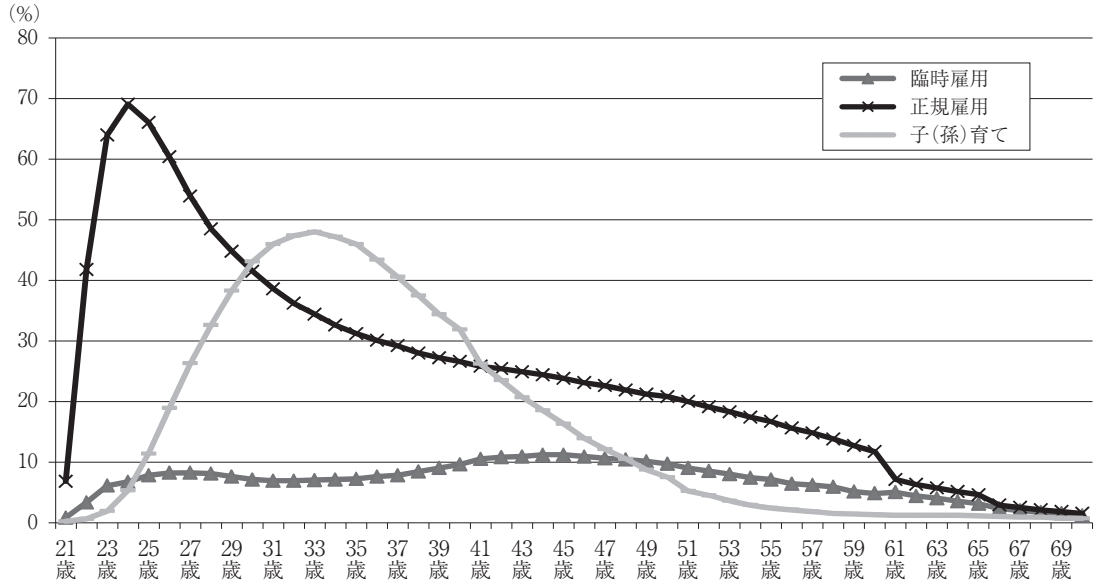


図 4–1　21歳の頃から現在までの臨時雇用、正規雇用、子（孫）育て

（2） 就業歴の推移

就業歴のうち、経験率が10%に満たない項目（求職活動、自営業・自由業、内職、家庭従業者、転職・転籍）のみ取り上げて見ると（図4–2)、求職活動は大学4年時にピークを迎え、その後は30歳ころまでに1%程度となり、その後は1%以下となった。自営業・自由業については学部卒業後から徐々に増加し、43歳頃でピークを迎え、その後減少した。

内職については、子（孫）育てのピーク（33歳頃）から5年程度ずれた38歳頃にピーク（3%）を迎えているが、これは、子育ての中でも特に手のかかる時期（小学生以下）を過ぎたころに、時間的融通のきく仕事として内職を選択する人が増加するためと推察できる。

家庭従事者の割合は、33歳頃がピーク（6%程度）となり、子（孫）育てと同じ傾向を示した。つまり、子（孫）育て開始と同時に家庭従業者となるケースが多いと推察できる。

転職・転籍は20歳代後半に第一ピーク（5%程度）が認められ、30歳代前半には半減し、その後緩やかに減少した。学部卒業後の初職から5年程度での転職・転籍は、ある程度社会人としての基礎を築き、仕事・技術もひと通り習得した時期であることから、キャリアアップを目指したものと考えられる。

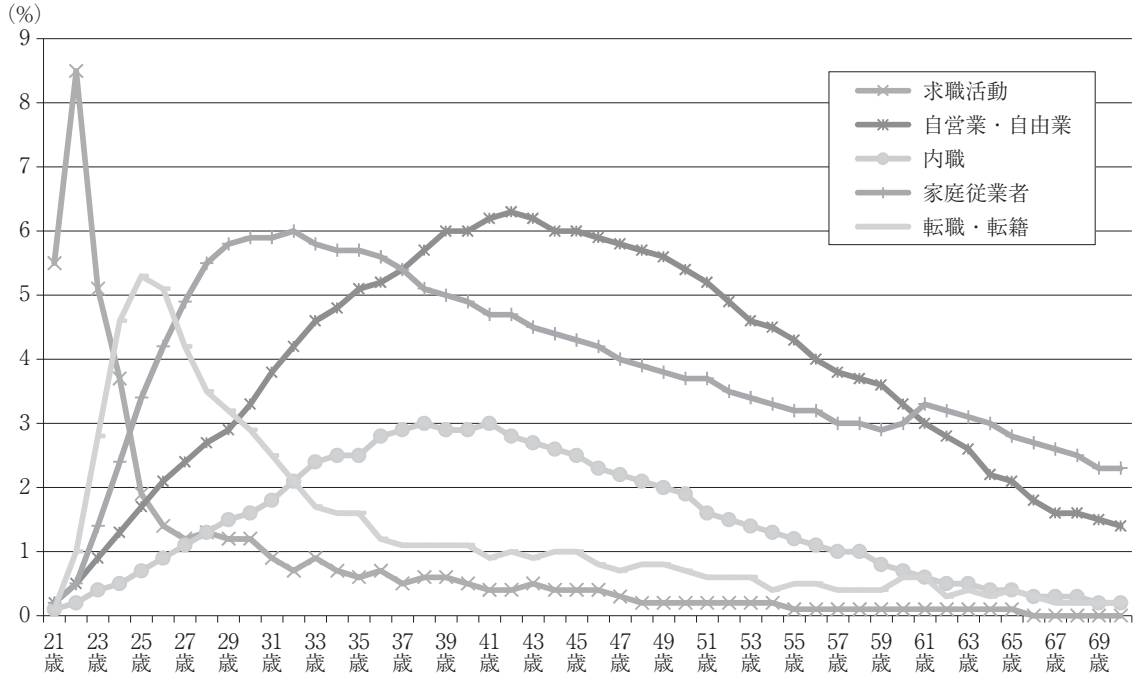


図4–2　21歳の頃から現在までの就業歴

（3） 育児・介護・看護歴の推移

育児・介護・看護歴（図4–3）のうち、看護・介護については、55歳前後がピーク（5%程度）となっている。労働政策研究・研修機構による「仕事と生活－体系的両立支援の構築に向けて仕事と生活の調和を可能にする社会システムの構築に関する研究―最終報告書―」[3)] では、女

3）労働政策研究研修機構、仕事と生活―体系的両立支援の構築に向けて（プロジェクト研究シリーズ)、p67（2007）

性の介護経験は「40〜44 歳」で経験率が 1 割を超え、「50〜54 歳」では 3 割になることを報告しており、今回の調査においても、同様の傾向が認められた。

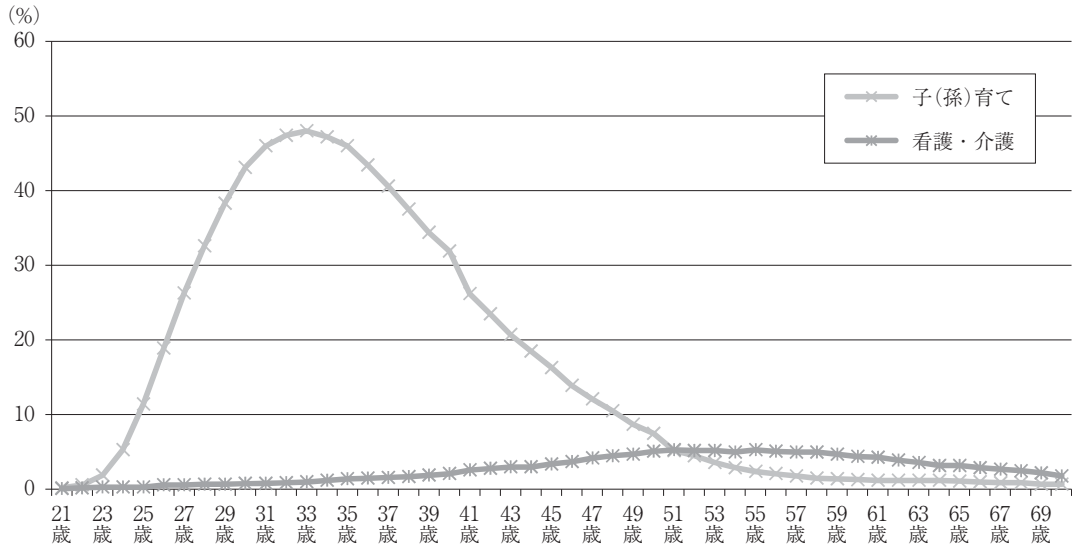


図 4–3　21 歳の頃から現在までの育児・介護・看護歴

（4） 学習・社会活動歴の推移

図 4–4 の学習・社会活動歴（大学・大学院在学、学習活動、社会的活動）のうち、学習活動については、大学卒業後から徐々に増加し、40 歳代頃までその傾向が継続した。定年を迎える 60 歳頃から徐々に減少するもの、本学学部卒業生が学部卒業後も意欲的に学ぶ姿勢を保持している様子がうかがえる。社会的活動については、社会的経験を積み重ねた 40 歳頃から活発となり、その後もほぼ同じ割合（5% 程度）で継続する傾向が認められた。

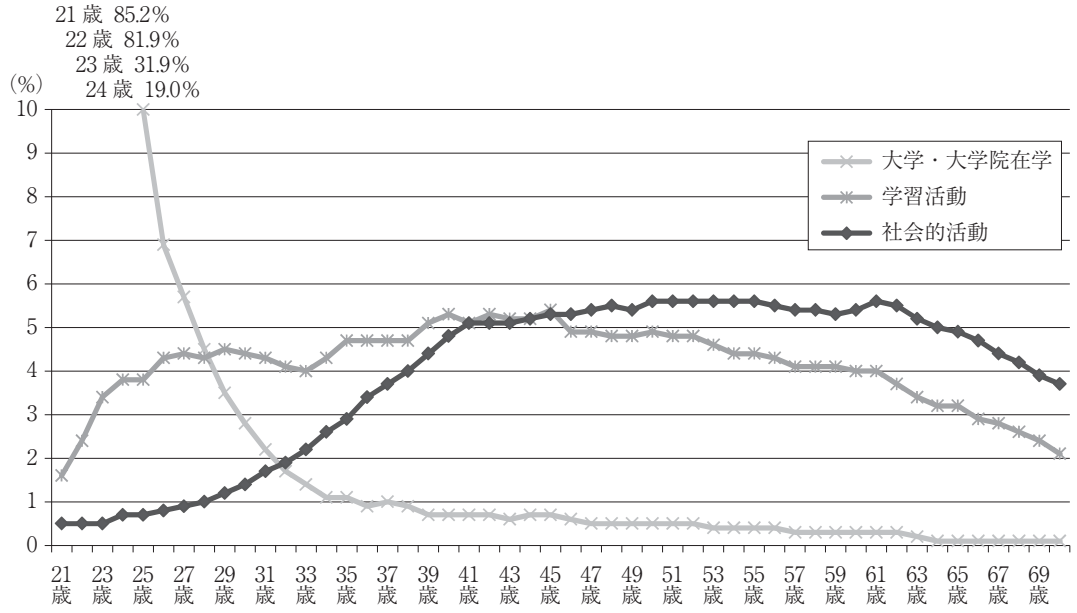


図 4–4　21 歳の頃から現在までの学習・社会活動歴

学部卒業生・大学院修了生のライフコースについては、コーホート別の詳細な分析が必要である。結婚タイミングや出産タイミングのコーホート別状況、就業歴と育児歴の変化は第一部 3 章に掲載したとおりである。

4－2．家族形成

（1） 結婚の有無

問 14 では結婚経験のある学部卒業生・大学院修了生に対し、結婚時の年齢についてたずねた。結婚年齢への回答があった卒業生を「結婚経験あり」、記入がなかった卒業生を「結婚経験なし」と分類し、集計した結果は図 4–5 のとおりである。卒業コーホート別にみると、「結婚経験なし」の割合は、1950 年以前卒業コーホートでは 13.9%、約 7 人に 1 人の割合に相当することになる。「結婚経験なし」が最も低い割合を示すのは専業主婦率が高かった時代、調査時の年齢で 60 歳代に相当する 1961～1970 年卒業コーホート、50 歳代に相当する 1971～1980 年卒業コーホートである。近年の卒業コーホートは、40 歳代に相当する 1981～1990 年卒業コーホートで 12.3%、30 歳代に相当する 1991～2000 年卒業コーホートで 27.4% が「結婚経験なし」となっている。

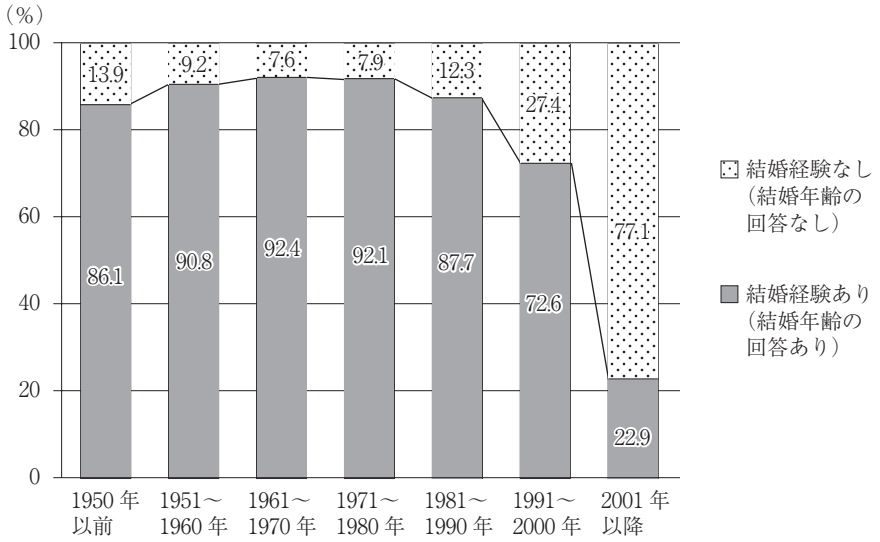


図 4–5　結婚経験の有無

（2） 結婚年齢

学部卒業生本人の結婚年齢を卒業コーホート別にみたものが図 4–6 である。調査時の年齢でおよそ 80 歳代を示す 1950 年以前卒業コーホートでは 40% 強が 24 歳以下で結婚するいっぽう、「30～34 歳以上」の割合も 13.6% とその後のコーホートより高い値を示す。調査時の年齢で 50～70 歳代に相当する 1951～1960 年、1961 年～1970 年、1971～1980 年卒業コーホートでは、「24 歳以下」が 40% 前後、「25～29 歳」が 50% 台、「30～34 歳」が 6% 台と結婚年齢の分布は大きく変化しなかった。より若いコーホートから変化がみられ、調査時の年齢でおよそ 40 歳代を示す 1981～1990 年卒業コーホートでは 18.7%、30 歳代を示す 1991～2000 年コーホートと、世代が若

くなるほど 24 歳以下で結婚する人の割合は大きく減少する。一方で、25〜29 歳の間と 30〜34 歳の間で結婚する人の割合は世代が若くなるほど増加している。ただ 2000 年以降卒業コーホートについては、調査時点でまだ 20 歳代であったため、そうした傾向が結果に反映されていない。

わが国においては少子化問題を背景にして若者の晩婚化に関心が集まっているが、本学の卒業生についても晩婚化の傾向が本調査のデータから読み取れる。

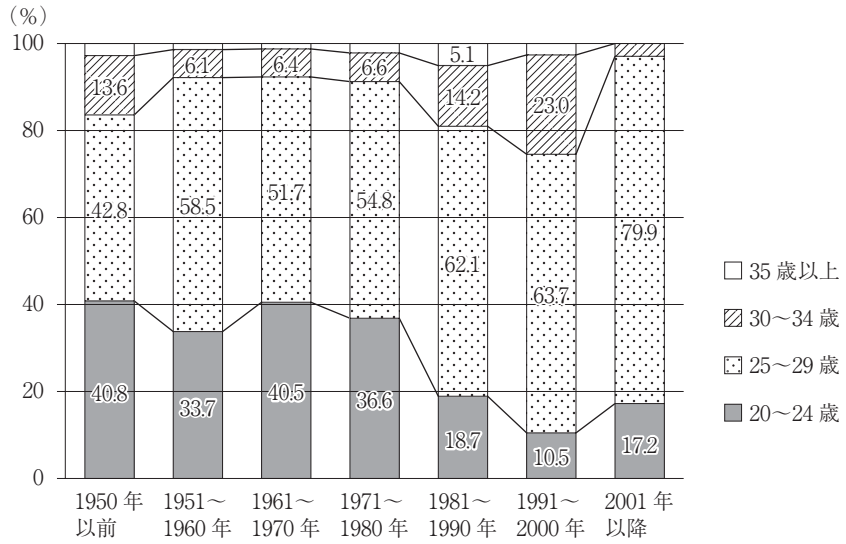


図 4–6　結婚時の年齢（n=6987）

（3） 配偶者の結婚年齢

また問 14 では配偶者の結婚時の年齢についてもたずねた。配偶者も図 4–6 と同様に若い世代ほど 24 歳以下で結婚した割合は低くなっている。またすべてのコーホートに共通して、男性である配偶者の場合は、30〜34 歳の間で結婚した割合が女性である卒業生よりも圧倒的に高い。

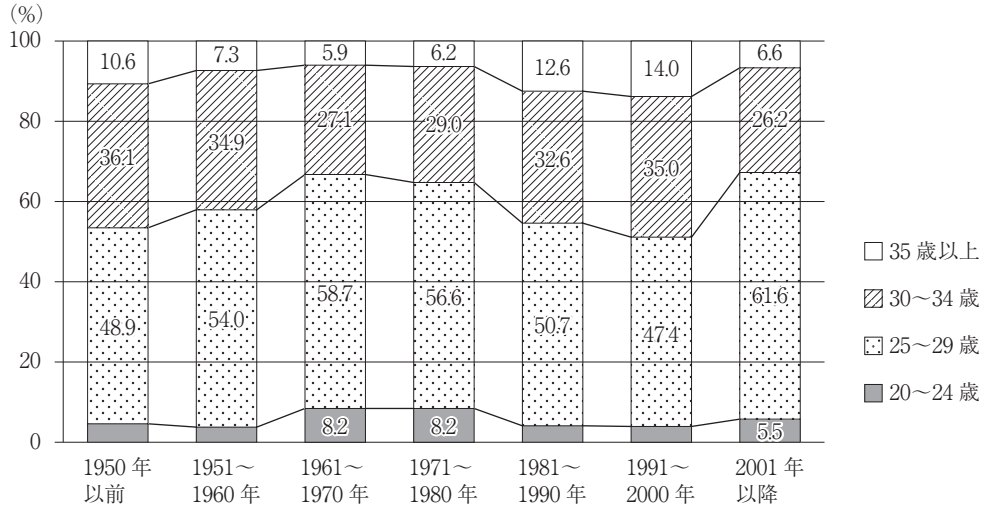


図 4–7　結婚時の配偶者の年齢（n=6957）

（4） 子ども数

図 4–8 に未婚、既婚に関わらずに集計した卒業生の子どもの数を卒業コーホート別に示す。生物学的な女性の出産可能年齢を考慮すると、現在およそ 50 歳代を示す 1971～1980 年卒業コーホート以前の卒業生は既に出産を終えた世代といえよう。1950 年以前の卒業コーホートにおいて、子ども数 0 人の割合が 24.3% と高い。1961～1970 年卒業コーホートでもっとも子ども数 0 の割合は低い。いわゆる団塊の世代でもっとも無子割合が低いというのは全国と同じ傾向である。

全体的に見ると子どもを 2 人持つ人の割合が一番高く、1950 年以前から 1981～1990 年の卒業コーホートまでは約 4 割を占めている。先に見た初産年齢同様、子どもの数の割合に変化が生じているように見受けられるのは調査時の年齢でおよそ 40 歳代を示す 1981～1990 年卒業コーホート以降であり、子どもを持たない人の割合、子ども 1 人の割合が増加し、子ども 3 人の割合が減少する傾向にある。1981～1990 年卒業コーホートにあたる現在の 40 歳代は「均等法世代」とも言われており、本調査の結果からも、男女平等に対する意識や環境の変化が結婚や出産といったライフイベントに影響を与えていることが見受けられる。

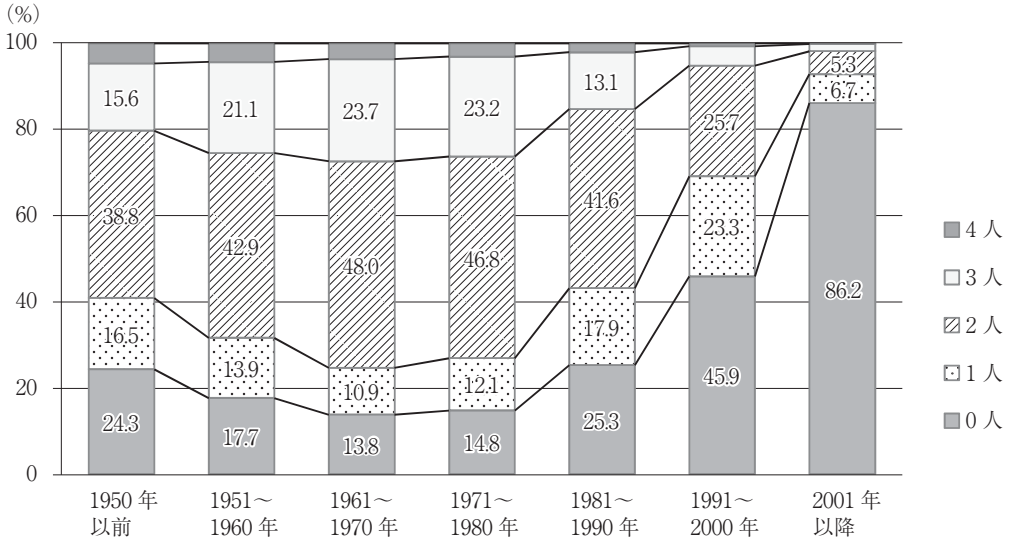


図 4–8　子ども数 (n=8948)

（5） 初産年齢

調査では初産年齢について直接たずねることはしなかったため、現在の学部卒業生・大学院修了生の年齢から第 1 子の年齢を引いて初産年齢を求めた。卒業コーホート別の結果を図 4–9 にしめす。全ての卒業コーホートにおいて、一番大きな割合を示す初産年齢は 25～29 歳の間である。「人口動態調査」（厚生労働省）など全国のデータと比較すると、24 歳以下の初産が少ないのが特徴である。

初産年齢に大きな変化が生じているのは、調査時の年齢でおよそ 40 歳代を示す 1981～1990 年卒業コーホート以降であり、20～24 歳の間の初産が減少し、30～35 歳の間の初産が増加している。2001 年以降卒業コーホートについては、調査時の年齢がおよそ 20 歳代ということで、30～34 歳の間の初産が結果に反映されていない。しかし、先に挙げた学部卒業生・大学院修了生の晩婚化

の傾向も考えると、若い世代ほど30〜34歳の間での初産の割合が増加していると推察される。

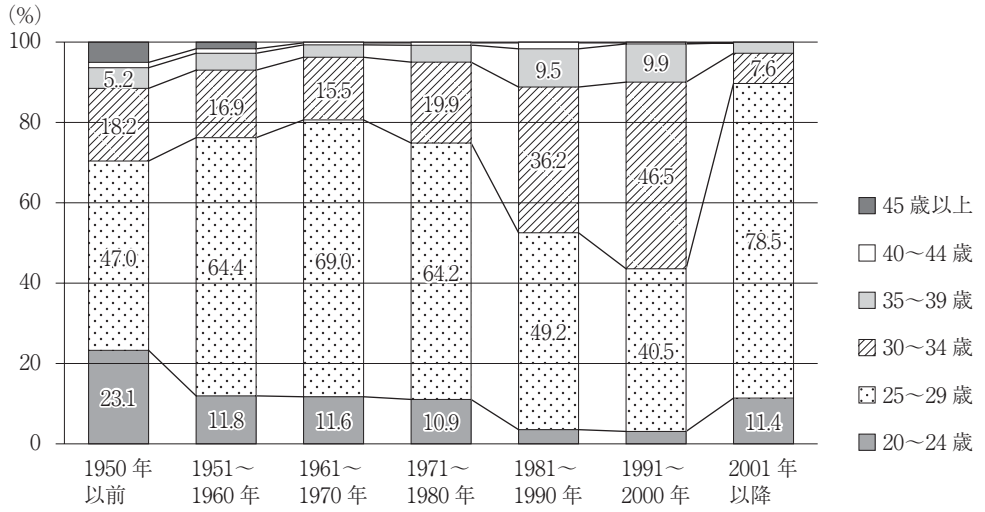


図4–9　初産年齢（n=5956）

4–3．学部卒業生・大学院修了生の家族

（1）　現在の同居家族

学部卒業生・大学院修了生が現在（2009年1月時点）誰と同居しているかについて尋ねた。尚、敷地内別居も同居に含めて回答してもらった。卒業コーホート別の結果を図4–10に示す。「本人のみ」と回答した単身世帯の割合は、1950年以前に卒業したコーホートと2001年以降に卒業したコーホートの2つでピークが見受けられる。これら2つのコーホートの調査時の年齢をおおよそで示せば、1950年以前に卒業したコーホートは80歳代、2001年以降に卒業したコーホートは20歳代ということになる。現在年齢でおよそ40歳代、50歳代を示す、2つのコーホート（1981〜1990年と1971〜1980年）でも約7%程度が本人のみの単身世帯であることが示されている。

このように本人のみの単身世帯の割合は全てのコーホートを通じて緩やかなU字型の変化を示していることを確認できる一方、同居者の変化は学部卒業生の離家・結婚、出産、子どもの離家・結婚、孫の誕生、配偶者との死別などのライフイベントを如実に反映している。例えば、調査時の年齢ではおよそ20歳代を示す、2001年以降の卒業コーホートでは母（義母）との同居の割合は総計して約70%であるが、調査時の年齢でおよそ30歳代を示す1991〜2000年の卒業コーホートでは約25%に大きく減少する。またこの2つのコーホート間で、単身世帯の割居も34.1%から15%に減少し、また未婚の子どもとの同居割合は40ポイント以上大幅に増加することから、実家からの離家、結婚及び出産という定位家族から生殖家族への移行が20歳代から30歳代にかけて集中して起こっていることがうかがわれる。

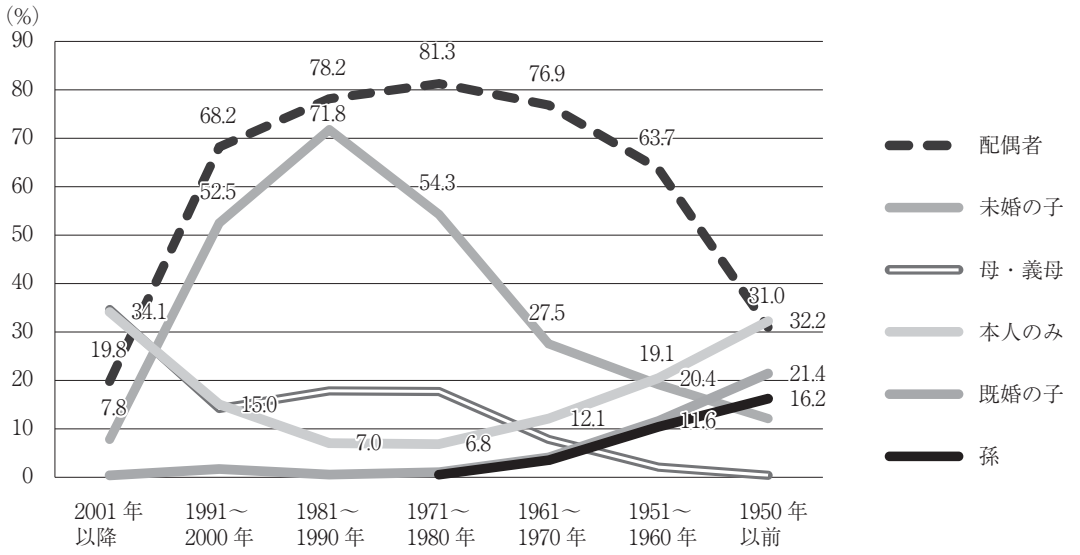


図 4–10　現在の同居家族

また、結婚・出産を経て高齢期に突入する調査時の年齢でおよそ 60 歳代、70 歳代、80 歳代を示す 3 つの卒業コーホート（1961～1970、1951～1960、1950 年以前）では、配偶者との同居割合が徐々に減少し、その一方で既婚の子供及び孫との同居割合が徐々に増加している。

（2） 配偶者の学歴

Q14–2. 図 4–11 は学部卒業生の配偶者の最終学歴を示す。学部卒業生全体では四年制大学学部卒業生が 66.7% を占め、大学院卒も 31.4% と約 1/3 を占めている。大学院修了生の割合は 1981～1990 年コーホートが最も多く、38.4% にも達している。近年のコーホートでは、わずかではあるが「中学・高校」「専門学校・短大・高等専門学校」の割合が増えており、配偶者の学歴の分散がやや広がっている。

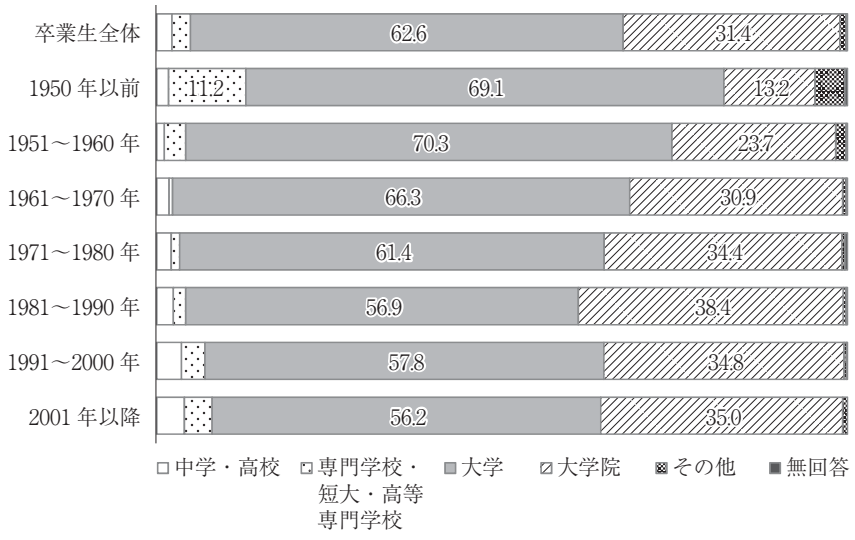


図 4–11　配偶者の最終学歴 (n=7128)

（3） 配偶者の勤務先規模

Q14–3（a）．図 4–12 は学部卒業生の配偶者がこれまで一番長く働いた企業の規模について尋ねている。「1000 人以上」と回答したのが全体の 40.3% と、最も高い割合となっている。「国家公務員」が 15.6%、地方公務員が 14.3% と合計で約 3 割が公務員であることも大きな特徴である。

卒業コーホート別にみると、配偶者が「地方公務員」だった割合は、1950 年以前卒業コーホートが 27.0% と非常に多く、その後は減少傾向にある。配偶者については職種・業種は直接たずねておらず、勤務先の規模のみをたずねているため詳細は確認できないものの、かつて教職に就いていた学部卒業生・大学院修了生が多かった時代には、配偶者も地方公務員として教職に就いていたケースが多かったのではないかと想像される。

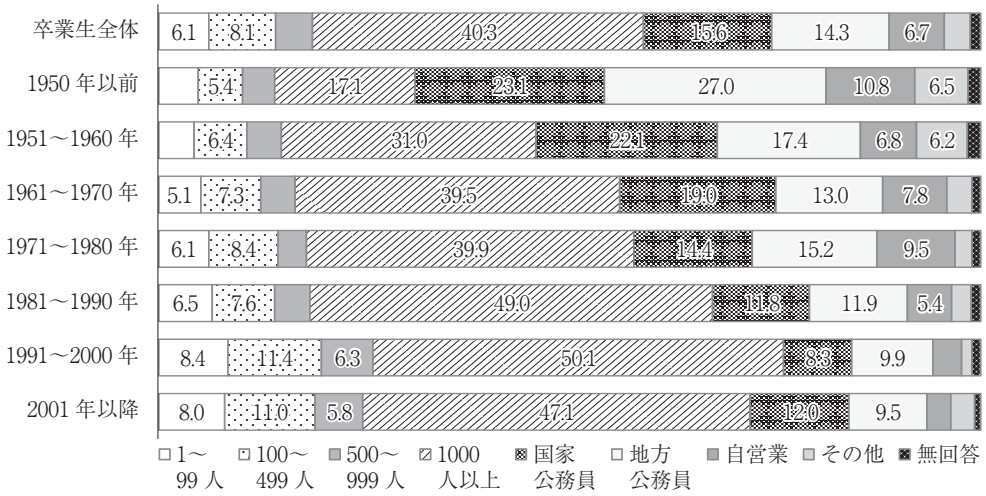


図 4–12　配偶者の勤務先規模（n=7128）

（4） 配偶者の年収

Q14–3（b）．図 4–13 は配偶者が現役で就業している年代に相当する学部卒業生を対象に、配偶者の現在の年収を示したものである。年代が上がるにつれ、配偶者の年収は上昇しており、1981～1999 年卒では配偶者の現在の年収が 1000 万以上である割合は 4 割以上にもなる。1000 万以上の高収入者の割合は、学部卒業生自身よりも彼女らの配偶者のほうが多い。

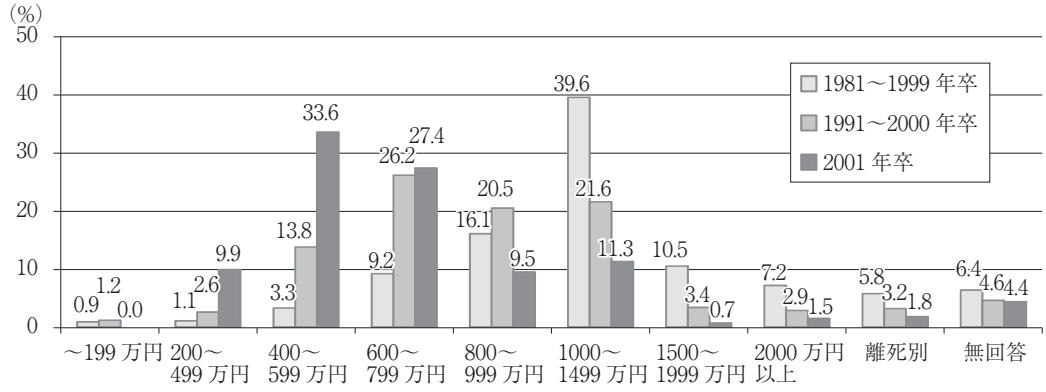


図 4–13　配偶者の現在の税込み年収（n=7128）

（5） 配偶者による子育ての手助け

子どもがいる学部卒業生・大学院修了生に、子どもが 0 歳時のとき、配偶者による子育ての手助けがどれほどあったかを質問した。コーホート別の結果を図 4–14 に示す。回顧的な質問であるために世代が高いコーホートほど無回答の割合が高くなっているが、若い世代ほど配偶者からの手助けが日常的にあったとする回答の割合が高くなっている。調査時の年齢でおよそ 20 歳代を示す 2001 年以降のコーホートでは半数以上が配偶者からの子育ての手助けが「日常的にあった」と回答している。「ひんぱんにあった」とする回答も含めれば、調査時の年齢で 20 歳代を示す 2001 年以降卒業のコーホートでは 7 割以上の学部卒業生が配偶者からの積極的な子育ての手助けを受けており、先行世代と比較して、より平等な夫婦関係のもとに協力しあいながら子どもを育てている様子が見て取れる。

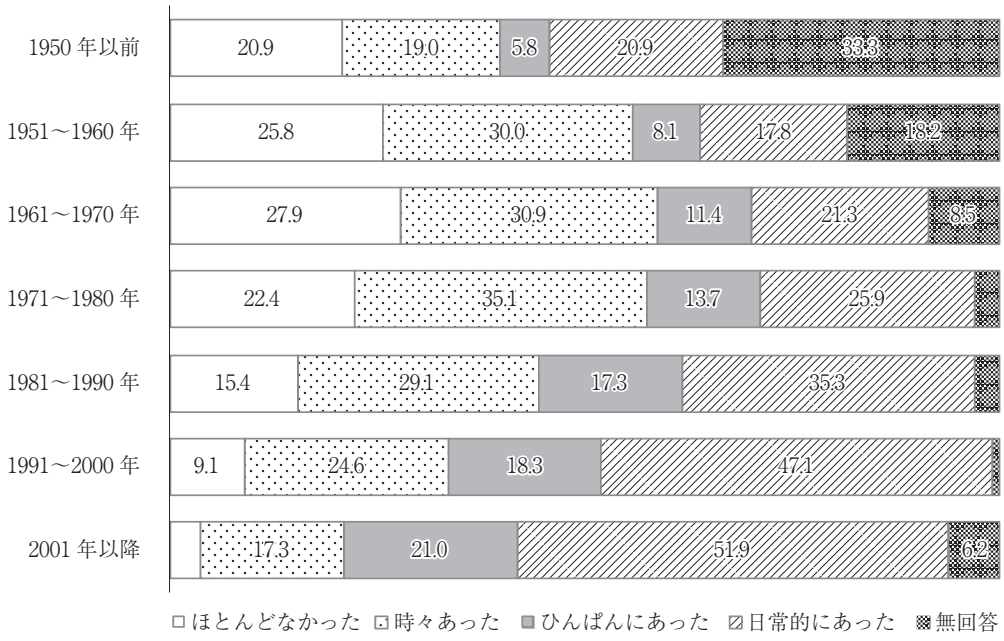


図 4–14　配偶者による子育ての手助け（n=6121）

（6） 両親の最終学歴

Q24. 図 4–15 は学部卒業生の父親の最終学歴の結果を示す。学部卒業生全体では「新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校」（52.4%）で、全体の半分以上を占める。次いで、「新制高校・旧制中学校・旧制実業学校・旧制師範学校」（21.0%）、「新制高等専門学校・新制短期大学・旧制高校・旧制高専」（10.6%）であった。近年になるほど「新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校」の割合が上昇し、2001 年以降の学部卒業生では父親の 7 割以上が大学以上の学歴を持っている。

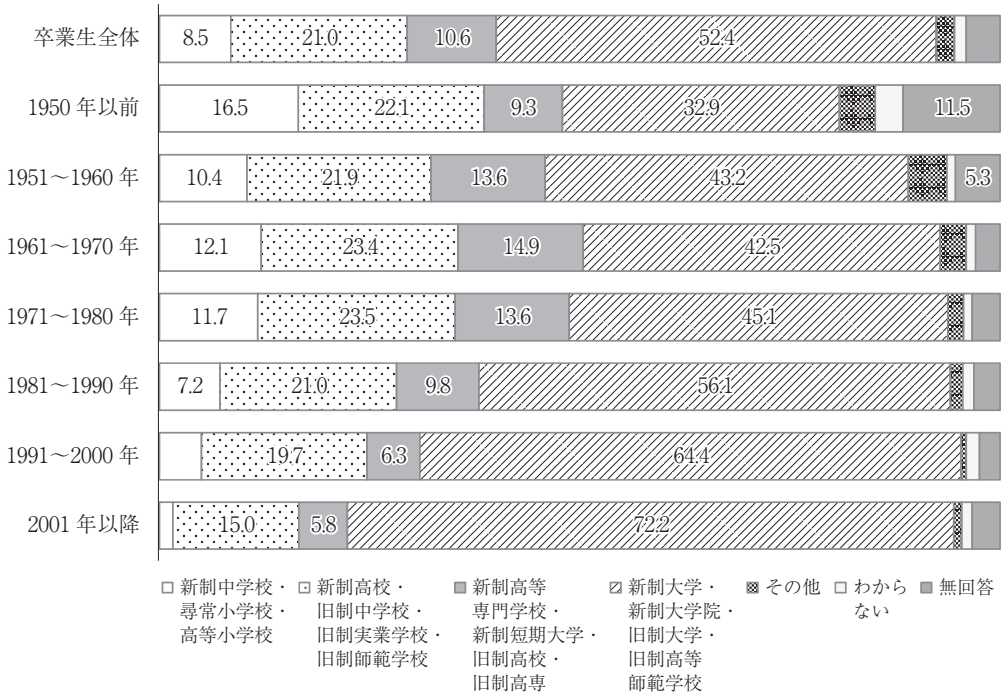


図 4–15　父の最終学歴

一方、学部卒業生の母親の最終学歴（Q24. 図 4–16）については、学部卒業生全体でみると「新制高校・旧制中学校・旧制高等女学校・旧制実業学校・旧制師範学校・旧制女学校」（48.4%）、「新制高等専門学校・新制短期大学・旧制高校・旧制高等専門学校・旧制女子専門学校」（18.1%）、「新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校」（17.8%）、「新制中学校・尋常小学校・高等小学校」（9.1%）であった。やはり近年になるほど学部卒業生の母の最終学歴も上昇し、2001 年以降の学部卒業生では約半数の母親が 4 年生大学を卒業していることが確認できる。

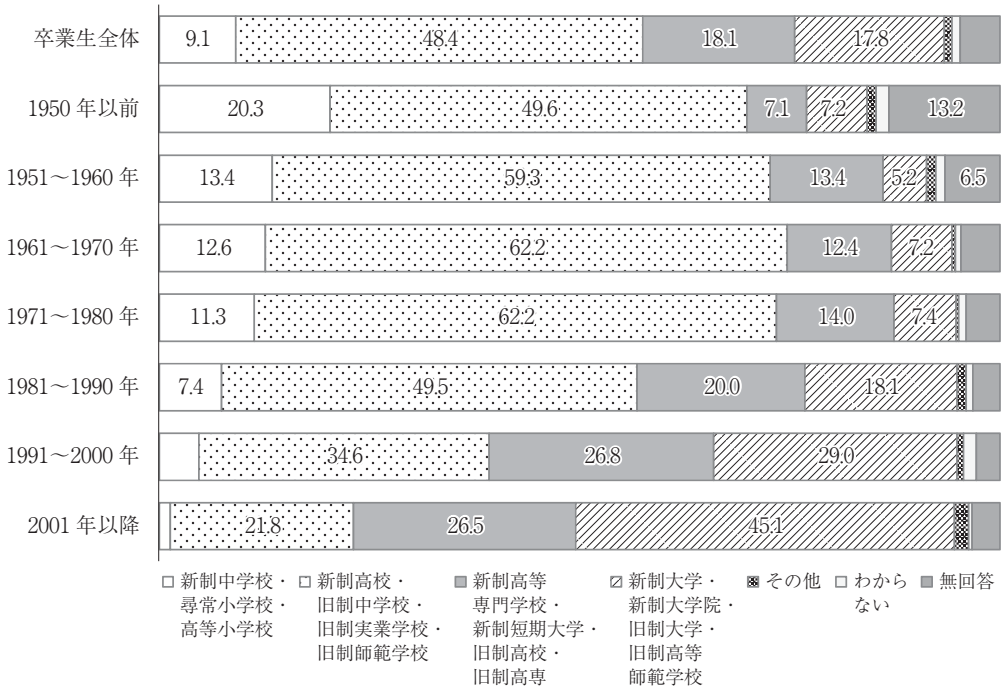


図 4–16　母親の最終学歴

（7）　父親の職種

父親の主な職種を Q24. 図 4–17 に示す。学部卒業生全体では、「管理的職業」（37.0%）が最も多く、次いで「専門・技術的職業」（32.2%）、「販売的職業」（6.8%）、「事務的職業」（6.3%）となっている。全体の 8 割弱がいわゆるホワイトカラーの仕事に従事していたことがわかった。父親の職種の 7 割が「管理的職業」、「専門・技術的職業」で占められる傾向は、1951 年から 2001 年の卒学部業生までの間で大きく変化していない。

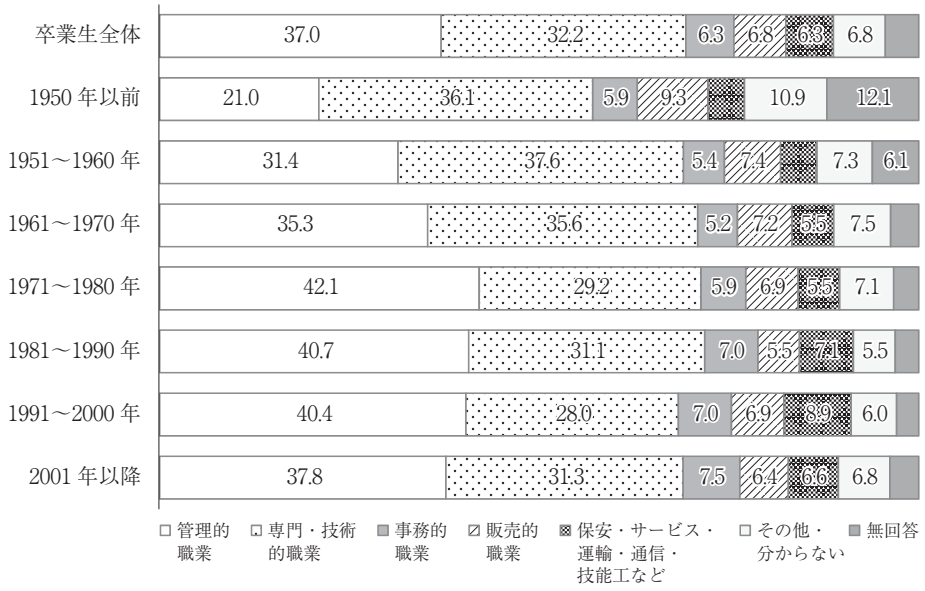


図 4–17　父親の主な職種

（8） 父親の業種

父の主な仕事を業種から確認すると（図 4–18）、学部卒業生全体で最も多いのが「製造業」（18.5%）、次いで「教育・研究」（14.7%）、「公務」（10.4%）となっている。「平成 19 年就業構造基本調査」（総務統計局 2008）によれば、全国の男性就業者に占める製造業者の割合は 20.7%、教育・学習支援業従事者の割合は 3.5%、公務従事者の割合は 4.4% である。全国平均と比較すると、「教育・研究」や「公務」に従事する父親の多さが多いことが一つの特徴として挙げられる。ただし、「教育・研究」に従事する父親の割合は、近年の卒業コーホートでは減りつつある。

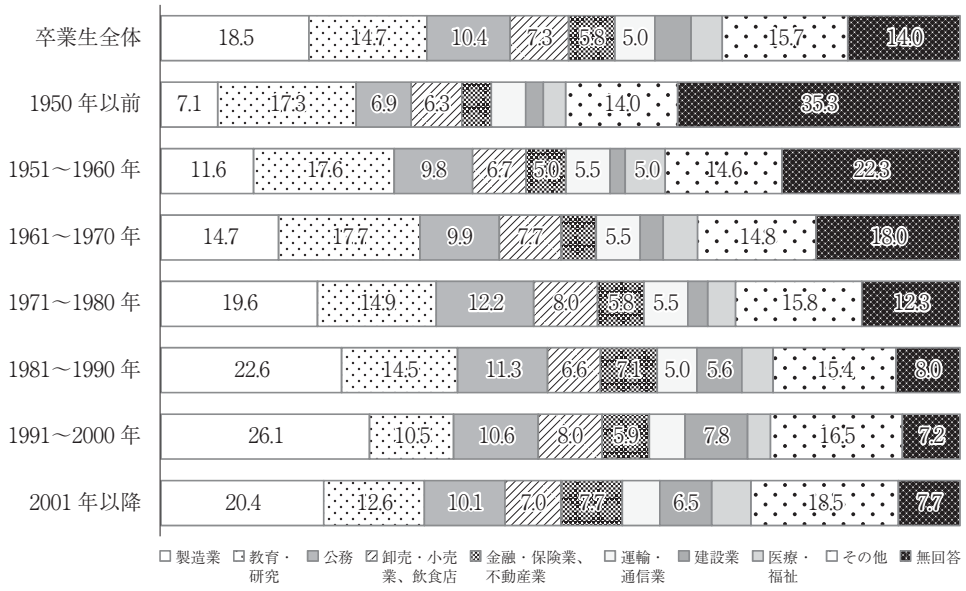


図 4–18　父親の主な業種

（9） 母親のライフコース：出産・子育てと仕事

Q24. 図 4–19 は学部卒業生の母親の出産・子育てと職業生活の結果を示す。学部卒業生全体では割合の多い順に「一度も仕事に就いたことがない」母親が 24.7%、次いで「結婚・出産を機に退職し、その後仕事はしていない」（22.4%）、「結婚・出産を機に退職し、その後パートタイムで再就職」（17.4%）、「結婚・出産後も仕事を続けた」（17.1%）となっており、母親のライフコースパターンは大きく 4 分されている。

ただし、卒業コーホートが近年になるにしたがって、この割合は大きく変化している。「一度も仕事に就いたことがない」母親は、1950 年以前から 1970 年代あたりまでは約半数を占めていたが、近年になるほど減少し、2001 年以降卒業コーホートの母親に占める割合はわずか 3.5% となった。これに代わって増えたのは「結婚・出産を機に退職し、その後パートタイムで再就職」である。

「結婚・出産を機に退職し、その後仕事はしていない」母親は 1970～1990 年卒業コーホートに多く、約 3 割を占めている。1971 年卒業コーホート以降の母親に急増した「結婚・出産を機に退職し、その後パートタイムで再就職」は、近年では 1/3 強を占めている。

「結婚・出産後も仕事を続けた」母親は徐々に増加し、近年の卒業コーホートでは 2 割近くに

達するものの、依然として多くの母親は結婚・出産というライフイベントによって、職業形態が変化したり、職業を中断したりしていることが確認される。

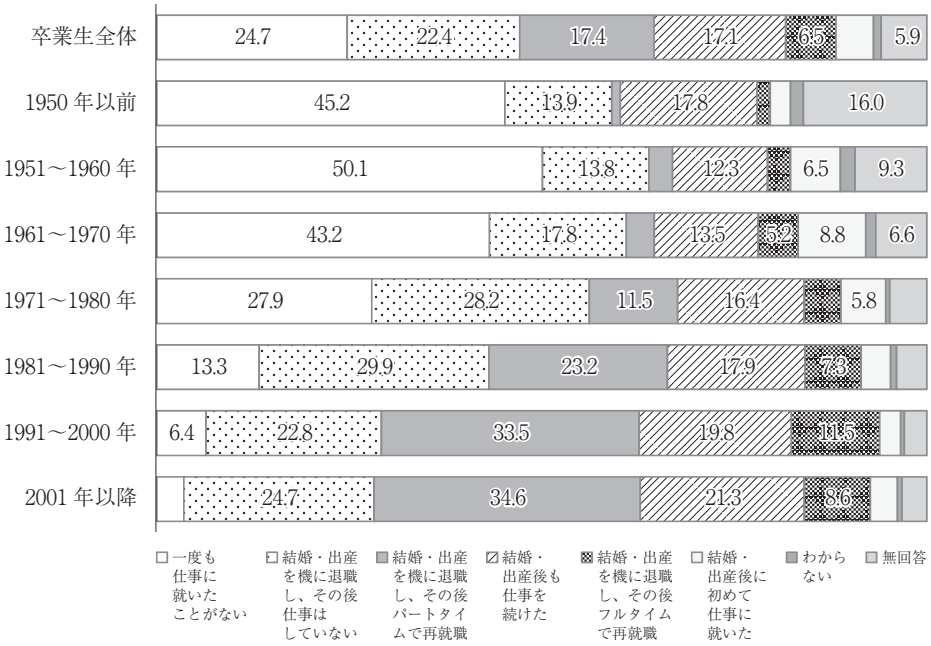


図 4–19　母親のライフコース：出産・子育てと仕事

4－4．学部卒業・大学院修了後のライフコース

（1） 大学卒業時の理想

Q 18 では、女性のライフコースを、(a) 大学卒業時に理想としていたライフコース、(b) 現在までにたどってきたライフコース、(c) 現在予想する、自分がたどりそうなライフコースを調べた。それぞれのライフコースを学部卒業・大学院修了年代別（2008 年現在）にみた。

まず、(a) 大学卒業時に理想としていたライフコース見ると（図 4–20)、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という両立コースの変化が最も著しい。1950 年以前の学部卒業生は 33.6% だったのが段々増加し、1991～2000 年学部卒業生はピークの 53.1% であり、2001 年以降の学部卒業生は同様に 2.2% 下がるが 50.9% と半数を占める。

それと同様に、「結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない」という結婚・出産退職コース 1950 年以前の学部卒業生は 5 人に 1 人弱（18.6%）いたが、2001 年以降学部卒業生（8.3%）は 10 人に 1 人も満たない。一方、「結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事」という再就職コースを希望する学部卒業生は 1951～1970 年学部卒業者で増えていくが、2000 年以降では減少する。

また、図の右側は、大学院修了生だけを集計したものである。大学院修了生は 1804 サンプル（全体の 20%）であり、そのうち、修士修了者が 74%、博士修了者（満期退学含む）が 26% である。大学院修了生の理想としていたライフコースをみると、両方とも両立コースを理想としている大学院修了生が 5 割以上であり、ここでは示さなかったが、大学院修了年階級別に見てもすべての卒業コーホートで 5 割以上であった。

つまり、1970 年学部卒業生までは両立コースや再就職コースを理想とする卒業生が増加するが、1970 年卒業生を境に両立コース希望者が増えて、再就職コース希望者は減少という形となる。また、学部卒業生よりも大学院修了生の方が、両立コースを理想とする者の割合が高い。

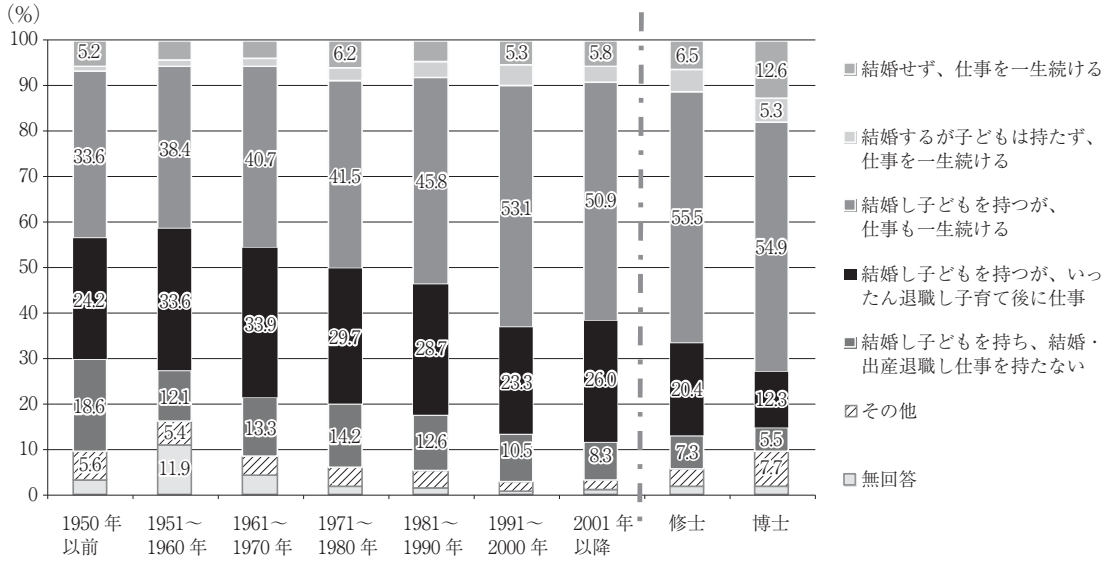


図 4–20 (a) 大学卒業時に理想としていたライフコース

（2） 現在までのライフコース

続いて、(b) 実際に現在までたどってきたライフコースはどうだろう。

図 4–21 は現在までにたどってきたライフコースである。理想としては両立コースを望む学部卒業生・大学院修了生が多かったが、実際のライフコースを見ると最も多いのは再就職コースである。ただし再就職コースは 1970 年の学部卒業生をピークに続けて減少し、代わりに増加したのは両立コース、「結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける」(DINKS コース)、「結婚せず、仕事を一生続ける」(独身コース) である。

大学院修了生をみると、(a) では修士、博士とも両立コースを理想としている割合がほぼ同じだったが、現在のライフコースでは差が出ている。修士と博士修了者とも全体平均より高い両立コースをたどってきているが、修士修了者が 31.2% に対し、博士修了者は 39.1% であり、博士修了者の両立コース割合が高い。

若い学部卒業生ほど、未婚者も増え独身コースの者が多い。たとえば 2001 年以降学部卒業生は、学部卒業当時の年齢を 22 歳と仮定すると、2008 年当時 29 歳以下となるため、4 割は「結婚せず、仕事を一生続ける」(独身コース) 状態にあると回答している。また大学院修了生でも 1991 年以降の大学院修了生が多く含まれているため、同様に独身コースの回答率が高い。

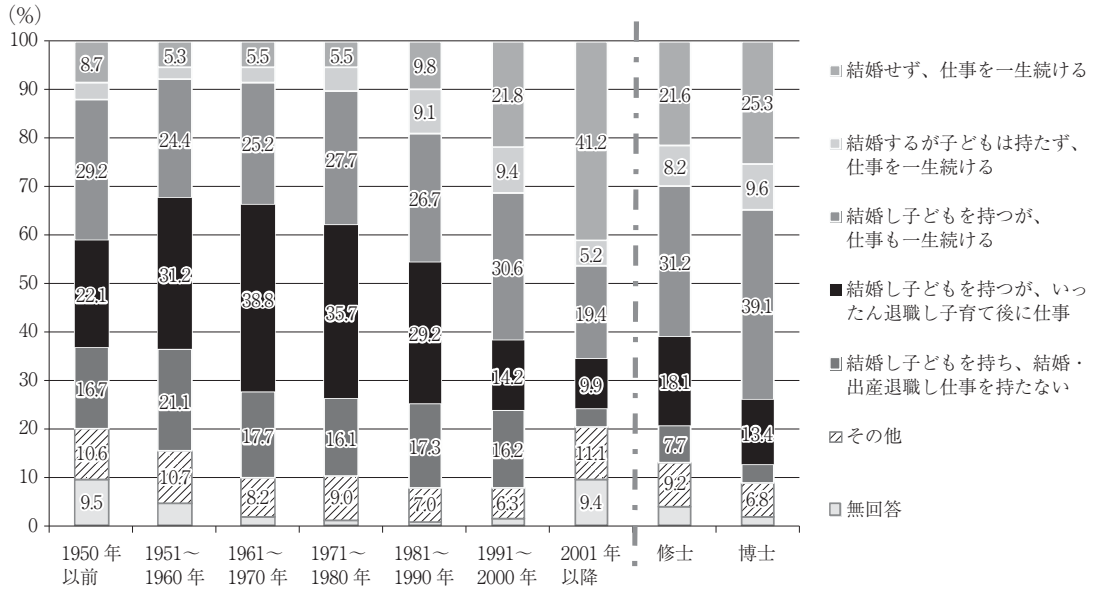


図 4–21 (b) 現在までにたどってきたライフコース

（3） 現在予想するライフコース

最後に、(c) 現在予想する、自分がたどりそうなライフコースである。(c) の回答は 1970 年以前の学部卒業生 (60 歳以上) では「無回答」や「その他」の意見が多かった。「その他」の意見を見ると、「定年まで勤め上げたので今後は趣味で楽しく生きたい」という趣旨の回答が多かった。無回答も同様の理由と考え、今回は定年退職以前の卒業コーホートだけを比較対象とする。

図 4–22 をみると、まず、両立コースを予想する者は 1991 年以降の卒業コーホートから急に増加し、4 割を超えている。1991 年以降の卒業コーホートに含まれている未婚者の多くが今後のラ

イフコースとして結婚し、子どもを持ちながらも一生働き続けることを希望として持っていることが推測される。結婚・出産退職を予想している者は1971～1980年卒業コーホートでは13.8%だったが、2001年以降の卒業コーホートでは5%にまで減少している。しかし、結婚や出産・育児による一時的な退職をすることになった（なるだろうと見込む）学部卒業生は若い世代でも3割であり、再就職コースを予想する割合はほとんど変化していない。

修士と博士の差も明らかで、博士修了者は結婚・出産退職コースや再就職コースを予想する者がそれぞれ1.5%、16.2%と、修士（5.8%、24.8%）に比べ相対的に回答割合は低い。一方、「結婚せず、仕事を一生続ける」（独身コース）、「結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける」（DINKS）を予想する者の割合も修士に比べて博士修了者は高く、結婚や出産にとらわれず継続就業を予想する者が多かった。

図4–20と図4–22を比べて理想と予定のギャップを見てみると、ギャップが縮まっているものの、その変化はさほど大きくない。予定ライフコースは年々両立コースが増加しているものの、理想も両立コースである学部卒業生・大学院修了生が増加しているためである。総じて理想よりも予定では独身コースやDINKSコース、再就職コースの割合が高いものの、近年にその差が拡大する傾向があるとまでは言えない。

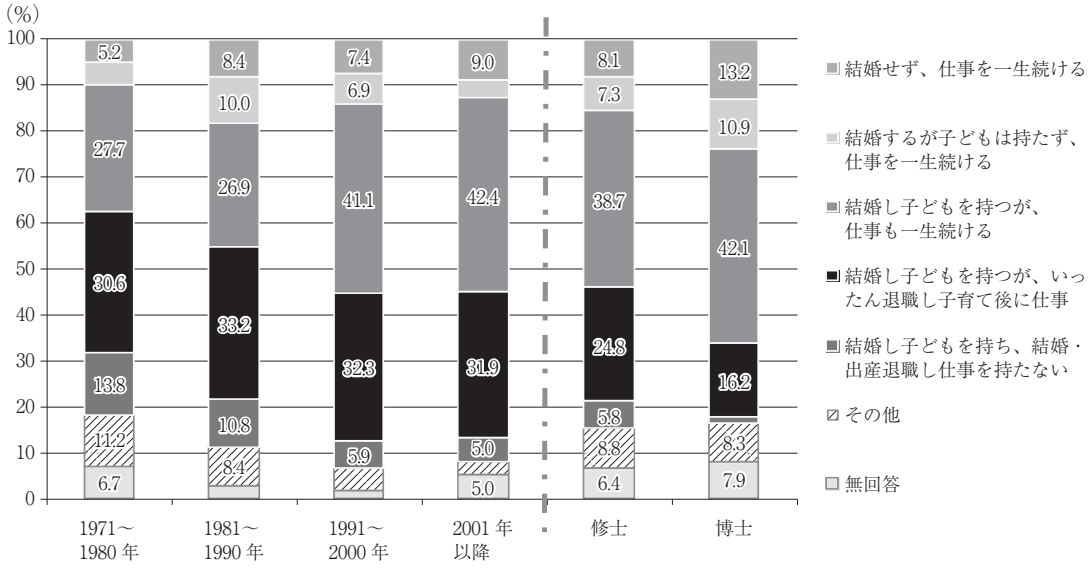


図4–22 （c）現在予想する、自分がたどりそうなライフコース

4－5．結婚や家族、性別役割に対する意識

（1） 性別役割意識

Q19 では結婚や家族、性別役割意識に関する価値観として全部 9 項目を用い、それぞれの質問に対し、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 件法で聞いている。ここでは無回答までを入れて合計 100% とした集計を行った。また、学歴による差が見られる意識項目に対しては修士と博士修了生を入れた比較を行った。

まず、「家庭のこまごまとした管理は女性ではなくてはと思う」という項目（図 4–23）をみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」という回答の合計は 1950 年以前の学部卒業生では 62.3% と、半数以上が家庭内の管理の責任者として女性が適任だと認識している。しかし、こうした伝統的な価値観は減少傾向であり、2001 年以降の学部卒業生で賛意を示す割合（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）は 40.9% である。

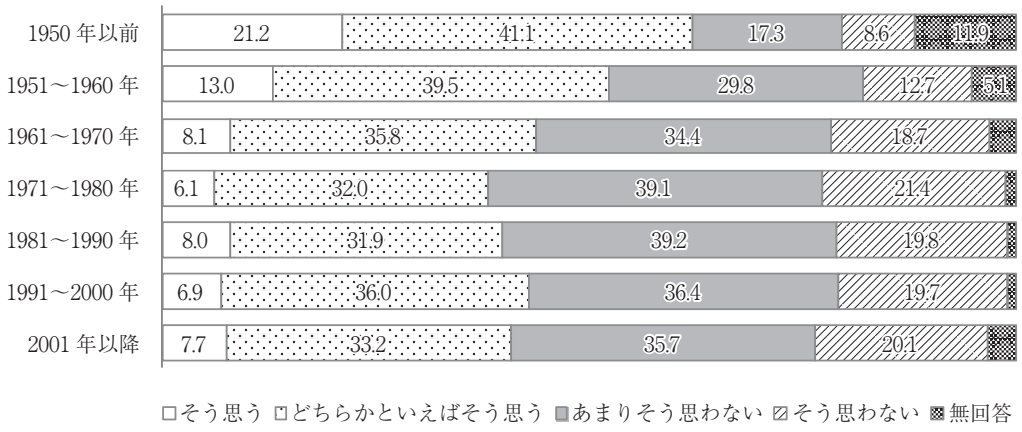


図 4–23　家庭のこまごまとした管理は女性ではなくてはと思う

「男性も女性と同様に家事・育児にかかわるべきだ」という家庭役割に対する男女の平等意識に対しては（図 4–24）、多くの学部卒業生がこれに賛意を示している。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は全体的に 6 割以上と高い。卒業コーホートでみると、1950 年以前の学部卒業生で 67.5% と半分以上であるが、以降に続けて増加し、2001 年以降の卒業コーホートで 8 割を超えている。特に、1960 年以前の学部卒業生（70 歳以降）とその後の学部卒業生（69 歳以下）との差は著しく、約 1 割の増加がみられる。1961 年以降の学部卒業生には、戦後日本の経済成長をともにした「団塊世代」及び定年前の者が多く含まれているため、1960 年以前の学部卒業生よりも家事・育児における男性の協力を当然とする意見が多いと思われる。

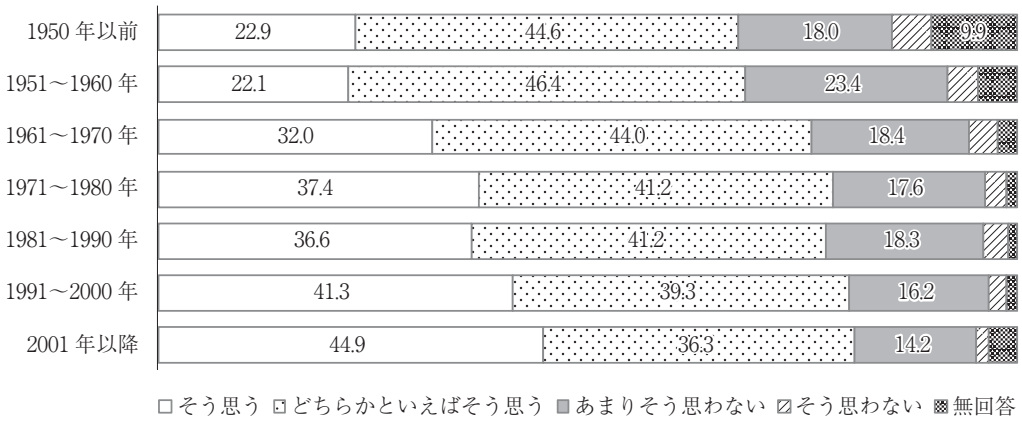


図 4-24　男性も女性と同様に家事・育児にかかわるべきだ

「人前では妻は夫を立てた方がいい」という意見（図 4-25）には、1980 年卒業（50 歳以降）コーホートまでは肯定意見の割合が減少傾向であったが、1981 年以降卒業コーホートからは再び増加している。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計を見ると、1950 年以前の卒業コーホートが 72.7% なのに対し、1991～2000 年卒業コーホート、2001 年以降卒業コーホートでむしろ増加（74.2%、74.5%）している。

大学院修了生は肯定割合が低く、さらに博士修了者は修士修了者よりも肯定意見の割合が約 1 割低いなど、学歴による差がみられる。

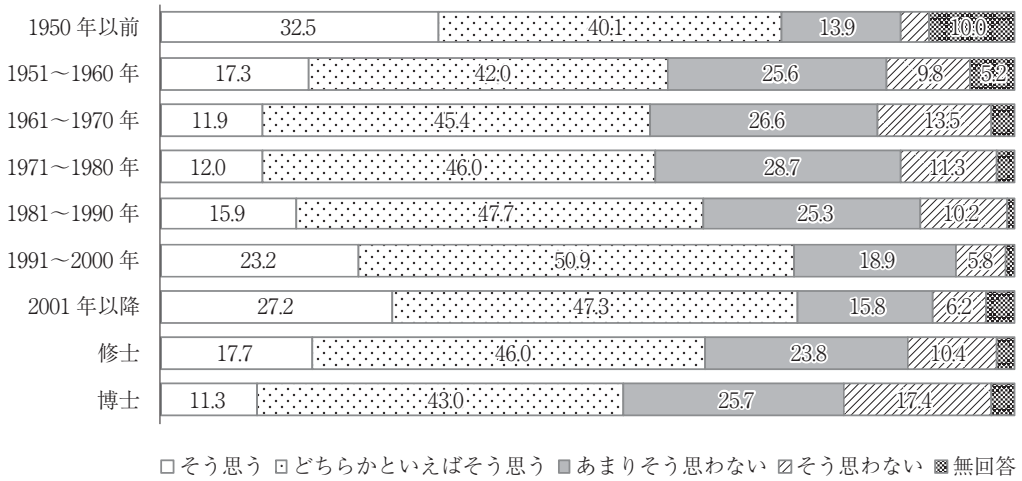


図 4-25　人前では妻は夫を立てた方がいい

「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という伝統的な性別役割分業観については本調査以外でも実施されている[4)]。ここではそれらと本校の学部卒業生・大学院修了生との意識を比較して述べる。

4）例えば、国立社会保障・人口問題研究所の「全国家庭動向調査」、内閣府男女共同参画局の「男女共同参画社会に関する世論調査」などがある。「全国家庭動向調査」は結婚経験がある女性、「男女共同参画社会に関する世論調査」は全国の 20 歳以上の者を対象にしている。

図 4–26 を見ると全体的に否定する意見が多く、それは学部卒業・大学院修了年が最近であるほど（年齢が若いほど）割合が高くなっている。卒業コーホート別にみると、1950 年以前の卒業コーホートで「そう思わない」「あまりそう思わない」という否定意見が 62.3% であるが、1950 年代の卒業コーホート以降 8 割以上と増えている。大学院修了生をみると、両方とも全体平均より否定意見の割合が高く、修士修了生は 87.4%、博士修了生は 93.2% と否定意見が大半を占める。

内閣府の「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成 20 年 9 月調査）でも同様の項目を調査しているが、反対意見（「どちらかといえば反対」「反対」）を男女別にみると、男性が 51.1%、女性が 58.6% である。年齢別でみると、もっとも反対意見が高い 20〜29 歳でも 67.1% である。全国調査の結果からみても本校学部卒業生・大学院修了生の男女の伝統的な性別役割分業を否定する意識が高いと言えよう。

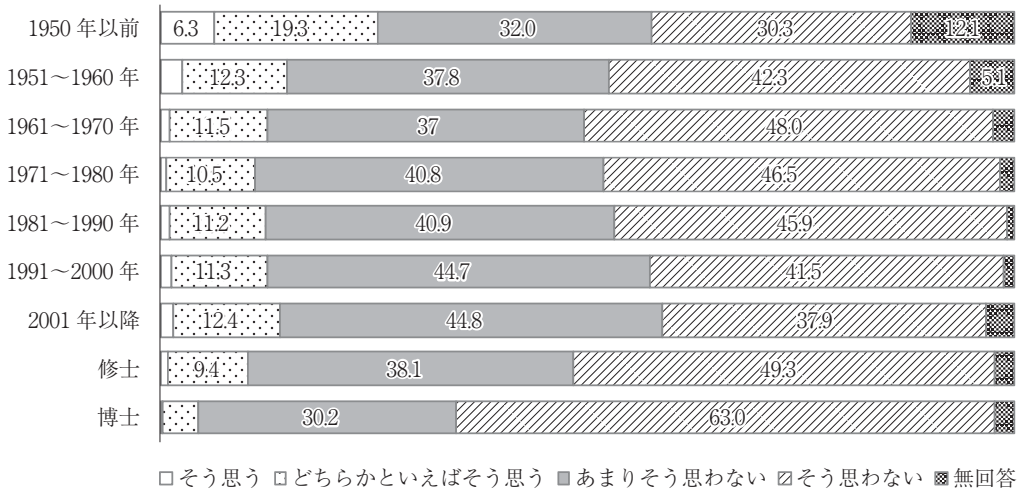


図 4–26　結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

（2） 結婚や家族に関する価値観

「少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい」という認識（3 歳児神話）について、学部卒業生・大学院修了生の意識（図 4–27）をみると、1950 年以前の卒業コーホートでは「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 67.7% と高いが、1980 年代の卒業コーホートにかけて減少傾向を見せている。しかし、最もその合計が低い 1981〜1990 年卒業コーホートで 49.7% と、他の伝統的な価値観より、「3 歳児神話」に対する意識は肯定意見割合が高かった。厚生労働省は「平成 10 年版厚生白書」で「3 歳児神話は少なくとも合理的な根拠が認められない」と書かれているが、1991 年以降の卒業コーホートでは肯定が再び増加し始め、2001 年以降の卒業コーホートでは 6 割を超えている。

大学院修了生では、この項目に肯定している大学院修了生は修士修了生が 47%、博士修了生が 36.1% であり、教育年数が増えるにつれ肯定が減っている。

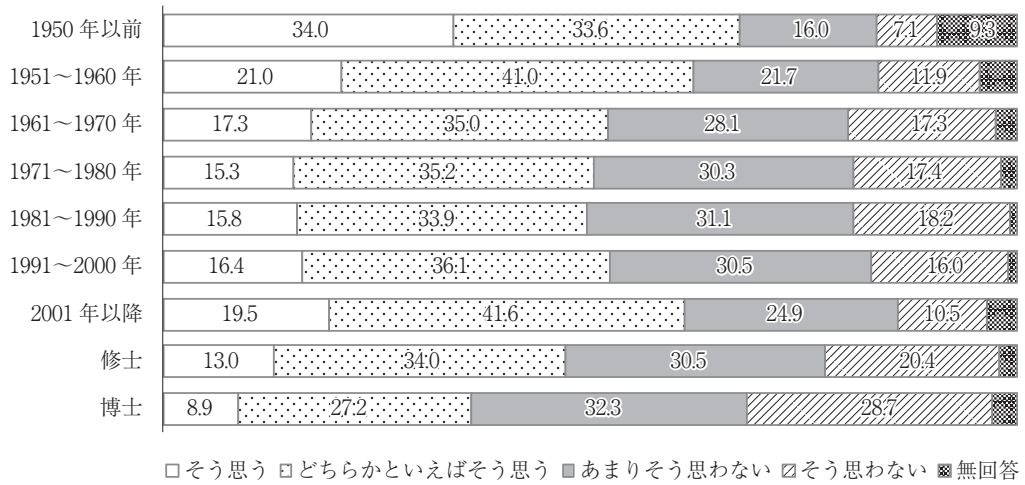


図 4–27　子どもが小さいうちは母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい

仕事上での能力発揮に対する意識の差をみる項目として「女性は出産する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である」を見る（図 4–28）。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の賛成意見割合をみると、1991～2000 年卒業コーホートが最も高い 51.4% を占めている。このコーホートは 30～39 歳に当たり、女性の労働力率からみると、M字型の谷に該当する年齢層であり、また本調査でも子育て期のピークである。出産や育児が最も関係している年齢層であるため、肯定する意見が多かったと思われる。

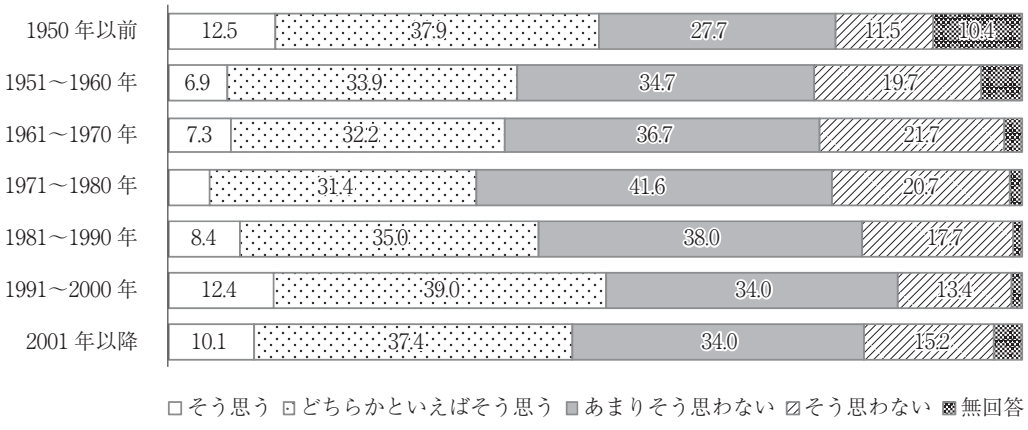


図 4–28　女性は出産する可能性があるため男性と仕事の上で互角は無理

最後の「結婚したら子どもは持つべきだ」という意見（図 4–29）は 1950 年以前の卒業コーホートでは賛成している意見が 2/3 以上（78.4%）と多かったが、減少傾向が続き、2001 年以降の卒業コーホートでは賛成割合は 57.0% である。国立社会保障・人口問題研究所の「第 14 回出生動向基本調査」でも同様の項目を初婚同士の夫婦を対象に集計している。その結果をみると、2002 年の第 12 回の調査では賛成意見が 73.6% だったのが 2010 年の第 14 回調査では 71.2% へと減少している。比較すると本校の結果（全体平均 65.6%）は賛成の割合が 6～8% 少ない。

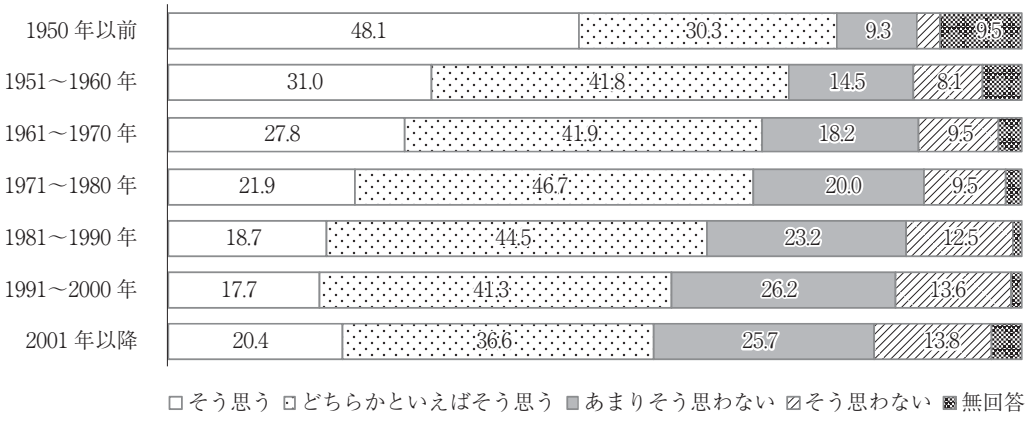


図 4–29　結婚したら子どもは持つべきだ

（3）　仕事と家庭との両立、育児についての自由意見

Q20 では記述形式で、今までの仕事と家庭を振り返っての後輩たちへのアドバイスである。全体 8997 人のうち、3844 人（42.7%）の記述を得られた。記述内容をみると「仕事と家庭の両立」について述べたものが多く、特に 30 代以降で多かった。20 代は就職活動、キャンパスライフ、職場での振る舞いなど、より仕事に重点をおいた意見が多かった。仕事と家庭を両立するための条件としては、「親の手助け」や「夫の理解」、「社会の育児支援制度」などが挙げられている。その中で年齢別にいくつかの事例を紹介する。

- 仕事と家庭の両立には配偶者以外に支えてくれる人が必要。男性が家庭に関わる意識の環境がない子どもの小さいうちは仕事はできない。そこでキャリアが途切れると子育て後に仕事に就くことも難しそう…という不安が大きい（27 歳）
- 一度仕事を辞めてしまうと再就職先を探すのは難しいかなと思っています。今は子育てに専念している生活を楽しんでいますが、仕事を辞めて 10 年経っており、そろそろパートの仕事を探せたらとは思っていますが、何の資格もないと仕事に就くのは難しいと考え、勉強を始めました。今は様々な制度があるので上手に利用し、仕事を続けてほしいです（34 歳）
- 育児休業導入の前年に出産し、3 か月の休みの後研究職に復帰しましたが、体力が続かず、第 1 子が 1 歳になる前に退職しました。復帰してすぐ今まで通りバリバリ働こうと無理したため、配偶者も疲れ切ってしまい、もう辞めてほしいと言われ、泣く泣く辞めました。子どもが幼い内は思うようにいかないことも多いと思いますが、細く、長くを心懸けて、後輩には頑張って仕事を続けてほしいです（44 歳）
- 仕事と家庭は犬と猫のどちらを選ぶかのような同質のものではなく、どう生きるか、どう生きたいかを考えた上での判断が求められるはずです。仕事をして家庭を健全に運営していくための制度や仕組みにもっと整えられるべきですが、両立させられることが女性の実力であるという社会の風潮には疑問を感じます。自分を磨き、社会に貢献できる女性、会社であろうと家庭であろうと自分の持ち場で輝きを放つ女性こそ目指してほしいと思いま

す（55 歳）

- 子育てをしながら仕事をもつ難しさを、娘をみて実感しています。保育園の充実や病気の子どもを預ける所などの社会的基盤が整わないと、どうしようもないです。5〜6 年職を離れても元に戻れるシステムがあればいいですね（58 歳）
- 仕事と家庭を両立させることに頑張ってきたことは、私にとって誇りです。周囲の理解も徐々にではありますが、かなり進んできました。しかし、一般的には職業を持ちながら子育てはまだ何等かの犠牲や困難を伴う場合が多いようです。女性にばかり負担がかかることなく両立できる環境づくりが社会的に望ましいです（65 歳）
- 結婚し、家庭を持ち、子どもがいても夫と協力して理解しあえば仕事を続けることは可能です。むしろ、前向きの生活ができるとおもいます（77 歳）

上記の記述以外にも「仕事を続けたいという自分の強い意志」、「専門的な仕事（公務員、研究員、資格など）」、「両立できる体力」などの記述もあった。これらの記述で共通することは、女性一人では、仕事と家庭を両立することは難しいという点である。また、仕事と育児とも完璧にこなすというよりは、夫や親族の手助けや社会の援助を得ながらワークとライフのバランスを取ることの重要さを述べている。

次に目立った記述は、「仕事も重要であるが、家庭（特に子どもの育児）がより重要」であるという意見だった。これらの記述は仕事をすることに反対するという意見よりは「育児の時間は取り戻せない、育児はとても重要」という考え方である。

- 小さいうちの子どもの教育、養育を他人任せにするのはどうかと思う。いくら保育園などの施設が充実したとしても、親の目で見守ることは大切だと思う（50 歳）
- 出産したら子どもが小さいうちはぜひ自分の手で育ててほしいと思います。仕事も大事とは思いますが、子どもの成長ははやいので、人まかせにしてしまうのはもったいないと思います（36 歳）
- 若い時期には仕事も頑張りたくて、育児や家事に時間を費やすことを惜しいと思うが、仕事は減らすか、または辞めても、後に復帰することも可能なものである。しかし、育児は、後になってできなかったことを取り戻すのは、大変である。育児や家事の経験が、長い目で見ると、人間的な成長につながり、将来の仕事においてもプラスになると考えられる（68 歳）
- 人生は長い。子育てのための 1〜3 年のブランクはあなたにとって小さなこと。しかし子どもの 0〜3 歳はとっても大切です（43 歳）

5. お茶の水女子大学に対する期待と将来像

5－1．大学に求める場や機会

（1） 学部卒業生・大学院修了生全体に望まれる場や機会

「お茶大が卒業生に対して行うサービスについて、どのようなものがあればよいと思うか」についての回答の結果が、図 5–1 である（複数回答）。

「知識・技能を高め転職・昇進につながる場や機会の提供」（60.2%）、「お茶の水女子大学で開講の授業に参加できる場や機会の提供」（51.6%）、「卒業生の人材登録サービスや就職支援」（45.9%）が高い割合になっている。仕事など社会活動に直結するようなサービスや、学びの場の提供を求めているといえよう。

その他の自由記入欄であげられたのは、結婚支援、育児支援、介護支援、地方居住者への情報・サポート提供、外部との交流機会、学習の多様化などであった。全体としてお茶の水女子大学学部卒業生・大学院修了生の向上心、学びの意欲と社会参加への関心がうかがえる。

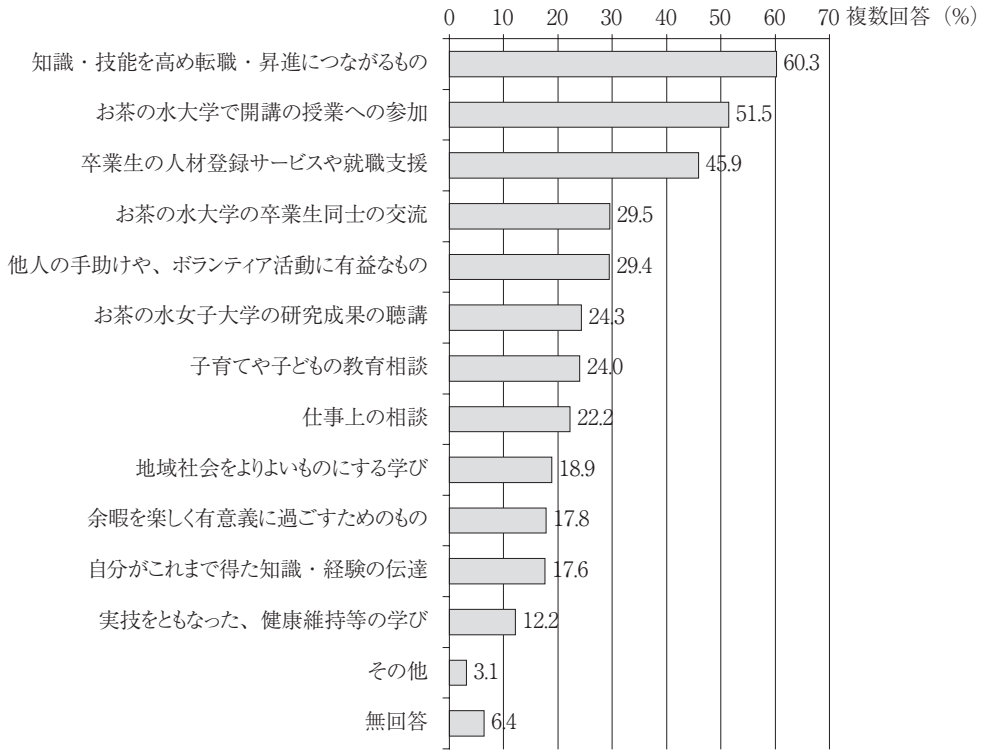


図 5–1　学部卒業生・大学院修了生が大学に提供を望む場や機会

それでは、コーホートによって大学に対して求める場や機会のニーズが異なるのか、より具体的にみてみる。アンケート Q21 の選択肢を「キャリア形成支援」「ライフ支援」「学習支援」の 3 カテゴリーに分けた上で、学部卒業生と大学院修了生のニーズを学部卒業・大学院修了年代別に確認してゆきたい。

（2）「キャリア支援」のニーズ

「キャリア形成支援」のカテゴリーは「知識・技能を高め転職・昇進につながる場や機会の提供」「卒業生の人材登録サービスや就職支援」「自分がこれまで得た知識・経験を伝える場や機会の提供」「仕事上の相談に訪れることができる場や機会の提供」の選択肢である。コーホート別に「キャリア形成支援」のニーズを示す図 5–2、図 5–3 を見ると、学部卒業生・大学院修了生ともに、いずれの年代を通しても「知識・技能を高め転職・昇進につながる場や機会の提供」の支持が多い。次いで「卒業生の人材登録サービスや就職支援」であり、いずれの年代でも半数前後の支持があり、学部卒業生・大学院修了生の就労意欲がうかがえる。

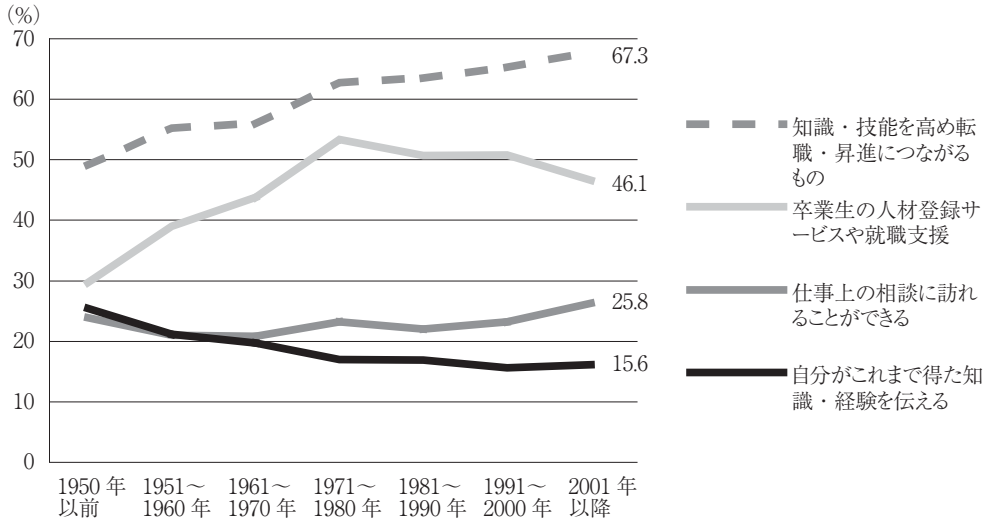


図 5–2　学部卒業生が望むキャリア形成支援の場や機会

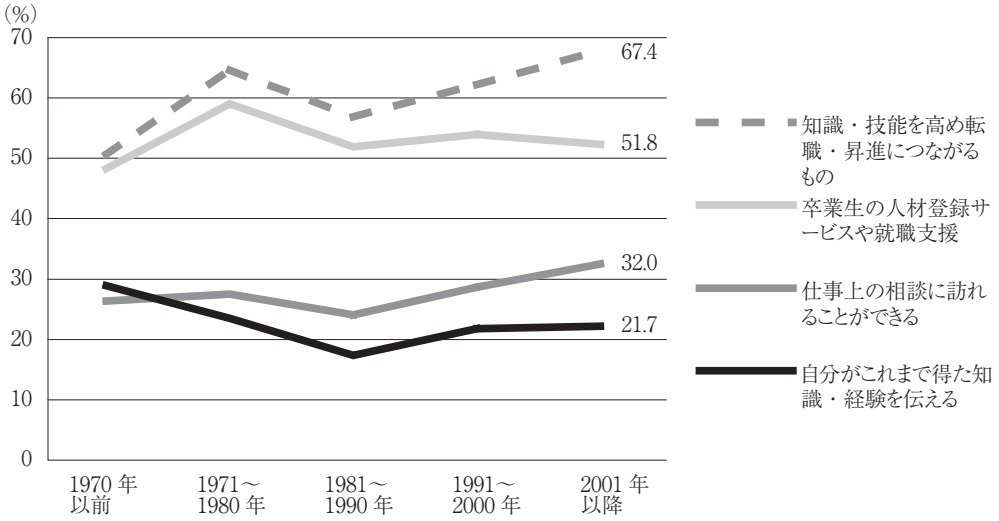


図 5–3　大学院修了生が望むキャリア形成支援の場や機会

（3）「ライフ支援」のニーズ

次に「ライフ支援」（図 5–4、図 5–5）をみてみよう。「ライフ支援」には「他人の手助けやボランティア活動に役立つ機会の提供」「お茶の水女子大学卒業生同士が交流できる場や機会の提供」「子育てや子どもの教育相談に訪れられる場や機会の提供」「余暇を楽しく有意義に過ごすための場や機会の提供」を含んでいる。

このカテゴリーは学部卒業・大学院修了年代別で回答がわかれる。1980 年代学部卒業・大学院修了以降は学部卒業生・大学院修了生の年代から考えて、子育て中である場合が多く、その結果「子育てや子どもの教育相談に訪れられる場や機会の提供」や「お茶の水女子大学の卒業生が交流できる場や機会の提供」の支持が多い。対して 1980 年代以前の学部卒業生・大学院修了生はむしろ「他人の手助けやボランティア活動に役立つ機会の提供」や「余暇を有意義に過ごすための場や機会の提供」といった自分自身の生活の充実と社会とのつながりに対するニーズがある。

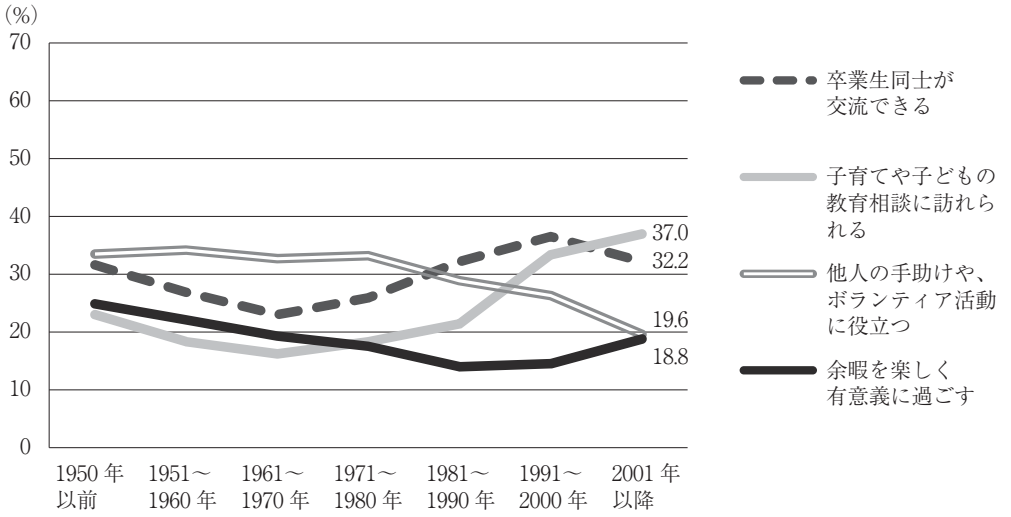


図 5–4　学部卒業生が望むライフ支援の場や機会

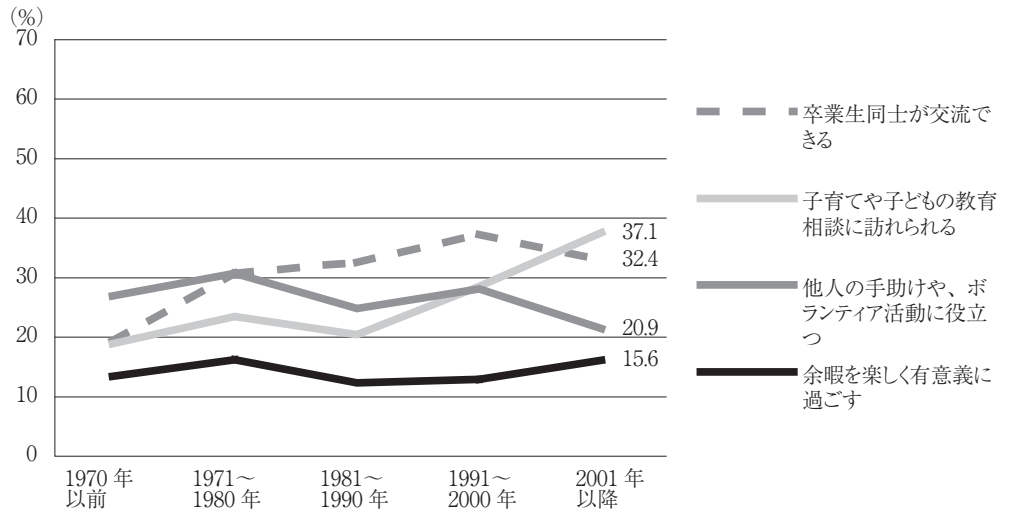


図 5–5　大学院修了生が望むライフ支援の場や機会

（4）「学習支援」のニーズ

「学習支援」には「お茶の水女子大学で開講の授業に参加できる場や機会の提供」「お茶の水女子大学の研究成果聞ける場や機会の提供」「地域社会をよりよいものにする学びの場や機会の提供」「実技をともなった、健康維持などの学びの場や機会の提供」が含まれる。

「学習支援」（図 5–6、図 5–7）では学部卒業、大学院修了にかかわらず、また学部卒業・大学院修了年代に関わらず、希望者の多かったのは「お茶の水女子大学で開講の授業に参加できる場や機会の提供」と「お茶の水女子大学の研究成果を聞ける場や機会の提供」である。学部卒業生・大学院修了生の知的好奇心が旺盛であることがうかがえる結果といえよう。

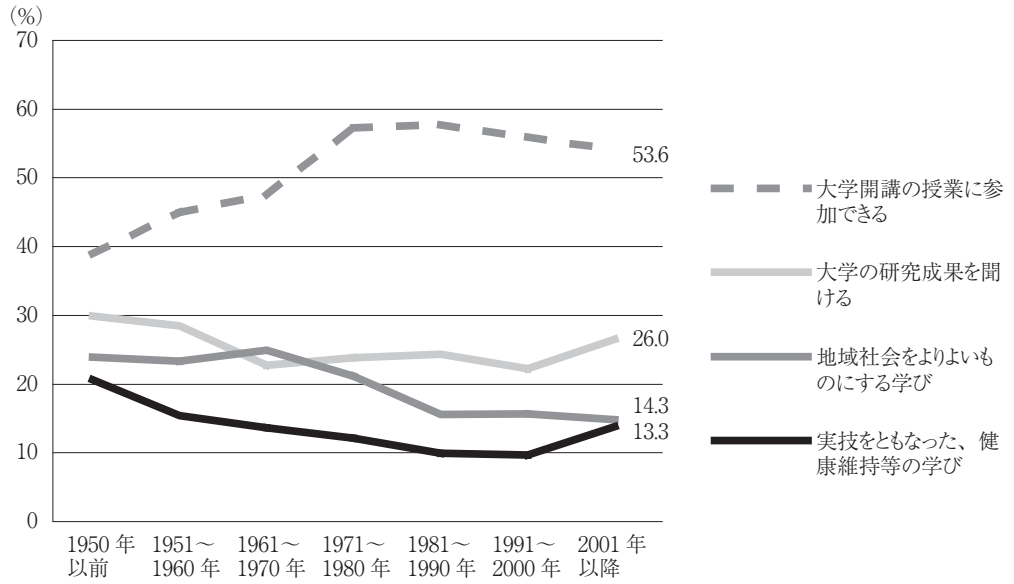


図 5–6　学部卒業生が望む学習支援の場や機会

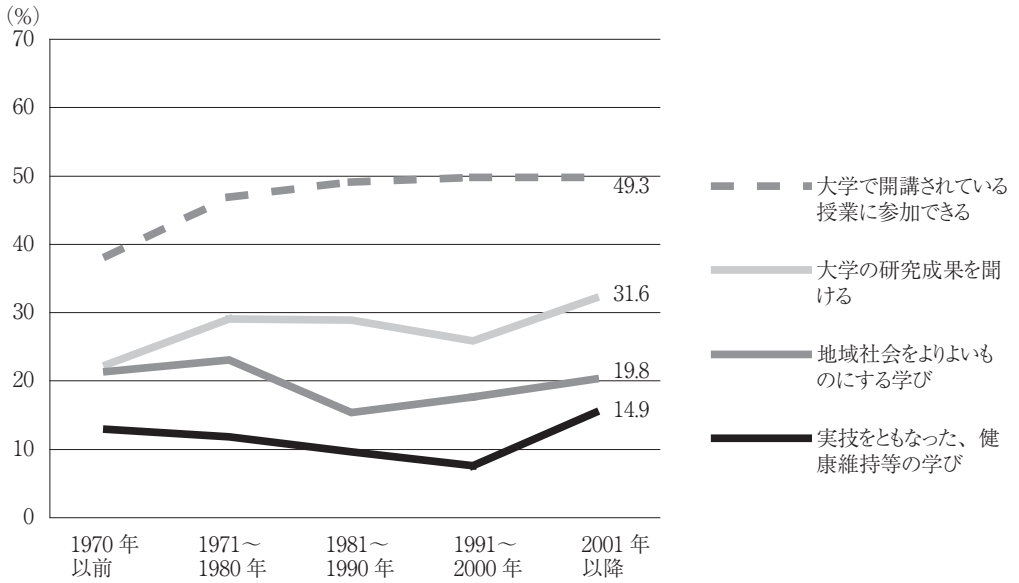


図 5–7　大学院修了生が望む学習支援の場や機会

5－2．望む将来像：別学維持か、共学化か

お茶の水女子大学の最も大きな特徴の一つは、「国立の女子大学」である。学部卒業生・大学院修了生は、女子大学という環境での学習と経験について、どのように評価しているか。将来、お茶の水女子大学は共学化していくのがよいか、別学を維持していくのがよいかという問いには、どのように考えているのだろうか。

質問は選択式で「1. 将来にわたって、別学を維持した方がよい」「2. 当分の間は、別学を維持した方がよい」「3. できるだけ早期に共学化を勧めた方がよい」のいずれかへ回答を求めたのちに、回答した理由を自由回答方式で記入してもらった。

図 5–8 は学部、大学院の将来像に対する学部卒業生の単純集計結果を示している。「将来にわたって別学を維持した方がよい」という選択肢を選んだ割合は、学部に対しては 41.6%、大学院に対しては 25.3% となっている。「当分の間は、別学を維持した方がよい」は学部、大学院ともに同程度（それぞれ 39.4%、35.0%）、「できるだけ早期に共学化を進めた方がよい」は、大学院が多い（それぞれ 24.4% と 12.7%）。学部のほうが別学維持が支持される傾向にある。

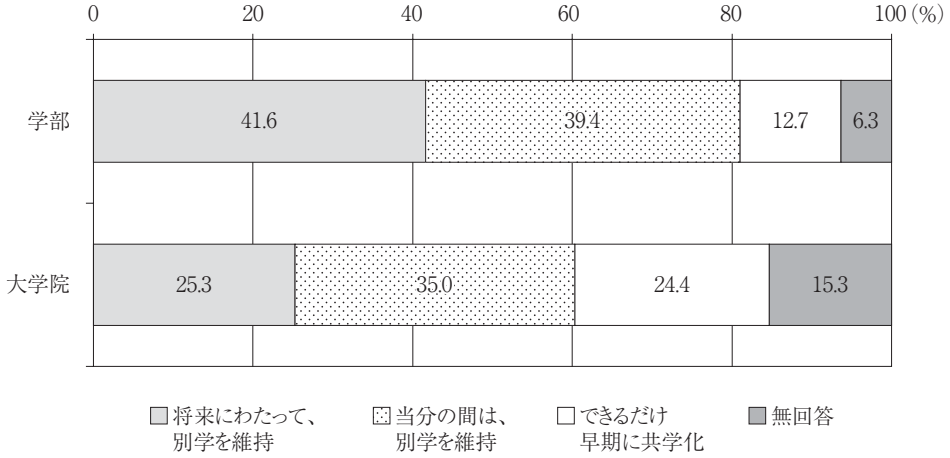


図 5–8　学部卒業生・大学院修了生が望む将来像：共学か別学維持か

（1） 共学か別学維持か：学部卒業生の意見

大学の別学維持か、共学かを卒業学部別にみると（図 5–9）、顕著な差はみられない。

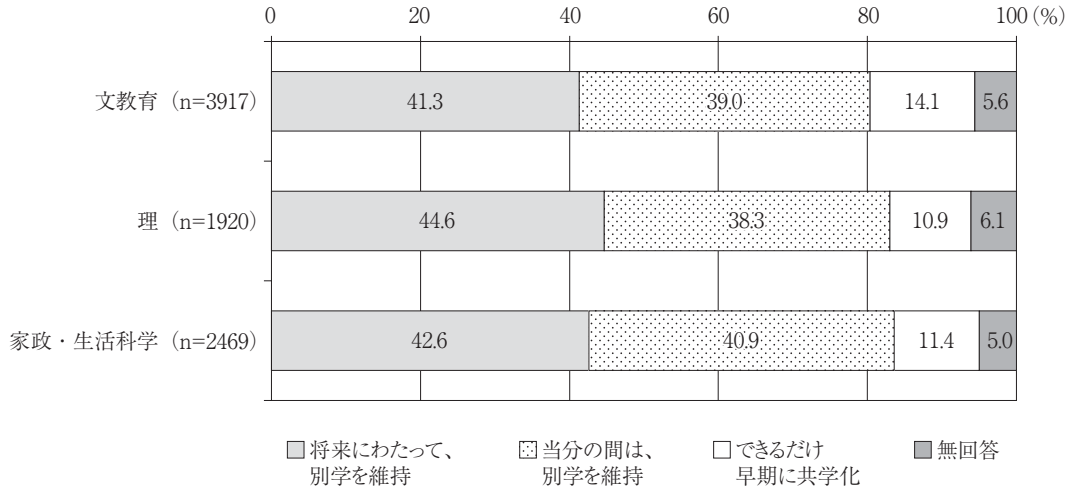


図 5–9　卒業学部別　共学か別学か（学部卒業生）

学部卒業年代別にみると（図 5–10、図 5–11）、学部の方向性に対しては学部卒業年代による大きな差は見られないが、現在に近い学部卒業年代ほどやや「別学維持」が多く、「早期に共学化」が少ない傾向が見られる。1951 年以前の学部卒業生では、「当分の間は、別学を維持したほうがよい」29.7% と「将来にわたって、別学を維持したほうがよい」39.4% を合わせて 7 割、「できるだけ早期に、共学化をすすめたほうがよい」は 14.5% である。これに対し最も新しい 2001 年以降学部卒業生では、「できるだけ早期に、共学化をすすめたほうがよい」は 9.0% にとどまり、別学維持、「当分の間は、別学を維持したほうがよい」と「将来にわたって、別学を維持したほうがよい」の合計は 8 割を超える。

一般に 90 年代以降共学高等教育機関への進学志向が拡大し、別学志向が縮小したことが知られているが、お茶の水女子大学学部卒業生に関しては簡単にそういうことはできない。この結果は平成 13 年の「卒業生・修了生のライフコースと国立女子大学の将来像に関する調査結果報告書」においても示されている。このことから①そもそも別学志向がより強い学生がお茶の水女子大学に入学するようになった可能性と、②大学生活や大学教育の結果が学部卒業後の評価に反映した可能性の双方があるだろう。後述する自由回答をみると、「女性大学」という本学の大きな特色を活かすことが、学部卒業生によって重視されていることがうかがえる。

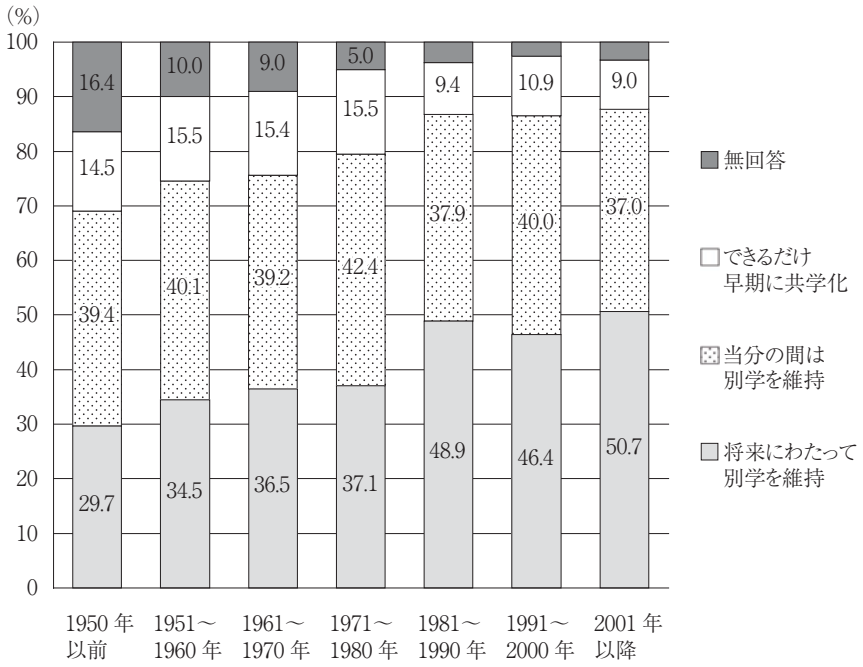


図 5–10　学部卒業生が望む将来像：学部は共学か別学か（卒業コーホート別）

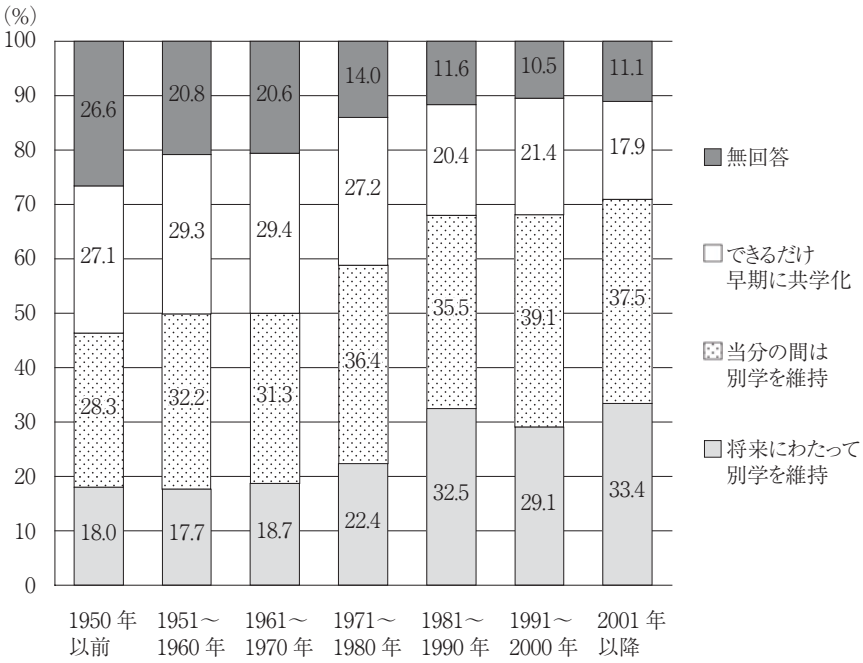


図 5–11　学部卒業生が望む将来像：大学院は共学が別学か（卒業コーホート別）

（2）　共学か別学維持か：大学院修了生の意見

大学院修了生の回答は図 5–12、図 5–13 である。「将来にわたって、別学を維持」「当分の間は、別学を維持」の割合が高いものの、学部卒業生に比べると特に大学院に対しては「できるだけ早期に共学すすめたほうがよい」とする意見が多い。

大学院修了年代の傾向をみると、現在に近い大学院修了生ほど「将来にわたって別学維持」

「当分の間別学維持」が多く、この点は学部卒業生の傾向と似ている。学部を「できるだけ早期に共学化」すべきとする意見は、2001 年以降の大学院修了生では 8.9% にすぎず、一方 1970 年以前大学院修了生では、17.9% である。大学院を「できるだけ早期に共学化」すべきとする意見は、大学院修了年代が遡るほど多く、1970 年以前の修了コーホートでは 40.3% に達する。

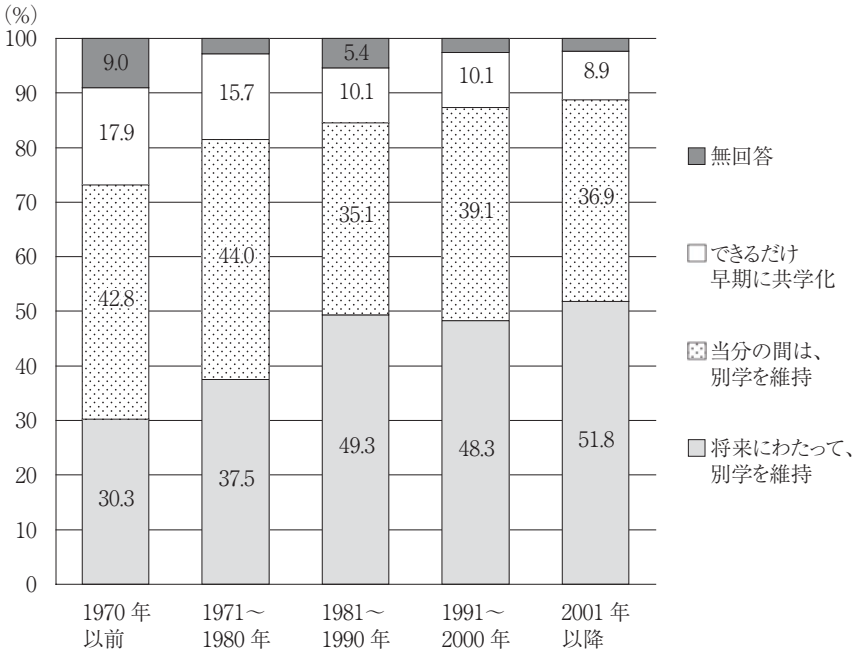


図 5–12　大学院修了生が望む将来像：学部は共学か別学か（修了コーホート別）

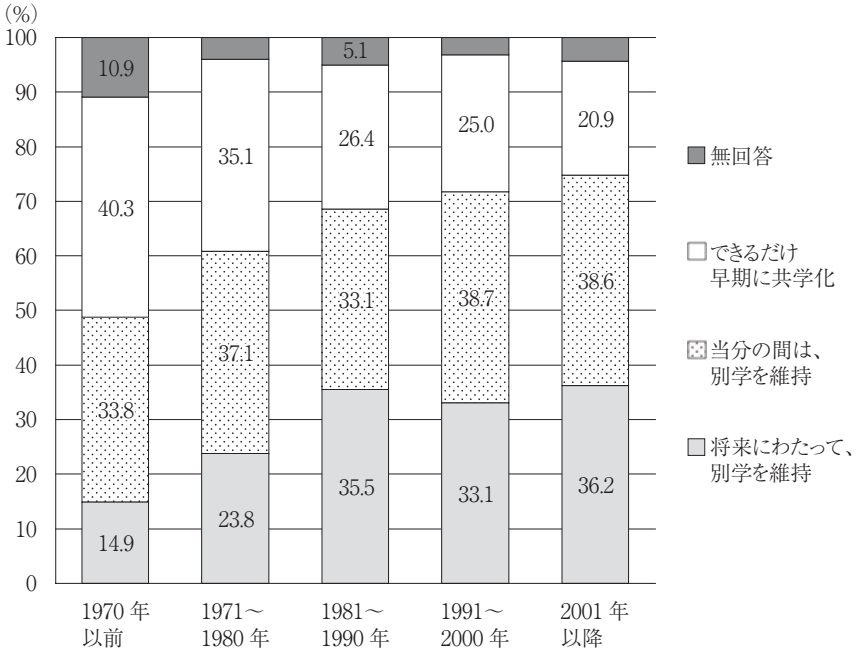


図 5–13　大学院修了生が望む将来像：大学院部は共学か別学か（修了コーホート別）

5－3．望む将来像：充実・重点化を図る分野

今後、お茶の水女子大学はどの方向に向かっていくのだろう。学部卒業生・大学院修了生に対して、「お茶の水女子大学の将来像について、あなたは次のことがらをどの程度重視されますか」と尋ねた。回答は 10 項目それぞれについて「かなり重視する」「重視する」「あまり重視しない」「全く重視しない」の 4 段階で評価してもらった。

図 5–14 によれば、お茶の水女子大学の将来像として「かなり重視する」とする回答が多いのは（3 割以上）「女性の多様なライフコースに柔軟に対応する大学」（37.2%）、「男女共同参画社会をリードする人材を養成する大学」（33.0%）である。

また、「かなり重視する」と「重視する」をあわせた場合は、「女性の多様なライフコースに柔軟に対応する大学」（81.3%）、「学部と大学院の教育・研究の交流を積極的に図る大学」（76.0%）、「男女共同参画社会をリードする人材を養成する大学」（75.4%）「他の大学との単位交換を含め、大学間の交流を図る大学」（75.3%）、「卒業生を学生や研究生として積極的に受け入れる大学」（72.0%）の順になっている。

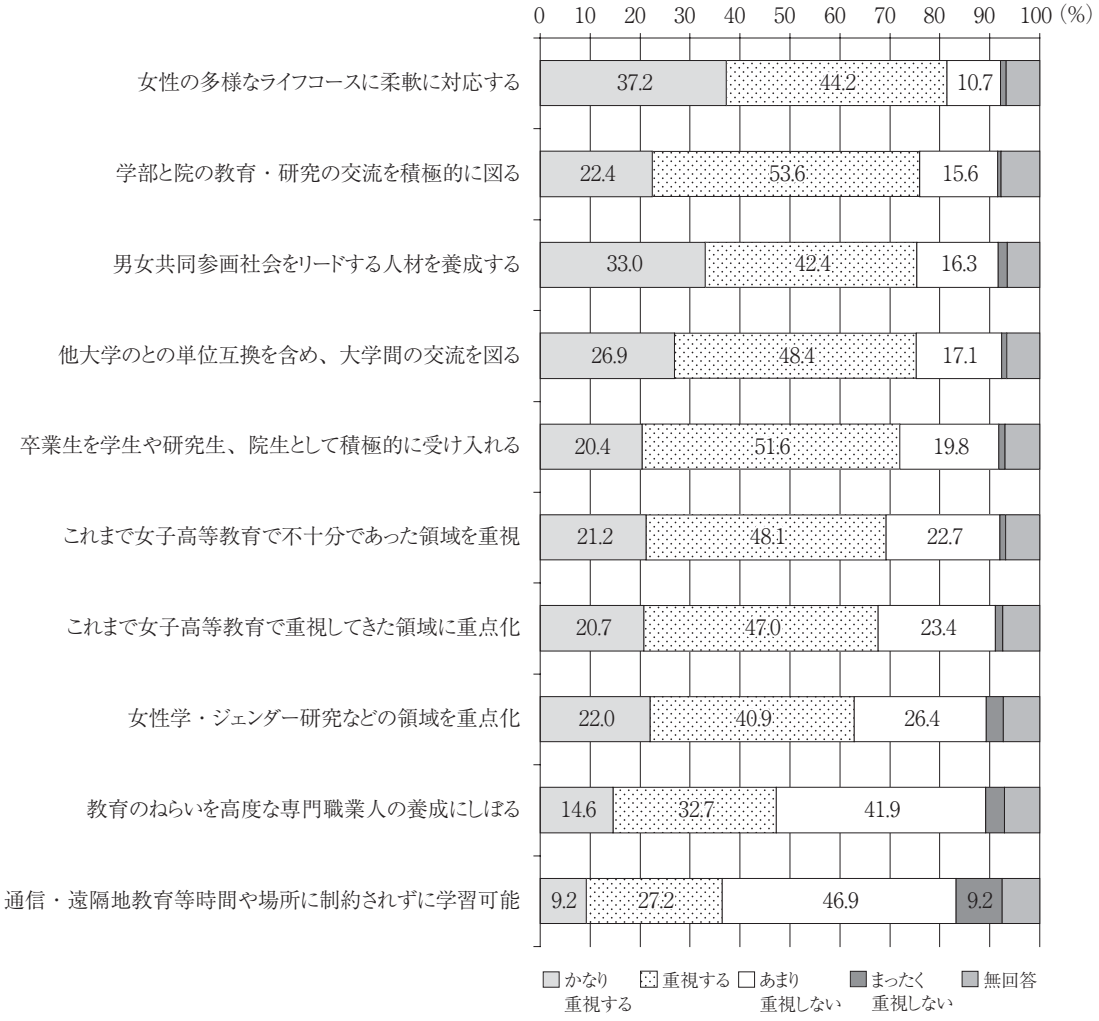


図 5–14　学部卒業生が大学の方向性として重視するもの

（1） 大学の将来像：学部卒業生が重視する方向

大学の将来像として、学部卒業生が重視する項目を卒業コーホート別に確認したい。図 5–15 は大学が充実を重視する内容（「かなり重視する」、「重視する」の合計）を卒業コーホート別に示したものである。

「女性の多様なライフコースに柔軟に対応する」ことを重視する割合は学部卒業年時が 1960 年以降増え続け、2001 年以降の学部卒業生では 90.5% もの人が重視する項目となっている。戦後、年代を経るとともに女性のライフコースも多様化していることを反映しているのかもしれない。

また 1970 年代以降の学部卒業生からは「学部と大学院の教育・研究の交流を積極的に図る」「他の大学と単位互換など交流を図る」など、交流を重視する回答が急激に多くなっている。「女子大学」でありながらも他の大学と交流を図ってゆき、さらに学部や大学院との垣根を下げて教育や研究の交流を積極的に図ることが望まれているようである。自由記述では海外の大学機関との交流を求める声もあり、お茶の水女子大学が国内外のネットワークを広げることが期待されているといえよう。

また「卒業生を学生として積極的に受けいれる」ことを求める意見もどの世代でも支持があり、学部卒業生のライフコースに合わせて、再び学びたいときにチャンスがある大学であることが重視されている。いっぽう、通信・遠隔地教育の充実を支持する学部卒業生は多数派ではない。情報通信技術の発達にも関わらず、近年の学部卒業生では重視の割合がわずかに低下する傾向にある。

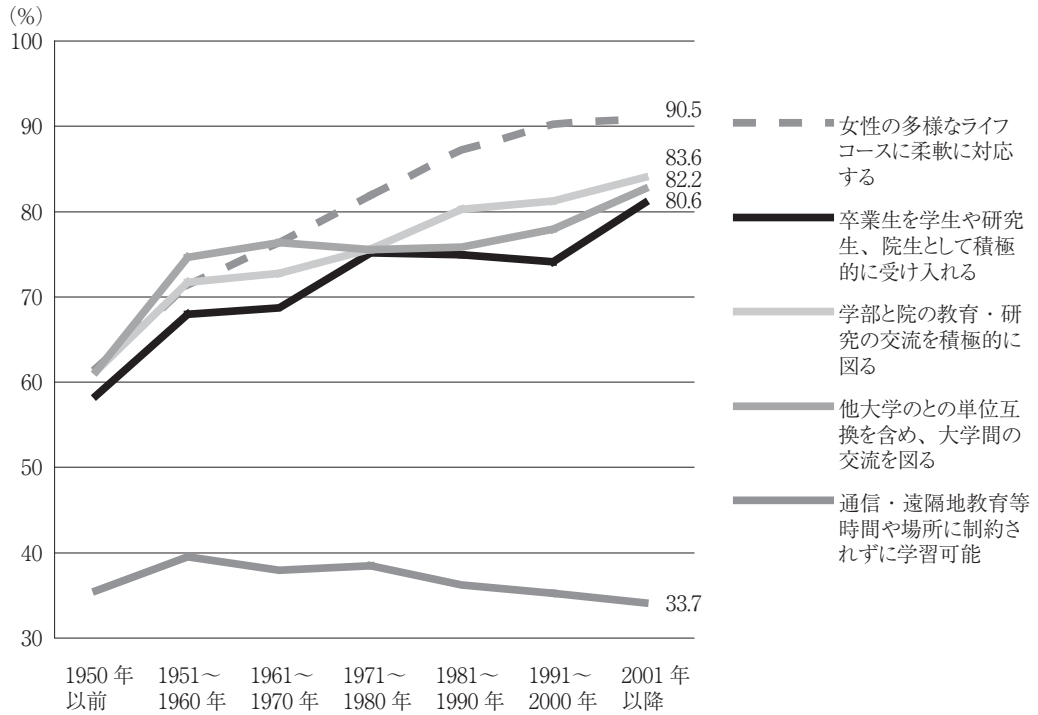


図 5–15　大学の将来像：学部卒業生が充実を望むもの（卒業コーホート別）

次に大学の将来像として卒業生が重点化を望む方向に関する回答をみる（図 5–16）。お茶の水女子大学は、戦後の男女共学の下で、国立の「女子別学」教育機関として現在に至る特異な位置を占めてきた。「女子が学べる最高学府」時代を経験した 1950 年以前から 1960 年の卒業生が最も支持する内容は「これまで女子高等教育で不十分であった領域を重視」することである。

これに対し、近年の卒業生でもっとも重視されている項目は「男女共同参画社会をリードする人材を養成する」ことである。「これまで女子高等教育で重視してきた領域に重点化」することも近年の卒業生ほど重視する割合が増加する。お茶の水女子大学がリードしてきた「女性学・ジェンダー研究などの領域を重点化」を重視する回答は、1980 年代の卒業生の 75% が支持していたのが、2001 年以降の卒業生では 66% とやや支持は低下する傾向にある。「教育のねらいを高度な専門職業人の養成にしぼる」は、コーホートにより多少の増減がみられるものの、支持する卒業生は半数か半数以下である。

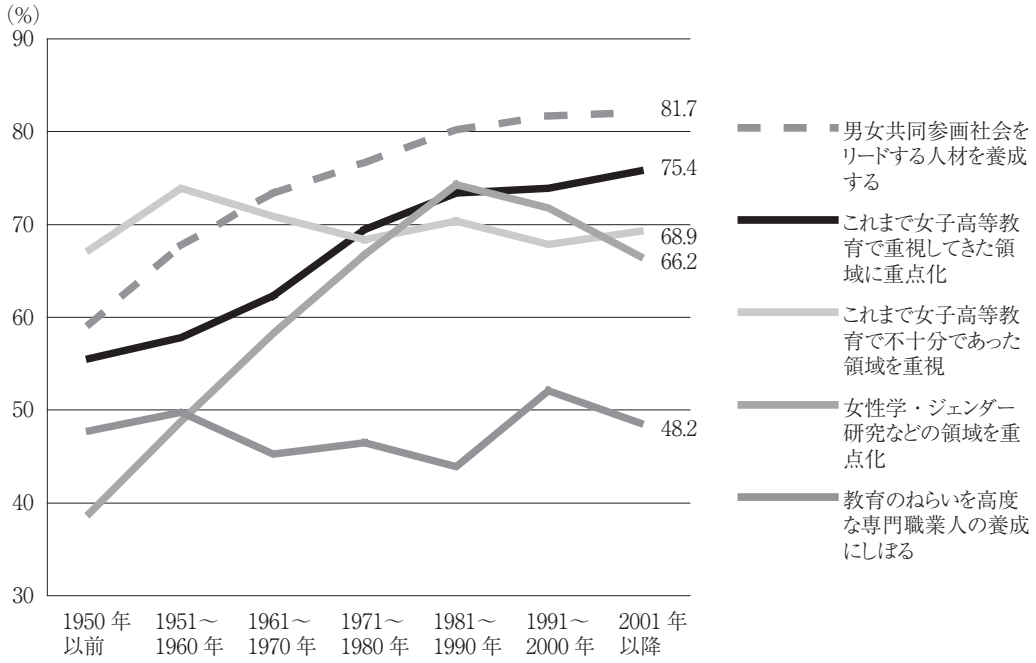


図 5–16　大学の将来像：学部卒業生が重点化を望む方向

（2）　大学の将来像：大学院修了生が重視する方向

大学院修了生がお茶の水女子大学の今後の姿として重視する方向は図 5–17、図 5–18 に示すとおりである。全体的な傾向は学部卒業生と同様である。「女性の多様なライフコースに柔軟に対応する」ことを重視する割合は最も多く、他大学との交流や、学部と大学の教育・研究の交流を増やすことが、大学院終了年代が現在に近づくにつれ重視の割合が上昇する傾向にある。

重点化の方向も学部卒業生と同様、最も重視の割合が多いのは「男女共同参画社会をリードする人材を養成する」である。「女性学・ジェンダー研究などの領域を重点化」を重視する回答は、1980 年代の大学院修了生の回答が 7 割を超えて高く、それ以降の若い世代で 65% と低下する傾向にある。

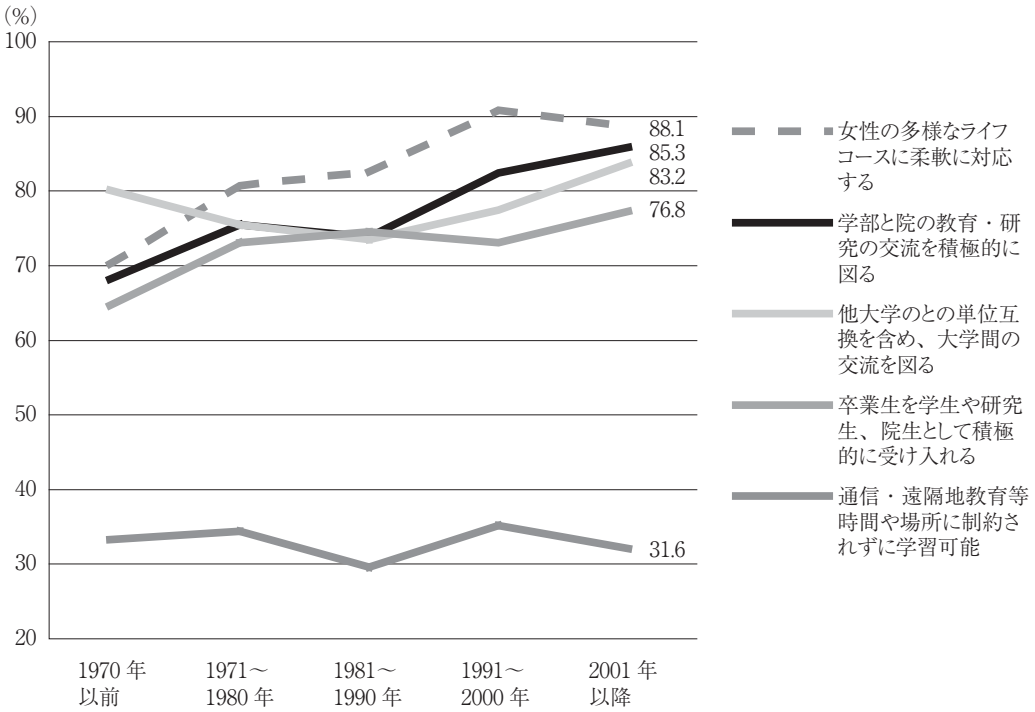


図 5–17　大学の将来像：大学院修了生が充実を望むもの

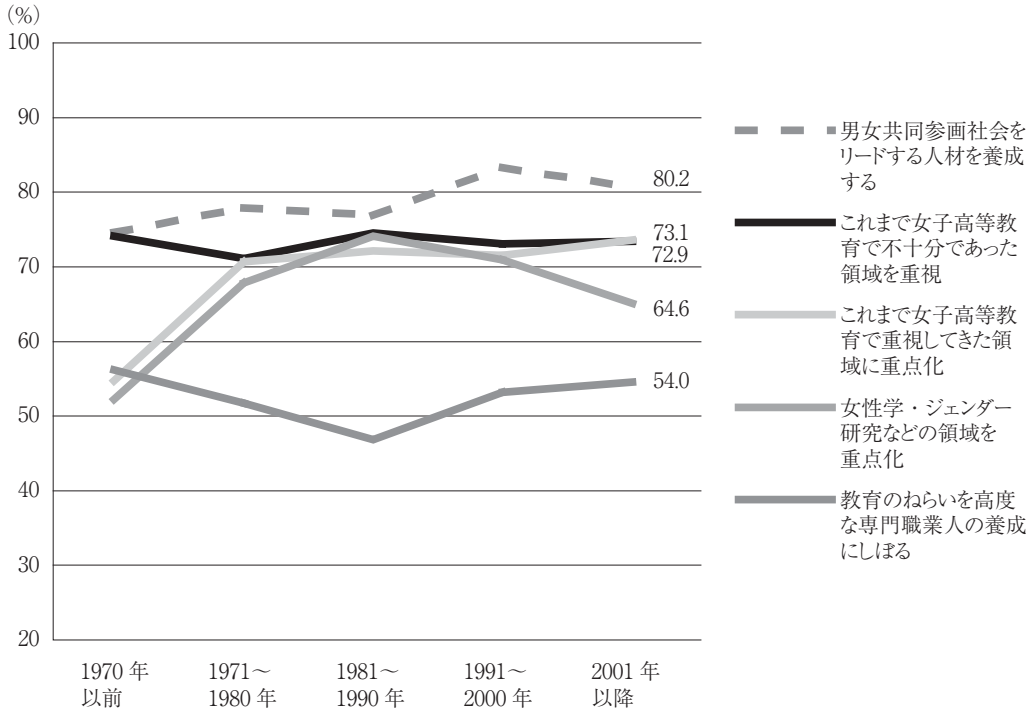


図 5–18　大学の将来像：大学院修了生が重点化を望むもの

以上から、学部卒業生・大学院修了生が、女性の多様なライフコースに寄り添う大学であること、さらに学部と大学院や他大学と積極的に交流する点を充実してゆくことを望んでいることが明らかとなった。さらに、近年の学部卒業生・大学院修了生ほど女子高等教育で重視してきた領

域に重点化し、男女共同参画社会をリードする人材を養成することを望んでいる。大学間の競争が激しくなる中で、お茶大ならではの特色を打ち出した将来像が学部卒業生・大学院修了生によって望まれているといえよう。

5－4．望む将来像：自由回答より

問 21 は、自由回答欄があるが、記入率は 66.5% であった。自由回答欄に記入された回答の内容に従って、いくつかの代表的な意見を列挙する。どの回答も出身校の将来について真摯に書かれており、学部卒業生・大学院修了生のお茶の水女子大学への思いが伝わるものであった。

（1） 学部も大学院も将来にわたり別学維持

女性学の研究

- ①共学より、女子大でじっくり落ち着いて学びたい学生のために。②産む性である女性を教育するやり方、働き方、キャリア支援など、男性と同じであるはずはない。その点を発進、提言、研究、実践する場として。③生涯に渡って励まし合っていける友人を得られる場として。（60 代）
- 女性しか与えられていない「産む」能力。この女性が「産む」ことを拒否して、働くことばかり考え出したら日本は滅びてしまいます。未来を担う子供達を産み、育む性としての責任、素晴らしさをもっともっと教えて欲しいです。男女差別ではなく、区別はあるのです。ですから、女子や女子高、女子大の意味はあると思うのです。「女性学」は大事だと思います。女性であることを誇れる講義をたくさんして欲しいです。（40 代）
- 女子大ならではの教育ができると思うので。歴史的な意味もあり、女性問題やジェンダーなどの研究ができると思うので。（30 代）

女子大の歴史・伝統

- 長い歴史と共に女子教育で成果をあげてきた大学である。ぜひ大学・大学院とも女子として最高の教育の実施機関として頑張ってほしい。日本だけでなく他国の女子大学との交流でもレベルアップを常に考慮して行ってほしい。（70 代）
- お茶の水の創立の伝統と歴史を残したい。また、女子の教育機関であることが、お茶大の個性である。お茶の水の価値はここにあり、他の一般の国立大学とおなじであってはお茶大の魅力はない！！ （60 代）
- 女子大学を卒業したということに誇りを持っているから。卒業した大学の形態は変わらないでほしいから。（30 代）
- せっかく女子大の伝統を引き継いできたのだから、社会の風潮などに流されず、独自の道を行くことがブランド力の維持につながると思う（20 代）

男女差

- 現在の日本では、まだ社会の考え方はやはり男性中心になっている。本当の男女共同参画の社会になるまでは女子大学の果たす役割は大きいと思います。（70 代）

・ 女性は出産、育児という大事業をかかえているので、向き不向きがあると思います。これから、中、後進国では特に安全に女子教育をするのが課題だと思いますので、その手本となるような、学校であってほしいです。(60 代)
・ 国際的な視野からは日本は経済的な発展に比して、男女共同参画の達成度では遅れをとっています。こうした状況で国立の女子教育・研究機関として果たすべき役割は多いと考えます。(50 代)
・ 男女が対等に社会参加する世の中になっていく中、男女差を前提とした教育の場を残しておくことは重要であると思う。女性に向くやり方での教育や女性としての人生観などが見直される時代が近い将来、必ずくると信じているからである。(40 代)

教育

・ リーダー的な女性を育てるには、女性だけで教育・研究が行われるという特殊な状況の方が適している。下手に男性がいると雰囲気が悪くなる。人によっては(力仕事とか)積極性が低下する。(70 代)
・ 女子大の最高学府としての歴史的特徴を維持すべき。男子学生がいない気楽さが伸びやかな学生生活となる。共学にすると、女子学生よりレベルの低い男子学生が入学し、大学全体としてのレベルが低下しかねない。(60 代)

女性の自立

・ お茶大の一番のセールスポイントは「女子大」であるということだから。女性のキャリアアップに特化するのであれば、共学よりも別学であった方が、サービスを提供しやすいと思う。(50 代)
・ 日本社会においては、出産・育児をする女性が男性を対等に生きることは不可能と考えています。そんな社会でも、女性の自立や社会進出を促進するために、女子大は必要。(30 代)
・ 男女平等の世の中になったとはいえ、男性が側にいるとどこかで甘えてしまうことが多いので、女性のみの環境の方が自立した人間を育てることができると思うため。(20 代)

(2) 学部も大学院も当分の間は別学維持

共学化への慎重論

・ 当分のところは女子特有の技能を研究発展させる事に重点をおいて均等を進めた方がよいと思う。将来先にはその成果をふまえて共学するのもよいと思う。(80 代)
・ いま大学の門戸は女性にも自由に開かれており、特に女子大学でなければという意義も薄れてきたように思います。しかし、お茶大の伝統とこれまでに果たしてきた成果を考えると、しばらくは別学を維持しつつ、自然の流れにまかせてはどうでしょうか。(70 代)
・ 今の社会(職場は)環境は、男女差の無い待遇と登用が表面的には一般化してきている中で、大学・大学院の場もやはり別学であり続けるのは「外からの見られ方」としては不利になり有るとも思われます。ただ一方で、「女子大」として共学とは違う機能や研究も有り、その独自性も見逃すことはできない、と考えるため。当面は別学のまま、共学化後も

お茶大の独自性を残せる形を充分に整えるべきと思います。(30 代)

・ 別学であることの希少性を特徴としてアピールするのでなければ、小規模大学のよさが個性とならないから。安易に共学化してつまらない無個性な大学にならないように期待します。(40 代)

女子大学の存在意義

・ お茶の水女子大学の歴史と伝統にかんがみ、国立の女子大学としての立場と誇りを長く保ってほしいと思うが、今後の社会情勢がどのように変化していくかを思うとき、共学もあり得ると考える。(80 代)
・ 女子のみの教育の場は女子学生自身が学校生活の場で学修や生活の責任を負うこととなり、自主的、自立的態度が共学より養われてきたように感じます。(60 代)
・ 女子大であることのメリットはまだ維持する価値があり、今後も更に伸ばせると思うので。(50 代)
・ 日本で数少ない国立女子大学の一校であり、伝統を重んじながら現代社会のさまざまな問題に対応した教育、研究は国内外に知られるところです。とりわけ“自立”や“キャリア”“リーダーシップ”を重視した教育プログラムは、他大学に在籍していてはこれほどまでには受けられなかったことを感じています。女性への高等教育を担う立場としてお茶大には当分別学を維持してほしいと望んでいます。(20 代)

共学の不安

・ 女子大ならではの特性、存在意義を生かすにはどうしたら良いかを考えられるのは、やはり女子大であろうと思います。安易な共学化は特性を見失い、大学間競争に埋没する結果を招きませんか？ (40 代)
・ お茶の水は「女子大学」というのが大きな特性であると思います。共学になれば、本大学の個性を失い、レベルの低下も招きかねません。(30 代)

(3) 学部は将来にわたり別学維持、大学院は当分の間別学

研究重視

・ 学部…共学では、本学の特色が生かされないと思う。大学院…しっかりした自己が形成された上で、異なる視点を多く得られる利点があろうかと思う。(70 代)
・ 日本では、女子大学は減少の過程にありますが、伝統と名誉があるお茶の水女子大学は、女子大学の独自性を追求し続けるべきだと思う。しかし、学問の場での男子学生との意見交流の場は積極的にもうけないと閉鎖的になりすぎてしまう懸念がある。(60 代)
・ 完全に共学化すると個性が失われて、ただの「学費が少し安い小規模大学」になってしまうような気がします。学部の段階では女子のみの環境で学問の基礎をじっくり身に付けたい、という女子も結構いると思います。ただ、大学院レベルの研究では男女の垣根を越えて議論しあった方が成果を生むという面もあるでしょうから他大学と単位の交換や進学のチャンスの拡大などを目指した方がいいのかも知れないと思います。(50 代)
・ 女子大のメリットを最大限に生かして、今後も高い教育・研究レベルを維持していくべき

だと思うから。共学になったら学生のレベルが下がるのではないかとの不安もあるし、女子大という大きな特色を失ってしまい、伝統あるお茶大らしさも失われてしまうと思う。大学院についてはかなり専門性の高い分野については男女を問わず学びたい人を受け入れるべきだと思うので、部分的に共学をとなっていくのは自然ななりゆきと思うが・・・（30代）

・ 異性のいない環境で培われる自主・独立の気風は卒業後、男性のいる環境に身を置いた際にもプラスに働くと思います。但し大学院レベルの研究では男女問わず優秀な研究者と切磋琢磨することが望ましいので男性にも門戸を開くことを検討しても良いかもと思います（20代）

（4） 学部、大学院のどちらか、早期共学化

学部が早期共学化

・ 大学では共学で共に語り合う場があると良い。大学院は女性だけにし、まだまだ女性の教育の場を確保してほしい。（50代）
・ 社会へ出れば、女子だけというシチュエーションはあまりありません（一般企業に勤務すれば特に）。対等に働き、共に仕事をする上で、大学時代に学ぶout putの訓練は、男性含めた中で行われた方が良いと思います。より専門的な分野を研究する大学院は、自ら望んで進学するのでしばらく別学でもよいと考えます。（20代）

大学院が早期共学化

・ 現在のジェンダーフリー思想には疑問を持つ。男女同種でも資質、使命は違う筈。女子の特質を充分に生かした学び方がるように思えるから当分は残しておいてよい。全てに大変革の時代ゆえ、男女共学は慎重に。しかし他一流大学と統合、合併の時はその限りではない。大学院は研究第一ゆえ、男女共学がよいと思う。女子大として生き残る時も他大学との関係、交流は活発にやって頂くのも魅力の一つ。（70代）
・ 女子大学というのが、本校の特色であると思うので、学部の共学化をすすめるのは慎重に行った方がいいと思います。ですが、大学院は、企業、社会とのつながりを考え、共学化した方がより大きな実績を上げられると考えます。（50代）
・ 大学院にように高度な研究をする場では、男女関係なく受け入れるべきだと思う（40代）
・ 大学院は他学との知の交流の場であり、お茶大を知らしめていくには、うけいれが必要と思う。またそうすることにより、留学希望のすそ野も広がり、お茶大学問の厚みがましていくと思う。今は、性別で門戸をとざす時代ではない。一方、学部は従来からのお茶大ならではの知見を維持することには価値があると思う。（40代）
・ 独立化時代に至り、大学の独自性を商品として打ち出すならば、「女子大」は立派な商品と成り得ます。更なる特殊化対策は必要ですが、成功する可能性は充分あり、成功の道を見失った時に共学化を選択するのでかまわないと思います。一方、大学院は残念ながら既に東大との交流がなければ研究が成り立たず、実態として女子大の特殊性が打ち出せません。ブランドが通じているうちに男子学生の入学を認めた方が将来性はあります（30代）

・　女子大学には女子大学なりの良さがあると思っています。共学になるとその特色が失われそうでこわい。合併による共学化には賛成です。大学院は様々な方向からの視点が必要と思います。共学による研究の与える影響は良い方向になるのではないでしょうか。（30 代）
・　学部では、これまでの歴史をふまえた女子大学ならではの差別化が図られれば、維持に意味があるが、大学院は、大学としての研究、競争力をつける意味で共学化がより良いと思うため。（20 代）

（５）　学部も大学院も早期共学化

研究の視点

・　教育において男女を区別する必要はないと思う。（70 代）
・　学問への働きかけ、取り組み方等、共学の方が広く活発になると思います。（50 代）
・　研究対象として女性やジェンダーに関するものを重視するのはよいと思いますが、そこに男女両方からの視点を入れた方がより片寄りのない普遍的な研究成果が得られると思うので。（40 代）
・　男女隔でなく教育の機会が与えられる現在では、分ける必要性を感じないため。共学だと、男性の仕事や将来に対する意欲を身近に感じられて、就職活動においてよい刺激にもなるだろうと考えられるため。（20 代）
・　時代の流れ
・　大学の門戸は男女平等に開かれるべきで女子に限る制度は古いと思う。（80 代）
・　女子大学が必要な時代は終わりつつあるのではないでしょうか。（50 代）
・　学問の対象としてジェンダーを分けることに意味がある場合もあると思いますが、学ぶ人を分ける意義は可ではないような気がします。社会において男女が等しく同権であるとは思いませんが、すでに女性特有の問題というより社会・人間全体の問題であると思います。（40 代）
・　「女子」がなくなるのは淋しいですが、少子化の流れを考えると経営的な判断が必要ではないでしょうか。伝統を踏まえつつ、発展していけば女子にこだわらなくてよいと思います。バランスをみて進んでいけばよいと思います。（30 代）

男女共同参画社会

・　女性は「出産・育児」という人生や仕事に大きな影響の出る状況を背負っているという違いを、男女力をあわせてどのように理解し、共同の、共通の価値にしていくためには、知り合うこと（共学）が必要と思います。（70 代）
・　現在は男女共同参画社会である。大学はお互いに異性について理解し合う学びの場である。（60 代）
・　非常にすばらしい“女子教育”を行っている。“女子教育”を受ける男性を増やすことで、男女共同参画社会を作る上で大きな力となると思う。共学教育ではなく、共学で女子教育をすることにお茶大の存在意義を打ち出すことができる。（30 代）

相互刺激する視点から

- 社会に出てのすべての場において、（職場でも家庭でも）男女が互いの相異を理解し、協力し合うことが基本ですから、在学時のみ別学にする必要はないと思います。（70 代）
- 男女は思考の仕方や目標の掲げ方が違うので、互いに刺激し合い成長するため。（40 代）
- 自分自身、女子ばかりの中で教育を受けたことで、就職活動のとき、情報面や職業意識面で遅れていたと感じる為。また、男性から物事のとらえ方や考え方の点でよい影響があると思う。（30 代）
- 女子大学であることをアイデンティティとしても、今のところは成果が出ていない。共学であっても女性のライフスタイル等についての研究は可能。男女双方の視点があってこそ、性差や双方により良いライフスタイル、人生等について深く考えられるように思う。（30 代）

6. 卒業生の大学との関わりとライフコース：第二部調査結果のまとめ

6－1．学部卒業生・大学院修了生の基本属性

出身高校の多くは都道府県立である。近年は私立出身者の割合が徐々に増加し、国立や都道府県市立出身者は減少する傾向にある。4分の3が共学の高校出身である。出身高校の所在地は東京が約3割、東京以外の関東が1/4、関東出身者は半数強であり、次いで中部・北陸が2割弱となっている。これに対して調査時点（2008年4月2日現在）の居住地は、東京が4割弱、東京以外の関東3割強であり、7割の学部卒業生・大学院修了生が関東に居住している。

出身学部は文教育学部が4割強と最も多く、次いで家政学部・生活科学部3割弱、理学部2割強である。大学院進学者（博士前期課程・後期課程）は年々増える傾向にあり、特に近年、博士課程進学者が増加している。本学の大学院に進学する者のうち本学出身者が占める割合は7割前後である。博士後期課程進学者のうち、約半数が学位取得修了である。

6－2．在学中の生活と満足度

学部在学中の生活

学部在学中に最も力を入れた活動は「友人とのつきあい」であり、次いで「大学の授業や研究」「関心領域についての自主的学習・読書」である。近年の学部卒業生になるほど「大学の授業や研究」「関心領域についての自主的学習・読書」よりも、「友人との付き合い」「サークルやクラブ活動」「自分の趣味」に力を入れた人が増える。

学部卒業後の職業生活に最も役に立ったと回答されたのは「大学の授業や研究」であり、特に理学部卒業生の支持が顕著である。在学中に様々な活動を経験する中で、約半数の卒業生は授業や研究という大学の正規プログラムが役立ったと考えている。ただし教職に就く卒業生の減少を反映しているのか、近年になるにつれ役だった活動も「大学の授業や研究」よりも「アルバイト」「友人との付き合い」「サークルやクラブ活動」にシフトしている。

全体的な傾向では、力を入れた活動ほどその後の生活に役立っていると考える学部卒業生が多いことが確認された。大学生活はその後の生活に有益なものだったととらえられているようだ。

大学院在学中の生活

大学院修了生の大半は在学中に「自分の研究テーマに基づく研究・調査」「大学院での授業」「修士論文や博士論文の執筆」に力を入れている。「自分の研究テーマに基づく研究・調査」は、その後の職業はもちろんのこと、社会生活や家庭生活にも役立つと認識されている。オリジナリティある研究が職業生活に役立ということは本学の狙いであり、教育目標はある程度達成していると言えるだろう。

大学院進学者が増加する中で、「自分の研究テーマに基づく研究・調査」「大学院での授業」が役立っていると認識する大学院修了生は、近年になるほど減少する傾向も確認された。この変化は懸念すべきものであり、原因を探求してゆく必要がある。

在学生活満足度

学部卒業生、大学院修了生ともに同様の傾向がみられた。学部卒業生・大学院修了生の多くは在学生活のうち「在学中の友人との交流」「専門・専攻科目」「大学全体の雰囲気」に満足している。「教育全般」「卒業論文・卒業研究」は6割以上が、「本学の教員との交流」「卒業研究担当教員の指導方法・指導内容」も5割以上の学部卒業生・大学院修了生が満足しており、教育体制全般に対して多数の学部卒業生・大学院修了生が満足していることが確認された。

いっぽう、「授業で使用した教室」「大学内の設備・施設全般」を不満とする学部卒業生・大学院修了生が多く、「就職・進学の指導・支援体制」「留学・国際交流支援体制」に対しては不満の割合が満足を大きく上回った。特に近年は「就職・進学の指導・支援体制」に対して満足しない学部卒業生・大学院修了生が多い。就職難を反映した支援体制の強化が大きな課題であるとともに、近年強化した支援体制の評価をおこなう重要性が浮かび上がった。

6－3．学部卒業・大学院修了後の職業

学部卒業生の初職

学部卒業生の大半が学部卒業後すぐに、22歳～23歳で就職している。初職で最も多いのが「専門技術職」、次いで「事務的職業」となり、上位二職種だけで全体の約9割を占める。

研究職・技術者は、理学部と家政・生活科学部の学部卒業生でほぼ占められており、1990年代以降からは減少傾向にある。これに対してSEに就く学部卒業生は1990年代以降急速に増加しており、理学部だけでなく文教育学部と家政・生活科学部でも1割近くの学部卒業生が初職としている。中学校及び高等学校の教職に就いた学部卒業生は、文教育学部では3割前後を占め、理学部と家政・生活科学部においても1～2割と比較的多くの学部卒業生が選択する職業である。小学校教師と幼稚園教師は、文教育学部と家政・生活科学部の学部卒業生がそれぞれ1割程度である。ただし教職に就く割合は、1980年代の学部卒業生以降に急速に減少している。

初職の就業形態をたずねた結果では、バブル崩壊後の90年代半ば以降の学部卒業生から、正規雇用就業が減少し続け、特に文系では非正規雇用の割合が増加し、理系では大学院進学者（留学含む）の割合が増加している。

大学院修了生の初職

大学院修了者の初職は1970年以前には9割以上が教育・研究職だったのに対し、2001年以降には半数以下にまで減少している。仕事を見つけた経緯も大きく変化し、教師の紹介によって初職を見つけた大学院修了生の割合が1990年代以降に大きく減っている。入れ替わるように、公募情報による就職、ことに2000年以降の大学院修了者では「Webによる上の公募情報」によって初職を見つけることが主流になりつつある。大学院修了者は初職の状態だけでは就業状況の全体像を把握しきれないものの、初職が非正規雇用の割合は、修士修了者、博士修了者と高学歴のほうが高い。

初職の継続／離職

5年未満に初職をやめている卒業生の割合のピークは、卒業年1960～70年代のコーホートである。この世代は初職の離職理由が「結婚のため」と回答した割合のピークの世代でもある。初

職をやめた被雇用者の卒業生の 6 割〜7 割が「結婚のため」「出産、育児のため」を理由としてあげ、本学卒業生でも家族イベントが職業中断に及ぼす影響が小さくないことが確認された。近年では初職をやめるか否かの判断基準が、仕事と家庭の両立問題よりも、労働及び職場環境にシフトする傾向がある。

育児期の正規雇用率は全国平均より高く、仕事と子育てを両立している卒業生も多い。30〜40 歳代以降の結婚・子育てを経験した卒業生が多い世代になるほど、仕事と家庭の両立への家族及び職場の協力体制を「仕事が続けられた、あるいはやめるに至らなかった理由」としてあげている。

6－4．ライフコースと家族形成

ライフイベントの時期

ライフイベントの発生年齢を全年代の平均で確認したところ、正規雇用の割合は 24 歳頃ピークを迎え、徐々に減少しながら 50 歳頃までは 20〜30% を保持し、定年を迎える 60 歳頃には 10 % 程度となった。子（孫）育てを経験する割合は、24 歳頃から次第に増加し 33 歳ごろにピークを迎えていた。

近年は晩産化、少産化が確実に起こっている。初産年齢は 1981〜1990 年卒業コーホート（調査時の年齢でおよそ 40 歳代）以降に大きく変化しており、20〜25 歳の間の初産が減少し、30〜35 歳の間の初産が増加している。同コーホート以降では子ども数にも変化がみられ、子を持たない人と子 1 人の割合が増加し、子 3 人の割合が減少している。

ライフコースの理想と現実

大学部卒業時に理想としていたライフコースは、1970 年卒業生までは再就職コース（子育て後再就職）を支持する卒業生も多かったが、1970 年卒業生を境に両立コース（継続就業）希望者が増えている。実際にたどってきたライフコースは、晩婚化を反映して若い卒業生ほど「結婚せず、仕事を一生続ける」者が多い。そして自分がたどりそうなライフコースは、再就職コースが多い。両立コースを理想とし、実際にたどりそうだとする人は、学部卒業生よりも修士修了生、さらに博士修了生に多い。

結婚や家族、性別役割に対する意識

全国調査の結果と比較してみると、本学卒業生は旧来の性別役割分業を否定する傾向が強い。この傾向は学部卒業生よりも修士修了生、さらに博士修了生ほど顕著である。ただし「男は仕事、女は家庭」に対する否定意見が多いのに対し、「少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい」に対しては肯定する卒業生が多く、特に 2001 年以降卒業の若い世代では肯定が 6 割に上る。

自由意見では、再就職の難しさや、家庭を健全に運営しながら仕事を継続してゆくことの難しさとともに、子育てというかけがえない経験、子育てに時間を割くことの重要性を、後輩に伝えようとする意見が目立った。子育てを大切にしながら、無理なく働き続けられる社会が切望されている。

6－5．大学の将来像として望む姿

学部卒業生・大学院修了生が大学に提供を望んでいる場や機会は、「知識・技能を高め転職・昇進につながるもの」「卒業生の人材登録サービスや就職支援」など職業に直結するものや、「お茶の水女子大学で開講する授業への参加」など学びに関するものである。

共学か、別学維持かの希望を尋ねたところ、「将来にわたって別学を維持した方がよい」「当分の間は、別学を維持した方がよい」と考える割合は、学部に対して約 8 割、大学院に対して約 6 割と多くを占める。現在に近い卒業年代ほど別学維持が支持され、50 歳代以上の卒業生に共学化を望む意見が多い。

大学の今後の姿としては、「女性の多様なライフコースに柔軟に対応する」とともに学部と院、あるいは他大学との交流を図ることが重視されている。将来像として重点化を望む点は、「男女共同参画社会をリードする人材を養成する」「これまで女子高等教育で重視してきた領域に重点化」への賛意が多い。

自由意見では、女子に限定した教育を行う必要性が依然としてあることを述べる意見、女性に限定することは既に時代遅れであることを主張する意見の双方がみられた。これまでの女子教育を男性に施す必要性も述べられている。学部卒業生・大学院修了生の母校に対する意見はいずれも真摯であり、お茶の水女子大学が伝統ある女子大として、特色を積極的に活かしてゆくことが期待されている。

おわりに

卒業生のアンケートのとりまとめにかかわってきましたが、この調査は、日本の高学歴女性のライフコースの記録という点からも、きわめて貴重な資料です。

調査に回答者の構成をみると、1920 年代からこれ以前に生まれが 7%、1930 年代生まれが 16%、1940 年代生まれが 16%、1950 年代生まれが 16%、1960 年代生まれが 17%、1970 年代生まれが 18%、1980 年代生まれ以降が 10% です。

女性の四年制大学進学率は、どの程度だったのでしょう。文部科学省『学校基本調査』で統計がとれるのが 1954 年以降です。当時の進学率は男性が 13% であったのに対して、女性は 2% でした。女性の進学率が 10% を超えるのが 1973 年ですが、10 年後の 1983 年も、男性が 36% に対して女性は 12% にすぎません。しかしその後は急速にかわっていきます。1986 年の均等法施行とその後の強化、1992 年の育児介護休業法の施行とその後の強化の中で、1994 年には 20% を超え、2000 年には 30%、2007 年には 40% を超えます。この調査は、四年制大学進学者がまだ 1 割程度以下であった四年制大卒女性の仕事・結婚・出産・子育てや介護の記録でありますし、また新しい時代の中で、若い高学歴女性がどう仕事と家庭に向かっていっているかの調査でもあります。

日本では、欧米に比べて、高学歴の無職女性が多いのが特徴です。しかしこの点については、本学の卒業生は異なっています。中年期でも、正社員が高い特徴があります。全国の大卒女性（総務省『就業構造基本調査』2007 年）と比べると、卒業生の各年齢層にしめる正社員の割合は、20 歳代後半は 73%（全国が 59%）、40 歳代後半が 42%（全国は 33%）です。これは雇用者にしめる割合ではなく、無業者を含めた全体に対する割合です。40 歳代後半でも、回答者の 4 割は正社員という安定した仕事を持っているということを意味します。また日本は正社員であっても昇進見込みがない女性の割合が高いのですが、この調査では、正社員として民間に勤務している 35―44 歳層の 6 割弱が管理職になっています。現在の職業としては「専門・技術的職業」の割合が高く、1990 年代卒業コーホートで 5 割、1970 年代卒業コーホートで 7 割を占めています。具体的には、高校教師、大学講師、研究者、ＳＥ，技術者などが挙げられます。ただし最近になるほど事務職が増えています。これは民間企業への就職が増えているからでもあるでしょう。

政府は 90 年代以降、特に 2000 年に入り女性の仕事と家庭の両立支援策を強化してきましたが、全国でみるとその効果はあまり出ていません。第 1 子出産時点で現在でも 7 割の女性が無業になっています。また育児休業の利用者は増加傾向にはありますが、無職者の割合が多いため、出産にしめる利用者の比率をみると 1985 年―89 年に第 1 子を出産した女性の 6%、1995―99 年では 11%、2005―2009 年でも 17% が利用しているにすぎません（国立社会保障人口問題研究所『第 14 回出生動向基本調査』（2010 年））。これに対して卒業生の育児休業制度の利用は、調査当時 43―52 歳女性で 23%、調査当時 33―43 歳女性で 42%、そして 22―32 歳の一番若い女性では 52% と、若い層では半数にまでに上昇しています。仕事意欲が高いこと、そして育児休業をとれ

るような安定した仕事に就いている者が多いことから、育児有業を利用した就業継続が大きく増えたのだと考えられます。自分がたどりそうなコースとしては、「結婚し子どもを持つが仕事も一生続ける」が1970年代卒業コーホートでは3割弱でしたが、1990年代以後の卒業コーホートでは4割になっています。

しかしながら、それでも「両立」は今も細い道筋です。それは若い世代ほど、出産が遅くなっていることに表れています。結婚も遅くなる傾向がみられますが、結婚から出産までの期間もより長くなっているため出産は一層遅れています。一番若い卒業生を見ると、35歳時点で半数程度しか子どもを持っていません。こうした遅延傾向は、1980年代前半までに卒業したコーホートの出生行動とは大きく異なっています。ただしこれからたどりそうなコースとして、「子どもを持たない」が増えているわけではありません。

育児休業制度が拡充される一方で、雇用が正社員と非正社員に二極化する中で正社員の仕事負担も増加しています。それは最近の卒業生ほど、学校卒業直後に就いた仕事の帰宅時間が大幅に遅くなっていることに表れています。また、学部卒の初職継続者が離職を考えた理由として、若い世代ほど、「労働条件が過酷」、「キャリアの限界がみえた」などを選択する者が増えていることにも表れています。

この報告書では、大学院修了生についても別に集計しています。大学院にすすむことで、女性の職業機会はより開かれるのでしょうか。中年以上のコーホートでは明らかにそのようです。たとえば1970年代卒業コーホートを見ると、学部卒業生の正社員割合は39%ですが、大学院修了生は55%です。また専門・技術的職業に就いている者の割合も大学院修了者の方が高く、博士修了者については、専門・技術的職業の中でも、大学講師が44%、研究者が35%を占めています。また年収水準もより高くなっています。たとえば1980年代卒業コーホートでは、年収800万円以上が5割弱であって3割の学部卒業生よりも平均年収が高くなっています。ただし2000年以降の大学院修了生では年収200万円未満も2割います。雇用が不安定化している中で、2000年代の大学院修了生が安定した仕事に移行していけるかは今後見守っていくべき課題でしょう。

大学在学中の生活を振り返っての満足度を見ると、友人との交流、専門・専攻科目、大学全体の雰囲気、教育全般、卒業研究、大学教員との交流などへの満足度は全般に高く、しかも若い世代で上がっており、嬉しいことです。また大学の授業や研究が職業生活に役立っているとする回答割合も高いものとなっています。

その一方で、卒業生の回答からは、これから本学が力を入れるべき課題も見えています。大学在学時の卒業生との交流については、満足度が下がっており、交流の促進が望まれます。卒業生も、大学に、転職・昇進につながるような、知識・技能を高める機会を求めるという回答が高くなっています。留学・国際交流支援体制については、取組を反映して満足度は上昇傾向にはありますがまだ満足の水準は低いといえます。就職の支援体制については、採用が殊の外厳しくなる中、満足度が下落しています。これらの課題については現在取組が行われているところです。

自由記述の中には、多くの卒業生が後輩へのさまざまなアドバイスも書き入れてくださいました。この調査の分析は、専門が労働経済学、社会保障論であり、女性の就業と家族形成を中心に研究している私にとって、研究という視点からも貴重な機会を与えてくれました。改めて、本学

の伝統と歴史を感じております。

卒業生の皆様のご活躍を喜ばしく思いますとともに、調査にご協力くださった卒業生の皆様に深く感謝申し上げます。

2013 年 3 月

お茶の水女子大学　人間文化創成科学研究科　教授

永瀬　伸子

付１　調査票

B

卒業生・修了生のライフ・コースについてのアンケート

●アンケートへのご協力のお願い

このアンケートは、お茶の水女子大学の卒業生及び修了生（以下、卒業生等と略します）の皆様を対象に、卒業・修了後の職業生活や家庭生活、社会的活動についてうかがい、本学卒業生等のライフ・コースを統計的に明らかにすることによって、今後の大学運営及び学生教育に役立てるための基礎資料とするものです。

アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

1．アンケートは無記名です。原則として、□に数字を記入するか、該当する数字に○をつけていただく方式です。一部、ご意見を自由にお書きいただく箇所もあります。
2．ご回答はすべて統計的に処理いたします。個人的なデータを公表することは絶対にありません。
3．調査結果は、報告書としてとりまとめるほか、本学の運営・教育改善の基礎資料とさせていただきます。また、本学教員や学生による、大学教育改善や男女協同参画社会実現、ワーク・ライフ・バランス実現に寄与する研究に利用させていただくこともあります。

アンケート実施責任者
副学長　学術・情報機構長　羽入　佐和子

● 記入にあたってのお願い

お答えはすべて数字に直して統計的に処理いたしますので、個々のお答えの内容が外部にもれることは絶対ありません。どうぞありのままをお答えください。

・回答は、①□の中に数字を記入する形式と、②質問ごとに用意してある答えの中からあてはまるものの番号に○をつける形式とがあります。
・「その他」「それ以外」を選んだ場合は、その番号に○をつけたうえ、（　　）内にその具体的な内容を御記入ください。
・Q１から順にお答えください。一部の方だけにお答えいただく質問もございますので、その場合は、矢印や指示にしたがってお進みください。
・「あてはまる番号**１つ**に○」という質問では回答は１つにしぼってください。「**２つまで**」「**全て**」などと書かれた質問では、１つ以上回答があってもかまいません。
・各ページにある⑦、⑧……などの数字は電算処理のためのもので、お答えの内容とは関係ありません。

◎最初に、あなたの年齢と学歴についておたずねします。

⑥＝1

Q１．あなたの生年月と2008年４月２日時点の年齢をお答えください。生年は西暦で、□のなかに数字を入れてください。

西暦 | 1 | 9 | | | 年 | | | 月生　満 | | | 歳　⑦～⑫

Q２．あなたがお茶の水女子大学（学部）を卒業したのは何年何月ですか。卒業年は西暦で、□のなかに数字を入れてください。

西暦 | | | | | 年 | | 月　⑬～⑰

Q３．あなたが受けた後期中等教育は新制、旧制のどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 新制高校
2 旧制高等女学校、旧制師範学校等 → **４ページＱ４へお進みください**　⑱

Q3-1. **新制高校を卒業した方にうかがいます。**

(a) 出身高校の設置主体は次のどれですか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

1 国立　**2** 都道府県市立　**3** 私立　**4** その他（　　）　⑲

(b) 出身高校の所在地はどこですか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

1	北海道	**6**	中部	**11**	九州
2	東北	**7**	北陸	**12**	沖縄　⑳
3	信越	**8**	近畿	**13**	海外　㉑
4	東京	**9**	中国		
5	東京以外の関東	**10**	四国		

(c) 出身高校は共学校ですか、女子校ですか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

1 共学校　**2** 女子校　㉒

Q４．あなたの出身大学（学部）、大学院修士課程（博士前期課程）、大学院博士課程（博士後期課程）について、入学と卒業（修了・退学）年月とその名称をお答えください。学部の学科名称については、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。複数の場合は最初に卒業・修了した学科等でお答えの上、２番目以降については、該当する課程の「２番目以降の卒業（修了）」欄に記入してください。該当する学科名がない時には（　）の中に卒業した学科名を御記入ください。年月については数字を入れてください。（該当する箇所のみ御記入ください。）

【学部】

西暦 □□□□ 年 □□ 月　入学　㉓～㉗

西暦 □□□□ 年 □□ 月　卒業　㉘～㉜

1　東京女子高等師範	（　　）科

お茶の水女子大学		
文教育学部	2　哲学科 3　史学科 4　国文学科 5　外国文学科 6　教育学科	7　舞踊教育学科 8　人文科学科 9　言語文化学科 10　人間社会学科 11　芸術表現行動学科 12　その他 （　　）学科
理学部	13　数学科 14　物理学科 15　化学科	16　生物学科 17　情報科学科 18　その他 （　　）学科
家政学部・生活科学部	19　児童学科 20　食物学科 21　被服学科	22　家庭経営学科 23　生活環境学科 24　人間生活学科 （　　）講座 25　その他 （　　）学科

㉝～㉟

26　お茶大以外の大学	（　　）大学　（　　）学部

２番目以降

㊱

【大学院修士課程（博士前期課程）】

□□□□ 大学院 □□□□ 研究科 □□□□ 専攻

西暦 □□□□ 年 □□ 月　入学　㊲～㊶

西暦 □□□□ 年 □□ 月　修了　㊷～㊻

２番目以降

【大学院博士課程（博士後期課程）】

□ 大学院 □ 研究科 □ 専攻 ㊽～㊿

西暦 □□□□ 年 □□ 月 入学 (53)～(57)

西暦 □□□□ 年 □□ 月→ あてはまる番号に○をつけてください。

1 学位取得修了
2 単位取得満期退学 (58)
3 退学

2番目以降	(59)

Q５．あなたの2008年４月２日現在の居住地はどこですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1	北海道	6	中部	11	九州	
2	東北	7	北陸	12	沖縄	
3	信越	8	近畿	13	海外	(60)
4	東京	9	中国			(61)
5	東京以外の関東	10	四国			

●つぎに、お茶の水女子大学在学中の生活についてうかがいます。

Q６．**お茶の水女子大学の学部（女高師を含む）に在籍した方のみにうかがいます。**
その他の方は７ページのＱ８にお進みください。

(a) 学部在学中、あなたは以下のことがらに、どの程度力を入れていましたか。
それぞれについてあてはまる番号に**１つずつ**○をつけてください。

	力を いれた	ある程度 力をいれた	あまり力を いれなかった	力を いれなかった	
（1）大学の授業や研究	1	2	3	4	(62)
（2）関心領域についての自主的学習・読書	1	2	3	4	(63)
（3）語学学校・専門学校・各種学校への通学	1	2	3	4	(64)
（4）友人とのつきあい	1	2	3	4	(65)
（5）特定の異性とのつきあい	1	2	3	4	(66)
（6）先生との交流	1	2	3	4	(67)
（7）自分の趣味	1	2	3	4	(68)
（8）サークルやクラブ活動	1	2	3	4	(69)
（9）アルバイト	1	2	3	4	(70)
(10) ボランティア活動	1	2	3	4	(71)

(b) 前ページ質問 (a) の(1)～(10)の項目のなかで、卒業後の**職業生活**に役立ったのはどれですか。役立ったものから順に**２つ**、その項目の番号を記入してください。

もっとも役立った→ □ **２番目に役立った→** □ ⑫⑬

(c) 前ページ質問 (a) の(1)～(10)の項目のなかで、卒業後の**社会生活**に役立ったのはどれですか。役立ったものから順に**２つ**、その項目の番号を記入してください。

もっとも役立った→ □ **２番目に役立った→** □ ⑭⑮

(d) 前ページ質問 (a) の(1)～(10)の項目のなかで、卒業後の**家庭生活**に役立ったのはどれですか。役立ったものから順に**２つ**、その項目の番号を記入してください。

もっとも役立った→ □ **２番目に役立った→** □ ⑯⑰

Q７．あなたにとって、お茶の水女子大学での学生生活は満足なものでしたか。 ⑥＝２
以下の項目それぞれについて、当てはまる番号に**１つずつ**○をつけてください。

	非常に満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	
(1) 本学の教員との交流	1	2	3	4	5	⑦
(2) 在学中の友人（お茶大生）との交流	1	2	3	4	5	⑧
(3) 卒業生との交流	1	2	3	4	5	⑨
(4) 事務窓口の対応	1	2	3	4	5	⑩
(5) 就職・進学の指導・支援体制	1	2	3	4	5	⑪
(6) 教育・研究支援体制	1	2	3	4	5	⑫
(7) 留学・国際交流支援体制	1	2	3	4	5	⑬
(8) 経済的支援（奨学金等）体制	1	2	3	4	5	⑭
(9) 卒業研究担当教員の指導方法・指導内容	1	2	3	4	5	⑮
(10) 女性支援体制	1	2	3	4	5	⑯
(11) 教養教育	1	2	3	4	5	⑰
(12) 専門・専攻科目（講義・演習・実習・実験）	1	2	3	4	5	⑱
(13) 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	⑲
(14) 授業で使用した教室（講義室、実験・実習・演習室）	1	2	3	4	5	⑳
(15) 図書館（学部・学科・講座・コースの図書室含む）	1	2	3	4	5	㉑
(16) 教育全般	1	2	3	4	5	㉒
(17) 学生支援全般	1	2	3	4	5	㉓
(18) 大学内の設備・施設全般	1	2	3	4	5	㉔
(19) 大学全体の雰囲気	1	2	3	4	5	㉕

Q８．**お茶の水女子大学大学院に在籍した方のみにうかがいます。その他の方は９ページのQ10にお進みください。**

(a) 大学院に在学中、あなたは以下のことがらに、どの程度力を入れていましたか。
それぞれについてあてはまる番号に**１つずつ**○をつけてください。

	力を入れた	ある程度力をいれた	あまり力をいれなかった	力をいれなかった	
（1）大学院での授業	1	2	3	4	㉖
（2）自分の研究テーマに基づく研究・調査	1	2	3	4	㉗
（3）研究室の研究テーマに基づく研究・調査	1	2	3	4	㉘
（4）大学内の大学院生との研究会・勉強会	1	2	3	4	㉙
（5）他大学の大学院生との研究会・勉強会	1	2	3	4	㉚
（6）研究プロジェクトへの参加	1	2	3	4	㉛
（7）研究成果の発表や論文執筆	1	2	3	4	㉜
（8）修士論文や博士論文の執筆	1	2	3	4	㉝
（9）研究助成金の獲得	1	2	3	4	㉞
(10) 職業資格の取得	1	2	3	4	㉟
(11) 研究助手や非常勤講師などのアルバイト	1	2	3	4	㊱

(b) 上の質問の(1)～(11)の項目のなかで、修了後の**職業生活**に役立ったのはどれですか。
役立ったものから順に**２つ**、その項目の番号を記入してください。

もっとも役立った→ [　]　**２番目に役立った→** [　]　㊲㊳

(c) 上の質問の(1)～(11)の項目のなかで、修了後の**社会生活**に役立ったのはどれですか。
役立ったものから順に**２つ**、その項目の番号を記入してください。

もっとも役立った→ [　]　**２番目に役立った→** [　]　㊴㊵

(d) 上の質問の(1)～(11)の項目のなかで、修了後の**家庭生活**に役立ったのはどれですか。
役立ったものから順に**２つ**、その項目の番号を記入してください。

もっとも役立った→ [　]　**２番目に役立った→** [　]　㊶㊷

Q９．あなたにとって、お茶の水女子大学大学院での学生生活は満足なものでしたか。
以下の項目それぞれについて、あてはまる番号に**１つずつ**○をつけてください。

	非常に満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	非常に不満	
（1）本学の教員との交流	1	2	3	4	5	㊸
（2）在学中の友人（お茶大生）との交流	1	2	3	4	5	㊹
（3）修了生との交流	1	2	3	4	5	㊺
（4）事務窓口の対応	1	2	3	4	5	㊻
（5）就職・進学の指導・支援体制	1	2	3	4	5	㊼
（6）教育・研究支援体制	1	2	3	4	5	㊽
（7）留学・国際交流支援体制	1	2	3	4	5	㊾
（8）経済的支援（奨学金等）体制	1	2	3	4	5	㊿
（9）指導教員の指導方法・指導内容	1	2	3	4	5	(51)
(10) 女性支援体制	1	2	3	4	5	(52)
(11) 授業	1	2	3	4	5	(53)
(12) 修士論文	1	2	3	4	5	(54)
(13) 授業で使用した教室（講義室、実験・実習・演習室）	1	2	3	4	5	(55)
(14) 図書館（専攻・研究室の図書室含む）	1	2	3	4	5	(56)
(15) 教育全般	1	2	3	4	5	(57)
(16) 学生支援全般	1	2	3	4	5	(58)
(17) 大学内の設備・施設全般	1	2	3	4	5	(59)
(18) 大学全体の雰囲気	1	2	3	4	5	(60)

●卒業・修了後の仕事と結婚についてうかがいます。

学部卒業後のことについてうかがいます。

Q10. 学部を卒業した直後、あなたは収入をともなう仕事をしましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1 正規社員・正規職員として働いた
2 派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた
3 パート・アルバイトで働いた
4 自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした
5 家業の手伝いをした
6 大学院進学、留学をした
7 収入をともなう仕事にはつかなかった

61

4～6 → 12ページQ11へお進みください

7 → 11ページQ10-5へお進みください

Q10-1(1). **卒業直後に「１　正規社員・正規職員として働いた」「２　派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた」「３　パート・アルバイトで働いた」と答えた方にうかがいます。**あなたがその仕事に就いたのは何歳の時でしたか。

□□ 歳　62 63

Q10-1(2). **引き続き、卒業直後に「１　正規社員・正規職員として働いた」「２　派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた」「３　パート・アルバイトで働いた」と答えた方にうかがいます。**その仕事は何でしたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。また、専門職についてはいくつかの職業名を挙げますが、該当するものがある場合は、「１　専門・技術的職業」に○をつけた上で、該当する職業の番号に○をつけてください。（パートやアルバイトで複数仕事を持っている場合はその中で最も収入の多かった仕事に○をつけてください）。

1 専門・技術的職業

(1)	研究者	(5)	栄養士	(9)	小学校教師	(13)	社会調査士
(2)	技術者	(6)	大学講師	(10)	幼稚園教師	(14)	その他
(3)	SE	(7)	高校教師	(11)	保育士		（　　）
(4)	カウンセラー	(8)	中学教師	(12)	学芸員		

2 管理的職業（民間企業、公務員の課長職以上、会社役員など）　64
3 事務的職業（民間企業、公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）　～
4 販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）　66
5 保安・サービス的職業（警察官、自衛官、美容師、ﾌﾗｲﾄｱﾃﾝﾀﾞﾝﾄなど）
6 運輸・通信的職業（鉄道・自動車・航空機運転手、電話交換手など）
7 農林漁業
8 技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）
9 その他（具体的に：　　）

Q10-1(3). そこではどのような事業を営んでいましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1 農林漁業
2 鉱業
3 建設業
4 製造業
5 電気・ガス・熱供給・水道業
6 運輸・通信業
7 卸売・小売業、飲食店
8 金融・保険業、不動産業
9 新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業
10 情報・通信
11 医療・福祉　67
12 教育・研究　68
13 法律・会計
14 公務
15 その他（具体的に：　　）

Q10-1(4). そこで雇われている人は勤務先全体で何人くらいでしたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。（事業所単位ではなく、会社全体あるいはそれに相当する組織全体でお答えください。）

1 1～29人　**2** 30～99人　**3** 100～299人　**4** 300～499人　**5** 500～999人　**6** 1000人以上　**7** 国家公務員　**8** 地方公務員　⑥⑨

Q10-1(5). お茶の水女子大学を卒業したということは、その勤務先でどのような評価を受けた（受けている）と思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 かなり肯定的だった（である）
2 どちらかといえば肯定的だった（である）　⑦⓪
3 どちらかといえば否定的だった（である）
4 かなり否定的だった（である）
5 よくわからない

Q10-1(6). **引き続き、卒業直後に「1　正規社員・正規職員として働いた」「2　派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた」「3　パート・アルバイトで働いた」と答えた方にうかがいます。**あなたはその仕事を現在も同じ勤務先で続けていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 やめた（転職や中断再就職を含む）　⑦①
2 現在まで同じ仕事を続けているが、勤務先は変わった
3 現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている
→ Q10-4(1)へお進みください

Q10-2(1). **「やめた」と答えた方にうかがいます。**あなたはその仕事を何年間続けましたか。

□□ 年　⑦②⑦③

Q10-2(2). その仕事をやめた理由は何ですか。**2つまで**選んで番号に○をつけてください。

1 転職のため
2 結婚のため
3 出産、育児のため
4 配偶者の転勤のため
5 家族の介護のため
6 自分自身の健康問題
7 家族の反対
8 労働条件が過酷だから
9 収入が少ないから
10 人員整理・倒産　⑦④
11 キャリアを積む限界がみえたから　⑦⑤
12 職場の人間関係のため
13 その他
（具体的に：　　）

Q10-2(3). あなたはその仕事をやめた後、何か収入をともなう仕事をしましたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 再就職してフルタイムで働いた
2 再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた　⑦⑥
3 自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした
4 家業の手伝いをした
5 収入をともなう仕事はしなかった → Q11へお進みください

Q10-3(1). あなたは、その仕事をどんな経緯で見つけましたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 新聞などの求人欄をみて応募
2 Web上の求人欄を見て応募
3 職業紹介所の紹介
4 友人の紹介
5 親類の紹介
6 前の職場の人の紹介
7 お茶の水女子大学大学院の同窓会関係者の紹介
8 その他　⑦⑦
（具体的に：　　）

→ Q11へお進みください

Q10-4(1). **現在まで同じ仕事を続けている方におうかがいします。**これまでに、仕事をやめようと思ったことがありますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	2	3	
ある	ない	覚えていない	⑦⑧

→ 16ページQ12へお進みください

Q10-4(2). 仕事をやめようと思った理由は何ですか。あてはまる番号**全て**に○をつけてください。

1	転職のため	8	労働条件が過酷だから	
2	結婚のため	9	収入が少ないから	⑦⑨
3	出産、育児のため	10	人員整理・倒産	⑧⓪
4	配偶者の転勤のため	11	キャリアを積む限界がみえたから	
5	家族の介護のため	12	職場の人間関係のため	
6	自分自身の健康問題	13	その他	
7	家族の反対		（具体的に：　　）	

Q10-4(3). 仕事を続けられた、あるいはやめるに至らなかった理由を簡単にお書きください。

⑧①

→ 16ページQ12へお進みください

Q10-5. **Q10で卒業直後に「7　収入をともなう仕事にはつかなかった」と答えた方にうかがいます。**あなたが大学卒業直後に収入をともなう仕事につかなかった理由は何ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	結婚したから（婚約中も含む）	
2	家事手伝いや稽古事をしたから	⑧②
3	ボランティア、NPO・NGOなどの社会活動をしたから	
4	進学・就職の準備期間としたかったから	
5	希望の仕事につけなかったから	
6	就職する意志がなかったから	
7	自分の時間を持ちたかったから	
8	その他（具体的に：　　）	

→ Q11へお進みください

大学院修了後のことについてうかがいます。あてはまらない方は16ページQ12にお進みください。

Q11. 大学院を修了した直後、あなたは収入をともなう仕事をしましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。　⑥＝3

1 フルタイムで働いた
2 主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた
3 自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした
4 家業の手伝いをした
5 収入をともなう仕事にはつかなかった

→ 16ページQ12へお進みください

→ 15ページQ11-5へお進みください　⑦

Q11-1(1). **修了直後に「1　フルタイムで働いた」「2　主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」と答えた方にうかがいます。**あなたがその仕事に就いたのは何歳の時でしたか。

□□ 歳　⑧⑨

Q11-1(2). その仕事は何でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
「1　教育・研究職」に○をつけた方はQ11-1(2)Aにお進みください。それ以外に○をつけた方はQ11-1(3)にお進みください。
また、専門職についてはいくつかの職業名を挙げますが、該当するものがある場合は、「2　専門・技術的職業」に○をつけた上で、該当する職業の番号に○をつけてください。（パートやアルバイトで複数仕事を持っている場合はその中で最も収入の多かった仕事に○をつけてください。）

1 教育・研究職
2 専門・技術的職業

(1)	技術者	(4)	栄養士	(7)	社会調査士
(2)	SE	(5)	保育士	(8)	その他（　　）
(3)	カウンセラー	(6)	学芸員		

⑩

3 管理的職業（民間企業、公務員の課長職以上、会社役員など）　⑪
4 事務的職業（民間企業、公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）
5 販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）
6 保安・サービス的職業（警察官、自衛官、美容師、ﾌﾗｲﾄｱﾃﾝﾀﾞﾝﾄなど）
7 運輸・通信的職業（鉄道・自動車・航空機運転手、電話交換手など）
8 農林漁業
9 技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）
10 その他（具体的に：　　）

→ Q11-1(3)へお進みください

Q11-1(2)A. **「1　教育・研究職」と答えた方にうかがいます。**職場はどのようなところでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 国公立大学・大学院（共学）
2 国公立大学・大学院（別学）
3 私立大学（共学）
4 私立大学（別学）
5 短期大学（共学）
6 短期大学（別学）
7 専門学校・各種学校
8 高校
9 中学校
10 小学校
11 幼稚園　⑫
12 国公立研究所　⑬
13 民間・財団法人研究所
14 民間企業の研究所
15 その他
（具体的に：　　）

Q11-1(3). **修了直後に「1　フルタイムで働いた」「2　主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」と答えた方にうかがいます。**あなたが最初に働いた職場ではどのような事業を営んでいましたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	農林漁業	9	新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	
2	鉱業	10	情報・通信	
3	建設業	11	医療・福祉	
4	製造業	12	教育・研究	⑭
5	電気・ガス・熱供給・水道業	13	法律・会計	⑮
6	運輸・通信業	14	公務	
7	卸売・小売業、飲食店	15	その他	
8	金融・保険業、不動産業		（具体的に：　　）	

Q11-1(4). そこで雇われている人は勤務先全体で何人くらいでしたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。（事業所単位ではなく、会社全体あるいはそれに相当する組織全体でお答えください。）

1	1～29人	3	100～299人	5	500～999人	7	国家公務員	⑯
2	30～99人	4	300～499人	6	1000人以上	8	地方公務員	

Q11-1(5). あなたはその仕事をどのような経緯で見つけましたか。あてはまる番号**2つまで**に○をつけてください。

1	公募書類を見て応募	
2	Ｗｅｂ上の公募情報を見て応募	
3	お茶の水女子大学の教師の紹介	
4	お茶の水女子大学以外の教師の紹介	
5	新聞などの求人欄を見て応募	⑰
6	職業紹介所の紹介	⑱
7	友人の紹介	
8	親類の紹介	
9	以前の職場の人の紹介	
10	お茶の水女子大学の同窓会関係者の紹介	
11	その他（具体的に：　　）	

Q11-1(6). お茶の水女子大学大学院を修了したということは、その勤務先でどのような評価を受けた（受けている）と思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	かなり肯定的だった（である）	
2	どちらかといえば肯定的だった（である）	⑲
3	どちらかといえば否定的だった（である）	
4	かなり否定的だった（である）	
5	よくわからない	

Q11-1(7). **引き続き、修了直後に「1　フルタイムで働いた」「2　主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」と答えた方にうかがいます。**あなたはその仕事を現在も同じ勤務先で続けていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 やめた（転職や中断再就職を含む）　⑳
2 現在まで同じ仕事を続けているが、勤務先は変わった
3 現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている

→ Q11-4(1)へお進みください

Q11-2(1). その仕事をやめた理由は何ですか。**2つまで**選んで番号に○をつけてください。

1	転職のため	8	労働条件が過酷だから
2	結婚のため	9	収入が少ないから　㉑
3	出産、育児のため	10	人員整理・倒産　㉒
4	配偶者の転勤のため	11	キャリアを積む限界がみえたから
5	家族の介護のため	12	職場の人間関係のため
6	自分自身の健康問題	13	その他
7	家族の反対		（具体的に：　　）

Q11-2(2). あなたはその仕事をやめた後、何か収入をともなう仕事をしましたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 再就職してフルタイムで働いた
2 再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた　㉓
3 自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした
4 家業の手伝いをした
5 収入をともなう仕事はしなかった

→ 16ページQ12へお進みください

Q11-3(1). あなたは、その仕事をどんな経緯で見つけましたか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 新聞などの求人欄をみて応募
2 Web上の求人欄を見て応募
3 職業紹介所の紹介
4 友人の紹介　㉔
5 親類の紹介
6 前の職場の人の紹介
7 お茶の水女子大学大学院の同窓会関係者の紹介
8 その他（具体的に：　　）

→ 16ページQ12へお進みください

Q11-4(1). **現在まで同じ仕事を続けている方におうかがいします。**これまでに、仕事をやめようと思ったことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3
ある	ない	覚えていない

㉕

ない／覚えていない → 16ページQ12へお進みください

ある → Q11-4(2)へお進みください

Q11-4(2). 仕事をやめようと思った理由は何ですか。あてはまる番号**全て**に○をつけてください。

1	転職のため	**8**	労働条件が過酷だから	
2	結婚のため	**9**	収入が少ないから	㉖
3	出産、育児のため	**10**	人員整理・倒産	㉗
4	配偶者の転勤のため	**11**	キャリアを積む限界がみえたから	
5	家族の介護のため	**12**	職場の人間関係のため	
6	自分自身の健康問題	**13**	その他	
7	家族の反対		（具体的に：　　）	

Q11-4(3). 仕事を続けられた、あるいはやめるに至らなかった理由を簡単にお書きください。

㉘

→ 次ページQ12へお進みください

Q11-5. **Q11で修了直後に「5　収入をともなう仕事にはつかなかった」と答えた方にうかがいます。**あなたが大学院修了直後に収入をともなう仕事につかなかった理由は何ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	結婚したから（婚約中も含む）	
2	家事手伝いや稽古事をしたから	
3	ボランティア、NGOなどの社会活動をしたから	
4	進学・就職の準備期間としたかったから	㉙
5	希望の仕事につけなかったから	
6	就職する意志がなかったから	
7	自分の時間を持ちたかったから	
8	その他（具体的に：　　）	

→ 次ページQ12へお進みください

＊全員の方にうかがいます。現在までの職業、家事などの履歴について教えてください。

Q12. 次ページの記入例を参考に、あなたが21歳の頃から現在までの間について、該当する欄に矢印を記入してください。また、転職・転籍があった場合はその年の「転職・転籍」の欄に○を付けてください。なお、「学習活動」欄には、「大学・大学院在学」以外の学習活動について記入してください。

主な生活項目 満年齢	大学・大学院在学	求職活動	臨時雇用	正規雇用	自営業自由業	内職	家庭従業者	転職転籍	子(孫)育て	看護介護	学習活動*	社会的活動	満年齢
21													21
22													22
23													23
24													24
25													25
26													26
27													27
28													28
29													29
30													30
31													31
32													32
33													33
34													34
35													35
36													36
37													37
38													38
39													39
40													40
41													41
42													42
43													43
44													44
45													45
46													46
47													47
48													48
49													49
50													50
51													51
52													52
53													53
54													54
55													55
56													56
57													57
58													58
59													59
60													60
61													61
62													62
63													63
64													64
65													65
66													66
67													67
68													68
69													69
70													70
	㉚〜㉞	㉟〜㊴	㊵〜㊹	㊺〜㊾	㊿〜54	55〜59	60〜64	65〜69	70〜74	75〜79	80〜84	85〜89	

記入例　18－22歳　大学就学　　22－26歳　正規社員として就業　　26歳　転職　　26－30歳　正規社員として就業
　　28－35歳　子育て　　34－35歳　求職活動　　35－45歳　パートで就業
　　44－50歳　介護　　52－53歳　パソコン教室受講

主な生活項目	大学・大学院在学	求職活動	臨時雇用	正規雇用	自営業自由業	内職	家庭従業者	転職転籍	子(孫)育て	看護介護	学習活動*	社会的活動	
満年齢													満年齢
21	↓												21
22				↓									22
23													23
24													24
25													25
26								○					26
27													27
28									↓				28
29													29
30				↓									30
31													31
32													32
33													33
34		↓											34
35			↓						↓				35
36													36
37													37
38													38
39													39
40													40
41													41
42													42
43													43
44										↓			44
45			↓										45
46													46
47													47
48													48
49													49
50										↓			50
51													51
52											↓		52
53													53
54													54
55													55
56													56
57													57
58													58
59													59
60													60
61													61
62													62
63													63
64													64
65													65
66													66
67													67
68													68
69													69
70													70

＊全員の方にうかがいます

Q13. あなたは現在、収入をともなう仕事をしていますか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。 ⑥＝4

1 正規社員・正規職員として働いている
2 派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いている ⑦
3 パート・アルバイトで働いている
4 自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をしている → 20ページQ14へお進みください
5 家業の手伝いをしている
6 収入をともなう仕事にはついていない → 20ページQ13-2(1)へお進みください

Q13-1(1). **現在「１　正規社員・正規職員として働いている」「２　派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いている」「３　パート・アルバイトで働いている」と答えた方にうかがいます。**その仕事は何ですか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。また、専門職についてはいくつかの職業名を挙げますが、該当するものがある場合は、「**1** 専門・技術的職業」に○をつけた上で、該当する職業の番号に○をつけてください。（パートやアルバイトで複数仕事を持っている場合はその中で最も収入の多い仕事に○をつけてください）。

1 専門・技術的職業

(1)	研究者	(5)	栄養士	(9)	小学校教師	(13)	社会調査士
(2)	技術者	(6)	大学講師	(10)	幼稚園教師	(14)	その他
(3)	SE	(7)	高校教師	(11)	保育士		（　　）
(4)	カウンセラー	(8)	中学教師	(12)	学芸員		

2 管理的職業（民間企業、公務員の課長職以上、会社役員など）
3 事務的職業（民間企業、公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）
4 販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）
5 保安・サービス的職業（警察官、自衛官、美容師、ﾌﾗｲﾄｱﾃﾝﾀﾞﾝﾄなど） ⑧
6 運輸・通信的職業（鉄道・自動車・航空機運転手、電話交換手など） ～
7 農林漁業 ⑩
8 技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）
9 その他（具体的に：　　）

Q13-1(2). そこではどのような事業を営んでいますか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。

1 農林漁業
2 鉱業
3 建設業
4 製造業
5 電気・ガス・熱供給・水道業
6 運輸・通信業
7 卸売・小売業、飲食店
8 金融・保険業、不動産業
9 新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業
10 情報・通信
11 医療・福祉
12 教育・研究 ⑪
13 法律・会計 ⑫
14 公務
15 その他（具体的に：　　）

Q13-1(3). そこで雇われている人は勤務先全体で何人くらいですか。あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。（事業所単位ではなく、会社あるいはそれに相当する組織全体でお答えください。）

1 1～29人　**2** 30～99人　**3** 100～299人　**4** 300～499人　**5** 500～999人　**6** 1000人以上　**7** 国家公務員　**8** 地方公務員 ⑬

Q13-1(4). あなたの職位は次のどれにあてはまりますか。もっとも近いものの番号**1つ**に○をつけてください。

〔企業・役所関係〕
1 役職なし　**3** 課長・課長相当職　**5** 社長・重役・役員・理事
2 係長・係長相当職　**4** 部長・部長相当職　**6** その他（　　）
〔大学・短期大学関係〕
7 技官など　**10** 専任講師　**13** 教務・事務補佐・副手
8 助手・助教　**11** 准教授・助教授　**14** その他　⑭
9 非常勤講師　**12** 教授　（　　）　⑮
〔小学校・中学校・高等学校関係〕
15 教諭　**17** 校長
16 教頭・副校長　**18** その他（　　）
〔その他〕
19 その他（具体的に：　　）

Q13-1(5). **引き続き、現在「1　正規社員・正規職員として働いている」「2　派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いている」「3　パート・アルバイトで働いている」と答えた方にうかがいます。**現在のあなた個人の年収（税込み）はどのくらいですか。

およそ［　　］［　　］［　　］［　　］［　　］万円　⑯～⑳

Q13-1(6). あなたが現在働いている理由は何ですか。**2つまで**選んで番号に○をつけてください。

1 自分自身の収入が欲しいから
2 家計の維持や補助に必要だから
3 社会とのつながりを持ちたいから
4 仕事につくことは当然だと思うから
5 仕事をすることが好きだから
6 知識、技術、趣味を生かしたいから
7 経済的に自立したいから
8 家業だから
9 仕事を通じて友人を得たいから
10 育児が一段落したから
11 家族の介護や看病の必要がなくなったから
12 他にすることがないから　㉑
13 その他　㉒
（具体的に：　　）

Q13-1(7). あなたの帰宅時間（仕事を終えて自宅に到着したときの時間）は平均して何時ごろですか。(1)現在、(2)結婚する1年前、(3)結婚して1年後、(4)第1子1歳時における平均帰宅時間を数字（**24時間表示**）で記入してください。なお、結婚・出産により無業となった場合、もしくは結婚・出産の経験がない人は、(2)、(3)、(4)の時刻記入欄に「99」と記入してください。

(1)現在　およそ［　　］時　(3)結婚して1年後　およそ［　　］時　㉓～
(2)結婚する1年前　およそ［　　］時　(4)第1子1歳時　およそ［　　］時　㉚

Q13-1(8). あなたは終業時刻に業務を終了し、退社することができていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 毎回、終業時刻に退社できる
2 週に数回、終業時刻に退社できる
3 月に数回、終業時刻に退社できる
4 年に数回、終業時刻に退社できる
5 終業時刻には退社できない　㉛

→ Q14へお進みください

Q13-2(1). **Q13 で、現在「6　収入をともなう仕事にはついていない」と答えた方にうかがいます。**あなたが現在、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	経済的必要性がない	**6**	適職がない
2	配偶者の仕事の都合上	**7**	自分自身の健康状態
3	家事や育児に専念している	**8**	配偶者や家族の反対
4	家族の介護に専念している	**9**	その他
5	自分の時間を持ちたい		（具体的に：　　）

㉜

Q13-2(2). あなたは、今後収入をともなう仕事をしたいと考えていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

そう思う　　どちらかといえばそう思う　あまりそう思わない　　そう思わない　㉝

1----------**2**----------**3**----------**4**

Q14. 結婚経験のある方にうかがいます。その他の方はQ15にお進みください。

Q14-1. 結婚されたとき、あなたとあなたの配偶者は何歳でしたか（再婚の方は初婚の時をこたえてください）。

あなた　満 □□ 歳　　配偶者　満 □□ 歳　㉞～㊲

Q14-2. 配偶者の最終学歴は次のどれにあてはまりますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1	義務教育修了	**5**	大学
2	高校	**6**	大学院
3	専門学校	**7**	その他
4	短期大学・高等専門学校		（具体的に：　　）

㊳

Q14-3. 配偶者の職業についてうかがいます。

(a) 配偶者が一番長く働いた（働いている）企業の規模について教えてください（事業所単位ではなく、会社あるいはそれに相当する組織全体でお答えください）。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。なお、公務員の方は**7**か**8**に、自営業の方は**9**か**10**に○をつけてください。（複数仕事を持っている場合はその中で最も収入の多い仕事に○をつけてください）。

1	1～29人	**7**	国家公務員
2	30～99人	**8**	地方公務員
3	100～299人	**9**	自営業（家族以外の雇用あり）
4	300～499人	**10**	自営業（家族以外の雇用なし）
5	500～999人	**11**	その他（　　）
6	1000人以上		

㊴

(b) 配偶者の現在の年収（税込み）はどのくらいですか。（離死別の方は、離死別の意味で99999を入れてください）。

およそ □□□□□ 万円　㊵～㊹

Q14-4. あなたの配偶者の帰宅時間（仕事を終えて自宅に到着したときの時間）は平均して何時ごろですか（でしたか）。(1)現在、(2)あなたと結婚する１年前、(3)あなたと結婚して１年後、(4)あなたの第１子１歳時における平均帰宅時間を数字(**24 時間表示**)で記入してください。なお、あなたに出産の経験がない場合、(4)には「99」時と記入してください。

(1)現在　およそ［　　］時　㊺㊻

(2)あなたと結婚する１年前　およそ［　　］時　㊼㊽

(3)あなたと結婚して１年後　およそ［　　］時　㊾㊿

(4)第１子１歳時　およそ［　　］時　(51)(52)

Q15. **お子さまがいらっしゃる方にうかがいます。その他の方はQ17にお進みください。**

お子さまの人数と現在の学校や仕事の状況を教えてください。年齢は、2008年４月２日現在の年齢を記入してください。性別については、あてはまる方の番号に○をつけてください。学校や仕事の状況等については、下のリストから、あてはまる数字を選んで記入してください。同別居については、2008年４月２日現在で、あてはまる方の番号に○をつけてください。なお、同居には敷地内別居も含みます。

	年　齢			性別		学校・仕事	同別居		
第１子			歳	1　男	2　女		1　同居	2　別居	(53)～(58)
第２子			歳	1　男	2　女		1　同居	2　別居	(59)～(64)
第３子			歳	1　男	2　女		1　同居	2　別居	(65)～(70)
第４子			歳	1　男	2　女		1　同居	2　別居	(71)～(76)

〔学校〕
1　在宅
2　保育園
3　幼稚園
4　小学校
5　中学校
6　高校
7　大学
8　専門学校
9　大学院
10　その他の学校（　　）

〔仕事〕
11　専門・技術的職業（研究者、技術者、カウンセラー、栄養士、教師、保育士など）
12　管理的職業（民間企業、公務員の課長職以上、会社役員など）
13　事務的職業（民間企業、公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）
14　販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）
15　保安・サービス的職業（警察官、自衛官、美容師、ﾌﾗｲﾄｱﾃﾝﾀﾞﾝﾄなど）
16　運輸・通信的職業（鉄道・自動車・航空機運転手、電話交換手など）
17　農林漁業
18　技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）
19　その他

⑥＝5

Q16. あなたの第1子が7歳になるまでの間､配偶者及びご両親から子育ての手助けはありましたか。また、子育てのために利用した制度や施設はありましたか。第1子の0歳、3歳、7歳時における(1)あなたの配偶者とご両親による手助け、(2)利用した制度や施設について、それぞれあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。なお、第1子の年齢が3歳、もしくは7歳に満たない場合は、回答可能な年齢についてのみお答えください。 ⑦～㉑

あなたの第1子の年齢	(1) あなたの配偶者とご両親による手助け												(2)利用した制度や施設												
	配偶者				あなたのご両親				配偶者のご両親																
	1 ほとんどなかった	2 時々あった	3 ひんぱんにあった	4 日常的にあった	1 ほとんどなかった	2 時々あった	3 ひんぱんにあった	4 日常的にあった	1 ほとんどなかった	2 時々あった	3 ひんぱんにあった	4 日常的にあった	1 産前・産後休業制度	2 育児休業制度	3 育児時間制度・短時間勤務制度	4 公立・私立の認可保育園	5 認可外保育施設(保育室・ベビーホテルなど)・認証保育所	6 企業内・病院内保育所	7 保育ママ・ベビーシッターなど	8 地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	9 保育所・幼稚園等の一時預かり	10 幼稚園	11 学童保育(学童クラブ、児童クラブなど)	12 塾・習い事	13 その他（　　）	14 どれも利用しなかった
(a)第1子0歳	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
(b)第1子3歳	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
(c)第1子7歳	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

Q17. **全員の方にうかがいます。**

あなたが現在一緒にお住まいの方はどなたですか。あてはまる番号**全て**に○をつけてください。なお、同居には敷地内別居を含みます。

1 あなたのみ
2 配偶者
3 母・義母
4 父・義父
5 未婚の子ども（　　人）
6 既婚の子ども（　　人）
7 孫（　　人）
8 その他（具体的に：　　）

㉒～㉕

Q18. 下に女性の生き方をめぐる、いくつかのタイプがあります。(a)大学卒業時に理想としていた生き方のタイプ、(b)現在までにあなたがたどってきた生き方のタイプ、(c)現在あなたが予想する、自分がたどりそうな行き方のタイプ、のそれぞれについて、もっとも近いと思われるタイプを**1つずつ**選んで、番号に○をつけてください。

(a) 大学卒業時に理想としていた生き方のタイプ

1 結婚せず、仕事を一生続ける
2 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
3 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける ㉖
4 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
5 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
6 その他（具体的に：　　）

(b) 現在までにあなたがたどってきた生き方のタイプ

1 結婚せず、仕事を一生続ける
2 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
3 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける ㉗
4 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
5 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
6 その他（具体的に：　　）

(c) 現在あなたが予想する、自分がたどりそうな生き方のタイプ

1 結婚せず、仕事を一生続ける
2 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
3 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける ㉘
4 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
5 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
6 その他（具体的に：　　）

Q19. 世間では男性と女性の違いについて、さまざまなことが言われています。以下の記述について、あなたはどう思われますか。それぞれについて、あてはまる番号に**1つずつ**○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
(1) 家庭のこまごまとした管理は女性でなくてはと思う	1	2	3	4	㉙
(2) 男性も女性と同等に家事・育児にかかわるべきだ	1	2	3	4	㉚
(3) 人前では妻は夫を立てた方がよい	1	2	3	4	㉛
(4) 妻も収入を得て家計を支えるべきだ	1	2	3	4	㉜
(5) 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4	㉝
(6) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	1	2	3	4	㉞
(7) 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきだ	1	2	3	4	㉟
(8) 女性は出産する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である	1	2	3	4	㊱
(9) 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4	㊲

Q20. 仕事と家庭についてご自身を振り返られて、これからのお茶大生にアドバイスすることがありましたら、どうぞご記入ください。一般的な所感でもけっこうです。

㊳

●最後にお茶の水女子大学に望むことについてうかがいます。

Q21. あなたは、お茶の水女子大学が卒業生に対して行うサービスとして、どのようなものがあればよいと思いますか。次のうち、あてはまる番号に**いくつでも**○をつけてください

1 余暇を楽しく有意義に過ごすための場や機会の提供
2 知識・技能を高め、資格を取得したり転職・昇進（キャリアアップ）につながる学びの場や機会の提供
3 他の人の手助けをしたり、ボランティア活動に役立つ事柄を学ぶ機会の提供
4 実技をともなった、健康維持・体力増進のための学びの場や機会の提供
5 自分がこれまで得た知識・経験を伝える場や機会の提供 ㊴
6 お茶の水女子大学の卒業生同士が交流できる場や機会の提供 ㊵
7 地域社会をよりよいものにするための学びの場や機会の提供
8 お茶の水女子大学で開講されている授業（学部・大学院）に参加できる場や機会の提供
9 お茶の水女子大学の研究成果を聞くことができる場や機会の提供
10 仕事上の相談に訪れることができる場や機会の提供
11 子育てや子どもの教育の相談に訪れることができる場や機会の提供
12 卒業生の人材登録サービスや就職支援
13 その他（ ）

Q22. お茶の水女子大学の今後の方向についてうかがいます。

(a) 将来、お茶の水女子大学（学部・大学院）を、共学化していく方向と別学を維持していく方向が考えられます。あなたはどう思われますか。(1)学部、(2)大学院のそれぞれについて、あてはまる番号を**1つずつ**選んで○をつけてください。

(1)〔学　部〕
1 将来にわたって、別学（女子大学）を維持したほうがよい
2 当分の間は、別学（女子大学）を維持したほうがよい ㊶
3 できるだけ早期に、共学化をすすめたほうがよい

(2)〔大学院〕
1 将来にわたって、別学（女子大学）を維持したほうがよい
2 当分の間は、別学（女子大学）を維持したほうがよい ㊷
3 できるだけ早期に、共学化をすすめたほうがよい

(b) あなたが、上記のように思われるのは、なぜですか。下の□の中に、自由に書いてください。

㊸

Q23. お茶の水女子大学の将来像についてうかがいます。
(a) お茶の水の将来像について、あなたは次のことがらをどの程度重視されますか。
それぞれについて、あてはまる番号に**1つずつ**○をつけてください。

	かなり重視する	重視する	あまり重視しない	まったく重視しない	
(1) 女性の多様なライフコースに柔軟に対応する大学	1	2	3	4	㊹
(2) これまで女子高等教育で不十分であった領域（社会科学や自然科学）を重視した大学	1	2	3	4	㊺
(3) これまで女子高等教育で重視してきた領域（人文科学や生活科学）に重点化した大学	1	2	3	4	㊻
(4) 女性学・ジェンダー研究などの領域を重点化した大学	1	2	3	4	㊼
(5) 学部と大学院の教育・研究の交流を積極的に図る大学	1	2	3	4	㊽
(6) 他の大学との単位互換を含め、大学間の交流を図る大学	1	2	3	4	㊾
(7) 教育のねらいを高度な専門職業人の養成にしぼった大学	1	2	3	4	㊿
(8) 通信教育・遠隔地教育など、時間や場所に制約されずに学習可能な大学	1	2	3	4	(51)
(9) 卒業生を学生や研究生、院生として積極的に受け入れる大学	1	2	3	4	(52)
(10) 男女共同参画社会をリードする人材を養成する大学	1	2	3	4	(53)

Q24. おさしつかえなければ、あなたのご両親についてお聞きします。
あなたの**お父様**の最終学歴、これまでの主な仕事、事業内容について、当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。（複数仕事を持っている場合は、その中で最も長く就いていた仕事に○をつけてください。）

【最終学歴】
1 新制中学校・尋常小学校・高等小学校
2 新制高校・旧制中学校・旧制実業学校・旧制師範学校
3 新制高等専門学校・新制短期大学・旧制高校・旧制高等専門学校 (54)
4 新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校
5 その他（具体的に： ）
6 わからない

【これまでの主な仕事】
1 専門・技術的職業（研究者、技術者、医師、弁護士、会計士、教師、栄養士、カウンセラーなど）
2 管理的職業（民間企業、公務員の課長職以上、会社役員など）
3 事務的職業（民間企業、公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）
4 販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）
5 保安・サービス的職業（警察官、自衛官、美容師、フライトアテンダントなど）
6 運輸・通信的職業（鉄道・自動車・航空機運転手、電話交換手など）
7 農林漁業 (55)
8 技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など） (56)
9 その他（具体的に： ）
10 家族従業者
11 収入を伴う仕事はしていない（専業主夫、家事手伝いなど）
12 わからない

【事業内容】

1	農林漁業	10	情報・通信
2	鉱業	11	医療・福祉
3	建設業	12	教育・研究 ㊼
4	製造業	13	法律・会計 ㊽
5	電気・ガス・熱供給・水道業	14	公務
6	運輸・通信業	15	その他（　　）
7	卸売・小売業、飲食店	16	家事労働
8	金融・保険業、不動産業	17	無職
9	新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	18	わからない

あなたの**お母様**の最終学歴、及び結婚や出産・子育てと職業生活の関係について、以下の中から最も近い番号を**１つ**選んで○をつけてください。

【最終学歴】

1　新制中学校・尋常小学校・高等小学校
2　新制高校・旧制中学校・旧制高等女学校・旧制実業学校・旧制師範学校・旧制女学校 ㊾
3　新制高等専門学校・新制短期大学・旧制高校・旧制高等専門学校・旧制女子専門学校
4　新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校
5　その他（具体的に：　　）
6　わからない

【出産・子育てと就業生活】

1　一度も仕事に就いたことがない
2　結婚・出産後に初めて仕事に就いた
3　結婚・出産後も仕事を続けた ㊿
4　結婚・出産を機に退職し、その後フルタイムで再就職した
5　結婚・出産を機に退職し、その後パートタイムで再就職した
6　結婚・出産を機に退職し、その後仕事はしていない
7　わからない

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は同封の封筒に入れ、1月20日までに投函して下さい。

付 2-1　クロス集計表（学部卒業生）

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q1. 生年（西暦）											
1919年以前	0.8	10.6	—	—	—	—	0.1	—	0.2	—	—
1920～1929年	6.2	83.5	4.4	—	—	—	—	—	3.3	0.4	0.3
1930～1939年	15.9	5.9	94.6	19.1	0.1	0.1	—	0.1	18.2	15.9	12.1
1940～1949年	15.9	—	0.9	80.6	19.0	0.2	0.1	0.1	18.2	18.1	13.9
1950～1959年	16.2	—	—	0.3	80.5	17.9	0.2	0.3	15.4	17.7	19.9
1960～1969年	17.4	—	—	—	0.3	81.5	19.4	0.9	17.8	16.7	20.9
1970～1979年	17.8	—	—	—	—	0.3	79.7	25.0	17.4	19.4	21.5
1980年以降	9.7	—	—	—	—	—	0.6	73.5	9.4	11.6	11.3
無回答	0.2	—	0.1	—	0.1	—	—	0.1	0.1	0.1	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q1. 年　齢											
24歳以下	4.3	—	—	—	—	—	—	33.2	4.3	5.2	5.1
25～29歳	8.2	—	—	—	—	—	0.7	61.2	7.8	9.0	10.2
30～34歳	9.1	—	—	—	—	0.1	47.4	3.7	9.1	10.4	10.2
35～39歳	8.9	—	—	—	—	0.7	48.1	0.5	8.7	9.5	11.0
40～44歳	8.4	—	—	—	0.1	45.9	3.4	0.3	8.5	8.1	10.1
45～49歳	8.6	—	—	—	0.7	50.2	0.2	0.7	8.7	8.5	10.6
50～54歳	8.3	—	—	0.1	48.1	2.8	0.1	0.1	8.1	8.8	10.2
55～59歳	8.3	—	—	1.5	49.4	0.1	0.1	—	8.0	9.4	9.5
60～64歳	7.6	—	—	46.7	1.4	0.1	—	0.1	9.1	8.6	6.3
65～69歳	8.1	—	3.0	48.7	0.1	—	—	0.1	9.3	9.0	6.7
70～74歳	7.8	0.7	55.9	3.0	—	0.1	—	—	9.4	8.4	6.4
75～79歳	7.2	25.7	40.3	—	0.1	—	—	—	6.6	4.8	3.4
80歳以上	5.1	73.6	0.7	—	—	—	0.1	—	2.3	0.3	0.2
無回答	0.2	—	0.1	—	0.1	—	—	0.1	0.1	0.1	—
平均年齢	51.6	82.5	73.7	64.6	54.6	44.8	34.8	26.1	51.3	49.1	47.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q2. 卒業年											
1950年以前	5.9	100.0	—	—	—	—	—	—	3.1	0.5	0.3
1951～1960年	12.9	—	100.0	—	—	—	—	—	14.7	12.6	9.4
1961～1970年	15.6	—	—	100.0	—	—	—	—	18.4	17.8	13.0
1971～1980年	16.0	—	—	—	100.0	—	—	—	15.6	18.0	19.3
1981～1990年	16.5	—	—	—	—	100.0	—	—	17.0	16.4	20.5
1991～2000年	17.9	—	—	—	—	—	100.0	—	17.9	19.4	21.4
2001年以降	13.1	—	—	—	—	—	—	100.0	12.4	15.1	15.7
無回答	2.1	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.3	0.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q3. 後期中等教育の新制、旧制別											
新制高校	90.9	4.3	84.5	99.9	99.9	99.7	99.3	99.1	95.1	98.3	98.7
旧制高等女学校、旧制師範学校等	7.4	80.3	13.2	—	0.1	0.1	0.2	0.3	4.0	1.1	0.7
無回答	1.8	15.4	2.3	0.1	—	0.2	0.5	0.6	0.9	0.5	0.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q3-1. （a）出身高校の設置主体											
国立	7.8	8.7	8.8	11.9	10.2	7.6	4.3	4.6	8.7	8.4	6.3
都道府県市立	78.6	60.9	81.7	80.7	82.0	81.2	78.9	66.7	79.1	73.4	82.6
私立	12.9	4.3	8.9	7.0	7.4	10.8	16.3	27.6	11.8	17.6	10.5
その他	0.1	—	0.1	—	0.1	—	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1
無回答	0.6	26.1	0.5	0.4	0.2	0.4	0.3	0.8	0.4	0.4	0.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8308	23	1000	1425	1465	1503	1622	1183	3724	1888	2436

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q3-1.（b）出身高校の所在地											
北海道	0.8	—	0.8	0.8	0.5	0.4	0.8	1.6	0.9	0.6	0.8
東北	3.9	13.0	5.3	4.9	3.3	2.5	3.0	5.1	3.9	3.3	4.1
信越	3.7	4.3	4.5	5.5	3.5	2.8	3.4	2.8	4.1	3.6	3.3
東京	29.1	30.4	44.4	38.4	35.4	26.3	14.9	19.7	29.2	34.6	24.0
東京以外の関東	25.1	34.8	20.0	18.7	21.6	24.4	30.6	34.2	22.3	30.6	25.1
中部	11.2	—	7.0	9.5	11.9	12.6	13.4	11.7	11.8	8.5	12.7
北陸	4.7	4.3	2.7	3.5	4.1	4.9	7.1	5.3	5.3	3.4	4.9
近畿	3.5	4.3	2.3	2.5	3.3	4.2	5.5	2.6	3.5	2.9	3.9
中国	5.6	4.3	5.2	6.2	4.8	6.6	5.9	4.4	6.7	3.5	5.7
四国	4.6	—	2.7	4.6	4.2	5.5	5.5	4.4	5.0	4.5	4.3
九州	7.0	—	4.3	4.6	6.8	9.3	9.2	6.8	6.8	3.9	9.9
沖縄	0.3	—	0.4	0.5	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.1	0.5
海外	0.2	4.3	—	—	0.2	—	0.2	0.6	0.1	0.2	0.2
無回答	0.4	—	0.4	0.4	0.2	0.5	0.1	0.6	0.2	0.3	0.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8308	23	1000	1425	1465	1503	1622	1183	3724	1888	2436
Q3-1.（c）出身高校の共学校、女子校別											
共学校	73.5	21.7	59.8	73.7	76.8	78.6	79.0	69.2	74.9	66.7	77.5
女子校	26.0	69.6	39.6	25.9	22.9	21.0	20.8	30.1	24.8	32.9	21.9
無回答	0.4	8.7	0.6	0.4	0.3	0.5	0.2	0.7	0.3	0.4	0.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8308	23	1000	1425	1465	1503	1622	1183	3724	1888	2436
Q4. 出身大学（学部）入学年											
1950 年以前	8.2	73.4	22.8	1.4	0.5	—	—	—	5.8	3.8	2.0
1951～1960 年	15.4	0.9	70.8	38.8	0.2	0.3	—	0.1	18.6	17.2	12.8
1961～1970 年	15.1	—	—	56.5	38.5	0.1	—	0.1	16.8	17.0	15.4
1971～1980 年	16.2	—	—	0.1	58.8	39.9	0.2	0.2	16.1	17.3	19.8
1981～1990 年	16.7	0.2	—	—	—	58.7	37.9	0.2	17.1	16.5	20.5
1991～2000 年	17.3	—	—	—	—	—	60.9	47.6	17.0	19.0	20.9
2001 年以降	6.6	—	—	—	—	—	0.1	50.4	6.4	8.3	7.7
無回答	4.6	25.5	6.4	3.3	2.0	1.1	1.0	1.5	2.2	0.8	0.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q4. 出身大学（学部）											
1950 年以前	5.2	74.0	1.2	1.3	0.3	—	—	—	3.1	1.0	0.5
1951～1960 年	12.2	1.9	91.8	—	0.3	0.1	—	0.1	14.1	12.4	9.0
1961～1970 年	14.9	—	0.6	94.2	0.2	0.1	—	0.1	17.7	17.4	12.9
1971～1980 年	15.9	0.2	—	1.0	96.9	0.3	0.1	0.1	15.6	17.7	19.2
1981～1990 年	16.4	—	—	—	0.4	97.6	0.5	0.2	16.8	16.2	20.2
1991～2000 年	17.9	0.2	—	—	—	0.7	97.6	0.8	17.8	19.4	21.5
2001 年以降	12.9	—	—	—	—	—	0.9	97.3	12.6	14.9	15.7
無回答	4.5	23.8	6.4	3.4	1.8	1.1	1.0	1.4	2.2	0.9	0.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q4. 出身大学（学部）											
東京女子高等師範○○科	5.9	66.9	8.2	0.1	0.4	0.3	0.1	—	—	—	—
お茶の水女子大学文教育学部哲学科	2.8	0.6	1.9	3.1	4.5	3.2	3.7	0.7	6.5	—	—
史学科	3.6	—	5.5	5.0	4.0	4.3	3.8	0.3	8.3	—	—
国文学科	6.1	0.7	9.5	8.9	6.8	7.8	5.5	0.2	14.2	—	—
外国文学科	6.5	0.2	6.8	7.1	7.0	10.7	9.0	0.1	15.2	—	—
教育学科	8.0	—	11.5	13.0	11.1	8.6	6.7	0.1	18.6	—	—
舞踊教育学科	1.8	—	0.6	0.8	0.5	4.0	4.4	0.7	4.3	—	—
人文科学科	1.4	—	0.1	0.1	0.1	—	1.2	9.0	3.4	—	—
言語文化学科	2.3	—	—	—	0.1	—	1.8	15.1	5.4	—	—
人間社会学科	1.4	—	—	—	—	—	1.0	9.5	3.3	—	—
芸術表現行動学科	1.0	—	0.3	0.4	0.3	0.6	0.7	5.1	2.4	—	—
文教育学部（文系）	6.3	12.3	7.9	9.0	7.3	5.0	5.2	0.2	14.6	—	—
文教育学部（理系）	0.4	4.3	0.5	—	0.1	—	—	—	0.9	—	—
文教育学部（被服）	0.1	0.4	0.2	0.1	—	—	—	—	0.1	—	—
文教育学部（臨教等）	1.1	3.2	3.5	3.1	0.1	—	—	—	2.7	—	—
文教育学部（臨教等の内、理が明白）	—	0.7	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—
文教育学部（学科 Na）	—	0.2	0.2	—	—	—	—	—	0.1	—	—
その他学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
理学部数学科	5.0	0.7	4.7	6.4	5.7	5.6	5.6	3.9	—	23.9	—
物理学科	3.9	—	4.1	4.6	5.0	3.5	4.2	4.3	—	18.8	—
化学科	5.2	0.6	4.8	7.5	6.5	6.0	4.5	4.1	—	24.9	—
生物学科	5.0	0.2	6.3	5.0	6.4	5.8	3.9	5.8	—	24.0	—
情報科学科	1.6	—	—	—	—	—	4.6	6.2	—	7.8	—
その他学科	0.1	0.2	0.4	0.4	—	—	—	—	—	0.7	—
家政学部・生活科学部児童学科	6.5	0.4	6.4	7.8	10.8	9.4	6.2	0.1	—	—	24.0
食物学科	6.4	0.6	6.9	7.7	8.5	9.8	5.7	1.7	—	—	23.5
被服学科	5.2	0.2	5.7	6.8	7.5	7.7	4.7	0.1	—	—	19.1
家庭経営学科	2.6	—	—	0.1	5.5	6.6	3.4	—	—	—	9.6
生活環境学科	2.6	—	—	—	—	—	5.7	11.8	—	—	9.5
人間生活学科○○講座	3.5	—	—	—	0.1	0.1	6.7	17.4	—	—	13.0
その他学科	0.4	0.4	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	1.4	—	—	1.3
お茶大以外の大学	1.2	0.4	0.3	0.1	0.5	0.5	0.8	1.4	—	—	—
無回答	2.1	7.1	3.0	2.7	1.2	0.5	0.9	1.1	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q4. 大学院修士課程（博士前期課程）入学年											
1970 年以前	13.9	100.0	83.8	77.0	1.0	0.3	—	—	12.8	13.2	15.8
1971～1980 年	14.2	—	6.3	8.1	77.3	0.8	—	—	14.5	12.3	15.4
1981～1990 年	18.4	—	3.8	5.9	5.5	79.9	0.9	—	22.3	13.3	18.7
1991～2000 年	28.5	—	3.8	5.4	8.2	12.6	93.0	1.4	28.2	30.9	27.9
2001 年以降	24.9	—	2.5	3.6	7.9	6.4	6.1	98.6	22.3	30.4	22.2
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1839	10	80	222	291	358	445	364	674	570	481
Q4. 大学院修士課程（博士前期課程）修了年											
1970 年以前	10.9	100.0	82.5	53.6	0.7	0.3	—	—	9.2	11.2	11.9
1971～1980 年	13.5	—	5.0	29.3	58.4	0.6	—	—	13.6	11.6	15.6
1981～1990 年	16.1	—	5.0	4.1	23.4	55.3	—	—	19.0	11.9	16.6
1991～2000 年	27.6	—	2.5	5.9	7.9	34.4	72.4	0.3	28.2	27.0	27.7
2001 年以降	28.9	—	3.8	5.4	8.2	7.3	26.1	90.9	25.4	36.3	25.6
無回答	3.0	—	1.3	1.8	1.4	2.2	1.6	8.8	4.6	1.9	2.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1839	10	80	222	291	358	445	364	674	570	481
Q4. 大学院博士課程（博士後期課程）入学年											
1970 年以前	12.6	100.0	87.1	50.0	—	—	—	—	8.6	18.4	6.7
1971～1980 年	8.7	—	3.2	22.9	30.8	2.4	—	—	6.7	11.5	7.6
1981～1990 年	14.7	—	6.5	8.6	28.2	37.1	—	—	21.0	12.6	8.6
1991～2000 年	33.6	—	3.2	8.6	21.8	46.0	68.3	1.4	38.6	23.6	41.0
2001 年以降	29.7	—	—	10.0	16.7	12.9	31.7	98.6	24.8	32.8	35.2
無回答	0.7	—	—	—	2.6	1.6	—	—	0.5	1.1	1.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	539	4	31	70	78	124	126	74	210	174	105

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q4. 大学院博士課程（博士後期課程）修了年											
1970 年以前	8.7	100.0	80.6	22.9	—	—	—	—	4.8	13.8	2.9
1971～1980 年	7.6	—	9.7	38.6	11.5	—	—	—	5.7	10.9	6.7
1981～1990 年	11.1	—	—	12.9	41.0	13.7	—	—	10.0	13.2	10.5
1991～2000 年	24.1	—	6.5	10.0	14.1	54.0	29.4	—	31.0	18.4	22.9
2001 年以降	35.6	—	3.2	11.4	25.6	26.6	62.7	51.4	34.8	33.3	41.9
無回答	12.8	—	—	4.3	7.7	5.6	7.9	48.6	13.8	10.3	15.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	539	4	31	70	78	124	126	74	210	174	105
Q4. 大学院博士課程（博士後期課程）修了形態											
学位取得修了	45.5	50.0	61.3	48.6	46.2	41.9	52.4	31.1	28.6	65.5	45.7
単位取得満期退学	29.3	25.0	32.3	32.9	38.5	39.5	23.8	9.5	43.8	12.6	27.6
退学	10.2	—	6.5	12.9	6.4	12.9	11.9	6.8	12.4	9.2	8.6
無回答	15.0	25.0	—	5.7	9.0	5.6	11.9	52.7	15.2	12.6	18.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	539	4	31	70	78	124	126	74	210	174	105
Q5. 居住地											
北海道	0.7	1.7	1.1	0.7	0.7	0.5	0.7	0.3	0.9	0.3	0.6
東北	2.2	3.7	2.1	2.8	2.0	1.4	1.8	2.3	1.8	1.7	2.7
信越	1.4	2.0	1.0	1.2	1.8	1.6	1.6	1.3	1.5	1.3	1.4
東京	37.5	33.1	44.5	34.6	34.4	35.9	37.0	42.4	39.1	37.4	35.7
東京以外の関東	34.6	26.8	32.2	38.9	38.7	35.4	31.1	34.8	33.1	40.6	34.6
中部	5.8	6.1	4.4	4.7	5.8	6.9	6.8	5.7	6.3	4.7	6.2
北陸	1.9	0.9	0.8	1.1	2.0	2.5	2.6	2.2	1.9	1.3	2.4
近畿	4.7	6.3	4.1	5.6	4.4	4.5	5.6	3.1	4.5	4.7	4.9
中国	1.9	3.2	1.4	2.2	1.8	2.5	1.7	1.4	2.2	1.2	2.0
四国	1.4	1.5	0.2	1.2	1.8	1.7	1.8	1.5	1.5	1.2	1.4
九州	2.8	2.6	1.4	1.9	2.9	3.6	4.2	2.3	2.6	1.9	4.1
沖縄	0.2	0.2	0.3	0.4	0.1	0.1	0.2	—	0.2	—	0.2
海外	1.3	0.6	0.7	1.0	0.7	1.4	2.9	0.7	1.5	1.5	0.9
無回答	3.6	11.3	5.7	3.6	2.8	2.1	1.9	2.2	2.9	2.2	2.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q6. (a) 学部在学中に力を入れた程度											
Q6. (a) (1) 大学の授業や研究											
力をいれた	34.7	49.0	39.6	31.3	30.4	34.0	31.3	37.9	33.6	37.8	31.0
ある程度力をいれた	49.1	37.9	48.0	51.8	51.8	50.2	49.0	48.1	48.9	47.6	53.0
あまり力をいれなかった	14.2	8.4	10.7	15.3	16.0	14.3	17.6	12.3	15.4	13.2	14.7
力をいれなかった	1.6	1.3	0.9	1.5	1.6	1.5	2.0	1.7	1.9	1.2	1.3
無回答	0.4	3.6	0.7	0.1	0.2	—	0.1	—	0.3	0.2	—
力をいれた（計）	83.8	86.8	87.6	83.2	82.2	84.2	80.3	86.0	82.5	85.4	84.0
力をいれなかった（計）	15.8	9.6	11.7	16.8	17.6	15.8	19.7	14.0	17.2	14.4	15.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (2) 関心領域についての自主的学習・読書											
力をいれた	24.7	36.6	29.8	21.9	22.7	23.5	21.9	25.6	29.3	18.7	19.3
ある程度力をいれた	50.8	42.9	53.7	55.6	54.3	50.6	46.0	48.4	50.8	49.9	53.4
あまり力をいれなかった	20.9	11.5	12.0	19.5	20.9	23.3	28.5	23.0	17.2	27.0	24.3
力をいれなかった	2.6	2.9	2.1	2.3	2.1	2.5	3.5	2.7	2.0	3.6	2.6
無回答	1.0	6.1	2.3	0.7	0.1	0.1	—	0.3	0.7	0.7	0.5
力をいれた（計）	75.6	79.5	83.5	77.5	77.0	74.1	67.9	74.0	80.1	68.7	72.7
力をいれなかった（計）	23.5	14.4	14.2	21.8	22.9	25.8	32.1	25.7	19.2	30.6	26.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q6. (a) (3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学											
力をいれた	4.6	2.7	3.0	2.7	4.3	5.4	5.9	6.6	6.2	2.3	4.1
ある程度力をいれた	14.4	8.8	13.9	12.5	12.6	17.5	15.6	17.0	17.7	10.9	13.0
あまり力をいれなかった	14.5	7.7	12.2	13.1	14.5	14.9	19.2	15.0	14.8	14.0	15.9
力をいれなかった	63.1	60.5	61.4	68.8	67.7	62.0	59.1	60.9	58.1	70.7	65.6
無回答	3.4	20.3	9.5	3.0	1.0	0.3	0.2	0.6	3.2	2.1	1.5
力をいれた（計）	19.0	11.5	16.9	15.2	16.9	22.9	21.5	23.6	23.8	13.2	17.1
力をいれなかった（計）	77.6	68.2	73.6	81.8	82.2	76.9	78.3	75.8	72.9	84.7	81.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (4) 友人とのつきあい											
力をいれた	30.9	30.1	23.6	22.4	26.4	31.5	38.9	42.8	29.8	30.6	33.6
ある程度力をいれた	55.4	54.6	60.1	60.7	59.7	57.2	50.5	43.5	56.4	55.1	54.4
あまり力をいれなかった	11.5	7.7	11.8	14.9	12.7	10.3	9.5	12.0	11.6	12.4	10.5
力をいれなかった	1.3	2.1	2.0	1.1	0.9	0.9	1.1	1.5	1.3	1.5	1.0
無回答	0.9	5.4	2.5	0.8	0.3	0.1	—	0.2	1.0	0.4	0.4
力をいれた（計）	86.3	84.7	83.7	83.2	86.1	88.7	89.4	86.3	86.2	85.7	88.1
力をいれなかった（計）	12.8	9.8	13.8	16.1	13.6	11.2	10.6	13.5	12.9	13.9	11.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (5) 特定の異性とのつきあい											
力をいれた	6.9	0.6	1.8	3.2	4.9	7.1	11.6	15.6	7.5	5.5	8.5
ある程度力をいれた	26.3	3.3	13.8	17.8	28.7	32.6	37.0	34.0	26.0	26.5	31.3
あまり力をいれなかった	28.1	6.7	24.0	30.1	31.8	32.8	29.5	27.7	28.8	27.8	31.9
力をいれなかった	36.3	71.5	54.7	47.8	33.8	27.1	21.6	22.5	35.5	39.1	27.5
無回答	2.4	17.8	5.8	1.1	0.7	0.4	0.3	0.3	2.2	1.0	0.9
力をいれた（計）	33.2	4.0	15.6	21.0	33.7	39.7	48.6	49.5	33.5	32.0	39.8
力をいれなかった（計）	64.4	78.2	78.7	77.9	65.6	59.9	51.1	50.2	64.2	66.9	59.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (6) 先生との交流											
力をいれた	6.0	15.9	9.4	4.7	3.8	4.9	4.5	5.9	5.8	4.8	5.6
ある程度力をいれた	34.7	37.2	42.6	33.2	33.1	35.0	31.5	33.9	31.1	35.2	38.8
あまり力をいれなかった	44.9	26.2	32.2	46.0	50.4	48.3	50.4	47.1	46.6	46.9	45.1
力をいれなかった	13.0	11.7	12.6	15.3	12.4	11.5	13.5	12.9	15.4	12.4	9.7
無回答	1.3	9.0	3.3	0.7	0.3	0.3	0.1	0.2	1.2	0.7	0.7
力をいれた（計）	40.8	53.1	52.0	37.9	36.8	39.9	36.0	39.8	36.8	40.0	44.5
力をいれなかった（計）	57.9	37.9	44.7	61.4	62.8	59.8	63.9	60.0	62.0	59.4	54.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (7) 自分の趣味											
力をいれた	19.1	11.5	10.6	10.9	14.1	19.3	26.6	36.8	19.8	19.5	19.0
ある程度力をいれた	45.0	30.1	37.1	41.5	49.6	53.4	48.1	43.3	44.3	45.7	48.3
あまり力をいれなかった	26.6	24.9	33.5	34.9	29.6	24.1	21.8	16.6	26.9	26.7	26.1
力をいれなかった	7.8	22.6	14.8	11.7	6.4	3.1	3.4	3.2	7.5	7.5	5.9
無回答	1.6	10.9	4.0	1.0	0.4	0.1	0.1	0.2	1.5	0.6	0.7
力をいれた（計）	64.1	41.6	47.7	52.3	63.6	72.6	74.7	80.1	64.1	65.2	67.3
力をいれなかった（計）	34.3	47.5	48.3	46.7	35.9	27.2	25.2	19.8	34.4	34.2	32.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (8) サークルやクラブ活動											
力をいれた	24.2	6.3	12.2	19.7	24.6	28.8	30.9	35.0	25.1	24.9	26.2
ある程度力をいれた	35.4	20.5	28.7	40.1	38.9	43.9	38.3	24.9	37.5	33.7	37.3
あまり力をいれなかった	20.6	15.7	25.5	27.4	19.5	17.3	18.4	18.3	20.1	21.8	21.5
力をいれなかった	18.0	42.7	29.3	12.2	16.8	9.7	12.3	21.6	15.8	18.9	14.5
無回答	1.8	14.9	4.2	0.5	0.3	0.2	0.1	0.3	1.5	0.7	0.5
力をいれた（計）	59.6	26.8	40.9	59.9	63.4	72.7	69.3	59.8	62.6	58.6	63.5
力をいれなかった（計）	38.6	58.4	54.9	39.6	36.3	27.1	30.6	39.9	35.9	40.6	36.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q6. (a) (9) アルバイト											
力をいれた	13.6	1.7	8.1	6.6	5.5	11.5	23.9	30.9	13.0	14.1	16.4
ある程度力をいれた	42.5	6.3	34.0	44.0	43.6	52.0	49.9	43.1	43.7	44.8	46.1
あまり力をいれなかった	25.0	6.9	24.5	31.4	35.4	26.5	20.2	18.8	27.1	25.8	24.4
力をいれなかった	17.2	69.5	29.8	17.4	15.2	9.9	6.0	6.9	14.7	14.6	12.6
無回答	1.8	15.7	3.6	0.6	0.3	—	0.1	0.3	1.6	0.7	0.5
力をいれた（計）	56.1	7.9	42.0	50.6	49.1	63.6	73.8	74.0	56.6	58.9	62.5
力をいれなかった（計）	42.2	76.4	54.3	48.8	50.5	36.4	26.1	25.7	41.8	40.4	36.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (a) (10) ボランティア活動											
力をいれた	1.8	0.6	1.1	1.3	1.6	1.6	1.9	4.2	1.7	1.0	3.0
ある程度力をいれた	6.3	2.9	5.4	4.8	5.6	5.9	7.3	10.4	5.9	4.5	8.9
あまり力をいれなかった	18.9	5.4	16.6	17.8	19.3	20.5	20.7	23.8	18.6	18.8	22.2
力をいれなかった	70.7	73.2	70.9	74.9	73.1	71.6	70.1	61.3	71.5	74.8	65.1
無回答	2.3	17.8	6.0	1.2	0.3	0.3	—	0.3	2.3	0.8	0.8
力をいれた（計）	8.1	3.6	6.5	6.1	7.3	7.5	9.2	14.6	7.6	5.5	11.9
力をいれなかった（計）	89.6	78.7	87.4	92.7	92.5	92.2	90.8	85.1	90.1	93.7	87.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (b) 卒業後の職業生活に1番目に役立ったもの											
(1) 大学の授業や研究	48.3	63.2	56.1	56.8	52.3	47.4	40.5	31.3	40.9	59.6	48.8
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	19.2	15.1	21.2	20.3	20.6	22.1	17.1	14.8	24.0	13.7	16.7
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	3.9	0.2	1.1	2.2	4.0	5.1	5.7	5.9	5.6	1.9	3.4
(4) 友人とのつきあい	4.8	4.0	2.2	2.9	4.3	4.6	7.8	6.8	4.4	5.2	5.4
(5) 特定の異性とのつきあい	0.3	0.4	0.6	0.2	0.2	0.5	0.3	0.3	0.4	0.2	0.4
(6) 先生との交流	2.3	4.8	4.0	2.3	2.2	1.9	1.4	1.6	1.5	1.7	3.4
(7) 自分の趣味	2.0	1.0	1.4	1.1	1.6	2.4	3.0	3.0	2.4	1.3	2.2
(8) サークルやクラブ活動	5.1	0.6	2.7	5.2	3.8	5.1	6.8	8.3	5.8	4.3	5.0
(9) アルバイト	6.7	0.2	1.1	1.8	3.4	6.2	13.6	16.5	7.2	5.5	8.4
(10) ボランティア活動	0.7	—	0.3	0.1	0.5	0.6	0.9	2.1	0.7	0.6	0.9
無回答	6.8	10.5	9.3	7.0	7.0	3.9	3.1	9.6	7.3	6.1	5.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (b) 卒業後の職業生活に2番目に役立ったもの											
(1) 大学の授業や研究	15.5	7.3	14.4	14.5	15.1	17.8	16.5	18.1	17.2	13.8	15.6
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	29.8	40.0	38.1	33.0	33.1	28.0	25.0	18.2	29.1	33.2	26.2
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	4.5	1.5	3.6	4.3	4.0	6.2	5.9	3.8	5.3	3.8	4.5
(4) 友人とのつきあい	10.8	15.5	10.4	9.2	10.4	9.1	11.7	12.1	10.7	9.5	11.4
(5) 特定の異性とのつきあい	0.5	—	0.3	0.4	0.3	0.2	0.9	0.8	0.4	0.6	0.5
(6) 先生との交流	6.6	9.0	9.8	8.3	6.0	6.6	4.7	4.1	4.2	6.4	10.3
(7) 自分の趣味	4.4	7.5	3.9	3.9	3.9	4.4	4.3	4.8	4.5	3.1	4.6
(8) サークルやクラブ活動	8.4	3.3	4.2	10.5	8.8	10.5	9.0	8.5	9.1	9.3	7.6
(9) アルバイト	8.6	0.6	2.8	4.5	7.3	9.0	14.4	16.4	9.1	10.0	8.7
(10) ボランティア活動	1.2	0.4	0.4	1.1	1.1	0.9	1.7	2.7	0.9	0.4	2.6
無回答	9.6	14.9	12.1	10.3	9.9	7.3	6.0	10.6	9.5	10.1	7.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6. (c) 卒業後の社会生活にもっとも役立ったもの											
(1) 大学の授業や研究	16.8	27.8	25.3	20.7	15.6	15.9	10.7	9.0	15.2	16.3	17.3
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	18.2	24.5	27.6	22.7	22.6	16.4	10.8	7.9	20.8	16.3	15.0
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	2.2	0.8	1.8	1.8	1.8	2.9	3.0	1.9	2.7	1.6	1.8
(4) 友人とのつきあい	29.7	22.2	21.1	26.8	31.3	31.4	34.7	34.4	27.6	31.7	33.3
(5) 特定の異性とのつきあい	1.5	0.2	0.8	1.1	1.6	1.5	2.3	2.0	1.5	1.3	1.8
(6) 先生との交流	2.4	5.2	3.8	1.9	1.7	2.3	2.0	2.2	2.0	2.2	2.7
(7) 自分の趣味	4.5	2.9	4.8	4.2	4.7	5.1	4.9	3.9	4.7	5.0	3.9
(8) サークルやクラブ活動	11.1	2.3	4.6	10.5	10.7	13.2	14.6	15.6	11.8	12.1	10.9
(9) アルバイト	6.7	0.6	1.1	1.8	2.8	6.8	14.1	15.6	6.8	6.4	8.2
(10) ボランティア活動	0.9	0.4	0.4	0.6	1.0	1.2	0.8	1.9	0.9	0.9	1.1
無回答	6.0	13.0	8.7	7.8	6.3	3.2	2.1	5.5	6.1	6.2	4.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号		全体	卒業年コーホート							卒業学部		
	選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q6.	(c) 卒業後の社会生活に2番目に役立ったもの											
	(1) 大学の授業や研究	8.0	6.1	8.5	8.4	6.9	7.9	7.4	9.7	8.2	6.0	9.1
	(2) 関心領域についての自主的学習・読書	14.6	18.8	17.3	17.5	15.6	13.9	11.5	9.6	15.3	12.3	14.0
	(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	2.7	1.7	3.1	2.6	2.7	3.2	2.8	2.1	2.9	2.2	2.8
	(4) 友人とのつきあい	21.7	28.0	22.9	21.1	22.8	21.0	20.2	20.5	21.3	23.7	19.9
	(5) 特定の異性とのつきあい	1.9	0.4	0.9	1.5	1.6	1.7	2.8	3.5	1.8	1.8	2.4
	(6) 先生との交流	5.2	12.1	7.5	5.5	4.5	4.2	3.4	4.2	4.3	5.1	5.6
	(7) 自分の趣味	10.4	11.1	10.7	10.7	11.6	10.7	9.4	9.6	10.1	11.9	9.7
	(8) サークルやクラブ活動	14.0	3.6	7.5	14.2	15.1	17.3	18.1	14.5	14.6	14.0	15.6
	(9) アルバイト	10.7	1.0	5.7	4.7	8.0	12.6	18.4	17.6	10.9	11.4	11.8
	(10) ボランティア活動	1.7	1.5	2.2	2.0	1.4	1.1	1.7	2.1	1.7	1.2	2.0
	無回答	9.1	15.7	13.8	11.9	9.7	6.4	4.3	6.6	8.8	10.4	6.9
	合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6.	(d) 卒業後の家庭生活にもっとも役立ったもの											
	(1) 大学の授業や研究	11.7	22.4	14.4	12.4	12.4	10.2	8.8	7.7	7.5	6.9	20.4
	(2) 関心領域についての自主的学習・読書	18.9	25.9	29.7	26.8	20.6	17.3	11.0	6.8	20.0	16.7	17.2
	(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	1.4	0.8	2.0	1.8	1.2	1.6	1.2	1.3	1.4	1.3	1.5
	(4) 友人とのつきあい	24.6	17.2	19.3	21.2	24.3	25.4	30.5	28.5	25.0	27.0	23.7
	(5) 特定の異性とのつきあい	9.6	0.4	4.9	7.1	10.2	11.9	13.9	11.8	10.3	9.9	10.2
	(6) 先生との交流	0.7	1.5	1.7	0.6	0.3	0.6	0.6	0.2	0.5	0.6	0.8
	(7) 自分の趣味	13.5	13.2	10.7	11.7	13.1	14.7	14.9	16.4	13.4	16.0	11.8
	(8) サークルやクラブ活動	4.5	1.3	1.8	4.0	3.6	6.5	5.9	6.1	4.9	5.5	3.7
	(9) アルバイト	3.1	0.2	0.6	1.1	1.3	3.4	4.9	8.8	3.2	3.2	3.4
	(10) ボランティア活動	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	0.5	0.5	0.7	0.6	0.3	0.5
	無回答	11.5	16.7	14.5	12.9	12.3	7.8	8.0	11.8	13.2	12.7	6.7
	合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q6.	(d) 卒業後の家庭生活に2番目に役立ったもの											
	(1) 大学の授業や研究	6.1	5.9	5.2	6.7	6.2	6.9	5.3	6.4	4.8	3.5	10.4
	(2) 関心領域についての自主的学習・読書	13.6	15.7	15.0	15.1	15.0	14.1	11.4	10.0	13.7	11.0	15.2
	(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	1.6	2.1	1.9	2.2	1.5	1.5	1.7	0.9	1.5	1.6	1.7
	(4) 友人とのつきあい	19.1	20.3	21.2	18.5	17.1	18.9	19.6	19.8	19.4	18.7	18.9
	(5) 特定の異性とのつきあい	4.1	1.0	1.5	2.1	3.9	3.9	6.6	7.5	3.8	3.8	5.4
	(6) 先生との交流	1.5	5.4	1.6	1.8	1.2	1.3	0.9	0.9	1.2	1.4	1.4
	(7) 自分の趣味	20.8	22.2	22.4	21.9	21.3	21.3	19.3	18.5	20.5	22.9	19.5
	(8) サークルやクラブ活動	9.2	4.2	5.5	8.6	10.2	10.8	11.7	9.2	9.6	11.0	8.1
	(9) アルバイト	6.4	0.8	4.2	4.2	4.9	6.9	9.9	10.1	6.4	7.5	6.3
	(10) ボランティア活動	1.2	1.0	1.0	1.3	1.0	1.1	1.2	1.4	1.0	0.9	1.7
	無回答	16.3	21.3	20.4	17.7	17.8	13.1	12.4	15.2	18.0	17.7	11.2
	合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7.	お茶の水女子大学での学生生活の満足度											
Q7.	(1) 本学の教員との交流											
	非常に満足	17.8	24.1	20.5	14.8	16.4	18.9	16.8	17.9	15.9	17.5	20.3
	やや満足	39.5	32.0	41.9	38.0	40.8	42.2	37.7	40.2	36.9	41.1	43.4
	どちらでもない	27.9	24.5	24.6	28.3	28.7	26.1	31.1	30.3	28.9	29.4	26.5
	やや不満	9.7	3.1	7.7	11.7	10.6	9.6	11.2	9.1	12.4	8.4	7.6
	非常に不満	2.9	1.5	2.1	5.8	2.9	2.7	2.6	1.9	4.4	2.5	1.3
	無回答	2.2	14.9	3.3	1.4	0.7	0.4	0.6	0.6	1.5	1.2	0.8
	満足（計）	57.3	56.1	62.3	52.8	57.2	61.2	54.6	58.1	52.8	58.6	63.7
	不満（計）	12.6	4.6	9.8	17.5	13.4	12.3	13.7	11.0	16.8	10.8	9.0
	合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q7. (2) 在学中の友人 Q7.（お茶大生）との交流											
非常に満足	43.0	39.3	39.7	38.4	40.7	45.7	45.9	49.1	40.5	43.1	47.5
やや満足	42.0	39.7	45.7	45.2	45.3	42.4	38.9	36.3	43.3	43.0	40.5
どちらでもない	9.5	7.1	9.1	11.9	10.4	8.1	10.1	8.8	10.5	10.0	7.9
やや不満	3.0	1.0	2.0	2.9	2.3	2.7	4.1	4.6	3.7	2.4	2.8
非常に不満	0.6	—	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.6	0.6	0.5
無回答	1.9	12.8	3.1	1.1	0.9	0.5	0.2	0.5	1.4	0.9	0.7
満足（計）	85.0	79.1	85.4	83.6	86.0	88.1	84.8	85.4	83.8	86.1	88.0
不満（計）	3.5	1.0	2.4	3.4	2.7	3.3	4.8	5.3	4.3	2.9	3.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (3) 卒業生との交流											
非常に満足	4.7	10.7	5.6	5.3	5.2	3.7	3.6	3.0	4.1	3.8	5.4
やや満足	15.8	21.3	22.8	17.3	16.5	15.8	11.6	9.6	14.6	16.3	16.5
どちらでもない	54.3	40.6	51.9	53.2	55.6	57.0	56.4	57.7	53.6	57.7	55.1
やや不満	14.7	5.6	8.0	13.3	14.1	16.9	19.7	18.9	16.2	13.4	15.7
非常に不満	7.3	3.3	5.7	8.5	7.1	5.9	8.4	10.1	9.3	6.7	5.7
無回答	3.2	18.4	6.0	2.4	1.5	0.7	0.4	0.8	2.3	2.1	1.5
満足（計）	20.5	32.0	28.4	22.6	21.7	19.5	15.2	12.5	18.7	20.0	21.9
不満（計）	22.0	9.0	13.7	21.8	21.2	22.7	28.1	29.0	25.5	20.1	21.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (4) 事務窓口の対応											
非常に満足	4.5	5.0	5.7	5.8	3.7	4.7	4.2	3.0	4.1	4.9	4.9
やや満足	18.1	10.9	17.8	19.8	18.1	23.1	17.3	14.3	17.1	20.2	19.7
どちらでもない	56.7	55.0	60.2	60.2	62.0	59.1	58.4	39.5	56.6	57.5	56.8
やや不満	12.6	4.4	7.7	9.0	11.8	8.9	15.2	27.7	13.9	11.7	12.6
非常に不満	4.9	1.5	2.1	3.1	3.6	3.6	4.6	14.9	6.0	3.9	4.4
無回答	3.3	23.2	6.4	2.1	0.8	0.6	0.4	0.7	2.3	1.8	1.5
満足（計）	22.6	15.9	23.5	25.6	21.8	27.8	21.5	17.2	21.2	25.1	24.6
不満（計）	17.5	5.9	9.9	12.1	15.4	12.5	19.7	42.6	19.9	15.6	17.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (5) 就職・進学の指導・支援体制											
非常に満足	7.0	17.2	9.7	9.7	6.9	7.1	3.4	1.3	5.3	8.3	6.6
やや満足	17.4	19.2	20.8	21.6	20.4	20.5	12.0	8.6	14.2	23.4	17.7
どちらでもない	41.6	33.1	41.6	44.7	43.6	44.7	42.5	35.0	41.7	41.8	43.2
やや不満	20.4	3.8	14.0	14.6	19.1	18.9	28.2	34.2	23.0	16.6	22.3
非常に不満	10.3	4.0	7.4	7.2	9.0	8.3	13.4	20.1	13.4	8.0	8.9
無回答	3.3	22.8	6.4	2.1	1.0	0.4	0.4	0.8	2.4	1.9	1.3
満足（計）	24.4	36.4	30.5	31.3	27.3	27.7	15.4	9.9	19.5	31.7	24.3
不満（計）	30.7	7.7	21.4	21.8	28.1	27.2	41.6	54.4	36.3	24.6	31.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (6) 教育・研究支援体制											
非常に満足	8.2	7.1	6.6	7.1	6.3	10.3	9.9	9.3	7.6	8.6	9.2
やや満足	28.6	18.0	19.9	25.1	30.4	36.1	32.0	30.5	27.6	30.4	31.5
どちらでもない	43.7	38.9	50.2	49.1	47.9	39.8	40.0	39.1	43.4	45.0	43.5
やや不満	12.0	5.6	10.1	11.4	11.2	11.6	14.1	16.6	13.9	10.5	11.9
非常に不満	3.3	3.3	4.2	4.2	2.6	1.7	3.6	3.7	4.1	2.9	2.2
無回答	4.2	27.0	9.0	3.1	1.6	0.5	0.5	0.8	3.3	2.6	1.7
満足（計）	36.9	25.1	26.5	32.2	36.7	46.4	41.9	39.8	35.3	39.1	40.8
不満（計）	15.3	9.0	14.3	15.6	13.8	13.3	17.7	20.3	18.0	13.4	14.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q7.（7）留学・国際交流支援体制											
非常に満足	1.0	0.4	0.5	0.2	0.5	0.9	1.5	2.3	1.0	1.0	1.1
やや満足	4.3	2.9	2.5	2.4	2.9	5.3	5.2	8.0	4.9	3.6	4.1
どちらでもない	70.1	52.3	64.6	72.6	76.1	74.7	70.5	68.5	67.5	74.5	74.4
やや不満	11.7	4.2	6.6	10.2	12.3	13.7	15.2	14.6	13.3	10.4	12.4
非常に不満	6.3	5.2	8.7	7.5	5.6	4.3	7.0	5.7	7.6	6.3	4.6
無回答	6.7	34.9	17.1	7.2	2.5	1.1	0.6	0.8	5.7	4.2	3.4
満足（計）	5.2	3.3	3.0	2.6	3.5	6.3	6.7	10.3	5.9	4.6	5.2
不満（計）	18.0	9.4	15.3	17.6	17.9	17.9	22.3	20.4	20.9	16.7	17.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7.（8）経済的支援 Q7.（奨学金等）体制											
非常に満足	7.2	10.7	12.9	7.5	5.1	6.3	6.0	5.2	6.6	6.8	7.6
やや満足	15.5	14.2	27.4	21.1	12.7	10.5	10.8	13.9	15.3	14.5	16.2
どちらでもない	64.1	41.8	41.8	58.4	74.3	75.0	73.4	66.5	65.0	66.0	66.8
やや不満	6.3	3.3	6.1	6.5	4.1	5.7	7.0	10.2	6.7	7.3	5.6
非常に不満	2.1	1.7	2.6	2.1	1.3	1.3	2.2	3.2	2.4	2.4	1.5
無回答	4.8	28.2	9.2	4.4	2.4	1.2	0.6	0.9	4.0	3.0	2.2
満足（計）	22.7	24.9	40.3	28.6	17.8	16.8	16.8	19.1	21.9	21.3	23.8
不満（計）	8.4	5.0	8.7	8.7	5.4	7.0	9.2	13.4	9.1	9.7	7.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7.（9）卒業研究担当教員の指導方法・指導内容											
非常に満足	23.0	10.5	21.6	18.3	23.0	26.6	24.7	29.0	19.2	27.1	28.5
やや満足	32.5	18.8	29.2	31.5	37.3	37.4	32.6	32.5	31.8	34.9	34.9
どちらでもない	28.1	34.9	29.0	31.4	26.7	24.5	29.3	25.6	30.1	25.9	24.9
やや不満	9.2	5.0	9.5	11.4	9.5	8.3	9.7	8.2	11.4	7.4	8.2
非常に不満	3.3	1.7	3.4	4.9	2.5	2.5	3.3	3.8	4.3	2.9	2.4
無回答	3.9	29.1	7.4	2.5	0.9	0.6	0.4	0.8	3.1	1.8	1.1
満足（計）	55.5	29.3	50.8	49.8	60.3	64.0	57.3	61.5	51.0	62.0	63.3
不満（計）	12.5	6.7	12.8	16.3	12.1	10.9	13.0	12.0	15.7	10.3	10.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7.（10）女性支援体制											
非常に満足	3.4	2.3	0.9	1.6	2.5	4.1	4.9	6.8	3.1	3.9	3.9
やや満足	13.5	7.9	7.1	7.5	10.6	16.9	17.3	24.3	12.7	14.8	15.2
どちらでもない	65.6	52.9	64.6	70.2	70.7	67.4	66.1	59.5	65.4	66.6	68.2
やや不満	8.1	4.0	8.3	9.8	9.7	8.1	8.0	6.5	9.3	7.7	7.5
非常に不満	3.8	2.5	5.8	5.8	4.4	2.7	3.1	1.9	4.8	3.7	2.6
無回答	5.5	30.3	13.4	5.2	2.1	0.8	0.7	0.9	4.8	3.2	2.6
満足（計）	16.9	10.3	8.0	9.1	13.1	20.9	22.2	31.1	15.8	18.7	19.1
不満（計）	12.0	6.5	14.0	15.6	14.1	10.8	11.0	8.5	14.1	11.5	10.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7.（11）教養教育											
非常に満足	8.6	8.8	5.8	7.8	7.3	10.5	9.4	10.5	9.4	7.1	8.6
やや満足	37.0	30.3	30.5	35.7	36.4	44.2	39.1	38.3	37.7	38.6	37.2
どちらでもない	37.9	28.2	42.7	40.2	41.8	32.9	39.1	35.7	36.5	39.6	39.8
やや不満	10.1	4.6	9.5	10.3	11.2	9.9	9.9	12.3	10.3	10.3	11.1
非常に不満	2.0	1.5	2.8	2.7	1.4	1.5	2.0	2.3	2.4	2.1	1.5
無回答	4.3	26.6	8.8	3.3	1.9	1.1	0.6	1.0	3.7	2.4	1.8
満足（計）	45.6	39.1	36.3	43.5	43.6	54.6	48.5	48.8	47.0	45.7	45.8
不満（計）	12.1	6.1	12.2	13.0	12.7	11.4	11.9	14.5	12.7	12.4	12.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q7. (12) 専門・専攻科目											
非常に満足	25.3	22.0	21.8	20.7	24.5	29.0	27.9	29.3	23.3	24.0	30.8
やや満足	47.0	33.3	45.3	46.6	50.2	50.2	47.8	47.6	46.4	50.0	48.0
どちらでもない	16.3	15.3	18.5	19.5	16.3	13.5	15.7	15.5	17.8	16.0	14.6
やや不満	6.6	5.6	7.3	9.1	6.0	5.5	6.5	5.8	8.0	6.7	4.3
非常に不満	1.4	1.9	1.2	1.5	1.6	1.4	1.6	1.0	2.0	1.1	0.9
無回答	3.4	22.0	5.8	2.6	1.4	0.5	0.6	0.8	2.5	2.2	1.3
満足（計）	72.3	55.2	67.2	67.3	74.7	79.1	75.6	76.9	69.7	74.0	78.8
不満（計）	8.0	7.5	8.5	10.6	7.6	6.9	8.1	6.8	10.0	7.8	5.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (13) 卒業論文・卒業研究											
非常に満足	20.8	3.8	19.3	19.6	20.0	22.5	22.9	27.6	17.8	23.4	26.9
やや満足	39.9	16.3	34.4	38.8	43.9	47.1	41.7	42.3	39.0	43.5	43.7
どちらでもない	24.5	39.7	25.6	24.4	24.6	21.7	23.7	22.1	26.6	23.3	19.0
やや不満	8.1	4.0	8.9	11.5	8.7	6.5	8.6	5.6	9.9	6.1	7.7
非常に不満	2.3	2.9	2.6	2.8	2.0	1.7	2.6	1.7	3.2	1.6	1.3
無回答	4.4	33.3	9.1	2.8	0.9	0.5	0.6	0.7	3.4	2.1	1.4
満足（計）	60.7	20.1	53.7	58.5	63.9	69.6	64.5	69.9	56.8	66.9	70.6
不満（計）	10.3	6.9	11.5	14.3	10.7	8.1	11.2	7.3	13.1	7.6	9.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (14) 授業で使用した教室											
非常に満足	7.3	14.6	6.6	6.0	8.1	7.4	6.2	6.7	4.9	10.3	7.4
やや満足	32.5	32.6	28.2	31.5	37.5	40.2	29.8	26.5	27.9	37.4	36.8
どちらでもない	32.5	24.1	34.8	36.9	34.9	33.4	32.6	25.1	34.3	31.5	31.9
やや不満	20.5	6.5	19.4	19.0	15.9	16.5	26.1	33.1	24.6	16.5	19.7
非常に不満	4.3	2.1	5.4	4.6	2.4	2.0	5.1	8.0	6.2	2.6	3.1
無回答	3.0	20.1	5.5	2.0	1.2	0.5	0.2	0.6	2.1	1.8	1.2
満足（計）	39.7	47.3	34.8	37.4	45.6	47.6	35.9	33.1	32.8	47.7	44.2
不満（計）	24.8	8.6	24.8	23.7	18.3	18.5	31.2	41.2	30.9	19.0	22.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (15) 図書館											
非常に満足	6.8	8.2	5.4	5.3	7.5	8.7	7.0	5.7	6.5	7.7	6.3
やや満足	34.7	30.8	29.2	35.4	37.2	44.8	34.2	27.3	35.0	36.0	34.4
どちらでもない	34.4	29.7	39.0	42.8	39.9	32.2	31.1	23.9	32.5	36.5	36.6
やや不満	16.8	6.1	16.8	12.5	12.1	11.6	22.4	31.9	18.6	15.5	17.1
非常に不満	4.0	3.1	3.9	1.6	2.3	2.3	5.0	10.6	5.0	2.5	4.1
無回答	3.2	22.2	5.8	2.5	1.1	0.5	0.3	0.7	2.3	1.8	1.5
満足（計）	41.5	38.9	34.7	40.6	44.7	53.4	41.2	33.0	41.6	43.7	40.7
不満（計）	20.8	9.2	20.6	14.1	14.3	13.9	27.4	42.4	23.6	18.0	21.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (16) 教育全般											
非常に満足	12.2	16.3	9.2	9.7	11.5	15.5	12.8	11.9	11.9	11.5	12.8
やや満足	49.4	37.0	42.6	48.8	52.5	55.4	51.5	50.3	48.4	49.2	54.0
どちらでもない	27.1	21.1	32.2	30.0	26.7	22.1	27.1	28.4	27.3	30.1	25.7
やや不満	7.0	3.3	9.0	7.6	7.1	6.0	6.9	7.4	8.6	6.4	5.6
非常に不満	1.1	1.9	0.9	1.3	1.1	0.5	1.4	1.0	1.2	0.9	0.8
無回答	3.2	20.3	5.9	2.6	1.0	0.5	0.4	0.9	2.4	1.9	1.2
満足（計）	61.6	53.3	51.8	58.5	64.0	70.8	64.3	62.2	60.4	60.6	66.8
不満（計）	8.1	5.2	10.0	8.9	8.2	6.5	8.3	8.5	9.9	7.4	6.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q7. (17) 学生支援全般											
非常に満足	3.6	4.4	2.6	3.1	3.6	4.7	3.6	3.3	3.2	4.2	3.6
やや満足	22.3	13.0	16.3	20.6	24.5	29.8	22.9	21.7	20.1	25.7	25.2
どちらでもない	53.9	46.2	56.1	61.4	56.8	52.0	51.7	50.0	54.2	53.7	54.9
やや不満	13.3	4.8	12.1	10.0	11.7	10.9	18.6	20.4	15.6	11.9	12.8
非常に不満	2.6	2.7	3.8	1.8	2.0	2.1	2.8	3.5	3.5	1.8	1.8
無回答	4.3	28.9	9.0	3.1	1.4	0.6	0.4	1.1	3.4	2.6	1.7
満足（計）	25.9	17.4	18.9	23.7	28.1	34.4	26.6	25.0	23.3	30.0	28.8
不満（計）	15.9	7.5	15.9	11.9	13.7	13.0	21.3	23.8	19.1	13.7	14.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (18) 大学内の設備・施設全般											
非常に満足	4.5	10.0	3.0	3.3	4.5	6.2	3.6	3.8	3.6	4.8	4.8
やや満足	31.3	29.3	21.6	29.9	35.5	41.9	32.2	24.6	28.1	33.8	35.1
どちらでもない	36.2	28.9	40.5	42.0	39.5	35.9	33.7	28.9	36.4	38.4	35.4
やや不満	21.5	7.7	23.2	20.1	17.4	14.3	26.8	35.7	25.0	18.8	21.1
非常に不満	3.3	3.1	5.9	2.2	2.1	1.1	3.4	6.3	4.5	2.3	2.3
無回答	3.2	20.9	5.8	2.6	1.1	0.6	0.2	0.7	2.4	1.9	1.3
満足（計）	35.8	39.3	24.6	33.2	40.0	48.1	35.9	28.4	31.7	38.6	39.9
不満（計）	24.8	10.9	29.1	22.3	19.4	15.4	30.2	42.0	29.4	21.1	23.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q7. (19) 大学全体の雰囲気											
非常に満足	21.3	15.1	14.7	15.9	18.7	25.7	26.9	27.0	19.4	21.3	26.0
やや満足	49.4	42.5	46.8	52.9	54.6	52.4	46.0	47.1	48.7	51.0	51.0
どちらでもない	18.8	17.8	26.8	21.7	18.1	13.6	17.4	17.4	20.9	19.0	15.2
やや不満	7.0	4.6	7.0	7.3	6.6	6.8	8.6	6.8	8.2	6.6	6.0
非常に不満	0.9	1.0	0.9	0.6	1.2	0.9	0.9	1.0	1.1	0.8	0.8
無回答	2.6	19.0	3.9	1.6	0.8	0.6	0.2	0.6	1.8	1.3	1.0
満足（計）	70.7	57.5	61.5	68.8	73.3	78.1	72.9	74.1	68.1	72.3	77.0
不満（計）	7.9	5.6	7.8	8.0	7.8	7.7	9.5	7.9	9.3	7.4	6.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	8924	478	1163	1408	1458	1499	1622	1183	3885	1912	2461
Q8. (a) 大学院に在学中に力を入れた程度											
Q8. (1) 大学院での授業											
力をいれた	46.6	20.0	72.2	51.5	47.9	47.3	44.7	39.0	60.3	32.8	41.3
ある程度力をいれた	42.8	—	27.8	41.7	45.8	43.5	45.3	43.3	33.8	51.5	48.3
あまり力をいれなかった	9.0	—	—	5.3	6.3	7.8	8.9	15.5	5.2	13.4	9.4
力をいれなかった	1.2	20.0	—	1.5	—	1.4	1.1	2.2	0.6	2.3	1.0
無回答	0.3	60.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
力をいれた（計）	89.5	20.0	100.0	93.2	93.8	90.8	90.0	82.3	94.2	84.3	89.6
力をいれなかった（計）	10.2	20.0	—	6.8	6.3	9.2	10.0	17.7	5.8	15.7	10.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査											
力をいれた	70.3	20.0	72.2	72.0	66.3	70.7	69.8	70.0	70.3	67.0	71.5
ある程度力をいれた	24.4	20.0	22.2	23.5	27.9	25.4	24.3	23.8	23.7	26.4	25.3
あまり力をいれなかった	4.5	—	—	3.0	5.4	2.8	5.9	5.4	5.6	5.5	2.3
力をいれなかった	0.6	20.0	—	1.5	0.4	0.7	—	0.7	0.4	0.9	0.5
無回答	0.3	40.0	5.6	—	—	0.4	—	—	—	0.2	0.3
力をいれた（計）	94.6	40.0	94.4	95.5	94.2	96.1	94.1	93.9	94.0	93.4	96.9
力をいれなかった（計）	5.1	20.0	—	4.5	5.8	3.5	5.9	6.1	6.0	6.4	2.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q8. (3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査											
力をいれた	34.2	20.0	44.4	30.3	30.4	33.6	34.8	37.2	26.7	39.6	36.3
ある程度力をいれた	37.5	—	11.1	28.8	37.1	39.9	39.6	41.5	29.7	42.6	42.8
あまり力をいれなかった	18.2	—	11.1	18.2	20.4	16.6	18.6	18.4	25.6	14.1	14.6
力をいれなかった	7.2	20.0	11.1	16.7	7.9	7.1	5.9	2.9	12.1	3.2	5.0
無回答	2.9	60.0	22.2	6.1	4.2	2.8	1.1	—	5.8	0.5	1.3
力をいれた（計）	71.8	20.0	55.6	59.1	67.5	73.5	74.4	78.7	56.5	82.2	79.1
力をいれなかった（計）	25.4	20.0	22.2	34.8	28.3	23.7	24.5	21.3	37.7	17.3	19.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会											
力をいれた	19.6	20.0	33.3	12.9	19.2	23.3	22.1	14.1	23.3	13.7	21.1
ある程度力をいれた	37.5	—	11.1	36.4	42.9	38.5	34.2	37.9	36.4	37.6	38.1
あまり力をいれなかった	30.4	—	27.8	29.5	25.4	28.3	34.8	33.9	28.7	37.8	26.1
力をいれなかった	11.7	20.0	16.7	20.5	11.3	9.5	8.9	13.7	10.8	10.5	14.1
無回答	0.9	60.0	11.1	0.8	1.3	0.4	—	0.4	0.9	0.5	0.5
力をいれた（計）	57.1	20.0	44.4	49.2	62.1	61.8	56.3	52.0	59.7	51.3	59.3
力をいれなかった（計）	42.0	20.0	44.4	50.0	36.7	37.8	43.7	47.7	39.4	48.3	40.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会											
力をいれた	8.8	—	16.7	3.0	10.8	7.8	10.0	7.2	10.3	7.7	6.8
ある程度力をいれた	22.7	—	5.6	22.7	18.8	26.5	24.8	20.6	25.4	23.5	18.3
あまり力をいれなかった	34.9	—	33.3	28.8	37.9	37.1	34.5	35.0	32.3	37.4	35.8
力をいれなかった	32.7	20.0	33.3	44.7	31.7	28.3	30.5	36.8	31.0	31.0	38.6
無回答	0.9	80.0	11.1	0.8	0.8	0.4	0.3	0.4	0.9	0.5	0.5
力をいれた（計）	31.5	—	22.2	25.8	29.6	34.3	34.8	27.8	35.8	31.2	25.1
力をいれなかった（計）	67.6	20.0	66.7	73.5	69.6	65.4	65.0	71.8	63.4	68.3	74.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (6) 研究プロジェクトへの参加											
力をいれた	8.6	—	33.3	6.1	7.5	8.1	9.2	7.9	5.8	8.9	10.4
ある程度力をいれた	17.3	20.0	11.1	14.4	20.4	15.5	15.6	19.9	14.9	18.0	19.1
あまり力をいれなかった	33.5	—	16.7	23.5	34.2	37.1	37.2	31.8	34.9	34.2	33.2
力をいれなかった	38.0	20.0	16.7	47.7	34.2	38.2	36.9	39.7	41.4	36.7	35.0
無回答	2.7	60.0	22.2	8.3	3.8	1.1	1.1	0.7	3.0	2.3	2.3
力をいれた（計）	25.9	20.0	44.4	20.5	27.9	23.7	24.8	27.8	20.7	26.9	29.5
力をいれなかった（計）	71.5	20.0	33.3	71.2	68.3	75.3	74.1	71.5	76.3	70.8	68.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (7) 研究成果の発表や論文執筆											
力をいれた	30.4	20.0	44.4	22.0	23.8	30.7	29.1	36.1	29.1	28.7	31.3
ある程度力をいれた	35.6	20.0	5.6	34.1	45.4	36.7	33.2	33.9	32.1	38.7	37.3
あまり力をいれなかった	22.0	—	27.8	20.5	18.8	24.4	26.7	18.8	22.8	22.3	21.7
力をいれなかった	10.6	20.0	11.1	18.9	10.8	7.4	11.1	9.7	14.2	9.6	8.1
無回答	1.4	40.0	11.1	4.5	1.3	0.7	—	1.4	1.7	0.7	1.6
力をいれた（計）	66.0	40.0	50.0	56.1	69.2	67.5	62.3	70.0	61.2	67.4	68.7
力をいれなかった（計）	32.6	20.0	38.9	39.4	29.6	31.8	37.7	28.5	37.1	31.9	29.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (8) 修士論文や博士論文の執筆											
力をいれた	58.5	20.0	55.6	56.8	51.7	63.3	59.3	56.3	58.2	56.5	59.0
ある程度力をいれた	30.2	—	22.2	31.8	38.8	27.9	29.1	29.6	28.2	31.7	33.4
あまり力をいれなかった	6.4	—	11.1	4.5	4.6	6.0	7.3	8.7	7.8	7.7	3.4
力をいれなかった	3.0	20.0	—	4.5	3.3	1.8	4.3	2.2	4.1	3.0	2.3
無回答	1.8	60.0	11.1	2.3	1.7	1.1	—	3.2	1.7	1.1	1.8
力をいれた（計）	88.8	20.0	77.8	88.6	90.4	91.2	88.4	85.9	86.4	88.2	92.4
力をいれなかった（計）	9.5	20.0	11.1	9.1	7.9	7.8	11.6	10.8	11.9	10.7	5.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q8. (9) 研究助成金の獲得											
力をいれた	2.9	—	—	—	0.4	2.1	4.6	4.0	2.6	2.7	2.3
ある程度力をいれた	6.4	—	11.1	5.3	3.8	5.3	6.7	9.4	6.0	5.7	6.8
あまり力をいれなかった	22.0	—	33.3	21.2	20.8	24.0	21.3	22.0	17.7	24.1	25.6
力をいれなかった	66.7	20.0	38.9	68.9	72.1	67.5	67.4	63.2	71.6	65.6	64.0
無回答	2.1	80.0	16.7	4.5	2.9	1.1	—	1.4	2.2	1.8	1.3
力をいれた（計）	9.2	—	11.1	5.3	4.2	7.4	11.3	13.4	8.6	8.4	9.1
力をいれなかった（計）	88.7	20.0	72.2	90.2	92.9	91.5	88.7	85.2	89.2	89.7	89.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (10) 職業資格の取得											
力をいれた	7.1	60.0	—	4.5	5.0	7.8	6.7	9.0	8.2	4.8	6.5
ある程度力をいれた	16.9	20.0	11.1	12.9	14.6	21.2	17.0	16.2	20.5	14.6	14.4
あまり力をいれなかった	23.1	—	33.3	26.5	23.3	21.9	21.6	23.8	20.9	21.6	27.9
力をいれなかった	51.5	20.0	33.3	53.0	54.2	48.4	54.7	49.8	48.5	57.9	49.6
無回答	1.4	—	22.2	3.0	2.9	0.7	—	1.1	1.9	1.1	1.6
力をいれた（計）	24.0	80.0	11.1	17.4	19.6	29.0	23.7	25.3	28.7	19.4	20.9
力をいれなかった（計）	74.6	20.0	66.7	79.5	77.5	70.3	76.3	73.6	69.4	79.5	77.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (11) 研究助手や非常勤講師											
力をいれた	8.9	—	11.1	6.8	6.7	8.1	8.4	12.3	14.0	4.6	7.3
ある程度力をいれた	24.3	20.0	33.3	20.5	21.3	20.8	23.2	32.1	28.2	19.6	24.3
あまり力をいれなかった	21.8	—	11.1	26.5	19.6	20.5	21.3	25.3	18.3	26.2	21.4
力をいれなかった	43.3	20.0	33.3	42.4	49.6	49.5	46.9	29.6	37.1	48.7	45.7
無回答	1.7	60.0	11.1	3.8	2.9	1.1	0.3	0.7	2.4	0.9	1.3
力をいれた（計）	33.2	20.0	44.4	27.3	27.9	29.0	31.5	44.4	42.2	24.1	31.6
力をいれなかった（計）	65.1	20.0	44.4	68.9	69.2	70.0	68.2	54.9	55.4	74.9	67.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (b) 修了後の職業生活にもっとも役立ったもの											
(1) 大学院での授業	18.6	—	11.1	24.2	23.3	19.1	20.2	10.8	22.2	14.1	20.4
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	37.8	40.0	50.0	42.4	39.6	39.9	35.0	35.0	37.1	41.5	36.6
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	5.2	—	11.1	5.3	5.8	5.7	5.1	5.1	1.1	7.3	7.8
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	1.7	—	—	—	1.3	1.8	3.5	0.7	1.1	2.1	2.3
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	1.3	—	—	1.5	0.8	2.1	1.3	1.1	1.9	1.8	0.3
(6) 研究プロジェクトへの参加	0.9	—	—	—	1.3	0.4	0.5	1.8	0.2	0.9	1.0
(7) 研究成果の発表や論文執筆	5.9	—	—	4.5	3.8	6.7	6.7	6.5	2.4	7.7	7.8
(8) 修士論文や博士論文の執筆	6.8	—	5.6	5.3	6.3	6.4	8.1	4.0	5.8	5.9	6.5
(9) 研究助成金の獲得	0.1	—	—	—	—	—	0.3	—	0.2	—	—
(10) 職業資格の取得	5.2	20.0	5.6	2.3	6.3	4.2	6.2	5.4	6.5	3.9	4.7
(11) 研究助手や非常勤講師	6.2	—	5.6	2.3	5.4	4.9	7.5	8.3	8.2	5.5	4.2
無回答	10.4	40.0	11.1	12.1	6.3	8.8	5.4	21.3	13.4	9.3	8.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (b) 修了後の職業生活に２番目に役立ったもの											
(1) 大学院での授業	12.1	—	16.7	15.2	12.1	12.7	12.7	9.4	14.9	9.3	11.5
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	19.8	—	11.1	19.7	25.8	22.3	21.6	11.9	20.9	17.3	21.4
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	11.0	20.0	11.1	10.6	12.1	11.3	11.6	9.4	6.5	15.0	12.8
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	5.7	—	5.6	7.6	6.3	4.9	5.9	5.1	4.7	5.9	7.0
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	4.4	—	5.6	3.0	6.3	2.5	6.2	3.2	5.8	4.8	2.9
(6) 研究プロジェクトへの参加	1.3	20.0	5.6	0.8	0.4	1.1	1.3	1.8	0.4	1.1	2.3
(7) 研究成果の発表や論文執筆	9.5	20.0	5.6	3.8	8.8	9.9	10.0	9.7	6.3	12.8	8.1
(8) 修士論文や博士論文の執筆	13.5	—	16.7	12.1	11.3	16.3	12.9	14.1	11.4	13.2	16.4
(9) 研究助成金の獲得	0.8	—	—	—	—	0.4	1.1	1.4	0.9	0.5	0.8
(10) 職業資格の取得	2.1	—	—	3.0	1.7	1.4	2.7	2.5	2.6	2.1	1.8
(11) 研究助手や非常勤講師	6.1	—	—	3.0	5.4	6.7	6.5	6.5	8.6	4.6	3.7
無回答	13.7	40.0	22.2	21.2	10.0	10.6	7.5	24.9	17.0	13.4	11.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q8. (c) 修了後の社会生活にもっとも役立ったもの											
(1) 大学院での授業	12.9	—	11.1	18.2	14.2	13.1	13.2	9.4	16.4	8.9	13.6
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	21.8	20.0	5.6	25.8	24.6	22.3	20.2	19.5	23.9	20.5	20.9
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	5.4	—	16.7	8.3	4.6	5.7	5.9	3.2	2.4	5.5	8.6
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	8.0	—	11.1	1.5	10.4	8.1	9.2	7.9	5.6	9.8	9.4
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	5.9	—	—	3.8	5.8	7.4	7.3	3.6	6.0	6.6	5.0
(6) 研究プロジェクトへの参加	1.9	—	—	1.5	2.5	1.8	2.4	1.4	1.9	1.8	2.3
(7) 研究成果の発表や論文執筆	6.4	—	5.6	3.0	6.3	6.0	7.3	8.3	2.6	10.0	7.6
(8) 修士論文や博士論文の執筆	4.7	—	11.1	2.3	3.3	3.9	6.7	4.3	3.4	4.6	5.5
(9) 研究助成金の獲得	0.4	—	—	—	—	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	—
(10) 職業資格の取得	3.8	40.0	—	2.3	4.2	3.5	3.2	4.3	4.1	3.2	2.3
(11) 研究助手や非常勤講師	10.6	—	5.6	6.1	9.6	11.0	10.2	12.6	14.4	9.3	6.8
無回答	18.2	40.0	33.3	27.3	14.6	17.0	14.0	24.9	18.8	19.6	18.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (c) 修了後の社会生活に２番目に役立ったもの											
(1) 大学院での授業	7.9	—	—	8.3	8.8	9.5	7.8	5.4	11.0	3.9	8.6
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	14.4	20.0	5.6	14.4	17.5	17.0	15.6	9.0	16.6	10.9	14.6
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	6.4	—	11.1	10.6	7.5	4.2	7.0	4.7	4.1	7.1	8.9
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	8.0	20.0	—	8.3	9.2	8.5	9.7	2.9	10.8	5.5	6.8
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	7.8	—	5.6	3.8	8.3	9.2	8.1	7.9	8.4	9.6	6.3
(6) 研究プロジェクトへの参加	3.5	20.0	11.1	1.5	3.8	2.5	4.6	3.2	2.8	4.6	3.4
(7) 研究成果の発表や論文執筆	7.5	—	11.1	5.3	6.3	8.8	7.5	7.9	3.9	10.5	7.8
(8) 修士論文や博士論文の執筆	9.0	—	11.1	6.8	6.7	7.8	8.9	12.6	6.9	10.3	9.9
(9) 研究助成金の獲得	0.8	—	—	0.8	—	0.7	0.8	1.4	0.4	0.9	1.0
(10) 職業資格の取得	3.4	—	—	3.0	2.9	3.5	3.0	5.4	2.8	4.3	3.1
(11) 研究助手や非常勤講師	7.9	—	—	3.8	7.5	7.4	7.8	9.4	8.4	5.7	7.8
無回答	23.4	40.0	44.4	33.3	21.7	20.8	19.1	30.0	23.9	26.9	21.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (d) 修了後の家庭生活にもっとも役立ったもの											
(1) 大学院での授業	11.8	—	16.7	18.2	12.5	10.6	11.9	7.9	11.6	7.3	15.7
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	18.3	20.0	5.6	18.9	18.8	19.8	17.5	17.0	19.2	15.7	20.9
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	3.3	—	16.7	0.8	4.6	3.2	3.2	2.5	1.5	2.7	5.7
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	5.2	20.0	—	1.5	10.0	3.2	5.1	4.3	4.7	6.6	2.6
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	2.1	—	—	1.5	1.7	3.2	3.2	1.1	2.6	2.5	1.8
(6) 研究プロジェクトへの参加	0.3	—	—	0.8	—	0.4	0.3	0.4	—	0.5	0.5
(7) 研究成果の発表や論文執筆	1.9	—	—	0.8	1.3	1.8	2.4	2.5	0.9	2.5	2.6
(8) 修士論文や博士論文の執筆	2.9	—	—	0.8	2.1	2.8	4.3	3.6	1.9	3.6	3.1
(9) 研究助成金の獲得	0.6	—	—	—	—	0.4	1.3	0.7	0.4	0.9	0.3
(10) 職業資格の取得	4.1	20.0	—	1.5	2.9	4.6	4.9	4.7	4.3	3.6	3.7
(11) 研究助手や非常勤講師	10.2	—	—	4.5	7.5	11.3	8.9	14.4	12.9	9.8	6.8
無回答	39.3	40.0	61.1	50.8	38.8	38.9	36.9	40.8	39.9	44.2	36.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q8. (d) 修了後の家庭生活に２番目に役立ったもの											
(1) 大学院での授業	7.8	—	11.1	6.1	7.9	4.9	10.0	7.6	9.7	4.3	9.4
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	11.7	—	11.1	10.6	13.3	13.4	9.2	10.5	13.6	8.9	11.0
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	5.2	20.0	—	7.6	5.4	4.6	5.7	4.3	2.6	5.9	7.6
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	4.9	—	—	4.5	3.8	4.2	6.7	4.0	5.2	4.3	5.0
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	4.2	—	—	3.0	4.2	3.5	4.9	4.3	4.3	6.8	1.3
(6) 研究プロジェクトへの参加	1.4	20.0	—	—	2.5	1.1	1.1	1.1	0.6	1.1	2.1
(7) 研究成果の発表や論文執筆	3.2	—	—	—	2.9	3.9	4.0	4.3	2.2	4.1	3.7
(8) 修士論文や博士論文の執筆	5.5	—	—	3.0	5.0	4.9	6.7	6.1	5.4	4.8	6.5
(9) 研究助成金の獲得	0.6	—	—	—	0.4	0.4	0.8	0.7	0.6	0.2	0.8
(10) 職業資格の取得	2.9	20.0	—	1.5	2.9	3.2	2.2	4.0	2.4	3.4	2.3
(11) 研究助手や非常勤講師	7.7	—	—	8.3	7.5	8.5	7.0	7.6	7.5	6.8	8.1
無回答	44.8	40.0	77.8	55.3	44.2	47.3	41.8	45.5	45.9	49.2	42.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q9. お茶の水女子大学大学院での学生生活の満足度											
Q9. (1) 本学の教員との交流											
非常に満足	35.7	20.0	66.7	31.8	37.9	40.6	34.2	30.3	35.6	33.3	37.3
やや満足	40.3	40.0	33.3	40.2	40.4	40.6	41.8	38.6	41.6	41.0	39.4
どちらでもない	14.1	—	—	12.1	12.5	11.7	14.6	18.4	11.0	16.9	14.4
やや不満	5.2	—	—	8.3	4.6	3.5	5.1	7.2	6.3	4.3	5.2
非常に不満	2.1	—	—	0.8	3.8	1.8	3.2	0.4	3.0	2.1	1.3
無回答	2.6	40.0	—	6.8	0.8	1.8	1.1	5.1	2.6	2.5	2.3
満足（計）	76.0	60.0	100.0	72.0	78.3	81.3	76.0	69.0	77.2	74.3	76.8
不満（計）	7.3	—	—	9.1	8.3	5.3	8.4	7.6	9.3	6.4	6.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (2) 在学中の友人 Q9.（お茶大生）との交流											
非常に満足	40.1	60.0	50.0	25.0	37.9	44.2	42.6	40.4	36.4	41.7	42.3
やや満足	41.0	—	38.9	47.7	45.4	39.6	41.5	35.4	42.2	39.2	42.3
どちらでもない	12.9	20.0	11.1	16.7	12.9	11.7	12.1	13.4	12.7	14.6	11.5
やや不満	3.0	—	—	3.0	2.5	3.5	2.2	5.1	5.0	1.6	2.1
非常に不満	0.7	—	—	1.5	—	—	0.5	1.1	0.9	0.7	0.3
無回答	2.3	20.0	—	6.1	1.3	1.1	1.1	4.7	2.8	2.3	1.6
満足（計）	81.1	60.0	88.9	72.7	83.3	83.7	84.1	75.8	78.7	80.9	84.6
不満（計）	3.7	—	—	4.5	2.5	3.5	2.7	6.1	5.8	2.3	2.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (3) 修了生との交流											
非常に満足	10.6	—	11.1	9.1	14.2	9.9	9.4	8.7	9.7	7.5	13.6
やや満足	28.9	—	33.3	25.0	32.1	33.2	29.9	20.6	29.7	26.9	29.8
どちらでもない	42.6	40.0	33.3	47.0	40.8	43.1	42.0	44.4	39.4	46.9	42.6
やや不満	10.5	—	—	5.3	7.9	9.5	12.9	15.2	12.7	10.9	8.4
非常に不満	4.4	20.0	—	6.1	3.3	2.8	4.3	6.5	5.2	5.0	3.1
無回答	3.0	40.0	22.2	7.6	1.7	1.4	1.3	4.7	3.2	2.7	2.6
満足（計）	39.5	—	44.4	34.1	46.3	43.1	39.4	29.2	39.4	34.4	43.3
不満（計）	14.9	20.0	—	11.4	11.3	12.4	17.3	21.7	17.9	15.9	11.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (4) 事務窓口の対応											
非常に満足	4.6	—	—	3.8	5.0	4.2	4.0	4.3	3.2	4.1	5.2
やや満足	19.1	—	27.8	12.1	20.0	25.1	17.5	16.2	20.5	15.3	20.6
どちらでもない	55.1	40.0	50.0	63.6	60.8	59.7	56.9	41.9	54.3	58.5	55.4
やや不満	13.5	—	5.6	10.6	9.6	7.4	15.6	22.4	12.9	14.8	12.3
非常に不満	5.2	20.0	—	3.8	3.8	2.5	4.9	10.5	6.3	5.0	4.4
無回答	2.5	40.0	16.7	6.1	0.8	1.1	1.1	4.7	2.8	2.3	2.1
満足（計）	23.6	—	27.8	15.9	25.0	29.3	21.6	20.6	23.7	19.4	25.8
不満（計）	18.8	20.0	5.6	14.4	13.3	9.9	20.5	32.9	19.2	19.8	16.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (5) 就職・進学の指導・支援体制											
非常に満足	5.2	20.0	16.7	3.8	5.0	7.8	3.5	2.9	5.0	3.4	6.3
やや満足	13.8	20.0	5.6	12.1	15.4	21.2	11.6	9.4	10.1	14.4	17.8
どちらでもない	40.5	20.0	50.0	50.0	45.4	42.4	37.5	34.7	39.2	44.2	39.4
やや不満	22.9	—	5.6	12.9	19.2	18.0	28.8	30.0	24.4	23.7	21.1
非常に不満	14.9	20.0	5.6	13.6	13.8	9.5	17.3	18.4	18.3	11.8	12.8
無回答	2.7	20.0	16.7	7.6	1.3	1.1	1.3	4.7	3.0	2.5	2.6
満足（計）	19.0	40.0	22.2	15.9	20.4	29.0	15.1	12.3	15.1	17.8	24.0
不満（計）	37.8	20.0	11.1	26.5	32.9	27.6	46.1	48.4	42.7	35.5	33.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q9. (6) 教育・研究支援体制											
非常に満足	8.3	—	16.7	4.5	5.8	10.6	9.4	5.8	10.1	6.6	6.5
やや満足	24.1	20.0	33.3	24.2	28.8	25.8	21.6	20.9	22.2	23.0	29.2
どちらでもない	42.5	20.0	33.3	42.4	43.3	43.1	42.3	44.4	39.2	47.4	40.5
やや不満	16.4	20.0	5.6	13.6	15.0	14.1	18.1	18.8	17.5	14.4	17.2
非常に不満	5.7	—	—	6.8	5.4	4.9	7.0	5.1	8.0	5.9	3.1
無回答	3.1	40.0	11.1	8.3	1.7	1.4	1.6	5.1	3.0	2.7	3.4
満足（計）	32.4	20.0	50.0	28.8	34.6	36.4	31.0	26.7	32.3	29.6	35.8
不満（計）	22.1	20.0	5.6	20.5	20.4	19.1	25.1	23.8	25.4	20.3	20.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (7) 留学・国際交流支援体制											
非常に満足	2.1	20.0	—	0.8	0.8	2.5	2.2	2.9	3.2	1.6	1.3
やや満足	4.7	—	5.6	1.5	4.2	4.2	3.5	7.6	5.4	4.1	4.2
どちらでもない	66.3	40.0	61.1	56.1	70.8	69.3	66.0	63.5	59.7	67.4	70.5
やや不満	14.6	—	11.1	20.5	13.3	12.7	17.3	13.0	16.8	14.1	14.1
非常に不満	9.0	20.0	5.6	11.4	9.2	9.2	9.7	7.9	10.6	9.8	7.6
無回答	3.3	20.0	16.7	9.8	1.7	2.1	1.3	5.1	4.3	3.0	2.3
満足（計）	6.8	20.0	5.6	2.3	5.0	6.7	5.7	10.5	8.6	5.7	5.5
不満（計）	23.6	20.0	16.7	31.8	22.5	21.9	27.0	20.9	27.4	23.9	21.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (8) 経済的支援 Q9.（奨学金等）体制											
非常に満足	8.2	20.0	—	5.3	10.8	8.8	7.5	6.5	8.2	5.7	10.4
やや満足	16.8	—	11.1	18.2	19.6	14.8	17.3	15.5	15.5	14.8	20.6
どちらでもない	54.4	20.0	55.6	47.7	52.9	56.9	56.6	53.4	51.9	59.2	50.9
やや不満	11.2	—	11.1	13.6	9.2	10.2	11.9	12.6	10.8	11.4	12.0
非常に不満	6.1	20.0	5.6	6.8	5.4	6.7	5.4	6.9	9.3	5.9	3.4
無回答	3.4	40.0	16.7	8.3	2.1	2.5	1.3	5.1	4.3	3.0	2.6
満足（計）	25.0	20.0	11.1	23.5	30.4	23.7	24.8	22.0	23.7	20.5	31.1
不満（計）	17.3	20.0	16.7	20.5	14.6	17.0	17.3	19.5	20.0	17.3	15.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (9) 指導教員の指導方法・指導内容											
非常に満足	32.2	40.0	61.1	23.5	33.8	33.6	33.2	28.9	32.8	28.7	34.7
やや満足	34.0	40.0	33.3	37.9	33.3	37.5	32.3	32.5	35.6	33.9	33.2
どちらでもない	17.8	—	5.6	15.2	19.6	17.7	17.3	19.5	14.0	22.8	16.4
やや不満	9.5	—	—	12.9	7.1	7.1	11.9	9.7	10.6	7.5	10.2
非常に不満	3.9	—	—	2.3	5.4	2.8	4.3	4.3	3.9	4.6	3.7
無回答	2.6	20.0	—	8.3	0.8	1.4	1.1	5.1	3.2	2.5	1.8
満足（計）	66.3	80.0	94.4	61.4	67.1	71.0	65.5	61.4	68.3	62.6	67.9
不満（計）	13.4	—	—	15.2	12.5	9.9	16.2	14.1	14.4	12.1	13.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (10) 女性支援体制											
非常に満足	4.8	—	—	1.5	2.5	6.4	5.7	5.4	5.6	3.2	5.2
やや満足	13.5	20.0	11.1	3.8	10.8	13.4	13.5	19.9	12.7	14.6	11.7
どちらでもない	62.7	40.0	61.1	62.9	63.3	64.7	63.9	58.8	58.0	65.1	66.3
やや不満	9.5	—	5.6	13.6	12.5	8.1	9.4	6.9	10.6	10.0	8.1
非常に不満	6.1	—	5.6	9.1	8.3	5.7	6.2	4.0	8.6	4.3	6.0
無回答	3.4	40.0	16.7	9.1	2.5	1.8	1.3	5.1	4.5	2.7	2.6
満足（計）	18.3	20.0	11.1	5.3	13.3	19.8	19.1	25.3	18.3	17.8	17.0
不満（計）	15.6	—	11.1	22.7	20.8	13.8	15.6	10.8	19.2	14.4	14.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q9. (11) 授業											
非常に満足	18.9	20.0	50.0	14.4	16.7	16.6	22.1	15.5	24.4	12.8	16.7
やや満足	47.4	60.0	27.8	50.8	56.3	57.2	40.7	39.4	50.2	44.4	48.0
どちらでもない	20.6	—	5.6	20.5	17.1	17.3	23.5	26.0	12.5	27.6	24.0
やや不満	8.4	—	5.6	6.1	6.7	5.7	10.5	11.6	7.3	10.5	7.3
非常に不満	2.1	—	—	1.5	2.1	2.1	2.2	2.5	2.6	2.3	1.8
無回答	2.7	20.0	11.1	6.8	1.3	1.1	1.1	5.1	3.0	2.5	2.1
満足（計）	66.3	80.0	77.8	65.2	72.9	73.9	62.8	54.9	74.6	57.2	64.8
不満（計）	10.5	—	5.6	7.6	8.8	7.8	12.7	14.1	9.9	12.8	9.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (12) 修士論文											
非常に満足	26.5	—	33.3	19.7	28.8	26.5	28.3	24.5	26.3	24.1	29.0
やや満足	43.3	40.0	33.3	50.8	44.6	44.5	41.8	42.2	42.2	45.8	43.1
どちらでもない	18.2	20.0	16.7	16.7	14.2	19.1	17.0	24.2	17.5	21.0	16.7
やや不満	6.7	—	—	5.3	7.9	7.4	8.6	2.5	6.7	5.5	7.3
非常に不満	1.8	—	5.6	0.8	1.7	1.1	3.0	0.7	3.4	0.7	1.0
無回答	3.5	40.0	11.1	6.8	2.9	1.4	1.3	5.8	3.9	3.0	2.9
満足（計）	69.8	40.0	66.7	70.5	73.3	71.0	70.1	66.8	68.5	69.9	72.1
不満（計）	8.5	—	5.6	6.1	9.6	8.5	11.6	3.2	10.1	6.2	8.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (13) 授業で使用した教室											
非常に満足	7.4	—	11.1	5.3	7.9	7.1	7.0	7.9	5.0	9.3	7.6
やや満足	30.7	20.0	11.1	25.0	34.6	36.0	28.6	28.9	26.1	33.0	33.7
どちらでもない	37.0	20.0	44.4	44.7	41.3	35.0	36.7	32.1	36.0	39.0	37.1
やや不満	18.0	20.0	11.1	15.9	12.5	17.7	21.3	20.6	23.1	14.4	16.4
非常に不満	4.2	—	5.6	3.0	2.9	3.2	5.1	5.4	6.7	2.1	2.9
無回答	2.7	40.0	16.7	6.1	0.8	1.1	1.3	5.1	3.2	2.3	2.3
満足（計）	38.1	20.0	22.2	30.3	42.5	43.1	35.6	36.8	31.0	42.4	41.3
不満（計）	22.1	20.0	16.7	18.9	15.4	20.8	26.4	26.0	29.7	16.4	19.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (14) 図書館											
非常に満足	6.7	20.0	5.6	3.8	8.8	7.8	7.0	4.7	6.9	6.6	5.5
やや満足	31.0	20.0	16.7	29.5	38.3	40.3	26.7	23.1	31.0	30.8	31.6
どちらでもない	27.7	20.0	55.6	36.4	30.0	24.0	30.2	20.9	25.9	31.4	26.9
やや不満	22.6	20.0	11.1	19.7	16.7	19.4	22.9	31.8	22.0	22.1	24.0
非常に不満	9.3	—	—	3.8	5.4	7.4	12.1	14.4	11.2	6.8	9.7
無回答	2.6	20.0	11.1	6.8	0.8	1.1	1.1	5.1	3.0	2.3	2.3
満足（計）	37.8	40.0	22.2	33.3	47.1	48.1	33.7	27.8	37.9	37.4	37.1
不満（計）	31.9	20.0	11.1	23.5	22.1	26.9	35.0	46.2	33.2	28.9	33.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9. (15) 教育全般											
非常に満足	12.5	20.0	33.3	6.1	11.7	14.8	14.3	7.6	14.9	9.8	10.7
やや満足	46.3	—	33.3	42.4	51.7	54.1	43.9	40.8	47.2	41.7	51.2
どちらでもない	28.8	40.0	27.8	31.8	24.6	22.6	28.6	37.9	23.1	37.4	26.6
やや不満	8.1	20.0	—	9.8	8.8	6.7	10.2	6.5	9.5	6.8	7.8
非常に不満	1.7	—	—	2.3	2.1	0.7	1.9	2.2	2.2	1.8	1.6
無回答	2.7	20.0	5.6	7.6	1.3	1.1	1.1	5.1	3.2	2.5	2.1
満足（計）	58.7	20.0	66.7	48.5	63.3	68.9	58.2	48.4	62.1	51.5	61.9
不満（計）	9.8	20.0	—	12.1	10.8	7.4	12.1	8.7	11.6	8.7	9.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q9.（16）学生支援全般											
非常に満足	3.4	—	—	1.5	5.4	4.9	2.7	2.2	3.2	3.9	2.6
やや満足	21.6	—	5.6	12.1	20.8	27.9	21.8	19.1	20.5	18.5	25.3
どちらでもない	53.2	40.0	77.8	57.6	51.3	53.0	53.4	53.8	50.0	58.5	53.5
やや不満	15.5	20.0	5.6	14.4	18.8	9.2	17.0	18.4	17.2	14.1	14.1
非常に不満	3.5	—	—	6.1	2.5	3.5	4.0	1.4	5.4	2.3	2.3
無回答	2.9	40.0	11.1	8.3	1.3	1.4	1.1	5.1	3.7	2.7	2.1
満足（計）	24.9	—	5.6	13.6	26.3	32.9	24.5	21.3	23.7	22.3	27.9
不満（計）	19.0	20.0	5.6	20.5	21.3	12.7	21.0	19.9	22.6	16.4	16.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9.（17）大学内の設備・施設全般											
非常に満足	3.7	—	—	0.8	4.2	5.3	3.5	3.2	3.9	3.9	2.6
やや満足	30.6	40.0	27.8	23.5	34.2	35.7	28.8	27.8	26.9	32.6	32.9
どちらでもない	37.0	20.0	44.4	40.9	41.3	36.0	34.5	36.1	34.3	40.8	37.9
やや不満	21.5	20.0	11.1	22.7	15.8	18.0	28.3	22.4	26.1	17.1	20.6
非常に不満	4.5	—	—	5.3	3.3	3.9	3.8	5.4	5.6	3.2	3.7
無回答	2.7	20.0	16.7	6.8	1.3	1.1	1.1	5.1	3.2	2.5	2.3
満足（計）	34.3	40.0	27.8	24.2	38.3	41.0	32.3	31.0	30.8	36.4	35.5
不満（計）	26.0	20.0	11.1	28.0	19.2	21.9	32.1	27.8	31.7	20.3	24.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q9.（18）大学全体の雰囲気											
非常に満足	22.9	20.0	38.9	9.8	21.3	23.3	25.1	24.5	23.1	23.0	22.2
やや満足	47.2	20.0	27.8	49.2	51.3	50.9	45.8	43.7	45.5	46.9	49.6
どちらでもない	20.4	20.0	22.2	23.5	18.8	19.4	21.0	20.6	18.5	22.6	20.6
やや不満	5.7	20.0	5.6	7.6	6.3	4.6	6.2	4.7	7.8	4.1	4.7
非常に不満	1.2	—	—	2.3	1.7	0.7	0.8	1.4	1.9	0.9	1.0
無回答	2.6	20.0	5.6	7.6	0.8	1.1	1.1	5.1	3.2	2.5	1.8
満足（計）	70.1	40.0	66.7	59.1	72.5	74.2	70.9	68.2	68.5	69.9	71.8
不満（計）	6.9	20.0	5.6	9.8	7.9	5.3	7.0	6.1	9.7	5.0	5.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1396	5	18	132	240	283	371	277	464	439	383
Q10. 学部卒業直後の収入をともなう仕事の経験											
正規社員・正規職員として働いた	71.6	81.6	78.9	78.8	71.6	76.0	67.1	56.5	73.8	66.3	73.1
派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた	2.5	0.7	3.1	2.9	2.5	1.4	2.4	3.9	3.2	1.7	2.3
パート・アルバイトで働いた	3.4	0.4	4.6	3.0	4.6	2.5	3.4	4.5	3.9	2.7	3.9
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事	0.9	0.9	1.4	1.3	1.6	0.7	0.2	0.3	1.4	0.3	0.4
家業の手伝いをした	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4
大学院進学、留学をした	14.3	1.5	3.0	7.9	12.0	16.0	22.1	28.7	11.0	25.1	13.4
収入をともなう仕事にはつかなかった	4.4	1.3	6.7	4.7	6.1	2.5	3.7	4.8	4.9	2.6	5.5
無回答	2.5	13.2	1.9	1.3	1.1	0.7	0.9	1.0	1.5	1.2	0.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q10-1（1）. 卒業直後に仕事に就いた年齢											
22 歳以前	71.2	82.7	66.4	73.5	75.1	72.0	69.1	64.8	70.0	73.2	71.2
23 歳	20.6	7.0	21.5	19.4	20.6	22.3	24.1	22.7	21.9	18.6	22.3
24 歳	4.3	1.6	5.7	4.3	2.4	3.4	4.5	8.0	4.3	6.2	3.6
25 歳以降	2.4	0.7	3.2	2.0	1.6	2.0	2.1	4.5	2.6	1.7	2.2
無回答	1.5	8.1	3.2	0.8	0.3	0.2	0.3	—	1.3	0.3	0.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7093	445	1024	1207	1156	1204	1190	775	3172	1356	1960

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q10-1（2）．卒業直後に就いた職業											
専門・技術的職業	64.3	91.2	84.0	76.6	66.3	57.8	44.3	39.7	53.9	87.2	58.6
管理的職業	0.5	1.1	0.5	0.7	0.3	0.7	0.3	0.1	0.8	0.4	0.2
事務的職業	24.9	3.6	10.5	16.2	26.7	33.7	36.6	37.0	33.7	8.2	27.6
販売的職業	4.7	—	0.2	1.0	1.9	4.7	9.9	15.6	4.9	1.3	7.9
保安・サービス的職業	1.0	—	—	0.5	0.9	0.7	2.4	2.5	1.3	0.1	1.3
運輸・通信的職業	0.3	—	0.1	0.2	0.6	0.1	0.6	0.6	0.4	0.4	0.3
農林漁業	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	0.1	—
技能工・単純労務作業	0.1	—	—	—	0.1	—	0.3	0.5	0.1	0.1	0.2
その他	3.5	1.3	3.6	4.1	3.0	2.2	5.3	3.9	4.3	2.0	3.8
無回答	0.6	2.7	1.1	0.7	0.1	0.1	0.4	—	0.6	0.3	0.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7093	445	1024	1207	1156	1204	1190	775	3172	1356	1960
Q10-1（2）．卒業直後に就いた専門・技術的職業											
研究者	12.9	2.0	9.4	18.5	13.0	17.4	12.3	13.0	1.9	24.7	20.7
技術者	7.3	—	4.8	5.8	7.3	11.6	12.5	10.7	1.2	18.5	7.5
SE	10.3	—	0.3	1.8	5.2	20.8	32.8	29.9	8.7	18.9	8.2
カウンセラー	0.7	—	0.3	1.1	0.4	0.1	1.5	1.6	1.1	0.1	1.0
栄養士	0.1	—	—	—	—	—	0.2	1.6	—	—	0.5
大学講師	1.8	2.5	2.3	2.2	2.7	0.9	0.2	0.3	1.4	0.8	3.4
高校教師	27.7	54.4	32.9	30.2	25.4	22.3	14.6	8.1	36.6	16.9	17.7
中学教師	14.8	24.6	24.5	12.1	16.0	8.6	5.5	6.5	18.6	11.6	7.8
小学校教師	6.1	3.2	6.7	6.3	9.6	5.5	3.6	6.2	7.6	0.3	10.8
幼稚園教師	4.7	6.2	7.4	6.7	3.9	2.4	1.7	1.3	5.2	0.1	7.4
保育士	0.6	0.2	0.2	0.6	0.7	0.6	0.9	1.6	0.2	—	1.9
学芸員	0.2	—	0.1	—	—	0.4	0.6	—	0.4	—	—
社会調査士	0.1	—	—	—	—	0.3	—	1.0	0.1	—	0.3
その他	12.0	6.7	9.8	13.7	14.7	8.8	13.1	17.9	16.2	7.7	11.9
無回答	0.7	0.2	1.0	1.0	0.9	0.3	0.4	0.3	0.6	0.5	1.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4562	406	860	925	767	696	527	308	1711	1183	1148
Q10-1（3）．卒業直後の就業先の業種											
農林漁業	0.1	—	0.3	0.2	—	0.2	0.1	—	—	0.1	0.3
鉱業	0.1	—	0.2	0.1	0.3	0.1	—	—	0.1	0.4	—
建設業	0.5	—	—	0.2	1.0	0.5	1.1	0.4	0.4	—	1.1
製造業	13.7	—	6.5	13.5	14.8	22.8	15.5	14.8	7.0	25.7	19.9
電気・ガス・熱供給・水道業	0.6	—	0.2	0.2	0.4	1.3	1.1	0.4	0.4	1.1	0.7
運輸・通信業	1.9	—	0.4	1.8	2.0	2.2	3.2	2.5	2.7	1.0	1.3
卸売・小売業、飲食店	3.6	—	0.7	1.0	4.1	4.8	5.9	7.6	3.9	0.7	5.9
金融・保険業、不動産業	7.3	0.2	1.4	2.4	8.1	11.8	11.7	12.5	8.0	7.0	8.2
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	6.3	0.2	6.5	7.2	4.5	5.7	9.2	7.4	9.6	2.2	5.4
情報・通信	7.0	—	1.7	2.0	4.0	9.4	15.6	14.1	6.5	13.2	5.3
医療・福祉	2.1	0.2	1.0	2.0	2.6	1.4	2.7	4.0	1.2	1.9	3.8
教育・研究	42.1	80.4	65.9	55.6	46.1	28.8	16.9	18.1	42.9	37.7	34.0
法律・会計	0.4	—	0.1	—	—	0.9	0.8	0.8	0.5	0.3	0.5
公務	5.4	1.6	2.0	4.4	4.3	4.7	8.9	11.5	7.3	2.4	5.4
その他	5.4	1.3	4.3	5.3	6.5	5.2	6.9	5.8	6.0	4.3	6.2
無回答	3.6	16.0	8.9	4.1	1.4	0.2	0.5	0.3	3.3	1.9	2.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7093	445	1024	1207	1156	1204	1190	775	3172	1356	1960
Q10-1（4）．卒業直後の勤務先全体の従業員数											
1～29 人	9.9	21.6	14.0	12.1	9.2	4.8	6.7	7.6	10.6	4.5	9.7
30～99 人	17.0	27.9	31.3	22.4	17.4	10.0	7.5	7.6	19.0	14.0	13.2
100～299 人	9.2	3.6	8.6	8.9	9.3	8.9	10.7	12.4	10.2	9.3	9.0
300～499 人	2.9	0.4	2.8	1.7	2.2	2.2	5.4	5.2	3.0	2.3	3.7
500～999 人	5.5	0.7	3.0	5.6	4.7	6.1	7.8	8.4	4.9	5.5	7.6
1000 人以上	30.8	1.1	8.3	20.8	31.3	50.5	45.0	43.0	26.0	46.1	35.5
国家公務員	5.0	6.5	6.4	8.5	3.7	2.2	3.9	4.6	4.7	6.9	3.9
地方公務員	16.4	24.9	18.8	16.6	20.2	14.9	12.1	10.1	18.5	9.6	15.4
無回答	3.2	13.3	6.6	3.5	2.0	0.3	1.0	1.2	3.1	1.8	2.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7093	445	1024	1207	1156	1204	1190	775	3172	1356	1960

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q10-1（5）．お茶の水女子大学卒業の勤務先での評価											
かなり肯定的だった（である）	63.6	78.4	71.6	68.1	61.2	62.5	56.8	54.2	62.4	65.6	61.8
どちらかといえば肯定的だった（である）	27.9	10.1	21.1	25.5	30.7	29.7	34.5	35.5	28.8	28.7	30.0
どちらかといえば否定的だった（である）	1.2	0.2	0.8	1.1	1.3	1.6	1.8	1.0	1.6	0.6	1.3
かなり否定的だった（である）	0.4	—	0.2	0.3	0.4	0.6	0.3	0.5	0.5	0.1	0.6
よくわからない	5.1	2.0	3.2	3.7	5.6	5.6	6.2	8.4	5.4	4.7	5.6
無回答	1.7	9.2	3.1	1.2	0.8	0.1	0.3	0.4	1.3	0.4	0.8
肯定的（計）	91.6	88.5	92.7	93.6	91.9	92.2	91.3	89.7	91.2	94.2	91.8
否定的（計）	1.6	0.2	1.0	1.4	1.7	2.2	2.2	1.5	2.1	0.7	1.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7093	445	1024	1207	1156	1204	1190	775	3172	1356	1960
Q10-1（6）．卒業直後に働いた仕事の継続											
やめた	75.8	89.9	94.8	94.2	81.3	74.6	60.7	30.5	76.2	74.7	72.6
現在まで同じ仕事を続けているが、勤務先は変わった	6.8	1.3	1.7	2.5	10.3	9.8	9.4	9.8	6.7	7.0	8.0
現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている	16.1	1.3	1.1	2.6	8.0	15.4	29.4	59.4	15.9	17.7	18.8
無回答	1.3	7.4	2.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.4	1.1	0.6	0.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7093	445	1024	1207	1156	1204	1190	775	3172	1356	1960
Q10-2（1）．卒業直後に働いた仕事をやめるまでの年数											
0年	0.5	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.8	4.2	0.7	0.2	0.6
1～2年	28.2	14.5	22.3	32.9	36.4	22.0	25.9	53.8	29.1	25.6	32.7
3～5年	35.7	21.5	31.2	35.2	38.3	44.0	39.1	32.6	34.2	40.7	39.2
6～10年	16.7	10.5	16.3	11.0	14.0	23.5	28.3	6.4	17.0	18.9	16.5
11～15年	3.5	3.5	4.5	1.9	2.8	5.2	4.7	—	4.0	2.6	3.0
16～20年	1.4	3.5	1.5	0.5	1.1	2.8	0.1	0.4	1.3	1.5	1.0
21年以上	13.0	41.5	22.6	17.6	6.7	2.0	0.8	2.1	12.8	10.4	6.5
無回答	1.0	4.8	1.3	0.6	0.3	0.2	0.3	0.4	1.0	0.3	0.4
平均年数	8.4	19.2	11.9	9.3	5.6	5.5	4.9	3.1	8.3	7.6	6.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	5379	400	971	1137	940	898	722	236	2418	1013	1423
Q10-2（2）．仕事をやめた理由（複数回答）．											
転職のため	14.1	5.5	10.7	9.4	9.8	15.5	27.4	41.1	14.9	13.7	16.1
結婚のため	35.5	29.3	32.4	41.3	46.4	36.1	26.7	14.4	34.1	38.8	37.8
出産、育児のため	21.7	19.0	27.0	22.1	22.6	24.4	16.2	5.1	20.7	25.4	20.8
配偶者の転勤のため	9.7	5.3	9.4	10.0	9.3	12.9	11.2	3.4	9.7	10.9	10.3
家族の介護のため	2.7	5.5	4.5	2.6	3.0	0.8	0.8	0.8	2.9	2.1	1.7
自分自身の健康問題	6.3	10.8	7.2	4.5	5.9	5.3	5.8	10.6	6.5	5.0	5.5
家族の反対	1.9	2.0	2.5	2.0	2.2	1.7	1.0	0.4	1.7	2.2	2.0
労働条件が過酷だから	6.1	0.8	2.2	3.2	3.7	7.8	14.0	25.0	7.5	4.3	6.5
収入が少ないから	1.5	0.3	1.0	0.7	1.9	1.2	2.5	6.4	1.5	1.4	1.9
人員整理・倒産	0.7	0.8	0.3	0.6	0.7	0.6	1.1	2.1	0.8	0.4	0.8
キャリアを積む限界がみえたから	8.3	1.8	3.8	6.2	7.1	12.2	13.9	22.0	8.9	8.5	8.7
職場の人間関係のため	3.1	0.3	2.0	1.8	2.9	3.5	7.2	6.4	3.0	2.3	4.6
その他	20.0	37.0	23.9	23.2	16.4	12.2	14.4	16.9	20.8	15.9	16.2
無回答	0.6	2.3	1.1	0.5	0.1	0.2	—	—	0.6	0.5	0.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	5379	400	971	1137	940	898	722	236	2418	1013	1423
Q10-2（3）．仕事をやめた後の収入をともなう仕事の経験											
再就職してフルタイムで働いた	27.1	14.5	24.5	24.8	25.4	28.2	36.0	49.6	27.4	29.6	28.5
再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託	32.3	19.5	28.4	30.0	36.3	39.6	34.6	32.6	31.3	32.0	37.2
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事	12.3	9.8	11.4	16.2	15.7	12.8	7.2	0.4	14.8	15.0	7.0
家業の手伝いをした	2.8	5.0	2.8	2.6	3.9	2.9	1.4	—	2.6	1.9	3.1
収入をともなう仕事はしなかった	23.1	39.5	28.9	23.7	18.1	16.3	20.6	16.9	21.8	20.4	22.3
無回答	2.5	11.8	3.9	2.7	0.5	0.2	0.1	0.4	2.1	1.1	1.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	5379	400	971	1137	940	898	722	236	2418	1013	1423

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q10-3（1）．仕事を見つけた経緯											
新聞などの求人欄をみて応募	19.7	3.6	6.3	14.0	23.7	31.9	32.0	10.3	22.1	17.6	20.4
Web上の求人欄を見て応募	4.3	—	—	0.4	0.9	2.8	12.9	33.8	4.2	4.4	5.0
職業紹介所の紹介	3.8	0.5	—	0.6	1.8	3.6	11.4	20.5	4.1	3.6	4.3
友人の紹介	18.5	22.1	24.8	25.1	19.2	13.2	10.1	5.6	17.9	20.6	16.2
親類の紹介	5.6	4.1	4.9	5.4	5.8	7.2	6.1	3.1	5.7	4.9	6.4
前の職場の人の紹介	10.4	16.9	15.2	10.9	5.9	10.8	8.4	4.1	10.9	11.6	7.2
お茶の水女子大学大学院同窓会関係者の紹介	8.5	10.3	11.0	9.8	11.2	6.7	4.2	2.1	5.2	10.9	12.3
その他	28.2	37.4	36.3	32.9	30.6	23.2	14.7	20.5	29.0	25.9	27.3
無回答	1.1	5.1	1.4	1.0	0.9	0.7	0.2	—	1.0	0.4	0.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4004	195	652	836	765	750	572	195	1841	795	1079
Q10-4（1）．現在まで同じ仕事を続けていて、これまでに仕事をやめようと思った経験											
ある	50.1	25.0	28.6	32.8	50.0	49.0	56.9	49.1	49.9	51.6	51.3
ない	46.7	75.0	67.9	59.0	47.6	48.4	39.8	47.6	47.1	46.3	44.8
覚えていない	1.6	—	—	1.6	0.9	1.3	1.9	1.9	0.8	1.8	2.7
無回答	1.6	—	3.6	6.6	1.4	1.3	1.3	1.5	2.2	0.3	1.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1621	12	28	61	212	304	462	536	718	335	524
Q10-4（2）．仕事をやめようと思った理由（複数回答）											
転職のため	11.7	—	—	5.0	0.9	4.7	11.8	20.9	11.5	12.7	11.2
結婚のため	7.5	33.3	12.5	10.0	1.9	6.7	6.8	10.3	6.1	7.5	8.9
出産、育児のため	22.3	100.0	37.5	50.0	36.8	32.2	24.3	5.3	19.0	22.0	26.8
配偶者の転勤のため	3.2	—	—	5.0	7.5	6.0	2.7	0.4	3.4	5.8	1.5
家族の介護のため	4.2	—	25.0	20.0	14.2	4.7	1.1	1.1	4.7	5.8	2.2
自分自身の健康問題	12.8	33.3	—	15.0	12.3	14.8	13.7	11.0	12.3	9.8	15.2
家族の反対	1.5	—	—	5.0	1.9	2.0	0.4	1.9	1.1	2.3	1.5
労働条件が過酷だから	32.1	—	12.5	10.0	29.2	26.2	33.8	37.6	33.0	27.7	34.2
収入が少ないから	10.7	—	—	—	1.9	1.3	10.6	20.9	11.2	10.4	10.0
人員整理・倒産	0.1	—	—	—	—	—	0.4	—	—	0.6	—
キャリアを積む限界がみえたから	30.7	—	—	20.0	19.8	28.9	33.1	35.7	31.6	32.9	28.3
職場の人間関係のため	25.5	—	12.5	35.0	12.3	26.2	29.3	26.6	26.3	24.3	25.7
その他	18.1	—	—	25.0	20.8	20.1	17.9	16.3	18.7	23.7	14.5
無回答	1.6	—	12.5	—	0.9	1.3	1.1	2.3	2.0	2.3	0.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	812	3	8	20	106	149	263	263	358	173	269
Q10-5. 大学卒業直後に収入を伴う仕事につかなかった理由											
結婚したから（婚約中も含む）	37.7	28.6	46.8	47.8	59.6	34.2	13.3	10.5	37.2	36.0	38.7
家事手伝いや稽古事をしたから	6.0	—	6.3	9.0	11.2	5.3	—	—	5.8	8.0	5.8
ボランティア、NPOなどの社会活動をしたから	0.7	—	—	1.5	—	—	3.3	—	1.0	—	0.7
進学・就職の準備期間としたかったから	22.6	14.3	10.1	14.9	11.2	23.7	31.7	54.4	22.0	28.0	22.6
希望の仕事につけなかったから	6.5	—	8.9	4.5	2.2	—	10.0	12.3	8.9	6.0	2.9
就職する意志がなかったから	6.0	—	7.6	6.0	7.9	7.9	6.7	—	6.8	2.0	5.8
自分の時間を持ちたかったから	1.2	—	1.3	—	2.2	2.6	—	1.8	1.0	4.0	0.7
その他	15.9	42.9	11.4	13.4	5.6	23.7	31.7	17.5	13.1	14.0	19.7
無回答	3.5	14.3	7.6	3.0	—	2.6	3.3	3.5	4.2	2.0	2.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	403	7	79	67	89	38	60	57	191	50	137
Q11. 大学院修了直後の収入をともなう仕事の経験											
フルタイムで働いた	51.7	70.0	54.2	48.2	43.1	54.1	61.7	46.7	40.9	66.4	51.2
主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託	20.2	—	14.5	21.9	25.9	21.2	20.6	11.0	27.4	8.8	20.4
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした	0.9	—	—	1.3	2.7	0.5	0.7	0.3	1.9	0.3	0.4
家業の手伝いをした	0.3	—	—	—	0.3	0.3	0.4	—	0.1	0.2	0.2
収入をともなう仕事にはつかなかった	8.1	10.0	14.5	10.7	12.1	7.4	4.9	6.3	7.7	7.8	8.6
無回答	18.8	20.0	16.9	17.9	15.8	16.5	11.6	35.7	21.9	16.4	19.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1860	10	83	224	297	364	447	364	675	578	490

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q11-1（1）. 修了直後に仕事に就いた年齢											
24歳以前	44.4	28.6	8.8	33.8	41.0	42.0	51.9	63.3	36.4	57.0	45.6
25歳	15.1	—	10.5	14.0	16.1	16.4	12.0	20.0	16.3	11.3	19.1
26歳	7.4	—	3.5	9.6	7.3	6.9	8.4	6.2	10.6	4.6	6.8
27歳以降	30.5	42.9	66.7	38.9	32.7	33.2	25.8	9.0	33.6	25.3	25.4
無回答	2.6	28.6	10.5	3.8	2.9	1.5	1.9	1.4	3.0	1.8	3.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351
Q11-1（2）. 修了直後に就いた職業											
教育・研究職	63.4	85.7	93.0	84.7	72.7	74.8	49.7	34.8	69.6	58.6	57.8
専門・技術的職業	21.6	—	3.5	8.9	17.1	14.2	30.2	38.6	10.2	31.0	27.4
管理的職業	0.3	—	3.5	—	0.5	0.4	—	—	—	0.5	0.6
事務的職業	8.7	—	—	1.9	3.9	6.6	13.6	14.8	11.1	6.4	8.0
販売的職業	1.6	—	—	—	0.5	1.1	1.1	6.7	2.8	0.7	1.7
保安・サービス的職業	0.2	—	—	—	—	—	—	1.4	0.2	0.5	—
運輸・通信的職業	0.1	—	—	—	0.5	—	0.3	—	—	0.5	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2.1	—	—	1.3	1.0	2.6	3.3	2.4	3.5	0.9	2.0
無回答	1.9	14.3	—	3.2	3.9	0.4	1.9	1.4	2.6	0.9	2.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351
Q11-1（2）. 修了直後に就いた専門・技術的職業											
技術者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SE	18.0	—	—	—	11.4	7.7	18.0	30.9	14.9	26.7	8.3
カウンセラー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栄養士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学芸員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会調査士	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	0.3	—	—	7.1	—	—	—	—	—	—	1.0
無回答	81.7	—	100.0	92.9	88.6	92.3	82.0	69.1	85.1	73.3	90.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	289	—	2	14	35	39	111	81	47	135	96
Q11-1（2）a.「教育・研究職」の職場											
国公立大学・大学院（共学）	13.4	33.3	17.0	21.1	12.1	10.7	14.2	4.1	11.2	15.7	13.3
国公立大学・大学院（別学）	11.9	16.7	22.6	8.3	14.1	9.8	12.0	11.0	14.0	7.8	12.8
私立大学（共学）	9.8	—	13.2	15.8	10.7	10.7	8.2	1.4	11.5	12.2	5.4
私立大学（別学）	3.9	—	5.7	6.8	3.4	4.4	1.1	1.4	4.0	0.8	6.9
短期大学（共学）	1.8	—	—	0.8	2.7	2.4	0.5	1.4	0.9	0.4	3.9
短期大学（別学）	6.5	16.7	11.3	11.3	11.4	5.4	1.1	—	6.2	0.8	13.3
専門学校・各種学校	3.3	—	—	5.3	2.0	3.9	3.3	—	4.0	0.4	3.9
高校	16.9	16.7	11.3	16.5	21.5	14.6	15.3	16.4	22.1	16.1	7.4
中学校	5.2	—	1.9	3.0	7.4	7.8	3.8	5.5	9.0	3.1	3.0
小学校	1.5	—	—	0.8	1.3	2.4	1.1	4.1	1.9	0.4	2.5
幼稚園	0.5	—	1.9	—	1.3	0.5	—	—	0.3	—	1.5
国公立研究所	4.7	—	—	3.8	4.0	4.4	8.7	2.7	2.2	7.8	5.4
民間・財団法人研究所	2.4	16.7	3.8	2.3	1.3	1.0	3.8	4.1	1.9	3.9	2.0
民間企業の研究所	10.6	—	1.9	1.5	2.7	13.2	16.9	32.9	1.2	23.9	11.3
その他	7.5	—	7.5	3.0	4.0	8.8	9.8	15.1	9.3	6.7	6.9
無回答	0.1	—	1.9	—	—	—	—	—	—	—	0.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	848	6	53	133	149	205	183	73	321	255	203

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q11-1（3）．修了直後の就業先の業種											
農林漁業	0.1	—	—	—	—	0.4	—	—	—	—	0.3
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	0.4	—	—	—	—	0.4	0.8	0.5	—	—	1.4
製造業	12.0	—	—	2.5	5.4	11.7	18.5	20.5	1.3	23.9	13.1
電気・ガス・熱供給・水道業	0.6	—	—	—	0.5	0.7	0.5	1.4	0.4	0.7	0.9
運輸・通信業	0.5	—	—	—	—	0.4	1.1	1.0	0.2	0.9	0.3
卸売・小売業、飲食店	1.0	—	—	—	1.0	0.7	1.1	2.9	1.5	0.2	1.7
金融・保険業、不動産業	1.1	—	—	—	0.5	0.4	1.4	3.3	0.9	1.6	0.9
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	3.0	—	—	0.6	2.0	3.3	5.2	3.3	4.8	2.3	2.0
情報・通信	6.2	—	—	0.6	2.9	2.2	10.1	15.7	3.5	12.0	4.0
医療・福祉	4.8	—	—	3.2	8.3	5.1	4.6	4.3	2.8	2.5	10.3
教育・研究	51.9	71.4	75.4	66.2	63.9	59.9	39.7	28.6	63.1	40.0	47.9
法律・会計	0.4	—	—	—	0.5	0.7	0.5	—	0.7	0.2	0.3
公務	3.5	—	1.8	0.6	1.5	1.8	5.2	8.1	3.9	4.1	2.8
その他	4.4	—	1.8	6.4	1.0	3.3	4.9	8.1	4.3	4.6	5.4
無回答	10.1	28.6	21.1	19.7	12.7	9.1	6.5	2.4	12.6	6.9	8.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351
Q11-1（4）．修了直後の勤務先全体の従業員数											
1～29 人	8.6	42.9	5.3	10.8	10.7	8.8	7.1	6.2	10.6	3.4	12.0
30～99 人	13.8	28.6	14.0	16.6	18.0	15.3	9.8	11.0	18.0	6.9	16.0
100～299 人	15.7	—	12.3	15.9	18.5	16.4	16.0	10.0	20.8	10.8	14.0
300～499 人	4.2	—	5.3	5.1	3.9	4.4	4.1	3.3	3.9	4.6	4.3
500～999 人	8.7	—	8.8	6.4	5.9	8.0	10.3	11.0	7.6	11.3	6.3
1000 人以上	22.3	—	8.8	8.9	9.3	19.3	31.0	42.9	10.0	40.0	19.9
国家公務員	10.6	14.3	24.6	11.5	12.2	10.2	9.8	6.7	10.2	11.3	10.0
地方公務員	7.5	—	1.8	8.3	11.7	7.3	7.3	6.2	8.2	6.4	8.5
無回答	8.5	14.3	19.3	16.6	9.8	10.2	4.6	2.9	10.6	5.3	9.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351
Q11-1（5）．仕事を見つけた経緯（複数回答）											
公募書類を見て応募	20.0	—	10.5	7.0	14.6	21.5	30.4	20.0	20.4	25.1	14.5
Web 上の公募情報を見て応募	12.3	—	—	—	—	1.5	15.2	48.1	7.4	19.3	11.7
お茶の水女子大学の教師の紹介	26.1	28.6	31.6	28.7	33.7	34.3	21.5	13.3	25.4	18.4	37.3
お茶の水女子大学以外の教師の紹介	10.8	14.3	24.6	17.8	13.2	9.9	8.7	2.9	12.1	12.0	6.8
新聞などの求人欄を見て応募	2.8	—	—	0.6	1.5	5.1	3.0	3.3	5.0	1.8	1.1
職業紹介所の紹介	0.4	—	—	—	—	0.4	0.5	1.0	0.7	0.5	—
友人の紹介	8.2	—	7.0	13.4	12.7	6.6	5.2	7.1	8.5	7.4	8.8
親類の紹介	3.1	—	3.5	6.4	3.4	2.6	3.0	1.4	2.6	4.4	2.3
以前の職場の人の紹介	1.6	—	3.5	1.9	1.5	0.7	2.7	0.5	1.7	0.9	2.3
お茶の水女子大学の同窓会関係者の紹介	5.8	14.3	7.0	5.1	10.7	8.4	3.5	1.4	5.4	4.1	8.3
その他	14.6	42.9	19.3	10.8	12.7	13.9	14.4	16.7	14.3	15.2	12.5
無回答	5.8	14.3	12.3	15.3	6.3	5.5	3.0	1.4	6.7	4.1	6.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351
Q11-1（6）．お茶の水女子大学大学院を修了の勤務先での評価											
かなり肯定的だった（である）	45.1	28.6	28.1	42.7	50.7	49.6	45.9	38.1	45.1	37.5	54.1
どちらかといえば肯定的だった（である）	28.3	—	8.8	19.7	27.8	27.4	32.9	34.8	25.4	34.5	25.1
どちらかといえば否定的だった（である）	1.2	—	—	0.6	1.5	1.5	1.1	1.9	1.1	0.9	2.0
かなり否定的だった（である）	0.1	—	—	0.6	—	—	0.3	—	0.2	0.2	—
よくわからない	8.0	—	3.5	4.5	7.8	5.1	8.7	13.3	7.2	10.8	5.1
無回答	17.3	71.4	59.6	31.8	12.2	16.4	11.1	11.9	21.0	16.1	13.7
肯定的（計）	73.4	28.6	36.8	62.4	78.5	77.0	78.8	72.9	70.5	72.0	79.2
否定的（計）	1.3	—	—	1.3	1.5	1.5	1.4	1.9	1.3	1.1	2.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q11-1（7）．修了直後に働いた仕事の継続											
やめた	49.6	71.4	73.7	66.9	54.6	52.2	52.4	15.7	52.7	43.9	50.7
現在まで同じ仕事を続けているが、勤務先は変わった	15.4	14.3	3.5	14.0	18.5	22.6	15.2	7.1	19.3	11.5	15.1
現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている	30.7	—	10.5	10.8	22.9	21.9	29.9	73.3	22.6	42.1	29.1
無回答	4.3	14.3	12.3	8.3	3.9	3.3	2.4	3.8	5.4	2.5	5.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1338	7	57	157	205	274	368	210	461	435	351
Q11-2（1）．仕事をやめた理由（複数回答）．											
転職のため	27.1	—	19.0	21.9	24.1	31.5	31.1	33.3	28.4	26.7	29.2
結婚のため	13.9	—	—	8.6	14.3	18.9	17.6	9.1	15.6	9.4	18.5
出産、育児のため	17.8	20.0	9.5	24.8	27.7	10.5	17.1	6.1	15.2	17.8	20.2
配偶者の転勤のため	13.6	—	11.9	19.0	17.0	16.8	9.8	6.1	11.9	12.6	17.4
家族の介護のため	2.0	—	4.8	4.8	0.9	0.7	1.6	3.0	2.5	1.6	1.7
自分自身の健康問題	7.7	20.0	9.5	3.8	8.9	4.2	9.3	12.1	7.4	11.0	3.4
家族の反対	0.6	—	—	—	1.8	—	0.5	3.0	0.8	0.5	0.6
労働条件が過酷だから	6.2	—	2.4	1.0	1.8	6.3	10.9	15.2	7.0	5.2	6.2
収入が少ないから	4.8	—	—	3.8	2.7	2.8	5.7	24.2	4.1	2.6	7.9
人員整理・倒産	2.4	—	—	—	2.7	1.4	5.2	3.0	3.7	2.1	1.1
キャリアを積む限界がみえたから	9.7	—	4.8	3.8	8.9	11.9	11.4	12.1	5.3	12.6	11.2
職場の人間関係のため	4.4	—	7.1	1.0	3.6	4.9	5.2	6.1	3.3	5.8	3.9
その他	24.3	80.0	47.6	34.3	14.3	22.4	18.7	24.2	26.3	29.3	14.0
無回答	0.6	—	2.4	—	0.9	1.4	—	—	0.8	—	0.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	663	5	42	105	112	143	193	33	243	191	178
Q11-2（2）．仕事をやめた後の収入をともなう仕事の経験											
再就職してフルタイムで働いた	40.0	—	26.2	34.3	40.2	47.6	45.6	27.3	38.7	44.0	42.7
再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託	31.4	20.0	21.4	30.5	38.4	25.9	29.5	45.5	34.6	25.7	30.9
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした	7.5	—	7.1	8.6	9.8	10.5	5.7	—	9.1	7.9	5.6
家業の手伝いをした	0.9	—	—	1.9	1.8	0.7	0.5	—	1.6	—	0.6
収入をともなう仕事はしなかった	17.5	40.0	33.3	19.0	8.9	13.3	18.1	27.3	14.4	18.8	18.0
無回答	2.7	40.0	11.9	5.7	0.9	2.1	0.5	—	1.6	3.7	2.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	663	5	42	105	112	143	193	33	243	191	178
Q11-3（1）．仕事を見つけた経緯											
新聞などの求人欄をみて応募	11.2	—	—	7.6	6.9	11.6	18.5	—	7.8	16.9	9.2
Web上の求人欄を見て応募	8.1	—	—	1.3	—	5.0	18.5	20.8	6.4	12.8	6.3
職業紹介所の紹介	4.0	—	—	1.3	2.0	1.7	7.6	12.5	2.9	6.1	4.2
友人の紹介	17.8	—	13.0	20.3	29.7	15.7	10.8	16.7	20.6	12.8	17.6
親類の紹介	4.7	—	13.0	7.6	4.0	5.0	2.5	8.3	4.4	6.8	2.8
前の職場の人の紹介	11.0	—	13.0	17.7	13.9	6.6	8.9	16.7	9.8	12.2	12.7
お茶の水女子大学大学院の同窓会関係者の紹介	10.2	—	17.4	5.1	15.8	13.2	6.4	4.2	8.3	9.5	12.7
その他	32.1	—	39.1	36.7	27.7	41.3	26.1	20.8	39.2	20.9	34.5
無回答	0.9	100.0	4.3	2.5	—	—	0.6	—	0.5	2.0	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	529	1	23	79	101	121	157	24	204	148	142
Q11-4（1）．現在まで同じ仕事を続けていて、これまでに仕事をやめようと思ったことの経験											
ある	39.1	—	12.5	20.5	29.4	37.7	50.6	39.1	33.2	43.8	40.0
ない	57.5	100.0	75.0	76.9	65.9	56.6	47.0	58.6	63.7	52.4	56.1
覚えていない	1.9	—	—	—	2.4	3.3	1.8	1.8	1.6	2.6	1.9
無回答	1.5	—	12.5	2.6	2.4	2.5	0.6	0.6	1.6	1.3	1.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	617	1	8	39	85	122	166	169	193	233	155

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q11-4（2）．仕事をやめようと思った理由（複数回答）											
転職のため	14.5	—	—	12.5	4.0	8.7	15.5	24.2	9.4	14.7	21.0
結婚のため	5.4	—	—	—	—	4.3	6.0	7.6	4.7	3.9	8.1
出産、育児のため	16.6	—	100.0	37.5	28.0	17.4	19.0	4.5	23.4	11.8	17.7
配偶者の転勤のため	3.7	—	—	—	—	6.5	6.0	1.5	3.1	5.9	1.6
家族の介護のため	2.5	—	—	—	16.0	4.3	—	—	6.3	1.0	1.6
自分自身の健康問題	13.3	—	—	—	24.0	10.9	9.5	18.2	12.5	13.7	12.9
家族の反対	1.2	—	—	—	—	2.2	—	3.0	—	—	4.8
労働条件が過酷だから	32.4	—	—	12.5	24.0	28.3	32.1	42.4	40.6	28.4	30.6
収入が少ないから	12.4	—	—	12.5	12.0	6.5	9.5	19.7	14.1	7.8	17.7
人員整理・倒産	0.8	—	—	—	4.0	—	1.2	—	1.6	1.0	—
キャリアを積む限界がみえたから	27.4	—	—	12.5	16.0	39.1	21.4	31.8	25.0	28.4	27.4
職場の人間関係のため	29.5	—	—	—	40.0	34.8	27.4	28.8	28.1	28.4	33.9
その他	17.0	—	—	25.0	12.0	15.2	16.7	22.7	20.3	15.7	17.7
無回答	2.1	—	—	12.5	—	2.2	2.4	1.5	1.6	2.9	1.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	241	—	1	8	25	46	84	66	64	102	62
Q11-5．修了直後に収入をともなう仕事につかなかった理由											
結婚したから（婚約中も含む）	33.1	—	25.0	50.0	44.4	40.7	31.8	4.3	36.5	28.9	40.5
家事手伝いや稽古事をしたから	1.3	—	—	—	2.8	—	—	—	1.9	—	—
ボランティア、NPO などの社会活動をしたから	0.7	—	—	—	2.8	—	—	—	—	2.2	—
進学・就職の準備期間としたかったから	11.3	—	—	4.2	8.3	11.1	18.2	21.7	9.6	13.3	11.9
希望の仕事につけなかったから	5.3	—	—	20.8	—	3.7	4.5	4.3	3.8	8.9	2.4
就職する意志がなかったから	4.6	—	16.7	4.2	8.3	—	—	—	5.8	—	4.8
自分の時間を持ちたかったから	1.3	—	—	4.2	—	3.7	—	—	—	2.2	2.4
その他	37.1	100.0	41.7	16.7	27.8	33.3	45.5	65.2	38.5	37.8	35.7
無回答	5.3	—	16.7	—	5.6	7.4	—	4.3	3.8	6.7	2.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	151	1	12	24	36	27	22	23	52	45	42
Q13．現在の収入をともなう仕事											
正規社員・正規職員として働いている	36.1	2.6	4.8	16.2	39.0	44.7	56.3	66.8	35.5	40.0	42.0
派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いている	6.0	0.4	2.1	5.5	8.4	8.6	5.9	6.7	6.2	5.5	7.0
パート・アルバイトで働いている	8.9	0.7	3.2	10.1	13.4	13.3	7.2	8.2	9.5	8.5	9.9
自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事	5.7	3.5	5.2	5.8	8.1	9.0	5.2	1.0	7.0	6.3	4.1
家業の手伝いをしている	2.2	1.5	2.3	3.6	3.8	2.4	0.9	0.3	1.9	2.3	2.4
収入をともなう仕事にはついていない	39.3	84.2	78.6	57.0	25.8	21.6	24.4	16.0	38.5	36.0	33.4
無回答	1.8	7.1	3.8	1.8	1.6	0.4	0.2	1.0	1.5	1.4	1.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q13-1（1）．現在の職業											
専門・技術的職業	59.9	65.0	71.7	72.5	71.9	63.4	52.8	44.4	52.0	73.5	59.6
管理的職業	6.4	15.0	13.3	8.4	11.0	10.0	3.0	0.5	6.8	6.4	6.0
事務的職業	22.3	—	2.5	6.2	9.4	19.4	32.5	36.7	27.5	13.4	22.6
販売的職業	3.8	—	0.8	2.0	1.3	1.7	3.4	10.1	3.9	2.1	4.9
保安・サービス的職業	1.2	—	—	0.9	0.6	1.4	1.1	2.2	1.6	0.6	1.2
運輸・通信的職業	0.2	—	—	—	0.1	0.1	0.4	0.5	0.2	0.4	0.1
農林漁業	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	0.1
技能工・単純労務作業	0.1	—	—	—	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	—	0.1
その他	5.6	15.0	11.7	8.8	5.2	3.6	6.1	5.2	7.2	3.3	5.0
無回答	0.5	5.0	—	1.3	0.3	0.2	0.5	0.3	0.4	0.4	0.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q13-1（1）. 現在の専門・技術的職業											
研究者	14.0	7.7	7.0	15.2	9.2	12.6	16.9	19.4	7.9	21.1	14.6
技術者	6.7	—	1.2	1.2	2.5	6.4	10.9	13.4	1.2	16.7	5.1
SE	7.4	—	—	0.6	0.8	5.0	13.4	20.3	4.6	14.4	5.3
カウンセラー	4.0	7.7	9.3	6.1	4.4	1.7	4.2	3.9	4.3	0.5	6.3
栄養士	0.2	—	—	—	—	—	—	1.4	—	—	0.7
大学講師	13.4	7.7	20.9	23.7	15.3	16.3	8.7	1.8	15.6	6.7	15.9
高校教師	17.5	15.4	3.5	11.9	26.7	23.1	13.9	8.5	22.0	16.1	14.1
中学教師	7.6	7.7	2.3	5.2	11.5	9.3	5.2	6.0	8.7	8.5	6.0
小学校教師	3.7	—	—	1.5	5.0	4.1	3.7	3.9	4.4	0.5	5.3
幼稚園教師	1.4	7.7	2.3	2.1	1.6	1.1	0.8	1.2	0.6	—	3.2
保育士	0.8	—	—	1.2	0.9	0.9	1.0	0.2	0.4	0.1	2.0
学芸員	0.5	—	—	—	0.2	0.8	1.0	0.2	1.1	—	0.2
社会調査士	0.1	—	—	—	0.2	0.2	—	0.5	0.1	0.1	0.2
その他	21.7	46.2	52.3	30.1	20.6	17.7	19.2	18.5	27.8	14.3	20.2
無回答	1.0	—	1.2	1.2	1.2	0.8	1.2	0.7	1.2	0.8	0.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	2794	13	86	329	641	637	598	433	1042	762	868
Q13-1（2）. 現在の就業先の業種											
農林漁業	0.1	—	0.8	—	0.1	0.1	0.2	—	—	0.2	0.2
鉱業	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	0.1
建設業	0.6	—	0.8	0.9	0.2	0.2	0.9	0.8	0.3	0.5	1.0
製造業	9.0	—	0.8	0.9	3.9	10.4	11.8	14.4	3.8	17.3	10.9
電気・ガス・熱供給・水道業	0.5	—	—	0.2	—	0.9	0.7	0.6	0.4	0.7	0.5
運輸・通信業	1.2	—	—	—	0.3	1.3	1.8	1.8	1.5	1.4	0.7
卸売・小売業、飲食店	3.6	—	2.5	2.0	2.2	3.9	3.8	5.2	3.9	1.6	4.5
金融・保険業、不動産業	5.0	20.0	4.2	2.4	2.7	3.2	5.7	9.2	5.3	5.2	4.4
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	4.4	—	4.2	2.2	2.2	3.1	7.0	6.3	6.7	2.3	3.0
情報・通信	6.9	—	0.8	2.0	2.5	5.3	10.5	12.2	4.9	14.1	5.0
医療・福祉	6.4	10.0	12.5	9.0	8.2	7.2	4.4	4.1	5.2	3.4	9.7
教育・研究	42.1	35.0	45.0	54.0	61.2	50.4	30.3	22.3	43.5	39.2	40.7
法律・会計	2.0	—	2.5	3.3	2.0	2.1	2.3	1.0	2.2	1.8	1.9
公務	8.8	5.0	2.5	6.8	5.5	5.9	12.6	12.5	11.8	4.6	8.1
その他	8.0	15.0	15.8	11.5	7.3	5.9	7.4	8.7	9.0	6.7	7.8
無回答	1.4	15.0	7.5	4.8	1.6	0.3	0.4	0.7	1.3	1.2	1.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-1（3）. 現在の勤務先全体の従業員数											
1～29 人	14.1	55.0	36.7	23.1	16.9	14.3	9.5	8.7	14.9	10.1	15.1
30～99 人	11.6	15.0	10.8	15.0	16.9	12.5	9.0	7.2	11.7	10.0	12.5
100～299 人	13.3	15.0	14.2	18.3	14.1	12.5	12.5	10.6	14.4	11.8	12.0
300～499 人	5.3	—	3.3	6.4	5.2	4.2	6.1	5.3	5.2	5.3	5.4
500～999 人	6.9	—	7.5	7.3	5.5	6.1	7.2	8.4	7.3	6.2	6.7
1000 人以上	24.8	—	5.8	6.4	11.9	25.2	32.0	40.4	19.3	38.7	23.5
国家公務員	5.2	—	5.0	8.1	4.9	4.2	5.7	4.8	6.1	4.5	4.9
地方公務員	15.6	—	4.2	7.7	21.7	18.5	16.0	12.4	17.5	10.7	17.0
無回答	3.3	15.0	12.5	7.7	2.8	2.5	1.9	2.3	3.6	2.7	2.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q13-1（4）．現在の職位											
〔企業・役所関係〕役職なし	32.7	—	5.8	9.7	10.4	18.7	42.6	72.0	31.1	36.9	33.5
係長・係長相当職	7.1	—	—	—	2.1	9.4	16.8	2.7	6.8	8.2	7.1
課長・課長相当職	4.6	—	0.8	0.9	4.0	10.1	6.0	0.6	4.3	5.8	4.7
部長・部長相当職	1.4	—	—	1.1	2.8	2.7	0.5	—	1.3	1.8	1.2
社長・重役・役員・理事	3.5	20.0	11.7	9.0	6.7	3.3	0.5	0.2	3.9	3.4	2.8
その他	3.1	5.0	3.3	6.4	3.4	1.4	3.3	2.9	3.5	1.9	3.4
〔大学・短期大学関係〕技官など	0.1	—	—	—	0.1	0.1	0.3	0.1	—	0.6	—
助手・助教	0.9	—	—	0.4	0.4	0.7	1.8	0.6	0.5	1.7	0.8
非常勤講師	4.3	5.0	17.5	10.4	5.2	4.6	2.5	0.4	5.2	2.5	4.1
専任講師	1.1	—	1.7	1.1	1.0	1.5	1.5	—	1.1	0.6	1.3
准教授・助教授	2.3	—	—	1.8	2.2	5.4	1.6	—	2.3	2.0	2.1
教授	4.1	5.0	8.3	16.3	8.5	2.3	—	—	3.4	2.2	5.8
教務・事務補佐・副手	1.7	—	0.8	—	1.3	2.5	1.5	2.7	2.0	1.3	1.7
その他	1.4	—	2.5	1.8	0.9	1.3	1.3	1.7	1.1	2.6	0.9
〔小学校・中学校・高等学校関係〕教諭	13.3	5.0	1.7	4.4	21.1	19.6	11.3	8.1	14.4	12.9	12.6
教頭・副校長	0.4	—	—	0.2	2.1	—	—	—	0.4	0.4	0.5
校長	0.4	5.0	—	0.4	1.8	—	—	—	0.5	0.3	0.3
その他	4.7	5.0	4.2	8.1	9.4	5.4	1.6	1.6	4.0	5.7	4.7
〔その他〕その他	9.5	35.0	29.2	18.9	13.5	8.1	5.5	4.8	10.4	6.7	9.7
無回答	3.2	15.0	12.5	9.0	2.8	3.1	1.5	1.5	3.5	2.5	3.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-1（5）．現在の個人年収（税込み）											
200 万円未満	20.3	25.0	47.5	37.9	24.9	22.8	11.7	11.8	22.1	16.0	20.5
200～400 万円未満	18.4	10.0	9.2	16.7	13.7	11.4	11.9	39.4	18.1	17.6	19.8
400～600 万円未満	20.2	5.0	9.2	8.8	5.4	8.5	32.7	38.8	19.5	20.9	20.8
600～800 万円未満	14.9	—	0.8	5.7	9.9	19.9	27.4	5.9	14.3	16.8	14.7
800～1000 万円未満	11.9	5.0	1.7	6.4	22.9	20.6	8.7	1.1	11.7	13.8	11.7
1000～1500 万円未満	8.3	10.0	6.7	16.3	15.8	11.3	3.6	0.1	8.2	9.1	7.8
1500～2000 万円未満	0.7	5.0	5.0	0.4	1.2	1.0	0.1	—	0.7	0.6	0.6
2000 万円以上	0.5	—	0.8	0.7	1.1	0.4	0.3	—	0.7	0.5	0.3
無回答	4.8	40.0	19.2	7.0	5.1	4.2	3.6	2.8	4.7	4.8	3.8
平　均	506.1	485.0	360.1	463.1	601.0	573.8	519.8	368.0	498.9	540.7	497.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q13-1（6）．現在働いている理由（複数回答）											
自分自身の収入が欲しいから	36.2	10.0	8.3	19.6	29.9	31.0	38.9	55.6	37.0	36.3	35.1
家計の維持や補助に必要だから	20.6	10.0	4.2	10.4	20.1	25.4	24.9	18.5	20.8	20.2	21.2
社会とのつながりを持ちたいから	28.9	20.0	36.7	43.2	31.1	26.5	27.9	23.4	29.2	27.6	29.6
仕事につくことは当然だと思うから	26.1	15.0	15.8	16.3	27.5	28.1	25.4	29.9	26.3	26.6	25.9
仕事をすることが好きだから	22.5	10.0	26.7	32.6	25.3	23.9	22.9	13.7	21.1	26.0	22.3
知識、技術、趣味を生かしたいから	21.6	20.0	45.0	34.6	26.0	23.7	16.9	11.9	21.6	22.8	20.8
経済的に自立したいから	20.4	10.0	6.7	7.5	15.4	18.2	24.2	30.6	21.2	20.1	19.8
家業だから	2.3	20.0	7.5	6.4	4.6	1.5	0.4	0.1	2.1	1.5	2.6
仕事を通じて友人を得たいから	0.6	—	1.7	1.1	0.8	0.4	0.3	0.9	0.5	0.7	0.7
育児が一段落したから	2.3	—	1.7	—	2.8	5.9	1.5	—	2.0	1.9	2.9
家族の介護や看病の必要がなくなったから	0.2	—	0.8	0.7	0.3	—	—	—	0.1	0.1	0.2
他にすることがないから	0.8	—	0.8	0.7	0.4	0.5	1.1	1.1	0.7	0.5	1.2
その他	5.8	15.0	15.8	8.1	4.9	5.4	4.9	5.2	5.7	4.8	6.3
無回答	0.8	10.0	4.2	2.0	0.9	0.4	0.4	0.3	0.7	0.5	0.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-1（7）．平均帰宅時間（1）現在											
14 時以前	2.9	—	8.3	4.4	3.0	3.2	2.7	1.5	3.0	3.2	2.5
15 時台	1.5	5.0	3.3	2.2	1.9	2.3	1.2	0.1	1.5	1.9	1.2
16 時台	2.6	—	3.3	7.0	2.8	4.2	1.4	—	2.8	2.6	2.3
17 時台	6.1	10.0	12.5	11.2	7.9	7.2	5.0	1.5	6.2	4.6	6.9
18 時台	16.2	5.0	15.0	18.7	18.7	19.1	18.2	7.8	15.6	15.4	17.6
19 時台	22.1	10.0	14.2	17.4	25.0	25.9	20.7	20.3	23.1	21.7	21.5
20 時以降	42.3	15.0	11.7	24.0	35.1	35.6	44.9	66.6	41.1	45.9	42.1
無回答	6.2	55.0	31.7	15.0	5.5	2.6	5.8	2.2	6.6	4.6	5.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（2）結婚する1年前											
14時以前	0.5	—	—	0.7	0.1	1.1	0.4	0.2	0.5	0.7	0.3
15時台	0.1	—	—	—	—	0.3	—	—	—	0.1	0.1
16時台	0.1	—	—	0.2	—	0.1	0.1	—	0.1	—	—
17時台	1.7	10.0	5.0	5.9	2.4	1.2	0.6	0.1	2.2	0.7	1.6
18時台	9.9	10.0	15.0	18.9	21.5	9.9	4.4	1.1	10.5	7.6	10.4
19時台	14.3	5.0	14.2	20.7	25.6	18.2	10.0	2.5	13.8	14.6	15.1
20時以降	33.0	—	21.7	24.0	26.7	48.1	45.6	15.7	30.8	38.0	34.0
結婚経験なし	22.8	5.0	1.7	9.3	11.8	12.7	24.1	51.2	23.8	21.8	22.6
無回答	17.6	70.0	42.5	20.3	11.9	8.4	14.8	29.2	18.2	16.6	15.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（3）結婚して1年後											
14時以前	0.3	—	0.8	0.2	0.1	0.6	0.4	0.1	0.3	0.4	0.3
15時台	0.2	—	—	0.9	0.1	0.3	0.3	—	0.3	—	0.3
16時台	0.4	—	0.8	0.7	0.4	0.9	0.2	—	0.5	0.4	0.3
17時台	2.4	—	7.5	6.6	3.6	1.8	1.3	0.4	2.5	2.4	1.9
18時台	12.1	15.0	15.8	21.4	23.7	13.8	7.2	1.4	12.8	9.8	13.6
19時台	12.8	—	10.0	12.1	16.2	18.9	13.2	3.4	11.8	12.3	14.2
20時以降	21.0	—	11.7	9.7	14.5	30.1	33.3	10.6	18.9	26.2	21.1
結婚経験なし	31.8	10.0	5.8	24.9	28.6	24.4	28.6	53.3	33.4	30.4	31.0
無回答	18.9	75.0	47.5	23.6	12.8	9.2	15.5	30.8	19.4	18.0	17.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（4）第1子1歳時											
14時以前	0.3	—	0.8	0.7	0.3	0.5	0.2	—	0.2	0.5	0.2
15時台	0.3	—	—	0.7	0.8	0.5	0.1	—	0.3	0.2	0.4
16時台	0.8	—	1.7	0.7	1.1	1.4	0.6	—	0.9	0.6	0.8
17時台	4.7	—	11.7	7.5	6.8	5.2	5.0	0.2	4.4	5.3	4.7
18時台	13.3	10.0	13.3	15.6	21.3	18.5	12.9	0.6	13.0	13.3	14.5
19時台	6.1	—	7.5	7.3	6.8	9.8	6.6	0.5	4.9	7.9	6.4
20時以降	3.1	—	4.2	4.2	4.0	3.7	3.3	0.5	3.5	2.5	2.9
出産経験なし	47.1	10.0	10.8	33.0	43.0	46.2	48.2	63.0	47.8	46.7	47.6
無回答	24.1	80.0	50.0	30.4	15.7	14.2	23.1	35.1	24.9	23.0	22.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-1（8）. 終業時刻での退社状況											
毎回、終業時刻に退社できる	30.3	15.0	45.0	44.3	28.3	31.2	33.0	20.2	31.5	29.4	29.0
週に数回、終業時刻に退社できる	21.1	—	6.7	12.8	17.4	22.3	22.8	27.6	20.2	22.3	22.0
月に数回、終業時刻に退社できる	16.2	5.0	2.5	7.0	15.2	17.6	17.5	20.4	14.9	18.4	16.7
年に数回、終業時刻に退社できる	7.3	—	—	0.7	7.4	6.4	7.6	12.1	6.5	8.6	7.7
終業時刻には退社できない	17.9	25.0	10.0	13.0	23.0	17.5	16.5	18.5	18.6	16.2	18.6
無回答	7.2	55.0	35.8	22.2	8.8	5.0	2.7	1.2	8.3	5.1	6.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4665	20	120	454	891	1004	1132	976	2004	1037	1457
Q13-2（1）. 現在、働いていない理由											
経済的必要性がない	19.7	23.4	21.9	26.2	22.2	12.6	4.8	7.3	19.5	18.5	17.7
配偶者の仕事の都合上	1.4	0.2	1.0	0.7	1.6	2.5	3.8	1.6	1.9	0.6	1.7
家事や育児に専念している	14.8	1.5	2.5	3.1	7.4	45.5	66.4	16.8	13.1	15.6	25.2
家族の介護に専念している	4.4	1.8	4.3	7.0	10.8	2.8	0.3	0.5	4.2	5.5	4.9
自分の時間を持ちたい	11.9	6.8	13.9	21.0	14.3	7.7	1.5	2.6	12.8	14.5	11.5
適職がない	4.3	0.7	4.4	5.5	10.6	3.7	1.5	2.6	5.0	6.2	3.4
自分自身の健康状態	9.5	15.7	11.8	8.0	9.5	7.1	4.0	4.7	10.1	7.8	6.8
配偶者や家族の反対	0.4	0.7	0.1	0.1	2.1	0.3	—	—	0.5	0.1	0.6
その他	17.9	31.3	24.5	11.2	6.1	3.4	5.8	49.2	17.0	17.3	13.7
無回答	15.8	17.9	15.6	17.1	15.3	14.5	12.0	14.7	15.8	13.9	14.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	3591	453	930	813	378	325	399	191	1509	692	824

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q13-2 (2). 今後収入をともなう仕事への希望											
そう思う	14.4	0.7	1.7	2.3	11.4	26.8	48.6	77.5	13.2	17.1	22.1
どちらかといえばそう思う	13.3	1.5	4.0	7.9	24.9	35.7	33.1	12.0	14.6	13.7	17.8
あまりそう思わない	16.3	7.5	12.9	20.0	32.3	25.5	13.0	2.6	17.2	18.1	18.7
そう思わない	51.7	81.7	76.0	67.3	29.1	10.2	4.3	1.0	50.6	47.4	38.5
無回答	4.3	8.6	5.4	2.5	2.4	1.8	1.0	6.8	4.3	3.8	2.9
そう思う（計）	27.7	2.2	5.7	10.2	36.2	62.5	81.7	89.5	27.8	30.8	39.9
そう思わない（計）	68.0	89.2	88.9	87.3	61.4	35.7	17.3	3.7	67.9	65.5	57.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	3591	453	930	813	378	325	399	191	1509	692	824
Q14-1. 結婚時の年齢											
24 歳未満	12.9	25.9	16.9	17.1	16.1	6.4	4.3	4.7	14.0	9.0	11.6
24～25 歳	32.9	30.0	36.2	45.3	40.2	27.1	17.2	28.8	33.2	33.3	32.6
26～27 歳	25.9	20.1	27.8	21.5	23.9	30.3	26.1	38.0	24.6	27.1	27.9
28～29 歳	14.7	7.6	11.3	8.4	11.1	17.0	26.6	25.5	14.1	17.2	15.0
30～31 歳	6.5	7.6	3.6	3.8	4.1	7.6	14.1	1.8	6.7	5.9	6.7
32～33 歳	3.5	4.1	1.9	1.7	2.1	5.3	6.8	0.4	3.5	3.3	3.2
34～35 歳	1.8	2.6	0.9	1.2	1.1	2.5	3.5	0.4	1.8	2.3	1.2
36 歳以上	1.8	2.2	1.4	1.1	1.3	3.9	1.5	0.4	2.0	2.0	1.7
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均年齢	26.5	26.0	25.8	25.6	25.8	27.3	27.9	26.4	26.4	26.7	26.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-1. 結婚時の配偶者の年齢											
24 歳未満	1.9	1.9	1.2	2.6	2.3	1.3	1.7	1.5	1.8	1.3	2.3
24～25 歳	11.1	10.6	9.5	15.2	14.8	10.0	5.8	10.6	11.4	10.7	11.1
26～27 歳	21.6	18.4	20.7	22.3	23.0	22.0	20.2	28.5	21.3	23.1	22.0
28～29 歳	24.3	22.2	26.2	26.5	24.6	21.2	23.2	25.9	24.1	23.4	25.2
30～31 歳	18.2	20.5	20.1	18.6	17.0	17.4	17.7	17.5	17.2	20.1	17.7
32～33 歳	9.9	12.3	11.6	6.1	9.3	11.0	12.0	6.2	9.7	9.7	10.1
34～35 歳	5.6	6.0	5.0	3.7	4.3	6.5	8.3	4.4	5.6	5.9	5.3
36 歳以上	7.0	7.8	5.2	4.5	4.4	10.1	10.9	4.4	8.5	5.1	5.9
無回答	0.4	0.2	0.5	0.5	0.3	0.5	0.3	1.1	0.3	0.7	0.4
平均年齢	29.4	30.0	29.4	28.6	28.8	29.9	30.3	28.8	29.5	29.3	29.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-2. 配偶者の最終学歴											
義務教育修了	0.2	0.4	0.3	0.4	—	0.2	0.1	—	0.2	0.1	0.2
高校	2.0	1.3	0.8	1.4	2.1	2.2	3.5	4.0	2.2	1.5	2.3
専門学校	1.4	4.3	1.0	0.1	0.5	1.1	2.6	3.6	1.4	1.0	1.2
短期大学・高等専門学校	1.3	6.9	2.1	0.4	0.7	0.7	0.8	0.4	0.9	1.0	0.7
大学	62.6	69.1	70.3	66.3	61.4	56.9	57.8	56.2	64.7	54.1	63.8
大学院	31.4	13.2	23.7	30.9	34.4	38.4	34.8	35.0	29.4	41.6	31.3
その他	0.9	4.3	1.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.7	0.9	0.5	0.5
無回答	0.2	0.4	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	—	0.2	0.1	0.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-3. (a) 配偶者が一番長く働いた（働いている）企業全体の規模											
1～29 人	2.7	1.3	1.2	1.7	3.5	3.0	4.0	5.1	2.8	2.0	3.4
30～99 人	3.4	3.5	3.1	3.4	2.6	3.5	4.4	2.9	3.3	2.7	4.0
100～299 人	5.1	3.0	3.5	4.9	5.2	4.6	7.5	7.7	5.7	4.3	5.4
300～499 人	3.0	2.4	2.9	2.4	3.2	3.0	3.9	3.3	3.1	3.4	3.1
500～999 人	4.5	3.9	4.2	4.2	3.5	4.3	6.3	5.8	4.5	4.7	4.3
1000 人以上	40.3	17.1	31.0	39.5	39.9	49.0	50.1	47.1	39.0	47.4	43.9
国家公務員	15.6	23.1	22.1	19.0	14.4	11.8	8.3	12.0	14.6	17.4	13.3
地方公務員	14.3	27.0	17.4	13.0	15.2	11.9	9.9	9.5	15.5	9.7	12.7
自営業（家族以外の雇用あり）	5.1	9.5	5.4	5.8	7.4	3.9	2.3	1.8	5.0	3.3	5.5
自営業（家族以外の雇用なし）	1.6	1.3	1.4	2.0	2.1	1.5	1.2	1.1	1.9	1.4	1.3
その他	3.2	6.5	6.2	3.1	2.1	2.4	1.3	2.9	3.8	2.5	2.0
無回答	1.2	1.5	1.6	1.0	1.0	1.1	1.0	0.7	0.9	1.2	1.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q14-3. (b) 配偶者の現在の年収（税込み）											
0円	0.4	—	0.3	0.8	0.5	0.3	0.3	—	0.3	0.5	0.6
200万円未満	1.1	1.1	1.5	1.3	1.5	0.6	0.9	—	1.2	1.1	1.1
200～400万円未満	9.6	13.6	19.5	19.6	4.8	1.1	2.6	9.9	11.1	9.0	7.0
400～600万円未満	11.5	9.9	16.4	15.4	6.5	3.3	13.8	33.6	12.3	10.5	11.1
600～800万円未満	11.2	2.4	6.8	8.1	6.7	9.2	26.2	27.4	11.0	11.2	13.9
800～1000万円未満	10.5	0.6	2.7	4.9	11.6	16.1	20.5	9.5	9.8	12.9	12.1
1000～1500万円未満	20.1	0.6	3.6	11.2	30.5	39.6	21.6	11.3	19.3	22.5	24.3
1500～2000万円未満	5.7	0.6	1.1	3.8	11.2	10.5	3.4	0.7	5.4	6.7	6.5
2000万円以上	5.5	1.1	1.9	5.8	11.6	7.2	2.9	1.5	5.9	4.8	6.1
離死別	14.6	60.5	28.2	14.3	7.1	5.8	3.2	1.8	13.9	10.9	8.0
無回答	9.9	9.5	18.1	14.9	7.9	6.4	4.6	4.4	9.9	9.9	9.4
平　均	949.2	565.4	590.7	831.7	1213.6	1150.3	869.6	684.4	930.6	953.7	996.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（1）現在											
14時以前	2.1	0.4	1.1	0.7	1.6	4.6	3.3	1.5	1.9	2.4	2.5
15時台	0.2	—	0.5	0.4	0.1	—	—	—	0.3	—	0.1
16時台	0.3	0.2	0.7	0.5	0.1	0.2	0.3	—	0.4	0.3	0.3
17時台	1.5	0.4	2.0	3.0	1.3	1.1	0.5	0.7	1.6	1.6	1.4
18時台	5.6	1.3	4.3	8.2	9.1	4.2	4.1	1.8	6.2	5.4	5.9
19時台	11.2	1.9	3.6	10.8	19.0	13.6	11.5	12.4	11.9	11.5	12.1
20時以降	42.0	4.1	6.0	17.2	49.0	66.8	74.5	80.7	39.7	47.1	51.5
働いていない／離死別	3.1	5.0	3.1	4.4	3.6	2.7	1.5	1.1	3.4	2.9	2.4
無回答	34.0	86.6	78.8	54.9	16.3	6.7	4.3	1.8	34.6	28.6	23.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（2）結婚する1年前											
14時以前	2.8	1.7	1.2	3.1	2.2	4.0	4.0	3.3	2.8	2.7	3.4
15時台	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—
16時台	0.1	0.4	0.2	0.2	—	0.1	0.1	—	—	0.2	0.1
17時台	1.1	2.2	1.2	1.4	0.9	1.0	0.4	0.4	1.1	0.7	0.9
18時台	6.2	11.2	9.1	6.7	7.1	3.9	3.0	3.6	6.6	4.9	5.7
19時台	9.2	6.0	9.0	9.2	12.1	9.2	7.8	8.4	10.1	9.9	8.4
20時以降	57.7	19.0	31.9	50.7	61.7	73.1	80.0	78.5	56.9	63.8	64.5
無回答	22.9	59.4	47.3	28.7	16.1	8.7	4.6	5.8	22.6	17.8	17.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（3）結婚して1年後											
14時以前	2.8	1.1	1.9	2.9	2.4	4.0	4.1	1.5	3.0	2.4	3.2
15時台	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—
16時台	0.1	0.6	0.2	0.1	0.1	0.2	—	—	0.1	0.2	0.1
17時台	1.2	3.7	1.4	1.3	0.7	1.0	0.4	0.4	1.1	0.6	0.9
18時台	8.0	15.8	11.6	8.7	7.6	5.4	4.2	3.3	8.4	6.3	6.3
19時台	13.2	12.7	15.5	13.8	17.0	11.2	10.1	8.4	13.6	14.1	12.6
20時以降	59.2	22.9	37.9	56.8	63.4	72.7	76.7	67.2	58.3	65.2	65.5
無回答	15.5	43.2	31.6	16.5	8.9	5.5	4.4	19.3	15.4	11.2	11.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（4）第1子1歳時											
14時以前	2.5	1.1	1.9	2.9	2.6	3.5	2.7	1.1	2.7	2.1	2.8
15時台	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16時台	0.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	—	0.2	0.2	0.1
17時台	1.2	3.2	1.0	1.7	1.0	1.1	0.3	0.4	1.1	0.7	1.0
18時台	7.1	13.6	10.1	8.3	7.4	4.9	3.5	0.7	7.4	5.6	5.8
19時台	11.4	12.7	12.9	11.6	14.4	10.2	8.9	4.7	11.2	11.5	11.6
20時以降	50.0	21.8	38.9	55.4	59.5	61.1	52.1	16.1	49.3	55.6	54.5
出産経験なし	9.9	4.1	3.2	3.0	5.5	11.3	21.5	46.0	10.6	10.5	10.1
無回答	17.7	43.0	31.8	17.1	9.5	7.7	10.8	31.0	17.5	13.7	14.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	7128	463	1074	1319	1351	1321	1186	274	3054	1470	1939

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q15. 子の年齢 _ 第 1 子											
10 歳未満	16.1	—	—	—	0.1	13.8	83.4	87.7	14.7	18.0	21.2
10～14 歳	8.0	—	—	—	1.3	30.2	14.1	1.2	7.8	8.3	10.5
15～19 歳	7.8	—	—	0.1	4.6	35.5	1.0	3.7	8.1	8.6	8.9
20～24 歳	8.7	1.2	0.4	0.9	24.2	17.6	—	2.5	8.2	9.0	11.2
25～29 歳	10.0	2.4	1.4	3.3	40.3	2.0	0.4	1.2	9.6	9.9	12.4
30～34 歳	10.2	1.7	1.7	20.0	26.6	0.7	0.3	1.2	11.2	11.3	10.0
35～39 歳	10.7	0.5	5.0	45.5	2.7	0.2	0.2	—	12.2	13.3	8.9
40 歳以上	28.0	92.2	90.6	30.1	0.2	0.1	—	—	28.0	21.2	16.7
死亡	—	0.2	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—
無回答	0.4	1.7	0.9	0.1	0.1	—	0.4	2.5	0.2	0.4	0.3
平均年齢	28.3	53.3	45.4	37.1	26.7	15.2	5.5	3.6	28.4	26.1	23.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q15. 子の性別 _ 第 1 子											
男	49.9	51.8	49.8	49.9	50.5	48.4	51.4	37.0	49.3	51.6	48.7
女	49.1	47.2	48.7	49.0	48.6	50.5	47.9	63.0	49.6	48.0	49.9
無回答	1.0	1.0	1.4	1.1	0.9	1.1	0.7	—	1.0	0.4	1.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q15. 子の学校や仕事 _ 第 1 子											
〔学校〕在宅	2.7	—	—	0.1	0.9	0.4	13.5	30.9	2.1	2.9	4.1
保育園	4.1	—	—	—	—	2.2	23.7	12.3	4.0	4.9	4.9
幼稚園	2.4	—	—	—	—	1.7	13.2	11.1	1.8	3.4	3.3
小学校	9.4	—	—	—	0.2	21.3	35.9	4.9	8.9	9.9	12.2
中学校	4.7	—	—	—	1.1	21.2	3.5	1.2	4.6	4.8	6.2
高校	4.7	0.7	—	0.1	2.5	21.6	0.7	1.2	5.3	4.8	5.2
大学	7.3	0.5	0.1	0.6	13.7	22.2	0.2	3.7	7.3	7.2	8.9
専門学校	0.1	—	—	0.1	0.3	0.4	—	—	0.1	0.1	0.3
大学院	2.1	—	0.3	1.4	7.3	1.5	—	—	2.2	2.6	2.3
その他の学校	0.5	—	0.1	0.2	1.0	1.2	—	—	0.4	0.8	0.5
〔仕事〕専門・技術的職業	23.7	31.4	38.9	40.1	31.0	1.6	0.1	1.2	23.6	26.3	19.3
管理的職業	5.9	17.8	17.1	8.0	1.0	—	—	—	6.2	4.6	3.4
事務的職業	10.3	6.3	9.3	19.1	19.4	1.7	—	1.2	11.5	9.6	10.3
販売的職業	3.6	3.2	3.4	5.6	7.1	1.0	—	—	3.5	3.3	3.6
保安・サービス的職業	1.0	0.2	0.7	2.0	1.7	0.3	—	—	0.8	1.4	1.0
運輸・通信的職業	0.5	1.0	0.7	0.6	1.0	0.1	—	—	0.6	0.2	0.7
農林漁業	0.1	0.5	0.2	0.2	0.1	—	—	—	—	0.2	0.1
技能工・単純労務作業	0.2	0.2	0.1	0.4	0.5	0.1	—	—	0.2	0.2	0.2
その他	7.9	14.8	11.8	14.6	8.2	0.6	0.1	—	8.4	6.5	6.7
無回答	8.7	23.4	17.2	7.1	3.0	1.1	9.1	32.1	8.5	6.4	6.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q15. 子の同別居別 _ 第 1 子											
同居	47.1	22.4	16.6	16.3	37.9	84.5	96.3	95.1	45.0	50.2	54.1
別居	50.6	73.0	81.0	81.7	60.4	13.4	1.0	1.2	52.8	48.3	43.1
無回答	2.4	4.6	2.4	2.0	1.7	2.0	2.7	3.7	2.2	1.5	2.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q15. 子の年齢 _ 第 2 子											
10 歳未満	14.9	—	—	—	0.3	24.2	93.9	66.7	12.9	16.7	20.3
10～14 歳	7.7	—	—	—	1.6	37.5	4.7	9.5	7.6	7.6	10.0
15～19 歳	8.1	—	—	0.2	12.2	28.7	0.2	9.5	7.8	8.3	10.2
20～24 歳	10.2	0.6	0.1	1.6	36.5	7.3	0.2	—	9.6	11.4	12.8
25～29 歳	11.2	2.2	1.7	10.7	36.2	0.6	—	4.8	11.3	12.6	12.3
30～34 歳	11.7	2.5	3.9	33.5	12.8	1.3	0.6	4.8	13.4	12.2	11.0
35～39 歳	12.3	1.2	13.6	42.5	0.2	0.3	0.2	—	14.7	13.3	10.0
40 歳以上	23.5	91.3	79.6	11.6	0.2	0.1	—	—	22.4	17.4	13.3
死亡	—	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	0.4	2.2	1.0	—	0.1	—	0.2	4.8	0.2	0.5	0.2
平均年齢	27.5	50.6	42.4	34.5	24.3	13.2	4.2	6.9	27.9	25.4	22.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4781	322	822	1085	1083	861	508	21	2034	986	1313

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q15. 子の性別 _ 第 2 子											
男	50.0	49.7	51.5	50.3	50.0	47.6	51.4	61.9	50.4	53.2	47.1
女	49.0	49.1	47.1	48.8	49.0	51.7	47.6	38.1	48.7	45.9	51.5
無回答	1.0	1.2	1.5	0.9	1.0	0.7	1.0	—	0.8	0.8	1.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4781	322	822	1085	1083	861	508	21	2034	986	1313
Q15. 子の学校や仕事 _ 第 2 子											
〔学校〕在宅	3.1	—	0.1	0.2	0.9	1.0	23.0	42.9	2.7	3.4	4.5
保育園	3.2	—	—	—	—	2.9	24.0	9.5	2.6	3.8	4.4
幼稚園	2.1	—	—	—	—	1.4	16.9	14.3	1.8	2.2	3.1
小学校	9.3	—	—	—	0.6	35.5	25.8	—	8.6	9.6	12.6
中学校	4.7	—	—	—	1.2	24.0	1.0	4.8	5.0	5.1	5.6
高校	4.9	0.6	—	0.2	5.3	19.5	0.2	9.5	5.0	4.6	5.9
大学	8.5	0.6	0.2	1.3	26.5	11.0	—	—	8.0	9.1	10.5
専門学校	0.3	—	—	0.6	0.6	0.3	—	—	0.3	0.5	0.4
大学院	1.7	—	0.1	1.1	5.9	0.3	—	—	1.9	2.0	1.7
その他の学校	0.7	0.3	—	0.1	2.0	0.9	0.4	—	0.7	0.8	0.8
〔仕事〕専門・技術的職業	22.3	28.3	32.1	39.8	22.6	0.7	—	9.5	22.2	25.7	18.1
管理的職業	5.6	16.8	16.9	5.6	0.6	—	—	—	6.0	4.8	3.2
事務的職業	10.9	7.1	12.9	20.6	14.8	0.2	0.2	—	12.3	9.0	10.6
販売的職業	4.4	5.0	3.8	7.2	7.2	0.5	—	—	4.4	5.0	3.9
保安・サービス的職業	0.8	0.3	0.4	1.6	1.5	0.1	—	—	0.9	0.7	0.8
運輸・通信的職業	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	—	—	—	0.5	0.5	0.3
農林漁業	0.1	—	0.1	0.1	0.1	—	—	—	0.1	—	—
技能工・単純労務作業	0.5	0.6	0.7	0.6	0.7	—	—	—	0.3	0.8	0.4
その他	8.0	15.2	13.4	13.5	6.5	0.3	0.4	—	8.2	6.4	6.9
無回答	8.4	24.5	18.5	6.7	2.4	1.0	8.1	9.5	8.3	6.0	6.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4781	322	822	1085	1083	861	508	21	2034	986	1313
Q15. 子の同別居別 _ 第 2 子											
同居	45.5	18.9	16.8	19.3	42.4	91.1	95.3	81.0	43.5	48.9	53.6
別居	51.1	75.8	79.6	77.4	54.6	6.4	0.4	9.5	53.1	48.1	42.9
無回答	3.5	5.3	3.6	3.3	3.0	2.6	4.3	9.5	3.4	3.0	3.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	4781	322	822	1085	1083	861	508	21	2034	986	1313
Q15. 子の年齢 _ 第 3 子											
10 歳未満	11.3	—	0.7	—	0.8	38.5	91.8	33.3	9.7	12.5	14.8
10～14 歳	7.2	—	—	—	5.4	38.1	2.4	—	6.7	7.8	10.0
15～19 歳	9.7	—	—	0.3	26.7	18.6	—	—	8.1	12.2	13.0
20～24 歳	11.1	—	—	3.8	38.5	1.7	1.2	33.3	11.9	9.7	14.4
25～29 歳	12.0	1.8	2.3	18.0	25.9	0.9	—	33.3	12.6	10.3	14.8
30～34 歳	12.9	3.7	9.1	39.0	2.3	1.3	1.2	—	14.2	15.7	11.1
35～39 歳	16.9	1.8	36.2	35.7	0.3	0.4	2.4	—	19.7	21.3	12.3
40 歳以上	18.3	88.1	51.1	3.0	—	—	—	—	16.4	10.0	9.5
死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	0.7	4.6	0.7	0.3	0.3	0.4	1.2	—	0.8	0.3	0.2
平均年齢	27.8	50.0	39.3	32.7	21.7	11.3	4.9	16.3	28.1	25.8	23.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1543	109	307	395	390	231	85	3	641	319	432
Q15. 子の性別 _ 第 3 子											
男	50.2	48.6	45.3	51.4	51.0	51.5	55.3	66.7	47.6	54.2	51.2
女	48.5	51.4	52.8	47.3	47.7	48.1	43.5	33.3	51.0	45.1	47.5
無回答	1.2	—	2.0	1.3	1.3	0.4	1.2	—	1.4	0.6	1.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1543	109	307	395	390	231	85	3	641	319	432

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q15. 子の学校や仕事子の性別 _ 第 3 子											
〔学校〕在宅	2.1	—	0.3	—	1.0	1.7	27.1	33.3	1.7	3.4	2.1
保育園	2.4	—	0.3	—	—	7.4	22.4	—	2.2	3.4	2.5
幼稚園	1.9	—	—	—	—	4.8	21.2	—	1.4	1.6	3.2
小学校	8.0	—	—	—	1.0	42.4	23.5	—	7.8	6.6	11.3
中学校	4.3	—	—	—	4.4	21.6	—	—	3.7	5.3	6.0
高校	5.9	—	—	—	14.6	14.7	—	—	4.7	7.2	8.6
大学	9.1	0.9	0.7	1.5	30.3	4.8	—	33.3	8.4	10.0	11.8
専門学校	0.5	—	—	0.8	1.0	0.4	—	—	0.3	—	1.2
大学院	2.4	—	0.3	2.8	6.4	—	—	—	2.3	2.2	3.2
その他の学校	0.8	—	0.7	—	2.1	0.9	—	—	1.1	0.6	0.7
〔仕事〕専門・技術的職業	22.0	28.4	33.2	37.7	12.6	—	1.2	—	20.6	28.5	16.7
管理的職業	4.1	12.8	10.1	3.3	1.0	—	—	—	4.4	2.8	2.5
事務的職業	12.4	5.5	16.3	21.3	12.3	—	—	33.3	12.9	10.3	13.0
販売的職業	4.8	4.6	3.3	8.9	6.2	—	—	—	5.0	5.6	4.6
保安・サービス的職業	1.4	0.9	0.7	2.3	1.8	—	1.2	—	1.6	1.6	0.9
運輸・通信的職業	0.6	—	1.3	0.8	0.5	—	—	—	0.5	0.9	0.7
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	0.6	—	1.0	1.8	—	—	—	—	0.9	0.6	0.5
その他	9.2	22.9	16.3	12.2	3.8	0.4	1.2	—	10.1	5.3	7.9
無回答	7.5	23.9	15.6	6.8	1.0	0.9	2.4	—	10.3	3.8	2.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1543	109	307	395	390	231	85	3	641	319	432
Q15. 子の同別居別 _ 第 3 子											
同居	42.9	23.9	16.9	19.7	52.8	92.2	96.5	33.3	39.6	46.1	50.0
別居	54.3	73.4	80.1	77.0	45.1	4.8	1.2	66.7	57.1	51.4	47.5
無回答	2.8	2.8	2.9	3.3	2.1	3.0	2.4	—	3.3	2.5	2.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1543	109	307	395	390	231	85	3	641	319	432
Q15. 子の年齢 _ 第 4 子											
10 歳未満	11.6	—	—	—	—	51.6	90.9	—	11.4	14.3	15.4
10～14 歳	6.2	—	—	—	8.7	32.3	—	—	5.7	7.1	9.6
15～19 歳	10.7	—	—	—	45.7	6.5	9.1	—	9.1	10.7	15.4
20～24 歳	7.6	—	—	8.9	23.9	3.2	—	—	10.2	7.1	7.7
25～29 歳	12.0	4.0	7.5	21.4	21.7	—	—	—	11.4	10.7	19.2
30～34 歳	12.4	—	13.2	35.7	—	3.2	—	—	13.6	16.1	9.6
35～39 歳	18.2	12.0	43.4	25.0	—	3.2	—	—	20.5	23.2	9.6
40 歳以上	17.3	76.0	30.2	3.6	—	—	—	—	14.8	7.1	9.6
死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	4.0	8.0	5.7	5.4	—	—	—	—	3.4	3.6	3.8
平均年齢	28.2	50.2	37.3	31.3	20.3	10.9	3.6	—	27.7	25.5	23.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	225	25	53	56	46	31	11	—	88	56	52
Q15. 子の性別 _ 第 4 子											
男	48.9	44.0	49.1	50.0	43.5	58.1	45.5	—	48.9	48.2	46.2
女	48.0	56.0	47.2	42.9	54.3	41.9	54.5	—	46.6	48.2	51.9
無回答	3.1	—	3.8	7.1	2.2	—	—	—	4.5	3.6	1.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	225	25	53	56	46	31	11	—	88	56	52

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q15. 子の学校や仕事 _ 第 4 子											
〔学校〕在宅	2.7	—	—	1.8	—	3.2	36.4	—	4.5	3.6	—
保育園	2.2	—	—	—	—	6.5	27.3	—	1.1	5.4	1.9
幼稚園	3.1	—	—	—	—	19.4	9.1	—	2.3	1.8	7.7
小学校	5.3	—	—	—	—	35.5	9.1	—	4.5	5.4	9.6
中学校	5.8	—	—	—	10.9	22.6	9.1	—	5.7	5.4	7.7
高校	4.9	—	—	—	19.6	6.5	—	—	3.4	1.8	11.5
大学	8.4	4.0	—	8.9	28.3	—	—	—	12.5	7.1	5.8
専門学校	0.4	—	—	—	2.2	—	—	—	1.1	—	—
大学院	0.9	—	—	—	4.3	—	—	—	1.1	—	1.9
その他の学校	2.2	—	—	—	8.7	3.2	—	—	1.1	3.6	3.8
〔仕事〕専門・技術的職業	23.6	36.0	39.6	28.6	8.7	3.2	—	—	20.5	26.8	17.3
管理的職業	3.6	8.0	7.5	3.6	—	—	—	—	4.5	—	3.8
事務的職業	10.2	—	11.3	23.2	8.7	—	—	—	6.8	12.5	13.5
販売的職業	4.4	4.0	7.5	7.1	2.2	—	—	—	5.7	5.4	3.8
保安・サービス的職業	0.4	—	1.9	—	—	—	—	—	1.1	—	—
運輸・通信的職業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
農林漁業	0.9	—	1.9	1.8	—	—	—	—	—	1.8	1.9
技能工・単純労務作業	0.9	—	1.9	1.8	—	—	—	—	1.1	1.8	—
その他	10.7	16.0	13.2	16.1	6.5	—	—	—	9.1	16.1	5.8
無回答	9.3	32.0	15.1	7.1	—	—	9.1	—	13.6	1.8	3.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	225	25	53	56	46	31	11	—	88	56	52
Q15. 子の同別居別 _ 第 4 子											
同居	41.8	12.0	26.4	17.9	58.7	90.3	100.0	—	38.6	39.3	57.7
別居	54.2	84.0	67.9	80.4	37.0	3.2	—	—	58.0	55.4	38.5
無回答	4.0	4.0	5.7	1.8	4.3	6.5	—	—	3.4	5.4	3.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	225	25	53	56	46	31	11	—	88	56	52
Q16（a）第 1 子 0 歳時：(1) -1. 配偶者による子育ての手助け											
ほとんどなかった	20.4	20.9	25.8	27.9	22.4	15.4	9.1	3.7	20.1	20.9	20.3
時々あった	29.2	19.0	30.0	30.9	35.1	29.1	24.6	17.3	29.6	30.0	30.8
ひんぱんにあった	13.2	5.8	8.1	11.4	13.7	17.3	18.3	21.0	12.7	14.9	14.1
日常的にあった	28.5	20.9	17.8	21.3	25.9	35.3	47.1	51.9	29.2	28.1	29.5
無回答	8.8	33.3	18.2	8.5	2.9	3.0	0.8	6.2	8.4	6.2	5.3
あった（計）	70.8	45.7	55.9	63.6	74.7	81.7	90.1	90.1	71.5	72.9	74.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（a）第 1 子 0 歳時：(1) -2. 自身の両親による子育ての手助け											
ほとんどなかった	32.7	23.1	33.4	40.8	36.4	31.4	23.7	19.8	32.6	35.9	32.5
時々あった	31.6	16.8	25.9	29.4	32.4	35.9	42.5	30.9	31.3	32.7	35.4
ひんぱんにあった	16.1	6.3	9.3	13.4	18.6	20.7	22.5	28.4	17.1	15.9	16.9
日常的にあった	9.6	17.0	9.7	7.0	9.2	8.8	10.3	13.6	9.2	8.6	9.1
無回答	10.0	36.7	21.6	9.4	3.5	3.2	0.9	7.4	9.8	7.0	6.1
あった（計）	57.3	40.1	45.0	49.8	60.1	65.4	75.4	72.8	57.5	57.2	61.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（a）第 1 子 0 歳時：(1) -3. 配偶者の両親による子育ての手助け											
ほとんどなかった	55.5	34.3	47.8	60.2	62.8	59.9	54.1	40.7	54.5	60.0	58.3
時々あった	20.0	10.5	13.8	16.7	19.9	22.5	32.4	35.8	20.4	20.3	22.2
ひんぱんにあった	5.8	4.4	4.4	4.4	5.4	7.8	8.0	8.6	6.3	5.6	5.6
日常的にあった	7.3	14.1	10.7	7.4	6.3	5.7	3.6	6.2	7.4	5.9	6.5
無回答	11.4	36.7	23.3	11.2	5.6	4.1	1.9	8.6	11.4	8.2	7.4
あった（計）	33.1	29.0	28.9	28.6	31.6	36.0	44.0	50.6	34.0	31.8	34.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q16（a）第1子0歳時：(2) 子育てのために利用した制度や施設											
産前・産後休業制度	25.8	21.2	23.2	19.3	23.2	27.5	41.6	37.0	25.9	28.0	25.9
育児休業制度	14.5	1.5	1.7	2.3	12.4	24.3	41.6	34.6	15.0	15.8	16.7
育児時間制度・短時間勤務制度	6.0	1.5	2.2	5.7	6.3	7.0	10.8	9.9	6.5	7.1	5.6
公立・私立の認可保育園	10.6	2.7	4.1	8.6	11.9	16.1	15.5	13.6	10.1	13.7	11.1
認可外保育施設・認証保育所	5.2	1.0	1.9	5.5	5.1	6.8	8.0	9.9	4.8	6.5	5.7
企業内・病院内保育所	0.4	—	0.1	0.4	0.4	0.3	1.1	—	0.3	0.6	0.5
保育ママ・ベビーシッターなど	8.4	5.6	8.7	10.8	8.6	8.6	5.3	3.7	9.7	7.2	7.5
地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	4.0	—	—	0.2	0.6	4.7	17.5	21.0	3.9	3.0	5.7
保育所・幼稚園等の一時預かり	2.2	1.2	0.7	0.9	2.0	2.5	5.7	6.2	2.5	2.1	2.1
幼稚園	2.0	2.2	3.1	2.4	1.6	2.3	0.8	1.2	2.0	1.8	2.1
学童保育	0.6	—	0.3	0.3	0.7	1.3	0.6	2.5	0.8	0.4	0.7
塾・習い事	1.8	0.5	0.8	1.0	2.1	2.8	2.4	6.2	1.5	1.9	2.3
その他	2.4	7.5	5.0	2.3	1.2	1.1	0.8	—	2.3	2.2	1.8
どれも利用しなかった	34.1	24.6	31.9	42.4	43.8	32.2	20.8	23.5	33.0	37.5	36.3
無回答	21.4	43.3	31.8	21.1	17.4	16.7	9.9	9.9	22.2	15.5	17.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（b）第1子3歳時：(1) -1. 配偶者による子育ての手助け											
ほとんどなかった	19.1	18.5	23.8	26.7	22.8	15.1	6.2	1.2	19.0	20.5	18.8
時々あった	29.9	20.0	29.5	32.5	36.2	32.7	21.8	8.6	30.2	31.3	31.4
ひんぱんにあった	12.6	4.9	9.6	12.2	14.3	15.5	15.2	9.9	13.0	12.9	13.8
日常的にあった	22.1	18.7	14.5	18.4	21.6	29.9	29.6	11.1	22.2	22.9	22.1
無回答	16.2	38.0	22.6	10.3	5.1	6.8	27.2	69.1	15.6	12.5	13.9
あった（計）	64.7	43.6	53.6	63.0	72.1	78.1	66.6	29.6	65.4	67.0	67.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（b）第1子3歳時：(1) -2. 自身の両親による子育ての手助け											
ほとんどなかった	35.1	24.1	34.1	44.2	40.8	37.4	22.6	1.2	35.6	38.5	35.1
時々あった	28.6	15.8	24.5	29.0	32.5	32.3	30.4	14.8	28.3	29.8	31.7
ひんぱんにあった	11.6	5.8	7.6	10.1	13.2	15.8	13.4	9.9	11.6	11.8	12.2
日常的にあった	7.6	13.9	7.8	5.9	8.2	7.5	6.4	3.7	7.6	6.2	7.2
無回答	17.1	40.4	25.9	10.8	5.2	7.0	27.2	70.4	16.9	13.7	13.8
あった（計）	47.8	35.5	39.9	45.0	54.0	55.6	50.2	28.4	47.5	47.8	51.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（b）第1子3歳時：(1) -3. 配偶者の両親による子育ての手助け											
ほとんどなかった	53.1	33.3	46.3	61.0	62.2	59.9	42.1	11.1	52.7	57.0	55.6
時々あった	17.1	9.0	13.2	15.7	19.5	20.1	21.5	13.6	17.4	18.1	17.9
ひんぱんにあった	4.6	3.6	4.2	3.8	4.5	5.5	5.8	3.7	4.8	4.2	4.8
日常的にあった	6.6	12.7	9.3	6.4	6.2	6.7	2.5	1.2	6.6	6.0	6.0
無回答	18.6	41.4	27.1	13.2	7.6	7.8	28.1	70.4	18.5	14.6	15.6
あった（計）	28.4	25.3	26.6	25.8	30.2	32.3	29.8	18.5	28.8	28.4	28.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q16（b）第1子3歳時：(2) 子育てのために利用した制度や施設											
産前・産後休業制度	1.2	1.2	1.8	1.0	1.3	0.7	1.2	1.2	1.3	1.1	1.3
育児休業制度	0.8	—	—	0.2	1.2	1.0	2.4	1.2	1.0	0.7	0.9
育児時間制度・短時間勤務制度	2.1	0.7	0.4	0.8	1.0	2.6	7.3	1.2	2.0	3.1	1.9
公立・私立の認可保育園	20.9	7.3	11.3	19.9	22.8	29.9	27.1	7.4	21.0	24.5	22.1
認可外保育施設・認証保育所	2.4	0.5	1.0	1.1	1.8	3.5	5.8	1.2	2.0	2.7	3.0
企業内・病院内保育所	0.2	—	—	0.2	0.2	0.4	0.1	—	0.2	0.2	0.1
保育ママ・ベビーシッターなど	6.1	4.9	6.2	5.9	6.7	7.5	4.5	2.5	7.1	4.9	5.7
地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	2.7	0.2	0.1	0.6	1.1	4.5	9.9	3.7	2.4	2.5	4.1
保育所・幼稚園等の一時預かり	4.2	2.2	1.9	2.4	4.1	6.8	7.6	1.2	4.3	4.7	4.3
幼稚園	19.4	17.0	17.5	13.8	18.1	28.3	22.0	12.3	19.8	18.3	20.8
学童保育	0.5	—	0.4	0.4	0.6	0.9	0.3	—	0.7	0.4	0.4
塾・習い事	7.2	2.7	2.2	2.5	8.5	15.1	9.9	3.7	6.8	6.5	9.3
その他	2.7	8.8	4.4	1.8	2.0	2.0	1.1	—	2.7	1.9	1.9
どれも利用しなかった	23.7	21.2	28.8	38.6	31.1	12.2	5.5	4.9	22.9	26.6	23.5
無回答	22.3	40.4	31.5	18.3	12.8	12.0	29.1	70.4	23.0	17.5	19.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（c）第1子7歳時：(1) -1. 配偶者による子育ての手助け											
ほとんどなかった	21.4	20.4	28.9	29.8	27.0	15.8	4.3	1.2	22.3	22.7	19.8
時々あった	28.6	19.2	27.4	32.5	36.2	34.8	13.6	1.2	28.9	29.7	29.7
ひんぱんにあった	9.7	3.6	7.4	9.6	12.5	13.3	7.5	3.7	9.6	9.8	10.8
日常的にあった	16.9	17.3	12.1	15.8	18.4	24.7	13.2	4.9	17.4	16.7	16.5
無回答	23.4	39.4	24.3	12.3	6.0	11.5	61.4	88.9	21.8	21.1	23.2
あった（計）	55.2	40.1	46.8	57.9	67.0	72.7	34.3	9.9	55.9	56.2	57.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（c）第1子7歳時：(1) -2. 自身の両親による子育ての手助け											
ほとんどなかった	38.5	25.8	38.8	49.3	47.9	42.9	15.3	—	38.4	43.2	38.7
時々あった	23.3	14.4	19.7	25.2	29.4	30.1	14.3	6.2	24.1	23.3	24.2
ひんぱんにあった	6.7	4.6	5.5	6.8	8.6	8.3	5.1	3.7	6.9	6.5	7.2
日常的にあった	6.9	12.2	7.3	5.7	7.7	7.1	4.0	1.2	7.4	4.6	6.1
無回答	24.5	43.1	28.8	13.0	6.4	11.6	61.3	88.9	23.2	22.3	23.8
あった（計）	37.0	31.1	32.4	37.7	45.7	45.5	23.4	11.1	38.4	34.5	37.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q16（c）第1子7歳時：(1) -3. 配偶者の両親による子育ての手助け											
ほとんどなかった	52.2	33.3	48.6	62.7	66.1	60.8	25.3	3.7	52.8	54.9	53.7
時々あった	13.0	9.7	11.4	13.8	16.3	15.7	8.4	3.7	13.6	13.4	12.8
ひんぱんにあった	3.1	2.2	2.7	2.8	3.4	4.4	2.5	3.7	3.5	2.7	3.2
日常的にあった	6.1	11.7	8.3	5.9	5.3	6.8	2.1	—	5.7	5.7	5.7
無回答	25.6	43.1	28.9	14.8	8.8	12.3	61.6	88.9	24.4	23.3	24.7
あった（計）	22.2	23.6	22.5	22.5	25.1	26.9	13.0	7.4	22.8	21.8	21.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q16. (2) 子育てのために利用した制度や施設											
産前・産後休業制度	0.6	1.0	1.3	0.5	0.7	0.2	0.1	—	0.6	0.7	0.4
育児休業制度	0.2	—	—	—	0.6	—	0.3	—	0.2	0.3	0.2
育児時間制度・短時間勤務制度	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.9	—	0.4	0.6	0.3
公立・私立の認可保育園	3.3	1.2	3.2	3.2	4.6	4.7	1.7	—	3.0	4.4	3.6
認可外保育施設・認証保育所	0.4	0.2	0.4	0.2	0.6	0.5	0.8	—	0.5	0.3	0.6
企業内・病院内保育所	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—
保育ママ・ベビーシッターなど	3.1	1.9	3.3	3.1	3.6	3.9	1.1	—	3.4	2.3	3.2
地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	1.0	0.2	0.1	0.2	0.5	2.5	2.5	—	0.7	1.2	1.7
保育所・幼稚園等の一時預かり	1.2	2.2	0.9	1.0	1.5	1.2	0.8	—	1.1	1.6	0.8
幼稚園	12.5	18.2	15.7	15.5	14.7	9.4	4.2	—	13.3	11.2	11.7
学童保育	13.0	1.0	5.0	10.7	16.2	24.1	13.7	1.2	12.8	17.3	13.3
塾・習い事	24.3	10.7	12.5	18.4	31.8	43.1	20.8	—	25.2	23.1	28.4
その他	2.6	7.8	4.2	2.2	1.7	2.5	0.8	—	2.5	2.2	1.9
どれも利用しなかった	20.9	17.0	27.8	33.3	25.4	13.4	3.5	7.4	20.8	23.7	19.5
無回答	29.4	45.7	33.5	19.4	13.4	15.7	63.2	91.4	28.3	25.7	28.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	6121	411	987	1242	1261	1139	889	81	2607	1251	1677
Q17. 現在の同居家族（複数回答）											
本人のみ	16.3	32.2	20.4	12.1	6.8	7.0	15.0	34.1	14.8	17.0	14.5
配偶者	63.7	31.0	63.7	76.9	81.3	78.2	68.2	19.8	64.7	65.0	68.6
母・義母	14.5	0.4	2.1	7.8	17.7	17.8	14.2	34.6	15.4	16.4	15.1
父・義父	9.7	—	—	1.2	6.5	11.5	12.1	32.3	10.0	10.6	10.5
未婚の子ども	38.9	12.1	19.1	27.5	54.3	71.8	52.5	7.8	37.5	40.4	46.2
既婚の子ども	4.3	21.4	11.6	4.1	1.0	0.5	1.7	0.4	3.7	2.9	2.3
孫	3.2	16.2	10.4	3.5	0.5	—	—	—	2.8	2.2	1.4
その他	7.5	12.6	6.4	4.3	1.6	2.6	6.4	24.4	8.0	6.7	6.0
無回答	3.1	5.6	2.8	2.0	2.2	1.9	2.9	5.6	2.9	2.7	2.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q17. 同居未婚の子の人数											
1 人	52.0	86.2	88.9	82.1	59.7	32.3	41.0	75.3	54.3	49.0	48.5
2 人	38.2	10.8	10.6	16.3	32.8	50.8	48.7	20.4	36.6	41.3	40.4
3 人以上	9.3	—	—	1.3	7.0	16.6	9.9	2.2	8.7	9.2	10.8
無回答	0.5	3.1	0.4	0.3	0.5	0.3	0.3	2.2	0.4	0.5	0.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	3553	65	226	392	796	1082	858	93	1469	775	1140
Q17. 同居既婚の子の人数											
1 人	75.6	73.9	81.8	89.7	85.7	37.5	32.1	40.0	70.1	83.6	74.1
2 人	17.0	13.9	13.1	8.6	14.3	50.0	50.0	60.0	22.9	9.1	22.4
3 人以上	2.5	4.3	—	—	—	12.5	14.3	—	2.8	1.8	—
無回答	4.8	7.8	5.1	1.7	—	—	3.6	—	4.2	5.5	3.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	393	115	137	58	14	8	28	5	144	55	58
Q17. 同居孫の人数											
1 人	36.1	42.5	32.5	24.0	62.5	—	—	—	33.3	26.2	44.1
2 人	47.2	41.4	51.2	52.0	37.5	—	—	—	52.8	54.8	35.3
3 人以上	15.6	14.9	15.4	24.0	—	—	—	—	13.0	16.7	20.6
無回答	1.0	1.1	0.8	—	—	—	—	—	0.9	2.4	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	288	87	123	50	8	—	—	—	108	42	34
Q18. (a) 大学卒業時に理想としていた生き方のタイプ											
結婚せず、仕事を一生続ける	5.2	5.2	4.6	4.1	6.2	4.8	5.3	5.8	6.0	5.8	3.4
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	2.9	0.9	1.5	1.8	2.8	3.6	4.6	3.4	3.5	3.1	2.3
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	44.4	33.6	38.4	40.7	41.5	45.8	53.1	50.9	45.1	47.5	43.3
結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事	28.6	24.2	33.6	33.9	29.7	28.7	23.3	26.0	27.2	28.5	32.2
結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない	12.2	18.6	12.1	13.3	14.2	12.6	10.5	8.3	11.3	9.8	14.5
その他	3.7	5.6	5.4	4.1	4.0	3.6	2.1	2.0	4.3	2.8	2.8
無回答	3.0	11.9	4.4	2.0	1.6	0.8	1.1	3.5	2.6	2.3	1.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q18.（b）現在までにたどってきた生き方のタイプ											
結婚せず、仕事を一生続ける	14.2	8.7	5.3	5.5	5.5	9.8	21.8	41.2	14.7	15.1	13.2
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	5.7	3.2	2.5	2.9	4.8	9.1	9.4	5.2	6.1	5.9	5.9
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	26.1	29.2	24.4	25.2	27.7	26.7	30.6	19.4	26.5	26.4	25.4
結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事	26.2	22.1	31.2	38.8	35.7	29.2	14.2	9.9	25.4	26.9	27.9
結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない	15.6	16.7	21.1	17.7	16.1	17.3	16.2	3.9	14.9	14.7	17.3
その他	8.6	10.6	10.7	8.2	9.0	7.0	6.3	11.1	9.3	7.8	7.8
無回答	3.6	9.5	4.7	1.7	1.2	0.9	1.5	9.4	3.1	3.3	2.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q18.（c）現在予想する、自分がたどりそうな生き方のタイプ											
結婚せず、仕事を一生続ける	5.8	3.5	1.9	3.1	5.2	8.4	7.4	9.0	6.2	6.3	4.9
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	4.7	0.7	1.4	1.6	4.6	10.0	6.9	3.7	5.3	5.2	4.3
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	28.4	19.9	16.1	19.1	27.7	26.9	41.1	42.4	29.0	29.5	29.4
結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事	26.7	11.9	14.5	22.4	30.6	33.2	32.3	31.9	25.1	27.1	32.4
結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない	9.9	10.8	11.8	12.1	13.8	10.8	5.9	5.0	10.0	9.2	10.6
その他	12.4	20.4	23.8	22.1	11.2	8.4	4.7	3.0	13.0	11.4	10.6
無回答	12.2	32.7	30.6	19.6	6.7	2.5	1.7	5.0	11.5	11.2	8.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19. 男性と女性の違いについての賛否											
Q19.（1）家庭のこまごまとした管理は女性でなくてはと思う											
そう思う	9.1	21.2	13.0	8.1	6.1	8.0	6.9	7.7	8.4	7.2	9.0
どちらかといえばそう思う	34.9	41.1	39.5	35.8	32.0	31.9	36.0	33.2	33.8	36.5	34.5
あまりそう思わない	34.8	17.3	29.8	34.4	39.1	39.2	36.4	35.7	35.5	35.6	36.6
そう思わない	18.1	8.6	12.7	18.7	21.4	19.8	19.7	20.1	19.6	18.4	18.2
無回答	3.1	11.9	5.1	3.0	1.3	1.1	1.0	3.4	2.8	2.3	1.7
そう思う（計）	44.0	62.3	52.5	43.9	38.2	39.9	42.9	40.9	42.1	43.7	43.5
そう思わない（計）	52.9	25.8	42.4	53.1	60.5	59.0	56.0	55.8	55.0	54.0	54.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19.（2）男性も女性と同等に家事・育児にかかわるべきだ											
そう思う	35.1	22.9	22.1	32.0	37.4	36.6	41.3	44.9	37.0	35.0	35.2
どちらかといえばそう思う	41.4	44.6	46.4	44.0	41.2	41.2	39.3	36.3	41.4	40.8	41.7
あまりそう思わない	17.9	18.0	23.4	18.4	17.6	18.3	16.2	14.2	16.8	19.4	18.3
そう思わない	2.8	4.6	3.6	3.4	2.6	2.9	2.1	1.3	2.4	2.8	3.0
無回答	2.8	9.9	4.6	2.2	1.2	1.0	1.2	3.4	2.5	2.0	1.7
そう思う（計）	76.5	67.5	68.5	75.9	78.6	77.8	80.5	81.2	78.4	75.8	76.9
そう思わない（計）	20.7	22.7	27.0	21.9	20.2	21.2	18.3	15.4	19.2	22.2	21.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19.（3）人前では妻は夫を立てた方がよい											
そう思う	18.8	32.5	17.3	11.9	12.0	15.9	23.2	27.2	16.9	18.2	19.6
どちらかといえばそう思う	46.2	40.1	42.0	45.4	46.0	47.7	50.9	47.3	46.5	45.9	48.2
あまりそう思わない	22.9	13.9	25.6	26.6	28.7	25.3	18.9	15.8	23.6	23.8	22.5
そう思わない	9.0	3.3	9.8	13.5	11.3	10.2	5.8	6.2	10.2	9.9	7.8
無回答	3.0	10.0	5.2	2.6	2.0	0.9	1.1	3.4	2.8	2.2	1.9
そう思う（計）	65.0	72.7	59.3	57.3	58.0	63.6	74.2	74.5	63.4	64.1	67.9
そう思わない（計）	31.9	17.3	35.4	40.1	40.0	35.5	24.7	22.0	33.8	33.7	30.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q19.（4）妻も収入を得て家計を支えるべきだ											
そう思う	29.4	29.9	27.2	33.6	32.7	29.6	26.5	26.0	31.6	26.7	28.1
どちらかといえばそう思う	45.3	37.4	44.9	44.2	44.2	46.0	47.0	50.4	44.0	48.1	47.9
あまりそう思わない	19.2	18.6	18.6	16.5	18.4	19.8	23.0	18.2	18.3	20.4	19.6
そう思わない	2.8	3.5	3.6	2.5	2.5	3.3	2.4	2.0	3.1	2.4	2.4
無回答	3.3	10.6	5.7	3.1	2.2	1.3	1.2	3.4	3.1	2.4	2.1
そう思う（計）	74.7	67.3	72.1	77.8	76.9	75.6	73.4	76.5	75.5	74.7	75.9
そう思わない（計）	22.0	22.1	22.2	19.1	20.9	23.1	25.4	20.2	21.4	22.9	22.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19.（5）結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ											
そう思う	1.7	6.3	2.5	1.1	0.7	1.1	1.3	1.6	1.5	1.1	1.5
どちらかといえばそう思う	12.0	19.3	12.3	11.5	10.5	11.2	11.3	12.4	11.2	10.8	12.9
あまりそう思わない	40.3	32.0	37.8	37.0	40.8	40.9	44.7	44.8	39.7	41.9	42.1
そう思わない	42.9	30.3	42.3	48.0	46.5	45.9	41.5	37.9	44.9	43.9	41.7
無回答	3.0	12.1	5.1	2.4	1.6	0.9	1.2	3.4	2.8	2.2	1.7
そう思う（計）	13.8	25.7	14.8	12.6	11.2	12.3	12.6	14.0	12.6	11.9	14.4
そう思わない（計）	83.2	62.3	80.1	85.0	87.3	86.7	86.2	82.7	84.6	85.8	83.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19.（6）子どもが小さいうちは母親は仕事を持たずに家が望ましい											
そう思う	18.4	34.0	21.0	17.3	15.3	15.8	16.4	19.5	17.9	16.5	18.1
どちらかといえばそう思う	36.5	33.6	41.0	35.0	35.2	33.9	36.1	41.6	36.6	35.8	37.9
あまりそう思わない	27.3	16.0	21.7	28.1	30.3	31.1	30.5	24.9	26.9	30.1	27.9
そう思わない	15.0	7.1	11.9	17.3	17.4	18.2	16.0	10.5	16.1	15.3	14.4
無回答	2.8	9.3	4.3	2.4	1.8	0.9	1.1	3.5	2.5	2.3	1.7
そう思う（計）	54.9	67.7	62.0	52.3	50.6	49.7	52.4	61.1	54.5	52.3	55.9
そう思わない（計）	42.3	23.0	33.6	45.3	47.6	49.4	46.5	35.3	43.0	45.4	42.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19.（7）結婚しても人生には結婚相手等とは別の自分の目標を持つべき											
そう思う	39.3	31.8	39.8	43.8	44.9	42.6	35.2	32.3	43.1	36.3	37.1
どちらかといえばそう思う	40.8	36.4	39.1	36.9	40.6	42.1	44.5	43.8	39.3	42.5	43.3
あまりそう思わない	14.4	15.6	13.7	14.2	11.0	12.6	16.9	18.3	12.5	17.1	15.4
そう思わない	2.6	5.6	3.4	2.9	2.0	1.6	2.1	2.1	2.5	1.9	2.5
無回答	2.9	10.6	4.1	2.2	1.4	1.1	1.2	3.5	2.6	2.2	1.6
そう思う（計）	80.1	68.2	78.9	80.6	85.5	84.7	79.7	76.1	82.4	78.8	80.5
そう思わない（計）	17.0	21.2	17.1	17.2	13.1	14.2	19.0	20.4	15.0	19.0	17.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q19.（8）女性は出産する可能性があるため男性と仕事の上で互角は無理											
そう思う	8.7	12.5	6.9	7.3	4.8	8.4	12.4	10.1	7.7	9.3	9.0
どちらかといえばそう思う	35.0	37.9	33.9	32.2	31.4	35.0	39.0	37.4	32.9	36.5	36.7
あまりそう思わない	35.9	27.7	34.7	36.7	41.6	38.0	34.0	34.0	37.0	35.2	36.9
そう思わない	17.5	11.5	19.7	21.7	20.7	17.7	13.4	15.2	19.7	17.0	15.6
無回答	2.9	10.4	4.7	2.0	1.5	1.0	1.2	3.4	2.6	2.0	1.7
そう思う（計）	43.7	50.4	40.8	39.5	36.2	43.3	51.4	47.4	40.6	45.8	45.8
そう思わない（計）	53.4	39.2	54.4	58.5	62.3	55.7	47.4	49.2	56.7	52.2	52.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q19. (9) 結婚したら、子どもは持つべきだ											
そう思う	24.3	48.1	31.0	27.8	21.9	18.7	17.7	20.4	23.2	22.4	22.1
どちらかといえばそう思う	41.4	30.3	41.8	41.9	46.7	44.5	41.3	36.6	39.7	43.0	45.9
あまりそう思わない	20.7	9.3	14.5	18.2	20.0	23.2	26.2	25.7	22.3	21.7	20.1
そう思わない	10.7	2.8	8.1	9.5	9.5	12.5	13.6	13.8	12.1	10.7	9.9
無回答	2.9	9.5	4.6	2.6	1.9	1.1	1.2	3.5	2.7	2.2	2.0
そう思う（計）	65.6	78.4	72.8	69.7	68.6	63.2	59.0	57.0	63.0	65.4	68.0
そう思わない（計）	31.4	12.1	22.7	27.7	29.5	35.8	39.8	39.5	34.3	32.4	30.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q21. 卒業生に対して行うサービスとしてあればよいと思うもの（複数回答）											
余暇を楽しく有意義に過ごすための場や機会の提供	17.8	24.9	22.1	19.3	17.5	14.0	14.5	18.8	18.6	17.0	16.2
知識・技能を高め転職・昇進につながる場や機会の提供	60.3	48.7	54.7	55.5	62.2	63.0	64.8	67.3	61.0	58.6	64.3
他人の手助けや、ボランティア活動に役立つ機会の提供	29.4	33.5	34.2	32.7	33.2	28.9	26.3	19.6	30.2	27.4	30.1
実技をともなった、健康維持等の学びの場や機会の提供	12.2	20.1	14.9	13.1	11.6	9.4	9.2	13.3	12.2	11.3	11.7
自分がこれまで得た知識・経験を伝える場や機会の提供	17.6	24.9	20.7	19.2	16.5	16.4	15.1	15.6	18.5	15.6	16.6
お茶の水大学の卒業生同士が交流できる場や機会の提供	29.5	31.6	26.9	23.0	25.9	32.2	36.5	32.2	30.2	26.8	31.6
地域社会をよりよいものにする学びの場や機会の提供	18.9	23.4	22.8	24.4	20.6	15.1	15.2	14.3	19.8	16.8	18.6
お茶の水大学で開講の授業に参加できる場や機会の提供	51.5	38.5	44.5	47.1	56.8	57.2	55.4	53.6	55.8	45.5	53.7
お茶の水女子大学の研究成果を聞ける場や機会の提供	24.3	29.4	28.0	22.2	23.3	23.8	21.7	26.0	24.8	20.9	25.5
仕事上の相談に訪れることができる場や機会の提供	22.2	23.4	20.5	20.3	22.7	21.5	22.7	25.8	21.5	21.2	25.0
子育てや子の教育相談に訪れられる場や機会の提供	24.0	23.0	18.3	16.2	18.3	21.4	33.4	37.0	22.7	21.4	28.9
卒業生の人材登録サービスや就職支援	45.9	29.2	38.5	43.3	52.8	50.2	50.3	46.1	45.5	47.4	50.3
その他	3.1	4.5	4.1	3.4	2.7	2.7	2.4	2.6	3.0	3.3	2.6
無回答	6.4	18.2	10.2	8.2	5.2	3.5	2.6	3.8	5.2	7.3	4.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q22. (a) お茶の水女子大学〔学部〕の方向への考え方											
将来にわたって、別学を維持	41.6	29.7	34.5	36.5	37.1	48.9	46.4	50.7	41.3	44.6	42.6
当分の間は、別学を維持	39.4	39.4	40.1	39.2	42.4	37.9	40.0	37.0	39.0	38.3	40.9
できるだけ早期に共学化をすすめる	12.7	14.5	15.5	15.4	15.5	9.4	10.9	9.0	14.1	10.9	11.4
無回答	6.3	16.4	10.0	9.0	5.0	3.8	2.6	3.3	5.6	6.1	5.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q22. (a) お茶の水女子大学〔大学院〕の方向への考え方											
将来にわたって、別学を維持したほうがよい	25.3	18.0	17.7	18.7	22.4	32.5	29.1	33.4	25.9	27.1	24.9
当分の間は、別学を維持したほうがよい	35.0	28.3	32.2	31.3	36.4	35.5	39.1	37.5	33.3	35.7	38.6
できるだけ早期に、共学化をすすめたほうがよい	24.4	27.1	29.3	29.4	27.2	20.4	21.4	17.9	25.1	24.2	22.8
無回答	15.3	26.6	20.8	20.6	14.0	11.6	10.5	11.1	15.7	13.0	13.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23. (a) お茶の水女子大学の将来像についての重視度 Q23. (1) 女性の多様なライフコースに柔軟に対応する大学											
かなり重視する	37.2	26.0	28.1	34.9	36.9	41.7	41.4	42.5	38.2	33.6	40.9
重視する	44.2	35.1	42.9	41.0	44.6	45.1	48.4	48.1	44.1	45.2	46.0
あまり重視しない	10.7	10.4	13.8	13.4	12.5	10.0	8.0	6.6	10.1	13.5	9.0
まったく重視しない	1.2	1.1	1.6	1.8	1.4	0.9	0.9	0.8	1.3	1.5	0.6
無回答	6.8	27.3	13.6	9.0	4.5	2.3	1.3	2.0	6.3	6.1	3.4
重視する（計）	81.3	61.2	71.0	75.9	81.5	86.8	89.8	90.5	82.3	78.8	87.0
重視しない（計）	11.8	11.5	15.4	15.1	14.0	10.9	8.8	7.5	11.4	15.1	9.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q23.（2）これまで女子高等教育で不十分であった領域を重視した大学											
かなり重視する	21.2	27.5	24.9	23.6	18.6	18.4	19.9	20.5	22.2	22.4	17.1
重視する	48.1	39.4	48.6	46.9	49.4	51.6	47.6	48.4	47.8	51.4	48.0
あまり重視しない	22.7	7.1	13.4	19.1	25.8	25.8	29.5	28.1	22.9	19.2	29.2
まったく重視しない	1.2	0.4	0.4	1.5	1.6	1.4	1.2	1.4	1.3	1.1	1.5
無回答	6.7	25.7	12.8	9.0	4.6	2.8	1.8	1.6	5.8	5.8	4.3
重視する（計）	69.3	66.9	73.5	70.5	68.0	70.0	67.5	68.9	70.0	73.8	65.0
重視しない（計）	23.9	7.4	13.8	20.5	27.5	27.2	30.6	29.5	24.2	20.4	30.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（3）これまで女子高等教育で重視してきた領域に重点化した大学											
かなり重視する	20.7	18.6	18.7	19.1	19.8	21.5	23.0	22.6	20.0	14.5	27.3
重視する	47.0	36.6	38.7	42.8	49.3	51.5	50.5	52.8	47.4	44.8	50.6
あまり重視しない	23.4	15.4	26.2	25.9	23.9	23.9	23.3	21.4	24.5	31.7	16.8
まったく重視しない	1.5	1.3	1.6	2.0	2.0	0.6	1.3	1.4	1.6	2.1	0.9
無回答	7.4	28.1	14.8	10.2	5.0	2.5	1.9	1.8	6.5	6.9	4.5
重視する（計）	67.7	55.2	57.4	61.9	69.1	73.0	73.5	75.4	67.3	59.3	77.9
重視しない（計）	24.9	16.7	27.8	27.9	25.9	24.5	24.6	22.8	26.1	33.9	17.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（4）女性学・ジェンダー研究などの領域を重点化した大学											
かなり重視する	22.0	10.2	14.5	19.7	23.4	28.9	26.5	21.6	23.6	15.9	26.6
重視する	40.9	28.3	34.0	38.2	42.9	45.0	44.9	44.6	40.6	41.8	43.3
あまり重視しない	26.4	25.7	31.5	28.6	26.7	21.4	24.4	28.1	26.1	31.3	23.5
まったく重視しない	3.4	2.8	4.3	5.0	3.0	2.6	2.5	3.9	3.3	4.5	2.8
無回答	7.3	33.1	15.7	8.5	3.9	2.1	1.7	1.9	6.4	6.5	3.8
重視する（計）	62.9	38.5	48.4	57.9	66.4	73.9	71.4	66.2	64.2	57.7	69.9
重視しない（計）	29.8	28.4	35.8	33.6	29.7	24.0	26.9	31.9	29.4	35.8	26.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（5）学部と大学院の教育・研究の交流を積極的に図る大学											
かなり重視する	22.4	20.1	20.4	19.7	16.6	21.1	27.6	30.9	22.9	21.4	22.7
重視する	53.6	40.7	51.0	52.6	58.6	58.7	53.2	52.7	53.1	54.1	57.1
あまり重視しない	15.6	8.0	12.8	16.1	18.8	17.7	16.7	13.6	15.9	17.1	15.6
まったく重視しない	0.6	0.4	0.8	0.8	0.7	0.3	0.6	0.8	0.7	0.6	0.4
無回答	7.7	30.9	15.0	10.8	5.3	2.3	2.0	2.0	7.3	6.9	4.1
重視する（計）	76.0	60.8	71.3	72.3	75.2	79.8	80.8	83.6	76.0	75.4	79.8
重視しない（計）	16.2	8.4	13.6	16.9	19.5	18.0	17.2	14.4	16.6	17.7	16.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（6）他の大学との単位互換を含め、大学間の交流を図る大学											
かなり重視する	26.9	22.5	25.5	25.8	22.1	23.8	30.6	36.8	28.8	25.4	25.8
重視する	48.4	38.3	48.7	50.1	53.0	51.6	47.0	45.5	47.6	50.7	50.7
あまり重視しない	17.1	9.7	11.6	15.3	19.4	21.1	20.1	15.3	16.4	17.2	19.2
まったく重視しない	1.0	1.1	1.0	0.4	1.6	1.1	0.9	0.6	1.2	0.9	0.7
無回答	6.6	28.4	13.2	8.4	4.0	2.5	1.5	1.8	6.0	5.7	3.6
重視する（計）	75.3	60.8	74.2	75.9	75.1	75.4	77.5	82.2	76.4	76.1	76.5
重視しない（計）	18.0	10.8	12.6	15.7	21.0	22.2	21.0	15.9	17.6	18.2	19.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q23.（7）教育のねらいを高度な専門職業人の養成にしぼった大学											
かなり重視する	14.6	17.8	16.5	14.9	12.0	12.7	15.6	14.0	14.9	11.6	14.7
重視する	32.7	29.6	32.9	30.0	34.1	30.7	36.2	34.2	31.2	31.8	36.5
あまり重視しない	41.9	21.9	33.1	42.6	46.4	49.9	42.2	44.9	43.2	46.1	41.8
まったく重視しない	3.7	1.3	3.3	3.1	3.2	4.2	4.3	5.0	4.2	4.1	3.1
無回答	7.2	29.4	14.3	9.4	4.3	2.5	1.7	1.9	6.5	6.5	3.8
重視する（計）	47.3	47.4	49.4	44.9	46.1	43.5	51.7	48.2	46.1	43.3	51.2
重視しない（計）	45.6	23.2	36.3	45.7	49.6	54.1	46.5	49.9	47.4	50.2	45.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（8）通信・遠隔地教育等時間や場所に制約されずに学習可能大学											
かなり重視する	9.2	8.2	10.3	9.0	8.7	8.6	10.7	8.3	9.5	7.8	9.5
重視する	27.2	27.0	28.8	28.5	29.2	27.3	24.1	25.4	27.1	26.4	27.5
あまり重視しない	46.9	31.2	40.0	45.3	49.4	53.0	50.5	49.7	47.0	49.4	49.1
まったく重視しない	9.2	3.3	5.8	7.4	8.0	8.9	12.7	14.6	9.5	10.1	9.6
無回答	7.4	30.3	15.0	9.7	4.6	2.3	2.0	2.0	6.8	6.4	4.3
重視する（計）	36.4	35.1	39.1	37.5	38.0	35.8	34.8	33.7	36.7	34.2	37.0
重視しない（計）	56.2	34.6	45.8	52.7	57.4	61.9	63.2	64.3	56.5	59.5	58.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（9）卒業生を学生や研究生、院生として積極的に受け入れる大学											
かなり重視する	20.4	17.5	17.9	18.4	18.2	19.7	22.4	27.3	22.1	16.0	21.3
重視する	51.6	40.5	49.5	49.9	56.5	54.7	51.3	53.3	51.1	52.3	55.4
あまり重視しない	19.8	13.6	18.0	21.3	19.8	21.7	22.8	16.2	19.2	23.9	18.3
まったく重視しない	1.3	0.7	0.6	1.3	1.2	1.3	1.7	1.6	1.3	1.6	1.0
無回答	7.0	27.7	13.9	9.1	4.3	2.5	1.8	1.7	6.2	6.3	3.9
重視する（計）	72.0	58.0	67.5	68.3	74.7	74.5	73.7	80.6	73.2	68.3	76.7
重視しない（計）	21.0	14.3	18.6	22.6	21.0	23.0	24.5	17.8	20.5	25.4	19.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q23.（10）男女共同参画社会をリードする人材を養成する大学											
かなり重視する	33.0	27.3	25.4	30.9	32.8	35.1	38.1	36.7	34.9	28.5	35.1
重視する	42.4	31.6	41.9	42.1	43.5	44.7	43.2	45.0	42.3	44.5	44.2
あまり重視しない	16.3	13.0	17.7	16.6	17.8	16.7	15.6	14.4	15.4	18.9	15.7
まったく重視しない	1.8	1.9	1.7	2.5	2.0	1.5	1.3	2.1	1.7	2.4	1.4
無回答	6.5	26.2	13.3	7.9	4.0	2.1	1.8	1.8	5.8	5.7	3.6
重視する（計）	75.4	58.9	67.4	73.0	76.3	79.8	81.3	81.7	77.1	73.1	79.3
重視しない（計）	18.1	14.9	19.4	19.1	19.8	18.1	16.9	16.5	17.1	21.3	17.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q24. 父親の最終学歴											
新制中学校・尋常小学校・高等小学校	8.5	16.5	10.4	12.1	11.7	7.2	5.0	1.6	8.8	8.0	7.1
新制高校・旧制中学校・旧制実業学校・旧制師範学校	21.0	22.1	21.9	23.4	23.5	21.0	19.7	15.0	21.0	21.0	20.4
新制高等専門学校・新制短期大学・旧制高校・旧制高専	10.6	9.3	13.6	14.9	13.6	9.8	6.3	5.8	10.4	10.1	11.2
新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校	52.4	32.9	43.2	42.5	45.1	56.1	64.4	72.2	52.3	53.8	56.0
その他	2.2	4.3	4.6	3.1	1.9	1.5	0.6	1.0	2.3	2.0	1.8
わからない	1.4	3.3	1.0	1.1	1.0	1.3	1.6	1.2	1.3	1.3	1.0
無回答	4.0	11.5	5.3	2.9	3.3	3.1	2.4	3.3	4.0	3.8	2.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

質問番号	全体	卒業年コーホート							卒業学部		
選択肢		-1950	1951-1960	1961-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	文教育	理	家政・生活科学
Q24. 父親のこれまでの主な仕事											
専門・技術的職業	32.2	36.1	37.6	35.6	29.2	31.1	28.0	31.3	31.4	31.0	32.9
管理的職業	37.0	21.0	31.4	35.3	42.1	40.7	40.4	37.8	37.5	39.9	37.5
事務的職業	6.3	5.9	5.4	5.2	5.9	7.0	7.0	7.5	7.0	5.7	6.1
販売的職業	6.8	9.3	7.4	7.2	6.9	5.5	6.9	6.4	6.8	6.3	6.8
保安・サービス的職業	1.4	0.7	0.8	1.3	1.1	1.4	1.8	2.4	1.7	1.2	1.5
運輸・通信的職業	1.9	3.0	2.5	1.7	1.8	1.7	2.0	1.6	1.8	1.6	2.0
農林漁業	2.0	3.5	1.2	2.9	2.7	1.5	1.8	1.3	1.7	2.0	2.3
技能工・単純労務作業	3.0	1.1	1.5	2.5	2.6	4.0	5.1	2.6	3.3	3.1	3.2
その他	3.6	5.8	4.6	3.7	3.7	2.9	2.9	3.4	3.3	3.9	3.6
家族従業者	0.5	0.4	0.6	0.2	0.5	0.9	0.6	0.7	0.6	0.5	0.6
収入を伴う仕事はしていない	0.1	0.6	0.1	0.1	—	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
わからない	0.6	0.6	0.8	0.6	0.2	0.1	0.6	1.3	0.6	0.7	0.4
無回答	4.4	12.1	6.1	3.7	3.3	3.1	2.9	3.8	4.4	4.0	2.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q24. 父親の事業内容											
農林漁業	2.5	3.0	1.4	3.4	3.0	2.3	2.4	1.7	2.1	2.2	3.1
鉱業	1.1	0.7	1.6	1.4	1.2	0.9	1.3	0.3	1.1	1.2	0.9
建設業	4.5	2.2	1.9	2.9	2.5	5.6	7.8	6.5	4.8	4.1	5.1
製造業	18.5	7.1	11.6	14.7	19.6	22.6	26.1	20.4	18.6	21.7	19.3
電気・ガス・熱供給・水道業	2.8	1.3	2.0	2.2	3.3	2.7	3.7	3.5	2.9	3.1	2.8
運輸・通信業	5.0	4.3	5.5	5.5	5.5	5.0	4.5	4.7	4.6	5.5	5.2
卸売・小売業、飲食店	7.3	6.3	6.7	7.7	8.0	6.6	8.0	7.0	6.9	7.9	7.7
金融・保険業、不動産業	5.8	3.7	5.0	4.4	5.8	7.1	5.9	7.7	5.9	6.1	5.7
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	2.0	1.3	2.4	1.9	1.8	2.4	2.0	2.1	2.3	2.1	1.5
情報・通信	1.6	0.7	0.6	0.6	1.1	1.5	2.8	3.4	1.3	2.4	1.5
医療・福祉	3.9	2.8	5.0	4.3	3.5	3.9	2.9	4.9	3.6	3.5	4.5
教育・研究	14.7	17.3	17.6	17.7	14.9	14.5	10.5	12.6	15.3	12.4	15.0
法律・会計	1.4	1.3	2.4	1.0	1.9	1.5	0.8	1.1	1.6	1.3	1.1
公務	10.4	6.9	9.8	9.9	12.2	11.3	10.6	10.1	10.4	11.0	11.1
その他	3.4	4.8	3.3	3.5	3.1	3.6	2.6	4.5	3.5	2.7	3.8
家事労働	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	0.1	—
無職	0.1	0.2	—	—	0.1	0.1	0.1	—	0.1	—	—
わからない	0.8	0.7	0.9	0.8	0.3	0.4	0.7	1.9	0.9	1.4	0.4
無回答	14.0	35.3	22.3	18.0	12.3	8.0	7.2	7.7	14.0	11.3	11.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q24. 母親の最終学歴											
新制中学校・尋常小学校・高等小学校	9.1	20.3	13.4	12.6	11.3	7.4	4.7	1.3	9.3	8.3	7.1
新制高・旧制中・旧制高女・旧制実業・旧制師範・旧女	48.4	49.6	59.3	62.2	62.2	49.5	34.6	21.8	49.0	48.9	46.3
新制高専・新制短大・旧制高校・旧制高専・旧制女子専	18.1	7.1	13.4	12.4	14.0	20.0	26.8	26.5	17.9	18.9	20.6
新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校	17.8	7.2	5.2	7.2	7.4	18.1	29.0	45.1	17.5	17.7	21.1
その他	0.9	1.1	1.1	0.4	0.3	1.1	0.8	1.7	0.7	1.0	1.0
わからない	1.0	1.5	1.1	0.7	0.9	0.8	1.5	0.4	0.8	1.0	0.9
無回答	4.7	13.2	6.5	4.6	4.0	3.2	2.8	3.3	4.6	4.2	3.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469
Q24. 母親の出産・子育てと就業生活											
一度も仕事に就いたことがない	24.7	45.2	50.1	43.2	27.9	13.3	6.4	3.5	24.1	24.9	21.1
結婚・出産後に初めて仕事に就いた	4.9	2.6	6.5	8.8	5.8	3.8	2.7	3.5	5.1	4.6	5.4
結婚・出産後も仕事を続けた	17.1	17.8	12.3	13.5	16.4	17.9	19.8	21.3	18.4	14.0	17.1
結婚・出産を機に退職し、その後フルタイムで再就職	6.5	1.7	3.0	5.2	4.8	7.3	11.5	8.6	6.6	6.5	7.6
結婚・出産を機に退職し、その後パートタイムで再就職	17.4	1.1	3.1	3.6	11.5	23.2	33.5	34.6	16.8	19.0	20.7
結婚・出産を機に退職し、その後仕事はしていない	22.4	13.9	13.8	17.8	28.2	29.9	22.8	24.7	22.4	24.8	23.2
わからない	1.0	1.7	1.9	1.3	0.5	0.8	0.5	0.6	0.8	0.7	1.1
無回答	5.9	16.0	9.3	6.6	4.8	3.9	2.9	3.2	5.6	5.5	3.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	9141	538	1183	1426	1467	1507	1633	1194	3917	1920	2469

付 2-2　クロス集計表（大学院修了生）

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q1. 生年（西暦）								
1919年以前	0.1	0.5	—	—	—	—	0.1	—
1920～1929年	0.6	5.0	—	—	—	—	0.4	1.1
1930～1939年	6.0	41.8	2.0	2.0	1.0	0.8	4.9	8.9
1940～1949年	14.1	52.2	42.3	4.1	3.0	3.0	13.8	15.1
1950～1959年	17.2	—	55.6	36.8	4.9	5.8	17.3	17.0
1960～1969年	22.3	0.5	—	56.8	39.1	5.6	19.9	29.1
1970～1979年	25.7	—	—	—	52.1	37.3	25.6	25.7
1980年以降	14.0	—	—	—	—	47.5	17.9	2.8
無回答	0.1	—	—	0.3	—	—	—	0.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q1. 年齢								
24歳以下	5.2	—	—	—	—	17.5	7.0	—
25～29歳	12.6	—	—	—	—	42.9	15.0	6.0
30～34歳	12.9	—	—	—	22.3	22.4	13.0	12.8
35～39歳	12.4	—	—	—	41.4	2.4	12.0	13.4
40～44歳	11.6	—	—	24.0	24.5	2.1	10.1	15.7
45～49歳	9.9	0.5	—	43.9	4.1	4.5	9.0	12.3
50～54歳	8.9	—	23.8	23.3	2.0	3.4	9.3	7.7
55～59歳	8.8	1.0	47.6	3.7	2.6	1.9	8.7	8.9
60～64歳	6.5	20.4	22.6	1.4	1.4	1.3	6.1	7.4
65～69歳	5.7	37.3	4.4	2.0	1.4	0.8	5.3	6.8
70～74歳	3.4	24.4	1.2	0.7	0.4	0.6	2.8	5.1
75～79歳	1.8	12.9	0.4	0.7	—	0.2	1.4	2.8
80歳以上	0.4	3.5	—	—	—	—	0.2	0.9
無回答	0.1	—	—	0.3	—	—	—	0.2
平均年齢	44.3	69.0	57.6	48.3	39.1	31.2	43.2	47.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q2. 卒業年								
1950年以前	0.6	5.0	—	—	—	—	0.4	0.9
1951～1960年	4.6	32.8	1.6	1.4	0.4	0.6	3.9	6.6
1961～1970年	12.2	59.2	26.2	3.0	2.6	2.3	11.5	14.3
1971～1980年	16.3	1.0	68.5	23.0	4.5	4.5	16.6	15.3
1981～1990年	19.7	0.5	0.8	66.9	24.3	4.9	17.8	24.9
1991～2000年	24.3	—	—	—	63.5	21.8	24.2	24.7
2001年以降	18.4	—	—	—	0.2	62.3	22.0	8.1
無回答	3.9	1.5	2.8	5.7	4.5	3.6	3.4	5.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q3. 後期中等教育の新制、旧制別								
新制高校	98.3	90.5	98.8	99.3	99.8	99.2	98.9	96.6
旧制高等女学校、旧制師範学校等	1.2	8.5	0.4	—	—	0.4	0.8	2.3
無回答	0.5	1.0	0.8	0.7	0.2	0.4	0.3	1.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q3-1. （a）出身高校の設置主体								
国立	9.1	19.8	17.6	9.5	4.7	5.5	8.8	10.1
都道府県市立	72.8	72.5	73.1	77.2	76.9	65.8	72.0	74.9
私立	16.9	6.0	9.0	12.2	18.0	26.6	18.1	13.4
その他	0.2	—	—	0.3	—	0.6	0.2	0.2
無回答	1.0	1.6	0.4	0.7	0.4	1.5	0.8	1.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1773	182	245	294	506	527	1319	454

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q3-1.（b）出身高校の所在地								
北海道	0.8	1.1	0.8	0.7	0.4	1.1	0.8	0.7
東北	3.6	2.7	2.9	3.4	3.0	4.7	4.0	2.4
信越	2.7	4.9	1.6	2.7	2.6	2.5	2.4	3.5
東京	31.1	46.2	44.5	32.7	22.7	26.8	30.7	32.2
東京以外の関東	27.7	15.9	18.0	22.1	32.8	34.5	27.1	29.3
中部	10.4	9.3	10.2	10.5	12.5	9.1	10.8	9.3
北陸	3.9	3.3	4.1	4.1	4.5	3.6	4.3	2.9
近畿	3.6	2.7	3.7	2.7	4.3	3.6	3.1	5.1
中国	5.5	6.0	5.3	6.1	5.3	4.9	5.8	4.6
四国	3.8	2.7	2.9	6.8	4.2	2.7	4.2	2.6
九州	5.5	3.3	4.9	6.8	6.9	4.7	5.5	5.7
沖縄	0.3	—	0.8	—	0.2	0.6	0.3	0.4
海外	0.2	—	—	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2
無回答	0.8	1.6	0.4	0.7	0.4	0.9	0.7	1.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1773	182	245	294	506	527	1319	454
Q3-1.（c）出身高校の共学校、女子校別								
共学校	69.9	64.8	73.1	72.1	73.5	65.1	69.5	70.9
女子校	29.3	34.1	26.1	27.2	26.1	34.0	29.8	28.0
無回答	0.8	1.1	0.8	0.7	0.4	0.9	0.7	1.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1773	182	245	294	506	527	1319	454
Q4. 出身大学（学部）入学年								
1950 年以前	1.9	15.9	0.4	—	—	0.2	1.4	3.4
1951～1960 年	7.4	50.7	3.2	2.7	1.6	0.8	6.5	10.0
1961～1970 年	14.2	29.9	60.9	3.7	3.2	2.8	13.6	16.0
1971～1980 年	17.6	0.5	33.1	56.1	5.1	6.8	17.5	17.9
1981～1990 年	21.9	—	—	36.1	51.5	4.1	20.4	26.2
1991～2000 年	25.8	—	—	—	36.9	52.4	26.7	23.4
2001 年以降	9.1	—	—	—	—	31.1	12.1	0.6
無回答	1.9	3.0	2.4	1.4	1.8	1.9	1.7	2.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q4. 出身大学（学部）								
1950 年以前	0.7	6.0	—	—	—	—	0.4	1.5
1951～1960 年	4.3	30.8	1.6	1.4	0.4	0.4	3.5	6.6
1961～1970 年	12.0	58.7	25.8	3.0	2.6	2.1	11.3	14.0
1971～1980 年	16.9	0.5	70.2	24.7	4.5	5.1	17.1	16.4
1981～1990 年	20.5	0.5	—	70.3	25.0	5.3	18.7	25.3
1991～2000 年	25.3	—	—	—	65.5	23.0	24.9	26.4
2001 年以降	18.4	—	—	—	—	62.5	22.2	7.7
無回答	1.9	3.5	2.4	0.7	2.0	1.7	1.8	2.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q4. 出身大学（学部）								
東京女子高等師範○○科	0.9	6.5	—	0.3	0.2	—	0.6	1.7
お茶の水女子大学文教育学部哲学科	3.0	3.0	5.2	6.1	1.8	1.5	3.0	3.0
史学科	2.9	4.5	3.6	3.0	3.2	1.7	2.1	5.1
国文学科	6.0	5.5	8.1	8.1	7.7	2.4	5.2	8.3
外国文学科	4.8	1.5	3.6	7.4	7.3	2.8	4.3	6.0
教育学科	5.3	7.0	8.5	9.1	4.7	1.9	4.9	6.4
舞踊教育学科	3.1	0.5	0.8	3.7	6.7	1.5	3.4	2.3
人文科学科	1.4	—	0.8	—	—	4.5	1.8	0.4
言語文化学科	1.9	—	—	0.3	0.2	6.0	2.2	0.9
人間社会学科	1.1	—	—	—	0.2	3.4	1.2	0.6
芸術表現行動学科	1.8	1.0	—	1.0	0.8	4.5	2.4	0.2
文教育学部（文系）	4.3	7.5	6.5	4.4	4.7	1.9	4.0	5.1
文教育学部（理系）	0.1	0.5	—	—	—	—	—	0.2
文教育学部（被服）	—	—	—	—	—	—	—	—
文教育学部（臨教等）	0.1	—	—	—	0.2	—	0.1	—
文教育学部（臨教等の内、理が明白）	—	—	—	—	—	—	—	—
文教育学部（学科 Na）	—	—	—	—	—	—	—	—
その他学科	—	—	—	—	—	—	—	—
理学部数学科	4.3	2.5	3.6	1.4	5.5	5.3	4.5	3.6
物理学科	5.4	9.0	5.2	2.0	4.3	6.8	4.3	8.5
化学科	9.0	11.4	6.9	9.1	9.5	8.7	9.7	7.0
生物学科	9.6	8.0	10.9	10.5	7.1	11.7	8.5	12.6
情報科学科	3.0	—	—	—	3.9	6.6	3.7	1.1
その他学科	0.1	1.0	—	—	—	—	—	0.4
家政学部・生活科学部児童学科	5.5	7.0	9.3	9.5	5.7	0.9	6.3	3.2
食物学科	7.0	7.5	9.3	9.1	8.1	2.8	7.0	7.0
被服学科	5.3	13.9	8.5	5.4	4.9	0.6	5.7	4.0
家庭経営学科	2.0	—	3.2	3.0	2.6	1.1	2.4	0.9
生活環境学科	4.5	—	—	—	3.6	11.9	5.3	2.3
人間生活学科○○講座	2.0	—	—	—	1.4	5.5	2.2	1.5
その他学科	0.1	—	—	—	—	0.4	0.1	—
お茶大以外の大学	4.7	—	5.2	5.7	4.9	5.3	4.0	6.4
無回答	0.9	2.5	0.8	0.7	0.8	0.4	0.7	1.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q4. 大学院修士課程（博士前期課程）入学年								
1970 年以前	14.1	100.0	19.8	—	—	—	12.6	18.4
1971～1980 年	14.6	—	80.2	20.9	—	—	15.1	13.3
1981～1990 年	18.7	—	—	79.1	19.7	—	16.9	24.2
1991～2000 年	29.2	—	—	—	80.3	21.5	27.6	34.1
2001 年以降	23.4	—	—	—	—	78.5	27.9	10.0
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1785	201	248	296	507	531	1334	451
Q4. 大学院修士課程（博士前期課程）修了年								
1970 年以前	11.3	100.0	—	—	—	—	10.0	15.1
1971～1980 年	13.9	—	100.0	—	—	—	14.0	13.5
1981～1990 年	16.6	—	—	100.0	—	—	15.7	19.3
1991～2000 年	28.4	—	—	—	100.0	—	26.2	35.0
2001 年以降	29.7	—	—	—	—	100.0	34.2	16.6
無回答	0.1	—	—	—	—	—	—	0.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1785	201	248	296	507	531	1334	451
Q4. 大学院博士課程（博士後期課程）入学年								
1970 年以前	12.7	92.8	—	—	—	—	1.5	14.3
1971～1980 年	8.8	4.3	69.4	—	—	—	—	10.0
1981～1990 年	14.7	1.4	16.1	74.7	—	—	1.5	16.6
1991～2000 年	33.7	—	11.3	16.5	92.7	—	3.0	38.1
2001 年以降	29.4	1.4	1.6	6.6	7.3	100.0	94.0	20.2
無回答	0.7	—	1.6	2.2	—	—	—	0.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	537	69	62	91	164	130	67	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q4. 大学院博士課程（博士後期課程）修了年								
1970 年以前	8.8	63.8	—	—	—	—	—	10.0
1971～1980 年	7.6	30.4	30.6	—	—	—	—	8.7
1981～1990 年	11.2	1.4	53.2	27.5	—	—	—	12.8
1991～2000 年	24.2	1.4	4.8	56.0	44.5	—	—	27.7
2001 年以降	35.8	1.4	9.7	12.1	51.8	57.7	—	40.9
無回答	12.5	1.4	1.6	4.4	3.7	42.3	100.0	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	537	69	62	91	164	130	67	470
Q4. 大学院博士課程（博士後期課程）修了形態								
学位取得修了	45.6	47.8	50.0	33.0	51.8	36.9	—	52.1
単位取得満期退学	29.4	36.2	38.7	48.4	31.1	10.0	3.0	33.2
退学	10.2	13.0	8.1	14.3	10.4	6.9	—	11.7
無回答	14.7	2.9	3.2	4.4	6.7	46.2	97.0	3.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	537	69	62	91	164	130	67	470
Q5. 居住地								
北海道	0.8	1.0	1.6	1.4	0.6	0.2	0.7	1.1
東北	2.4	4.0	2.8	2.0	2.8	1.1	1.5	4.9
信越	1.1	1.0	0.8	2.4	0.8	0.8	1.0	1.3
東京	41.9	43.3	38.7	46.3	37.9	43.9	41.8	42.3
東京以外の関東	35.1	32.8	32.3	30.1	36.7	38.6	36.4	31.3
中部	4.9	6.0	4.8	5.7	4.7	4.5	5.1	4.5
北陸	1.7	0.5	1.2	1.4	2.8	1.5	1.7	1.5
近畿	4.1	4.5	5.6	1.7	5.1	3.8	4.0	4.5
中国	1.6	1.5	2.4	1.4	2.2	0.6	1.6	1.3
四国	1.2	0.5	1.6	1.7	1.0	1.3	1.4	0.6
九州	2.2	1.0	4.4	3.4	2.0	1.1	2.2	1.9
沖縄	0.2	—	0.8	—	0.2	—	0.2	—
海外	2.5	3.5	1.6	2.7	3.2	2.1	1.9	4.5
無回答	0.4	0.5	1.2	—	0.2	0.6	0.4	0.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q6. (a) 学部在学中に力を入れた程度								
Q6. (a) (1) 大学の授業や研究								
力をいれた	50.7	52.5	54.5	54.7	49.2	47.6	48.0	58.7
ある程度力をいれた	40.1	34.8	37.8	39.5	42.9	40.9	42.6	32.9
あまり力をいれなかった	8.4	10.6	6.9	5.4	7.5	10.6	8.6	8.0
力をいれなかった	0.7	1.5	0.9	0.4	0.4	0.8	0.9	0.2
無回答	0.1	0.5	—	—	—	—	—	0.2
力をいれた（計）	90.8	87.4	92.3	94.2	92.1	88.6	90.6	91.6
力をいれなかった（計）	9.1	12.1	7.7	5.8	7.9	11.4	9.4	8.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (2) 関心領域についての自主的学習・読書								
力をいれた	36.2	42.4	43.3	44.9	32.6	28.9	32.3	47.5
ある程度力をいれた	46.3	44.9	45.5	42.8	46.0	50.0	48.0	41.3
あまり力をいれなかった	15.8	9.6	10.7	11.2	19.5	19.1	17.7	10.0
力をいれなかった	1.3	2.0	—	0.7	1.9	1.6	1.6	0.7
無回答	0.4	1.0	0.4	0.4	—	0.4	0.3	0.5
力をいれた（計）	82.5	87.4	88.8	87.7	78.7	78.9	80.4	88.8
力をいれなかった（計）	17.1	11.6	10.7	12.0	21.3	20.7	19.3	10.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q6. (a) (3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学								
力をいれた	5.4	6.1	5.2	4.7	6.7	4.7	4.6	8.0
ある程度力をいれた	17.6	24.7	18.0	19.2	17.6	13.8	17.0	19.2
あまり力をいれなかった	15.0	12.1	14.2	11.2	19.7	14.6	15.7	13.0
力をいれなかった	60.5	51.0	60.5	63.8	55.9	66.3	61.4	58.0
無回答	1.5	6.1	2.1	1.1	0.2	0.6	1.3	1.8
力をいれた（計）	23.0	30.8	23.2	23.9	24.3	18.5	21.6	27.2
力をいれなかった（計）	75.5	63.1	74.7	75.0	75.5	80.9	77.1	71.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (4) 友人とのつきあい								
力をいれた	31.7	19.7	22.7	30.8	36.4	37.4	31.5	32.2
ある程度力をいれた	55.5	66.7	63.5	54.0	53.3	49.2	56.4	53.0
あまり力をいれなかった	11.2	11.1	12.0	13.0	9.2	12.2	10.8	12.3
力をいれなかった	1.2	1.0	1.3	1.8	1.0	1.0	0.9	2.1
無回答	0.4	1.5	0.4	0.4	—	0.2	0.3	0.5
力をいれた（計）	87.2	86.4	86.3	84.8	89.7	86.6	87.9	85.2
力をいれなかった（計）	12.4	12.1	13.3	14.9	10.3	13.2	11.8	14.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (5) 特定の異性とのつきあい								
力をいれた	7.9	2.5	3.0	6.9	8.4	12.8	7.9	8.0
ある程度力をいれた	29.3	14.1	24.9	30.1	32.2	33.9	30.8	25.1
あまり力をいれなかった	29.4	25.8	30.9	27.2	32.0	29.5	30.3	26.9
力をいれなかった	32.4	54.0	40.3	35.1	27.2	23.4	30.2	38.8
無回答	0.9	3.5	0.9	0.7	0.2	0.4	0.8	1.1
力をいれた（計）	37.3	16.7	27.9	37.0	40.6	46.7	38.7	33.1
力をいれなかった（計）	61.9	79.8	71.2	62.3	59.2	53.0	60.5	65.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (6) 先生との交流								
力をいれた	8.8	11.6	9.0	11.2	8.6	6.1	8.6	9.4
ある程度力をいれた	43.9	46.5	45.5	46.4	41.8	43.3	43.6	45.0
あまり力をいれなかった	38.3	29.8	37.3	35.1	41.8	40.0	38.7	37.0
力をいれなかった	8.5	9.6	7.3	7.2	7.5	10.4	8.7	8.0
無回答	0.5	2.5	0.9	—	0.2	0.2	0.5	0.7
力をいれた（計）	52.7	58.1	54.5	57.6	50.4	49.4	52.1	54.3
力をいれなかった（計）	46.8	39.4	44.6	42.4	49.4	50.4	47.4	45.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (7) 自分の趣味								
力をいれた	22.7	10.6	12.0	18.5	27.0	31.1	22.8	22.1
ある程度力をいれた	46.4	44.9	44.6	47.1	49.0	44.7	45.9	47.7
あまり力をいれなかった	24.1	26.8	33.9	28.3	20.5	19.1	25.7	19.4
力をいれなかった	6.2	13.1	8.6	6.2	3.6	4.9	4.9	10.0
無回答	0.7	4.5	0.9	—	—	0.2	0.7	0.7
力をいれた（計）	69.0	55.6	56.7	65.6	75.9	75.8	68.8	69.9
力をいれなかった（計）	30.3	39.9	42.5	34.4	24.1	24.0	30.5	29.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (8) サークルやクラブ活動								
力をいれた	28.9	16.2	22.7	25.0	33.3	35.2	29.5	27.2
ある程度力をいれた	35.5	34.8	42.5	42.0	39.1	25.8	35.5	35.4
あまり力をいれなかった	17.6	24.7	15.5	19.6	16.7	15.4	17.8	16.9
力をいれなかった	17.5	21.2	18.5	13.4	10.9	23.4	16.6	19.9
無回答	0.6	3.0	0.9	—	—	0.2	0.5	0.7
力をいれた（計）	64.4	51.0	65.2	67.0	72.4	61.0	65.0	62.6
力をいれなかった（計）	35.0	46.0	33.9	33.0	27.6	38.8	34.5	36.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q6. (a) (9) アルバイト								
力をいれた	14.5	9.1	4.7	8.7	15.1	23.8	15.7	11.0
ある程度力をいれた	44.6	31.3	40.8	46.0	50.2	45.1	45.8	40.9
あまり力をいれなかった	27.3	25.8	39.1	29.3	26.8	22.2	26.5	29.7
力をいれなかった	13.3	31.3	15.5	15.9	7.9	8.7	11.7	17.8
無回答	0.4	2.5	—	—	—	0.2	0.3	0.7
力をいれた（計）	59.1	40.4	45.5	54.7	65.3	68.9	61.5	51.8
力をいれなかった（計）	40.5	57.1	54.5	45.3	34.7	30.9	38.1	47.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (a) (10) ボランティア活動								
力をいれた	2.2	0.5	0.9	2.5	1.5	4.1	2.4	1.6
ある程度力をいれた	6.8	5.1	4.7	7.6	7.1	7.9	6.8	6.8
あまり力をいれなかった	20.0	15.2	18.9	17.0	22.6	22.0	20.7	17.8
力をいれなかった	70.2	74.2	74.7	72.8	68.8	65.7	69.3	72.8
無回答	0.8	5.1	0.9	—	—	0.2	0.8	0.9
力をいれた（計）	9.0	5.6	5.6	10.1	8.6	12.0	9.2	8.4
力をいれなかった（計）	90.2	89.4	93.6	89.9	91.4	87.8	90.0	90.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (b) 卒業後の職業生活に1番目に役立ったもの								
(1) 大学の授業や研究	56.0	57.6	61.4	62.7	59.0	46.1	54.5	60.3
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	19.0	19.7	22.7	21.7	17.8	16.9	17.3	24.0
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	2.9	1.5	2.1	2.2	3.3	3.7	3.1	2.3
(4) 友人とのつきあい	3.3	3.0	2.1	0.7	3.3	5.3	4.2	0.7
(5) 特定の異性とのつきあい	0.2	—	—	—	—	0.6	0.2	—
(6) 先生との交流	3.4	5.1	4.3	4.0	2.9	2.6	3.6	3.0
(7) 自分の趣味	0.9	1.5	0.9	1.1	0.6	1.0	1.1	0.5
(8) サークルやクラブ活動	3.6	2.0	1.3	1.4	4.6	5.5	4.2	1.8
(9) アルバイト	3.9	—	—	1.4	5.4	7.1	4.6	2.1
(10) ボランティア活動	0.8	—	—	—	0.6	2.0	1.0	—
無回答	6.0	9.6	5.2	4.7	2.3	9.3	6.2	5.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (b) 卒業後の職業生活に2番目に役立ったもの								
(1) 大学の授業や研究	16.8	14.6	16.7	17.8	17.4	16.9	16.0	18.9
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	32.5	39.9	36.1	37.0	32.8	24.8	30.8	37.4
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	5.7	6.6	5.2	4.3	6.7	5.3	5.3	6.6
(4) 友人とのつきあい	7.2	7.6	5.2	6.9	8.2	7.5	8.1	4.8
(5) 特定の異性とのつきあい	0.6	1.0	0.9	—	0.6	0.6	0.5	0.9
(6) 先生との交流	10.0	11.1	11.6	14.1	9.6	6.5	9.1	12.6
(7) 自分の趣味	2.6	1.5	1.7	1.4	3.6	3.1	3.1	1.1
(8) サークルやクラブ活動	7.0	3.5	6.4	5.4	7.9	8.3	7.7	4.8
(9) アルバイト	8.2	1.0	5.2	5.4	7.1	15.2	9.7	4.1
(10) ボランティア活動	1.4	—	2.6	1.1	1.5	1.6	1.6	0.9
無回答	8.1	13.1	8.6	6.5	4.6	10.2	8.2	7.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (c) 卒業後の社会生活にもっとも役立ったもの								
(1) 大学の授業や研究	17.9	25.8	24.5	21.7	15.1	12.4	17.1	20.1
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	16.2	28.3	22.3	15.2	13.0	12.2	14.8	20.3
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	2.7	1.5	1.7	1.4	4.8	2.4	2.4	3.4
(4) 友人とのつきあい	30.2	22.7	26.2	27.9	32.6	33.5	31.7	25.8
(5) 特定の異性とのつきあい	1.4	1.5	2.1	0.4	1.3	1.8	1.6	0.9
(6) 先生との交流	3.5	4.5	4.3	5.1	4.0	1.4	3.1	4.8
(7) 自分の趣味	3.4	2.5	2.6	4.0	3.3	4.1	4.0	1.8
(8) サークルやクラブ活動	11.4	3.0	6.9	12.7	14.4	13.4	11.3	11.6
(9) アルバイト	7.0	1.0	1.7	5.1	7.9	11.8	8.2	3.4
(10) ボランティア活動	1.2	—	0.4	1.8	1.3	1.8	1.1	1.6
無回答	5.0	9.1	7.3	4.7	2.3	5.3	4.6	6.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q6. (c) 卒業後の社会生活に2番目に役立ったもの								
(1) 大学の授業や研究	7.9	7.1	6.0	10.1	7.3	7.9	8.1	7.3
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	14.1	14.1	21.0	14.1	12.8	12.2	14.4	13.0
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	2.9	5.1	2.1	1.8	3.1	2.8	2.6	3.9
(4) 友人とのつきあい	19.1	19.2	21.0	22.8	18.8	16.7	18.4	21.0
(5) 特定の異性とのつきあい	2.5	2.0	2.6	1.1	2.7	3.1	2.3	3.0
(6) 先生との交流	7.2	8.6	9.0	9.1	6.3	5.7	6.7	8.9
(7) 自分の趣味	9.6	8.6	8.6	11.2	9.6	9.6	9.3	10.3
(8) サークルやクラブ活動	14.4	12.1	12.9	12.7	16.9	14.8	15.5	11.2
(9) アルバイト	12.9	6.1	6.0	8.3	15.9	17.9	13.7	10.5
(10) ボランティア活動	1.6	1.0	1.3	1.4	1.7	2.0	1.4	2.1
無回答	7.9	16.2	9.4	7.2	4.8	7.3	7.5	8.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (d) 卒業後の家庭生活にもっとも役立ったもの								
(1) 大学の授業や研究	10.5	14.6	13.7	9.1	10.0	8.5	10.2	11.2
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	16.4	26.8	21.9	16.3	14.9	10.8	14.6	21.7
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	1.2	1.0	1.3	1.1	1.7	1.0	1.3	0.9
(4) 友人とのつきあい	24.1	19.7	21.5	19.9	26.2	26.8	25.4	20.3
(5) 特定の異性とのつきあい	11.9	5.6	10.3	14.1	13.4	13.0	13.0	8.7
(6) 先生との交流	0.8	1.0	1.3	1.1	0.8	0.4	0.8	0.9
(7) 自分の趣味	13.3	7.6	13.3	14.1	12.3	16.1	13.5	12.6
(8) サークルやクラブ活動	5.7	4.5	2.6	6.2	7.1	6.3	5.7	5.7
(9) アルバイト	3.2	0.5	0.9	2.9	3.1	5.7	3.8	1.6
(10) ボランティア活動	0.4	—	—	0.4	1.0	0.2	0.3	0.7
無回答	12.5	18.7	13.3	14.9	9.4	11.2	11.4	15.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q6. (d) 卒業後の家庭生活に2番目に役立ったもの								
(1) 大学の授業や研究	4.5	3.5	3.4	5.1	5.2	3.7	4.2	5.3
(2) 関心領域についての自主的学習・読書	12.6	13.1	18.0	14.1	11.9	10.2	13.1	11.2
(3) 語学学校・専門学校・各種学校への通学	1.8	3.5	1.3	1.8	1.3	2.0	1.9	1.6
(4) 友人とのつきあい	19.7	14.1	18.0	23.2	20.1	21.1	19.8	19.6
(5) 特定の異性とのつきあい	5.0	3.5	5.2	3.6	5.0	5.9	5.4	3.7
(6) 先生との交流	1.9	3.5	2.6	1.4	2.1	0.6	2.0	1.6
(7) 自分の趣味	20.2	21.2	15.9	19.6	21.1	21.1	20.3	19.9
(8) サークルやクラブ活動	8.9	7.1	9.9	6.5	10.7	9.3	9.3	7.8
(9) アルバイト	6.9	4.5	4.7	3.6	7.1	10.6	6.9	6.8
(10) ボランティア活動	1.4	1.0	1.3	1.4	1.7	1.2	1.4	1.4
無回答	17.1	24.7	19.7	19.6	13.8	14.4	15.6	21.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7. お茶の水女子大学での学生生活の満足度								
Q7. (1) 本学の教員との交流								
非常に満足	27.2	27.8	26.2	33.7	27.8	23.2	25.8	31.1
やや満足	41.2	38.9	43.8	42.4	41.4	40.2	43.0	35.8
どちらでもない	19.8	17.7	15.5	14.5	18.4	26.8	20.3	18.3
やや不満	8.1	6.6	8.2	7.6	10.3	6.5	7.6	9.4
非常に不満	2.6	4.0	4.7	1.4	1.9	2.6	2.4	3.4
無回答	1.2	5.1	1.7	0.4	0.2	0.8	0.9	2.1
満足（計）	68.3	66.7	70.0	76.1	69.2	63.4	68.8	66.9
不満（計）	10.7	10.6	12.9	9.1	12.1	9.1	10.0	12.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q7.（2）在学中の友人 Q7.（お茶大生）との交流								
非常に満足	46.3	45.5	39.1	46.4	51.5	45.3	46.9	44.7
やや満足	40.5	39.4	49.4	43.1	36.0	39.4	40.8	39.5
どちらでもない	8.2	7.6	7.7	5.1	8.4	10.4	7.8	9.6
やや不満	3.3	2.5	2.1	4.3	3.8	3.1	3.1	3.9
非常に不満	0.6	1.0	0.4	0.7	—	1.2	0.5	0.9
無回答	1.0	4.0	1.3	0.4	0.4	0.6	0.9	1.4
満足（計）	86.8	84.8	88.4	89.5	87.4	84.6	87.7	84.2
不満（計）	4.0	3.5	2.6	5.1	3.8	4.3	3.7	4.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（3）卒業生との交流								
非常に満足	6.2	9.6	7.7	7.6	5.6	3.9	5.7	7.5
やや満足	18.7	22.7	22.3	22.1	19.9	12.6	18.8	18.5
どちらでもない	52.9	48.5	48.1	52.2	50.6	59.3	54.7	47.7
やや不満	13.7	7.6	11.2	13.8	15.5	15.6	13.3	15.1
非常に不満	6.8	5.6	8.2	3.6	7.5	7.9	6.1	8.7
無回答	1.7	6.1	2.6	0.7	0.8	0.8	1.4	2.5
満足（計）	24.9	32.3	30.0	29.7	25.5	16.5	24.5	26.0
不満（計）	20.5	13.1	19.3	17.4	23.0	23.4	19.4	23.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（4）事務窓口の対応								
非常に満足	4.7	5.6	5.6	6.5	5.6	2.4	4.1	6.6
やや満足	19.9	21.2	23.2	23.2	18.4	17.1	20.5	18.3
どちらでもない	51.2	56.1	54.1	53.3	57.1	41.3	51.3	50.9
やや不満	15.4	7.1	10.7	12.3	12.1	25.6	15.6	14.6
非常に不満	7.4	3.5	5.2	3.6	6.5	12.8	7.2	7.8
無回答	1.4	6.6	1.3	1.1	0.2	0.8	1.3	1.8
満足（計）	24.6	26.8	28.8	29.7	24.1	19.5	24.6	24.9
不満（計）	22.7	10.6	15.9	15.9	18.6	38.4	22.8	22.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（5）就職・進学の指導・支援体制								
非常に満足	5.0	7.6	6.0	8.0	4.0	2.6	4.9	5.5
やや満足	13.8	16.2	14.2	19.2	14.6	9.1	13.4	15.1
どちらでもない	42.6	46.5	43.3	44.6	43.5	38.6	42.6	42.5
やや不満	23.3	12.6	22.7	18.8	25.3	28.5	23.9	21.7
非常に不満	13.3	9.6	10.7	9.1	11.7	20.1	13.4	13.0
無回答	1.9	7.6	3.0	0.4	0.8	1.2	1.8	2.3
満足（計）	18.9	23.7	20.2	27.2	18.6	11.6	18.3	20.5
不満（計）	36.6	22.2	33.5	27.9	37.0	48.6	37.3	34.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（6）教育・研究支援体制								
非常に満足	10.2	9.6	8.6	13.8	10.3	9.3	9.9	11.2
やや満足	32.3	25.3	31.3	35.1	34.5	31.1	32.5	31.7
どちらでもない	34.1	39.9	37.8	33.7	32.0	32.9	35.9	28.8
やや不満	16.9	12.6	15.9	13.4	18.2	19.7	15.9	19.9
非常に不満	5.1	7.1	4.7	3.6	4.6	6.1	4.6	6.8
無回答	1.3	5.6	1.7	0.4	0.4	1.0	1.3	1.6
満足（計）	42.5	34.8	39.9	48.9	44.8	40.4	42.4	42.9
不満（計）	22.0	19.7	20.6	17.0	22.8	25.8	20.4	26.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q7.（7）留学・国際交流支援体制								
非常に満足	1.8	1.0	1.3	1.8	2.3	1.8	1.5	2.5
やや満足	5.8	4.5	4.7	7.2	5.4	6.3	5.5	6.6
どちらでもない	65.1	58.1	62.7	67.0	65.9	67.3	67.7	57.3
やや不満	15.1	12.1	16.7	15.2	15.1	15.2	14.3	17.4
非常に不満	9.5	13.6	9.4	7.6	10.7	8.1	8.3	12.8
無回答	2.9	10.6	5.2	1.1	0.6	1.4	2.7	3.4
満足（計）	7.5	5.6	6.0	9.1	7.7	8.1	7.0	9.1
不満（計）	24.5	25.8	26.2	22.8	25.7	23.2	22.6	30.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（8）経済的支援 Q7.（奨学金等）体制								
非常に満足	6.8	8.1	9.0	5.4	7.5	5.7	7.1	6.2
やや満足	16.6	21.2	20.6	14.1	14.4	16.3	16.3	17.6
どちらでもない	59.3	46.0	56.2	66.3	62.6	59.3	61.3	53.4
やや不満	10.8	11.1	7.3	9.1	11.3	12.8	10.0	13.2
非常に不満	3.8	4.5	3.4	2.5	3.1	4.9	3.4	5.0
無回答	2.6	9.1	3.4	2.5	1.0	1.0	2.0	4.6
満足（計）	23.5	29.3	29.6	19.6	22.0	22.0	23.4	23.7
不満（計）	14.6	15.7	10.7	11.6	14.4	17.7	13.3	18.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（9）卒業研究担当教員の指導方法・指導内容								
非常に満足	30.1	28.3	21.5	36.6	32.2	29.7	29.6	31.7
やや満足	33.7	31.3	41.6	33.7	33.1	31.1	34.4	31.7
どちらでもない	20.2	18.2	22.3	18.5	18.6	22.2	20.2	20.1
やや不満	9.6	10.6	7.3	8.0	10.7	10.2	10.0	8.7
非常に不満	5.0	5.1	6.4	2.9	5.0	5.7	4.6	6.2
無回答	1.3	6.6	0.9	0.4	0.4	1.0	1.3	1.6
満足（計）	63.8	59.6	63.1	70.3	65.3	60.8	64.0	63.5
不満（計）	14.7	15.7	13.7	10.9	15.7	15.9	14.6	14.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（10）女性支援体制								
非常に満足	4.4	2.0	1.7	5.4	5.4	5.1	4.4	4.6
やや満足	14.4	4.5	9.0	13.8	13.6	21.7	15.7	10.7
どちらでもない	63.5	64.6	65.2	64.9	67.4	58.9	64.6	60.3
やや不満	9.7	11.6	13.3	9.1	6.7	9.8	8.9	12.1
非常に不満	5.7	8.6	8.2	6.2	5.9	3.1	4.5	9.1
無回答	2.3	8.6	2.6	0.7	1.0	1.4	2.0	3.2
満足（計）	18.9	6.6	10.7	19.2	19.0	26.8	20.1	15.3
不満（計）	15.4	20.2	21.5	15.2	12.6	13.0	13.3	21.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（11）教養教育								
非常に満足	8.6	8.6	6.4	8.0	10.3	8.3	8.3	9.4
やや満足	34.8	31.8	29.2	42.8	34.7	34.4	34.9	34.5
どちらでもない	40.0	38.4	48.1	34.8	38.7	40.6	41.1	36.8
やや不満	11.6	8.6	10.3	9.8	13.4	12.6	11.1	13.0
非常に不満	2.9	4.0	3.9	2.5	2.5	2.8	2.7	3.7
無回答	2.2	8.6	2.1	2.2	0.4	1.4	2.0	2.7
満足（計）	43.3	40.4	35.6	50.7	45.0	42.7	43.2	43.8
不満（計）	14.5	12.6	14.2	12.3	15.9	15.4	13.7	16.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q7.（12）専門・専攻科目								
非常に満足	30.0	25.3	27.9	35.9	32.2	28.1	30.2	29.5
やや満足	47.6	46.0	49.8	47.1	46.9	47.6	48.4	45.4
どちらでもない	11.9	12.1	10.7	8.3	12.1	13.8	11.5	13.0
やや不満	7.2	7.6	6.4	6.5	6.9	8.1	6.6	8.9
非常に不満	1.9	2.0	3.4	1.8	1.5	1.6	1.8	2.1
無回答	1.5	7.1	1.7	0.4	0.4	0.8	1.6	1.1
満足（計）	77.6	71.2	77.7	83.0	79.1	75.8	78.6	74.9
不満（計）	9.1	9.6	9.9	8.3	8.4	9.6	8.4	11.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（13）卒業論文・卒業研究								
非常に満足	30.5	32.3	27.5	38.0	31.2	27.0	29.6	33.3
やや満足	41.9	35.4	48.1	38.0	42.3	43.1	43.4	37.4
どちらでもない	16.5	15.2	13.7	17.0	16.1	18.1	16.3	16.9
やや不満	7.1	7.1	5.6	5.4	6.9	8.7	6.8	8.0
非常に不満	2.6	3.0	4.3	1.1	2.7	2.4	2.7	2.1
無回答	1.5	7.1	0.9	0.4	0.8	0.8	1.2	2.3
満足（計）	72.4	67.7	75.5	76.1	73.4	70.1	73.0	70.8
不満（計）	9.6	10.1	9.9	6.5	9.6	11.0	9.5	10.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（14）授業で使用した教室								
非常に満足	7.2	5.6	6.9	7.6	7.1	7.9	7.5	6.2
やや満足	30.7	31.8	37.3	37.7	27.8	26.2	32.2	26.5
どちらでもない	32.3	34.8	33.5	33.3	33.5	28.7	31.2	35.6
やや不満	23.1	16.7	15.9	18.5	25.7	29.3	22.4	25.1
非常に不満	5.4	5.1	5.2	2.5	5.4	7.1	5.5	5.0
無回答	1.3	6.1	1.3	0.4	0.4	0.8	1.2	1.6
満足（計）	37.9	37.4	44.2	45.3	34.9	34.1	39.7	32.6
不満（計）	28.5	21.7	21.0	21.0	31.2	36.4	27.9	30.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（15）図書館								
非常に満足	6.7	3.0	7.3	8.7	7.9	5.7	7.2	5.3
やや満足	34.3	38.9	38.2	40.2	34.9	27.2	35.6	30.6
どちらでもない	27.2	30.3	36.5	26.1	25.1	23.6	27.2	26.9
やや不満	23.1	17.2	12.9	20.3	24.1	31.1	21.9	26.7
非常に不満	7.2	4.5	3.9	4.0	7.5	11.4	6.8	8.7
無回答	1.4	6.1	1.3	0.7	0.4	1.0	1.3	1.8
満足（計）	41.1	41.9	45.5	48.9	42.9	32.9	42.9	35.8
不満（計）	30.4	21.7	16.7	24.3	31.6	42.5	28.6	35.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7.（16）教育全般								
非常に満足	12.7	8.1	12.9	17.0	15.1	9.8	12.6	12.8
やや満足	52.5	48.5	53.2	56.2	53.3	50.8	53.4	50.0
どちらでもない	23.8	24.7	20.6	18.5	21.5	30.1	24.8	21.0
やや不満	8.2	10.1	10.3	6.9	8.6	6.7	6.8	12.1
非常に不満	1.3	1.5	1.7	0.7	1.0	1.8	1.3	1.6
無回答	1.5	7.1	1.3	0.7	0.4	0.8	1.1	2.5
満足（計）	65.2	56.6	66.1	73.2	68.4	60.6	66.0	62.8
不満（計）	9.5	11.6	12.0	7.6	9.6	8.5	8.1	13.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438

質問番号 / 選択肢	全体	修士修了年					最終学歴	
		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q7. (17) 学生支援全般								
非常に満足	3.3	2.0	3.0	3.3	3.8	3.7	3.8	1.8
やや満足	22.3	20.2	22.3	25.7	24.1	19.5	23.4	18.9
どちらでもない	52.5	55.6	53.2	55.1	49.6	51.8	52.3	53.0
やや不満	17.5	14.6	15.9	12.0	19.7	20.5	16.4	20.8
非常に不満	2.8	1.5	3.0	2.5	2.5	3.7	2.7	3.2
無回答	1.6	6.1	2.6	1.4	0.4	0.8	1.4	2.3
満足（計）	25.6	22.2	25.3	29.0	27.8	23.2	27.2	20.8
不満（計）	20.3	16.2	18.9	14.5	22.2	24.2	19.1	24.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7. (18) 大学内の設備・施設全般								
非常に満足	3.3	1.5	3.4	4.0	4.4	2.8	3.7	2.3
やや満足	29.0	27.8	29.6	35.5	29.9	24.4	30.6	24.2
どちらでもない	36.8	38.9	43.8	40.9	34.1	33.7	36.5	37.7
やや不満	24.8	20.2	18.9	16.3	26.4	32.3	24.0	27.2
非常に不満	4.4	5.1	3.0	2.2	4.6	5.9	3.7	6.6
無回答	1.6	6.6	1.3	1.1	0.6	1.0	1.5	2.1
満足（計）	32.3	29.3	33.0	39.5	34.3	27.2	34.3	26.5
不満（計）	29.3	25.3	21.9	18.5	31.0	38.2	27.7	33.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q7. (19) 大学全体の雰囲気								
非常に満足	23.4	13.6	18.9	25.4	28.7	23.0	23.2	23.7
やや満足	50.9	53.5	54.1	48.9	48.5	52.4	52.0	47.9
どちらでもない	16.6	21.2	18.5	16.3	14.6	15.9	17.3	14.6
やや不満	6.6	5.1	6.4	7.6	7.1	5.9	5.7	9.4
非常に不満	1.3	2.0	1.3	1.1	0.6	2.0	0.9	2.7
無回答	1.1	4.5	0.9	0.7	0.4	0.8	0.9	1.6
満足（計）	74.3	67.2	73.0	74.3	77.2	75.4	75.2	71.7
不満（計）	7.9	7.1	7.7	8.7	7.7	7.9	6.5	12.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1712	198	233	276	478	508	1274	438
Q8. (a) 大学院に在学中に力を入れた程度								
Q8. (1) 大学院での授業								
力をいれた	46.7	51.2	48.1	48.6	49.0	41.3	45.8	49.8
ある程度力をいれた	43.4	41.7	44.4	43.8	43.0	42.7	44.4	40.1
あまり力をいれなかった	8.9	4.8	7.5	7.2	6.8	14.6	9.1	8.5
力をいれなかった	1.0	2.4	—	0.4	1.2	1.4	0.8	1.6
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
力をいれた（計）	90.1	92.9	92.5	92.4	92.0	84.0	90.1	89.9
力をいれなかった（計）	9.9	7.1	7.5	7.6	8.0	16.0	9.9	10.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査								
力をいれた	70.9	65.5	69.6	69.1	72.1	72.7	66.4	86.0
ある程度力をいれた	24.2	29.8	24.3	26.9	24.0	21.2	27.9	11.7
あまり力をいれなかった	4.3	1.2	6.1	2.8	3.9	5.5	5.0	2.0
力をいれなかった	0.5	2.4	—	0.8	—	0.6	0.5	0.3
無回答	0.2	1.2	—	0.4	—	—	0.2	—
力をいれた（計）	95.1	95.2	93.9	96.0	96.1	93.9	94.3	97.7
力をいれなかった（計）	4.7	3.6	6.1	3.6	3.9	6.1	5.5	2.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q8. (3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査								
力をいれた	34.6	32.1	32.7	32.9	34.7	37.2	31.5	45.0
ある程度力をいれた	37.7	32.1	31.3	42.2	37.1	39.9	40.2	29.3
あまり力をいれなかった	18.1	13.1	20.6	16.9	18.0	19.3	20.1	11.4
力をいれなかった	6.9	14.3	9.8	4.4	8.7	3.0	6.3	8.8
無回答	2.7	8.3	5.6	3.6	1.5	0.6	1.9	5.5
力をいれた（計）	72.3	64.3	64.0	75.1	71.8	77.1	71.7	74.3
力をいれなかった（計）	25.0	27.4	30.4	21.3	26.7	22.3	26.4	20.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会								
力をいれた	19.7	15.5	17.3	20.9	24.8	16.0	17.0	29.0
ある程度力をいれた	37.5	27.4	36.9	43.0	38.6	35.0	37.1	39.1
あまり力をいれなかった	31.0	28.6	30.8	27.7	29.1	36.1	33.5	22.8
力をいれなかった	11.2	25.0	13.6	8.0	7.5	12.9	11.9	8.8
無回答	0.5	3.6	1.4	0.4	—	—	0.6	0.3
力をいれた（計）	57.3	42.9	54.2	63.9	63.3	51.0	54.0	68.1
力をいれなかった（計）	42.2	53.6	44.4	35.7	36.7	49.0	45.4	31.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会								
力をいれた	8.8	3.6	7.9	10.8	10.2	7.4	5.3	20.5
ある程度力をいれた	23.2	17.9	22.0	25.3	24.3	22.9	20.4	32.6
あまり力をいれなかった	34.5	21.4	38.8	34.1	36.4	33.1	37.4	25.1
力をいれなかった	33.0	52.4	30.4	29.7	28.9	36.6	36.3	21.8
無回答	0.5	4.8	0.9	—	0.2	—	0.7	—
力をいれた（計）	32.0	21.4	29.9	36.1	34.5	30.3	25.7	53.1
力をいれなかった（計）	67.5	73.8	69.2	63.9	65.3	69.7	73.7	46.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (6) 研究プロジェクトへの参加								
力をいれた	8.6	9.5	9.3	7.2	9.0	8.8	5.7	18.6
ある程度力をいれた	17.4	14.3	18.7	16.9	18.0	16.8	16.2	21.5
あまり力をいれなかった	33.6	19.0	28.5	35.7	36.7	34.7	35.1	28.3
力をいれなかった	38.1	46.4	37.4	38.6	35.7	39.4	41.1	28.0
無回答	2.3	10.7	6.1	1.6	0.7	0.3	2.0	3.6
力をいれた（計）	26.1	23.8	28.0	24.1	26.9	25.6	21.9	40.1
力をいれなかった（計）	71.6	65.5	65.9	74.3	72.3	74.1	76.2	56.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (7) 研究成果の発表や論文執筆								
力をいれた	30.8	25.0	23.8	30.9	30.6	35.8	24.0	53.4
ある程度力をいれた	36.2	31.0	38.3	39.4	34.7	35.3	37.7	31.3
あまり力をいれなかった	21.9	20.2	22.0	21.3	25.0	19.8	25.0	11.7
力をいれなかった	10.2	16.7	13.6	8.0	9.7	9.1	12.3	3.3
無回答	0.9	7.1	2.3	0.4	—	—	1.1	0.3
力をいれた（計）	67.0	56.0	62.1	70.3	65.3	71.1	61.7	84.7
力をいれなかった（計）	32.1	36.9	35.5	29.3	34.7	28.9	37.3	15.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (8) 修士論文や博士論文の執筆								
力をいれた	59.9	57.1	54.2	62.2	62.6	59.0	55.6	74.3
ある程度力をいれた	30.3	28.6	37.4	30.5	29.9	27.3	33.9	18.2
あまり力をいれなかった	6.5	7.1	4.7	4.8	5.1	9.9	7.1	4.2
力をいれなかった	2.4	3.6	2.3	1.6	2.4	2.5	2.4	2.3
無回答	1.0	3.6	1.4	0.8	—	1.4	1.0	1.0
力をいれた（計）	90.2	85.7	91.6	92.8	92.5	86.2	89.5	92.5
力をいれなかった（計）	8.9	10.7	7.0	6.4	7.5	12.4	9.6	6.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q8. (9) 研究助成金の獲得								
力をいれた	2.7	—	0.5	1.6	3.6	4.1	0.7	9.4
ある程度力をいれた	6.5	4.8	3.7	4.4	6.8	9.4	4.7	12.4
あまり力をいれなかった	22.4	23.8	20.6	25.3	20.9	22.3	21.4	25.7
力をいれなかった	67.0	64.3	71.0	67.9	68.7	63.9	71.8	51.1
無回答	1.4	7.1	4.2	0.8	—	0.3	1.5	1.3
力をいれた（計）	9.2	4.8	4.2	6.0	10.4	13.5	5.4	21.8
力をいれなかった（計）	89.4	88.1	91.6	93.2	89.6	86.2	93.2	76.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (10) 職業資格の取得								
力をいれた	7.0	3.6	5.6	7.2	6.8	8.8	7.2	6.2
ある程度力をいれた	17.0	13.1	13.1	19.3	19.2	16.8	17.4	16.0
あまり力をいれなかった	23.2	28.6	23.4	23.3	20.6	24.5	22.8	24.4
力をいれなかった	51.7	48.8	54.7	49.8	53.2	49.9	51.5	52.1
無回答	1.1	6.0	3.3	0.4	0.2	—	1.1	1.3
力をいれた（計）	24.0	16.7	18.7	26.5	26.0	25.6	24.6	22.1
力をいれなかった（計）	74.8	77.4	78.0	73.1	73.8	74.4	74.3	76.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (11) 研究助手や非常勤講師								
力をいれた	9.0	6.0	6.1	8.4	9.2	11.8	6.7	16.6
ある程度力をいれた	24.5	25.0	19.6	21.3	23.8	30.9	23.0	29.3
あまり力をいれなかった	22.0	20.2	23.4	21.3	18.9	25.3	22.9	18.9
力をいれなかった	43.4	45.2	47.2	48.2	47.8	32.0	46.2	33.9
無回答	1.1	3.6	3.7	0.8	0.2	—	1.1	1.3
力をいれた（計）	33.5	31.0	25.7	29.7	33.0	42.7	29.8	45.9
力をいれなかった（計）	65.4	65.5	70.6	69.5	66.7	57.3	69.2	52.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (b) 修了後の職業生活にもっとも役立ったもの								
(1) 大学院での授業	18.9	15.5	25.7	21.7	18.7	14.6	21.3	11.1
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	38.7	52.4	37.4	44.2	34.5	36.9	37.2	43.6
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	5.1	4.8	6.5	4.8	4.9	5.0	5.0	5.5
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	1.8	—	0.5	0.8	3.4	1.4	1.9	1.6
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	1.3	1.2	0.9	1.6	1.5	1.1	0.9	2.6
(6) 研究プロジェクトへの参加	0.9	—	1.9	—	0.2	1.9	0.4	2.6
(7) 研究成果の発表や論文執筆	6.2	2.4	4.2	5.2	7.5	6.9	4.8	11.1
(8) 修士論文や博士論文の執筆	7.1	6.0	3.7	6.0	10.4	6.3	7.0	7.2
(9) 研究助成金の獲得	0.1	—	—	—	—	0.3	—	0.3
(10) 職業資格の取得	5.3	2.4	5.1	4.8	5.6	6.1	6.2	2.0
(11) 研究助手や非常勤講師	6.4	2.4	6.5	4.8	6.8	8.0	5.8	8.5
無回答	8.3	13.1	7.5	6.0	6.6	11.6	9.7	3.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (b) 修了後の職業生活に２番目に役立ったもの								
(1) 大学院での授業	12.2	14.3	11.2	14.1	12.6	10.7	13.5	8.1
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	20.0	15.5	25.7	21.3	20.1	17.1	21.2	16.0
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	11.3	17.9	9.3	11.6	11.7	9.9	12.0	9.1
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	6.0	7.1	7.0	4.4	7.0	5.2	6.0	5.9
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	4.7	3.6	5.6	3.6	4.9	4.7	3.3	9.1
(6) 研究プロジェクトへの参加	1.3	2.4	0.5	1.2	1.5	1.4	1.2	1.6
(7) 研究成果の発表や論文執筆	9.7	2.4	11.2	10.0	10.0	10.2	7.8	16.0
(8) 修士論文や博士論文の執筆	14.0	10.7	10.7	15.7	13.1	15.7	13.5	15.6
(9) 研究助成金の獲得	0.8	—	—	0.4	1.0	1.4	0.5	1.6
(10) 職業資格の取得	2.2	1.2	2.3	1.2	2.9	2.2	2.4	1.3
(11) 研究助手や非常勤講師	6.2	2.4	4.2	7.6	6.8	6.6	5.2	9.4
無回答	11.8	22.6	12.1	8.8	8.5	14.9	13.5	6.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332.0	84.0	214.0	249.0	412.0	363.0	1025.0	307.0

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q8. (c) 修了後の社会生活にもっとも役立ったもの								
(1) 大学院での授業	12.9	15.5	17.8	12.9	11.7	10.7	14.4	7.8
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	22.1	27.4	21.5	25.7	18.9	22.3	22.5	20.8
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	5.5	4.8	6.5	4.8	7.3	3.6	5.5	5.5
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	8.1	3.6	7.0	7.6	10.7	7.2	8.7	6.2
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	6.1	2.4	5.1	9.6	6.6	4.7	4.2	12.4
(6) 研究プロジェクトへの参加	2.0	1.2	2.3	0.8	2.9	1.7	1.3	4.2
(7) 研究成果の発表や論文執筆	6.8	3.6	5.6	4.4	7.8	8.0	6.5	7.5
(8) 修士論文や博士論文の執筆	4.9	4.8	2.8	3.6	6.3	5.5	5.7	2.3
(9) 研究助成金の獲得	0.4	—	—	0.4	0.7	0.3	0.3	0.7
(10) 職業資格の取得	3.8	3.6	4.7	3.6	2.2	5.2	4.5	1.3
(11) 研究助手や非常勤講師	11.0	7.1	7.9	13.3	10.2	13.2	9.4	16.3
無回答	16.6	26.2	18.7	13.3	14.8	17.6	17.1	15.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (c) 修了後の社会生活に２番目に役立ったもの								
(1) 大学院での授業	8.0	6.0	8.4	10.4	7.3	7.4	8.8	5.2
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	14.6	11.9	18.7	14.1	16.3	11.6	15.9	10.4
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	6.5	16.7	5.6	6.4	5.1	5.5	6.7	5.9
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	8.1	8.3	6.5	12.4	10.2	3.9	7.4	10.4
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	8.1	2.4	6.5	9.2	8.7	8.8	7.7	9.4
(6) 研究プロジェクトへの参加	3.5	2.4	2.8	3.6	3.6	4.1	2.7	6.2
(7) 研究成果の発表や論文執筆	7.6	4.8	6.5	10.0	6.8	8.3	7.1	9.1
(8) 修士論文や博士論文の執筆	9.3	7.1	8.4	5.2	9.7	12.4	10.2	6.2
(9) 研究助成金の獲得	0.8	1.2	—	0.4	0.7	1.7	0.4	2.3
(10) 職業資格の取得	3.4	1.2	4.2	2.0	3.6	4.1	3.2	3.9
(11) 研究助手や非常勤講師	8.1	2.4	6.5	8.4	8.7	9.4	7.2	11.1
無回答	21.9	35.7	25.7	17.7	19.2	22.9	22.5	19.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (d) 修了後の家庭生活にもっとも役立ったもの								
(1) 大学院での授業	11.9	16.7	14.5	14.5	9.5	10.7	13.3	7.5
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	18.6	19.0	15.4	22.5	17.2	19.0	18.8	17.9
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	3.4	3.6	5.1	2.0	3.9	2.8	3.6	2.6
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	5.4	1.2	7.0	4.8	6.6	4.4	4.7	7.8
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	2.3	—	2.8	2.8	2.9	1.4	1.9	3.6
(6) 研究プロジェクトへの参加	0.3	—	0.5	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3
(7) 研究成果の発表や論文執筆	2.0	—	2.3	1.6	2.2	2.5	2.4	0.7
(8) 修士論文や博士論文の執筆	2.9	—	1.9	1.2	4.1	3.6	3.0	2.3
(9) 研究助成金の獲得	0.6	—	—	0.4	1.0	0.8	0.4	1.3
(10) 職業資格の取得	4.0	2.4	3.3	3.2	4.6	4.7	4.6	2.0
(11) 研究助手や非常勤講師	10.7	3.6	5.1	12.0	10.4	14.9	9.6	14.3
無回答	38.0	53.6	42.1	34.5	37.4	35.0	37.5	39.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q8. (d) 修了後の家庭生活に２番目に役立ったもの								
(1) 大学院での授業	8.0	7.1	6.5	5.2	9.2	9.4	8.3	6.8
(2) 自分の研究テーマに基づく研究・調査	11.8	8.3	13.1	14.5	9.7	12.7	13.1	7.5
(3) 研究室の研究テーマに基づく研究・調査	5.3	8.3	6.1	4.4	5.1	4.7	5.7	4.2
(4) 大学内の大学院生との研究会・勉強会	5.2	2.4	4.7	5.2	6.3	5.0	5.5	4.2
(5) 他大学の大学院生との研究会・勉強会	4.4	2.4	2.8	4.0	6.1	3.9	3.3	8.1
(6) 研究プロジェクトへの参加	1.3	—	2.8	1.2	1.2	0.8	1.3	1.3
(7) 研究成果の発表や論文執筆	3.2	—	1.4	3.6	2.9	4.7	2.7	4.6
(8) 修士論文や博士論文の執筆	5.7	2.4	3.7	6.0	7.0	6.1	6.2	3.9
(9) 研究助成金の獲得	0.7	—	0.5	0.4	0.5	1.4	0.4	1.6
(10) 職業資格の取得	2.9	1.2	2.8	3.6	2.4	3.6	2.9	2.9
(11) 研究助手や非常勤講師	8.0	6.0	8.4	8.0	8.3	8.0	7.5	9.4
無回答	43.6	61.9	47.2	43.8	41.3	39.9	43.1	45.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q9. お茶の水女子大学大学院での学生生活の満足度								
Q9. (1) 本学の教員との交流								
非常に満足	36.2	39.3	36.0	39.8	37.4	31.7	34.8	40.7
やや満足	40.8	38.1	41.1	40.6	41.0	41.3	41.4	39.1
どちらでもない	14.0	8.3	13.6	11.2	13.8	17.9	14.2	13.4
やや不満	5.3	9.5	4.2	4.0	5.1	6.3	6.0	2.9
非常に不満	2.1	1.2	2.8	2.8	2.4	1.1	2.0	2.3
無回答	1.5	3.6	2.3	1.6	0.2	1.7	1.5	1.6
満足（計）	77.0	77.4	77.1	80.3	78.4	73.0	76.2	79.8
不満（計）	7.4	10.7	7.0	6.8	7.5	7.4	8.1	5.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (2) 在学中の友人 Q9. (お茶大生) との交流								
非常に満足	40.8	32.1	30.8	45.0	46.1	40.5	40.4	42.0
やや満足	41.5	42.9	50.0	37.8	42.2	37.2	41.4	42.0
どちらでもない	12.7	19.0	13.6	12.0	9.0	15.4	13.2	11.1
やや不満	3.0	1.2	2.8	4.4	2.2	3.6	3.1	2.6
非常に不満	0.7	2.4	—	—	0.5	1.4	0.6	1.0
無回答	1.4	2.4	2.8	0.8	—	1.9	1.4	1.3
満足（計）	82.3	75.0	80.8	82.7	88.3	77.7	81.8	84.0
不満（計）	3.7	3.6	2.8	4.4	2.7	5.0	3.7	3.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (3) 修了生との交流								
非常に満足	10.7	9.5	9.8	12.9	11.7	9.1	10.0	13.4
やや満足	29.4	17.9	32.2	32.5	31.8	25.1	29.1	30.3
どちらでもない	42.7	54.8	42.1	40.6	42.7	41.9	43.7	39.4
やや不満	10.8	4.8	7.0	10.4	10.9	14.9	10.8	10.7
非常に不満	4.4	4.8	5.1	2.8	2.7	7.2	4.4	4.6
無回答	2.0	8.3	3.7	0.8	0.2	1.9	2.0	1.6
満足（計）	40.1	27.4	42.1	45.4	43.4	34.2	39.0	43.6
不満（計）	15.2	9.5	12.1	13.3	13.6	22.0	15.2	15.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (4) 事務窓口の対応								
非常に満足	4.7	4.8	4.2	4.4	5.1	5.0	4.5	5.5
やや満足	19.2	15.5	16.8	23.7	20.1	17.1	18.7	20.8
どちらでもない	55.8	61.9	66.4	56.6	59.7	43.3	57.5	50.2
やや不満	13.4	6.0	7.9	11.2	11.9	21.5	12.5	16.3
非常に不満	5.4	6.0	2.8	2.8	3.2	11.3	5.4	5.5
無回答	1.5	6.0	1.9	1.2	—	1.9	1.5	1.6
満足（計）	23.9	20.2	21.0	28.1	25.2	22.0	23.2	26.4
不満（計）	18.8	11.9	10.7	14.1	15.0	32.8	17.9	21.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (5) 就職・進学の指導・支援体制								
非常に満足	5.1	8.3	3.3	8.0	5.8	2.8	4.8	6.2
やや満足	14.0	14.3	13.1	21.7	14.3	8.5	13.9	14.3
どちらでもない	40.8	44.0	49.5	39.8	40.5	35.8	41.8	37.5
やや不満	23.3	7.1	20.1	17.3	25.7	30.6	23.4	22.8
非常に不満	15.1	17.9	12.1	12.4	13.3	20.1	14.5	16.9
無回答	1.8	8.3	1.9	0.8	0.2	2.2	1.7	2.3
満足（計）	19.1	22.6	16.4	29.7	20.1	11.3	18.6	20.5
不満（計）	38.4	25.0	32.2	29.7	39.1	50.7	38.0	39.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q9. (6) 教育・研究支援体制								
非常に満足	8.3	6.0	4.7	10.4	9.7	8.0	8.0	9.4
やや満足	24.3	25.0	29.4	27.3	22.3	20.7	24.7	23.1
どちらでもない	42.6	39.3	42.1	42.2	43.4	43.8	44.2	37.5
やや不満	16.9	15.5	15.0	14.1	17.7	19.8	16.2	19.2
非常に不満	5.7	7.1	5.6	5.2	5.8	5.5	4.7	9.1
無回答	2.1	7.1	3.3	0.8	1.0	2.2	2.2	1.6
満足（計）	32.7	31.0	34.1	37.8	32.0	28.7	32.7	32.6
不満（計）	22.6	22.6	20.6	19.3	23.5	25.3	20.9	28.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (7) 留学・国際交流支援体制								
非常に満足	2.1	1.2	0.9	2.4	2.9	1.9	1.7	3.6
やや満足	4.6	3.6	3.3	4.4	3.6	6.9	4.5	4.9
どちらでもない	66.7	56.0	65.0	71.5	67.0	66.1	67.7	63.2
やや不満	15.0	15.5	19.2	10.8	16.0	14.3	15.3	14.0
非常に不満	9.2	15.5	7.5	9.2	10.0	8.3	8.5	11.7
無回答	2.4	8.3	4.2	1.6	0.5	2.5	2.3	2.6
満足（計）	6.7	4.8	4.2	6.8	6.6	8.8	6.1	8.5
不満（計）	24.2	31.0	26.6	20.1	26.0	22.6	23.8	25.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (8) 経済的支援 Q9. (奨学金等) 体制								
非常に満足	8.3	2.4	11.7	8.8	9.2	6.6	8.1	9.1
やや満足	17.1	15.5	22.9	17.3	14.6	17.1	15.5	22.5
どちらでもない	54.9	48.8	50.5	53.8	59.2	54.5	57.5	46.3
やや不満	11.2	15.5	7.0	11.6	11.7	11.6	10.9	12.1
非常に不満	6.2	10.7	5.1	6.8	4.6	7.4	5.9	7.5
無回答	2.3	7.1	2.8	1.6	0.7	2.8	2.1	2.6
満足（計）	25.5	17.9	34.6	26.1	23.8	23.7	23.6	31.6
不満（計）	17.4	26.2	12.1	18.5	16.3	19.0	16.8	19.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (9) 指導教員の指導方法・指導内容								
非常に満足	32.7	33.3	28.5	35.3	35.0	30.3	31.5	36.8
やや満足	34.8	38.1	36.4	34.5	34.2	34.2	34.7	34.9
どちらでもない	17.6	10.7	22.0	16.5	16.0	19.3	18.1	15.6
やや不満	9.4	10.7	6.1	8.8	10.9	9.9	10.0	7.2
非常に不満	3.9	3.6	4.7	3.6	3.6	3.9	3.7	4.6
無回答	1.7	3.6	2.3	1.2	0.2	2.5	1.9	1.0
満足（計）	67.5	71.4	65.0	69.9	69.2	64.5	66.2	71.7
不満（計）	13.3	14.3	10.7	12.4	14.6	13.8	13.8	11.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (10) 女性支援体制								
非常に満足	4.4	2.0	1.7	5.4	5.4	5.1	4.4	4.6
やや満足	14.4	4.5	9.0	13.8	13.6	21.7	15.7	10.7
どちらでもない	63.5	64.6	65.2	64.9	67.4	58.9	64.6	60.3
やや不満	9.7	11.6	13.3	9.1	6.7	9.8	8.9	12.1
非常に不満	5.7	8.6	8.2	6.2	5.9	3.1	4.5	9.1
無回答	2.3	8.6	2.6	0.7	1.0	1.4	2.0	3.2
満足（計）	18.9	6.6	10.7	19.2	19.0	26.8	20.1	15.3
不満（計）	15.4	20.2	21.5	15.2	12.6	13.0	13.3	21.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q9. (11) 授業								
非常に満足	19.2	17.9	14.5	19.3	24.3	17.1	19.9	16.9
やや満足	47.7	45.2	58.9	52.6	44.2	42.1	48.4	45.6
どちらでもない	20.6	21.4	17.8	18.5	19.9	24.2	20.4	21.2
やや不満	8.6	7.1	4.7	6.4	9.5	12.1	8.0	10.7
非常に不満	2.1	2.4	1.9	2.0	2.2	1.9	1.6	3.9
無回答	1.7	6.0	2.3	1.2	—	2.5	1.8	1.6
満足（計）	67.0	63.1	73.4	71.9	68.4	59.2	68.3	62.5
不満（計）	10.7	9.5	6.5	8.4	11.7	14.0	9.6	14.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (12) 修士論文								
非常に満足	27.2	27.4	22.4	31.7	28.2	26.4	26.8	28.3
やや満足	44.4	41.7	53.3	43.0	44.2	42.1	44.8	43.0
どちらでもない	17.3	21.4	13.1	14.5	15.5	22.0	17.8	16.0
やや不満	6.8	3.6	6.5	8.0	8.7	4.7	6.7	7.2
非常に不満	1.8	1.2	1.9	2.0	2.2	1.4	2.0	1.0
無回答	2.5	4.8	2.8	0.8	1.2	3.3	1.9	4.6
満足（計）	71.5	69.0	75.7	74.7	72.3	68.6	71.6	71.3
不満（計）	8.6	4.8	8.4	10.0	10.9	6.1	8.8	8.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (13) 授業で使用した教室								
非常に満足	7.5	7.1	7.9	7.2	7.8	7.4	8.2	5.2
やや満足	30.9	27.4	31.8	37.8	29.1	28.7	32.6	25.1
どちらでもない	37.2	40.5	42.5	35.3	37.6	33.9	36.4	40.1
やや不満	18.5	13.1	13.6	16.1	20.6	22.3	16.9	23.8
非常に不満	4.2	6.0	1.9	2.8	4.4	5.5	4.2	4.2
無回答	1.7	6.0	2.3	0.8	0.5	2.2	1.8	1.6
満足（計）	38.4	34.5	39.7	45.0	36.9	36.1	40.8	30.3
不満（計）	22.7	19.0	15.4	18.9	25.0	27.8	21.1	28.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (14) 図書館								
非常に満足	6.8	2.4	9.3	6.0	8.0	5.8	7.4	4.9
やや満足	31.3	27.4	35.0	40.6	31.1	23.7	31.7	30.0
どちらでもない	27.7	41.7	32.7	27.7	27.2	22.6	28.6	24.8
やや不満	23.0	19.0	16.4	18.5	22.8	30.9	22.0	26.1
非常に不満	9.5	3.6	4.2	6.4	10.7	14.9	8.6	12.7
無回答	1.7	6.0	2.3	0.8	0.2	2.2	1.7	1.6
満足（計）	38.1	29.8	44.4	46.6	39.1	29.5	39.1	34.9
不満（計）	32.5	22.6	20.6	24.9	33.5	45.7	30.6	38.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9. (15) 教育全般								
非常に満足	12.7	10.7	8.9	16.1	16.3	9.4	12.9	12.1
やや満足	46.9	40.5	50.9	53.4	46.4	42.1	47.2	45.9
どちらでもない	28.8	32.1	26.6	21.3	26.5	37.2	29.9	25.1
やや不満	8.3	9.5	8.9	6.8	9.5	7.2	7.0	12.4
非常に不満	1.7	2.4	1.9	1.2	1.2	1.9	1.5	2.3
無回答	1.7	4.8	2.8	1.2	0.2	2.2	1.6	2.3
満足（計）	59.6	51.2	59.8	69.5	62.6	51.5	60.1	58.0
不満（計）	9.9	11.9	10.7	8.0	10.7	9.1	8.5	14.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q9.（16）学生支援全般								
非常に満足	3.5	1.2	4.2	4.4	4.4	1.9	3.9	2.0
やや満足	22.1	11.9	20.1	28.1	22.8	20.4	22.6	20.2
どちらでもない	53.2	57.1	53.3	53.4	51.9	53.7	54.0	50.5
やや不満	15.8	15.5	16.4	8.8	17.0	19.0	14.5	20.2
非常に不満	3.6	8.3	3.3	4.4	3.4	2.5	3.2	4.9
無回答	1.9	6.0	2.8	0.8	0.5	2.5	1.8	2.3
満足（計）	25.5	13.1	24.3	32.5	27.2	22.3	26.5	22.1
不満（計）	19.4	23.8	19.6	13.3	20.4	21.5	17.8	25.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9.（17）大学内の設備・施設全般								
非常に満足	3.8	1.2	3.7	4.0	5.1	2.8	4.3	2.0
やや満足	30.6	21.4	30.8	37.8	30.3	27.5	31.6	27.0
どちらでもない	37.2	41.7	43.9	36.5	35.4	35.3	37.9	34.9
やや不満	22.1	21.4	15.9	16.5	25.5	25.9	20.3	28.0
非常に不満	4.7	7.1	3.3	4.0	3.4	6.3	4.2	6.2
無回答	1.8	7.1	2.3	1.2	0.2	2.2	1.8	2.0
満足（計）	34.3	22.6	34.6	41.8	35.4	30.3	35.9	29.0
不満（計）	26.7	28.6	19.2	20.5	28.9	32.2	24.5	34.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q9.（18）大学全体の雰囲気								
非常に満足	23.3	15.5	16.8	25.3	26.7	24.0	23.9	21.5
やや満足	47.8	42.9	53.3	49.8	46.6	45.7	47.5	48.9
どちらでもない	20.2	23.8	20.6	17.7	19.4	22.0	21.0	17.6
やや不満	5.9	10.7	6.1	5.2	6.6	4.4	5.2	8.1
非常に不満	1.1	2.4	0.9	1.2	0.2	1.7	0.9	2.0
無回答	1.7	4.8	2.3	0.8	0.5	2.2	1.6	2.0
満足（計）	71.2	58.3	70.1	75.1	73.3	69.7	71.4	70.4
不満（計）	7.0	13.1	7.0	6.4	6.8	6.1	6.0	10.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1332	84	214	249	412	363	1025	307
Q10. 学部卒業直後の収入をともなう仕事の経験								
正規社員・正規職員として働いた	22.7	27.4	23.0	14.9	21.7	24.1	22.9	22.1
派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いた	1.4	—	1.6	1.4	1.6	1.7	1.4	1.3
パート・アルバイトで働いた	3.0	4.5	2.8	4.4	2.0	2.6	3.4	1.9
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事	0.6	1.0	0.8	—	0.8	0.4	0.5	0.6
家業の手伝いをした	0.1	—	—	—	—	0.4	0.1	—
大学院進学、留学をした	64.5	53.7	61.3	70.3	67.5	65.9	64.3	65.1
収入をともなう仕事にはつかなかった	3.2	7.5	4.0	3.7	2.8	1.5	3.1	3.4
無回答	4.5	6.0	6.5	5.4	3.7	3.4	4.1	5.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q10-1（1）. 卒業直後に仕事に就いた年齢								
22 歳以前	50.7	50.0	51.5	50.8	55.5	41.7	46.2	64.7
23 歳	18.2	17.2	17.6	16.4	17.2	22.5	18.1	18.5
24 歳	19.0	15.6	17.6	14.8	17.2	26.5	23.2	5.9
25 歳以降	11.2	15.6	11.8	18.0	8.6	9.3	11.4	10.9
無回答	0.8	1.6	1.5	—	1.6	—	1.1	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q10-1（2）. 卒業直後に就いた職業								
専門・技術的職業	66.9	85.9	67.6	73.8	58.6	60.3	65.1	72.3
管理的職業	1.2	—	1.5	3.3	—	2.0	1.4	0.8
事務的職業	23.5	7.8	20.6	19.7	32.8	26.5	24.6	20.2
販売的職業	2.9	—	2.9	1.6	2.3	5.3	3.5	0.8
保安・サービス的職業	0.8	—	1.5	—	0.8	1.3	0.5	1.7
運輸・通信的職業	0.8	—	2.9	—	—	1.3	1.1	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	0.2	—	—	—	0.8	—	—	0.8
その他	3.1	4.7	2.9	1.6	3.1	3.3	3.0	3.4
無回答	0.6	1.6	—	—	1.6	—	0.8	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	489	64	68	61	128	151	370	119
Q10-1（2）. 卒業直後に就いた専門・技術的職業								
研究者	21.7	20.0	19.6	4.4	22.7	29.7	22.4	19.8
技術者	5.8	3.6	—	6.7	9.3	4.4	5.4	7.0
SE	5.2	—	—	2.2	12.0	7.7	4.6	7.0
カウンセラー	1.5	—	2.2	2.2	2.7	1.1	2.1	—
栄養士	—	—	—	—	—	—	—	—
大学講師	6.7	9.1	13.0	13.3	2.7	—	4.1	14.0
高校教師	23.9	25.5	19.6	28.9	20.0	28.6	26.1	17.4
中学教師	11.6	20.0	4.3	11.1	13.3	9.9	9.5	17.4
小学校教師	2.4	—	6.5	2.2	—	4.4	2.9	1.2
幼稚園教師	2.4	3.6	4.3	—	2.7	2.2	2.9	1.2
保育士	—	—	—	—	—	—	—	—
学芸員	0.3	—	—	2.2	—	—	0.4	—
社会調査士	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	17.1	16.4	28.3	26.7	13.3	11.0	18.3	14.0
無回答	1.2	1.8	2.2	—	1.3	1.1	1.2	1.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	327	55	46	45	75	91	241	86
Q10-1（3）. 卒業直後の就業先の業種								
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	0.2	—	—	—	—	0.7	0.3	—
製造業	16.4	15.6	8.8	8.2	17.2	20.5	15.7	18.5
電気・ガス・熱供給・水道業	0.6	1.6	—	—	1.6	—	0.5	0.8
運輸・通信業	1.8	—	—	—	2.3	4.0	2.4	—
卸売・小売業、飲食店	2.9	—	4.4	3.3	0.8	5.3	3.2	1.7
金融・保険業、不動産業	4.7	—	2.9	3.3	7.8	5.3	4.1	6.7
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	5.5	1.6	8.8	3.3	7.0	5.3	5.1	6.7
情報・通信	5.9	1.6	1.5	4.9	7.8	7.9	6.2	5.0
医療・福祉	2.2	1.6	4.4	3.3	2.3	1.3	2.7	0.8
教育・研究	48.3	67.2	58.8	63.9	39.1	37.7	47.6	50.4
法律・会計	0.6	—	—	—	0.8	1.3	0.8	—
公務	4.7	1.6	1.5	4.9	7.8	5.3	5.1	3.4
その他	4.3	1.6	5.9	4.9	4.7	4.6	4.1	5.0
無回答	1.8	7.8	2.9	—	0.8	0.7	2.2	0.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	489	64	68	61	128	151	370	119
Q10-1（4）. 卒業直後の勤務先全体の従業員数								
1～29 人	13.1	18.8	14.7	26.2	8.6	9.9	13.8	10.9
30～99 人	17.8	35.9	17.6	21.3	11.7	13.9	18.1	16.8
100～299 人	13.9	7.8	10.3	19.7	13.3	16.6	12.7	17.6
300～499 人	2.0	3.1	2.9	1.6	—	3.3	2.2	1.7
500～999 人	5.1	7.8	7.4	3.3	4.7	4.0	4.6	6.7
1000 人以上	30.1	9.4	20.6	14.8	39.8	38.4	29.2	32.8
国家公務員	5.9	6.3	7.4	3.3	8.6	4.6	5.9	5.9
地方公務員	9.8	4.7	13.2	9.8	12.5	8.6	10.8	6.7
無回答	2.2	6.3	5.9	—	0.8	0.7	2.7	0.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	489	64	68	61	128	151	370	119

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q10-1（5）．お茶の水女子大学卒業の勤務先での評価								
かなり肯定的だった（である）	56.6	73.4	58.8	50.8	50.0	55.6	56.5	57.1
どちらかといえば肯定的だった（である）	32.5	20.3	27.9	39.3	38.3	33.1	34.1	27.7
どちらかといえば否定的だった（である）	1.0	1.6	2.9	—	—	1.3	0.5	2.5
かなり否定的だった（である）	0.8	—	1.5	—	1.6	—	0.3	2.5
よくわからない	6.1	1.6	4.4	8.2	6.3	7.9	5.9	6.7
無回答	2.9	3.1	4.4	1.6	3.9	2.0	2.7	3.4
肯定的（計）	89.2	93.8	86.8	90.2	88.3	88.7	90.5	84.9
否定的（計）	1.8	1.6	4.4	—	1.6	1.3	0.8	5.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	489	64	68	61	128	151	370	119
Q10-1（6）．卒業直後に働いた仕事の継続								
やめた	71.2	85.9	83.8	82.0	73.4	55.0	68.6	79.0
現在まで同じ仕事を続けているが、勤務先は変わった	8.0	4.7	8.8	3.3	9.4	9.3	8.9	5.0
現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている	19.2	6.3	4.4	13.1	15.6	35.1	20.8	14.3
無回答	1.6	3.1	2.9	1.6	1.6	0.7	1.6	1.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	489	64	68	61	128	151	370	119
Q10-2（1）．卒業直後に働いた仕事をやめるまでの年数								
0 年	0.6	1.8	—	2.0	—	—	0.8	—
1～2 年	37.6	41.8	43.9	34.0	30.9	41.0	37.4	38.3
3～5 年	34.8	30.9	33.3	44.0	40.4	26.5	34.3	36.2
6～10 年	12.6	7.3	15.8	10.0	11.7	14.5	13.0	11.7
11～15 年	3.2	1.8	1.8	4.0	5.3	2.4	3.1	3.2
16～20 年	2.6	3.6	—	2.0	5.3	1.2	2.4	3.2
21 年以上	8.0	12.7	5.3	2.0	6.4	13.3	8.3	7.4
無回答	0.6	—	—	2.0	—	1.2	0.8	—
平均年数	6.3	7.6	5.0	4.7	6.4	7.4	6.4	5.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	348	55	57	50	94	83	254	94
Q10-2（2）．仕事をやめた理由（複数回答）．								
転職のため	20.1	25.5	15.8	20.0	20.2	20.5	20.9	18.1
結婚のため	20.7	9.1	17.5	32.0	21.3	21.7	20.9	20.2
出産、育児のため	12.6	14.5	19.3	14.0	9.6	8.4	14.2	8.5
配偶者の転勤のため	8.3	9.1	5.3	8.0	7.4	9.6	8.7	7.4
家族の介護のため	2.0	—	—	4.0	3.2	2.4	1.2	4.3
自分自身の健康問題	4.6	3.6	3.5	4.0	5.3	6.0	5.5	2.1
家族の反対	1.7	—	1.8	2.0	2.1	2.4	1.2	3.2
労働条件が過酷だから	5.7	1.8	—	2.0	9.6	9.6	5.9	5.3
収入が少ないから	1.4	1.8	—	4.0	1.1	1.2	1.6	1.1
人員整理・倒産	0.6	—	—	2.0	—	1.2	0.8	—
キャリアを積む限界がみえたから	18.1	5.5	17.5	18.0	25.5	15.7	15.4	25.5
職場の人間関係のため	2.0	1.8	—	2.0	1.1	3.6	1.2	4.3
その他	40.5	54.5	47.4	32.0	38.3	37.3	39.8	42.6
無回答	0.6	—	—	—	1.1	1.2	0.8	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	348	55	57	50	94	83	254	94
Q10-2（3）．仕事をやめた後の収入をともなう仕事の経験								
再就職してフルタイムで働いた	37.6	38.2	29.8	30.0	44.7	34.9	37.4	38.3
再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託	31.6	23.6	26.3	34.0	33.0	41.0	29.9	36.2
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事	5.2	7.3	8.8	6.0	2.1	4.8	5.9	3.2
家業の手伝いをした	1.1	—	1.8	—	1.1	2.4	1.6	—
収入をともなう仕事はしなかった	21.0	23.6	26.3	28.0	17.0	15.7	22.0	18.1
無回答	3.4	7.3	7.0	2.0	2.1	1.2	3.1	4.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	348	55	57	50	94	83	254	94

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q10-3（1）．仕事を見つけた経緯								
新聞などの求人欄をみて応募	12.5	5.3	7.9	14.3	13.2	15.9	13.7	9.6
Web上の求人欄を見て応募	6.1	—	—	—	9.2	11.6	6.8	4.1
職業紹介所の紹介	2.7	—	—	—	1.3	7.2	3.2	1.4
友人の紹介	15.6	18.4	15.8	20.0	14.5	14.5	14.2	19.2
親類の紹介	3.0	2.6	2.6	2.9	3.9	2.9	3.2	2.7
前の職場の人の紹介	9.9	13.2	10.5	14.3	10.5	4.3	10.5	8.2
お茶の水女子大学大学院同窓会関係者の紹介	14.4	18.4	26.3	20.0	9.2	8.7	13.7	16.4
その他	35.4	39.5	36.8	28.6	38.2	34.8	34.2	38.4
無回答	0.4	2.6	—	—	—	—	0.5	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	263	38	38	35	76	69	190	73
Q10-4（1）．現在まで同じ仕事を続けていて、これまでに仕事をやめようと思った経験								
ある	35.3	14.3	33.3	30.0	43.8	34.3	38.2	21.7
ない	58.6	71.4	66.7	70.0	50.0	59.7	56.4	69.6
覚えていない	3.0	14.3	—	—	6.3	1.5	2.7	4.3
無回答	3.0	—	—	—	—	4.5	2.7	4.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	133	7	9	10	32	67	110	23
Q10-4（2）．仕事をやめようと思った理由（複数回答）								
転職のため	4.3	—	—	33.3	—	4.3	4.8	—
結婚のため	6.4	—	—	—	7.1	8.7	7.1	—
出産、育児のため	29.8	—	100.0	33.3	14.3	30.4	31.0	20.0
配偶者の転勤のため	—	—	—	—	—	—	—	—
家族の介護のため	8.5	—	33.3	—	—	8.7	7.1	20.0
自分自身の健康問題	17.0	—	—	33.3	14.3	21.7	19.0	—
家族の反対	—	—	—	—	—	—	—	—
労働条件が過酷だから	21.3	—	33.3	66.7	21.4	17.4	19.0	40.0
収入が少ないから	6.4	—	—	—	7.1	8.7	7.1	—
人員整理・倒産	—	—	—	—	—	—	—	—
キャリアを積む限界がみえたから	31.9	—	100.0	33.3	28.6	21.7	28.6	60.0
職場の人間関係のため	25.5	100.0	—	33.3	42.9	13.0	23.8	40.0
その他	14.9	100.0	—	—	21.4	13.0	16.7	—
無回答	8.5	—	—	—	—	17.4	9.5	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	47	1	3	3	14	23	42	5
Q10-5．大学卒業直後に収入を伴う仕事につかなかった理由								
結婚したから（婚約中も含む）	24.1	33.3	10.0	27.3	14.3	37.5	26.2	18.8
家事手伝いや稽古事をしたから	3.4	—	10.0	—	7.1	—	4.8	—
ボランティア、ＮＰＯなどの社会活動をしたから	—	—	—	—	—	—	—	—
進学・就職の準備期間としたかったから	43.1	40.0	60.0	54.5	35.7	25.0	38.1	56.3
希望の仕事につけなかったから	—	—	—	—	—	—	—	—
就職する意志がなかったから	3.4	—	—	9.1	7.1	—	2.4	6.3
自分の時間を持ちたかったから	1.7	—	—	—	—	12.5	2.4	—
その他	20.7	20.0	10.0	9.1	35.7	25.0	21.4	18.8
無回答	3.4	6.7	10.0	—	—	—	4.8	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	58	15	10	11	14	8	42	16
Q11．大学院修了直後の収入をともなう仕事の経験								
フルタイムで働いた	52.9	59.2	48.4	56.1	59.4	45.4	54.1	49.6
主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託	20.7	14.9	27.8	23.3	22.7	16.4	18.7	26.6
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした	0.9	1.0	2.4	1.7	0.6	0.2	1.1	0.4
家業の手伝いをした	0.3	—	—	0.3	0.8	—	0.3	0.2
収入をともなう仕事にはつかなかった	8.3	12.9	12.1	9.8	6.1	6.2	8.2	8.5
無回答	16.9	11.9	9.3	8.8	10.5	31.8	17.6	14.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q11-1（1）. 修了直後に仕事に就いた年齢								
24歳以前	44.5	26.2	45.0	42.6	46.4	53.0	56.8	10.9
25歳	15.2	14.8	15.9	20.4	11.5	16.5	18.9	5.0
26歳	7.2	6.7	10.6	7.2	5.8	7.6	7.7	5.9
27歳以降	30.5	46.3	24.9	28.9	34.1	22.0	14.2	74.9
無回答	2.6	6.0	3.7	0.9	2.2	0.9	2.3	3.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358
Q11-1（2）. 修了直後に就いた職業								
教育・研究職	63.6	91.3	74.6	78.7	57.2	41.5	54.1	89.4
専門・技術的職業	21.5	4.0	14.8	15.7	24.3	34.8	27.5	5.3
管理的職業	0.3	0.7	—	—	0.5	0.3	0.3	0.3
事務的職業	8.5	—	4.2	3.4	12.3	14.0	10.9	2.0
販売的職業	1.7	—	0.5	0.4	1.0	4.9	2.2	0.3
保安・サービス的職業	0.2	—	—	—	—	0.9	0.3	—
運輸・通信的職業	0.2	—	0.5	—	0.2	—	0.2	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2.1	0.7	1.1	1.3	3.1	2.4	2.5	1.1
無回答	2.0	3.4	4.2	0.4	1.4	1.2	2.1	1.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358
Q11-1（2）. 修了直後に就いた専門・技術的職業								
技術者	—	—	—	—	—	—	—	—
SE	18.2	—	7.1	5.4	15.8	28.1	18.0	21.1
カウンセラー	—	—	—	—	—	—	—	—
栄養士	—	—	—	—	—	—	—	—
保育士	—	—	—	—	—	—	—	—
学芸員	—	—	—	—	—	—	—	—
社会調査士	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	0.3	—	3.6	—	—	—	0.4	—
無回答	81.5	100.0	89.3	94.6	84.2	71.9	81.6	78.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	286	6	28	37	101	114	267	19
Q11-1（2）a.「教育・研究職」の職場								
国公立大学・大学院（共学）	13.5	22.8	12.8	11.9	11.8	8.8	6.9	24.4
国公立大学・大学院（別学）	11.8	12.5	13.5	13.0	13.4	5.1	9.7	15.3
私立大学（共学）	9.7	13.2	9.9	11.4	10.1	2.9	5.3	16.9
私立大学（別学）	3.9	6.6	3.5	2.7	2.9	3.7	2.7	5.9
短期大学（共学）	1.8	0.7	2.1	2.2	1.3	2.9	2.1	1.3
短期大学（別学）	6.5	11.8	9.9	9.2	2.1	1.5	6.3	6.9
専門学校・各種学校	3.3	2.2	4.3	2.7	4.6	2.2	3.8	2.5
高校	16.8	11.8	26.2	14.1	16.0	18.4	23.8	5.3
中学校	5.2	2.9	5.7	7.6	4.6	5.1	7.0	2.2
小学校	1.5	0.7	1.4	1.6	1.3	2.9	2.3	0.3
幼稚園	0.5	0.7	0.7	0.5	0.4	—	0.8	—
国公立研究所	4.7	2.9	3.5	3.8	6.3	6.6	4.0	5.9
民間・財団法人研究所	2.4	3.7	1.4	1.1	2.9	2.9	1.9	3.1
民間企業の研究所	10.7	1.5	2.8	11.4	13.0	23.5	15.2	3.1
その他	7.6	5.1	2.1	7.0	9.2	13.2	8.0	6.9
無回答	0.1	0.7	—	—	—	—	0.2	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	845	136	141	185	238	136	525	320

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q11-1（3）．修了直後の就業先の業種								
農林漁業	0.1	—	—	—	0.2	—	0.1	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	0.4	—	—	—	0.7	0.6	0.5	—
製造業	12.0	1.3	4.2	10.6	15.4	18.0	15.7	2.0
電気・ガス・熱供給・水道業	0.6	—	—	0.4	1.0	0.9	0.8	—
運輸・通信業	0.5	—	—	0.4	1.0	0.6	0.7	—
卸売・小売業、飲食店	1.1	—	0.5	0.9	0.7	2.4	1.2	0.6
金融・保険業、不動産業	1.1	—	0.5	0.4	0.7	3.0	1.5	—
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	2.9	—	2.6	2.6	4.3	3.0	4.0	—
情報・通信	6.2	—	1.6	3.4	6.5	13.7	7.9	1.7
医療・福祉	4.7	2.0	7.4	3.8	5.3	4.6	5.6	2.5
教育・研究	52.1	70.5	66.1	63.8	46.4	34.5	44.4	73.2
法律・会計	0.4	—	—	0.4	0.7	0.3	0.4	0.3
公務	3.4	0.7	1.1	1.7	4.1	6.4	4.0	1.7
その他	4.4	3.4	2.1	2.6	4.8	6.7	5.1	2.2
無回答	10.1	22.1	13.8	8.9	8.2	5.2	7.9	15.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358
Q11-1（4）．修了直後の勤務先全体の従業員数								
1～29 人	8.6	8.7	10.6	9.8	8.2	7.3	9.4	6.4
30～99 人	13.9	17.4	19.0	17.0	11.1	11.0	15.9	8.7
100～299 人	15.7	12.1	18.5	17.9	17.5	11.9	14.2	19.6
300～499 人	4.2	4.7	2.6	6.4	3.6	4.0	3.7	5.6
500～999 人	8.7	8.1	3.7	7.7	10.3	10.7	8.2	10.1
1000 人以上	22.3	6.0	10.6	16.6	25.2	37.2	26.3	11.7
国家公務員	10.7	18.1	13.2	9.8	9.9	7.3	7.5	19.3
地方公務員	7.4	6.0	11.1	7.7	7.7	5.5	9.0	3.1
無回答	8.5	18.8	10.6	7.2	6.5	5.2	5.9	15.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358
Q11-1（5）．仕事を見つけた経緯（複数回答）								
公募書類を見て応募	19.9	8.1	13.8	18.7	28.6	19.2	21.9	14.5
W eb 上の公募情報を見て応募	12.4	—	—	0.4	7.2	40.9	15.2	4.7
お茶の水女子大学の教師の紹介	26.2	28.9	34.4	36.2	26.9	11.9	24.9	29.6
お茶の水女子大学以外の教師の紹介	10.8	20.8	15.3	10.6	10.1	5.2	7.4	20.1
新聞などの求人欄を見て応募	2.7	—	0.5	4.3	4.1	2.4	3.3	1.1
職業紹介所の紹介	0.4	—	—	—	0.5	0.9	0.4	0.3
友人の紹介	8.3	9.4	13.2	8.9	5.5	8.2	8.1	8.7
親類の紹介	3.1	6.7	4.2	2.1	3.1	1.5	3.3	2.5
以前の職場の人の紹介	1.6	2.0	1.6	0.4	1.7	2.1	1.5	1.7
お茶の水女子大学の同窓会関係者の紹介	5.8	6.0	7.4	10.2	4.8	3.0	6.4	4.2
その他	14.7	14.1	10.1	14.5	15.1	16.8	14.4	15.4
無回答	5.7	14.8	8.5	4.3	3.6	2.7	4.1	10.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358
Q11-1（6）．お茶の水女子大学大学院を修了の勤務先での評価								
かなり肯定的だった（である）	45.1	32.2	51.3	51.9	49.3	38.1	47.1	39.9
どちらかといえば肯定的だった（である）	28.4	14.8	27.5	25.5	31.0	34.8	31.0	21.5
どちらかといえば否定的だった（である）	1.2	0.7	1.6	1.7	0.5	1.8	1.2	1.1
かなり否定的だった（である）	0.2	0.7	—	—	0.2	—	0.1	0.3
よくわからない	8.0	3.4	8.5	5.5	7.7	11.9	7.0	10.6
無回答	17.1	48.3	11.1	15.3	11.3	13.4	13.6	26.5
肯定的（計）	73.6	47.0	78.8	77.4	80.3	72.9	78.1	61.5
否定的（計）	1.4	1.3	1.6	1.7	0.7	1.8	1.3	1.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q11-1（7）. 修了直後に働いた仕事の継続								
やめた	49.7	69.8	63.5	59.1	50.7	24.7	50.7	46.9
現在まで同じ仕事を続けているが、勤務先は変わった	15.3	10.1	20.1	18.7	18.5	8.5	13.5	20.1
現在まで同じ仕事を同じ勤務先で続けている	30.8	10.1	10.6	20.0	26.9	64.3	32.6	25.7
無回答	4.3	10.1	5.8	2.1	3.8	2.4	3.2	7.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1329	149	189	235	416	328	971	358
Q11-2（1）. 仕事をやめた理由（複数回答）.								
転職のため	27.1	23.1	15.8	28.8	31.3	35.8	26.0	30.4
結婚のため	13.8	4.8	16.7	16.5	15.6	12.3	17.5	3.0
出産、育児のため	17.9	20.2	28.3	16.5	16.6	6.2	20.1	11.3
配偶者の転勤のため	13.6	16.3	18.3	14.4	10.9	8.6	14.8	10.1
家族の介護のため	2.0	3.8	1.7	0.7	1.4	2.5	1.6	3.0
自分自身の健康問題	7.7	3.8	8.3	7.2	8.5	9.9	8.5	5.4
家族の反対	0.6	—	1.7	—	0.5	1.2	0.8	—
労働条件が過酷だから	6.1	1.9	1.7	3.6	10.9	9.9	6.9	3.6
収入が少ないから	4.7	1.0	4.2	2.9	3.3	17.3	4.9	4.2
人員整理・倒産	2.4	—	0.8	2.2	4.3	3.7	2.4	2.4
キャリアを積む限界がみえたから	9.7	3.8	7.5	12.2	11.4	12.3	10.6	7.1
職場の人間関係のため	4.4	2.9	3.3	5.0	5.2	4.9	5.1	2.4
その他	24.2	42.3	18.3	23.0	20.4	21.0	18.7	40.5
無回答	0.6	1.0	—	0.7	0.9	—	0.2	1.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	660	104	120	139	211	81	492	168
Q11-2（2）. 仕事をやめた後の収入をともなう仕事の経験								
再就職してフルタイムで働いた	40.2	28.8	34.2	47.5	44.5	39.5	39.4	42.3
再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託	31.2	22.1	40.8	27.3	29.9	38.3	31.3	31.0
自宅で塾・ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした	7.4	10.6	6.7	11.5	5.2	3.7	8.5	4.2
家業の手伝いをした	0.9	1.0	1.7	—	1.4	—	1.0	0.6
収入をともなう仕事はしなかった	17.6	27.9	14.2	12.2	18.0	18.5	18.1	16.1
無回答	2.7	9.6	2.5	1.4	0.9	—	1.6	6.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	660	104	120	139	211	81	492	168
Q11-3（1）. 仕事を見つけた経緯								
新聞などの求人欄をみて応募	11.2	3.1	8.0	10.8	16.4	12.1	13.2	5.3
Web上の求人欄を見て応募	8.0	—	—	0.8	12.9	28.8	6.6	12.2
職業紹介所の紹介	4.0	1.5	—	2.5	8.2	4.5	4.3	3.1
友人の紹介	17.5	15.4	27.0	20.8	11.7	13.6	18.7	13.7
親類の紹介	4.8	9.2	5.0	3.3	4.1	4.5	5.3	3.1
前の職場の人の紹介	11.0	16.9	18.0	6.7	7.6	12.1	10.4	13.0
お茶の水女子大学大学院の同窓会関係者の紹介	10.3	6.2	16.0	15.0	7.6	3.0	9.6	12.2
その他	32.3	41.5	26.0	40.0	31.0	21.2	31.4	35.1
無回答	1.0	6.2	—	—	0.6	—	0.5	2.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	526	65	100	120	171	66	395	131
Q11-4（1）. 現在まで同じ仕事を続けていて、これまでに仕事をやめようと思ったことの経験								
ある	38.9	20.0	34.5	37.4	41.3	41.8	43.1	27.4
ない	57.7	76.7	62.1	54.9	56.1	55.6	53.1	70.1
覚えていない	2.0	—	1.7	4.4	1.6	1.7	2.2	1.2
無回答	1.5	3.3	1.7	3.3	1.1	0.8	1.6	1.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	612	30	58	91	189	239	448	164

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q11-4（2）. 仕事をやめようと思った理由（複数回答）								
転職のため	14.3	16.7	5.0	2.9	11.5	22.0	14.0	15.6
結婚のため	5.5	—	—	2.9	5.1	8.0	5.2	6.7
出産、育児のため	16.4	50.0	35.0	20.6	21.8	5.0	15.0	22.2
配偶者の転勤のため	3.4	—	—	5.9	6.4	1.0	3.6	2.2
家族の介護のため	2.1	—	15.0	5.9	—	—	2.1	2.2
自分自身の健康問題	13.4	—	15.0	17.6	6.4	18.0	14.5	8.9
家族の反対	1.3	—	—	2.9	—	2.0	1.6	—
労働条件が過酷だから	32.4	—	25.0	20.6	33.3	39.0	32.1	33.3
収入が少ないから	12.6	—	5.0	11.8	6.4	20.0	12.4	13.3
人員整理・倒産	0.8	—	5.0	—	1.3	—	1.0	—
キャリアを積む限界がみえたから	27.3	—	20.0	41.2	20.5	31.0	26.4	31.1
職場の人間関係のため	29.0	—	40.0	44.1	25.6	26.0	29.5	26.7
その他	17.2	16.7	15.0	11.8	20.5	17.0	18.7	11.1
無回答	2.1	16.7	—	—	2.6	2.0	2.6	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	238	6	20	34	78	100	193	45
Q11-5. 修了直後に収入をともなう仕事につかなかった理由								
結婚したから（婚約中も含む）	32.9	46.2	36.7	44.8	29.0	12.1	36.7	22.5
家事手伝いや稽古事をしたから	1.3	—	3.3	—	3.2	—	1.8	—
ボランティア、NPO などの社会活動をしたから	0.7	—	3.3	—	—	—	0.9	—
進学・就職の準備期間としたかったから	11.4	3.8	13.3	6.9	12.9	18.2	9.2	17.5
希望の仕事につけなかったから	5.4	7.7	3.3	10.3	3.2	3.0	1.8	15.0
就職する意志がなかったから	4.7	3.8	6.7	3.4	6.5	3.0	5.5	2.5
自分の時間を持ちたかったから	1.3	3.8	—	3.4	—	—	1.8	—
その他	36.9	26.9	26.7	24.1	45.2	57.6	36.7	37.5
無回答	5.4	7.7	6.7	6.9	—	6.1	5.5	5.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	149	26	30	29	31	33	109	40
Q13. 現在の収入をともなう仕事								
正規社員・正規職員として働いている	53.7	25.9	55.2	58.8	58.6	55.7	52.9	55.7
派遣社員、契約社員、嘱託社員で働いている	9.3	5.0	7.7	8.8	10.3	11.1	8.5	11.5
パート・アルバイトで働いている	12.0	11.4	11.7	11.5	11.2	13.6	11.9	12.3
自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事	3.3	4.0	4.4	5.4	3.9	0.9	3.8	1.9
家業の手伝いをしている	0.8	—	1.6	0.7	1.0	0.6	1.0	0.2
収入をともなう仕事にはついていない	20.1	52.2	18.1	13.5	14.8	17.1	21.0	17.4
無回答	0.9	1.5	1.2	1.4	0.2	0.9	0.9	0.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q13-1（1）. 現在の職業								
専門・技術的職業	80.6	85.9	87.6	87.6	81.3	71.4	74.9	95.5
管理的職業	3.3	4.7	6.5	4.3	3.0	1.4	4.3	0.5
事務的職業	10.3	1.2	2.2	6.8	11.1	17.1	13.7	1.3
販売的職業	1.7	—	1.1	—	0.5	4.4	2.4	—
保安・サービス的職業	0.5	—	—	0.4	0.2	1.2	0.4	0.8
運輸・通信的職業	0.3	—	—	—	0.2	0.7	0.3	0.3
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	0.1	—	—	—	0.2	—	0.1	—
その他	2.9	7.1	1.6	0.9	3.0	3.7	3.6	1.1
無回答	0.4	1.2	1.1	—	0.5	—	0.3	0.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q13-1（1）. 現在の専門・技術的職業								
研究者	26.0	26.0	28.4	21.5	24.8	28.5	21.6	35.0
技術者	7.2	4.1	0.6	5.4	8.2	11.8	9.8	1.7
SE	4.0	—	1.2	0.5	1.8	11.1	5.5	1.1
カウンセラー	4.4	4.1	3.7	2.0	4.8	6.2	5.9	1.4
栄養士	—	—	—	—	—	—	—	—
大学講師	26.7	34.2	34.6	38.5	29.4	8.9	18.3	44.0
高校教師	9.4	4.1	13.6	7.3	9.1	10.5	13.0	2.2
中学教師	4.8	1.4	4.3	7.3	4.5	4.6	6.5	1.1
小学校教師	0.8	—	0.6	—	1.2	1.3	1.1	0.3
幼稚園教師	0.4	1.4	—	0.5	0.6	—	0.3	0.6
保育士	0.1	—	0.6	—	—	—	0.1	—
学芸員	0.6	—	—	1.0	0.9	0.7	0.4	1.1
社会調査士	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	14.1	21.9	9.9	15.1	12.7	15.7	16.6	9.0
無回答	1.5	2.7	2.5	1.0	1.8	0.7	1.0	2.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1090	73	162	205	330	305	733	357
Q13-1（2）. 現在の就業先の業種								
農林漁業	0.1	—	—	—	0.2	—	0.1	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	0.4	—	—	—	0.2	0.9	0.5	—
製造業	10.4	1.2	1.1	6.4	12.6	15.9	13.5	2.4
電気・ガス・熱供給・水道業	0.4	—	—	0.4	0.2	0.7	0.5	—
運輸・通信業	0.7	—	—	0.9	0.5	1.2	0.8	0.3
卸売・小売業、飲食店	1.5	—	1.1	—	1.7	2.6	1.6	1.1
金融・保険業、不動産業	1.3	—	0.5	1.3	1.0	2.3	1.8	—
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	1.8	—	1.1	1.7	1.7	2.6	2.4	0.3
情報・通信	5.9	—	2.7	2.6	4.7	11.5	7.8	1.1
医療・福祉	5.0	7.1	7.0	5.1	4.2	4.7	5.7	3.2
教育・研究	59.1	74.1	78.9	72.2	57.9	41.5	49.8	83.4
法律・会計	1.2	2.4	0.5	0.9	1.7	0.9	1.5	0.3
公務	4.9	—	1.1	3.4	6.2	7.3	5.8	2.4
その他	6.3	10.6	4.3	4.7	6.2	7.3	7.2	4.0
無回答	1.1	4.7	1.6	0.4	1.0	0.7	0.9	1.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（3）. 現在の勤務先全体の従業員数								
1～29 人	8.9	18.8	8.1	8.5	7.6	8.7	10.1	5.6
30～99 人	10.7	8.2	13.0	9.8	11.6	10.1	12.5	6.1
100～299 人	18.7	24.7	21.1	22.6	19.0	14.5	17.2	22.7
300～499 人	7.3	10.6	12.4	7.7	5.4	5.9	6.6	9.1
500～999 人	10.4	15.3	8.6	12.4	8.6	10.8	8.9	14.4
1000 人以上	24.3	8.2	14.1	17.1	27.1	32.8	25.6	20.9
国家公務員	6.4	5.9	5.9	8.1	6.4	6.1	4.5	11.5
地方公務員	9.1	2.4	10.8	10.3	9.9	8.4	11.5	2.9
無回答	4.1	5.9	5.9	3.4	4.4	2.8	3.2	6.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q13-1（4）. 現在の職位								
〔企業・役所関係〕役職なし	24.9	1.2	3.2	8.1	22.7	51.1	31.1	8.8
係長・係長相当職	5.4	—	2.2	5.1	11.3	2.6	6.6	2.1
課長・課長相当職	3.5	2.4	0.5	7.3	3.9	2.3	4.1	1.9
部長・部長相当職	1.2	—	2.2	1.7	1.2	0.2	1.1	1.3
社長・重役・役員・理事	1.4	4.7	4.3	1.3	0.5	0.2	1.6	0.8
その他	2.1	2.4	1.6	0.9	2.0	3.3	2.4	1.6
〔大学・短期大学関係〕技官など	0.4	—	0.5	—	0.7	0.2	0.3	0.5
助手・助教	2.5	—	1.6	1.7	3.4	2.6	0.7	7.2
非常勤講師	9.5	12.9	11.4	13.2	11.1	4.4	7.5	15.0
専任講師	3.2	1.2	1.6	3.8	5.9	1.2	2.4	5.3
准教授・助教授	6.7	2.4	4.3	15.4	10.6	0.5	2.1	18.7
教授	11.0	37.6	36.2	16.7	1.7	0.2	8.6	17.4
教務・事務補佐・副手	1.9	—	—	1.3	1.7	3.7	2.5	0.5
その他	2.6	3.5	1.1	1.3	1.7	4.4	1.5	5.3
〔小学校・中学校・高等学校関係〕教諭	10.1	2.4	10.8	9.8	11.6	10.1	12.7	3.2
教頭・副校長	0.1	—	1.1	—	—	—	0.2	—
校長	0.1	1.2	0.5	—	—	—	0.2	—
その他	2.5	1.2	4.3	3.0	1.5	2.8	3.3	0.5
〔その他〕その他	8.1	15.3	9.7	8.1	6.4	7.7	8.7	6.4
無回答	2.7	11.8	2.7	1.3	2.0	2.3	2.5	3.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（5）. 現在の個人年収（税込み）								
200 万円未満	17.8	22.4	17.8	20.1	13.1	20.6	18.4	16.3
200～400 万円未満	15.4	7.1	9.7	6.0	13.3	27.2	17.0	11.2
400～600 万円未満	18.9	7.1	2.7	6.0	20.9	33.0	20.2	15.2
600～800 万円未満	16.0	4.7	9.7	17.5	25.6	11.0	16.3	15.2
800～1000 万円未満	14.2	5.9	19.5	28.6	15.8	4.0	12.9	17.6
1000～1500 万円未満	12.4	35.3	33.5	15.0	7.4	1.6	10.9	16.0
1500～2000 万円未満	0.4	2.4	1.1	0.4	0.2	—	0.4	0.5
2000 万円以上	0.4	1.2	0.5	1.3	0.2	—	0.4	0.5
無回答	4.5	14.1	5.4	5.1	3.4	2.6	3.5	7.2
平　均	559.9	807.7	732.1	657.1	563.4	385.2	532.4	634.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（6）. 現在働いている理由（複数回答）								
自分自身の収入が欲しいから	34.4	12.9	22.2	26.5	33.3	49.6	37.0	27.5
家計の維持や補助に必要だから	16.3	5.9	14.1	20.9	17.0	16.4	17.6	13.1
社会とのつながりを持ちたいから	22.3	25.9	29.2	18.8	24.9	18.0	24.1	17.6
仕事につくことは当然だと思うから	30.2	36.5	36.8	32.5	27.8	26.9	27.0	38.5
仕事をすることが好きだから	25.1	28.2	25.4	28.6	28.3	19.0	25.4	24.6
知識、技術、趣味を生かしたいから	28.7	34.1	28.6	31.2	30.0	24.6	25.8	36.4
経済的に自立したいから	22.1	11.8	17.8	21.4	20.9	27.9	22.3	21.7
家業だから	0.7	2.4	2.2	0.9	0.2	—	0.8	0.3
仕事を通じて友人を得たいから	0.4	1.2	—	0.4	—	0.7	0.5	—
育児が一段落したから	0.8	—	1.1	3.0	0.5	—	1.0	0.3
家族の介護や看病の必要がなくなったから	0.1	1.2	—	0.4	—	—	0.1	0.3
他にすることがないから	0.8	—	2.2	—	0.5	1.2	0.8	0.8
その他	5.9	12.9	5.4	5.6	5.2	5.9	5.8	6.1
無回答	1.0	4.7	2.7	—	0.5	0.5	0.7	1.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（1）現在								
14 時以前	2.7	3.5	3.8	3.8	2.2	2.1	3.0	2.1
15 時台	1.2	2.4	1.6	0.4	2.0	0.5	1.3	0.8
16 時台	2.0	3.5	1.6	2.1	3.4	0.5	1.9	2.1
17 時台	5.2	7.1	4.9	7.7	5.9	3.0	5.5	4.3
18 時台	15.8	10.6	17.8	15.8	19.7	12.4	15.2	17.4
19 時台	22.5	25.9	23.2	27.8	21.9	18.5	22.1	23.5
20 時以降	46.0	35.3	37.3	39.3	40.1	61.1	46.6	44.4
無回答	4.6	11.8	9.7	3.0	4.7	1.9	4.3	5.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（2）結婚する1年前								
14時以前	0.6	1.2	—	0.9	0.5	0.7	0.5	0.8
15時台	0.1	—	—	0.4	—	—	0.1	—
16時台	0.1	—	—	—	0.2	—	—	0.3
17時台	1.6	5.9	3.8	2.1	0.7	0.2	1.6	1.3
18時台	9.2	12.9	17.8	13.2	7.6	4.2	9.0	9.6
19時台	11.8	15.3	17.3	16.7	10.8	5.9	11.9	11.5
20時以降	32.3	28.2	25.9	39.3	42.4	22.2	32.2	32.6
結婚経験なし	24.9	9.4	10.8	14.1	22.4	42.6	25.9	22.2
無回答	19.6	27.1	24.3	13.2	15.3	24.1	18.8	21.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（3）結婚して1年後								
14時以前	0.4	—	—	1.3	0.2	0.5	0.5	0.3
15時台	0.3	1.2	0.5	0.4	—	0.2	0.4	—
16時台	0.3	1.2	—	0.9	0.2	—	0.4	—
17時台	2.7	4.7	4.9	4.3	2.7	0.7	2.2	4.0
18時台	11.7	22.4	21.6	15.8	9.6	4.2	11.1	13.1
19時台	11.4	16.5	14.1	16.2	12.3	5.4	11.8	10.4
20時以降	23.2	15.3	18.4	29.1	31.5	15.7	22.4	25.1
結婚経験なし	30.1	11.8	15.7	20.5	28.3	47.3	31.9	25.4
無回答	19.9	27.1	24.9	11.5	15.0	26.0	19.2	21.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（7）. 平均帰宅時間（4）第1子1歳時								
14時以前	0.6	1.2	0.5	1.3	0.5	0.2	0.6	0.5
15時台	0.6	1.2	1.6	0.9	0.5	—	0.7	0.3
16時台	1.4	—	1.1	3.0	1.5	0.9	1.2	1.9
17時台	6.1	14.1	7.6	7.7	6.9	2.1	5.8	6.7
18時台	13.6	21.2	23.8	17.1	15.5	3.7	12.7	16.0
19時台	6.1	8.2	10.3	7.7	7.6	1.2	5.4	7.8
20時以降	3.4	5.9	4.9	4.3	3.7	1.6	3.2	4.0
出産経験なし	43.8	20.0	23.8	40.6	42.9	59.7	46.4	36.9
無回答	24.5	28.2	26.5	17.5	20.9	30.4	23.9	25.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-1（8）. 終業時刻での退社状況								
毎回、終業時刻に退社できる	28.3	27.1	24.9	26.5	35.0	25.3	27.6	30.2
週に数回、終業時刻に退社できる	19.7	14.1	17.8	16.7	21.9	21.3	20.9	16.6
月に数回、終業時刻に退社できる	16.9	7.1	14.6	17.9	16.3	19.9	19.0	11.5
年に数回、終業時刻に退社できる	7.0	1.2	3.2	6.8	7.1	9.8	8.0	4.5
終業時刻には退社できない	19.4	20.0	23.8	23.5	15.0	19.4	18.4	21.9
無回答	8.7	30.6	15.7	8.5	4.7	4.2	6.1	15.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1352	85	185	234	406	427	978	374
Q13-2（1）. 現在、働いていない理由								
経済的必要性がない	14.1	22.9	22.2	15.0	1.3	8.8	14.6	12.2
配偶者の仕事の都合上	1.7	—	—	5.0	4.0	1.1	1.8	1.2
家事や育児に専念している	21.8	2.9	11.1	27.5	60.0	15.4	23.6	15.9
家族の介護に専念している	3.9	3.8	13.3	7.5	—	1.1	4.3	2.4
自分の時間を持ちたい	9.1	19.0	8.9	10.0	1.3	4.4	7.1	15.9
適職がない	5.5	6.7	20.0	2.5	1.3	2.2	4.3	9.8
自分自身の健康状態	5.0	6.7	4.4	7.5	6.7	1.1	4.6	6.1
配偶者や家族の反対	0.6	—	2.2	2.5	—	—	0.7	—
その他	22.9	26.7	11.1	—	6.7	47.3	22.1	25.6
無回答	15.5	11.4	6.7	22.5	18.7	18.7	16.8	11.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	362	105	45	40	75	91	280	82

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q13-2（2）. 今後収入をともなう仕事への希望								
そう思う	31.5	1.9	13.3	15.0	48.0	70.3	33.6	24.4
どちらかといえばそう思う	18.0	6.7	22.2	22.5	36.0	12.1	18.6	15.9
あまりそう思わない	15.5	13.3	31.1	37.5	10.7	5.5	15.4	15.9
そう思わない	30.4	72.4	33.3	22.5	2.7	4.4	27.9	39.0
無回答	4.7	5.7	—	2.5	2.7	7.7	4.6	4.9
そう思う（計）	49.4	8.6	35.6	37.5	84.0	82.4	52.1	40.2
そう思わない（計）	45.9	85.7	64.4	60.0	13.3	9.9	43.2	54.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	362	105	45	40	75	91	280	82
Q14-1. 結婚時の年齢								
24 歳未満	8.6	12.1	12.8	7.3	5.7	7.6	8.4	9.3
24～25 歳	25.4	33.9	35.8	22.2	17.5	24.4	26.7	21.7
26～27 歳	24.7	21.8	22.9	25.8	25.4	26.4	25.1	23.8
28～29 歳	19.5	16.1	14.7	21.0	21.6	22.3	19.5	19.5
30～31 歳	10.4	4.6	6.4	10.1	15.0	12.2	10.1	11.1
32～33 歳	5.4	6.3	2.3	4.8	8.5	3.0	4.3	8.4
34～35 歳	2.9	1.1	3.2	2.4	3.8	3.6	3.2	2.2
36 歳以上	3.0	4.0	1.8	6.5	2.5	0.5	2.7	4.0
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
平均年齢	27.4	26.9	26.5	28.0	28.0	27.1	27.3	27.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-1. 結婚時の配偶者の年齢								
24 歳未満	1.8	1.1	3.2	0.4	1.6	2.5	1.6	2.5
24～25 歳	9.0	10.3	15.1	8.5	6.3	6.6	9.7	7.1
26～27 歳	21.1	24.7	18.8	17.7	19.1	26.4	20.0	24.1
28～29 歳	22.6	24.1	26.6	21.4	20.5	22.8	22.9	21.7
30～31 歳	16.5	18.4	16.5	15.3	16.7	16.8	16.1	17.6
32～33 歳	11.1	8.0	8.3	12.5	14.2	9.6	11.5	9.9
34～35 歳	7.5	6.9	4.1	9.7	8.5	7.6	7.2	8.4
36 歳以上	9.3	5.7	7.3	12.1	12.3	6.6	10.0	7.4
無回答	1.0	0.6	—	2.4	0.8	1.0	0.9	1.2
平均年齢	30.0	29.5	29.1	30.9	30.5	29.4	30.0	29.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-2. 配偶者の最終学歴								
義務教育修了	0.1	—	—	—	—	0.5	0.1	—
高校	1.2	0.6	1.4	2.0	1.1	1.0	1.2	1.2
専門学校	1.1	0.6	—	1.2	1.9	1.5	1.1	1.2
短期大学・高等専門学校	0.5	—	—	1.6	0.3	0.5	0.6	0.3
大学	42.0	39.1	45.0	37.9	40.7	47.2	44.7	34.7
大学院	54.2	58.6	52.3	56.0	55.7	48.7	51.4	61.9
その他	0.6	1.1	0.9	0.4	0.3	0.5	0.7	0.3
無回答	0.2	—	0.5	0.8	—	—	0.2	0.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-3.（a）配偶者が一番長く働いた（働いている）企業全体の規模								
1～29 人	2.5	1.1	3.7	2.0	2.7	2.0	2.7	1.9
30～99 人	2.9	1.1	1.4	2.8	4.4	3.6	2.9	2.8
100～299 人	5.7	4.6	3.2	6.0	6.3	8.1	5.9	5.0
300～499 人	3.8	1.7	7.3	4.0	3.8	2.0	4.0	3.4
500～999 人	5.3	4.0	4.1	5.2	6.6	4.6	4.7	7.1
1000 人以上	38.7	26.4	28.9	33.9	48.4	48.2	39.9	35.3
国家公務員	21.5	41.4	29.8	18.1	13.1	13.2	18.9	28.5
地方公務員	9.8	9.2	10.1	14.1	8.2	8.1	11.0	6.5
自営業（家族以外の雇用あり）	2.9	2.3	5.0	3.6	1.6	2.5	3.2	1.9
自営業（家族以外の雇用なし）	2.0	2.3	2.8	2.4	1.6	1.0	1.9	2.2
その他	3.4	4.0	2.8	4.8	1.9	5.1	3.5	3.4
無回答	1.6	1.7	0.9	2.8	1.4	1.5	1.4	2.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q14-3.（b）配偶者の現在の年収（税込み）								
0円	0.7	1.1	0.5	0.8	0.8	0.5	0.9	0.3
200万円未満	1.1	1.1	1.8	0.4	1.4	1.0	1.0	1.5
200～400万円未満	6.7	17.2	8.7	2.8	3.0	7.1	6.6	7.1
400～600万円未満	9.0	12.6	5.5	3.6	7.4	19.8	10.0	6.2
600～800万円未満	12.9	8.0	5.5	9.3	17.5	21.8	13.7	10.8
800～1000万円未満	13.9	2.3	7.8	18.5	21.9	10.7	14.3	13.0
1000～1500万円未満	26.9	13.2	34.4	33.5	30.1	16.8	25.9	29.4
1500～2000万円未満	6.7	3.4	8.3	9.7	4.9	7.6	6.7	6.8
2000万円以上	4.9	5.2	6.9	4.8	3.6	5.1	4.7	5.6
離死別	8.0	17.2	9.6	9.3	3.3	4.6	7.3	9.9
無回答	9.0	18.4	11.0	7.3	6.3	5.1	8.9	9.3
平　均	977.3	869.5	1110.9	1095.9	929.9	863.4	957.8	1033.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（1）現在								
14時以前	2.0	1.1	1.4	2.4	3.0	1.5	1.9	2.5
15時台	0.1	—	0.5	—	—	—	0.1	—
16時台	0.2	—	—	—	0.5	0.5	0.2	0.3
17時台	1.6	2.9	1.8	1.6	0.3	2.5	1.2	2.5
18時台	5.5	8.0	8.3	5.2	4.9	2.0	5.9	4.3
19時台	13.5	9.2	17.0	14.9	13.9	11.7	13.9	12.4
20時以降	54.6	16.1	39.9	59.7	68.9	70.6	55.1	53.3
働いていない／離死別	3.4	4.6	4.6	4.4	1.6	3.0	3.3	3.4
無回答	19.1	58.0	26.6	11.7	6.8	8.1	18.3	21.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（2）結婚する1年前								
14時以前	2.9	2.9	2.3	4.0	2.2	4.1	2.9	3.1
15時台	—	—	—	—	—	—	—	—
16時台	0.2	0.6	—	—	0.3	—	0.2	—
17時台	1.0	1.7	0.9	1.2	0.5	1.0	1.0	0.9
18時台	5.5	6.9	6.4	7.3	4.1	3.6	5.0	6.8
19時台	9.7	5.2	10.1	10.9	10.7	10.7	9.9	9.3
20時以降	64.8	45.4	57.3	63.3	73.8	74.6	66.4	60.4
無回答	15.9	37.4	22.9	13.3	8.5	6.1	14.6	19.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（3）結婚して1年後								
14時以前	2.5	1.7	2.3	4.0	2.2	2.0	2.7	1.9
15時台	—	—	—	—	—	—	—	—
16時台	0.1	0.6	—	—	—	—	0.1	—
17時台	1.4	1.7	1.8	1.6	0.3	2.5	1.4	1.2
18時台	6.8	9.8	6.9	9.7	4.4	5.1	6.9	6.5
19時台	12.5	10.3	16.1	14.5	12.3	9.1	12.7	12.1
20時以降	64.9	48.9	60.1	60.1	75.7	69.5	65.6	62.8
無回答	11.9	27.0	12.8	10.1	5.2	11.7	10.6	15.5
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323
Q14-4. 配偶者の平均帰宅時間（4）第1子1歳時								
14時以前	2.4	3.4	2.3	4.0	1.4	1.5	2.6	1.9
15時台	—	—	—	—	—	—	—	—
16時台	0.5	0.6	0.9	0.4	0.3	0.5	0.3	0.9
17時台	1.1	1.7	1.8	1.2	0.3	1.5	1.1	1.2
18時台	5.7	8.6	4.6	9.3	4.1	2.5	5.6	5.9
19時台	11.4	10.9	17.4	11.3	9.0	8.6	10.9	12.7
20時以降	48.9	41.4	55.0	47.2	59.3	32.0	49.9	46.1
出産経験なし	14.5	4.6	3.7	15.7	15.6	32.5	14.9	13.3
無回答	15.6	28.7	14.2	10.9	10.1	20.8	14.7	18.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1221	174	218	248	366	197	898	323

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q15. 子の年齢 _ 第 1 子								
10 歳未満	25.9	—	—	8.9	64.3	42.6	26.0	25.6
10～14 歳	10.3	—	1.5	22.7	16.8	2.0	10.2	10.7
15～19 歳	9.4	—	5.4	28.1	4.8	6.9	9.6	8.8
20～24 歳	11.5	2.0	16.6	24.1	4.1	11.9	11.2	12.2
25～29 歳	11.4	0.7	32.7	7.4	1.7	17.8	12.0	9.5
30～34 歳	10.1	10.5	29.3	2.0	3.8	6.9	10.0	10.3
35～39 歳	11.1	40.5	12.2	3.4	1.7	6.9	10.9	11.8
40 歳以上	9.9	45.8	2.4	3.4	2.1	5.0	9.8	10.3
死亡	0.1	—	—	—	0.3	—	0.1	—
無回答	0.3	0.7	—	—	0.3	—	0.1	0.8
平均年齢	21.3	39.6	28.5	18.9	9.7	16.6	21.3	21.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q15. 子の性別 _ 第 1 子								
男	50.1	59.5	50.7	46.8	48.5	47.5	50.9	47.7
女	48.9	39.2	47.8	51.7	51.2	52.5	48.1	51.1
無回答	1.0	1.3	1.5	1.5	0.3	—	1.0	1.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q15. 子の学校や仕事 _ 第 1 子								
〔学校〕在宅	3.7	—	0.5	1.0	5.8	15.8	4.4	1.9
保育園	8.6	—	—	2.0	23.0	11.9	7.6	11.1
幼稚園	4.2	—	—	1.0	11.0	5.0	4.2	4.2
小学校	13.4	—	0.5	14.8	32.0	4.0	13.6	13.0
中学校	5.5	—	1.0	14.8	6.9	1.0	5.1	6.5
高校	6.1	—	3.4	19.2	2.7	3.0	6.1	6.1
大学	9.6	0.7	11.7	20.2	4.8	12.9	9.2	10.7
専門学校	0.1	—	—	—	—	1.0	0.1	—
大学院	4.2	2.6	10.7	4.4	0.7	4.0	4.1	4.6
その他の学校	0.7	—	1.5	1.5	—	1.0	0.8	0.4
〔仕事〕専門・技術的職業	18.8	43.8	30.7	9.4	4.1	16.8	19.0	18.3
管理的職業	2.2	9.2	2.4	—	0.3	—	1.7	3.4
事務的職業	8.2	13.1	16.1	4.9	1.7	8.9	9.1	5.7
販売的職業	2.5	4.6	4.9	1.5	0.3	3.0	2.7	1.9
保安・サービス的職業	0.9	1.3	2.0	0.5	0.3	1.0	0.8	1.1
運輸・通信的職業	0.3	0.7	1.0	—	—	—	0.4	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	5.7	11.1	9.3	3.9	2.1	3.0	5.0	7.6
無回答	5.4	13.1	4.4	1.0	4.1	7.9	6.1	3.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q15. 子の同別居別 _ 第 1 子								
同居	60.4	17.0	35.6	75.9	87.6	67.3	60.5	59.9
別居	37.2	80.4	61.0	21.7	10.7	30.7	36.8	38.2
無回答	2.5	2.6	3.4	2.5	1.7	2.0	2.7	1.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q15. 子の年齢 _ 第 2 子								
10 歳未満	23.2	—	—	14.3	71.0	20.7	23.4	22.5
10～14 歳	8.9	—	1.2	26.5	9.7	3.4	9.1	8.1
15～19 歳	11.2	0.8	12.1	27.2	3.4	15.5	11.0	11.9
20～24 歳	13.1	—	26.6	17.7	2.3	19.0	13.9	10.6
25～29 歳	13.0	5.7	32.9	3.4	4.5	17.2	13.3	11.9
30～34 歳	13.0	22.0	22.0	5.4	3.4	15.5	12.9	13.1
35～39 歳	10.8	43.1	3.5	3.4	4.5	3.4	10.3	12.5
40 歳以上	6.7	27.6	1.7	2.0	1.1	5.2	6.1	8.8
死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	0.1	0.8	—	—	—	—	—	0.6
平均年齢	21.4	36.9	26.2	17.2	9.6	20.6	21.1	22.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	686	123	173	147	176	58	526	160

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q15. 子の性別 _ 第 2 子								
男	49.7	48.0	51.4	46.3	50.0	56.9	50.0	48.8
女	49.0	49.6	46.8	53.7	48.3	43.1	48.5	50.6
無回答	1.3	2.4	1.7	—	1.7	—	1.5	0.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	686	123	173	147	176	58	526	160
Q15. 子の学校や仕事 _ 第 2 子								
〔学校〕在宅	5.2	—	0.6	—	14.8	15.5	5.9	3.1
保育園	5.2	—	—	1.4	18.8	1.7	4.8	6.9
幼稚園	2.2	—	—	2.0	6.8	—	2.1	2.5
小学校	13.6	—	—	24.5	30.7	5.2	12.9	15.6
中学校	5.7	—	1.2	18.4	4.5	1.7	6.5	3.1
高校	6.0	0.8	6.4	13.6	2.3	8.6	6.1	5.6
大学	12.5	—	18.5	23.1	2.3	22.4	12.7	11.9
専門学校	0.4	0.8	0.6	—	0.6	—	0.4	0.6
大学院	3.6	0.8	9.8	—	2.3	3.4	3.2	5.0
その他の学校	0.7	—	1.2	0.7	0.6	1.7	0.8	0.6
〔仕事〕専門・技術的職業	18.5	46.3	26.0	4.1	4.0	17.2	17.5	21.9
管理的職業	3.1	8.9	1.7	1.4	1.7	3.4	3.4	1.9
事務的職業	9.6	17.1	15.6	5.4	2.8	6.9	9.1	11.3
販売的職業	2.9	3.3	6.4	2.0	0.6	1.7	3.0	2.5
保安・サービス的職業	0.9	—	1.7	0.7	0.6	1.7	1.1	—
運輸・通信的職業	—	—	—	—	—	—	—	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	0.1	—	0.6	—	—	—	0.2	—
その他	4.1	8.9	5.2	1.4	1.1	6.9	4.4	3.1
無回答	5.5	13.0	4.6	1.4	5.7	1.7	5.9	4.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	686	123	173	147	176	58	526	160
Q15. 子の同別居別 _ 第 2 子								
同居	57.3	16.3	34.1	81.6	88.6	58.6	57.6	56.3
別居	39.4	79.7	59.0	15.6	10.2	41.4	38.6	41.9
無回答	3.4	4.1	6.9	2.7	1.1	—	3.8	1.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	686	123	173	147	176	58	526	160
Q15. 子の年齢 _ 第 3 子								
10 歳未満	21.4	—	—	25.0	65.9	17.6	22.9	13.3
10～14 歳	10.7	—	11.1	32.5	4.9	—	12.1	3.3
15～19 歳	10.7	—	8.9	25.0	4.9	23.5	10.2	13.3
20～24 歳	12.8	4.7	33.3	7.5	—	23.5	12.7	13.3
25～29 歳	15.5	9.3	33.3	2.5	12.2	17.6	14.6	20.0
30～34 歳	10.7	23.3	8.9	2.5	7.3	11.8	8.9	20.0
35～39 歳	13.9	46.5	4.4	2.5	4.9	5.9	15.3	6.7
40 歳以上	4.3	16.3	—	2.5	—	—	3.2	10.0
死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
平均年齢	21.3	35.0	23.4	14.9	11.0	20.9	20.6	25.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	187	43	45	40	41	17	157	30
Q15. 子の性別 _ 第 3 子								
男	54.0	65.1	48.9	50.0	53.7	52.9	54.1	53.3
女	45.5	34.9	48.9	50.0	46.3	47.1	45.2	46.7
無回答	0.5	—	2.2	—	—	—	0.6	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	187	43	45	40	41	17	157	30

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q15. 子の学校や仕事子の性別 _ 第 3 子								
〔学校〕在宅	4.3	—	2.2	—	14.6	5.9	3.8	6.7
保育園	7.5	—	—	10.0	24.4	—	7.6	6.7
幼稚園	2.7	—	—	—	12.2	—	3.2	—
小学校	11.8	—	2.2	27.5	19.5	11.8	14.0	—
中学校	6.4	—	8.9	20.0	—	—	7.0	3.3
高校	7.5	—	4.4	17.5	4.9	17.6	7.0	10.0
大学	12.3	2.3	24.4	12.5	—	35.3	11.5	16.7
専門学校	0.5	2.3	—	—	—	—	0.6	—
大学院	2.7	2.3	6.7	—	2.4	—	1.3	10.0
その他の学校	1.1	—	—	5.0	—	—	1.3	—
〔仕事〕専門・技術的職業	17.1	39.5	22.2	5.0	4.9	—	17.2	16.7
管理的職業	1.6	2.3	2.2	—	—	5.9	1.9	—
事務的職業	11.2	23.3	13.3	—	7.3	11.8	12.1	6.7
販売的職業	2.7	—	8.9	—	2.4	—	3.2	—
保安・サービス的職業	1.6	4.7	2.2	—	—	—	1.3	3.3
運輸・通信的職業	—	—	—	—	—	—	—	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	6.4	11.6	2.2	2.5	7.3	11.8	5.7	10.0
無回答	2.7	11.6	—	—	—	—	1.3	10.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	187	43	45	40	41	17	157	30
Q15. 子の同別居別 _ 第 3 子								
同居	55.1	23.3	42.2	85.0	73.2	52.9	57.3	43.3
別居	42.8	72.1	55.6	15.0	24.4	47.1	40.8	53.3
無回答	2.1	4.7	2.2	—	2.4	—	1.9	3.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	187	43	45	40	41	17	157	30
Q15. 子の年齢 _ 第 4 子								
10 歳未満	22.7	—	—	—	71.4	—	21.1	33.3
10～14 歳	9.1	—	—	40.0	—	—	10.5	—
15～19 歳	13.6	—	16.7	20.0	—	100.0	15.8	—
20～24 歳	13.6	33.3	33.3	—	—	—	15.8	—
25～29 歳	22.7	—	50.0	—	28.6	—	26.3	—
30～34 歳	9.1	33.3	—	20.0	—	—	10.5	—
35～39 歳	4.5	—	—	20.0	—	—	—	33.3
40 歳以上	4.5	33.3	—	—	—	—	—	33.3
死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
平均年齢	20.0	31.0	24.2	21.4	10.7	19.0	18.8	27.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	22	3	6	5	7	1	19	3
Q15. 子の性別 _ 第 4 子								
男	45.5	66.7	33.3	40.0	42.9	100.0	47.4	33.3
女	54.5	33.3	66.7	60.0	57.1	—	52.6	66.7
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	22	3	6	5	7	1	19	3

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q15. 子の学校や仕事 _ 第 4 子								
〔学校〕在宅	9.1	—	16.7	—	14.3	—	10.5	—
保育園	9.1	—	—	—	28.6	—	5.3	33.3
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—
小学校	18.2	—	—	40.0	28.6	—	21.1	—
中学校	—	—	—	—	—	—	—	—
高校	13.6	—	16.7	40.0	—	—	15.8	—
大学	9.1	33.3	—	—	—	100.0	10.5	—
専門学校	—	—	—	—	—	—	—	—
大学院	4.5	—	—	—	14.3	—	5.3	—
その他の学校	—	—	—	—	—	—	—	—
〔仕事〕専門・技術的職業	13.6	—	50.0	—	—	—	15.8	—
管理的職業	—	—	—	—	—	—	—	—
事務的職業	13.6	33.3	16.7	—	14.3	—	15.8	—
販売的職業	—	—	—	—	—	—	—	—
保安・サービス的職業	—	—	—	—	—	—	—	—
運輸・通信的職業	—	—	—	—	—	—	—	—
農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
技能工・単純労務作業	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	4.5	—	—	20.0	—	—	—	33.3
無回答	4.5	33.3	—	—	—	—	—	33.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	22	3	6	5	7	1	19	3
Q15. 子の同別居別 _ 第 4 子								
同居	59.1	—	50.0	80.0	85.7	—	63.2	33.3
別居	40.9	100.0	50.0	20.0	14.3	100.0	36.8	66.7
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	22	3	6	5	7	1	19	3
Q16（a）第 1 子 0 歳時：(1) -1. 配偶者による子育ての手助け								
ほとんどなかった	17.5	23.5	22.0	17.7	12.7	14.9	18.8	14.1
時々あった	26.1	30.1	30.7	23.6	23.7	24.8	26.6	24.8
ひんぱんにあった	14.8	7.8	14.6	15.3	16.8	15.8	14.9	14.5
日常的にあった	35.9	23.5	26.8	37.9	45.0	41.6	34.4	40.1
無回答	5.7	15.0	5.9	5.4	1.7	3.0	5.4	6.5
あった（計）	76.8	61.4	72.2	76.8	85.6	82.2	75.8	79.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（a）第 1 子 0 歳時：(1) -2. 自身の両親による子育ての手助け								
ほとんどなかった	30.2	37.9	36.6	28.6	25.4	25.7	29.7	31.7
時々あった	33.1	25.5	28.8	33.5	39.5	34.7	34.4	29.8
ひんぱんにあった	19.5	10.5	17.6	20.7	23.0	24.8	20.7	16.4
日常的にあった	10.8	9.2	10.2	11.3	10.7	10.9	9.5	14.5
無回答	6.3	17.0	6.8	5.9	1.4	4.0	5.8	7.6
あった（計）	63.5	45.1	56.6	65.5	73.2	70.3	64.5	60.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（a）第 1 子 0 歳時：(1) -3. 配偶者の両親による子育ての手助け								
ほとんどなかった	57.2	55.6	58.5	59.6	57.7	46.5	56.4	59.2
時々あった	22.7	16.3	20.5	19.7	27.8	30.7	22.9	22.1
ひんぱんにあった	6.7	2.6	5.4	10.8	5.8	10.9	7.1	5.7
日常的にあった	5.6	7.2	5.9	3.0	5.8	6.9	5.9	4.6
無回答	7.8	18.3	9.8	6.9	2.7	5.0	7.6	8.4
あった（計）	35.0	26.1	31.7	33.5	39.5	48.5	35.9	32.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q16（a）第1子0歳時：(2) 子育てのために利用した制度や施設								
産前・産後休業制度	32.1	23.5	26.8	29.1	43.3	28.7	33.5	28.2
育児休業制度	18.2	2.0	3.4	19.2	35.4	22.8	19.7	14.1
育児時間制度・短時間勤務制度	8.4	3.9	6.3	7.9	12.7	8.9	9.8	4.6
公立・私立の認可保育園	19.6	14.4	19.5	22.2	22.3	14.9	17.3	26.0
認可外保育施設・認証保育所	10.6	6.5	14.1	6.9	11.0	14.9	8.6	16.0
企業内・病院内保育所	1.2	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	0.8	2.3
保育ママ・ベビーシッターなど	13.9	21.6	16.6	11.8	12.0	7.9	12.7	17.2
地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	6.4	—	1.0	2.5	14.4	11.9	6.6	5.7
保育所・幼稚園等の一時預かり	3.6	2.0	2.4	1.5	6.2	5.0	3.8	3.1
幼稚園	1.0	1.3	1.5	0.5	1.0	1.0	1.1	0.8
学童保育	1.3	1.3	0.5	1.0	1.4	4.0	1.4	1.1
塾・習い事	2.2	—	2.0	2.0	3.4	2.0	2.0	2.7
その他	2.0	3.9	3.4	0.5	1.4	1.0	2.0	1.9
どれも利用しなかった	26.2	26.1	28.8	31.5	19.2	32.7	29.3	17.9
無回答	12.5	18.3	14.1	13.8	8.6	6.9	12.0	13.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（b）第1子3歳時：(1) -1. 配偶者による子育ての手助け								
ほとんどなかった	14.1	18.3	16.6	16.3	9.3	13.9	14.0	14.5
時々あった	26.2	28.8	32.2	27.1	21.3	23.8	27.3	23.3
ひんぱんにあった	15.2	13.7	17.6	16.3	13.4	10.9	15.6	14.1
日常的にあった	27.5	18.3	25.4	30.5	36.1	15.8	26.3	30.5
無回答	17.0	20.9	8.3	9.9	19.9	35.6	16.8	17.6
あった（計）	68.8	60.8	75.1	73.9	70.8	50.5	69.2	67.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（b）第1子3歳時：(1) -2. 自身の両親による子育ての手助け								
ほとんどなかった	31.8	37.3	36.1	33.0	29.6	20.8	31.4	32.8
時々あった	29.1	23.5	31.7	32.5	28.5	27.7	30.3	26.0
ひんぱんにあった	13.7	9.2	13.2	15.3	16.8	7.9	13.9	13.4
日常的にあった	8.6	7.8	10.2	8.9	6.5	9.9	8.2	9.5
無回答	16.8	22.2	8.8	10.3	18.6	33.7	16.3	18.3
あった（計）	51.4	40.5	55.1	56.7	51.9	45.5	52.3	48.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（b）第1子3歳時：(1) -3. 配偶者の両親による子育ての手助け								
ほとんどなかった	54.8	52.9	57.6	62.6	50.9	44.6	53.9	57.3
時々あった	16.5	13.1	19.5	16.7	19.2	7.9	16.7	16.0
ひんぱんにあった	4.6	2.6	3.9	6.4	4.1	7.9	5.1	3.4
日常的にあった	5.1	7.2	6.8	3.0	4.8	4.0	5.2	4.6
無回答	19.0	24.2	12.2	11.3	21.0	35.6	19.1	18.7
あった（計）	26.2	22.9	30.2	26.1	28.2	19.8	27.0	24.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q16（b）第1子3歳時：(2) 子育てのために利用した制度や施設								
産前・産後休業制度	1.2	—	2.4	1.0	1.4	1.0	1.4	0.8
育児休業制度	0.8	0.7	1.0	1.0	1.0	—	1.0	0.4
育児時間制度・短時間勤務制度	2.6	2.0	1.0	2.0	5.5	—	3.1	1.1
公立・私立の認可保育園	33.6	30.7	33.2	36.0	36.4	26.7	30.8	41.2
認可外保育施設・認証保育所	4.5	0.7	4.4	5.4	5.5	5.9	4.1	5.7
企業内・病院内保育所	0.5	1.3	1.0	—	0.3	—	0.6	0.4
保育ママ・ベビーシッターなど	9.1	9.8	12.2	8.9	7.6	6.9	8.3	11.1
地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	3.6	—	0.5	3.4	8.2	2.0	3.8	3.1
保育所・幼稚園等の一時預かり	6.1	4.6	4.4	6.9	8.9	3.0	6.2	5.7
幼稚園	15.7	13.7	15.6	14.8	18.9	11.9	17.5	10.7
学童保育	0.9	2.6	0.5	1.0	0.7	—	1.0	0.8
塾・習い事	7.4	2.6	7.8	7.9	10.0	5.9	8.6	4.2
その他	2.0	3.9	2.4	2.5	1.0	—	2.1	1.5
どれも利用しなかった	14.6	23.5	18.0	16.3	6.9	12.9	16.1	10.3
無回答	18.5	17.6	11.7	11.3	22.3	35.6	18.4	18.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（c）第1子7歳時：(1) -1. 配偶者による子育ての手助け								
ほとんどなかった	18.2	28.8	24.4	17.2	10.0	16.8	17.3	20.6
時々あった	23.7	26.1	27.8	29.6	15.8	21.8	25.5	19.1
ひんぱんにあった	10.6	7.8	16.1	13.8	7.2	5.9	11.5	8.4
日常的にあった	19.4	15.7	22.0	24.6	18.9	10.9	18.7	21.4
無回答	28.1	21.6	9.8	14.8	48.1	44.6	27.2	30.5
あった（計）	53.8	49.7	65.9	68.0	41.9	38.6	55.6	48.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（c）第1子7歳時：(1) -2. 自身の両親による子育ての手助け								
ほとんどなかった	34.2	44.4	42.4	37.9	24.7	21.8	34.1	34.4
時々あった	22.5	19.0	26.3	32.0	16.5	19.8	23.5	19.8
ひんぱんにあった	6.4	4.6	7.3	8.4	5.2	6.9	7.6	3.1
日常的にあった	8.7	8.5	13.7	7.9	5.8	5.9	7.6	11.5
無回答	28.3	23.5	10.2	13.8	47.8	45.5	27.2	31.3
あった（計）	37.6	32.0	47.3	48.3	27.5	32.7	38.8	34.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q16（c）第1子7歳時：(1) -3. 配偶者の両親による子育ての手助け								
ほとんどなかった	51.8	58.2	63.9	63.1	36.1	39.6	51.6	52.3
時々あった	10.6	8.5	11.2	16.3	8.2	7.9	11.0	9.5
ひんぱんにあった	3.1	2.0	4.9	2.0	2.7	5.0	3.7	1.5
日常的にあった	4.7	7.2	5.9	3.4	4.8	2.0	4.8	4.6
無回答	29.7	24.2	14.1	15.3	48.1	45.5	28.9	32.1
あった（計）	18.5	17.6	22.0	21.7	15.8	14.9	19.5	15.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q16（2）子育てのために利用した制度や施設								
産前・産後休業制度	0.3	—	0.5	1.0	—	—	0.3	0.4
育児休業制度	0.2	—	0.5	—	0.3	—	0.3	—
育児時間制度・短時間勤務制度	0.3	1.3	—	—	0.3	—	0.4	—
公立・私立の認可保育園	5.3	7.2	7.3	6.4	3.1	3.0	4.8	6.5
認可外保育施設・認証保育所	0.9	—	0.5	1.5	1.4	1.0	0.6	1.9
企業内・病院内保育所	0.1	—	—	—	0.3	—	0.1	—
保育ママ・ベビーシッターなど	4.9	7.8	5.9	4.9	3.8	2.0	4.8	5.0
地域の子育て支援センターやファミリーサポートセンター	2.1	—	0.5	2.5	4.5	1.0	2.0	2.3
保育所・幼稚園等の一時預かり	1.8	2.0	2.0	2.5	1.4	1.0	1.8	1.5
幼稚園	9.2	13.1	11.2	7.9	6.9	7.9	10.0	6.9
学童保育	22.7	19.0	24.4	29.6	21.0	14.9	21.1	27.1
塾・習い事	22.1	13.7	23.4	30.5	21.3	18.8	25.0	14.1
その他	2.5	4.6	2.9	3.0	1.7	—	2.5	2.3
どれも利用しなかった	17.4	22.9	22.9	18.7	8.9	18.8	18.1	15.6
無回答	30.7	22.2	18.0	16.3	48.8	45.5	29.8	32.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	969	153	205	203	291	101	707	262
Q17. 現在の同居家族（複数回答）								
本人のみ	20.0	19.9	10.1	12.8	18.5	30.3	18.1	25.1
配偶者	57.5	65.2	75.8	70.3	65.7	30.5	57.9	56.2
母・義母	17.9	4.5	16.1	15.2	15.0	28.1	20.0	11.9
父・義父	12.7	0.5	4.8	8.4	11.0	25.4	14.4	8.1
未婚の子ども	38.0	20.9	44.0	59.5	53.1	14.9	38.2	37.4
既婚の子ども	1.6	4.0	1.2	1.0	1.4	1.5	1.7	1.3
孫	0.7	4.0	0.8	0.3	—	0.2	0.9	—
その他	8.5	6.5	2.8	1.4	5.7	18.8	9.4	5.7
無回答	3.4	2.5	2.4	2.4	2.8	5.5	3.4	3.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q17. 同居未婚の子の人数								
1人	49.3	81.0	58.7	37.5	43.9	62.0	47.0	56.3
2人	41.2	19.0	35.8	48.3	45.0	34.2	41.8	39.2
3人以上	9.2	—	5.5	14.2	10.8	2.5	10.8	4.5
無回答	0.3	—	—	—	0.4	1.3	0.4	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	685	42	109	176	269	79	509	176
Q17. 同居既婚の子の人数								
1人	65.5	87.5	100.0	100.0	42.9	37.5	60.9	83.3
2人	31.0	12.5	—	—	42.9	62.5	34.8	16.7
3人以上	3.4	—	—	—	14.3	—	4.3	—
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	29	8	3	3	7	8	23	6
Q17. 同居孫の人数								
1人	58.3	50.0	100.0	100.0	—	—	58.3	—
2人	33.3	37.5	—	—	—	100.0	33.3	—
3人以上	8.3	12.5	—	—	—	—	8.3	—
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	12	8	2	1	—	1	12	—
Q18.（a）大学卒業時に理想としていた生き方のタイプ								
結婚せず、仕事を一生続ける	8.1	10.4	8.1	10.1	8.1	5.8	6.5	12.6
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	4.9	4.0	4.4	5.4	4.5	5.5	4.7	5.3
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	55.3	51.7	56.0	54.1	56.6	56.1	55.5	54.9
結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事	18.3	17.9	17.3	17.6	16.2	21.7	20.4	12.3
結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない	6.8	4.0	5.6	5.1	9.5	7.0	7.3	5.5
その他	4.8	10.0	6.0	6.1	3.9	2.1	3.8	7.7
無回答	1.8	2.0	2.4	1.7	1.2	1.9	1.8	1.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q18.（b）現在までにたどってきた生き方のタイプ								
結婚せず、仕事を一生続ける	22.6	12.4	10.1	12.5	23.3	37.7	21.6	25.3
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	8.6	7.0	3.6	14.2	9.7	7.3	8.2	9.6
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	33.3	43.8	41.1	33.8	35.5	22.8	31.2	39.1
結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事	16.9	19.4	27.8	18.6	14.2	12.1	18.1	13.4
結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない	6.7	5.5	7.7	9.5	9.7	2.4	7.7	3.8
その他	8.6	10.0	7.3	10.1	5.7	10.7	9.2	6.8
無回答	3.4	2.0	2.4	1.4	2.0	7.0	4.0	1.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q18.（c）現在予想する、自分がたどりそうな生き方のタイプ								
結婚せず、仕事を一生続ける	9.4	5.5	8.1	11.1	10.8	9.4	8.1	13.2
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	8.2	7.0	4.8	14.5	8.1	7.0	7.3	10.9
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	39.6	24.4	38.3	33.4	44.6	45.0	38.7	42.1
結婚し子どもを持つが、いったん退職し子育て後に仕事	22.6	11.4	23.8	18.6	23.7	27.1	24.8	16.2
結婚し子どもを持ち、結婚・出産退職し仕事を持たない	4.7	2.0	6.0	7.8	4.5	3.8	5.8	1.5
その他	8.7	25.4	10.5	10.1	5.5	3.6	8.8	8.3
無回答	6.8	24.4	8.5	4.4	2.8	4.1	6.4	7.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19. 男性と女性の違いについての賛否								
Q19.（1）家庭のこまごまとした管理は女性でなくてはと思う								
そう思う	6.1	7.0	4.4	6.1	6.7	5.8	5.9	6.6
どちらかといえばそう思う	29.5	33.3	29.4	27.7	30.2	29.2	30.5	26.6
あまりそう思わない	37.3	28.9	37.1	37.2	39.1	38.2	37.3	37.4
そう思わない	25.1	27.4	27.0	26.7	23.1	24.9	24.5	26.6
無回答	2.1	3.5	2.0	2.4	1.0	1.9	1.8	2.8
そう思う（計）	35.6	40.3	33.9	33.8	36.9	35.0	36.4	33.2
そう思わない（計）	62.4	56.2	64.1	63.9	62.1	63.1	61.8	64.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19.（2）男性も女性と同等に家事・育児にかかわるべきだ								
そう思う	45.1	41.3	44.8	43.6	44.4	47.8	43.0	51.1
どちらかといえばそう思う	37.4	36.3	38.3	36.8	38.9	36.5	38.1	35.5
あまりそう思わない	13.6	16.4	12.9	15.2	14.2	11.7	15.3	8.9
そう思わない	1.8	1.5	2.4	2.7	0.8	2.1	1.9	1.5
無回答	2.1	4.5	1.6	1.7	1.8	1.9	1.8	3.0
そう思う（計）	82.5	77.6	83.1	80.4	83.2	84.4	81.0	86.6
そう思わない（計）	15.4	17.9	15.3	17.9	15.0	13.7	17.2	10.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19.（3）人前では妻は夫を立てた方がよい								
そう思う	16.0	12.4	7.3	14.2	16.8	22.2	17.7	11.3
どちらかといえばそう思う	45.2	34.8	41.9	42.9	49.9	47.5	46.0	43.0
あまりそう思わない	24.3	28.9	29.8	27.0	22.7	19.8	23.8	25.7
そう思わない	12.3	19.9	17.3	13.5	9.7	8.7	10.4	17.4
無回答	2.2	4.0	3.6	2.4	1.0	1.9	2.1	2.6
そう思う（計）	61.2	47.3	49.2	57.1	66.7	69.7	63.6	54.3
そう思わない（計）	36.6	48.8	47.2	40.5	32.3	28.4	34.3	43.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q19.（4）妻も収入を得て家計を支えるべきだ								
そう思う	33.5	46.3	39.9	32.8	30.8	28.2	31.0	40.9
どちらかといえばそう思う	44.9	36.8	43.1	41.9	46.2	49.5	46.5	40.4
あまりそう思わない	16.2	10.0	10.9	18.6	18.7	17.7	17.9	11.5
そう思わない	3.0	3.5	3.2	4.1	2.8	2.4	2.5	4.3
無回答	2.3	3.5	2.8	2.7	1.6	2.1	2.1	3.0
そう思う（計）	78.4	83.1	83.1	74.7	76.9	77.8	77.4	81.3
そう思わない（計）	19.2	13.4	14.1	22.6	21.5	20.2	20.5	15.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19.（5）結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ								
そう思う	0.8	—	—	1.4	0.8	1.1	0.9	0.4
どちらかといえばそう思う	8.0	5.0	5.6	8.1	8.7	9.8	9.4	4.0
あまりそう思わない	36.0	32.3	26.2	32.4	39.4	41.2	38.1	30.2
そう思わない	52.9	57.7	65.3	56.4	49.7	45.8	49.3	63.0
無回答	2.3	5.0	2.8	1.7	1.4	2.1	2.2	2.3
そう思う（計）	8.8	5.0	5.6	9.5	9.5	10.9	10.3	4.5
そう思わない（計）	88.9	90.0	91.5	88.9	89.2	87.0	87.4	93.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19.（6）子どもが小さいうちは母親は仕事を持たずに家が望ましい								
そう思う	12.0	13.4	8.9	9.5	11.2	15.1	13.0	8.9
どちらかといえばそう思う	32.3	28.4	24.2	28.7	34.5	37.9	34.0	27.2
あまりそう思わない	31.0	24.9	32.3	34.5	32.1	29.6	30.5	32.3
そう思わない	22.6	28.9	31.9	25.3	21.1	15.3	20.4	28.7
無回答	2.2	4.5	2.8	2.0	1.0	2.3	2.0	2.8
そう思う（計）	44.2	41.8	33.1	38.2	45.8	52.9	47.1	36.2
そう思わない（計）	53.5	53.7	64.1	59.8	53.3	44.8	50.9	61.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19.（7）結婚しても人生には結婚相手等とは別の自分の目標を持つべき								
そう思う	44.6	49.3	51.2	50.0	40.4	39.9	41.2	54.0
どちらかといえばそう思う	39.2	36.8	37.5	34.8	42.8	40.7	41.9	31.5
あまりそう思わない	12.3	10.0	6.9	12.5	13.2	14.5	13.1	9.8
そう思わない	1.9	1.5	1.6	1.0	2.0	2.6	1.9	1.9
無回答	2.1	2.5	2.8	1.7	1.6	2.3	1.9	2.8
そう思う（計）	83.8	86.1	88.7	84.8	83.2	80.6	83.1	85.5
そう思わない（計）	14.1	11.4	8.5	13.5	15.2	17.1	15.0	11.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q19.（8）女性は出産する可能性があるため男性と仕事の上で互角は無理								
そう思う	8.2	5.0	2.0	6.4	10.3	11.5	8.5	7.2
どちらかといえばそう思う	31.6	29.4	23.4	30.4	34.3	34.7	33.1	27.4
あまりそう思わない	36.3	32.8	40.3	35.1	36.3	35.8	36.4	36.0
そう思わない	21.8	28.4	32.7	26.0	17.8	16.0	20.2	26.6
無回答	2.1	4.5	1.6	2.0	1.4	2.1	1.9	2.8
そう思う（計）	39.8	34.3	25.4	36.8	44.6	46.1	41.6	34.7
そう思わない（計）	58.1	61.2	73.0	61.1	54.0	51.8	56.5	62.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q19. (9) 結婚したら、子どもは持つべきだ								
そう思う	18.7	23.9	21.8	15.9	17.2	17.9	19.5	16.6
どちらかといえばそう思う	39.4	43.8	42.3	38.9	39.4	36.9	40.5	36.4
あまりそう思わない	25.4	16.9	22.2	28.4	27.2	27.3	24.6	27.9
そう思わない	14.2	11.9	10.9	14.5	15.0	15.6	13.4	16.4
無回答	2.2	3.5	2.8	2.4	1.2	2.3	2.0	2.8
そう思う（計）	58.1	67.7	64.1	54.7	56.6	54.8	60.0	53.0
そう思わない（計）	39.6	28.9	33.1	42.9	42.2	42.9	38.0	44.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q21. 卒業生に対して行うサービスとしてあればよいと思うもの（複数回答）								
余暇を楽しく有意義に過ごすための場や機会の提供	13.9	12.9	15.7	11.8	12.4	15.6	15.4	9.6
知識・技能を高め転職・昇進につながる場や機会の提供	61.6	50.2	64.1	56.4	61.7	67.4	63.6	56.0
他人の手助けや、ボランティア活動に役立つ機会の提供	25.2	26.4	30.2	24.3	27.6	20.9	25.7	23.8
実技をともなった、健康維持等の学びの場や機会の提供	11.0	12.4	11.3	9.1	7.1	14.9	11.1	10.6
自分がこれまで得た知識・経験を伝える場や機会の提供	21.8	28.4	23.0	16.9	21.3	21.7	20.2	26.6
お茶の水大学の卒業生同士が交流できる場や機会の提供	31.8	18.9	30.2	32.1	36.7	32.4	32.6	29.4
地域社会をよりよいものにする学びの場や機会の提供	18.7	20.9	22.6	14.9	17.2	19.8	18.7	18.7
お茶の水大学で開講の授業に参加できる場や機会の提供	47.5	37.8	46.4	48.6	49.3	49.3	50.3	39.6
お茶の水女子大学の研究成果を聞ける場や機会の提供	27.8	21.9	28.6	28.4	25.4	31.6	28.8	24.9
仕事上の相談に訪れることができる場や機会の提供	28.0	25.9	27.0	23.6	28.2	32.0	28.7	26.2
子育てや子の教育相談に訪れられる場や機会の提供	27.7	18.4	23.0	19.9	28.0	37.1	28.6	24.9
卒業生の人材登録サービスや就職支援	52.7	47.8	58.5	51.4	53.5	51.8	52.9	52.1
その他	3.3	5.0	3.6	2.0	4.5	2.3	3.1	4.0
無回答	5.4	13.9	5.2	8.8	3.2	2.8	4.3	8.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q22. (a) お茶の水女子大学〔学部〕の方向への考え方								
将来にわたって、別学を維持	46.0	30.3	37.5	49.3	48.3	51.8	47.2	42.3
当分の間は、別学を維持	38.9	42.8	44.0	35.1	39.1	36.9	37.6	42.6
できるだけ早期に共学化をすすめる	11.5	17.9	15.7	10.1	10.1	8.9	12.1	9.8
無回答	3.7	9.0	2.8	5.4	2.6	2.4	3.1	5.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q22. (a) お茶の水女子大学〔大学院〕の方向への考え方								
将来にわたって、別学を維持したほうがよい	31.0	14.9	23.8	35.5	33.1	36.2	32.5	26.8
当分の間は、別学を維持したほうがよい	36.9	33.8	37.1	33.1	38.7	38.6	36.0	39.6
できるだけ早期に、共学化をすすめたほうがよい	27.3	40.3	35.1	26.4	25.0	20.9	27.0	28.3
無回答	4.8	10.9	4.0	5.1	3.2	4.3	4.6	5.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23. (a) お茶の水女子大学の将来像についての重視度 Q23. (1) 女性の多様なライフコースに柔軟に対応する大学								
かなり重視する	44.7	34.8	43.1	42.2	50.7	44.3	43.5	48.1
重視する	39.9	34.8	37.1	39.9	39.6	43.9	41.2	36.2
あまり重視しない	10.1	16.4	13.7	11.5	7.1	8.3	10.8	8.1
まったく重視しない	1.6	2.5	2.0	1.0	1.2	1.7	1.4	2.1
無回答	3.8	11.4	4.0	5.4	1.4	1.9	3.1	5.5
重視する（計）	84.5	69.7	80.2	82.1	90.3	88.1	84.6	84.3
重視しない（計）	11.7	18.9	15.7	12.5	8.3	10.0	12.2	10.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q23.（2）これまで女子高等教育で不十分であった領域を重視した大学								
かなり重視する	25.1	29.4	23.8	24.7	25.0	23.9	23.4	30.0
重視する	47.7	44.3	46.8	49.3	47.5	49.0	49.2	43.6
あまり重視しない	21.9	13.4	23.4	19.3	24.1	24.3	22.8	19.4
まったく重視しない	1.6	1.0	1.6	2.0	1.6	1.5	1.6	1.3
無回答	3.7	11.9	4.4	4.7	1.8	1.3	3.0	5.7
重視する（計）	72.8	73.6	70.6	74.0	72.6	72.9	72.6	73.6
重視しない（計）	23.4	14.4	25.0	21.3	25.6	25.8	24.4	20.6
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（3）これまで女子高等教育で重視してきた領域に重点化した大学								
かなり重視する	23.8	21.9	22.6	26.4	21.5	26.4	23.8	24.0
重視する	45.8	32.3	47.6	45.3	49.5	46.7	47.2	42.1
あまり重視しない	24.6	29.9	21.8	23.0	26.4	23.4	24.7	24.3
まったく重視しない	1.6	3.0	3.6	0.3	0.6	1.7	1.0	3.0
無回答	4.2	12.9	4.4	5.1	2.0	1.9	3.3	6.6
重視する（計）	69.7	54.2	70.2	71.6	71.0	73.1	70.9	66.2
重視しない（計）	26.2	32.8	25.4	23.3	27.0	25.0	25.8	27.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（4）女性学・ジェンダー研究などの領域を重点化した大学								
かなり重視する	25.6	19.9	25.8	26.7	28.0	25.2	25.9	24.7
重視する	41.0	31.8	41.5	47.0	42.4	39.4	41.2	40.6
あまり重視しない	25.7	30.8	24.2	19.3	24.5	29.4	26.2	24.5
まったく重視しない	4.1	6.0	4.8	3.0	3.2	4.5	4.0	4.5
無回答	3.5	11.4	3.6	4.1	2.0	1.5	2.8	5.7
重視する（計）	66.6	51.7	67.3	73.6	70.4	64.6	67.1	65.3
重視しない（計）	29.8	36.8	29.0	22.3	27.6	33.9	30.1	28.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（5）学部と大学院の教育・研究の交流を積極的に図る大学								
かなり重視する	27.7	24.4	17.3	25.7	28.8	33.9	28.0	27.0
重視する	51.1	43.3	57.7	47.6	53.1	51.4	52.7	46.6
あまり重視しない	16.0	17.4	16.5	20.6	16.0	12.6	15.5	17.2
まったく重視しない	0.9	1.0	2.4	1.4	0.2	0.6	0.4	2.1
無回答	4.3	13.9	6.0	4.7	2.0	1.5	3.4	7.0
重視する（計）	78.8	67.7	75.0	73.3	81.9	85.3	80.7	73.6
重視しない（計）	16.9	18.4	19.0	22.0	16.2	13.2	16.0	19.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（6）他の大学との単位互換を含め、大学間の交流を図る大学								
かなり重視する	30.9	33.3	23.0	23.3	31.2	37.9	31.4	29.4
重視する	47.1	46.3	52.0	49.7	45.8	45.4	48.1	44.0
あまり重視しない	17.2	9.5	19.8	20.3	19.9	14.1	16.9	18.1
まったく重視しない	1.2	0.5	1.6	1.7	1.4	0.9	1.0	1.9
無回答	3.7	10.4	3.6	5.1	1.8	1.7	2.6	6.6
重視する（計）	77.9	79.6	75.0	73.0	76.9	83.2	79.5	73.4
重視しない（計）	18.4	10.0	21.4	22.0	21.3	15.1	17.8	20.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q23.（7）教育のねらいを高度な専門職業人の養成にしぼった大学								
かなり重視する	18.5	27.9	17.7	15.5	16.6	18.6	18.2	19.4
重視する	33.6	27.9	33.5	30.7	36.1	35.4	33.8	33.0
あまり重視しない	40.2	30.8	40.7	44.3	41.8	39.5	41.1	37.7
まったく重視しない	4.0	2.5	4.4	4.7	3.7	4.3	4.0	4.0
無回答	3.7	10.9	3.6	4.7	1.8	2.1	2.9	6.0
重視する（計）	52.1	55.7	51.2	46.3	52.7	54.0	52.0	52.3
重視しない（計）	44.2	33.3	45.2	49.0	45.6	43.9	45.1	41.7
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（8）通信・遠隔地教育等時間や場所に制約されずに学習可能大学								
かなり重視する	8.3	7.5	9.7	7.8	9.5	7.5	8.5	7.7
重視する	24.1	25.4	24.2	21.3	25.2	24.1	25.4	20.2
あまり重視しない	49.8	42.8	49.2	55.1	51.7	47.3	49.6	50.4
まったく重視しない	13.5	9.0	12.9	11.5	11.6	18.8	13.1	14.7
無回答	4.3	15.4	4.0	4.4	2.0	2.3	3.4	7.0
重視する（計）	32.4	32.8	33.9	29.1	34.7	31.6	34.0	27.9
重視しない（計）	63.3	51.7	62.1	66.6	63.3	66.1	62.7	65.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（9）卒業生を学生や研究生、院生として積極的に受け入れる大学								
かなり重視する	24.8	23.9	21.4	19.3	26.8	28.1	24.0	27.2
重視する	48.4	40.3	51.2	54.7	45.8	48.8	50.7	41.7
あまり重視しない	21.0	22.9	21.0	17.9	24.5	19.0	20.4	22.6
まったく重視しない	2.0	1.5	2.0	3.0	1.0	2.6	1.8	2.6
無回答	3.8	11.4	4.4	5.1	2.0	1.5	3.1	6.0
重視する（計）	73.2	64.2	72.6	74.0	72.6	76.8	74.7	68.9
重視しない（計）	22.9	24.4	23.0	20.9	25.4	21.7	22.2	25.1
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q23.（10）男女共同参画社会をリードする人材を養成する大学								
かなり重視する	39.4	36.3	42.7	34.5	40.4	40.3	38.5	41.7
重視する	39.8	37.8	34.7	41.9	42.4	39.9	40.8	37.0
あまり重視しない	15.2	13.9	17.3	16.2	14.2	15.1	15.7	14.0
まったく重視しない	2.2	1.5	2.0	2.7	1.2	3.2	2.2	1.9
無回答	3.4	10.4	3.2	4.7	1.8	1.5	2.8	5.3
重視する（計）	79.2	74.1	77.4	76.4	82.8	80.2	79.3	78.7
重視しない（計）	17.4	15.4	19.4	18.9	15.4	18.3	17.9	16.0
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q24. 父親の最終学歴								
新制中学校・尋常小学校・高等小学校	4.9	9.0	9.7	6.4	3.0	2.3	4.7	5.3
新制高校・旧制中学校・旧制実業学校・旧制師範学校	17.7	17.4	24.6	18.2	16.2	15.3	17.5	18.3
新制高等専門学校・新制短期大学・旧制高校・旧制高専	9.1	13.4	15.3	11.1	5.9	6.0	9.4	8.3
新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校	62.6	51.2	43.1	58.4	70.2	71.9	63.0	61.7
その他	1.7	5.0	3.2	1.4	0.6	0.8	1.5	2.1
わからない	0.9	1.5	1.2	0.3	0.6	1.3	0.9	1.1
無回答	3.1	2.5	2.8	4.1	3.6	2.4	3.1	3.2
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

質問番号	全体	修士修了年					最終学歴	
選択肢		-1970	1971-1980	1981-1990	1991-2000	2001-	修士	博士
Q24. 父親のこれまでの主な仕事								
専門・技術的職業	36.6	43.8	39.5	38.5	36.1	32.2	36.4	37.2
管理的職業	39.5	31.3	36.7	41.2	41.4	40.5	39.3	40.0
事務的職業	5.0	4.5	6.5	4.4	3.6	6.4	4.8	5.5
販売的職業	5.3	6.0	6.0	3.4	4.5	6.4	5.5	4.7
保安・サービス的職業	1.3	1.0	—	0.7	2.0	1.9	1.5	0.9
運輸・通信的職業	1.2	2.5	0.4	0.3	1.0	1.5	1.3	0.9
農林漁業	1.8	3.0	3.2	1.7	1.2	1.5	1.8	1.9
技能工・単純労務作業	2.5	1.0	0.8	2.7	3.6	3.0	2.8	1.9
その他	2.6	4.5	2.8	2.7	1.6	2.6	2.5	2.8
家族従業者	0.5	—	0.8	0.3	1.0	0.2	0.5	0.4
収入を伴う仕事はしていない	0.2	0.5	—	—	0.2	0.2	0.1	0.2
わからない	0.4	0.5	—	—	0.4	0.9	0.5	0.2
無回答	3.1	1.5	3.2	4.1	3.6	2.6	3.0	3.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q24. 父親の事業内容								
農林漁業	2.2	3.0	2.8	2.7	2.0	1.7	2.1	2.6
鉱業	1.1	2.0	2.0	0.7	0.4	0.9	1.3	0.4
建設業	4.4	2.5	3.2	5.1	5.3	4.1	4.6	3.8
製造業	21.2	10.9	15.3	19.9	25.2	24.7	21.6	20.2
電気・ガス・熱供給・水道業	2.6	3.0	1.2	2.0	3.6	2.6	2.8	2.1
運輸・通信業	4.5	5.0	5.2	5.1	3.7	4.3	4.4	4.9
卸売・小売業、飲食店	6.1	5.5	7.7	3.7	6.5	6.2	6.8	4.0
金融・保険業、不動産業	6.0	3.5	6.9	7.1	6.1	6.0	5.7	7.0
新聞・放送・出版業、広告業、映画製作業	1.7	0.5	1.2	3.0	1.6	1.9	1.5	2.3
情報・通信	2.5	1.0	2.0	1.0	3.2	3.8	2.6	2.3
医療・福祉	4.4	5.5	4.8	4.4	3.9	4.5	4.7	3.6
教育・研究	18.1	22.4	21.4	20.9	17.4	14.3	17.1	21.1
法律・会計	1.5	1.5	2.8	1.7	1.4	0.9	1.5	1.5
公務	9.5	6.5	10.1	10.5	8.7	10.9	9.8	8.7
その他	3.5	5.0	3.2	3.0	2.8	3.8	3.4	3.8
家事労働	—	—	—	—	—	—	—	—
無職	0.1	—	—	—	0.2	—	—	0.2
わからない	0.9	—	—	0.3	0.6	2.3	1.0	0.4
無回答	9.5	22.4	10.1	8.8	7.5	7.0	9.1	10.9
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q24. 母親の最終学歴								
新制中学校・尋常小学校・高等小学校	5.4	9.5	11.3	6.4	3.4	2.6	5.2	6.2
新制高・旧制中・旧制高女・旧制実業・旧制師範・旧女	40.6	59.2	60.1	47.6	32.7	26.9	38.8	45.7
新制高専・新制短大・旧制高校・旧制高専・旧制女子専	21.2	12.4	14.1	21.3	22.3	27.1	22.7	17.0
新制大学・新制大学院・旧制大学・旧制高等師範学校	27.1	11.9	8.5	19.3	35.3	38.8	27.7	25.3
その他	1.2	1.5	0.8	0.3	1.4	1.7	1.3	1.1
わからない	0.9	1.5	1.2	0.3	1.2	0.8	0.8	1.3
無回答	3.5	4.0	4.0	4.7	3.7	2.1	3.5	3.4
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470
Q24. 母親の出産・子育てと就業生活								
一度も仕事に就いたことがない	17.1	41.8	29.4	16.6	11.8	6.4	16.1	19.8
結婚・出産後に初めて仕事に就いた	4.0	5.5	6.5	3.7	3.2	3.2	3.7	4.9
結婚・出産後も仕事を続けた	19.5	17.4	16.1	19.9	20.9	20.5	19.3	20.0
結婚・出産を機に退職し、その後フルタイムで再就職	6.8	8.0	4.4	4.4	8.3	7.3	7.3	5.1
結婚・出産を機に退職し、その後パートタイムで再就職	21.8	2.0	10.5	18.9	26.2	32.4	23.8	16.2
結婚・出産を機に退職し、その後仕事はしていない	26.1	17.9	27.0	30.4	25.0	27.3	25.4	27.9
わからない	0.6	1.0	1.6	0.3	0.2	0.6	0.5	0.9
無回答	4.2	6.5	4.4	5.7	4.3	2.3	3.8	5.3
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実　数	1804	201	248	296	507	531	1334	470

文部科学省特別経費「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」
（平成 22 年度―平成 27 年度）

「お茶の水女子大学卒業生のライフコース 報告書」

発行日	平成 25 年 3 月
発　行	国立大学法人　お茶の水女子大学 リーダーシップ養成教育研究センター
	〒112−8610　東京都文京区大塚 2−1−1 ＴＥＬ　03−5978−5520 E-mail　info-leader@cc.ocha.ac.jp ＵＲＬ　http://www.cf.ocha.ac.jp/leader/
編　集	永瀬　伸子（人間文化創成科学研究科 教授） 内藤　章江（リーダーシップ養成教育研究センター 助教） 坂本　有芳（日本学術振興会特別研究員―RPD）
編集補助	浦川　修子（文教育学部 人文科学科 アカデミック・アシスタント）
印刷所	三鈴印刷株式会社

お茶の水女子大学卒業生のライフコース
― 報告書 ―

国立大学法人
お茶の水女子大学